

大川市人権問題に関する市民意識調査
＝報告書＝

2022(令和4)年11月

大川市

目次

■分析編

I. 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査対象地域	1
3 調査対象および抽出方法	1
4 調査方法	1
5 調査時期	1
6 調査票回収状況	1
7 調査企画・実施	2
8 調査結果の分析	2
9 標本特性	2
10 調査結果利用上の注意	4
II. 調査の概要（総論分析）	5
1 人権問題の背景	5
2 人権問題全体の現状と課題	6
3 女性の人権について	8
4 子どもの人権について	10
5 高齢者の人権について	11
6 障がいのある人の人権について	12
7 外国人や外国にルーツのある人の人権について	13
8 様々な人権問題について	14
9 人権問題の啓発活動について	16
10 さまざまな人権課題に関連する法律や用語等について（市職員対象）	16
11 差別についての考え（市職員対象）	16
12 研修等で人権を学ぶ際に重要なこと（市職員対象）	17
13 調査結果からの考察	17
III. 調査結果（各論分析・市民）	25
1 人権全般について	25
(1) 人権問題にどの程度関心があるか	25
(2) 日本の人権に関する問題で関心があるもの	26
(3) 人権に関する法律の認知状況	30
(4) これまでに、自分の人権が侵害されたと思ったことがあるか	33
(5) 人権を侵害されたとき、どうしたか	35

2	同和問題について	37
(1)	同和問題に対する考え	37
(2)	同和問題に関して現在どのような人権上の問題があると思うか.....	41
(3)	同和問題の解決をはかるために必要なこと	43
3	女性の人権について	45
(1)	女性に関して現在どのような人権上の問題があると思うか.....	45
(2)	女性の人権を守るために必要なこと	48
4	子どもの人権について	50
(1)	子どもに関して現在どのような人権上の問題があると思うか.....	50
(2)	子どもの人権を守るために必要なこと	53
5	高齢者の人権について	55
(1)	高齢者に関して現在どのような人権上の問題があると思うか.....	55
(2)	高齢者の人権を守るために必要なこと	58
6	障害のある人の人権について	60
(1)	障がいのある人に関して現在どのような人権上の問題があると思うか.....	60
(2)	障がいのある人の人権を守るために必要なこと	63
7	外国人や外国にルーツのある人の人権について	65
(1)	外国人や外国にルーツのある人に関して現在どのような人権上の問題があると思うか.....	65
(2)	外国人や外国にルーツのある人の人権を守るために必要なこと.....	68
8	様々な人権問題について	70
(1)	HIV感染者、エイズ患者に関して現在どのような人権上の問題があると思うか..	70
(2)	ハンセン病患者・元患者や家族等に関して現在どのような人権上の問題があると思うか.....	72
(3)	犯罪被害者やその家族に関して現在どのような人権上の問題があると思うか.....	74
(4)	インターネットに関することからで、人権が特に尊重されていない、または侵害されていると思うこと	77
(5)	刑を終えて出所した人に関して現在どのような人権上の問題があると思うか.....	80
(6)	性的少数者に関して現在どのような人権上の問題があると思うか.....	82
(7)	新型コロナウイルス感染症に関することからで、人権がとくに尊重されていない、または侵害されていると思うこと.....	84
9	人権啓発について	87
(1)	「人権」をテーマとした研修・啓発イベント（講演会等）への参加状況.....	87
(2)	国・県・市町村が実施する啓発活動で効果があると思うもの.....	98
(3)	自由記述意見（要旨）	100
IV.	調査結果（各論分析・市職員）	109
1	人権全般について	109
(1)	人権問題にどの程度関心があるか	109
(2)	日本の人権に関する問題で関心があるもの	110

(3)	人権課題に関連する法律や用語等の認知状況	112
(4)	「差別」についての考え	122
2	同和問題について	127
(1)	同和問題に関して現在どのような人権上の問題があると思うか	127
(2)	同和問題の解決をはかるために必要なこと	129
3	女性の人権について	130
(1)	女性に関して現在どのような人権上の問題があると思うか	130
(2)	女性の人権を守るために必要なこと	132
4	子どもの人権について	134
(1)	子どもに関して現在どのような人権上の問題があると思うか	134
(2)	子どもの人権を守るために必要なこと	136
5	高齢者の人権について	137
(1)	高齢者に関して現在どのような人権上の問題があると思うか	137
(2)	高齢者の人権を守るために必要なこと	139
6	障がいのある人の人権について	140
(1)	障がいのある人に関して現在どのような人権上の問題があると思うか	140
(2)	障がいのある人の人権を守るために必要なこと	141
7	外国人や外国にルーツのある人の人権について	142
(1)	外国人や外国にルーツのある人に関して現在どのような人権上の問題があると思うか	142
(2)	外国人や外国にルーツのある人の人権を守るために必要なこと	143
8	様々な人権問題について	144
(1)	HIV感染者、エイズ患者に関して現在どのような人権上の問題があると思うか	144
(2)	ハンセン病患者・元患者や家族等に関して現在どのような人権上の問題があると思うか	145
(3)	犯罪被害者やその家族に関して現在どのような人権上の問題があると思うか	146
(4)	インターネットに関することから、人権が特に尊重されていない、または侵害されていると思うこと	147
(5)	刑を終えて出所した人に関して現在どのような人権上の問題があると思うか	148
(6)	性的少数者に関して現在どのような人権上の問題があると思うか	149
(7)	新型コロナウイルス感染症に関することから、人権がとくに尊重されていない、または侵害されていると思うこと	150
9	人権啓発について	152
(1)	「人権」をテーマとした研修・啓発イベント（講演会等）への参加状況	152
(2)	研修等で人権問題を考える（学ぶ）際に、特に重要だと思う知識や情報	162
(3)	自由記述意見（要旨）	163

■統計編

【市民】

第1表	人権問題にどの程度関心があるか	167
-----	-----------------	-----

第2表	日本の人権に関する問題で関心があるもの（※次ページへ続く）	168
第2表	日本の人権に関する問題で関心があるもの（※前ページの続き）	169
第3表	障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）の認知状況	170
第4表	本邦外出身者に対する不当な差別的発言の解消に向けた取組の推進に関する法律（ヘイトスピーチ解消法）の認知状況	171
第5表	部落差別の解消の推進に関する法律（部落差別解消推進法）の認知状況	172
第6表	これまでに、自分の人権が侵害されたと思ったことがあるか（※次ページへ続く）	173
第6表	これまでに、自分の人権が侵害されたと思ったことがあるか（※前ページの続き）	174
第7表	人権を侵害されたとき、どうしたか	175
第8表	同和問題は自分に関係のある問題だと思うか	176
第9表	同和問題の解消に向けた考え	177
第10表	同和問題に関して現在どのような人権上の問題があると思うか	178
第11表	同和問題の解決をはかるために必要なこと	179
第12表	女性に関して現在どのような人権上の問題があると思うか	180
第13表	女性の人権を守るために必要なこと	181
第14表	子どもに関して現在どのような人権上の問題があると思うか	182
第15表	子どもの人権を守るために必要なこと	183
第16表	高齢者に関して現在どのような人権上の問題があると思うか	184
第17表	高齢者の人権を守るために必要なこと	185
第18表	障がいのある人に関して現在どのような人権上の問題があると思うか	186
第19表	障がいのある人の人権を守るために必要なこと	187
第20表	外国人や外国にルーツのある人に関して現在どのような人権上の問題があると思うか	188
第21表	外国人や外国にルーツのある人の人権を守るために必要なことは何だと思うか	189
第22表	HIV感染者、エイズ患者に関して現在どのような人権上の問題があると思うか	190
第23表	ハンセン病患者・元患者や家族等に関して現在どのような人権上の問題があると思うか	191
第24表	犯罪被害者やその家族に関して現在どのような人権上の問題があると思うか	192
第25表	インターネットに関することから、人権が特に尊重されていない、または侵害されていると思うこと	193
第26表	刑を終えて出所した人に関して現在どのような人権上の問題があると思うか	194
第27表	性的少数者に関して現在どのような人権上の問題があると思うか	195
第28表	新型コロナウイルス感染症に関することから、人権がとくに尊重されていない、または侵害されていると思うこと	196
第29表	大川市人権週間講演会（12月）【大川市主催】への参加状況	197
第30表	コミュニティセンターでの人権講演会【大川市主催】への参加状況	198

第 31 表	人権啓発冊子いのちかがやけ【大川市主催】への参加状況.....	199
第 32 表	同和問題街頭啓発（7月）【大川市主催】への参加状況.....	200
第 33 表	北朝鮮人権侵害問題啓発週間パネル展示【大川市主催】への参加状況.....	201
第 34 表	人権擁護委員による人権相談【大川市外も含む】への参加状況.....	202
第 35 表	職場での研修等【大川市外も含む】への参加状況.....	203
第 36 表	P T A など学校での研修・講演会【大川市外も含む】への参加状況.....	204
第 37 表	新聞・雑誌・テレビ・ラジオ【大川市外も含む】への参加状況.....	205
第 38 表	書籍・映画・ビデオ【大川市外も含む】への参加状況.....	206
第 39 表	国・県・市町村が実施する啓発活動で効果があると思うもの.....	207

【市職員】

第 1 表	人権問題にどの程度関心があるか.....	208
第 2 表	日本の人権に関する問題で関心があるもの（※次ページへ続く）.....	209
第 2 表	日本の人権に関する問題で関心があるもの（※前ページの続き）.....	210
第 3 表	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律の認知状況.....	211
第 4 表	部落差別の解消の推進に関する法律（部落差別解消推進法）の認知状況.....	212
第 5 表	児童虐待の防止等に関する法律（児童虐待防止法）の認知状況.....	213
第 6 表	いじめ防止対策推進法の認知状況.....	214
第 7 表	高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律（高齢者虐待防止法）の認知状況.....	215
第 8 表	障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）の認知状況.....	216
第 9 表	本邦外出身者に対する不当な差別的発言の解消に向けた取組の推進に関する法律	217
第 10 表	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）の認知状況.....	218
第 11 表	性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律（性同一性障害特例法）の認知状況.....	219
第 12 表	事前登録型本人通知制度の認知状況.....	220
第 13 表	「差別」についての考え.....	221
第 14 表	「差別」についての考え.....	222
第 15 表	「差別」についての考え.....	223
第 16 表	「差別」についての考え.....	224
第 17 表	「差別」についての考え.....	225
第 18 表	同和問題に関して現在どのような人権上の問題があると思うか.....	226
第 19 表	同和問題の解決をはかるために必要なこと.....	227
第 20 表	女性に関して現在どのような人権上の問題があると思うか.....	228
第 21 表	女性の人権を守るために必要なこと.....	229
第 22 表	子どもに関して現在どのような人権上の問題があると思うか.....	230
第 23 表	子どもの人権を守るために必要なこと.....	231
第 24 表	高齢者に関して現在どのような人権上の問題があると思うか.....	232

第 25 表	高齢者の人権を守るために必要なこと	233
第 26 表	障がいのある人に関して現在どのような人権上の問題があると思うか	234
第 27 表	障がいのある人の人権を守るために必要なこと	235
第 28 表	外国人や外国にルーツのある人に関して現在どのような人権上の問題があると思うか	236
第 29 表	外国人や外国にルーツのある人の人権を守るために必要なこと	237
第 30 表	H I V 感染者、エイズ患者に関して現在どのような人権上の問題があると思うか	238
第 31 表	ハンセン病患者・元患者や家族等に関して現在どのような人権上の問題があると思うか	239
第 32 表	犯罪被害者やその家族に関して現在どのような人権上の問題があると思うか	240
第 33 表	インターネットに関することがらで、人権が特に尊重されていない、または侵害されていると思うこと	241
第 34 表	刑を終えて出所した人に関して現在どのような人権上の問題があると思うか	242
第 35 表	性的少数者に関して現在どのような人権上の問題があると思うか	243
第 36 表	新型コロナウイルス感染症に関することがらで、人権がとくに尊重されていない、または侵害されていると思うこと	244
第 37 表	大川市人権週間講演会（12 月）【大川市主催】への参加状況	245
第 38 表	コミュニティセンターでの人権講演会【大川市主催】への参加状況	246
第 39 表	人権啓発冊子いのちかがやけ【大川市主催】への参加状況	247
第 40 表	同和問題街頭啓発（7 月）【大川市主催】への参加状況	248
第 41 表	北朝鮮人権侵害問題啓発週間パネル展示【大川市主催】への参加状況	249
第 42 表	人権擁護委員による人権相談【大川市外も含む】への参加状況	250
第 43 表	職場での研修等【大川市外も含む】への参加状況	251
第 44 表	P T A など学校での研修・講演会【大川市外も含む】への参加状況	252
第 45 表	新聞・雑誌・テレビ・ラジオ【大川市外も含む】への参加状況	253
第 46 表	書籍・映画・ビデオ【大川市外も含む】への参加状況	254
第 47 表	研修等で人権問題を考える（学ぶ）際に、特に重要だと思う知識や情報	255

■資料編

市民意識調査 調査票	259
大川市職員意識調査 調査票	275

分析編

Ⅰ. 調査の概要

1 調査目的

大川市民の人権問題に関する意識・実態等を統計的手法によって把握・分析し、大川市人権教育・啓発基本計画（改定）の基礎資料を得るとともに、今後の施策に反映することを目的とする。

2 調査対象地域

大川市

3 調査対象および抽出方法

【調査対象】

- ①2022（令和4）年6月1日現在、大川市に居住している18歳以上の市民2000人
- ②2022（令和4）年7月1日現在、大川市役所に勤務している市職員（正規及び再任用職員）267人

【抽出方法】

- ①住民基本台帳から無作為抽出法により抽出

4 調査方法

- ①郵送による配布、返信用封筒による回収とWebアンケートによる回答
- ②Webアンケートによる回答

5 調査時期

- ①2022（令和4）年7月8日 郵送
2022（令和4）年7月12日～2022（令和4）年8月18日 回収
なお、調査票回収の締め切り期日は「7月29日までにポストに投函してください」としていたが、8月18日までに回収されたものを分析対象とした。
- ②2022（令和4）年7月20日 公開
2022（令和4）年7月20日～2022（令和4）年8月2日 回答

6 調査票回収状況

- ① 回収された調査票は666（Webでの回収含む）票で、その内無効票（白紙）が2票あり、有

票は 664 票 (33.2%) であった。未回収票は 1336 票 (66.8%) であった。未回収票には、未着分 12 票が含まれる。

② 回収された調査票は 208 票 (77.9%) であった。未回収は 59 票 (22.1%) であった。

7 調査企画・実施

大川市

8 調査結果の分析

総論分析 久留米市人権・同和教育研究協議会 牛島修彦 氏

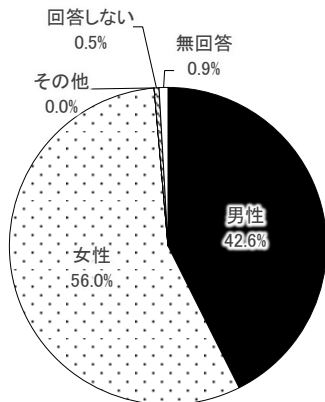
(株)サーベイリサーチセンター九州事務所

集計・各論分析 (株)サーベイリサーチセンター九州事務所

9 標本特性

市民

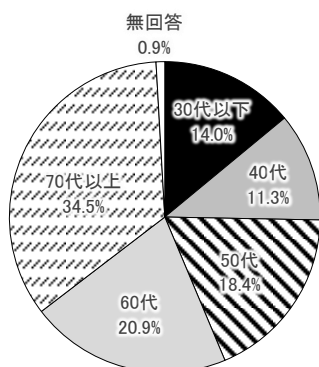
《図表 1 性別》



サンプル数	男性	女性	その他	回答しない	無回答
100.0%	42.6%	56.0%	-	0.5%	0.9%
664	283	372	-	3	6

全体(N=664)

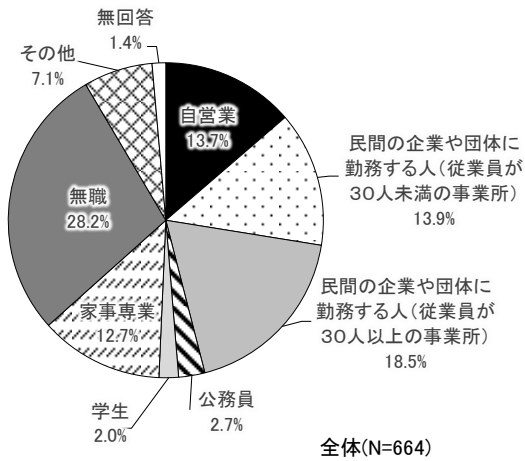
《図表 2 年齢》



サンプル数	30代以下	40代	50代	60代	70代以上	無回答
100.0%	14.0%	11.3%	18.4%	20.9%	34.5%	0.9%
664	93	75	122	139	229	6

全体(N=664)

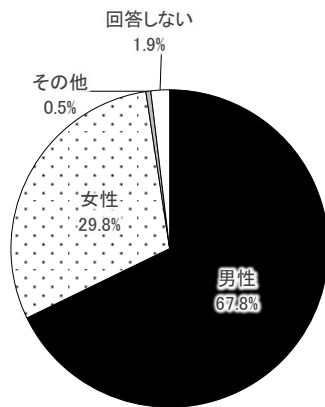
《図表3 職業》



サンプル数	自営業	0人未満の事業所(従業員が3勤)	民間の企業や団体に勤務する人(従業員が3勤)	民間の企業や団体に勤務する人(従業員が3人以上の事業所)	公務員	学生	家事専業	無職	その他	無回答
100.0%	13.7%	13.9%	18.5%	2.7%	2.0%	12.7%	28.2%	7.1%	1.4%	
664	91	92	123	18	13	84	187	47	9	

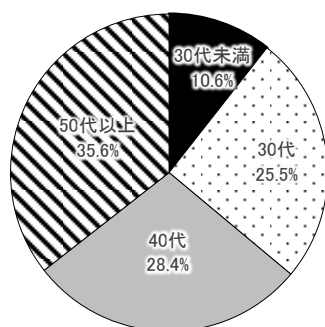
市職員

《図表4 性別》



サンプル数	男性	女性	その他	回答しない
100.0%	67.8%	29.8%	0.5%	1.9%
208	141	62	1	4

《図表5 年齢》



サンプル数	30代未満	30代	40代	50代以上
100.0%	10.6%	25.5%	28.4%	35.6%
208	22	53	59	74

10 調査結果利用上の注意

- ①単数回答の集計については、設問ごとに無回答の項目を設けて、これを含めた全体の基数（標本数）を100%としている。
なお、回答率（%）は小数点以下第2位を四捨五入しているため、数表、図表に示す回答率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- ②2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の集計については、項目別に、基数（標本数）に対するその項目を選んだ回答者の割合としている。従って、数表、図表に示す各項目の回答率の合計は100%を超える場合がある。
- ③数表、図表、文中に示すNは標本全数、nは限定された回答者の数（その質問を回答しなくてよい人を除いた数）であり、回答率算出上の基数（標本数）である。
- ④今回調査で該当する選択肢の回答がない場合、または前回調査で該当する選択肢がない場合は、数表、図表中に「-」で示している。
- ⑤数表、図表に示す選択肢は「 」で記載し、選択肢のうち、2つ以上のものを合計して表す場合は『 』としている。
- ⑦2つ以上の選択肢を合計して示している比率については、各選択肢の基数（標本数）の合計をもとに算出しているため、選択肢個々の回答比率の合計とは、必ずしも同じにならない場合がある。
- ⑧市民対象の調査結果に関し、回答者の性別を問う質問への回答結果において「回答しない」のサンプル数が少ないため、「回答しない」の性・年代別は作成せず1つに集約している。
- ⑨市職員調査結果に関し、回答者の性別を問う質問への回答結果において「不明・無回答」がないため、数表、図表中では非表示としている。

II. 調査の概要（総論分析）

1 人権問題の背景

人権が改めて問われる大きな事象として、新型コロナウイルス感染症の流行により、様々な人権侵害が問題となった。医療従事者やエッセンシャルワーカー、感染者や濃厚接触者、ワクチン接種を受けていない人に対する差別・偏見が起こっている。また、その家族も被害を受けている事象もみられる。

我が国では、すべての国民に基本的人権の享有を保障する日本国憲法の下で、国際人権規約をはじめとする様々な人権関係の条約を批准・加入し、人権が尊重される社会の形成に向けた取組を進めてきた。

特に1965（昭和40）年の同和対策審議会答申を受けて、1969（昭和44）年に「同和対策事業特別措置法」を施行し、以後二度にわたる法改正を経て、約33年間、特別対策を実施してきた。また、1996（平成8）年の地域改善対策協議会意見具申では、「同和問題など様々な人権問題を1日も早く解決できるよう努力することは、国際的な債務である。」としている。一方、国連で「人権教育のための国連10年」が決議されたことを受けて、1997（平成9）年に「人権教育のための国連10年に関する国際行動計画」を策定した。同年に、「人権擁護施策推進法」に基づく「人権擁護推進審議会」が法務省に設置され、その中で、今後の人権施策は、「人権教育・啓発の推進」と「人権侵害救済措置」を両輪としていくとの見解が示された。

これを受けて、国は2000（平成12）年に「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」を制定した。この法律は、人権擁護推進審議会の答申を踏まえて、人権教育・啓発に関する理念、国・地方公共団体・国民の責務の明確化、基本計画の策定や年次報告を主な内容としている。また、国は、この法律の中に規定した「国は、人権教育及び人権啓発に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、人権教育及び人権啓発に関する基本的な計画を策定しなくてはならない。」（第7条）に基づき、2002（平成14）年に「人権教育・啓発に関する基本計画」を策定した。その後、人権に係る諸法律が制定されている。特に2000（平成12）年には、「児童虐待の防止等に関する法律」が施行され、2001（平成13）年には「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」が施行（一部は2002（平成14）年に施行）されている。また、2006（平成18）年には、「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」が、2012（平成24）年には、「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」が施行された。さらに、2013（平成25）年には「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）」が施行されている。2016（平成28）年には、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」、「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」、「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行された。

福岡県においては、2018（平成30）年に、「福岡県人権教育・啓発基本指針」を改定し、人権教育・啓発の推進に取り組んでいる。学校教育の分野では、同和教育副読本『かがやき』や、その内容を補完するDVD版の人権教育教材集「あおぞら」による人権教育が行われてきた。さらに2018（平成30）年には、近年の人権課題に対応する教材として「あおぞら2」を新たに作成している。

ここでは、2017（平成29）年に内閣府で調査された全国を対象とした「人権擁護に関する世論調査」、2022（令和4）年に示された福岡県の「人権問題に関する県民意識調査」、2012（平成24）年

に調査された本市の「人権問題に関する市民意識調査」などを参考にしながら、本調査結果をもとに、できるだけ数値の根拠をもって客観的な総合分析をすることとする。

2 人権問題全体の現状と課題

(1) 関心がある人権問題

関心がある人権問題について尋ねたところ、市民では、「高齢者に関する問題」が最も多く 44.1%（国：36.7%、県：32.4%）であった。また、前回調査（2012年）においても、社会全体で取り組むべき人権問題を尋ねた結果で最も割合が高い人権問題は「高齢者に関する問題」で 61.3%となっており、本市における高齢者の人権問題への意識の高さがうかがわれる。一方、今回の調査において、本市の市職員では「高齢者に関する問題」の割合は 23.6%となっている。また、国、県の調査をみると、国では「障がい者に関する問題」（51.1%）の割合が最も高く、県では「インターネット等による人権侵害に関する問題」（55.8%）が最も高くなっている。

また、本市の市民では「障がいのある人に関する問題」（42.0%）及び「子どもに関する問題」（40.1%）が、4割以上の回答を得ている。この点については、前回調査で、社会全体で力をいれて取り組まなければならないと思う人権問題として回答された割合で「高齢者に関する問題」（61.3%）に次いで上位だったのが、「子どもに関する問題」（51.0%）と「障がい者に関する問題」（31.7%）であった。また、市職員においては、「インターネット等による人権侵害問題」が 53.4%で最も多く、「子どもに関する問題」と「女性に関する問題」が4割以上となっている。このことから、高齢者関連以外にも注視して取組を進めていく必要がある。

(2) 人権に関する法律の認知

差別解消3法といわれる、部落差別解消推進法、ヘイトスピーチ解消法、障害者差別解消法についての認知状況について市民及び市職員に対して尋ねた。その結果、市民はいずれの法律においても4割以上が「知らない」と回答している。市民の間ではこの差別解消3法についてはあまり浸透していないという結果になっている。一方「名前だけは聞いたことがあるが、内容は知らない」と回答した市民は3割である。「名前は聞いたことがある」との市民の回答は、一定の啓発が進んでいるのではないかと考える。これらの法律の内容の認知については、啓発のあり方を工夫し、あらゆる機会を通じてより丁寧に周知を図っていく必要がある。

また、市職員に対しては、市民に尋ねた法律に加えて、計10の法律及び制度の認知を尋ねた。その結果、大半の回答者が「言葉だけ聞いたことがある」または「知らない」と回答しており、内容までは理解できていない市職員が多いのは大きな課題である。

市職員は「特定職業従事者」として、市民に法律の内容を説明し人権行政を推進する立場にある。今後、市として研修のあり方をさらに深化充実して、人権の法律及び制度の周知徹底を図ることが求められる。

(3) 人権侵害の経験・対応

市民に対して、「これまでに、自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか」と尋ねた結果、全体として、「特にない・わからない」が 49.8%で最も多く、次いで「根拠のない悪い噂、他人からの悪口、かげ口」（23.2%）、「仲間はずれ、嫌がらせ」（16.3%）の順となっている。性・年

代別では、女性の30代・40代は「根拠のない悪い噂、他人からの悪口、かげ口」が最も多くなっている。したがって、人権を侵害する行為は少なからず存在している。

また、人権を侵害されたときにどうしたかについては、「特に何もしなかった」(37.1%)が最も多くなっている一方で、それ以外の方法をみると、「家族や親類に相談した」(31.8%)、「友人や先輩に相談した」(31.5%)が他と比較して顕著に多かった。

人権侵害を受けたと感じても、警察や弁護士等の公的機関に相談する市民の割合は2割以下と少ない。したがって、公になっている人権侵害事象は、氷山の一角であることを認識することが重要である。

(4) 同和問題に関する意識

「同和問題は、あなたに関係のある問題だと思いますか」という問に対して、男女いずれの年代も「自分に関係のない問題だと思っている」が半数以上となっており、前回調査でも同様の結果がみられている(前回調査:「自分に関係のない問題だと思っている」67.3%)ことから、市民の同和問題に対する関心の低さが浮き彫りとなっている。また、職業別にみると、公務員は6割以上が「自分に関係のある問題だと思っている」と回答している。公務員は、同和問題に対して一定の研修が積み重ねられている。したがって、同和問題への関係意識をもっていると考えられる。一方、他の職種では「自分に関係のない問題だと思っている」と回答している市民が半数以上となっている。この点から市民の同和問題研修への参加の有無が関係意識の差に現れてきていると考えられる。

県では「部落差別(同和問題)は一部の人の問題で、自分とは関係ない」という意見に対する回答者の意識・態度を質問しており、「どちらともいえない」が33.8%で最も多くなっている。また、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は42.1%で、「どちらかといえばそう思う」と「そう思う」を合わせた割合は21.7%となっている。これを踏まえると、県全体としては、関係があると捉えている人の方が多くなっている。本調査では選択肢を2択しか設けていないため、その点で回答形式に違いがあるものの、県全体との同和問題に対する態度が大きく異なっている。

「同和問題に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか」という問について、市民の結果で「特にない・わからない」(41.7%)に次いで割合が高いものは「結婚を周囲から反対されること」(33.9%)であり、前回調査においても「結婚問題で周囲が反対すること」は41.8%となっていた。また、今回調査で市職員にも同様の質問をした結果、「インターネットに差別的な情報を掲載すること」と「結婚を周囲から反対されること」が半数以上となっている。

同和問題は自分には関係ない問題だという市民のうち、「部落差別はすでに社会からなくなっているから自分と同和問題を関係づけられない」と考えているのではないかと想定される。このような考えの市民に対しては部落差別の現状を知るための学習が必要であると考えられる。一方で「部落差別はある」と考えている市民も存在しているというところは注視する必要がある。

部落差別があることを認めつつ自分には関係ないという態度は、差別的な態度であり、そのような態度から「差別をなくす」側に立つ意識になるための学習機会を意図的計画的に取り組んでいく必要がある。

「同和問題の解決をはかるために必要なことは何だと思いますか」という問の回答として、「特にない・わからない」以外の選択肢の中では、「人権を大切にする教育活動・啓発活動を積極的に行う」(市民:25.8%、市職員:59.1%)が最も割合が高くなっている。職業別にみると、公務員の6

割以上が「人権を大切にす教育活動・啓発活動を積極的に行う」と回答している。また、市職員では「市民が自ら人権について学ぶ場を充実すること」で40.4%の回答を得ており、市民(19.1%)よりも21.3ポイント上回っている。一方、職業別にみると、学生の6割以上が「市民が自ら人権について学ぶ場を充実すること」と回答している。市民の中でも学生や公務員が他の職種と比べて同和問題を学ぶ機会が多いのではないかと考えられる。したがって、同和問題の解決への意識が高くなっているといえる。

(5)同和教育・啓発

「同和問題に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか」という問に対して、「特にない・わからない」以外の選択肢の中では「結婚を周囲から反対されること」(33.9%)ことが最も高い数値になっている。この問は前回の調査においても41.8%となっていて、同和問題に対して、問題意識を持っている市民は3割を超える状況である。しかし一方で、「同和問題は、あなたに関係のある問題だと思いますか」という問に対して「自分に関係のない問題だと思っている」と回答した市民が半数以上になっていて、同和問題に関して問題意識を持つに至っていない状況となっている。

また、「同和問題の解決をはかるために必要なことは何だと思いますか」という問に対して、「特にない・わからない」と回答した市民が29.2%になっている。前回調査の12.6%から倍以上の数値になっている。この要因としては、2002(平成14)年の同和対策特別措置法が切れたあとの市民啓発のあり方が問われているのではないかと考える。とりわけ、「同和問題に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか」という問に対しては、70代以上の市民の半数以上が「特にない・わからない」と回答している。この年代は、地域の啓発活動の中核を担っている層ではないかと考えるが、同和問題に関する問題意識は低くなっている。これは、学生時代に人権・同和教育を受けていないことや地域等で計画実施される研修への参加が少なくなっていることが理由ではないかと考えられる。

同和問題の解決方法について、「人権を大切にす教育活動・啓発活動を積極的に行う」(25.8%)と「市民自ら人権について学ぶ場を充実すること」(19.1%)を合わせると44.9%となり、市民の半数近くが学習の必要性を求めている。2016(平成28)年に施行された部落差別解消推進法の趣旨・内容を踏まえ、同和問題の解決に向けて改めて市民に丁寧に啓発していく必要がある。

3 女性の人権について

今日においても賃金格差や子育て環境の不十分性があることは否めない事実である。国連は、女性に対する問題を1975(昭和50)年に「国際婦人年」として提起し、その後、1979(昭和54)年に「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約」を採択した。

我が国においては、1985(昭和60)年には「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約(女性差別撤廃条約)」を批准し、1986(昭和61)年に「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律(男女雇用機会均等法)」を施行した。また、1987(昭和62)年には「西暦2000年に向けての新国内行動計画」が、1996(平成8)年には「男女共同参画2000年プラン」が策定されている。1999(平成11)年には「男女共同参画社会基本法」が施行、2000

(平成12)年にはその基本計画が示され、2020(令和2)年には「第5次男女共同参画社会基本法」が策定されている。

福岡県では、2021(令和3)年に「第5次福岡県男女共同参画計画」、「第4次福岡県配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する基本計画」を策定し、取組が進められているところである。

本市の市民への調査においては、「女性に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか」という問について、「男は仕事、女は家庭」等の男女の固定的な役割分担意識を押し付けること、または押し付けられること」が40.2%で最も多くなっている。前回調査で最も多かった「就職の機会が少ないことや、企業に雇われるとき、賃金、昇給、昇給、職種等の差別を受けること」については、今回調査では6.8ポイント減少し37.5%となっている。また、次いで、前回多かった「女性の社会進出のための支援制度が整っていないこと」についても7.8ポイント減少し32.2%となっている。また、県では「職場における差別待遇(採用・昇格・仕事内容・賃金など)」が50.7%、「女性の社会進出のための支援制度」が26.3%となっている。この点から、市でも県でも職場における差別待遇は多くの回答者が問題視していると考えられる。また、女性の社会進出については、回答率でみると県よりも市のほうが問題視している回答者が多いことから、女性への支援体制を強化する必要がある。また、男女の固定的な役割分担意識については、国では33.3%、県では50.4%となっており、県全体としての問題意識の高さがうかがわれる。

また、本市の市職員への調査においては、「妊娠、出産を理由に不当な扱いを受けること(マタニティ・ハラスメント)」が63.5%で最も多く、次いで「男は仕事、女は家庭」等の男女の固定的な役割分担意識を押し付けること、または押し付けられること」が半数以上となっている。回答者が市職員であることで、仕事に関することがより問題視されているのではないかと考えられる。

今後も、あらゆる機会を捉えた男女共同参画に関する広報・啓発活動を行う必要がある。広報誌や市のホームページなどを活用した啓発を推進し、国や県の取組についても積極的に情報収集・提供を行うだけでなく、各種の関連事業との連動、地域や職場等での男女の偏りがある社会に対し、男女共同参画の視点に立った啓発を行うことも求められる。人間形成の基礎が養われる幼児期に、男女が共に協力することやお互いを思いやることの大切さを教えるなど、男女共同参画の視点に立った就学前教育が必要であり、学校教育における男女共同参画意識・実践力の充実も求められる。

女性の人権を守るために特に必要なこととして、市民・市職員ともに過半数が回答した「保育などの施設や制度を整え男性も女性も安心して働けるようにすること」のために事業所に向けた男女共同参画についての啓発の推進、男女が職場で能力を十分に発揮できるように、「男女雇用機会均等法」や「労働基準法」の遵守の事業所への啓発、出産や子育ての中の就業を継続できるよう、事業所に対し制度としてだけでなく実践されるものとして「育児・介護休業法」の遵守・活用についての啓発が課題である。

男性も生活者として自立し、仕事と生活の調和について、事業主へ職場での教育・啓発の働きかけをすると共に、事業主・労働者に対して、理解を深めるための情報提供なども求められる。

4 子どもの人権について

国際的には、世界中で起きている児童虐待や強制労働・少年兵士として強要されているなどの問題から、国連は1979（昭和54）年に「国際児童年」を制定し、1989（平成元）年には「児童の権利に関する条約」を定め、子どもの権利を守ることに努めている。

我が国では、1994（平成6）年に「児童の権利に関する条約」を批准し、1998（平成10）年には「児童福祉法等の一部を改正する法律」が施行され、増加する児童虐待を防ぐため2000（平成12）年に「児童虐待の防止等に関する法律」が施行された。また、少子化問題から2003（平成15）年に「次世代育成支援対策推進法」が制定され、2014（平成26）年にはその有効期限が10年間延長された。2016（平成28）年には「児童福祉法」が改正され、2020（令和2）年には、一部改正された「児童虐待の防止等に関する法律」が施行された。

福岡県では、2005（平成17）年には「福岡県次世代育成支援行動計画」の前期計画、2010（平成22）年には後期計画が定められている。また、2020（令和2）年に「福岡県社会的養育推進計画」が策定され、2022（令和4）年には新たな「福岡県青少年健全育成総合計画」を策定している。

子どもの人権に関する問題点として本調査の結果は、「親が子どもに身体的・心理的な虐待を加えたり、子育てを放棄すること」が市民・市職員ともに7割以上で最も多く、次いで、「子どもが子どもをいじめる、暴力を振るう、子どもがその様子を見て見ぬふりすること」（市民：52.7%、市職員：61.5%）となっており、「虐待」や「いじめ」に関する意識が高いと考えられる。また、新たに選択肢として追加された「本来、大人が担う家事や家族の世話などを日常的に行っていること（ヤングケアラー）」については、大川市・県ともに3割以上、大川市職員では5割近くになっており、新たな問題として注視していくことが求められる。

子どもの人権を守るために必要なこととしては最も割合が高いのは「子どもに対する虐待の早期発見や予防策の充実に努めること」（市民：58.6%、市職員：66.3%）、「学校でのいじめ問題の防止の強化を図ること」（市民：55.6%、市職員：54.8%）がともに5割以上となっており、この2つの対応が強く求められているといえる。

また、「地域・学校で子どもを育む気運の高揚を図ること」（市民：45.0%、市職員：53.4%）、「薬物や性的な犯罪などから子どもを守ること」（市民：39.9%、市職員：50.5%）、「学校教育等での人権教育の充実に努めること」（市民：37.0%、市職員：52.4%）、「子どもを対象とした相談、カウンセリング事業の充実に努めること」（市民：35.4%、市職員：49.0%）となっており、社会全体で子どもの健全育成の環境づくり及び子どもの相談窓口の充実が課題といえる。

課題としては、地域における子育て支援や地域指導者による青少年健全育成事業の総合的推進、職場体験や「子育てサロン」における中学生・高校生との交流などによる次世代の親の育成、子どもの生きる力の育成に向けた学校教育環境等の整備、家庭教育推進事業の家庭・学校・地域等との連携実施などによる家庭や地域の教育力の向上、子どもへの危機管理・安全教育の充実、要保護児童への対応など、さらなるきめ細やかな取組の推進が求められる。

5 高齢者の人権について

我が国では2019（令和元）年10月時点で65歳以上の高齢者の割合は28.4%に達し、世界でもまれな超高齢化社会を他の国に先駆けて急激に迎え、年金問題や介護問題など、対策の遅れもみられている。国連は、高齢者の自立、参加、ケア、自己実現及び尊厳の5項目を実現するために、1991（平成3）年に「高齢者のための国連原則」を定め、1999（平成11）年を「国際高齢者年」に制定した。また、急速に進んでいる高齢化社会に対応するため、1989（平成元）年に「高齢者保健福祉推進10カ年戦略（ゴールドプラン）」を策定、1999（平成11）年に「高齢者保健福祉5カ年計画（ゴールドプラン21）」を策定しており、介護保険制度導入に向けた「介護保険事業計画」の策定が、2000（平成12）年より全国の自治体で行われてきた。

福岡県では、2021（令和3）年に「福岡県高齢者保健福祉計画（第9次）」を策定し、取組が進められているところである。

今回の調査結果では、高齢者に関する人権問題として「高齢者をねらった悪徳商法や振り込め詐欺」（市民：57.1%、市職員：69.7%）が市民・市職員ともに最も多く、市民については前回調査と比較すると8.5ポイント増加している。次いで多いのは「介護を必要とする高齢者の介護体制・介護環境が十分でないこと」（市民：52.4%、市職員：53.8%）であり、このような不安の解消のために早急な対応が求められる。また、市民においては「生活に必要な情報がひとり暮らしの高齢者等に伝わりにくいこと」（44.7%）が前回調査よりも10.5ポイント増加しており、不満が解消されていないと考えられるため、対応が求められる。また、高齢者の人権を守るために必要なこととして、市民・市職員ともに「生きがいを持って生活できる環境づくりに努めること」（市民：61.3%、市職員：63.9%）が最も多い回答となっている。心の豊かさを含んだうえで、総合的な高齢者支援が求められていると考えられる。また、「保健、医療、福祉のサービスや利用施設を充実させること」（市民：57.1%、市職員：53.8%）が市民・市職員ともに5割以上となっている。さらに、「高齢者のための相談・支援制度の充実を図ること」は市職員で56.7%、市民で45.6%となっており、既存の相談体制における課題を提示しているといえる。関係団体やNPOなどとも協働しながら高齢者の介護や援助活動に関わる職員や家族に対して高齢者の人権に関する教育・啓発がさらに求められる。改めて地域コミュニティの強化を図り、ひとり暮らし高齢者の見守り、生きがい喪失の解消のため生涯学習の充実、就労を希望する高齢者への支援によって高齢者が尊厳をもって、今後も地域の中でその能力が生かされる地域づくりが必要である。学校・社会教育において世代間の交流、また、介護・福祉体験の中で高齢者と直接かかわることを通じて高齢者への理解を深めることも考えられる。

保健・医療・福祉サービスを総合的・包括的に提供し、経済的な自立、生活の維持・向上、住宅・建物・交通等におけるバリアフリー化、社会活動への参加や高齢者福祉サービス等の選択など、高齢者が自ら決定できる権利の擁護が基本である。また、自己決定が困難な場合には、成年後見制度の活用等により権利の擁護が基本である。また、自己決定が困難な場合には、成年後見制度の活用等により権利を擁護し、ひとり暮らしの高齢者等への悪徳商法の犯罪防止を図り、高齢者虐待を防止する取組への工夫が求められる。孤立化が言われる今日、相談事業としてネットワークをはかる中でワンストップでできる体制を構築するとともに高齢者に寄り添うべき相談委員の資質が問われる。

6 障がいのある人の人権について

格差社会がいわゆる今日、自立を求められている障がいのある人の人権が改めて問われてきている。1981（昭和56）年に「国際障害者年」が制定され、1983（昭和58）年に「障害者のための国連10年」が始まった。

我が国では、1993（平成5）年に「心身障害者対策基本法」が「障害者基本法」に改められ、この基本法から全員参加の社会づくりをめざした「障害者対策に関する新長期計画」が策定された。なお、「障害者基本法」は、2011（平成23年）に改正が行われ、基本的施策の追加などが行われている。また、2006（平成18）年に、障がい福祉サービスの一元化等を主眼とした「障害者自立支援法」を施行し、2013（平成25）年に「障害者総合支援法」として改正された。

福岡県においても、2021（令和3）年に「福岡県障害者福祉長期計画（第3期）」と「福岡県障がい者福祉計画（第5期）・福岡県障がい児福祉計画（第2期）」が策定され、取組が進められているところである。

本調査において、「障がいのある人に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか」という問に対しては「人権上の配慮に欠けた差別的な言動をされること」が50.9%と最も割合が高く、前回調査からは3.3ポイント増加している。また、市職員では「人権上の配慮に欠けた差別的な言動をされること」と「就職が困難であったり、賃金などの労働条件で不利に扱われたりすること」が6割以上となっており、課題解決が求められる項目といえる。また、「道路や段差やエレベーターの未設置など、利用に支障があること」（市民：36.7%、市職員：53.8%）、「障がいを理由に、意見や行動が尊重されないこと」（市民：32.8%、市職員：48.6%）は特に市職員において5割近い回答を得ている。障がいのある人にとっても安心できる体制の整備や、周りの理解が不足していることといえる。

障がいのある人の人権を守るために必要なこととしては、市民において最も割合が高いのは「保健、医療、福祉のサービスや利用施設を充実させること」（50.6%）である。次いで「幼少期からの障がいのある人に対する理解を深める保育や教育を行うこと」（45.9%）、「就職機会の確保、賃金などの労働条件を安定させること」（43.2%）、「障がいのある人のための相談・支援制度の充実を図ること」（41.1%）と続いている。一方、市職員では「就職機会の確保、賃金などの労働条件を安定させること」（59.6%）が最も高い割合となっている。いずれも重要な課題であり、ニーズを的確に把握して、総合的に改善していくことが求められる。

本市では既に広報紙・ホームページ等を通じて、障がい者週間などのあらゆる機会を通じた啓発、障がいのある人もない人も参加できるイベントの開催や、学校教育ではアイマスクや車いすを利用した疑似体験を通じた教育活動を進めている。今後も継続・発展させ、障がいのある人について正しい理解を深め、差別意識を解消するため、障がい当事者によるイベント開催等による啓発や周知等のさらなる工夫が求められる。

生活の自立を目指して地域での社会参加を促進するため、障がいのある人に対する在宅や屋外における雇用の促進、職場における正しい理解の推進、働きやすい職場環境の整備が必要である。また、教育においては、特別支援教育や障がいのある人との交流活動の充実が求められる。さらに、判断が十分にできない障がいのある人の権利侵害を防止するために、成年後見制度の利用促進、人権に係る相談支援体制を充実するとともに、関係機関が有機的に連携することによって障がいのある人の立場に立った人権保障がなされることが求められる。

7 外国人や外国にルーツのある人の人権について

我が国では、1981（昭和56）年に「難民の地位に関する条約」を、翌年には「難民の地位に関する議定書」の締結を行うなど、人権に関する国際条約への加入を進め、2004（平成16）年には「すべての移住労働者及びその家族の権利保護に関する条約」を批准している。さらに人権尊重の観点から、「日本学生支援機構法・公営住宅関係4法・児童手当3法・国民年金法・国民健康保険法」に定められた国籍条項を撤廃し、「外国人登録法」の改正により、指紋押捺が廃止されるなどの取組が進められている。2016（平成28）年には「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」（いわゆる「ヘイトスピーチ解消法」）が施行された。

福岡県では、1999（平成11）年に「学校教育における在日外国人の人権に関する指導上の指針」を示し、2007（平成19）年に国際交流局を創設して国際理解教育の推進に努めている。

本調査結果から外国人や外国にルーツのある人に関する人権問題として市民の回答で最も多いものは「就職が困難であったり、労働条件で不利な扱いを受けること」の39.5%で、県の44.1%と比較すると4.6ポイント下回っているものの、4割近くの人が問題意識を持っているという点から、労働環境の公平性が求められているといえる。次いで「特定の民族や国籍であるがため、差別的な言動をされること（ヘイトスピーチ）」（37.7%）、「病院等に十分な外国語表記がなかったりサービスが受けにくいこと」（30.7%）と続いており、社会に受け入れられにくい、必要な情報が得にくい状況は相互理解を進める必要を示しているといえる。一方、市職員では「特定の民族や国籍であるがため、差別的な言動をされること（ヘイトスピーチ）」が62.0%で最も高く、次いで「就職が困難であったり、労働条件で不利な扱いを受けること」（54.3%）となっており、市民と比べて問題意識が高いといえる。

外国人や外国にルーツのある人の人権を守るために必要なこととして、市民では「就職の機会・賃金・労働条件の平等を確保すること」（37.3%）が最も割合が高く、次いで「日常生活に必要な情報や案内を多言語化して充実を図ること」（33.4%）であり、その充実・改善が求められているといえる。一方、市職員では「学校教育、生涯学習における人権教育や国際理解教育を充実すること」と「日常生活に必要な情報や案内を多言語化して充実を図ること」がそれぞれ5割以上となっており、教育面と日常生活面で外国人や外国にルーツのある人への視点をもつ体制が必要であるといえる。国際化の進展に伴い、今後も学校教育や社会教育等で外国人や外国にルーツのある人をゲストティーチャーとして迎え、文化や習慣についての理解を深めたり、多様な価値観や文化的背景を認識・理解したりすることを目的とした講演会等の啓発事業の取組の充実が求められる。家庭・学校・地域等が連携して外国人や外国にルーツのある人に対する人権意識の育成が求められる。多元的な文化を認め、共生する社会の構築に向けた教育、啓発事業、事業主に対する適正な雇用及び労働環境の整備・促進に向けて広報・啓発も必要である。また、市政情報の提供や、生活、福祉・保健、就業等の相談体制の整備も求められる。

8 様々な人権問題について

HIV感染者、エイズ患者に関する人権問題

我が国では、近年H I V感染者とエイズ患者の報告数が減少している傾向にあるが、2021（令和3）年の報告感染者数は、H I Vが742件、エイズが315件と未だ感染が確認されている。

今回の調査において、H I V感染者、エイズ患者に関して現在どのような人権上の問題があると思うかについて尋ねた結果、問題として捉えられている中で最も多かったものは「感染者や患者が特別な目で見られること」（市民：35.7%、市職員：61.1%）であった。県では同様の項目が41.6%となっており、大川市民の結果が県の結果を5.9ポイント下回っている。しかし、市職員においては6割の回答者が問題であると捉えていることから、今後改善に向けた取組が求められる。また、「感染者や患者が病院での治療や入院を断られること」（市民：27.9%、市職員：32.7%、県：36.9%）、「感染していると分かった人が、退職や退学に追い込まれること」（市民：27.4%、市職員：33.7%、県：40.0%）などの生活に密接にかかわる問題が指摘されていることは今後の課題である。学校教育等でH I Vやエイズに関することを学び、理解することが求められる。

ハンセン病患者・元患者や家族等に関する人権上の問題

我が国では1953（昭和28）年に「らい予防法」が制定され、ハンセン病患者の隔離を行っていたが、1996（平成8）年に廃止された。また、1998（平成10）年には「らい予防法」違憲国家賠償請求訴訟の判決が下され、国に対して損害賠償請求が命じられた。2019（令和2）年に国は「ハンセン病元患者家族に対する補償金の支給等に関する法律」を施行した。

今回の調査において、ハンセン病患者・元患者や家族等に関して現在どのような人権上の問題があると思うかについて尋ねた結果、問題として捉えられている中では、「地域社会での正しい知識と理解が十分でないこと」が市民・市職員ともに最も多くなっている（市民：43.1%、市職員：66.3%）。これは県の調査においても51.4%となっており、理解や知識を補うことのできる機会を作る必要があるといえる。市職員では「差別的言動を受けること」が45.2%で2番目に高くなっているのに対して、市民では26.8%となっており、県（38.5%）を11.7ポイント下回っている。

犯罪被害者やその家族に関する人権上の問題

我が国では、犯罪被害者等の権利利益の保護を目的として2005（平成17）年に「犯罪被害者等基本法」が施行された。

福岡県では、2018（平成30）年に「福岡県犯罪被害者等支援条例」が施行された。

今回の調査において、犯罪被害者やその家族に関して現在どのような人権上の問題があると思うかについて尋ねた結果、「犯罪行為によって身体的・精神的に被害を受け、経済的負担など長期間被害に苦しむこと」が市民（54.1%）・市職員（76.0%）ともに最も多くなっている。また、県の調査においても56.6%となっており、身体的・精神的な被害を和らげるような取組や生活環境の支援等が必要とされているといえる。

インターネットに関することから、人権が特に尊重されていない・侵害されていると思うこと

現在、インターネットの普及に伴い、SNS等での誹謗中傷が問題視されており、匿名で書き込みを行うことができるという点が書き込みをしやすくするだけでなく、誹謗中傷をしている本人特

定を難しくするなど課題となっている。我が国では、SNS等で誹謗中傷した者の情報開示を迅速に行うことが可能にすることを目的として「プロバイダ責任制限法」を改正し、2022（令和4年）年10月1日に施行された。

今回の調査において、インターネットに関することから、人権が特に尊重されていない・侵害されているということについて尋ねた結果、「他人を誹謗（ひぼう）・中傷（ちゅうしょう）する表現を掲載していること」が市民（65.5%）・市職員（86.1%）ともに最も多くなっている。また、「ソーシャルメディア（SNS）等で悪質・不快な書き込みをされること」の割合が次いで多く（市民：45.9%、市職員：67.8%）となっている。相手の気持ちを尊重しないことによる安易な書き込み等の人権侵害が問題視されていると考えられる。書き込む言葉が誰かを傷つけるようなものでないかの確認を心掛けるなど、個人で実践できる対策の呼びかけや、インターネットに関する人権啓発を強化すべきである。

刑を終えて出所した人に関する人権上の問題

我が国では、刑を終えて出所した人やその家族に対する差別が発生しており、就労等の社会復帰も困難になっているという課題がある。2006（平成18）年から刑務所出所者等総合的就労支援対策を実施し、ハローワーク等と連携して支援を行っている。

今回の調査において、刑を終えて出所した人に関して現在どのような人権上の問題があると思うかについて尋ねた結果、「更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」が市民（47.6%）・市職員（56.7%）ともに最も多くなっている。また、県においても49.7%と半数近くが問題と捉えている。

性的少数者に関する人権上の問題

性的少数者と言われる人が少なからずいる一方で、我が国では法整備が十分でないことが課題となっている。最近では、「LGBTQ」などの性的少数者に関する言葉をよく耳にするようになった。性的少数者という理由から学校や職場での差別がある。また、日本では「同性婚」が認められておらず、同性カップルが婚姻関係を結べないことにより、相続や病院での面会などの様々な場面での扱いが不利であることが問題となっている。また、裁判で憲法違反を訴える人々が現れるなど、早急な解決が求められているといえる。

今回の調査において、性的少数者に関して現在どのような人権上の問題があると思うかについて尋ねた結果、「差別的言動を受けること」については、市民は37.7%で県（43.9%）の結果を下回っている。一方で、市職員は54.3%となっており半数以上が問題視している結果となった。また、市職員は「性的少数者に対する理解が足りないこと」について61.1%が問題として回答しており、市民（34.5%）及び県（43.3%）を上回っている。市職員は市民と比較して、問題意識が高いといえる。

新型コロナウイルス感染症に関することから、人権がとくに尊重されていない、または侵害されていると思うこと

現在、新型コロナウイルス感染症の流行により差別や偏見が問題となっている。感染者、濃厚接触者、医療従事者やエッセンシャルワーカー、ワクチン接種を受けていない人等、様々な人が被害を受けている。

今回の調査において、新型コロナウイルス感染症に関することから、人権がとくに尊重されていない、または侵害されていると思うことについて尋ねた。その結果、「医療従事者やその家族が、差別的な発言や行為を受けること」が市民では 35.4%となっているのに対し、市職員では 49.5%が問題としている。また、市職員では「ワクチンの接種を強制したり、接種しないことを理由に不利益な扱いを受けること」(47.1%)、「非正規労働者やひとり親世帯が解雇や雇い止めにあい、生活に困窮すること」(44.2%)、「感染者個人の名前や行動を特定し、SNS等で公表・非難すること」(40.9%)が4割以上となっている。

9 人権問題の啓発活動について

今回の調査において、人権に関する啓発や研修等に参加（読んだり、見たり）したことがあるかどうかを尋ねた。その結果、市民においては「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」以外はすべて「参加（読んだり、見たり）したことはない」が最も多く、「職場での研修等」と「書籍・映画・ビデオ」を除き、6割以上となっている。一方、市職員では「大川市人権週間講演会（12月）」、「職場での研修等」、「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」、「書籍・映画・ビデオ」については、参加（読んだり、見たり）したことがある人のほうが多くなっている。特に、「職場での研修等」や「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」については7割以上が参加（読んだり、見たり）したことがあるという結果となっている。

啓発活動については、職場での研修のように身近なところに機会があれば参加しようと思いやすくなるのではないかと考えられる。市民が普段利用することの多い場所をそのような啓発活動の場にするなど、人権活動に触れやすくする取組が求められる。

10 さまざまな人権課題に関連する法律や用語等について（市職員対象）

市職員に対して、さまざまな人権課題に関連する法律や用語等についての認識を尋ねたところ、「事前登録型本人通知制度」についてのみ、「知らない」という回答が 69.7%となっている。一方、「事前登録型本人通知制度」以外の項目については、「言葉だけ聞いたことがある」が半数以上となっている。どの項目においても「人に説明できる」と「おおよそ知っている」を合わせても半数未満であることは、市職員における認識が浅いことがいえる。今後の課題として、法律の中身を学習できるような機会を増やし、認識率が低かった制度についても周知することが求められる。

11 差別についての考え（市職員対象）

市職員に対して、差別についての考えを尋ねたところ、「差別の原因には、差別される人の側に問題があることも多い」、「差別に対して抗議や反対をすることで、かえって問題が解決しにくくなる」については、それぞれ「あまりそう思わない」が 57.0%以上で最も多くなっている。一方、「どのような手段を講じて、差別を完全になくすことは無理だ」、「差別を受けてきた人に対しては、行政の支援が必要である」については「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた割合が7割以上となっている。また、「差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが

必要である」については、「そう思う」（46.2%）と「ややそう思う」（43.8%）を合わせた割合が90.0%となっている。

これらのことから、差別が完全になくなることは無理だと考えている市職員のほうが多い一方で、差別問題への関心・無関心に関係なく理解してもらふ必要性はあると考えているといえる。今後はこの点をふまえて、差別への理解向上の機会や差別を受けた人に対する行政の支援等が求められる。

12 研修等で人権を学ぶ際に重要なこと（市職員対象）

市職員に対して、研修等で人権問題を考える（学ぶ）際に、特に重要だと思う知識や情報について尋ねたところ、「人権問題の実態」（67.8%）が最も多く、次いで「解決に向けた取り組み」（53.8%）、「社会の意識」（47.6%）となっている。

このことから、今後研修等で人権に関する話題を考える（学ぶ）機会を設ける際には、人権問題の実態や社会の意識を内容の中に踏まえた説明が必要だと考えられる。また、人権問題の解決に向けた取組についても知ることができる内容とすることが求められる。

13 調査結果からの考察

（1）体系的・計画的取組

今後の同和問題をはじめとする様々な人権問題に対して国際化・情報化・高齢化・地域分権化等の現在の社会的な状況を踏まえながら、体系的・計画的な取組が必要である。

1) 目的や目標の明確化

事業を無制限に拡充することはいうまでもなく不可能であり、全体的な目的と個々の目標の関係性を明確にしながらか構造的に整理し、短中長期計画を立て、優先順位をつけていくことが緊要である。その際には、人的・財政的な裏付けが必要である。

2) 生涯学習の観点からの体系性

① 世代に応じた教育を

乳幼児期・少年期・青年期・成人期・高齢期といったそれぞれの年代ごとの人権・同和問題解決への課題を明確にし、それぞれの年代に合った施策が必要である。その際、各年代の特徴や段階的発展を活かすと同時に一貫性をもって実施していくことが求められる。

また、乳幼児期からの家庭の役割は重要であり、アタッチメントを基本とし、しっかりとした愛着形成を図ることができるための環境づくりが求められ、親への働きかけが必要である。生涯にわたる人間形成の基礎が培われる乳幼児期に人権・同和教育の基礎となる多様な体験と学びを保障していくことが不可欠である。市内すべての保育園・幼稚園で五感も大切に人権・同和教育への取組が図られることが必要である。保育内容の研究・創造、研修の充実、他の子育て支援との連携も今後は求められる。

また、身近な大人が偏見を持たず差別をしない姿勢を示すことは大切である。親だけでなく大人全般の意識・態度改善のための職場での研修や自主学習会など内容・手法・形態など体系的に工夫していくための研究開発が必要である。

②学校教育でのさらなる改善を

学校教育では児童生徒一人ひとりの学力・進路保障の充実が求められる。児童生徒や地域の実情を踏まえた上で、各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間など学校教育活動全体を通して、学校全体ですべての教職員が人権・同和問題への理解を深め実践力を育てていくことが必要であり、そのための研修等が求められる。保育園・幼稚園、小・中・高等学校、大学等の各段階・学習機関における情報交換や情報の共有、そして、教員の交流がより一層求められる。学校運営における継続的な人権・同和教育の推進と学習カリキュラムのさらなる整備・工夫、学校においては福岡県でも「かがやき」や「あおぞら」といった副教材の開発が進んでおり、同和問題以外の人権問題とのさらなる連携が必要である。

また、同和問題の解決はかるためには、「人権を大切にしている教育活動・啓発活動を積極的に行う」と回答した市民が 25.8%と最も高い数値になっていることから、学校での人権・同和教育のさらなる充実が求められている。教職員が同和問題はじめ様々な人権課題を積極的に取り上げ、なんでも話せる風通しのいい職場環境をつくり、人権・同和教育の研修を積み上げていくことが大切である。

③地域課題と現代的課題

人権問題にどの程度関心があるかについて尋ねた結果、『関心がある』と回答した市民は 65.9%となっている。関心がある問題については、「高齢者に関する問題」(44.1%)が最も高い数値となり、次に「障がいのある人に関する問題」(42.0%)、「子どもに関する問題」(40.1%)となった。「インターネットによる人権侵害問題」は前回の調査では 14.8%であったが、今回の調査では 39.5%となり、倍以上の数値となり、重要な人権課題となっている。また、「新型コロナウイルス感染症による人権侵害に関する問題」は 26.5%の市民が関心あると回答し、新たな人権課題として浮かび上がっている。

とりわけ、インターネットによる人権侵害は、匿名性を利用し、これまでとは違う方法による差別の助長がサイバー空間上で横行しており、市民によるチェック機能やシステムとしてのモニタリング機能を構築していかなくてはならない。そのためにメディア・リテラシーの育成が急務である。

関心の高いこれらの人権問題をはじめ様々な人権問題を解決していくためには、人権感覚の豊かな市民の育成が必要である。そのためには、市として家庭・地域・職場等あらゆる場面でニーズにあった魅力ある多様な学習プログラムを提供し、「いつでも・どこでも・だれでも」が希望する内容で学べるシステムをつくっていく必要がある。同時に、学習活動を支援するための指導者の育成を図ることも急がなければならない。

(2)連携・協働の充実

1)全庁体制

「人権問題に関心がある」と回答した市民は 65.9%である、という今回の調査結果は、人権を尊重することは個人の個性と能力を十分に発揮できる社会の基礎的な条件である、ということを反映していることになる。したがって、市として総合的な人権教育・啓発の推進体制が求められている。今後は、同和問題をはじめとする様々な人権問題に対する取組を、あらゆる部署が横断的に連携できるよう、また、新たな施策の企画や立案にあたっては、人権の視点をその根底において取り組む

ことが求められる。特定職業従事者として行政に携わる職員及び学校教職員に対しても各職場における体系的な、しかも日常に即した人権・同和問題に関する研修を積み上げていく必要がある。

市民の関心が高い、「高齢者に関する問題」や「障がいのある人に関する問題」「子どもに関する問題」「インターネットによる人権侵害問題」「女性に関する問題」と「同和問題」とを連動し教育・啓発の事業を展開していかなければならない。その際、当事者である市民活動団体との連携は不可欠である。

人権問題はすべての課や係に関わるという基本認識を十分に定着させ、市民と行政が一体となって人権・同和問題の解決に関わることが大切である。

2)市民、行政、団体・NPO、地域、学校、企業等の連携

今後は行政や市民団体等は、各々の役割と責任を明確にし、市民と行政が力を合わせパートナーシップで連携していくことが必要である。本調査でも多様な分野で人権問題を考えている回答の割合が高く、市民や地域、企業や事業所、さらに団体やNPO等の多様な活動を支援し、総合的な調整を図っていくことが求められる。とりわけ、企業はその存在、企業活動、営業活動などを通じて、地域や多くの市民との深いかかわりがあり、社会性・公共性を有している。特に、近年はその社会的責任についての自覚に基づく行動が要請されており、環境の保全、男女共同参画社会の実現、高齢者社会への対応などに果たすべき役割がある。

また、同和地区住民、障がい者、外国人労働者などの、特に就職が困難とされる人々の採用選考、任用などに関しても、基本的人権に配慮した適切な対応が強く求められている。したがって、企業や市民団体等においても、だれでもが働きやすい職場環境・活動環境づくりを推進し、人権意識を高める土壌を培うことが重要である。

3)総合的支援

人権を侵害されたとき、どうしたかについての回答は、「特に何もしなかった」が37.1%で最も高い数値になっている。次いで「家族や親類に相談した」が31.8%、「友人や先輩に相談した」31.5%となっている。「県や市町村など行政に相談した」は3.8%、「人権擁護委員や法務局に相談した」は0.3%で、行政等へ相談した回答者は少なくなっている。差別や人権侵害を未然に防止することが最も重要だが、起きてしまった差別事象については事実を真摯に受け止め、行政として市民に信頼され活用してもらえる人権相談窓口の周知や人権擁護体制の確立を図ることが必要である。

デジタル社会の中で、スマートフォンなど最新の情報機器を視野に入れながらホームページやインターネット等を活用して、人権問題に関する情報の発信を充実させることも今後求められる。市民一人ひとりが豊かに生き生きと生活できる生活全般の改善には、労働・福祉・教育・健康・医療・情報等の各分野が総合的に人権の視点で支援を行うことが必要である。そのためにシステムの構築や人材育成を急がなければならない。

4)つなげる機関の機能充実

社会教育関係団体は地域を基盤に活動しており、人権が尊重される明るい地域社会づくりに社会教育関係団体の果たす役割は極めて大きい。特にPTAは学校・家庭・地域をつなぐ団体であり、今後もその役割は益々大きくなっていく。各種の社会教育関係団体においても、会員同士のつながりや団体相互の交流、地域活動への広がりをつくり出すような学習を計画していくことが大切であ

る。

社会教育施設（学校・公民館・図書館）は、市民一人ひとりの人権が守られ大切にされる地域社会を形成していく場としての中核的施設である。社会教育施設において人権に関する幅広い学習要求に応えるためには、地域の情報を核として、社会の動向や世界的な流れを把握して取組をすすめていくことが大切である。また、地域には様々な施設、団体、企業等があり、人権・同和問題に関する学習をすすめる上では、これらの諸団体と連携、協力することが大切である。

(3)市民参画による市民自身の行動変容

人権を侵害する側とされる側という区分した考え方ではなく、だれもがどちらにもなりうるということが人権を考える基本であり、自分らしくいきいきと暮らせる社会を市民参画で作り上げていくことが求められる。

1)市民参画でのプログラム開発と検証・改善システムの構築

「同和問題は、あなたに関係のある問題だと思いますか」という問に対して、「自分に関係のない問題だと思っている」と回答した市民が6割以上となっている。現在もなお部落差別が存在し、自分に関係のある問題だと受け止めている市民は4分の1程度と考えられる。多くの人達が進学や就職、結婚、転勤などで社会を移動している。それは、被差別部落出身の人たちも例外ではない。つまり、多くの被差別部落出身者が被差別部落外に住んでいるということは容易に想像できることである。しかし、その想像力の欠如が「自分には関係ない問題」という意識を生みだしていると考えられる。「部落差別解消推進法」には、「現在もなお部落差別が存在する」と明確に記載し、「部落差別解消推進法」の第5条は教育及び啓発が記述されている。教育・啓発をより深化・充実させていくためには、当事者の体験や思い、実態を学ぶプログラムが重要であると考えられる。そのためには関係団体との連携を図りながら、人権・同和教育及び啓発を推進していかなくてはならない。

2)対象別・段階(レベル)別の取組

性・年代別で人権問題に対する意識に差がでてきている。とりわけ、30代男性や70代男女の同和問題に対する意識は他の年代と比べて、厳しい結果になっている。性や年代別の人権・同和問題に対する意識についてどこに課題があるのかを明確にし、性や年齢層によって取組を工夫していく必要がある。

3)実践面での気づき

「同和問題に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか」という問に対して、「結婚を周囲から反対されること」、「就職の際や職場で不利な扱いを受けること」、「身元調査をするなど社会における偏見意識があること」等、今もなお差別意識が残っていることを市民は認識している。

同和問題をはじめとする様々な人権問題の解決は、自分自身の貴重な人生や生活に大きく関わることであり、私たちが豊かに安心して暮らしていくために必要不可欠である。「自分も国民の一人として同和問題をはじめ人権問題の解決に努力するべきだ」と答えた市民は3割近くいる。このことは人権・同和問題の解決が市民生活全般の改善につながっていくということを認識している市民が一定数いるといえる。

人権が尊重される心豊かな地域社会を実現するためには、一人ひとりが同和問題をはじめとする様々な人権問題を自分の問題として捉え、問題解決のため自ら判断し、行動できるようにすること

と、それを可能にする社会的な環境や条件の整備が重要である。そのためには、人権・同和問題における市民のニーズを把握し、目標設定して人権課題解決のプログラムを作成していく必要がある。

本調査結果をもとに市民と行政がともに事業を進めるなかで、人権教育・啓発の進行・管理・評価・改善のため施策の実施状況を把握し、その評価を行い、今後の見直しなどに反映させ、計画を一体的・総合的に推進することが不可欠である。

市民への調査結果

III. 調査結果(各論分析・市民)

1 人権全般について

(1) 人権問題にどの程度関心があるか

問2 人権問題にどの程度関心がありますか。(〇はひとつ)

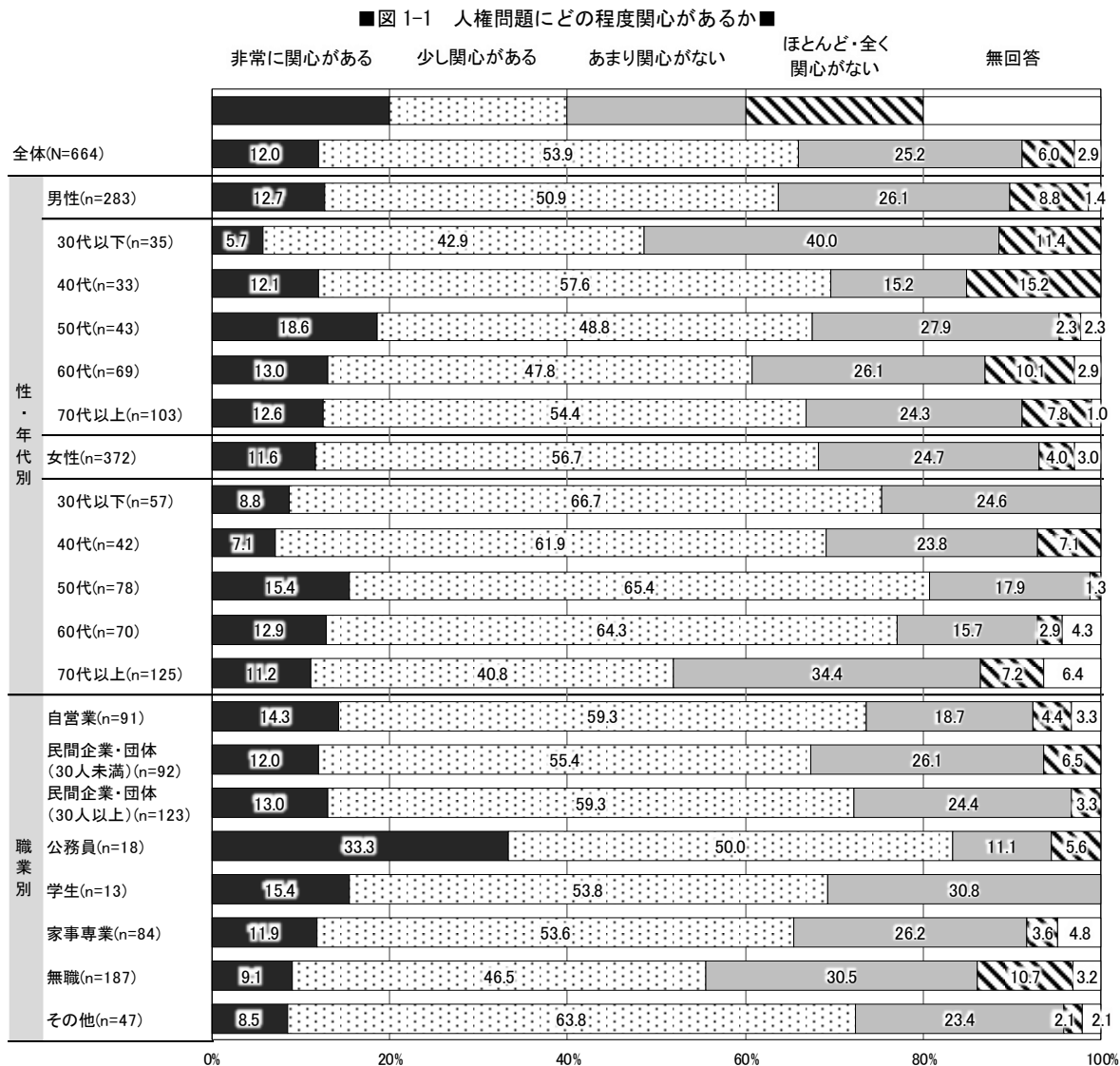
人権問題にどの程度関心があるかについて、尋ねた結果をまとめると、図1-1のとおりである。

全体として、「非常に関心がある」(12.0%)と「少し関心がある」(53.9%)を合わせた『関心がある』としたものは65.9%となっている。一方、「あまり関心がない」(25.2%)と「ほとんど・全く関心がない」(6.0%)を合わせた『関心がない』としたものは31.2%となっている。

性別にみると、男性は『関心がある』が63.6%、女性は68.3%となっており、いずれも6割以上となっている。

性・年代別にみると、男女いずれの年代も「少し関心がある」が最も多くなっている。

職業別にみると、いずれの職種も『関心がある』が半数以上となっている。特に、公務員は83.3%が『関心がある』と回答しており、他の職種と比べて最も高い割合となっている。



(2) 日本の人権に関する問題で関心があるもの

問3 次にあげる日本の人権に関する問題で、関心があるものは何ですか。(〇はいくつでも)

日本の人権に関する問題で関心があるものについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図1-2及び表1-1のとおりである。

全体として、「高齢者に関する問題」が44.1%で最も多く、次いで「障がいのある人に関する問題」(42.0%)、「子どもに関する問題」(40.1%)、「インターネットによる人権侵害問題」(39.5%)の順となっている。「特にない・わからない」は9.2%となっている。

性別にみると、男性では「高齢者に関する問題」が40.3%で最も多く、次いで「障がいのある人に関する問題」(38.5%)、「インターネットによる人権侵害問題」(36.0%)の順になっている。女性では、「女性に関する問題」が49.2%で最も多く、次いで「高齢者に関する問題」(47.6%)、「子どもに関する問題」(47.3%)の順となっている。「女性に関する問題」は女性(49.2%)が、男性(23.3%)よりも25.9ポイント上回っている。

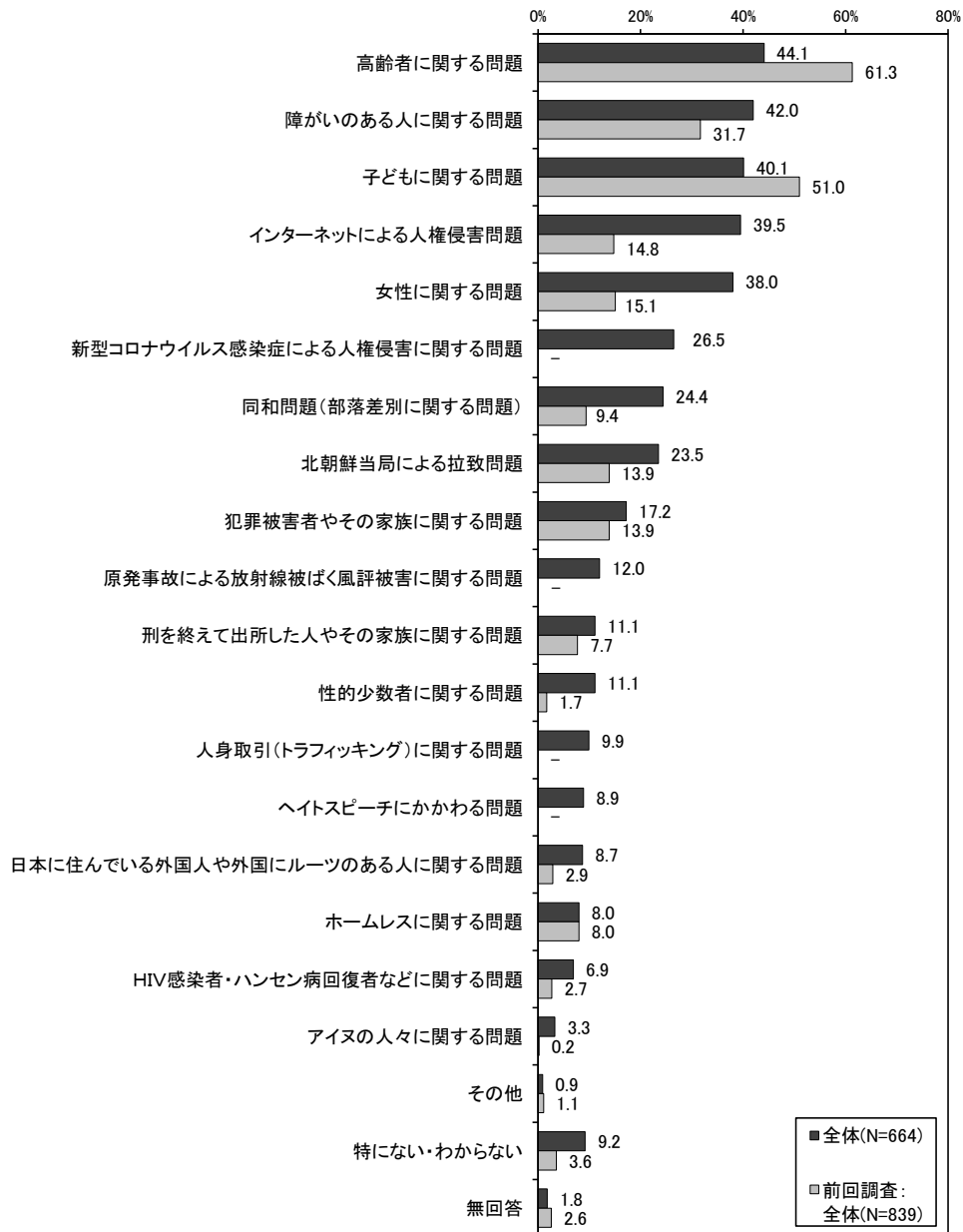
性・年代別にみると、「女性に関する問題」と「子どもに関する問題」において、女性30代以下が他の性・年代と比べて最も多く、70.0%以上となっている。

職業別にみると、自営業は「障がいのある人に関する問題」が50.5%となっており、家事専業と無職は「高齢者に関する問題」が半数以上で最も多くなっている。また、「インターネットによる人権侵害問題」については、民間の企業や団体に勤務する人(従業員が30人未満の事業所)と学生が50.0%以上、公務員が66.7%となっている。

参考として、平成29年に内閣府が全国を対象に調査した「人権擁護に関する世論調査」(平成29年10月内閣府大臣官房政府広報室)(以下、「全国の意識調査」という)から、日本における人権課題について、関心があるものを尋ねた調査結果が参考図1である。「障がい者に関する問題」(51.1%)の割合が最も高く、次いで「インターネットによる人権侵害」(43.2%)、「高齢者」(36.7%)の順となっている。なお、「特にない」は7.6%となっている。

また、令和4年に福岡県が実施した「人権問題に関する県民意識調査」(令和4年3月福岡県福祉労働部人権・同和対策局調整課)(以下、「県の意識調査」という)から、日本の人権問題で関心があるものについて尋ねた結果が参考図2である。「インターネット等による人権侵害に関する問題」(55.8%)が最も高く、次いで「障がい者に関する問題」(54.2%)、「女性に関する問題」(47.4%)の順となっている。なお、「とくになし」は4.3%となっている。

■ 図 1-2 日本の人権に関する問題で関心があるもの ■



■表 1-1 日本の人権に関する問題で関心があるもの■

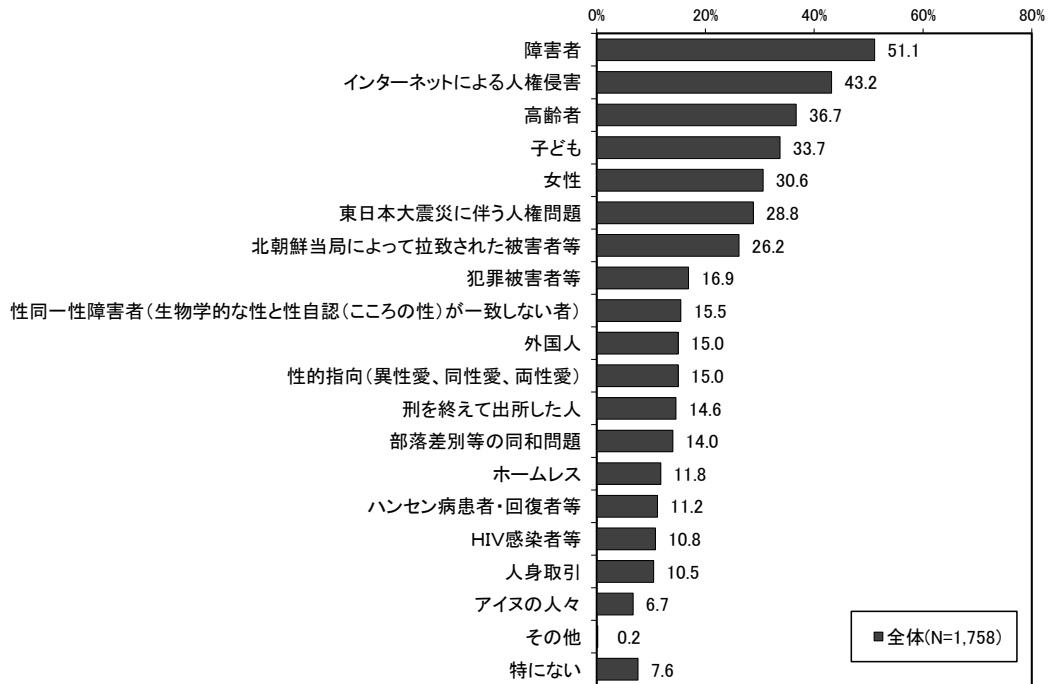
単位:%	サンプル数	高齢者に関する問題	障がいのある人に関する問題	子どもに関する問題	インターネットによる人権侵害問題	女性に関する問題	新型コロナウイルス感染症による人権侵害に関する問題	同和問題（部落差別に関する問題）	北朝鮮当局による拉致問題	犯罪被害者やその家族に関する問題	原発事故による放射線被ばく風評被害に関する問題	刑を終えて出所した人やその家族に関する問題	性的少数者に関する問題	人身取引（トラフィッキング）に関する問題	ヘイトスピーチにかかわる問題	日本に住んでいる外国人や外国にルーツのある人に関する問題	ホームレスに関する問題	HIV感染者・ハンセン病回復者などに関する問題	アイヌの人々に関する問題	その他	特にない・わからない	無回答	
全体	664	44.1	42.0	40.1	39.5	38.0	26.5	24.4	23.5	17.2	12.0	11.1	11.1	9.9	8.9	8.7	8.0	6.9	3.3	0.9	9.2	1.8	
性・年代別	男性	283	40.3	38.5	30.7	36.0	23.3	25.1	26.1	23.3	16.3	13.4	11.0	7.8	8.8	10.2	9.9	7.8	6.7	3.5	0.4	12.7	1.1
	30代以下	35	25.7	40.0	37.1	42.9	42.9	25.7	20.0	5.7	8.6	5.7	5.7	14.3	2.9	8.6	8.6	2.9	-	-	22.9	-	-
	40代	33	36.4	51.5	45.5	51.5	36.4	42.4	27.3	18.2	24.2	9.1	24.2	12.1	18.2	18.2	18.2	9.1	3.0	-	15.2	-	-
	50代	43	23.3	32.6	25.6	58.1	14.0	16.3	34.9	20.9	16.3	7.0	11.6	9.3	14.0	9.3	14.0	2.3	7.0	4.7	-	7.0	2.3
	60代	69	36.2	43.5	24.6	31.9	21.7	17.4	30.4	29.0	18.8	11.6	11.6	8.7	11.6	14.5	14.5	5.8	7.2	5.8	1.4	14.5	-
	70代以上	103	56.3	33.0	30.1	22.3	17.5	28.2	21.4	28.2	14.6	21.4	7.8	2.9	3.9	5.8	2.9	7.8	6.8	2.9	-	9.7	1.9
	女性	372	47.6	45.2	47.3	42.2	49.2	28.0	23.7	23.7	18.3	11.0	11.6	14.0	10.8	7.8	8.1	8.3	7.3	3.2	1.3	6.7	1.3
	30代以下	57	19.3	45.6	73.7	45.6	70.2	24.6	24.6	10.5	22.8	5.3	12.3	36.8	15.8	5.3	15.8	5.3	8.8	3.5	-	3.5	-
	40代	42	35.7	57.1	61.9	64.3	69.0	35.7	21.4	21.4	26.2	14.3	16.7	21.4	16.7	14.3	11.9	14.3	9.5	7.1	2.4	2.4	2.4
	50代	78	51.3	47.4	52.6	62.8	59.0	25.6	23.1	19.2	25.6	14.1	10.3	14.1	9.0	10.3	10.3	7.7	9.0	3.8	1.3	7.7	-
60代	70	45.7	55.7	51.4	47.1	51.4	32.9	34.3	28.6	14.3	11.4	11.4	5.7	10.0	7.1	5.7	8.6	4.3	1.4	2.9	5.7	-	
70代以上	125	63.2	33.6	24.8	17.6	25.6	25.6	18.4	30.4	11.2	10.4	10.4	5.6	8.0	5.6	3.2	8.0	6.4	2.4	0.8	9.6	3.2	
回答しない	3	33.3	66.7	33.3	100.0	66.7	-	-	33.3	-	-	-	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	6	16.7	-	33.3	-	16.7	16.7	-	16.7	-	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7
職業別	自営業	91	45.1	50.5	39.6	44.0	38.5	25.3	24.2	29.7	20.9	16.5	15.4	7.7	11.0	12.1	13.2	9.9	2.2	-	5.5	1.1	
	民間企業・団体(30人未満)	92	38.0	48.9	42.4	53.3	45.7	25.0	26.1	18.5	18.5	7.6	14.1	19.6	12.0	10.9	13.0	8.7	6.5	4.3	2.2	8.7	-
	民間企業・団体(30人以上)	123	31.7	43.9	53.7	42.3	49.6	30.1	26.0	19.5	18.7	6.5	11.4	14.6	12.2	8.1	11.4	6.5	7.3	3.3	0.8	7.3	-
	公務員	18	44.4	55.6	50.0	66.7	44.4	16.7	55.6	22.2	16.7	16.7	22.2	50.0	16.7	22.2	22.2	27.8	16.7	11.1	5.6	-	-
	学生	13	23.1	53.8	38.5	53.8	38.5	15.4	15.4	7.7	30.8	15.4	15.4	15.4	7.7	15.4	23.1	7.7	15.4	7.7	-	23.1	-
	家事専業	84	50.0	42.9	41.7	40.5	45.2	25.0	27.4	27.4	17.9	9.5	6.0	11.9	11.9	2.4	7.1	8.3	7.1	2.4	1.2	8.3	1.2
	無職	187	53.5	33.2	28.9	26.2	22.5	27.3	19.8	27.3	14.4	16.0	9.6	4.8	8.0	9.6	2.7	8.0	5.3	3.7	0.5	12.8	2.7
	その他	47	48.9	40.4	42.6	40.4	40.4	29.8	23.4	14.9	12.8	12.8	8.5	2.1	2.1	4.3	4.3	-	2.1	-	-	8.5	-
無回答	9	22.2	-	22.2	-	22.2	22.2	11.1	22.2	-	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11.1	55.6	
前回調査:全体	839	61.3	31.7	51.0	14.8	15.1	-	9.4	13.9	13.9	-	7.7	1.7	-	-	2.9	8.0	2.7	0.2	1.1	3.6	2.6	

※前回調査では、「あなたが、社会全体で力をいれて取り組まなければならないと思うもの」という問で、○は3つ以内としていた。

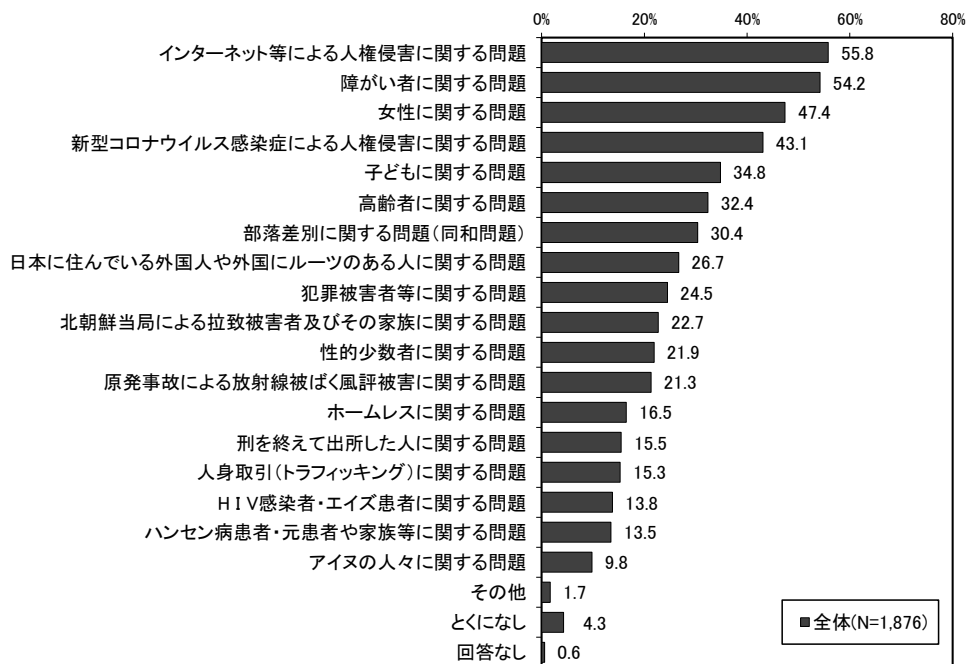
※前回調査では、「性同一性障がい者に関する問題」としていたところは、今回調査では「性的少数者に関する問題」という選択肢に変更している。

※前回調査では、「外国人に関する問題」としていたところは、今回調査では「日本に住んでいる外国人や外国にルーツのある人に関する問題」という選択肢に変更している。

■参考図1 関心がある人権課題（全国の意識調査）■



■参考図2 関心がある人権問題（県の意識調査）■



(3) 人権に関する法律の認知状況

問4 平成28年(2016年)に人権に関する法律が施行されましたが、次の法律を知っていますか。(それぞれ〇はひとつ)

ア 障がいを理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)

障がいを理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)の認知状況について、尋ねた結果をまとめると、図1-3のとおりである。

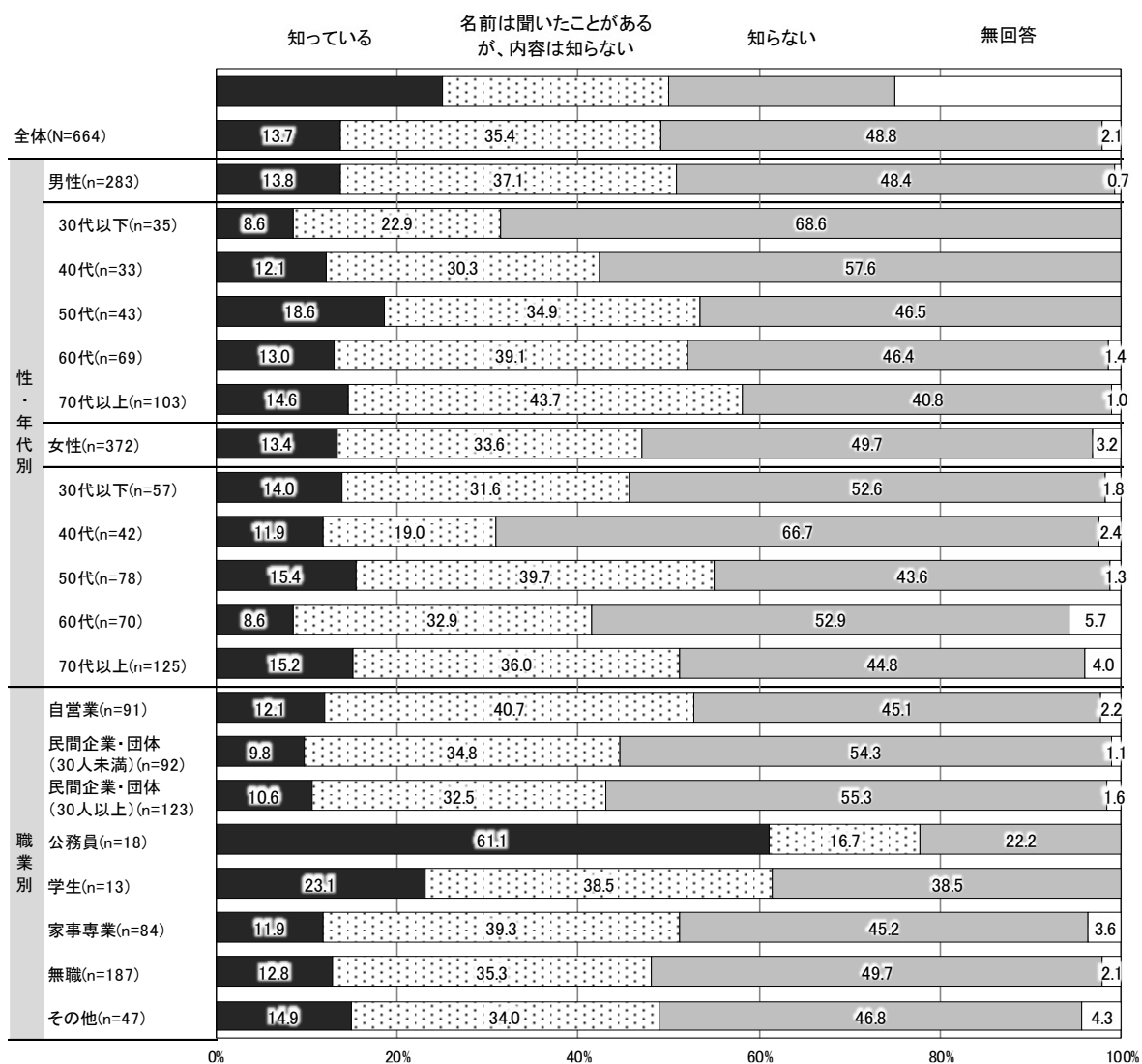
全体として、「知らない」が48.8%で最も多く、次いで「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」(35.4%)、「知っている」(13.7%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「知らない」が48.0%以上で最も多くなっている。

性・年代別にみると、男女いずれの年代でも「知らない」が40.0%以上となっており、男性30代以下は68.6%と最も多くなっている。

職業別にみると、多くの職種が「知らない」の割合が最も高くなっている一方で、公務員は「知っている」が61.1%と最も多くなっている。

■図1-3 障がいを理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法) ■



イ 本邦外出身者に対する不当な差別的発言の解消に向けた取組の推進に関する法律 (ヘイトスピーチ解消法)

本邦外出身者に対する不当な差別的発言の解消に向けた取組の推進に関する法律（ヘイトスピーチ解消法）の認知状況について、尋ねた結果をまとめると、図 1-4 のとおりである。

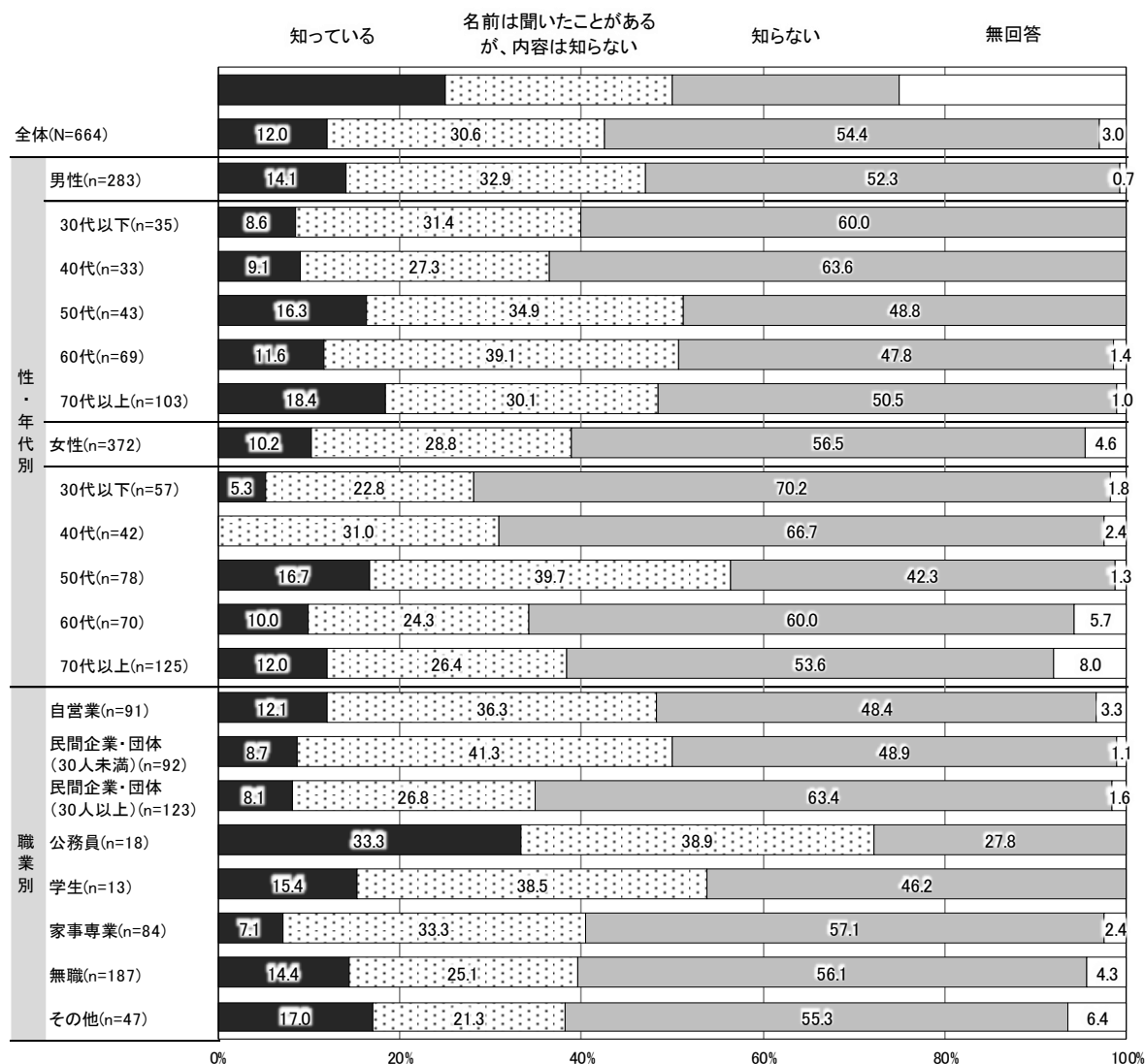
全体として、「知らない」が 54.4% で最も多く、次いで「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」(30.6%)、「知っている」(12.0%) の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「知らない」が 50.0% 以上で最も多くなっている。

性・年代別にみると、男女いずれの年代でも「知らない」が 4 割以上となっており、女性 30 代以下は 70.2% を占めている。

職業別にみると、公務員を除くすべての職種で「知らない」が最も多くなっている。一方公務員は「知らない」が 27.8%、「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」が 38.9%、「知っている」が 33.3% となっており、目立った偏りはみられない。

■ 図 1-4 本邦外出身者に対する不当な差別的発言の解消に向けた取組の推進に関する法律（ヘイトスピーチ解消法） ■



ウ 部落差別の解消の推進に関する法律(部落差別解消推進法)

部落差別の解消の推進に関する法律（部落差別解消推進法）の認知状況について、尋ねた結果をまとめると、図 1-5 のとおりである。

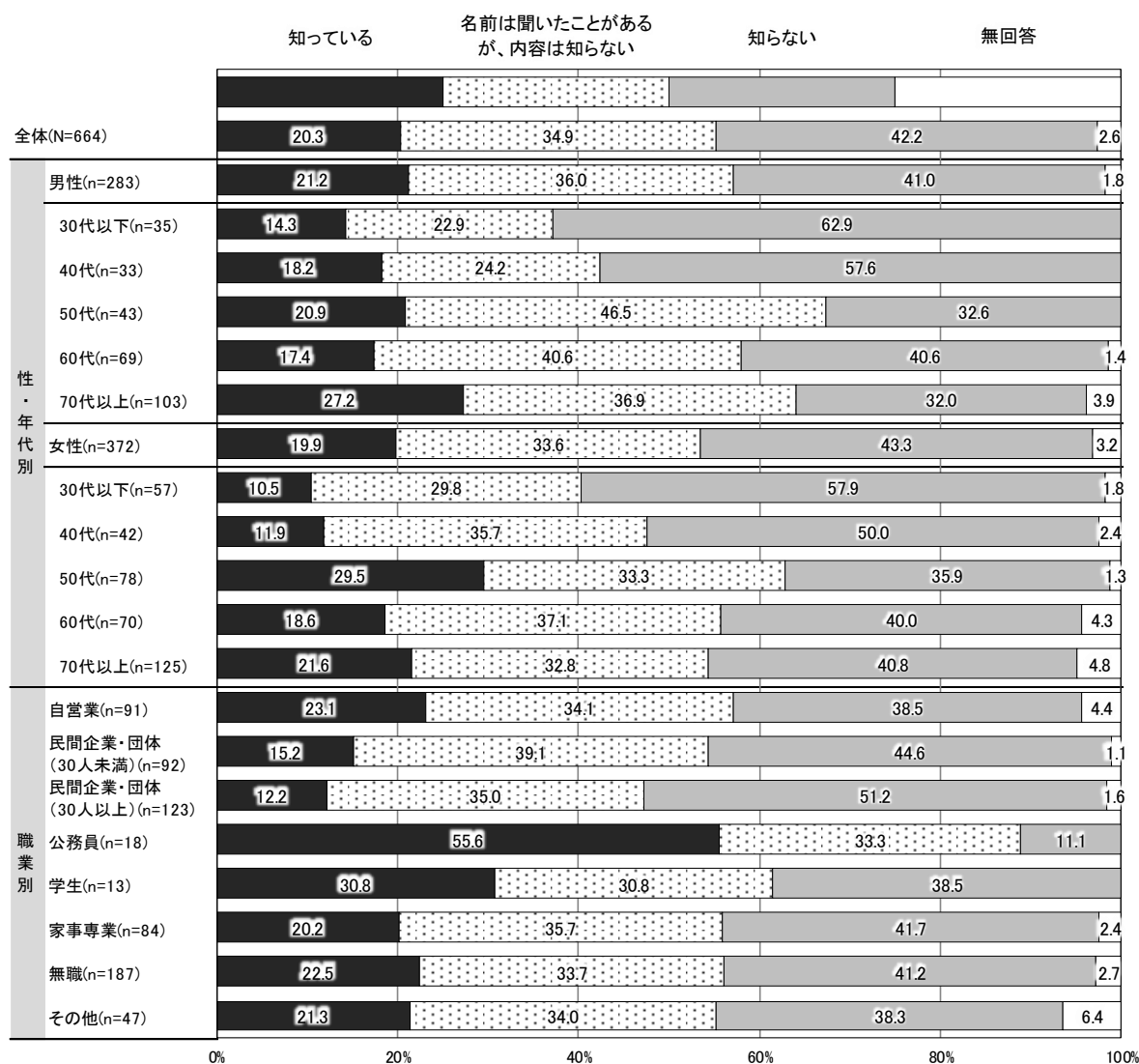
全体として、「知らない」が 42.2% で最も多く、次いで「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」(34.9%)、「知っている」(20.3%) の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「知らない」が 40.0% 以上で最も多くなっている。

性・年代別にみると、男女いずれも 30 代以下と 40 代は「知らない」が 5 割以上となっている。

職業別にみると、公務員は「知っている」が 55.6% と半数以上を占め、全体の職種の中で唯一「知っている」回答者のほうが多くなっている。一方、他の職種では「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」または「知らない」が最も多くなっている。

■ 図 1-5 部落差別の解消の推進に関する法律（部落差別解消推進法） ■



(4) これまでに、自己的人権が侵害されたと思ったことがあるか

問5 これまでに、自己的人権が侵害されたと思ったことがありますか。(〇はいくつでも)

これまでに、自己的人権が侵害されたと思ったことがあるかについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 1-6 及び表 1-2 のとおりである。

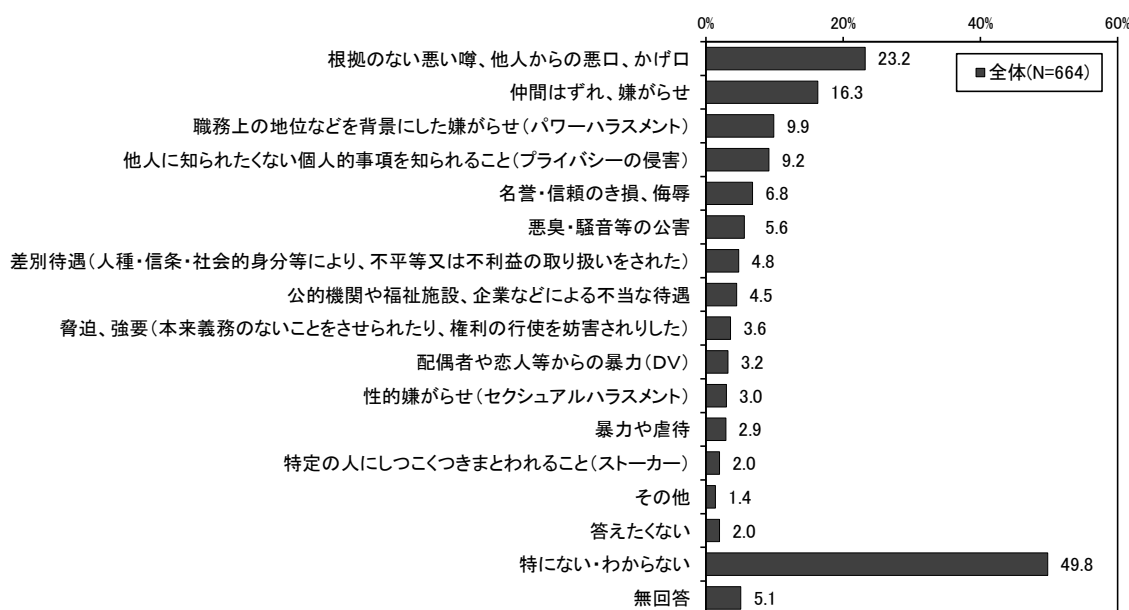
全体として、「特にない・わからない」が 49.8%で最も多く、次いで「根拠のない悪い噂、他人からの悪口、かげ口」(23.2%)、「仲間はずれ、嫌がらせ」(16.3%)の順となっている。

性別にみると、「特にない・わからない」が 45.0%以上で最も多くなっている。

性・年代別にみると、多くの性・年代で「特にない・わからない」が最も多くなっているのに対し、女性 30 代以下及び 40 代は「根拠のない悪い噂、他人からの悪口、かげ口」が最も多くなっている。また、「仲間はずれ、嫌がらせ」についても、女性 30 代以下及び 40 代は 3 割以上となっている。

職業別にみると、学生を除いた職種はすべて「特にない・わからない」が最も多くなっているが、学生においては、「根拠のない悪い噂、他人からの悪口、かげ口」と「特にない・わからない」が 38.5%となっている。

■ 図 1-6 これまでに、自己的人権が侵害されたと思ったことがあるか ■



■表 1-2 これまでに、自分の人権が侵害されたと思ったことがあるか■

単位: %		サンプル数	悪口、かげ口	根拠のない悪い噂、他人からの仲間はずれ、嫌がらせ	嫌がらせ(パワーハラスメント)	職務上の地位などを背景にしたシールの侵害)	他人に知られたくない個人的事項を知られること(プライバシー)	名誉・信頼のき損、侮辱	悪臭・騒音等の公害	益の取り扱いをされた)	差別待遇(人種・信条・社会的身分等により、不平等又は不利)	公的機関や福祉施設、企業などによる不当な待遇	を妨害されたりした)	脅迫、強要(本来義務のないことをさせられたり、権利の行使を妨害されたりした)	V) 配偶者や恋人等からの暴力(DV)	性的嫌がらせ(セクシュアルハラスメント)	暴力や虐待	特定の人にしつこくつきまといられること(ストーカー)	その他	答えたくない	特になし・わからない	無回答
全体		664	23.2	16.3	9.9	9.2	6.8	5.6	4.8	4.5	3.6	3.2	3.0	2.9	2.0	1.4	2.0	1.4	1.8	49.8	5.1	
性・年代別	男性	283	19.1	12.0	11.0	8.8	10.6	5.7	4.2	4.9	4.9	1.1	0.7	2.5	1.8	1.4	1.8	1.8	1.8	52.3	4.2	
	30代以下	35	28.6	14.3	11.4	8.6	14.3	-	2.9	-	8.6	-	-	2.9	-	2.9	2.9	2.9	2.9	45.7	-	
	40代	33	39.4	24.2	15.2	24.2	12.1	3.0	9.1	9.1	12.1	3.0	6.1	3.0	12.1	-	-	-	-	42.4	3.0	
	50代	43	11.6	11.6	14.0	4.7	11.6	7.0	7.0	7.0	7.0	-	-	2.3	-	2.3	-	2.3	-	53.5	2.3	
	60代	69	15.9	8.7	10.1	7.2	11.6	7.2	2.9	4.3	1.4	-	-	1.4	1.4	-	1.4	-	1.4	58.0	2.9	
	70代以上	103	14.6	9.7	8.7	6.8	7.8	6.8	2.9	4.9	2.9	1.9	-	2.9	-	1.9	2.9	2.9	2.9	53.4	7.8	
	女性	372	26.6	19.9	9.4	9.4	4.0	5.4	5.4	4.3	4.3	2.7	4.8	4.8	3.2	2.2	1.3	1.9	1.9	48.1	5.4	
	30代以下	57	45.6	40.4	10.5	17.5	3.5	10.5	8.8	1.8	3.5	7.0	10.5	5.3	5.3	1.8	1.8	1.8	1.8	31.6	1.8	
	40代	42	35.7	31.0	19.0	14.3	2.4	9.5	2.4	7.1	2.4	7.1	14.3	11.9	-	-	4.8	33.3	4.8	33.3	4.8	
	50代	78	26.9	24.4	19.2	9.0	7.7	5.1	6.4	7.7	6.4	6.4	7.7	5.1	3.8	2.6	1.3	39.7	2.6	39.7	2.6	
	60代	70	17.1	14.3	5.7	2.9	2.9	1.4	8.6	4.3	2.9	4.3	-	-	1.4	1.4	2.9	52.9	10.0	52.9	10.0	
	70代以上	125	20.0	7.2	1.6	8.0	3.2	4.0	2.4	2.4	2.4	-	2.4	-	-	0.8	0.8	0.8	0.8	63.2	6.4	
回答しない	3	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	33.3	-	
無回答	6	16.7	-	-	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	33.3	
職業別	自営業	91	22.0	18.7	12.1	8.8	8.8	7.7	3.3	3.3	3.3	1.1	4.4	4.4	1.1	1.1	2.2	2.2	44.0	8.8		
	民間企業・団体(30人未満)	92	26.1	17.4	13.0	12.0	8.7	6.5	5.4	3.3	5.4	5.4	2.2	6.5	2.2	-	-	-	50.0	1.1		
	民間企業・団体(30人以上)	123	32.5	26.0	16.3	10.6	4.9	4.9	6.5	7.3	4.9	4.9	4.1	3.3	3.3	0.8	2.4	2.4	38.2	1.6		
	公務員	18	22.2	16.7	5.6	16.7	11.1	11.1	5.6	5.6	5.6	-	11.1	-	5.6	-	5.6	5.6	50.0	-		
	学生	13	38.5	30.8	-	15.4	15.4	-	-	-	-	7.7	-	-	-	-	-	-	-	7.7	38.5	
	家事専業	84	25.0	20.2	6.0	4.8	7.1	4.8	9.5	4.8	6.0	7.1	4.8	4.8	2.4	2.4	-	-	-	57.1	4.8	
	無職	187	17.6	9.1	7.5	7.5	5.9	4.8	3.2	4.3	1.6	1.6	-	0.5	1.1	2.7	2.7	2.7	56.7	5.9		
	その他	47	12.8	4.3	6.4	10.6	4.3	6.4	2.1	4.3	-	-	-	6.4	-	2.1	-	2.1	-	55.3	8.5	
無回答	9	11.1	-	-	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44.4	44.4	

(5) 人権を侵害されたとき、どうしたか

問6 問5で1～14とお答えの方にかがいます。人権を侵害されたとき、どうしましたか。
(〇はいくつでも)

人権を侵害されたとき、どうしたかについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 1-7 及び表 1-3 のとおりである。

全体として、「特に何もしなかった」が 37.1%で最も多く、次いで「家族や親類に相談した」(31.8%)、「友人や先輩に相談した」(31.5%)、「相手に直接抗議した」(12.9%)の順となっている。

性別にみると、男性では「特に何もしなかった」が 41.5%で最も多くなっている。一方、女性では「家族や親類に相談した」が 38.0%で最も多く、次いで「友人や先輩に相談した」(35.5%)となっている。「家族や親類に相談した」については、男性よりも女性が 15.1 ポイント上回っており、「友人や先輩に相談した」については、男性よりも女性が 9.2 ポイント上回っている。

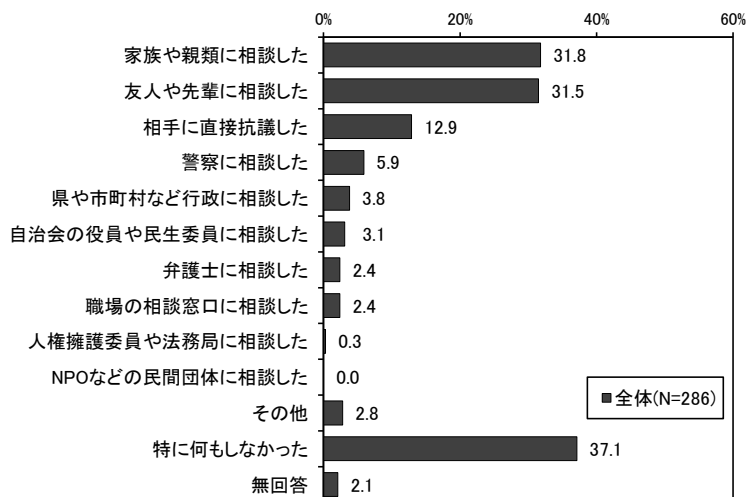
性・年代別にみると、「特に何もしなかった」については、男性 60 代と女性 70 代以上が半数以上となっている。「友人や先輩に相談した」については、男性では 30 代以下と 40 代が、女性では 30 代以下と 50 代が 4 割以上となっている。また、女性 30 代以下は「家族や親類に相談した」が 5 割以上となっている。

職業別にみると、家事専業は「家族や親類に相談した」(37.5%)が最も多く、次いで「特に何もしなかった」(34.4%)となっている。民間の企業や団体に勤務する人は「友人や先輩に相談した」が最も多くなっている。学生については、「家族や親類に相談した」、「友人や先輩に相談した」、「特に何もしなかった」以外の選択肢は回答されていない。

全体、属性別いずれの結果においても、「NPO などの民間団体に相談した」という回答者はいない。

参考として、県の意識調査から、人権を侵害されたときどうしたかを尋ねた調査結果が参考図 3 である。「友人や先輩に相談した」(38.1%)が最も多く、次いで「家族や親類に相談した」(36.1%)、「とくに何もしなかった」(30.4%)となっている。

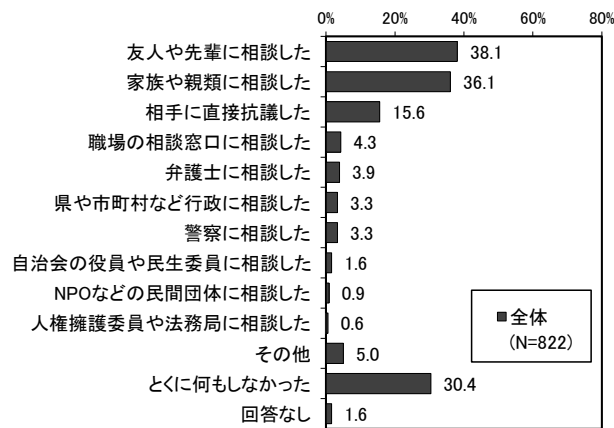
■図 1-7 人権を侵害されたとき、どうしたか■



■表 1-3 人権を侵害されたとき、どうしたか■

単位: %	サンプル数	た家族や親類に相談した	た友人や先輩に相談した	相手に直接抗議した	警察に相談した	県や市町村など行政に相談した	自治会の役員や民生委員に相談した	弁護士に相談した	職場の相談窓口相談した	人権擁護委員や法務局に相談した	NPOなどの民間団体に相談した	その他	特に何もしなかった	無回答	
全体	286	31.8	31.5	12.9	5.9	3.8	3.1	2.4	2.4	0.3	-	2.8	37.1	2.1	
性・年代別	男性	118	22.9	26.3	11.9	5.1	5.1	5.1	2.5	4.2	-	3.4	41.5	3.4	
	30代以下	18	33.3	44.4	-	-	5.6	-	-	5.6	-	-	38.9	11.1	
	40代	18	38.9	44.4	22.2	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	-	5.6	33.3	-	
	50代	19	10.5	26.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	10.5	-	-	42.1	-	
	60代	26	11.5	15.4	19.2	-	7.7	-	-	-	-	3.8	53.8	-	
	70代以上	37	24.3	16.2	10.8	10.8	2.7	10.8	2.7	2.7	-	-	5.4	37.8	5.4
	女性	166	38.0	35.5	13.3	6.0	2.4	0.6	2.4	1.2	-	-	2.4	34.3	1.2
	30代以下	37	51.4	45.9	18.9	2.7	-	-	-	-	-	-	5.4	24.3	-
	40代	24	29.2	33.3	8.3	4.2	4.2	-	8.3	-	-	-	-	41.7	-
	50代	44	40.9	40.9	11.4	9.1	-	2.3	2.3	4.5	-	-	4.5	22.7	2.3
60代	24	37.5	33.3	8.3	4.2	-	-	-	-	-	-	-	37.5	4.2	
70代以上	37	27.0	21.6	16.2	8.1	8.1	-	2.7	-	-	-	-	51.4	-	
回答しない	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	1	100.0	-	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	
職業別	自営業	41	31.7	26.8	9.8	2.4	7.3	-	4.9	-	-	7.3	34.1	2.4	
	民間企業・団体(30人未満)	45	35.6	42.2	15.6	8.9	-	2.2	-	4.4	-	-	28.9	2.2	
	民間企業・団体(30人以上)	71	28.2	35.2	16.9	4.2	-	1.4	1.4	4.2	-	2.8	32.4	4.2	
	公務員	8	37.5	12.5	-	-	-	12.5	12.5	12.5	-	-	12.5	50.0	-
	学生	7	42.9	57.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	42.9	-
	家事専業	32	37.5	31.3	15.6	6.3	6.3	3.1	6.3	-	-	-	-	34.4	-
	無職	65	26.2	23.1	12.3	9.2	4.6	6.2	-	1.5	-	-	1.5	47.7	1.5
	その他	16	37.5	31.3	-	-	12.5	-	6.3	-	-	-	6.3	43.8	-
無回答	1	100.0	-	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	

■参考図3 人権を侵害されたときどうしたか（県の意識調査）■



2 同和問題について

(1) 同和問題に対する考え

ア)同和問題は、自分に関係のある問題だと思うか

問7 同和問題についてどのようにお考えですか。

ア) 同和問題は、あなたに関係のある問題だと思いますか。(○はひとつ)

同和問題は、自分に関係のある問題だと思うかについて、尋ねた結果をまとめると、図 1-8 のとおりである。

全体として、「自分に関係のある問題だと思っている」は 25.0%となっている。一方、「自分に関係のない問題だと思っている」は 66.7%となっている。

前回調査と比較すると、「自分に関係のある問題だと思っている」が 4.2 ポイント減少している。

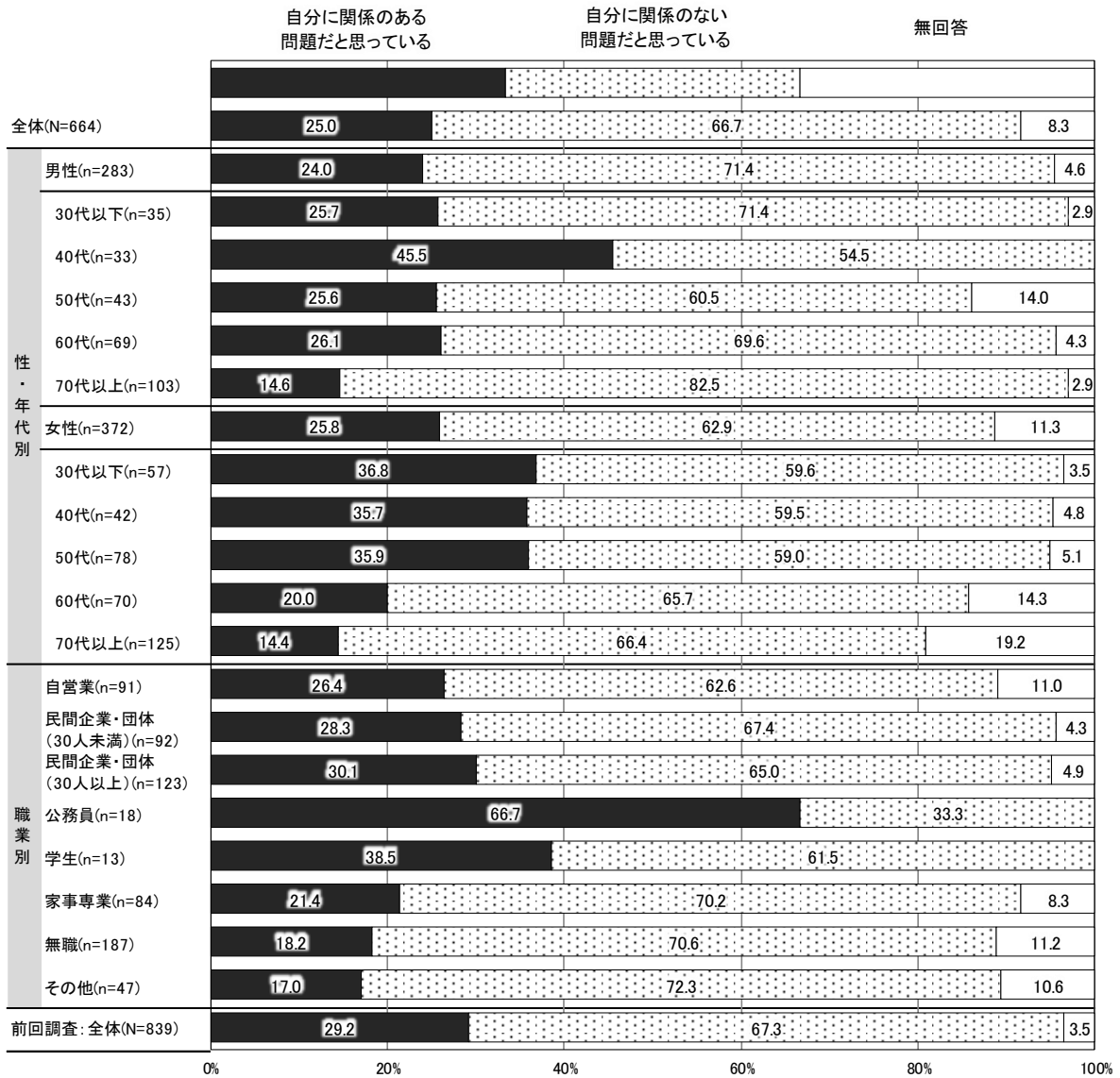
性別にみると、男女いずれも「自分に関係のない問題だと思っている」は 6 割以上となっている。

性・年代別にみると、男女いずれの年代も「自分に関係のない問題だと思っている」が半数以上となっている。特に、男性 70 代以上は 82.5%と他の性・年代と比べて最も多くなっている。

職業別にみると、公務員のみが「自分に関係のある問題だと思っている」が半数を超えており、66.7%となっている。一方、他の職種では半数以上が「自分に関係のない問題だと思っている」と回答している。

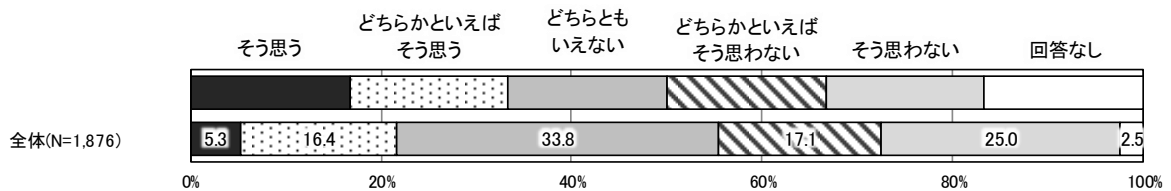
参考として、県の意識調査から、「部落差別（同和問題）は一部の人の問題で、自分とは関係ない」という意見に対する回答者の意識・態度を尋ねた調査結果が参考図 4 である。「どちらともいえない」が 33.8%で最も多くなっている。また、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は 42.1%で、「どちらかといえばそう思う」と「そう思う」を合わせた割合は 21.7%となっている。

■ 図 1-8 同和問題は、自分に関係のある問題だと思うか■



■ 参考図 4 「部落差別(同和問題)は一部の人の問題で、自分とは関係ない」という意見に対する回答者の意識・態度(県の意識調査)■

という意見に対する回答者の意識・態度(県の意識調査)■



イ)同和問題の解消に向けた考え

イ) 同和問題の解消に向けたあなたの考えに最も近いものは次のどれですか。(○はひとつ)

同和問題の解消に向けた考えについて、尋ねた結果をまとめると、図 1-9 のとおりである。

全体として、「自分も国民の一人として問題の解決に努力すべきだと思う」が 29.2%で最も多く、「問題解決のため自分のできる限りの努力をしたい」(7.2%)と合わせた『解決に努力すべき』としたものが 36.4%となっている。一方、「よく考えていない」(18.4%)と「同和問題のことは知らないので、わからない」(20.8%)を合わせた『わからない』としたものが 39.2%あり、「自分一人ではどうしようもないので、なりゆきにまかせる」が 14.8%、「同和地区の人々の問題であるので、自分には直接関係ない」が 3.3%となっている。

前回調査と比較すると、『解決に努力すべき』は 0.9 ポイント、『わからない』は 0.4 ポイント減少している。

性別にみると、男性では『解決すべき』(34.6%)が『わからない』(43.4%)よりも 8.8 ポイント下回っている。女性では、『解決すべき』(37.9%)が『わからない』(35.7%)よりも 2.2 ポイント上回っている。

性・年代別にみると、男女いずれも 60 代と 70 代以上はそれぞれ『解決に努力すべき』が 4 割未満となっており、他の性・年代と比べて少なくなっている。一方、女性 50 代は『解決に努力すべき』が半数以上となっている。また、『わからない』については、男女いずれも 70 代以上が半数以上で最も多くなっている。

職業別にみると、『解決に努力すべき』については公務員と学生はそれぞれが 6 割以上となっているが、他の職種では半数未満となっている。一方、『わからない』については、無職が 49.7%で最も多くなっている。

■ 図 1-9 同和問題の解消に向けた考え ■



※前回調査では「あなたは、同和問題を解決するためにどんなことをしますか。」という問だった。

(2) 同和問題に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

問8 同和問題に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。(〇はいくつでも)

同和問題に関して現在どのような人権上の問題があると思うかについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図1-10及び表1-4のとおりである。

全体として、「特にない・わからない」が41.7%で最も多く、次いで「結婚を周囲から反対されること」(33.9%)、「就職の際や職場で不利な扱いを受けること」(27.1%)、「身元調査をするなど社会における偏見意識があること」(23.9%)の順となっている。

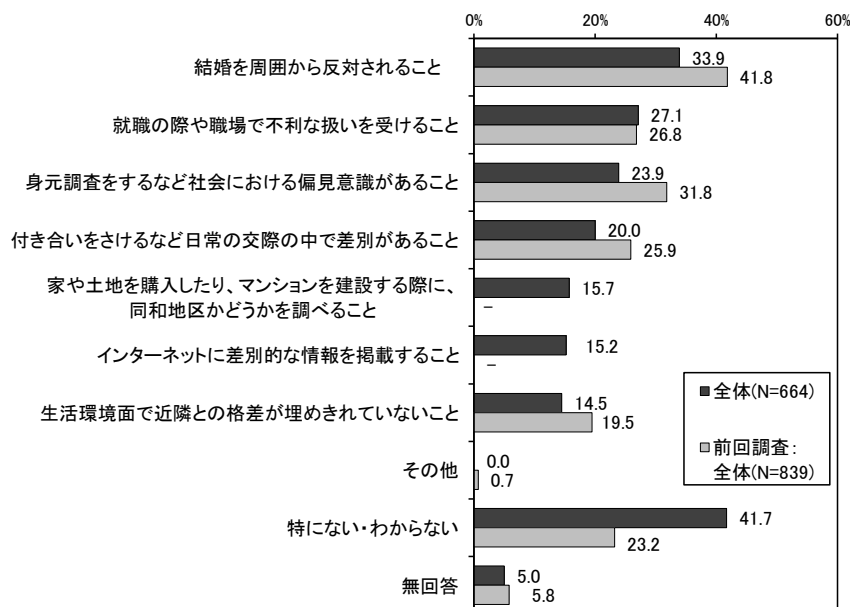
前回調査と比較すると、「特にない・わからない」は18.5ポイント増加しており、「結婚を周囲から反対されること(※前回調査では「結婚問題で周囲が反対すること)」と「身元調査をするなど社会における偏見意識があること」はそれぞれ7.9ポイント減少している。

性別にみると、男女いずれも「特にない・わからない」が最も多く、男性は45.6%、女性は38.7%となっている。ともに2番目に多いのは「結婚を周囲から反対されること」(男性：29.7%、女性：37.6%)で、男性よりも女性のほうが7.9ポイント上回っている。

性・年代別にみると、男女いずれも70代以上の半数以上が「特にない・わからない」と回答している。また、「結婚を周囲から反対されること」においても、それぞれの性別の中で、他の年代と比べて70代以上が最も少なくなっている。

職業別にみると、「特にない・わからない」について公務員と学生が25%未満となっている一方、無職は55.1%と最も多くなっている。公務員は「結婚を周囲から反対されること」と「身元調査をするなど社会における偏見意識があること」と「インターネットに差別的な情報を掲載すること」の3つが50.0%と最も多くなっている。

■図1-10 同和問題に関して現在どのような人権上の問題があると思うか■



(3) 同和問題の解決をはかるために必要なこと

問9 同和問題の解決をはかるために必要なことは何だと思えますか。(〇はいくつでも)

同和問題の解決をはかるために必要なことについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図1-11及び表1-5のとおりである。

全体として、「特にない・わからない」が29.2%で最も多く、次いで「人権を大切にする教育活動・啓発活動を積極的に行う」(25.8%)、「市民が自ら人権について学ぶ場を充実すること」(19.1%)、「インターネット上などでの偏見や差別的な書き込みを、そのまま受け入れない」(19.0%)の順となっている。

前回調査と比較すると、「人権を大切にする教育活動・啓発活動を積極的に行う」が4.4ポイント減少している。また、「わざわざとりあげないで、そっとしておけば自然になくなる」は11.3ポイント減少しており、前回調査との間で最も数値に変化がみられる。

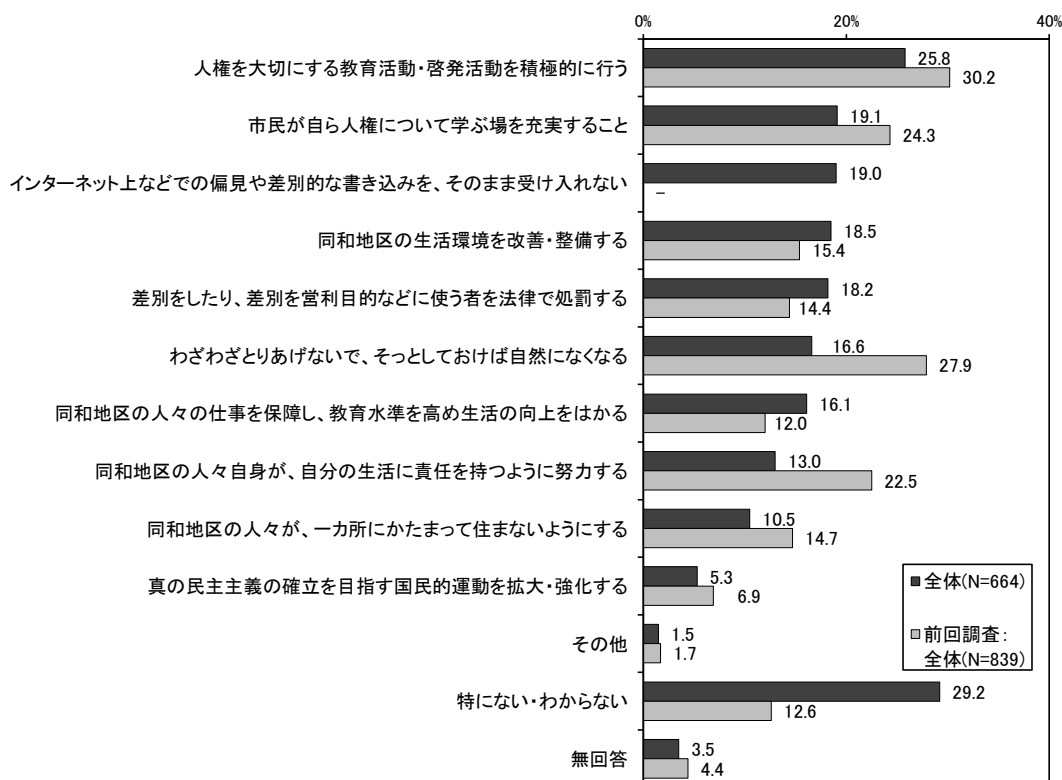
性別にみると、男女いずれも「特にない・わからない」が最も多くなっているが、女性は「人権を大切にする教育活動・啓発活動を積極的に行う」も同率で多くなっている。

性・年代別にみると、男女いずれも70代以上は「特にない・わからない」が最も多くなっている。

職業別にみると、公務員の6割以上が「人権を大切にする教育活動・啓発活動を積極的に行う」と回答しており、学生の6割以上が「市民が自ら人権について学ぶ場を充実すること」と回答している。

参考として、県の意識調査から、部落差別（同和問題）を解消する方策を尋ねた調査結果が参考図5である。最も多いのは「正しい知識を身に着けるため、学校教育・社会教育を通じて、差別をなくし、人権を大切にする教育活動・啓発活動を積極的に行う」(47.0%)で、次いで「インターネット上などでの偏見や差別的な書き込みを、そのまま受け入れないようにする」(36.1%)となっている。

■図1-11 同和問題の解決をはかるために必要なこと■



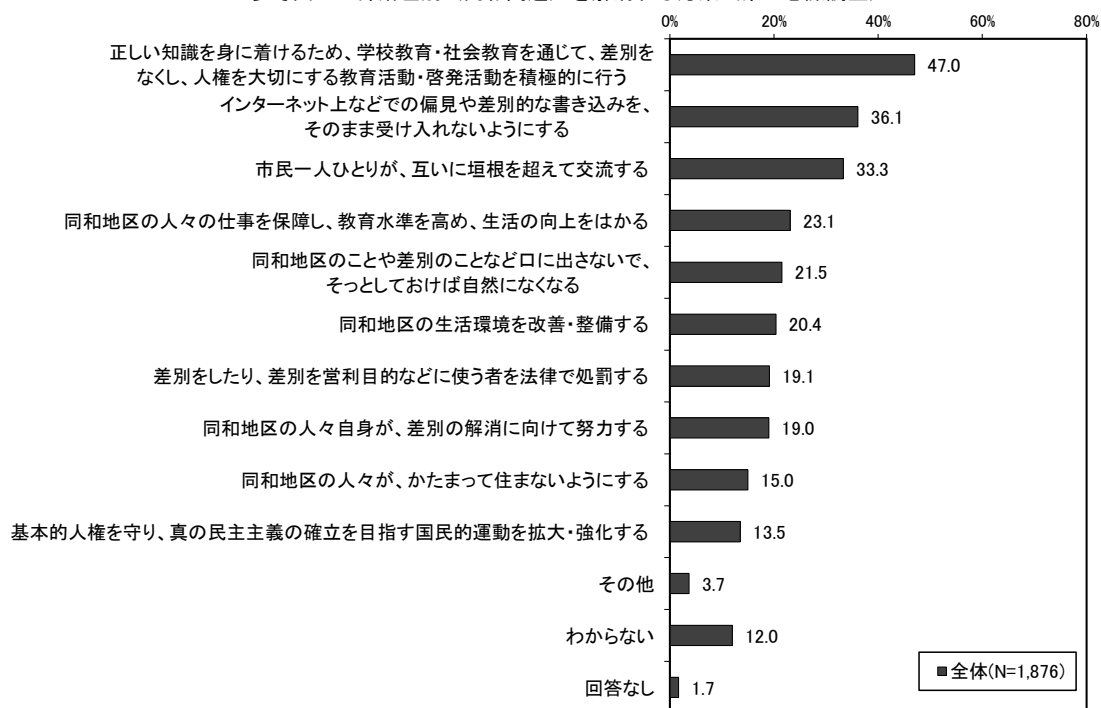
■表 1-5 同和問題の解決をはかるために必要なこと■

単位:%	サンプル数	う動人権を大切に 啓発活動を積極的に行	市民が自ら人権につい て学ぶ場を充実すること	を偏見や差別的な書き込 み、そのまますま受け入 れられない	インターネット上などで の善・整備する	同和地区の生活環境を改 善・整備する	処罰する	差別をしたり、差別を営利 目的などに使う者を法律で	くつとしておけば自然にな らなくなる	わがわがとばかりあげないで、 そのつととしておけば自然にな らなくなる	障し、教育水準を高め生活保 障の向上をはかる	同和地区の人々自身が、自 身の生活に責任を持つよう に努力する	同和地区の人々が、一カ所 にかたままって住まないよう にする	真の民主主義の確立を目指 す国民的運動を拡大・強化	その他	特にない・わからない	無回答
全体	664	25.8	19.1	19.0	18.5	18.2	16.6	16.1	13.0	10.5	5.3	1.5	29.2	3.5			
性・年代別	男性	283	24.0	16.3	14.1	14.8	19.8	16.6	11.7	12.4	7.1	7.8	2.5	32.2	2.5		
	30代以下	35	22.9	20.0	25.7	22.9	25.7	5.7	11.4	8.6	11.4	5.7	2.9	42.9	-		
	40代	33	33.3	21.2	18.2	30.3	24.2	15.2	24.2	15.2	6.1	6.1	6.1	18.2	-		
	50代	43	32.6	7.0	9.3	14.0	25.6	11.6	16.3	4.7	7.0	-	4.7	25.6	4.7		
	60代	69	23.2	20.3	10.1	8.7	23.2	15.9	10.1	11.6	8.7	8.7	2.9	29.0	2.9		
	70代以上	103	18.4	14.6	13.6	11.7	11.7	23.3	6.8	16.5	4.9	11.7	-	37.9	2.9		
	女性	372	27.2	21.5	22.6	21.2	17.5	15.9	19.6	13.4	12.9	3.5	0.8	27.2	4.0		
	30代以下	57	28.1	29.8	28.1	33.3	21.1	8.8	26.3	17.5	14.0	3.5	1.8	26.3	-		
	40代	42	31.0	19.0	35.7	31.0	28.6	11.9	23.8	11.9	11.9	4.8	-	31.0	2.4		
	50代	78	38.5	16.7	26.9	28.2	24.4	10.3	28.2	12.8	14.1	1.3	1.3	21.8	1.3		
	60代	70	35.7	37.1	17.1	14.3	15.7	20.0	22.9	10.0	15.7	5.7	1.4	21.4	2.9		
	70代以上	125	13.6	12.8	16.0	12.0	8.8	21.6	8.0	14.4	10.4	3.2	-	32.8	8.8		
	回答しない	3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7	-		
	無回答	6	16.7	-	33.3	33.3	-	66.7	16.7	16.7	33.3	-	-	-	16.7		
職業別	自営業	91	22.0	20.9	14.3	19.8	19.8	25.3	15.4	16.5	13.2	4.4	1.1	19.8	3.3		
	民間企業・団体(30人未満)	92	26.1	17.4	19.6	16.3	16.3	12.0	13.0	9.8	7.6	3.3	3.3	33.7	2.2		
	民間企業・団体(30人以上)	123	30.1	18.7	18.7	28.5	22.8	8.9	24.4	16.3	11.4	2.4	3.3	29.3	1.6		
	公務員	18	66.7	38.9	50.0	33.3	38.9	5.6	22.2	11.1	16.7	5.6	-	5.6	-		
	学生	13	53.8	61.5	46.2	38.5	38.5	-	30.8	15.4	15.4	15.4	-	23.1	-		
	家事専業	84	22.6	20.2	19.0	15.5	9.5	10.7	15.5	7.1	9.5	3.6	2.4	34.5	1.2		
	無職	187	22.5	16.0	16.0	10.7	15.5	20.3	11.2	12.8	5.9	8.0	-	33.7	5.9		
	その他	47	17.0	12.8	19.1	19.1	23.4	27.7	17.0	14.9	23.4	8.5	-	25.5	4.3		
	無回答	9	22.2	11.1	22.2	22.2	-	44.4	11.1	11.1	22.2	-	-	11.1	22.2		
	前回調査:全体	839	30.2	24.3	15.4	14.4	27.9	12.0	22.5	14.7	6.9	1.7	12.6	4.4			

※前回調査では、○は3つ以内としていた。

※今回調査から新たに、「インターネットに差別的な情報を掲載すること」と「家や土地を購入したり、マンションを建設する際に、同和地区かどうかを調べる」という選択肢を設けている。また、前回「どうすればよいかわからない」だった選択肢は「特にない・わからない」に変更している。

■参考図5 部落差別(同和問題)を解消する方策(県の意識調査)■



3 女性の人権について

(1) 女性に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

問 10 女性に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。(〇はいくつでも)

女性に関して現在どのような人権上の問題があると思うかについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 1-12 及び表 1-6 のとおりである。

全体として、「男は仕事、女は家庭」等の男女の固定的な役割分担意識を押し付けること、または押し付けられること」が 40.2%で最も多く、次いで「就職の機会が少ないことや、企業等に雇用されるとき、賃金、昇給、昇格、職種等の差別を受けること」(37.5%)、「妊娠、出産を理由に不当な扱いを受けること(マタニティ・ハラスメント)」(36.4%)の順となっている。「特にない・わからない」は 22.9%となっている。

前回調査と比較すると、「特にない・わからない」が 6.6 ポイント増加している。前回調査で最も多かった「就職の機会が少ないことや、企業等に雇用されるとき、賃金、昇給、昇格、職種等の差別を受けること」は 6.8 ポイント減少している。「男は仕事、女は家庭」等の男女の固定的な役割分担意識を押し付けること、または押し付けられること」が 9.2 ポイント増加しており、前回調査との間で最も数値に変化がみられている。

性別にみると、男性は「就職の機会が少ないことや、企業等に雇用されるとき、賃金、昇給、昇格、職種等の差別を受けること」が 35.7%で最も多く、次いで「男は仕事、女は家庭」等の男女の固定的な役割分担意識を押し付けること、または押し付けられること」(33.9%)となっている。女性は「男は仕事、女は家庭」等の男女の固定的な役割分担意識を押し付けること、または押し付けられること」が 45.7%で最も多く、男性を 11.8 ポイント上回っている。

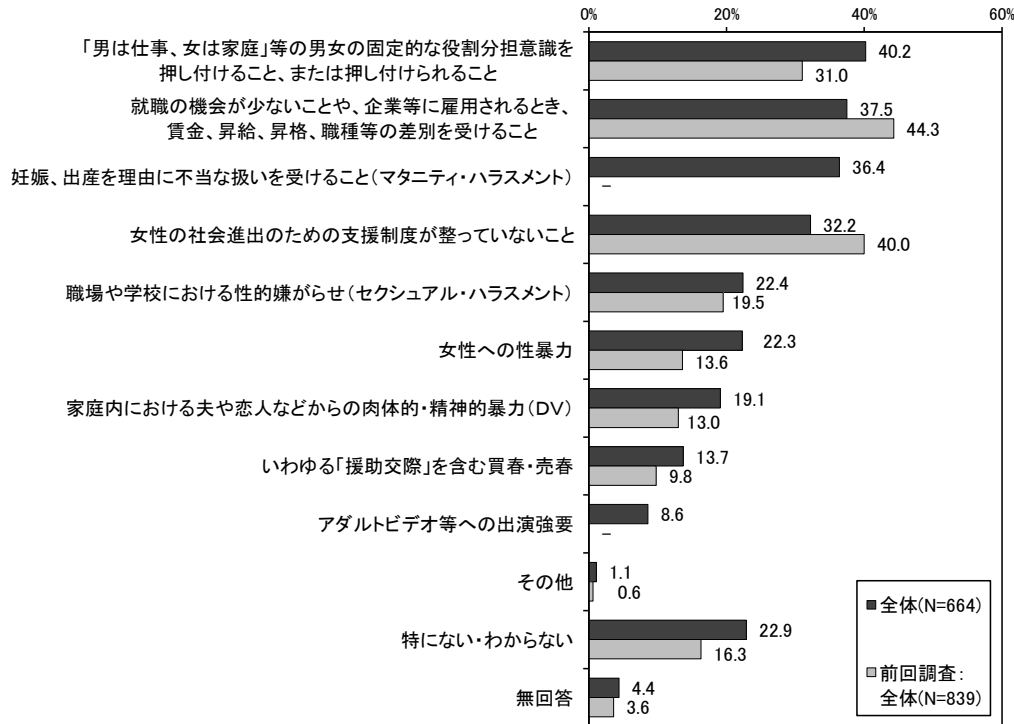
性・年代別にみると、「男は仕事、女は家庭」等の男女の固定的な役割分担意識を押し付けること、または押し付けられること」について、女性 70 代以上を除くすべての年代の女性がそれぞれに対応する年代の男性よりも上回っている。また、女性 70 代以上は「特にない・わからない」が 40.0%で最も多くなっている。

職業別にみると、「妊娠、出産を理由に不当な扱いを受けること(マタニティ・ハラスメント)」について、民間の企業や団体に勤務する人(従業員が 30 人未満の事業所)と公務員と学生は半数以上となっている。また、「男は仕事、女は家庭」等の男女の固定的な役割分担意識を押し付けること、または押し付けられること」について、民間の企業や団体に勤務する人(従業員が 30 人以上の事業所)と公務員と学生においては半数以上となっている。

参考として、国の世論調査から、女性に関する人権問題はどのようなことがあるかを尋ねた調査結果が参考図 6 である。本市の調査とは選択肢が異なるが、「職場において差別待遇(女性が管理職になりにくい、マタニティ・ハラスメントなどの妊娠、出産等を理由とする不利益取扱い等)を受けること」が半数以上となっている。

また、県の意識調査から、女性の人権がとくに尊重されていない、または侵害されていると思うことを尋ねた調査結果が参考図 7 である。「男女の固定的役割分担意識や行動(男は仕事、女は家事・育児など)」と「職場における差別待遇(採用・昇格・仕事内容・賃金など)」が半数以上となっている。

■ 図 1-12 女性に関して現在どのような人権上の問題があると思うか



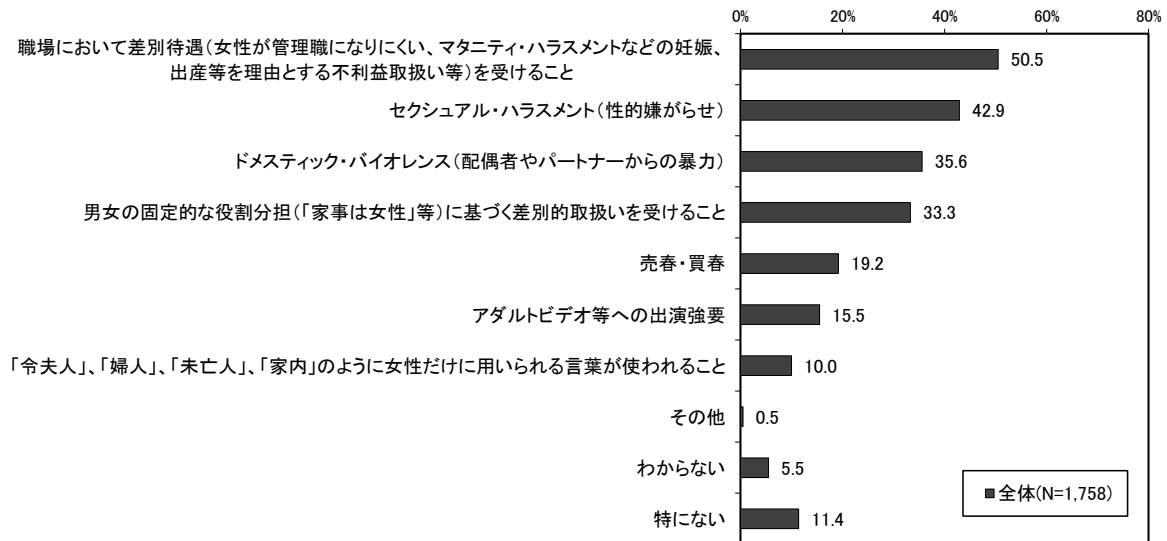
■ 表 1-6 女性に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

単位: %	サンプル数	「男は仕事、女は家庭」等の男女の固定的な役割分担意識を押し付けること、または押し付けられること	就職の機会が少ないことや、賃金、昇給、昇格、職種等の差別を受けること	妊娠、出産を理由に不当な扱いを受けること(マタニティ・ハラスメント)	女性の社会進出のための支援制度が整っていないこと	職場や学校における性的嫌がらせ(セクシュアル・ハラスメント)	女性への性暴力	(DV) 家庭内における肉体的・精神的暴力	いわゆる「援助交際」を含む買春・売春	アダルトビデオ等への出演強要	その他	特にない・わからない	無回答	
全体	664	40.2	37.5	36.4	32.2	22.4	22.3	19.1	13.7	8.6	1.1	22.9	4.4	
性・年代別	男性	283	33.9	35.7	32.9	26.5	20.8	18.0	15.2	9.9	1.1	25.4	3.5	
	30代以下	35	54.3	51.4	48.6	28.6	42.9	31.4	31.4	28.6	-	14.3	-	
	40代	33	36.4	39.4	45.5	30.3	33.3	24.2	27.3	18.2	-	18.2	-	
	50代	43	25.6	27.9	46.5	14.0	20.9	20.9	9.3	9.3	4.7	20.9	4.7	
	60代	69	36.2	29.0	24.6	34.8	15.9	15.9	13.0	7.2	5.8	-	24.6	5.8
	70代以上	103	28.2	36.9	23.3	24.3	12.6	11.7	9.7	11.7	6.8	1.0	34.0	3.9
	女性	372	45.7	38.7	39.2	36.8	23.4	25.3	22.0	14.0	7.3	1.1	21.0	4.6
	30代以下	57	70.2	43.9	64.9	43.9	36.8	42.1	36.8	21.1	8.8	-	8.8	-
	40代	42	61.9	54.8	59.5	45.2	38.1	40.5	33.3	28.6	23.8	2.4	7.1	2.4
	50代	78	48.7	44.9	47.4	41.0	29.5	38.5	37.2	21.8	11.5	2.6	12.8	1.3
60代	70	44.3	47.1	41.4	47.1	20.0	20.0	14.3	8.6	1.4	1.4	14.3	2.9	
70代以上	125	28.0	22.4	14.4	22.4	10.4	7.2	6.4	4.0	1.6	-	40.0	10.4	
回答しない	3	33.3	100.0	100.0	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	-	-	-	
無回答	6	-	16.7	-	-	16.7	16.7	-	-	-	-	33.3	33.3	
職業別	自営業	91	36.3	30.8	36.3	27.5	19.8	19.8	17.6	17.6	6.6	-	27.5	1.1
	民間企業・団体(30人未満)	92	44.6	41.3	52.2	31.5	31.5	26.1	21.7	18.5	14.1	-	14.1	1.1
	民間企業・団体(30人以上)	123	56.1	43.9	39.0	47.2	28.5	33.3	26.8	18.7	12.2	2.4	10.6	1.6
	公務員	18	61.1	50.0	61.1	38.9	33.3	33.3	50.0	22.2	11.1	-	11.1	-
	学生	13	53.8	46.2	61.5	46.2	38.5	30.8	30.8	15.4	23.1	-	7.7	-
	家事専業	84	36.9	36.9	38.1	29.8	20.2	22.6	19.0	10.7	4.8	2.4	25.0	1.2
	無職	187	29.9	35.3	24.6	25.1	16.0	14.4	11.8	6.4	5.3	0.5	35.8	8.6
	その他	47	40.4	34.0	34.0	34.0	17.0	17.0	14.9	17.0	8.5	2.1	14.9	10.6
	無回答	9	-	11.1	-	11.1	11.1	11.1	-	-	-	-	33.3	33.3
	前回調査: 全体	839	31.0	44.3	-	40.0	19.5	13.6	13.0	9.8	-	0.6	16.3	3.6

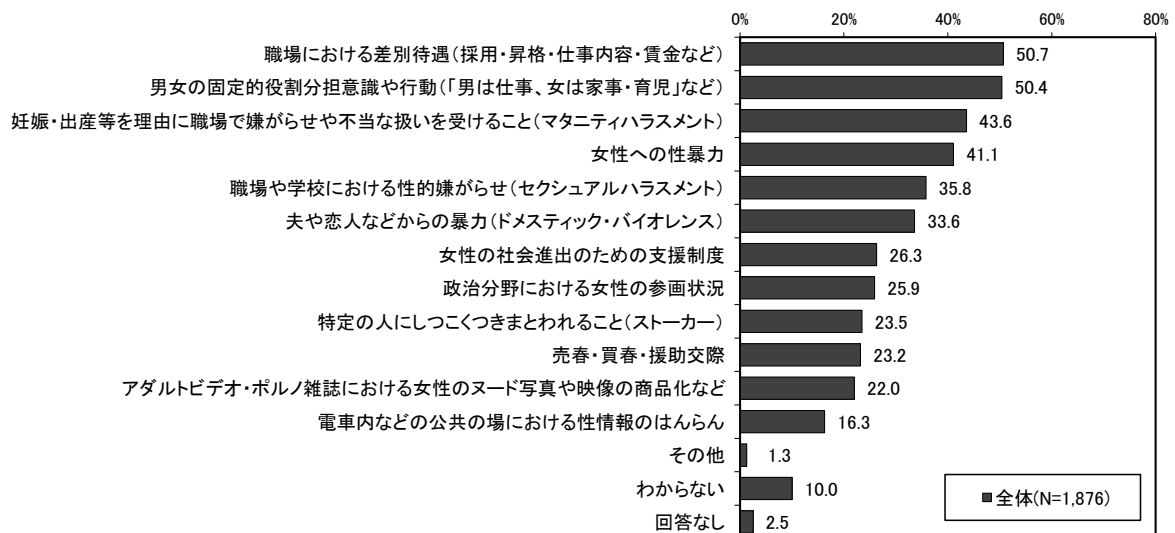
※前回調査では、○は3つ以内としていた。

※今回調査から新たに、「妊娠、出産を理由に不当な扱いを受けること（マタニティ・ハラスメント）」「アダルトビデオ等への出演強要」という選択肢を設けている。また、前回「特になし」だった選択肢は「特になし・わからない」に変更している。

■参考図6 女性に関する人権問題（国の意識調査）■



■参考図7 女性の人権について（県の意識調査）■



(2) 女性の人権を守るために必要なこと

問 11 女性の人権を守るために必要なことは何だと思えますか。(〇はいくつでも)

女性の人権を守るために必要なことについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 1-13 及び表 1-7 のとおりである。

全体として、「保育などの施設や制度を整え、男性も女性も安心して働けるようにすること」が 53.3%で最も多く、次いで「男性も生活者（家事や育児を实践する人）として自立できるよう啓発活動を行うこと」(39.0%)、「性別による固定的な役割分担意識の是正に努めること」(33.7%)の順となっている。「特にない・わからない」は 15.8%となっている。

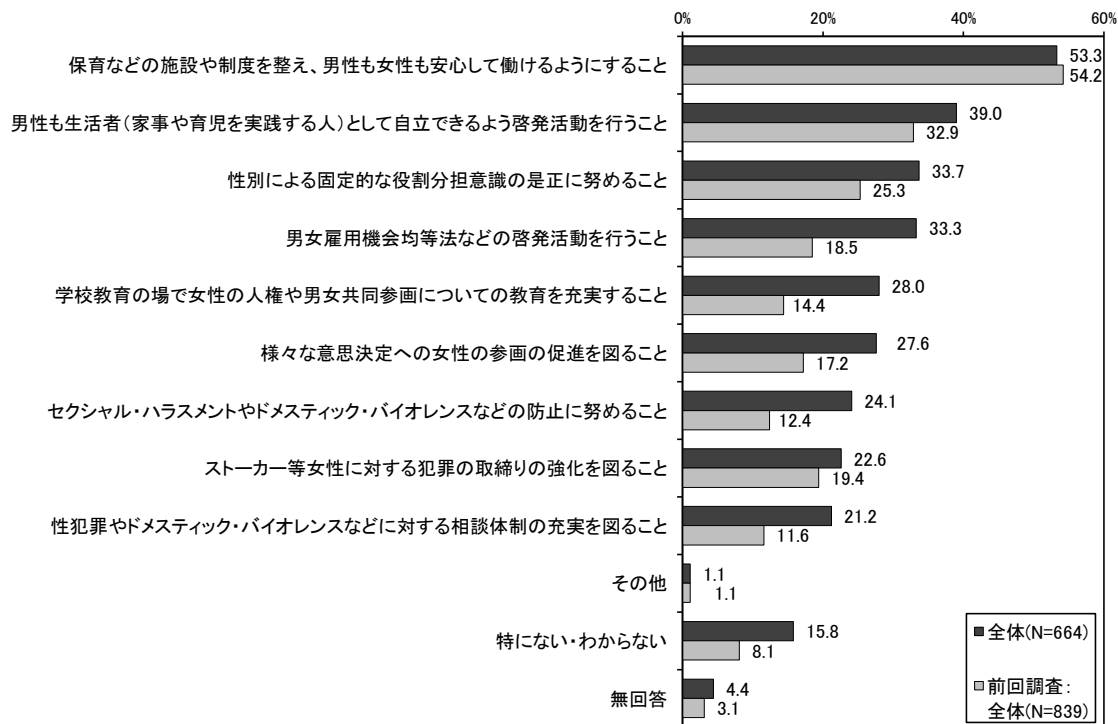
前回調査と比較すると、「特にない・わからない」が 7.7 ポイント増加している。前回調査と今回調査で最も数値に変化が見られたのは、「男女雇用機会均等法などの啓発活動を行うこと」で 14.8 ポイントの増加となっている。

性別にみると、男女いずれも「保育などの施設や制度を整え、男性も女性も安心して働けるようにすること」が最も多くなっており、女性では 59.1%で男性（46.6%）を 12.5 ポイント上回っている。また、「男性も生活者（家事や育児を实践する人）として自立できるよう啓発活動を行うこと」についても、男性（29.7%）を女性（46.2%）が 16.5 ポイント上回っている。

性・年代別にみると、男女いずれの年代でも「保育などの施設や制度を整え、男性も女性も安心して働けるようにすること」が最も多くなっている。

職業別にみると、どの職種においても、「保育などの施設や制度を整え、男性も女性も安心して働けるようにすること」が最も多くなっており、無職以外の職種では半数となっている。

■ 図 1-13 女性の人権を守るために必要なこと ■



■表 1-7 女性の人権を守るために必要なこと■

単位:%		サンプル数	けるように男性も安心して働く	保育などの施設や制度を整えるよう啓発活動を行うこと	男性も生活者(家事や育児を実践する人)として自立できるように啓発活動を行うこと	性別による固定的な役割分担意識の是正に努めること	男女雇用機会均等法などの啓発活動を行うこと	学校教育の場で女性の人権や男女共同参画についての教育を充実すること	様々な意思決定への女性の参画の促進を図ること	ドメスティック・ハラスメントやバイオレンスなどの防止に努めること	セクシャル・ハラスメントやドメスティック・ハラスメントやバイオレンスなどの防止に努めること	ストーカー等女性に対する犯罪の取締りの強化を図ること	性犯罪やドメスティック・パ	イオレンスなどに対する相談体制の充実を図ること	その他	特にない・わからない	無回答
全体	664	53.3	39.0	33.7	33.3	28.0	27.6	24.1	22.6	21.2	1.1	15.8	4.4				
性・年代別	男性	283	46.6	29.7	32.2	36.7	27.9	27.9	21.9	22.6	18.7	0.7	17.3	3.2			
	30代以下	35	54.3	34.3	42.9	34.3	31.4	34.3	40.0	31.4	40.0	-	17.1	-			
	40代	33	45.5	33.3	33.3	39.4	36.4	24.2	27.3	33.3	30.3	-	12.1	-			
	50代	43	48.8	20.9	32.6	32.6	18.6	20.9	25.6	14.0	16.3	-	16.3	4.7			
	60代	69	40.6	34.8	40.6	36.2	29.0	31.9	17.4	18.8	13.0	-	15.9	2.9			
	70代以上	103	47.6	27.2	22.3	38.8	27.2	27.2	15.5	22.3	12.6	1.9	20.4	4.9			
	女性	372	59.1	46.2	35.5	31.2	28.8	27.4	26.1	22.8	23.7	1.3	14.5	4.8			
	30代以下	57	68.4	57.9	43.9	36.8	35.1	35.1	31.6	33.3	36.8	1.8	7.0	-			
	40代	42	66.7	61.9	45.2	28.6	26.2	35.7	47.6	33.3	50.0	2.4	7.1	2.4			
	50代	78	64.1	39.7	47.4	38.5	39.7	29.5	34.6	37.2	28.2	1.3	7.7	1.3			
	60代	70	68.6	57.1	41.4	28.6	35.7	31.4	25.7	21.4	20.0	1.4	11.4	2.9			
	70代以上	125	44.0	33.6	17.6	26.4	16.0	17.6	11.2	6.4	8.0	0.8	26.4	11.2			
	回答しない	3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7	-		
無回答	6	16.7	50.0	16.7	16.7	-	33.3	16.7	16.7	-	-	-	33.3	-			
職業別	自営業	91	50.5	31.9	28.6	26.4	31.9	22.0	19.8	23.1	22.0	2.2	15.4	2.2			
	民間企業・団体(30人未満)	92	55.4	37.0	30.4	39.1	28.3	28.3	29.3	19.6	23.9	1.1	10.9	2.2			
	民間企業・団体(30人以上)	123	59.3	43.1	45.5	37.4	26.8	27.6	27.6	29.3	25.2	0.8	8.9	1.6			
	公務員	18	72.2	72.2	66.7	55.6	44.4	44.4	44.4	38.9	50.0	-	5.6	-			
	学生	13	61.5	38.5	38.5	30.8	38.5	38.5	53.8	23.1	53.8	-	7.7	-			
	家事専業	84	52.4	44.0	34.5	26.2	23.8	22.6	22.6	23.8	21.4	1.2	19.0	3.6			
	無職	187	49.2	32.6	27.8	35.3	26.7	26.7	16.0	17.1	13.9	1.1	24.6	7.0			
	その他	47	53.2	51.1	31.9	25.5	29.8	38.3	34.0	25.5	17.0	-	10.6	8.5			
無回答	9	22.2	33.3	11.1	11.1	11.1	33.3	11.1	11.1	-	-	11.1	33.3				
前回調査:全体	839	54.2	32.9	25.3	18.5	14.4	17.2	12.4	19.4	11.6	1.1	8.1	3.1				

※前回調査では、○は3つ以内としていた。

※前回調査で「特にない」だった選択肢は「特にない・わからない」に変更している。

4 子どもの人権について

(1) 子どもに関して現在どのような人権上の問題があると思うか

問 12 子どもに関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。(〇はいくつでも)

子どもに関して現在どのような人権上の問題があると思うかについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 1-14 及び表 1-8 のとおりである。

全体として、「親が子どもに身体的・心理的な虐待を加えたり、子育てを放棄すること」が 71.1% で最も多く、次いで「子どもが子どもをいじめたり、暴力を振るったり、又は子どもがその様子を見て見ぬ振りすること」(52.7%)、「家庭の経済状況が理由で子どもの生活や進学等に支障があること(子どもの貧困)」(46.1%)の順となっている。「特にない・わからない」は 11.1%となっている。

前回調査と比較すると、「特にない・わからない」が 5.3 ポイント増加している。また、「親が子どもに身体的・心理的な虐待を加えたり、子育てを放棄すること」は 2.1 ポイント減少しており、「学校や就職先の選択などについて親が子どもに自分の考えを強制すること」は 10.6 ポイント増加している。前回調査と今回調査で最も数値に変化が見られたのは、「教師による児童・生徒への体罰」で 15.7 ポイントの増加となっている。

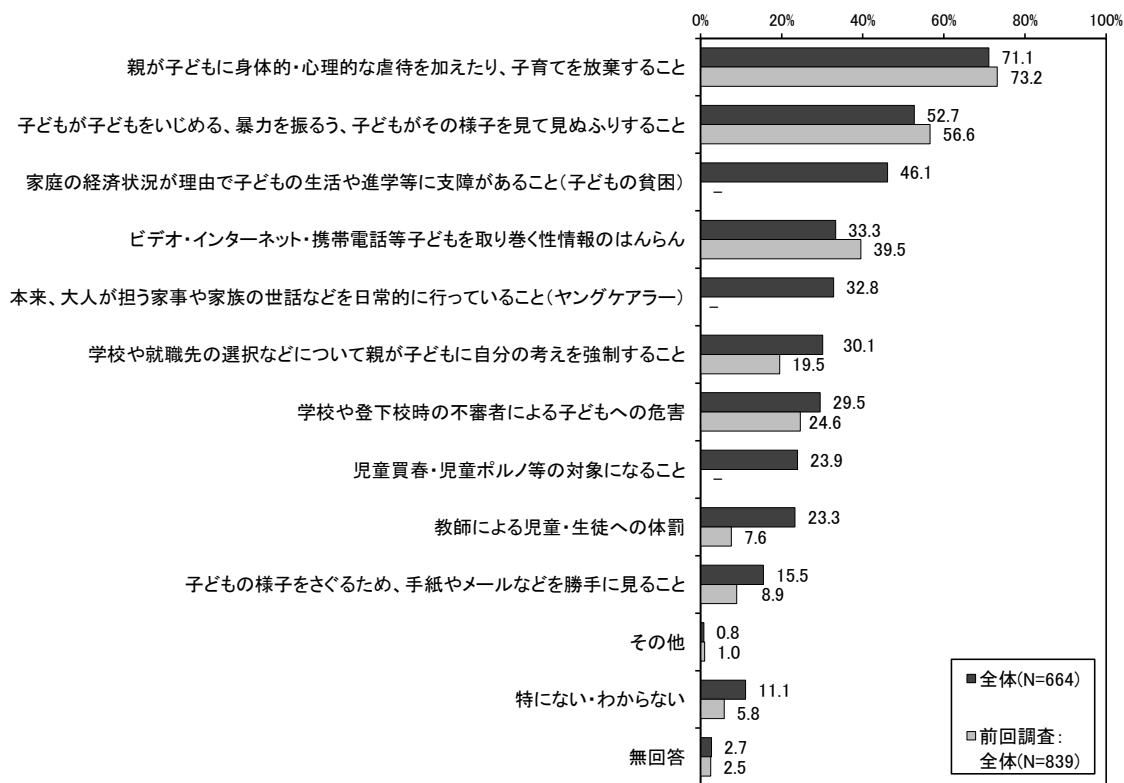
性別にみると、男女いずれも「親が子どもに身体的・心理的な虐待を加えたり、子育てを放棄すること」が 6 割以上で最も多くなっている。また、「特にない・わからない」以外のすべての選択肢において、女性が男性を上回っている。

性・年代別にみると、男女いずれの年代でも「親が子どもに身体的・心理的な虐待を加えたり、子育てを放棄すること」が最も多くなっている。特に、女性 40 代と 50 代は 8 割以上、女性 30 代以下は 9 割以上となっている。

職業別にみると、いずれの職種でも「親が子どもに身体的・心理的な虐待を加えたり、子育てを放棄すること」が半数以上で最も多くなっており、特に学生は 92.3%となっている。

参考として、県の意識調査から、子どもの人権がとくに尊重されていない、または侵害されていると思うことを尋ねた調査結果が参考図 8 である。「親が子どもに身体的・心理的な虐待を加えたり、子育てを放棄する(過度の放任や無視を含む)」が 74.1%で最も多く、次いで「子ども同士で暴力や仲間はずれ、無視などのいじめをしたり、させたりする」(54.2%)となっている。

■図 1-14 子どもに関して現在どのような人権上の問題があると思うか■



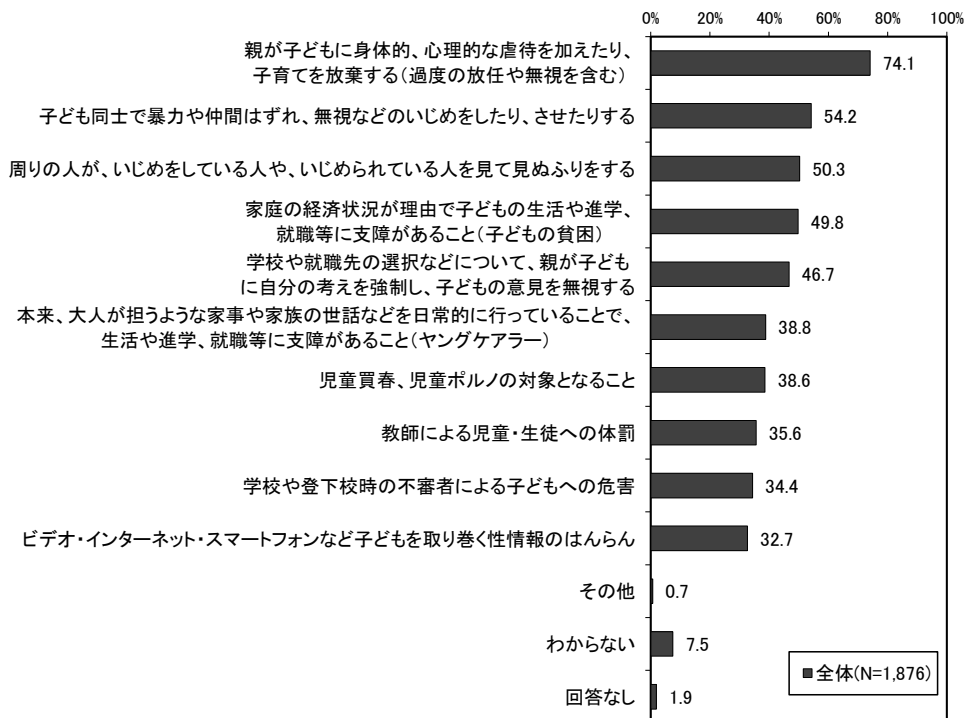
■表 1-8 子どもに関して現在どのような人権上の問題があると思うか■

単位: %	サンプル数	放棄する	親が子どもに身体的・心理的な虐待を加えたり、子育てを放棄すること	子どもが子どもをいじめ、暴力を振るう、子どもがその様子を見て見ぬふりすること	家庭の経済状況が理由で子どもの生活や進学等に支障があること(子どもの貧困)	情報のはんらん	ビデオ・インターネット・携帯電話等子どもを取り巻く性情報のはんらん	本来、大人が担う家事や家族の世話などを日常的に行っていること(ヤングケアラー)	学校や就職先の選択などについて親が子どもに自分の考えを強制すること	学校や登下校時の不審者による子どもへの危害	児童買春・児童ポルノ等の対象になること	教師による児童・生徒への体罰	子どもの様子をさぐるため、手紙やメールなどを勝手に見ること	その他	特にない・わからない	無回答
全体	664	71.1	52.7	46.1	33.3	32.8	30.1	29.5	23.9	23.3	15.5	0.8	11.1	2.7		
性・年代別	男性	283	65.4	45.6	40.3	29.3	23.3	25.8	23.7	23.0	19.8	12.4	0.7	14.5	1.8	
	30代以下	35	74.3	60.0	37.1	25.7	40.0	37.1	28.6	45.7	28.6	20.0	-	5.7	-	
	40代	33	63.6	51.5	45.5	39.4	24.2	30.3	30.3	36.4	30.3	12.1	3.0	9.1	-	
	50代	43	74.4	46.5	32.6	18.6	20.9	25.6	9.3	9.3	20.9	14.0	-	9.3	4.7	
	60代	69	68.1	46.4	43.5	36.2	21.7	20.3	18.8	20.3	15.9	7.2	-	14.5	2.9	
	70代以上	103	57.3	37.9	40.8	27.2	19.4	24.3	29.1	18.4	15.5	12.6	1.0	21.4	1.0	
	女性	372	75.3	57.8	50.8	36.3	39.8	33.6	34.1	24.7	26.1	18.0	0.8	8.9	3.2	
	30代以下	57	91.2	64.9	52.6	40.4	42.1	50.9	52.6	40.4	45.6	31.6	-	1.8	-	
	40代	42	83.3	69.0	64.3	57.1	59.5	45.2	45.2	47.6	28.6	31.0	2.4	2.4	-	
	50代	78	82.1	67.9	61.5	48.7	51.3	35.9	35.9	30.8	29.5	17.9	1.3	7.7	-	
60代	70	77.1	57.1	57.1	40.0	45.7	34.3	31.4	18.6	20.0	11.4	-	7.1	4.3		
70代以上	125	60.0	44.8	35.2	17.6	21.6	20.0	22.4	9.6	17.6	11.2	0.8	16.0	7.2		
回答しない	3	100.0	100.0	66.7	66.7	66.7	33.3	66.7	66.7	66.7	33.3	-	-	-	-	
無回答	6	66.7	50.0	16.7	16.7	33.3	16.7	-	-	-	-	-	-	-	16.7	
職業別	自営業	91	71.4	52.7	48.4	31.9	28.6	31.9	25.3	22.0	18.7	14.3	-	11.0	1.1	
	民間企業・団体(30人未満)	92	76.1	50.0	45.7	37.0	29.3	27.2	33.7	31.5	20.7	18.5	1.1	6.5	2.2	
	民間企業・団体(30人以上)	123	84.6	62.6	48.0	37.4	38.2	39.8	38.2	33.3	30.9	24.4	1.6	4.1	0.8	
	公務員	18	77.8	55.6	66.7	55.6	61.1	27.8	27.8	38.9	27.8	22.2	-	5.6	-	
	学生	13	92.3	76.9	38.5	30.8	53.8	61.5	38.5	38.5	38.5	15.4	-	-	-	
	家事専業	84	71.4	53.6	52.4	34.5	36.9	23.8	27.4	19.0	25.0	11.9	-	7.1	6.0	
	無職	187	58.3	44.4	41.2	27.3	26.7	26.2	26.2	17.1	17.6	11.2	1.1	20.9	3.2	
	その他	47	70.2	57.4	44.7	36.2	36.2	27.7	27.7	19.1	36.2	12.8	-	12.8	4.3	
無回答	9	55.6	44.4	22.2	11.1	22.2	22.2	-	-	-	-	-	-	11.1	11.1	
前回調査: 全体	839	73.2	56.6	-	39.5	-	19.5	-	24.6	-	-	7.6	8.9	1.0	5.8	2.5

※前回調査では、○は3つ以内としていた。

※今回調査から新たに「児童買春・児童ポルノ等の対象になること」「家庭の経済状況が理由で子どもの生活や進学、就職等に支障があること（子どもの貧困）」「本来、大人が担う家事や家族の世話などを日常的に行っていること（ヤングケアラー）」の選択肢を設けている。また、前回調査「特にない」だった選択肢は「特にない・わからない」に変更している。

■参考図8 子どもの人権について（県の意識調査）■



(2) 子どもの人権を守るために必要なこと

問 13 子どもの人権を守るために必要なことは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

子どもの人権を守るために必要なことについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 1-15 及び表 1-9 のとおりである。

全体として、「子どもに対する虐待の早期発見や予防策の充実に努めること」が 58.6%で最も多く、次いで「学校でのいじめ問題の防止の強化を図ること」(55.6%)、「地域・学校で子どもを育む気運の高揚を図ること」(45.0%)の順となっている。「特にない・わからない」は 9.3%となっている。

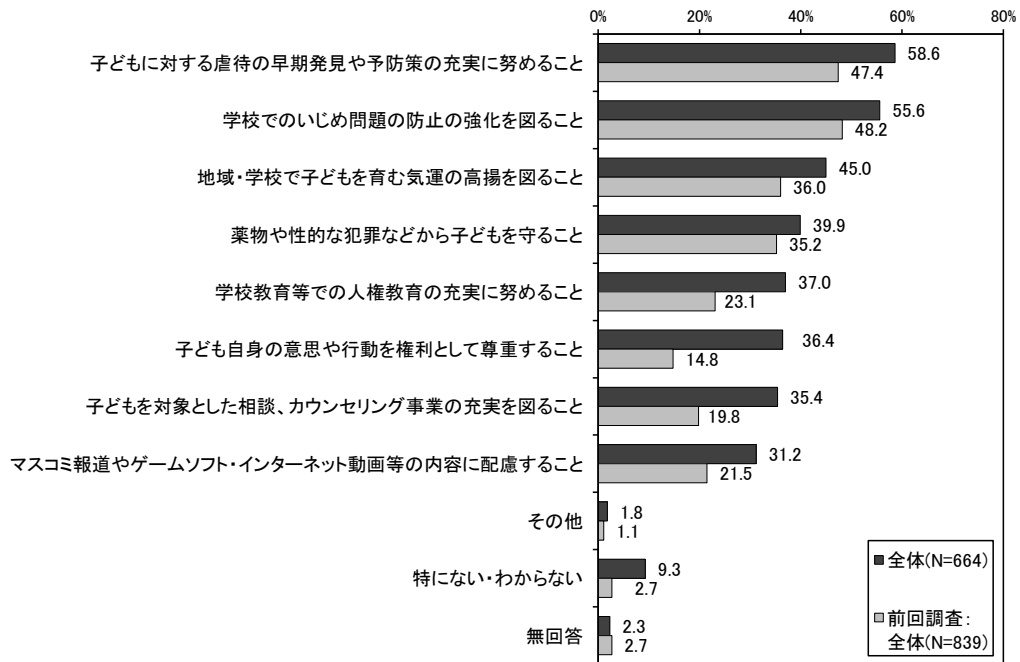
前回調査と比較すると、「特にない・わからない」が 6.6 ポイント増加している。前回調査と今回調査で最も数値に変化が見られたのは、「子ども自身の意志や行動を権利として尊重すること」で 21.6 ポイントの増加となっている。

性別にみると、男女いずれも「子どもに対する虐待の早期発見や予防策の充実に努めること」が最も多く、半数以上となっている。

性・年代別にみると、男性および女性 70 代以上を除いたすべての性・年代で「子どもに対する虐待の早期発見や予防策の充実に努めること」が最も多くなっている。一方、男女 70 代以上は「学校でのいじめ問題の防止の強化を図ること」が最も多くなっており、この選択肢については男性 30 代以下と 40 代も最も多くなっている。

職業別にみると、自営業と学生と無職を除く職種は「子どもに対する虐待の早期発見や予防策の充実に努めること」が最も多くなっている。学生は「子どもを対象とした相談、カウンセリング事業の充実を図ること」が 69.2%で他の職種と比べて最も多くなっている。

■図 1-15 子どもの人権を守るために必要なこと■



■表 1-9 子どもの人権を守るために必要なこと■

単位: %	サンプル数	子どもに対する虐待の早期発見や予防策の充実に努めること	学校でのいじめ問題の防止の強化を図ること	地域・学校で子どもを育む気運の高揚を図ること	薬物や性的な犯罪などから子どもを守ること	学校教育等での人権教育の充実に努めること	子ども自身の意思や行動を権利として尊重すること	子どもを対象とした相談、カウンセリング事業の充実に努めること	マスコミ報道やゲームソフト等の内容に配慮すること	その他	特にない・わからない	無回答	
全体	664	58.6	55.6	45.0	39.9	37.0	36.4	35.4	31.2	1.8	9.3	2.3	
性・年代別	男性	283	53.4	51.9	45.2	33.6	32.5	30.4	29.3	2.1	9.9	2.1	
	30代以下	35	57.1	57.1	34.3	48.6	40.0	48.6	48.6	2.9	8.6	-	
	40代	33	48.5	48.5	48.5	39.4	30.3	36.4	33.3	6.1	3.0	-	
	50代	43	60.5	46.5	53.5	25.6	30.2	30.2	27.9	-	9.3	4.7	
	60代	69	58.0	46.4	44.9	23.2	30.4	20.3	24.6	2.9	11.6	2.9	
	70代以上	103	47.6	57.3	44.7	36.9	33.0	29.1	25.2	19.4	10.0	11.7	1.9
	女性	372	62.6	58.3	45.2	44.9	40.6	41.1	40.3	35.5	1.6	8.9	2.2
	30代以下	57	75.4	63.2	50.9	57.9	49.1	70.2	57.9	43.9	3.5	3.5	-
	40代	42	76.2	64.3	52.4	61.9	38.1	52.4	47.6	61.9	-	2.4	-
	50代	78	73.1	65.4	47.4	50.0	50.0	42.3	48.7	33.3	-	7.7	-
60代	70	62.9	57.1	52.9	42.9	42.9	34.3	32.9	42.9	1.4	7.1	2.9	
70代以上	125	45.6	50.4	34.4	31.2	30.4	27.2	28.8	20.0	2.4	15.2	4.8	
回答しない	3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3	-	33.3	-	
無回答	6	66.7	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	-	16.7	-	-	16.7	
職業別	自営業	91	51.6	52.7	51.6	36.3	36.3	37.4	31.9	29.7	1.1	7.7	1.1
	民間企業・団体(30人未満)	92	66.3	55.4	48.9	38.0	34.8	35.9	30.4	34.8	1.1	5.4	2.2
	民間企業・団体(30人以上)	123	69.9	63.4	49.6	43.1	39.8	42.3	48.8	39.8	4.1	2.4	0.8
	公務員	18	72.2	50.0	50.0	61.1	38.9	61.1	44.4	50.0	-	5.6	-
	学生	13	53.8	46.2	46.2	53.8	53.8	61.5	69.2	38.5	-	7.7	-
	家事専業	84	60.7	57.1	42.9	44.0	35.7	34.5	33.3	33.3	1.2	8.3	2.4
	無職	187	48.7	53.5	39.0	36.9	35.8	29.9	31.0	22.5	2.1	16.6	3.2
	その他	47	59.6	48.9	38.3	36.2	38.3	36.2	29.8	29.8	-	12.8	4.3
	無回答	9	55.6	66.7	44.4	33.3	33.3	22.2	11.1	11.1	-	11.1	11.1
	前回調査: 全体	839	47.4	48.2	36.0	35.2	23.1	14.8	19.8	21.5	1.1	2.7	2.7

※前回調査では、○は3つ以内としていた。

※前回調査で「特にない」だった選択肢は「特にない・わからない」に変更している。

5 高齢者の人権について

(1) 高齢者に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

問 14 高齢者に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。(〇はいくつでも)

高齢者に関して現在どのような人権上の問題があると思うかについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 1-16 及び表 1-10 のとおりである。

全体として、「高齢者をねらった悪徳商法や振り込め詐欺」が 57.1%で最も多く、次いで「介護を必要とする高齢者の介護体制・介護環境が十分でないこと」(52.4%)、「生活に必要な情報がひとり暮らしの高齢者等に伝わりにくいこと」(44.7%)の順となっている。「特にない・わからない」は 11.7%となっている。

前回調査と比較すると、「特にない・わからない」は 7.3 ポイント増加している。また、前回調査と今回調査で最も数値に変化が見られたのは、「単身高齢者などが賃貸の住宅への入居を拒否されること」で 11.8 ポイントの増加となっている。

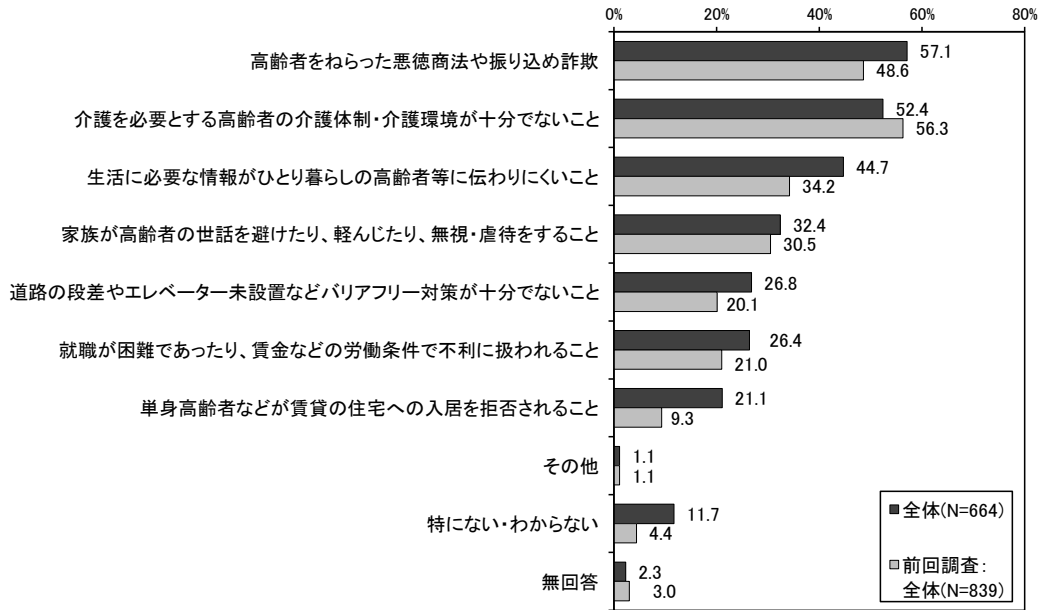
性別にみると、男女いずれも「高齢者をねらった悪徳商法や振り込め詐欺」が半数以上と最も多くなっている。

性・年代別にみると、男女いずれも 50 代と 60 代と 70 代以上において「高齢者をねらった悪徳商法や振り込め詐欺」が最も多くなっている。一方、男女いずれも 30 代以下と 40 代においては、「介護を必要とする高齢者の介護体制・介護環境が十分でないこと」が最も多くなっている。また、男性 30 代以下においては「就職が困難であったり、賃金などの労働条件で不利に扱われること」と「生活に必要な情報がひとり暮らしの高齢者等に伝わりにくいこと」も最も多くなっている。

職業別にみると、いずれの職種も「高齢者をねらった悪徳商法や振り込め詐欺」が半数以上となっている。

参考として、県の意識調査から、高齢者の人権がとくに尊重されていない、または侵害されていると思うことを尋ねた調査結果が参考図 9 である。「高齢者をねらった悪徳商法や振り込め詐欺」が 55.5%で最も多く、次いで「介護を必要とする高齢者の介護体制・介護環境が十分でないこと(老々介護や介護の過度な負担による虐待等の問題が生じているなど)」(49.3%)となっている。

■ 図 1-16 高齢者に関して現在どのような人権上の問題があると思うか



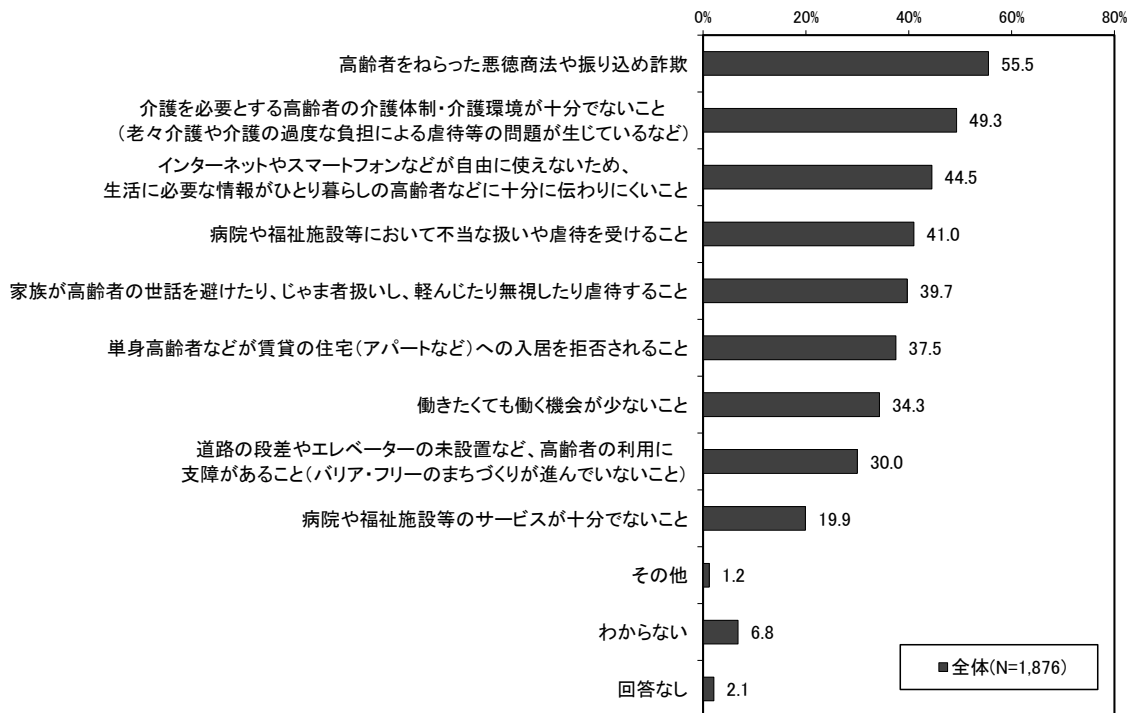
■ 表 1-10 高齢者に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

単位: %	サンプル数	や高齢者をねらった悪徳商法	介護を必要とする高齢者の環境が十分でないこと	生活に必要な情報がひとり暮らしの高齢者等に伝わりにくいこと	虐待をすること	家族が高齢者の世話を避けたり、軽んじたり、無視・虐待をすること	道路の段差やエレベーター未設置などバリアフリー対策が十分でないこと	就職が困難であったり、賃金などの労働条件で不利に扱われること	住宅への入居を拒否されること	その他	特にない・わからない	無回答
全体	664	57.1	52.4	44.7	32.4	26.8	26.4	21.1	1.1	11.7	2.3	
性・年代別	男性	283	53.4	49.1	39.9	30.0	23.3	26.1	19.4	0.7	16.3	1.1
	30代以下	35	45.7	48.6	48.6	28.6	28.6	48.6	31.4	-	28.6	-
	40代	33	51.5	57.6	30.3	36.4	30.3	39.4	15.2	-	9.1	-
	50代	43	46.5	41.9	34.9	25.6	14.0	27.9	14.0	-	14.0	2.3
	60代	69	49.3	47.8	30.4	29.0	24.6	23.2	18.8	1.4	17.4	1.4
	70代以上	103	62.1	50.5	48.5	31.1	22.3	15.5	19.4	1.0	14.6	1.0
	女性	372	59.4	55.4	48.7	34.1	29.6	26.9	22.6	1.3	8.3	3.0
	30代以下	57	64.9	66.7	52.6	50.9	42.1	38.6	24.6	1.8	7.0	-
	40代	42	61.9	69.0	57.1	40.5	23.8	42.9	28.6	-	9.5	-
	50代	78	71.8	69.2	51.3	30.8	34.6	34.6	26.9	2.6	3.8	-
60代	70	57.1	48.6	55.7	35.7	21.4	25.7	38.6	1.4	4.3	2.9	
70代以上	125	49.6	40.8	38.4	25.6	27.2	12.0	8.0	0.8	13.6	7.2	
回答しない	3	100.0	33.3	66.7	66.7	33.3	33.3	33.3	-	-	-	
無回答	6	66.7	33.3	16.7	16.7	16.7	-	-	-	16.7	16.7	
職業別	自営業	91	61.5	52.7	40.7	35.2	18.7	18.7	24.2	-	11.0	2.2
	民間企業・団体(30人未満)		55.4	51.1	44.6	31.5	23.9	31.5	20.7	-	10.9	1.1
	民間企業・団体(30人以上)	123	56.9	64.2	43.9	35.0	34.1	36.6	25.2	1.6	8.1	0.8
	公務員	18	61.1	66.7	50.0	50.0	27.8	50.0	38.9	-	-	-
	学生	13	53.8	53.8	61.5	46.2	30.8	53.8	23.1	-	7.7	-
	家事専業	84	61.9	45.2	50.0	38.1	22.6	21.4	20.2	-	6.0	1.2
	無職	187	52.9	47.6	44.4	26.7	28.9	17.6	18.7	2.1	19.3	3.2
	その他	47	59.6	53.2	44.7	25.5	29.8	34.0	10.6	2.1	8.5	4.3
	無回答	9	55.6	33.3	22.2	22.2	11.1	11.1	11.1	-	22.2	22.2
前回調査: 全体	839	48.6	56.3	34.2	30.5	20.1	21.0	9.3	1.1	4.4	3.0	

※前回調査では、○は3つ以内としていた。

※前回調査で「特にない」だった選択肢は「特にない・わからない」に変更している。

■参考図9 高齢者の人権について（県の意識調査）■



(2) 高齢者の人権を守るために必要なこと

問 15 高齢者の人権を守るために必要なことは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

高齢者の人権を守るために必要なことについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 1-17 及び表 1-11 のとおりである。

全体として、「生きがいを持って生活できる環境づくりに努めること」が 61.3%で最も多く、次いで「保健、医療、福祉のサービスや利用施設を充実させること」(57.1%)、「高齢者のための相談・支援体制の充実を図ること」(45.6%)の順となっている。「特にない・わからない」は 10.2%となっている。

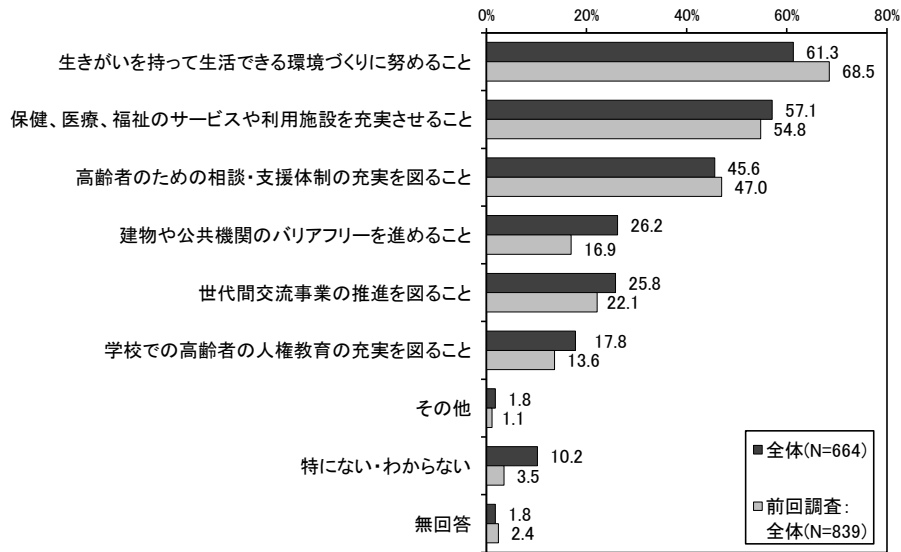
前回調査と比較すると、「特にない・わからない」は 6.7 ポイント増加している。また、前回調査と今回調査で最も数値に変化が見られたのは、「建物や公共機関のバリアフリーを進めること」で 9.3 ポイントの増加となっている。

性別にみると、男女いずれも「生きがいを持って生活できる環境づくりに努めること」が半数以上で最も多くなっている。

性・年代別にみると、男性 60 代と女性 30 代以下を除く性・年代では「生きがいを持って生活できる環境づくりに努めること」が最も多くなっている。また、男性 30 代以下と女性 40 代は、「高齢者のための相談・支援体制の充実を図ること」も最も多くなっている。

職業別にみると、学生と無職とその他を除くすべての職種は「生きがいを持って生活できる環境づくりに努めること」が最も多くなっている。一方、学生と無職とその他の回答者は「保健、医療、福祉のサービスや利用施設を充実させること」が最も多くなっている。

■図 1-17 高齢者の人権を守るために必要なこと■



■表 1-11 高齢者の人権を守るために必要なこと■

単位:%	サンプル数	生きがいを持って生活できる環境づくりに努めること	保健、医療、福祉のサービスや利用施設を充実させること	相談・支援体制の充実を図ること	建物や公共機関のバリアフリーを進めること	世代間交流事業の推進を図ること	学校での高齢者の人権教育の充実を図ること	その他	特にない・わからない	無回答	
全体	664	61.3	57.1	45.6	26.2	25.8	17.8	1.8	10.2	1.8	
性・年代別	男性	283	56.9	53.0	43.1	23.7	26.9	16.6	2.1	12.7	1.4
	30代以下	35	48.6	42.9	48.6	40.0	37.1	28.6	-	22.9	-
	40代	33	63.6	45.5	39.4	33.3	39.4	21.2	-	12.1	-
	50代	43	53.5	46.5	41.9	18.6	20.9	9.3	2.3	11.6	4.7
	60代	69	47.8	58.0	44.9	15.9	20.3	10.1	2.9	14.5	1.4
	70代以上	103	65.0	58.3	41.7	22.3	26.2	18.4	2.9	8.7	1.0
	女性	372	64.8	60.8	47.8	28.5	25.5	19.1	1.6	8.3	2.2
	30代以下	57	64.9	68.4	49.1	50.9	42.1	38.6	1.8	10.5	-
	40代	42	61.9	57.1	61.9	21.4	26.2	26.2	-	11.9	-
	50代	78	73.1	60.3	59.0	33.3	28.2	19.2	1.3	6.4	-
60代	70	62.9	57.1	52.9	24.3	32.9	15.7	1.4	5.7	4.3	
70代以上	125	61.6	60.8	32.8	20.0	12.0	9.6	2.4	8.8	4.0	
回答しない	3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-	
無回答	6	66.7	33.3	50.0	16.7	-	-	-	-	-	
職業別	自営業	91	69.2	52.7	47.3	17.6	30.8	14.3	-	11.0	-
	民間企業・団体(30人未満)	92	58.7	53.3	39.1	29.3	27.2	22.8	3.3	9.8	3.3
	民間企業・団体(30人以上)	123	61.8	59.3	52.8	35.0	30.1	21.1	1.6	10.6	0.8
	公務員	18	66.7	50.0	55.6	44.4	38.9	33.3	-	5.6	-
	学生	13	61.5	69.2	61.5	46.2	46.2	38.5	-	-	-
	家事専業	84	67.9	58.3	42.9	22.6	20.2	16.7	-	6.0	2.4
	無職	187	55.6	58.8	41.2	23.0	20.3	15.0	3.2	13.9	2.7
	その他	47	57.4	61.7	51.1	23.4	25.5	8.5	2.1	6.4	2.1
無回答	9	66.7	33.3	44.4	11.1	11.1	11.1	-	11.1	-	
前回調査:全体	839	68.5	54.8	47.0	16.9	22.1	13.6	1.1	3.5	2.4	

※前回調査では、○は3つ以内としていた。

※前回調査で「特にない」だった選択肢は「特にない・わからない」に変更している。

6 障害のある人の人権について

(1) 障がいのある人に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

問 16 障がいのある人に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

障がいのある人に関して現在どのような人権上の問題があると思うかについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 1-18 及び表 1-12 のとおりである。

全体として、「人権上の配慮に欠けた差別的な言動をされること」が 50.9%で最も多く、次いで「就職が困難であったり、賃金などの労働条件で不利に扱われたりすること」(46.5%)、「路の段差やエレベーターの未設置など、利用に支障があること」(36.7%)の順となっている。「特にない・わからない」は 19.4%となっている。

前回調査と比較すると、「特にない・わからない」は 11.4 ポイント増加している。また、前回調査と今回調査で最も数値に変化が見られたのは、「普段接する人から肉体的・精神的な虐待を受けること」で 9.6 ポイントの増加となっている。

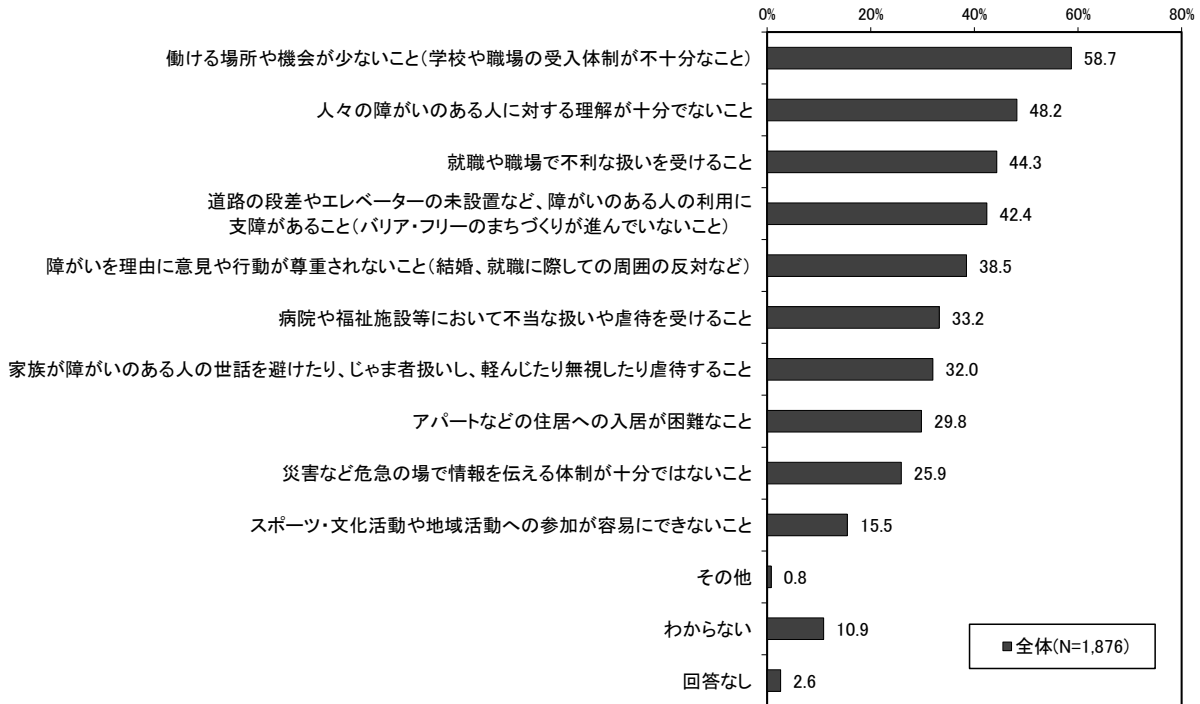
性別にみると、男女いずれも「人権上の配慮に欠けた差別的な言動をされること」が最も多くなっている。

性・年代別にみると、女性 60 代を除く男女いずれの年代でも「人権上の配慮に欠けた差別的な言動をされること」が最も多くなっている。

職業別にみると、その他を除くすべての職種で「人権上の配慮に欠けた差別的な言動をされること」が最も多くなっている。また、公務員においては「就職が困難であったり、賃金などの労働条件で不利に扱われたりすること」も最も多くなっている。

参考として、県の意識調査から、障がいのある人の人権がとくに尊重されていない、または侵害されていると思うことを尋ねた調査結果が参考図 10 である。「働ける場所や機会が少ないこと（学校や職場の受入体制が不十分なこと）」が 58.7%で最も多く、次いで「人々の障がいのある人に対する理解が十分でないこと」(48.2%)となっている。

■参考図 10 障がいのある人の人権について（県の意識調査）■



(2) 障がいのある人の人権を守るために必要なこと

問 17 障がいのある人の人権を守るために必要なことは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

障がいのある人の人権を守るために必要なことについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 1-19 及び表 1-13 のとおりである。

全体として、「保健、医療、福祉のサービスや利用施設を充実させること」が 50.6%で最も多く、次いで「幼少期から障がいのある人に対する理解を深める保育や教育を行うこと」(45.9%)、「就職機会の確保、賃金などの労働条件を安定させること」(43.2%)の順となっている。「特にない・わからない」は 14.5%となっている。

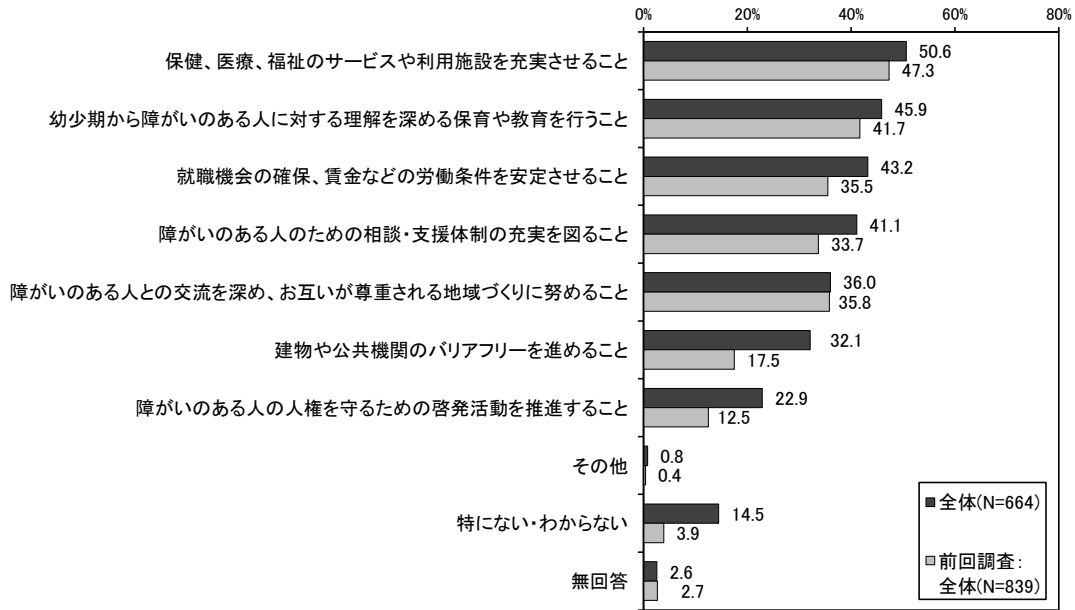
前回調査と比較すると、「特にない・わからない」は 10.6 ポイント増加している。また、前回調査と今回調査で最も数値に変化が見られたのは、「建物や公共機関のバリアフリーを進めること」で 14.6 ポイントの増加となっている。

性別にみると、男女いずれも「保健、医療、福祉のサービスや利用施設を充実させること」が最も多くなっている。

性・年代別にみると、「保健、医療、福祉のサービスや利用施設を充実させること」が男性 30 代以下と 60 代と 70 代以上、女性 40 代と 70 代以上で最も割合が多くなっている。

職業別にみると、学生は、「保健、医療、福祉のサービスや利用施設を充実させること」、「就職機会の確保、賃金などの労働条件を安定させること」、「障がいのある人との交流を深め、お互いが尊重される地域づくりに努めること」、「建物や公共機関のバリアフリーを進めること」、「障がいのある人の人権を守るための啓発活動を推進すること」で他の職種に比べて最も多くなっている。

■ 図 1-19 障がいのある人の人権を守るために必要なこと ■



■ 表 1-13 障がいのある人の人権を守るために必要なこと ■

単位: %	サンプル数	必要なこと										
		コストや利用施設を充実させること	保健、医療、福祉のサービスや利用施設を充実させること	幼少期から障がいのある人に対する理解を深める保育や教育を行うこと	就職機会の確保、賃金などの労働条件を安定させること	相談・支援体制の充実を図ること	障がいのある人との交流を深め、お互いが尊重される地域づくりに努めること	建物や公共機関のバリアフリーを進めること	障がいのある人の人権を守るための啓発活動を推進すること	その他	特にない・わからない	無回答
全体	664	50.6	45.9	43.2	41.1	36.0	32.1	22.9	0.8	14.5	2.6	
性・年代別	男性	283	48.8	41.0	39.6	41.0	32.5	27.6	23.7	0.7	17.3	1.4
	30代以下	35	45.7	40.0	37.1	34.3	40.0	40.0	25.7	-	22.9	-
	40代	33	36.4	48.5	60.6	48.5	42.4	33.3	24.2	-	9.1	-
	50代	43	34.9	39.5	37.2	32.6	32.6	23.3	20.9	-	18.6	2.3
	60代	69	47.8	37.7	40.6	34.8	21.7	21.7	20.3	-	18.8	2.9
	70代以上	103	60.2	41.7	34.0	48.5	34.0	27.2	26.2	1.9	16.5	1.0
	女性	372	52.7	50.5	46.0	41.1	39.2	35.5	22.6	0.8	11.8	3.2
	30代以下	57	57.9	50.9	56.1	42.1	49.1	42.1	33.3	1.8	12.3	1.8
	40代	42	64.3	61.9	54.8	54.8	35.7	42.9	35.7	-	7.1	2.4
	50代	78	50.0	48.7	53.8	42.3	42.3	41.0	20.5	-	7.7	1.3
60代	70	52.9	68.6	51.4	45.7	40.0	32.9	14.3	2.9	4.3	4.3	
70代以上	125	48.0	37.6	30.4	32.8	33.6	28.0	19.2	-	20.0	4.8	
回答しない	3	33.3	-	33.3	-	-	33.3	-	-	66.7	-	
無回答	6	16.7	16.7	50.0	66.7	16.7	33.3	16.7	-	16.7	16.7	
職業別	自営業	91	52.7	49.5	45.1	47.3	30.8	19.8	18.7	2.2	15.4	1.1
	民間企業・団体(30人未満)	92	44.6	47.8	42.4	37.0	41.3	32.6	25.0	-	16.3	2.2
	民間企業・団体(30人以上)	123	52.0	47.2	49.6	44.7	39.8	36.6	23.6	-	9.8	1.6
	公務員	18	50.0	33.3	55.6	27.8	50.0	50.0	27.8	-	11.1	5.6
	学生	13	69.2	38.5	61.5	46.2	53.8	53.8	46.2	-	7.7	-
	家事専業	84	47.6	52.4	42.9	34.5	40.5	31.0	22.6	-	8.3	2.4
	無職	187	51.9	42.8	35.3	39.6	32.6	31.0	24.6	1.6	19.8	3.2
	その他	47	55.3	44.7	46.8	46.8	23.4	38.3	12.8	-	10.6	4.3
無回答	9	22.2	22.2	44.4	55.6	22.2	22.2	11.1	-	33.3	11.1	
前回調査: 全体	839	47.3	41.7	35.5	33.7	35.8	17.5	12.5	0.4	3.9	2.7	

※前回調査では、○は3つ以内としていた。

※前回調査で「特にない」だった選択肢は「特にない・わからない」に変更している。

7 外国人や外国にルーツのある人の人権について

(1) 外国人や外国にルーツのある人に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

問 18 外国人や外国にルーツのある人に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

外国人や外国にルーツのある人に関して現在どのような人権上の問題があると思うかについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 1-20 及び表 1-14 のとおりである。

全体として、「就職が困難であったり、賃金などの労働条件で不利な扱いを受けること」が 39.5% で最も多く、次いで「特定の民族や国籍であるがため、差別的な言動をされること（ヘイトスピーチ）」(37.7%)、「特にない・わからない」(34.9%) の順となっている。

前回調査と比較すると、「特にない・わからない」は 11.9 ポイント増加している。また、それ以外の選択肢については、「店舗等への入店や施設利用を拒否されること」が 6.5 ポイント増加している。ただし、前回調査の「人権上の配慮に欠けた差別的な言動をされること」と今回調査の「特定の民族や国籍であるがため、差別的な言動をされること（ヘイトスピーチ）」は提示した表現が異なるため、比較はしないこととする。

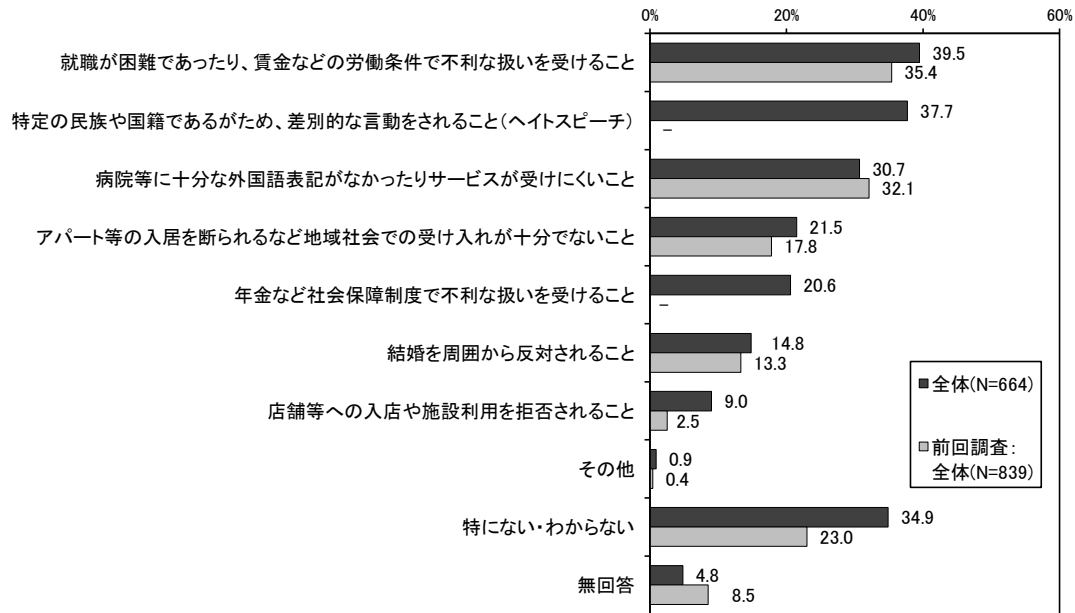
性別にみると、男性は「特にない・わからない」(38.5%) が最も多く、女性は「就職が困難であったり、賃金などの労働条件で不利な扱いを受けること」(41.7%) が最も多くなっている。

性・年代別にみると、男女いずれも 70 代以上は「特にない・わからない」が最も多くなっている。男女いずれも 30 代以下と 40 代と 50 代は「特定の民族や国籍であるがため、差別的な言動をされること（ヘイトスピーチ）」が最も多くなっている。

職業別にみると、「病院等に十分な外国語表記がなかったりサービスが受けにくいこと」については公務員のみが 50.0% で半数を占めている。

参考として、県の意識調査から、日本に居住する外国人や外国にルーツのある人の人権がとくに尊重されていない、または侵害されていると思うことを尋ねた調査結果が参考図 11 である。「就職や職場で不利な扱いを受けること」が 44.1% で最も多く、次いで「特定の民族や国籍の人に対する差別的言動（ヘイトスピーチ）」(39.2%) となっている。

■ 図 1-20 外国人や外国にルーツのある人に関して現在どのような人権上の問題があると思うか■



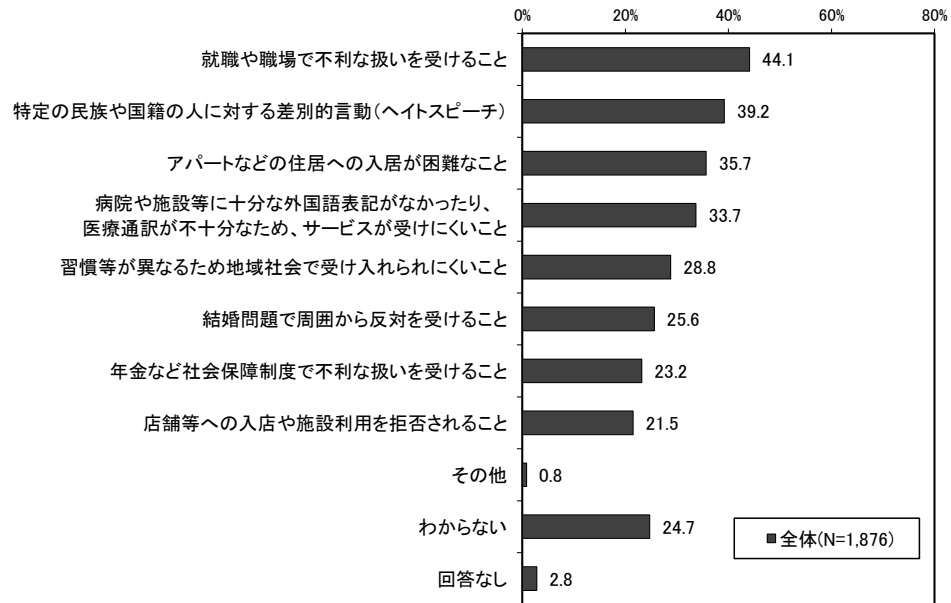
■ 表 1-14 外国人や外国にルーツのある人に関して現在どのような人権上の問題があると思うか■

単位:%	サンプル数	就職が困難であったり、賃金などの労働条件で不利な扱いを受けること	特定の民族や国籍であるがため、差別的な言動をされること(ヘイトスピーチ)	病院等に十分な外国語表記がなかったりサービスが受けにくいこと	アパート等の入居を断られるなど地域社会での受け入れが十分でないこと	年金など社会保障制度で不利な扱いを受けること	結婚を周囲から反対されること	店舗等への入店や施設利用を拒否されること	その他	特にない・わからない	無回答	
全体	664	39.5	37.7	30.7	21.5	20.6	14.8	9.0	0.9	34.9	4.8	
性・年代別	男性	283	37.1	34.6	26.1	16.6	21.6	15.5	8.8	0.7	38.5	3.9
	30代以下	35	45.7	54.3	40.0	20.0	31.4	28.6	20.0	-	37.1	-
	40代	33	39.4	48.5	27.3	24.2	21.2	24.2	9.1	-	30.3	-
	50代	43	34.9	39.5	11.6	14.0	18.6	14.0	4.7	2.3	30.2	7.0
	60代	69	34.8	31.9	29.0	17.4	17.4	15.9	10.1	-	36.2	4.3
	70代以上	103	35.9	23.3	25.2	13.6	22.3	8.7	5.8	1.0	46.6	4.9
	女性	372	41.7	40.3	34.1	25.3	20.2	14.0	9.1	1.1	32.3	5.1
	30代以下	57	56.1	59.6	47.4	35.1	33.3	38.6	17.5	-	14.0	1.8
	40代	42	50.0	52.4	42.9	35.7	19.0	16.7	14.3	-	26.2	2.4
	50代	78	44.9	55.1	44.9	30.8	26.9	15.4	16.7	1.3	25.6	1.3
60代	70	57.1	41.4	38.6	37.1	18.6	10.0	4.3	2.9	20.0	4.3	
70代以上	125	21.6	17.6	16.0	7.2	11.2	3.2	1.6	0.8	53.6	10.4	
回答しない	3	33.3	33.3	66.7	33.3	33.3	66.7	33.3	-	-	-	
無回答	6	16.7	16.7	16.7	16.7	-	-	-	-	50.0	33.3	
職業別	自営業	91	37.4	28.6	25.3	16.5	13.2	11.0	11.0	-	41.8	5.5
	民間企業・団体(30人未満)	92	39.1	48.9	34.8	26.1	25.0	25.0	14.1	-	31.5	3.3
	民間企業・団体(30人以上)	123	50.4	48.8	36.6	31.7	24.4	21.1	10.6	0.8	24.4	2.4
	公務員	18	44.4	55.6	50.0	38.9	27.8	22.2	16.7	-	16.7	5.6
	学生	13	53.8	61.5	46.2	38.5	38.5	46.2	23.1	-	15.4	-
	家事専業	84	42.9	35.7	29.8	21.4	15.5	7.1	6.0	1.2	39.3	3.6
	無職	187	28.9	25.1	26.2	13.4	20.9	9.1	5.9	2.1	43.3	7.0
	その他	47	48.9	46.8	29.8	17.0	19.1	12.8	4.3	-	23.4	4.3
	無回答	9	22.2	22.2	11.1	22.2	11.1	-	-	-	55.6	22.2
	前回調査: 全体	839	35.4	-	32.1	17.8	-	13.3	2.5	0.4	23.0	8.5

※前回調査では、○は3つ以内としていた。

※前回調査で設けていた選択肢「福祉サービスなどの対象外となること」は今回調査では除いている。また、前回調査で「特にない」だった選択肢は「特にない・わからない」に、「人権上の配慮に欠けた差別的な言動をされること」は「特定の民族や国籍であるがため、差別的な言動をされること(ヘイトスピーチ)」に、「結婚問題で周囲から反対されること」は「結婚を周囲から反対されること」に変更している。

■参考図 11 日本に居住する外国人や外国にルーツのある人の人権について（県の意識調査）■



(2) 外国人や外国にルーツのある人の人権を守るために必要なこと

問 19 外国人や外国にルーツのある人の人権を守るために必要なことは何だと思いますか。
(〇はいくつでも)

外国人や外国にルーツのある人の人権を守るために必要なことについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 1-21 及び表 1-15 のとおりである。

全体として、「就職の機会・賃金・労働条件の平等を確保すること」が 37.3%で最も多く、次いで「日常生活に必要な情報や案内を多言語化して充実を図ること」(33.4%)、「特にない・わからない」(31.6%)の順となっている。

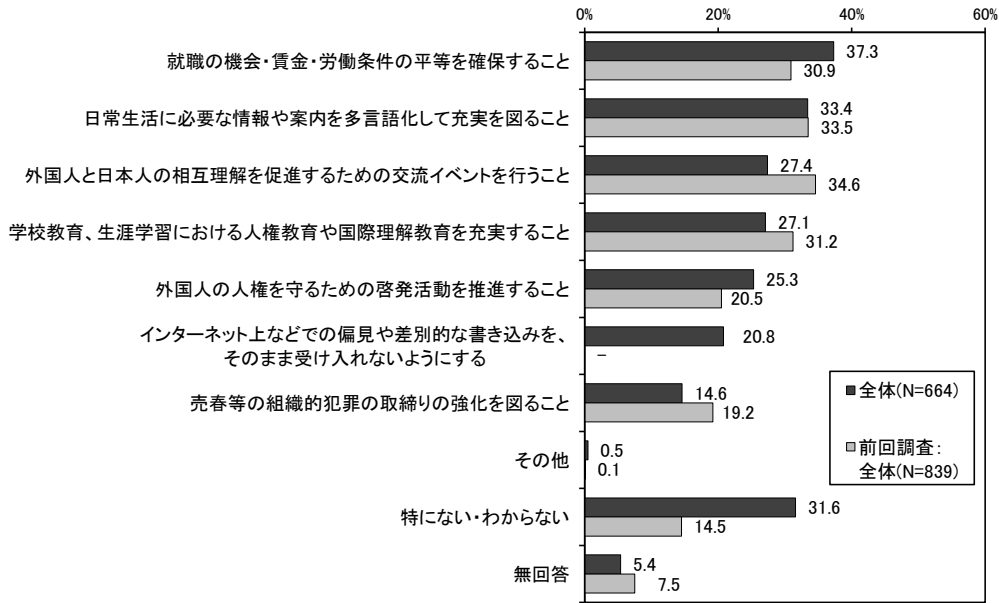
前回調査と比較すると、「特にない・わからない」は 17.1 ポイント増加している。また、それ以外の選択肢については、「外国人と日本人の相互理解を促進するための交流イベントを行うこと」が 7.2 ポイント減少し、「就職の機会・賃金・労働条件の平等を確保すること」が 6.4 ポイント増加している。

性別にみると、男女いずれも「就職の機会・賃金・労働条件の平等を確保すること」が 35.0%以上となっている。

性・年代別にみると、男女いずれも 70 代以上は「特にない・わからない」が最も多く、4 割以上となっている。また、男女いずれの 30 代以下及び 40 代と、男性 50 代は「就職の機会・賃金・労働条件の平等を確保すること」が最も多くなっている。また、男性 50 代においては「学校教育、生涯学習における人権教育や国際理解教育を充実すること」も最も多くなっている。女性では、30 代以下と 50 代と 60 代がともに「日常生活に必要な情報や案内を多言語化して充実を図ること」が最も多くなっている。

職業別にみると、学生は「就職の機会・賃金・労働条件の平等を確保すること」が 69.2%で他の職種に比べて最も多くなっている。

■ 図 1-21 外国人や外国にルーツのある人の人権を守るために必要なこと ■



■ 表 1-15 外国人や外国にルーツのある人の人権を守るために必要なこと ■

単位: %	サンプル数	就職の機会・賃金・労働条件の	日常生活に必要な情報や案内を	外国人と日本人の相互理解を促	学校教育、生涯学習における人	外国人の人権を守るための啓発	インターネット上などでの偏見	売春等の組織的犯罪の取締りの	その他	特にない・わからない	無回答	
		平等を確保すること	多言語化して充実を図ること	う進外国人との交流イベントを	権教育や国際理解教育を充実す	活動外国人の人権を守るための啓	まや差別的な書き込みを、その偏	強化を図ること	その他	特にない・わからない	無回答	
全体	664	37.3	33.4	27.4	27.1	25.3	20.8	14.6	0.5	31.6	5.4	
性・年代別	男性	283	35.3	28.6	26.1	27.6	25.8	15.2	13.4	0.7	35.7	4.9
	30代以下	35	48.6	34.3	37.1	37.1	34.3	31.4	20.0	-	34.3	-
	40代	33	42.4	36.4	39.4	24.2	36.4	24.2	18.2	-	30.3	-
	50代	43	37.2	32.6	14.0	37.2	25.6	11.6	9.3	2.3	25.6	7.0
	60代	69	27.5	30.4	26.1	31.9	21.7	11.6	14.5	-	31.9	5.8
	70代以上	103	33.0	21.4	23.3	18.4	22.3	10.7	10.7	1.0	44.7	6.8
	女性	372	39.0	37.6	28.8	26.9	25.3	24.7	15.9	0.3	28.8	5.6
	30代以下	57	47.4	54.4	38.6	42.1	40.4	36.8	28.1	-	14.0	1.8
	40代	42	50.0	38.1	38.1	31.0	31.0	31.0	11.9	-	23.8	2.4
	50代	78	47.4	48.7	34.6	38.5	28.2	30.8	20.5	-	21.8	1.3
	60代	70	44.3	47.1	28.6	28.6	21.4	21.4	15.7	-	22.9	5.7
	70代以上	125	23.2	17.6	17.6	10.4	16.8	15.2	8.8	0.8	44.8	11.2
	回答しない	3	33.3	-	-	66.7	-	-	-	-	33.3	-
無回答	6	33.3	16.7	16.7	-	16.7	50.0	-	-	16.7	16.7	
職業別	自営業	91	31.9	28.6	22.0	30.8	16.5	13.2	9.9	-	33.0	6.6
	民間企業・団体(30人未満)	92	46.7	37.0	29.3	28.3	29.3	25.0	15.2	-	31.5	3.3
	民間企業・団体(30人以上)	123	43.1	45.5	35.0	33.3	31.7	22.0	19.5	-	23.6	2.4
	公務員	18	38.9	55.6	33.3	44.4	50.0	27.8	27.8	-	16.7	5.6
	学生	13	69.2	46.2	46.2	46.2	53.8	38.5	30.8	-	15.4	-
	家事専業	84	36.9	35.7	25.0	21.4	20.2	26.2	13.1	1.2	31.0	3.6
	無職	187	28.3	23.5	22.5	20.9	23.5	17.1	12.3	1.1	40.1	9.1
	その他	47	42.6	31.9	31.9	29.8	17.0	19.1	14.9	-	27.7	4.3
	無回答	9	33.3	11.1	22.2	-	22.2	33.3	-	-	33.3	11.1
前回調査・全体	839	30.9	33.5	34.6	31.2	20.5	-	19.2	0.1	14.5	7.5	

※前回調査では、○は3つ以内としていた。

※今回調査から新たに「インターネット上などでの偏見や差別的な書き込みを、そのまま受け入れないようにする」の選択肢を設けている。また、前回調査「特にない」だった選択肢は「特にない・わからない」に変更している。

8 様々な人権問題について

(1) HIV感染者、エイズ患者に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

問 20 HIV感染者、エイズ患者に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

HIV感染者、エイズ患者に関して現在どのような人権上の問題があると思うかについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 1-22 及び表 1-16 のとおりである。

全体として、「特にない・わからない」が 41.7%で最も多く、次いで「感染者や患者が特別な目で見られること」(35.7%)、「感染していることを本人に無断で他人に伝えられること」(31.6%)の順となっている。

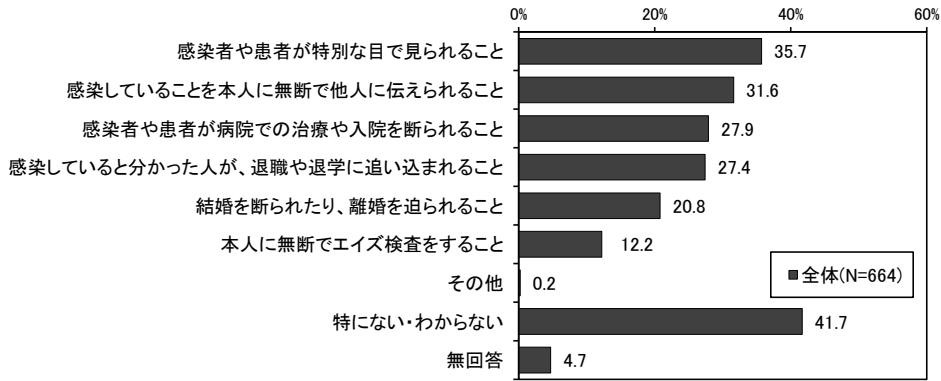
性別にみると、男性は「特にない・わからない」(44.5%)が最も多く、女性は「感染者や患者が特別な目で見られること」(39.8%)が最も多くなっている。

性・年代別にみると、女性の 30 代以下と 40 代と 50 代は「感染者や患者が特別な目で見られること」が最も多くなっている。また、他の性・年代では、男性 40 代を除き、「特にない・わからない」が最も多くなっている。

職業別にみると、自営業、家事専業、無職においては、「特にない・わからない」が最も多くなっており、それ以外の職種においては、「感染者や患者が特別な目で見られること」が最も多くなっている。

参考として、県の意識調査から、HIV感染者、エイズ患者の人権がとくに尊重されていない、または侵害されていると思うことを尋ねた調査結果が参考図 12 である。「感染していることを本人に無断で他人に伝えられること」が 42.9%で最も多く、次いで「感染者や患者が特別な目で見られること」(41.6%)となっている。

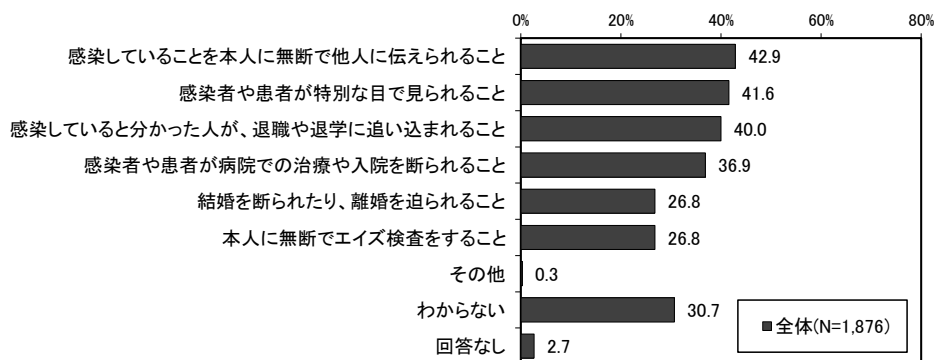
■ 図 1-22 HIV感染者、エイズ患者に関して現在どのような人権上の問題があると思うか ■



■ 表 1-16 HIV感染者、エイズ患者に関して現在どのような人権上の問題があると思うか ■

単位: %	サンプル数	で感染者や患者が特別な目で見られること	に感染していることを本人に無断で他人に伝えられること	と治療や入院を断られること	感染していることと分かった人が、退職や退学に追い込まれること	結婚を断られたり、離婚を迫られること	を本人に無断でエイズ検査をすること	その他	特にない・わからない	無回答	
全体	664	35.7	31.6	27.9	27.4	20.8	12.2	0.2	41.7	4.7	
性・年代別	男性	283	30.7	27.6	26.9	25.4	17.0	11.0	-	44.5	4.2
	30代以下	35	28.6	42.9	28.6	34.3	28.6	17.1	-	48.6	-
	40代	33	36.4	27.3	27.3	39.4	27.3	9.1	-	33.3	-
	50代	43	32.6	23.3	20.9	20.9	25.6	9.3	-	39.5	9.3
	60代	69	27.5	27.5	18.8	24.6	5.8	13.0	-	47.8	5.8
	70代以上	103	31.1	24.3	34.0	20.4	13.6	8.7	-	46.6	3.9
	女性	372	39.8	34.7	29.0	29.0	23.7	13.2	0.3	39.5	4.8
	30代以下	57	63.2	54.4	42.1	52.6	47.4	21.1	1.8	17.5	1.8
	40代	42	52.4	40.5	28.6	35.7	45.2	19.0	-	33.3	-
	50代	78	48.7	33.3	38.5	32.1	25.6	20.5	-	34.6	1.3
	60代	70	35.7	31.4	30.0	25.7	10.0	5.7	-	42.9	4.3
70代以上	125	21.6	26.4	16.8	16.0	12.0	7.2	-	52.8	10.4	
回答しない	3	66.7	100.0	33.3	33.3	66.7	33.3	-	-	-	
無回答	6	-	-	-	16.7	-	-	-	66.7	16.7	
職業別	自営業	91	30.8	25.3	19.8	23.1	18.7	7.7	-	47.3	8.8
	民間企業・団体(30人未満)	92	44.6	37.0	37.0	32.6	29.3	15.2	1.1	35.9	2.2
	民間企業・団体(30人以上)	123	42.3	37.4	30.9	35.0	29.3	13.8	-	31.7	1.6
	公務員	18	50.0	38.9	44.4	22.2	33.3	38.9	-	16.7	5.6
	学生	13	53.8	46.2	30.8	46.2	46.2	7.7	-	38.5	-
	家事専業	84	31.0	33.3	26.2	28.6	19.0	14.3	-	46.4	2.4
	無職	187	28.9	27.3	25.1	21.9	11.2	9.6	-	50.3	7.0
	その他	47	42.6	31.9	29.8	25.5	19.1	10.6	-	29.8	4.3
	無回答	9	-	-	-	11.1	-	-	-	77.8	11.1

■ 参考図 12 HIV感染者、エイズ患者の人権について (県の意識調査) ■



(2) ハンセン病患者・元患者や家族等に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

問 21 ハンセン病患者・元患者や家族等に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

ハンセン病患者・元患者や家族等に関して現在どのような人権上の問題があると思うかについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 1-23 及び表 1-17 のとおりである。

全体として、「地域社会での正しい知識と理解が十分でないこと」が 43.1%で最も多く、次いで「特にない・わからない」(42.6%)、「差別的言動を受けること」(26.8%)の順となっている。

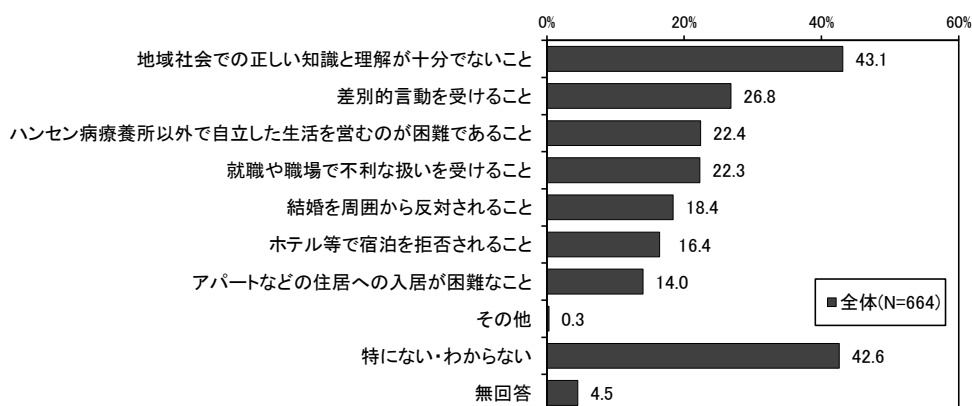
性別にみると、男性は「特にない・わからない」(44.5%)が最も多く、女性は「地域社会での正しい知識と理解が十分でないこと」(46.0%)が最も多くなっている。

性・年代別にみると、女性 30 代以下と 40 代と 50 代は「地域社会での正しい知識と理解が十分でないこと」が半数以上となっている。

職業別にみると、「地域社会での正しい知識と理解が十分でないこと」について、民間の企業や団体に勤務する人(従業員が 30 人未満の事業所)、公務員、学生が半数以上となっている。

参考として、県の意識調査から、ハンセン病患者・元患者や家族等の人権がとくに尊重されていない、または侵害されていると思うことを尋ねた調査結果が参考図 13 である。「地域社会での正しい知識と理解が十分でないこと」が 51.4%で最も多く、次いで「差別的言動を受けること」(38.5%)となっている。

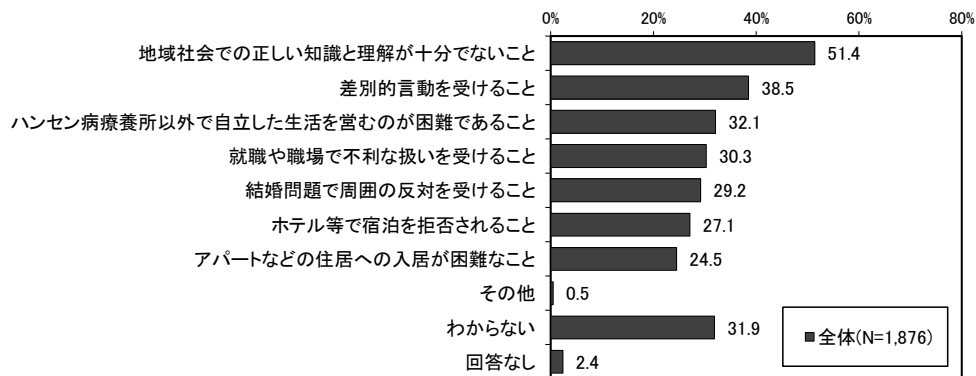
■ 図 1-23 ハンセン病患者・元患者や家族等に関して現在どのような人権上の問題があると思うか ■



■表 1-17 ハンセン病患者・元患者や家族等に関して現在どのような人権上の問題があると思うか■

単位:%	サンプル数	地域社会での正しい知識と理解が十分でないこと	差別的言動を受けること	ハンセン病療養所以外で自立した生活を営むのが困難であること	就職や職場で不利な扱いを受けること	結婚を周囲から反対されること	ホテル等で宿泊を拒否されること	アパートなどの住居への入居が困難なこと	その他	特にない・わからない	無回答	
全体	664	43.1	26.8	22.4	22.3	18.4	16.4	14.0	0.3	42.6	4.5	
性・年代別	男性	283	39.6	24.4	20.1	19.8	17.7	17.0	12.4	0.4	44.5	3.2
	30代以下	35	34.3	34.3	20.0	28.6	22.9	22.9	14.3	-	48.6	-
	40代	33	39.4	30.3	30.3	33.3	21.2	27.3	18.2	-	39.4	-
	50代	43	39.5	16.3	9.3	20.9	16.3	11.6	14.0	-	41.9	7.0
	60代	69	43.5	23.2	18.8	14.5	13.0	14.5	10.1	-	46.4	4.3
	70代以上	103	38.8	23.3	22.3	15.5	18.4	15.5	10.7	1.0	44.7	2.9
	女性	372	46.0	28.8	24.7	24.7	19.1	16.4	15.6	0.3	41.1	5.4
	30代以下	57	56.1	40.4	36.8	38.6	28.1	31.6	28.1	1.8	29.8	1.8
	40代	42	52.4	28.6	28.6	31.0	28.6	19.0	21.4	-	42.9	-
	50代	78	56.4	33.3	29.5	29.5	24.4	20.5	21.8	-	37.2	1.3
	60代	70	47.1	31.4	27.1	24.3	12.9	11.4	8.6	-	40.0	4.3
	70代以上	125	32.0	19.2	13.6	13.6	12.0	8.8	8.0	-	48.8	12.0
	回答しない	3	100.0	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-	-
無回答	6	-	16.7	-	-	-	-	-	-	66.7	16.7	
職業別	自営業	91	44.0	23.1	18.7	19.8	14.3	11.0	12.1	-	40.7	5.5
	民間企業・団体(30人未満)	92	52.2	30.4	21.7	28.3	28.3	22.8	17.4	1.1	39.1	2.2
	民間企業・団体(30人以上)	123	48.0	30.1	30.9	28.5	17.9	23.6	22.0	-	39.8	1.6
	公務員	18	50.0	38.9	27.8	38.9	27.8	27.8	22.2	-	27.8	5.6
	学生	13	53.8	38.5	23.1	46.2	30.8	23.1	7.7	-	30.8	-
	家事専業	84	41.7	28.6	17.9	20.2	15.5	9.5	15.5	-	45.2	2.4
	無職	187	34.8	21.9	19.3	16.0	16.6	15.0	9.1	0.5	47.6	8.0
	その他	47	48.9	29.8	31.9	19.1	17.0	10.6	8.5	-	38.3	4.3
無回答	9	-	11.1	-	-	-	-	-	-	77.8	11.1	

■参考図 13 ハンセン病患者・元患者や家族等の人権について（県の意識調査）■



(3) 犯罪被害者やその家族に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

問 22 犯罪被害者やその家族に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

犯罪被害者やその家族に関して現在どのような人権上の問題があると思うかについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 1-24 及び表 1-18 のとおりである。

全体として、「犯罪行為によって身体的・精神的に被害を受け、経済的負担など長期間被害に苦しむこと」が 54.1%で最も多く、次いで「マスメディアなどの報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材により私生活の平穏が保てなくなること」(47.4%)、「ソーシャルメディア(SNS)等で悪質・不快な書き込みをされること」(39.3%)、「事件に関して周囲にうわさ話をされること」(39.2%)の順となっている。「特にない・わからない」は 23.3%となっている。

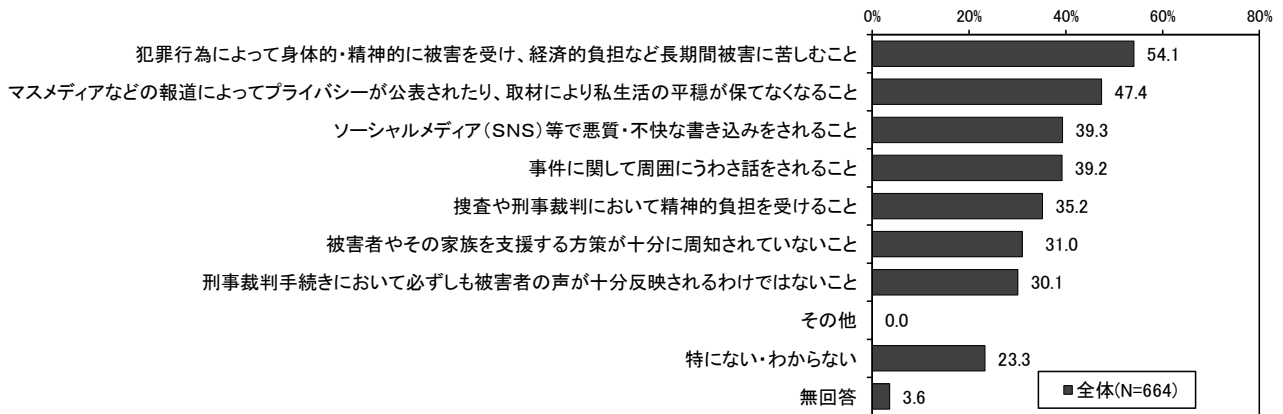
性別にみると、男女いずれも「犯罪行為によって身体的・精神的に被害を受け、経済的負担など長期間被害に苦しむこと」が半数以上で最も多くなっている。

性・年代別にみると、女性 40代は「犯罪行為によって身体的・精神的に被害を受け、経済的負担など長期間被害に苦しむこと」(73.8%)と「マスメディアなどの報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材により私生活の平穏が保てなくなること」(78.6%)で他の性・年代と比べて最も多くなっている。

職業別にみると、「刑事裁判手続きにおいて必ずしも被害者の声が十分反映されるわけではないこと」については公務員が半数を超えており(55.6%)、「被害者やその家族を支援する方策が十分に周知されていないこと」については、学生が唯一半数以上となっている(53.8%)。「犯罪行為によって身体的・精神的に被害を受け、経済的負担など長期間被害に苦しむこと」については、無職を除くすべての職種で半数以上となっている。

参考として、県の意識調査から、犯罪被害者やその家族の人権がとくに尊重されていない、または侵害されていると思うことを尋ねた調査結果が参考図 14 である。「マスメディアなどの報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材により私生活の平穏が保てなくなること」が 57.8%で最も多く、次いで「犯罪行為によって身体的・精神的に被害を受け、経済的負担など長期間被害に苦しむこと」(56.6%)となっている。

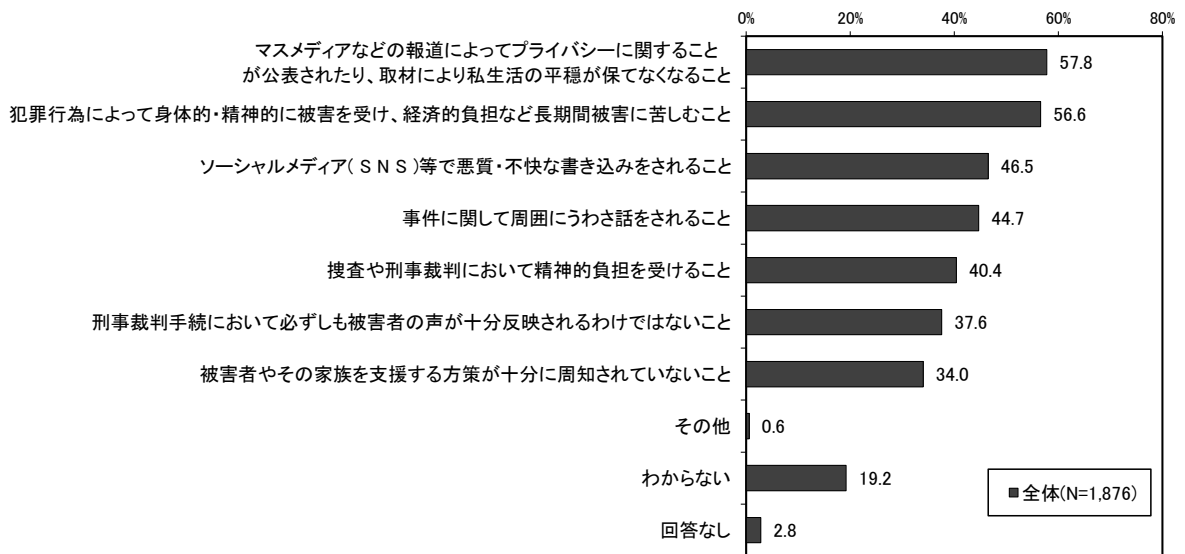
■図 1-24 犯罪被害者やその家族に関して現在どのような人権上の問題があると思うか■



■表 1-18 犯罪被害者やその家族に関して現在どのような人権上の問題があると思うか■

単位: %	サンプル数	問題												
		期間被害に苦しむこと	身体的・精神的被害	経済的負担	プライバシー公表	平穏	取材	悪質・不快な書き込み	SNS	事件に関するうわさ話	捜査や刑事裁判における精神的負担	被害者やその家族を支援する方策が十分に周知されていないこと	刑事裁判手続きにおいて必ずしも被害者の声が十分反映されるわけではないこと	その他
全体	664	54.1	47.4	39.3	39.2	35.2	31.0	30.1	-	23.3	3.6			
性・年代別	男性	283	50.2	42.4	32.9	33.2	32.9	26.9	29.0	-	26.9	2.1		
	30代以下	35	57.1	51.4	54.3	40.0	45.7	37.1	45.7	-	20.0	-		
	40代	33	54.5	42.4	51.5	36.4	42.4	33.3	24.2	-	21.2	-		
	50代	43	67.4	55.8	37.2	34.9	39.5	30.2	34.9	-	20.9	4.7		
	60代	69	44.9	34.8	30.4	27.5	23.2	26.1	29.0	-	33.3	2.9		
	70代以上	103	42.7	38.8	19.4	33.0	29.1	20.4	22.3	-	29.1	1.9		
	女性	372	57.3	51.6	44.1	43.5	37.1	34.1	31.2	-	20.7	4.8		
	30代以下	57	70.2	61.4	61.4	56.1	54.4	47.4	49.1	-	12.3	1.8		
	40代	42	73.8	78.6	64.3	57.1	52.4	38.1	35.7	-	14.3	-		
	50代	78	67.9	56.4	55.1	52.6	44.9	39.7	37.2	-	12.8	1.3		
60代	70	60.0	62.9	48.6	45.7	38.6	34.3	34.3	-	17.1	5.7			
70代以上	125	37.6	28.8	20.0	26.4	18.4	23.2	16.0	-	33.6	9.6			
回答しない	3	66.7	66.7	100.0	100.0	66.7	100.0	66.7	-	-	-			
無回答	6	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	-	-	-	33.3	-			
職業別	自営業	91	51.6	47.3	33.0	36.3	36.3	29.7	29.7	-	26.4	1.1		
	民間企業・団体(30人未満)	92	60.9	48.9	44.6	44.6	41.3	30.4	38.0	-	21.7	2.2		
	民間企業・団体(30人以上)	123	67.5	62.6	55.3	51.2	50.4	39.8	39.0	-	11.4	1.6		
	公務員	18	55.6	50.0	44.4	38.9	38.9	44.4	55.6	-	22.2	5.6		
	学生	13	53.8	30.8	53.8	38.5	46.2	53.8	23.1	-	23.1	-		
	家事専業	84	54.8	48.8	34.5	33.3	28.6	28.6	25.0	-	23.8	3.6		
	無職	187	43.9	36.4	28.9	33.2	24.1	25.7	21.4	-	28.3	7.0		
	その他	47	55.3	57.4	48.9	42.6	38.3	31.9	34.0	-	25.5	4.3		
無回答	9	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	-	-	-	55.6	-			

■参考図 14 犯罪被害者やその家族の人権について（県の意識調査）■



(4) インターネットにすることがらで、人権が特に尊重されていない、または侵害されていると思うこと

問 23 インターネットにすることがらで、人権が特に尊重されていない、または侵害されていると思うことはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

インターネットにすることがらで、人権が特に尊重されていない、または侵害されていると思うことについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 1-25 及び表 1-19 のとおりである。

全体として、「他人を誹謗(ひぼう)・中傷(ちゅうしょう)する表現を掲載していること」が 65.5%で最も多く、次いで「ソーシャルメディア(SNS)等で悪質・不快な書き込みをされること」(45.9%)、「個人情報の流出などの問題が多く発生していること」(42.0%)の順となっている。「特にない・わからない」は 19.4%となっている。

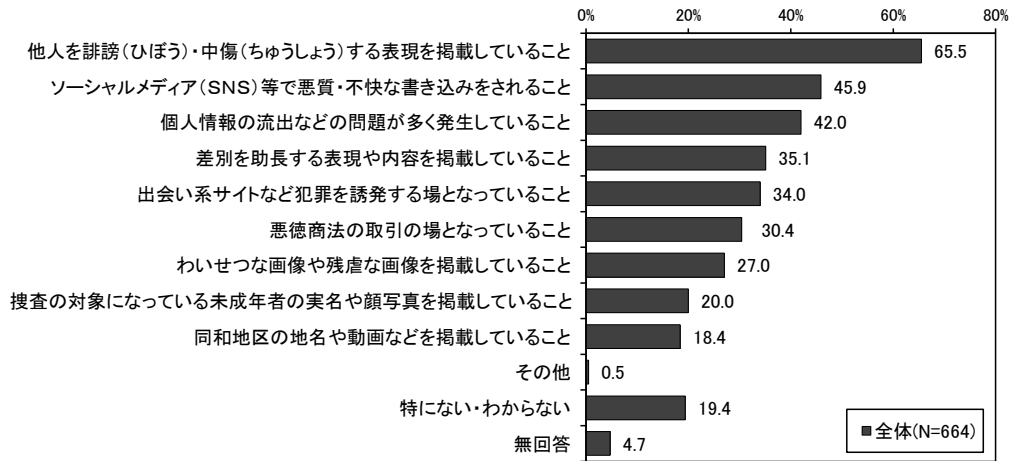
性別にみると、男女いずれも「他人を誹謗・中傷する表現を掲載していること」が 6 割以上で最も多くなっている。

性・年代別にみると、男女いずれの年代でも「他人を誹謗・中傷する表現を掲載していること」が最も多くなっており、特に女性 40 代と 50 代ではそれぞれ 88.0%以上と高い割合となっている。

職業別にみると、すべての職種で「他人を誹謗・中傷する表現を掲載していること」が半数以上となっており、特に公務員は 88.9%と高い割合となっている。学生については、「ソーシャルメディア(SNS)等で悪質・不快な書き込みをされること」が 76.9%で他の性・年代と比べて最も多くなっている。

参考として、県の意識調査から、インターネットにすることがらでとくに尊重されていない、または侵害されていると思うことを尋ねた調査結果が参考図 15 である。「他人を誹謗中傷する表現を掲載していること」が 74.7%で最も多く、次いで「ソーシャルメディア(SNS)等で悪質・不快な書き込みをされること」(54.9%)、「個人情報の流出などの問題が多く発生していること」(52.3%)となっている。

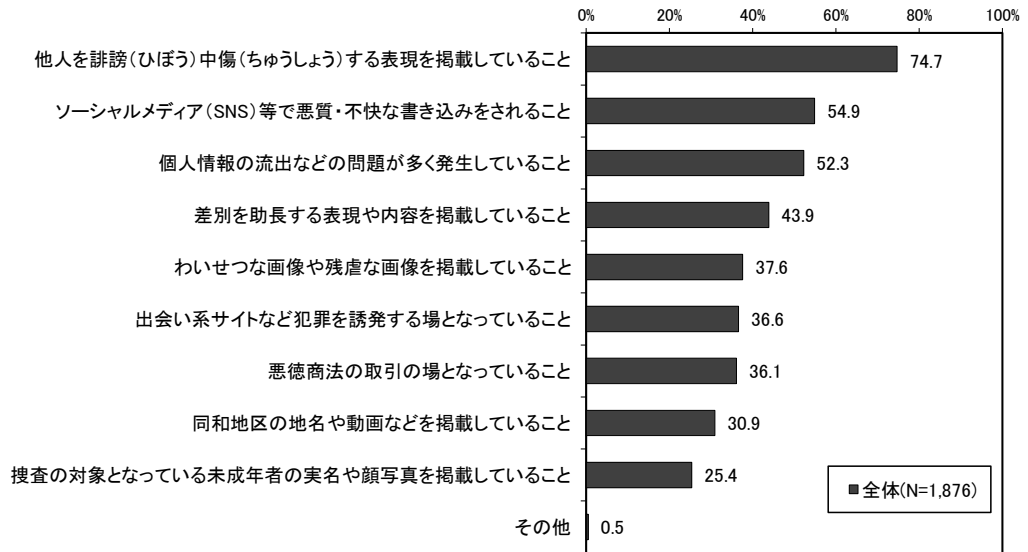
■図 1-25 インターネットにすることがらで、人権が特に尊重されていない、または侵害されていると思うこと■



■表 1-19 インターネットにすることがらで、人権が特に尊重されていない、または侵害されていると思うこと■

単位: %	サンプル数	他人を誹謗(ひぼう)・中傷(ちゅうしょう)する表現を掲載していること	ソーシャルメディア(SNS)等で悪質・不快な書き込みをされること	個人情報の流出などの問題が多く発生していること	差別を助長する表現や内容を掲載していること	出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること	悪徳商法の取引の場となっていること	わいせつな画像や残虐な画像を掲載していること	捜査の対象になっている未成年者の実名や顔写真を掲載していること	同和地区の地名や動画などを掲載していること	その他	特にない・わからない	無回答	
全体	664	65.5	45.9	42.0	35.1	34.0	30.4	27.0	20.0	18.4	0.5	19.4	4.7	
性・年代別	男性	283	62.9	44.2	37.5	33.6	32.2	31.1	24.7	15.9	19.1	0.4	22.6	3.5
	30代以下	35	71.4	60.0	57.1	40.0	25.7	34.3	34.3	31.4	-	20.0	-	
	40代	33	78.8	54.5	51.5	39.4	48.5	33.3	36.4	12.1	18.2	-	12.1	-
	50代	43	72.1	48.8	27.9	41.9	25.6	25.6	14.0	9.3	20.9	-	16.3	4.7
	60代	69	55.1	44.9	37.7	39.1	31.9	33.3	21.7	14.5	15.9	1.4	24.6	2.9
	70代以上	103	56.3	33.0	30.1	22.3	32.0	30.1	24.3	15.5	16.5	-	28.2	5.8
	女性	372	67.7	47.3	45.7	36.0	35.5	29.8	29.0	23.4	18.0	0.5	17.5	5.1
	30代以下	57	75.4	68.4	52.6	45.6	40.4	40.4	38.6	31.6	17.5	-	12.3	1.8
	40代	42	88.1	59.5	57.1	59.5	47.6	28.6	47.6	40.5	31.0	-	4.8	2.4
	50代	78	88.5	62.8	60.3	48.7	41.0	38.5	42.3	28.2	26.9	1.3	6.4	2.6
60代	70	74.3	50.0	50.0	37.1	41.4	30.0	28.6	30.0	17.1	1.4	8.6	5.7	
70代以上	125	40.8	22.4	27.2	15.2	22.4	20.0	10.4	7.2	8.8	-	36.0	8.8	
回答しない	3	66.7	100.0	66.7	100.0	66.7	66.7	33.3	33.3	33.3	-	-	-	
無回答	6	50.0	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	-	-	-	-	-	33.3	
職業別	自営業	91	62.6	41.8	44.0	26.4	31.9	34.1	26.4	17.6	17.6	-	23.1	3.3
	民間企業・団体(30人未満)	92	76.1	55.4	53.3	39.1	38.0	27.2	28.3	22.8	20.7	1.1	13.0	2.2
	民間企業・団体(30人以上)	123	82.1	58.5	48.8	51.2	39.8	34.1	37.4	26.0	20.3	0.8	8.1	1.6
	公務員	18	88.9	66.7	38.9	55.6	38.9	33.3	38.9	44.4	44.4	-	-	-
	学生	13	76.9	76.9	61.5	53.8	23.1	23.1	30.8	23.1	30.8	-	7.7	-
	家事専業	84	59.5	38.1	38.1	23.8	28.6	31.0	25.0	20.2	16.7	-	23.8	6.0
	無職	187	50.3	33.7	31.0	28.9	31.0	28.9	21.4	14.4	16.6	0.5	29.4	8.0
	その他	47	70.2	53.2	51.1	38.3	40.4	29.8	23.4	17.0	10.6	-	17.0	4.3
無回答	9	44.4	22.2	11.1	11.1	22.2	11.1	-	11.1	-	-	22.2	22.2	

■参考図 15 インターネットに関する人権事項について（県の意識調査）■



(5) 刑を終えて出所した人に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

問 24 刑を終えて出所した人に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

刑を終えて出所した人に関して現在どのような人権上の問題があると思うかについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 1-26 及び表 1-20 のとおりである。

全体として、「更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」が 47.6%で最も多く、次いで「就職や職場で不利な扱いを受けること」(37.5%)、「特にない・わからない」(33.3%)の順となっている。

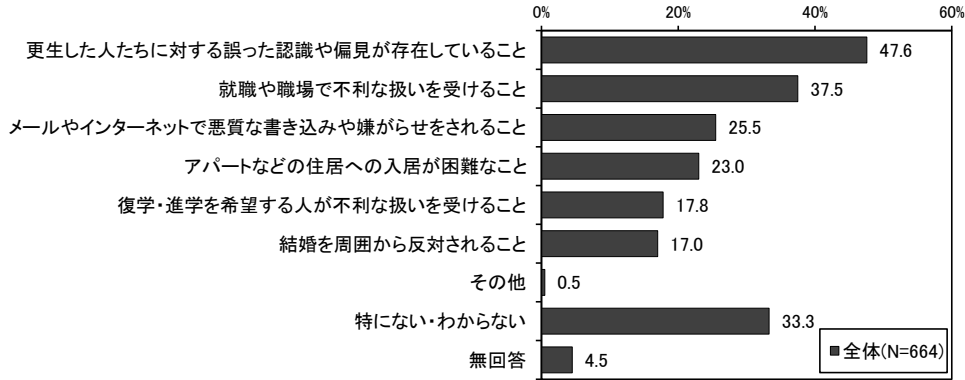
性別にみると、男女いずれも「更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」が最も多くなっている。

性・年代別にみると、男性 60 代と女性 30 代以下～60 代は「更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」が半数以上となっている。

職業別にみると、学生を除くすべての職種で「更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」が最も多くなっている。一方、学生については、「就職や職場で不利な扱いを受けること」において唯一 6 割以上となっている。

参考として、県の意識調査から、刑を終えて出所した人の人権がとくに尊重されていない、または侵害されていると思うことを尋ねた調査結果が参考図 16 である。「更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」が 49.7%で最も多く、次いで「就職や職場で不利な扱いを受けること」(41.7%)となっている。

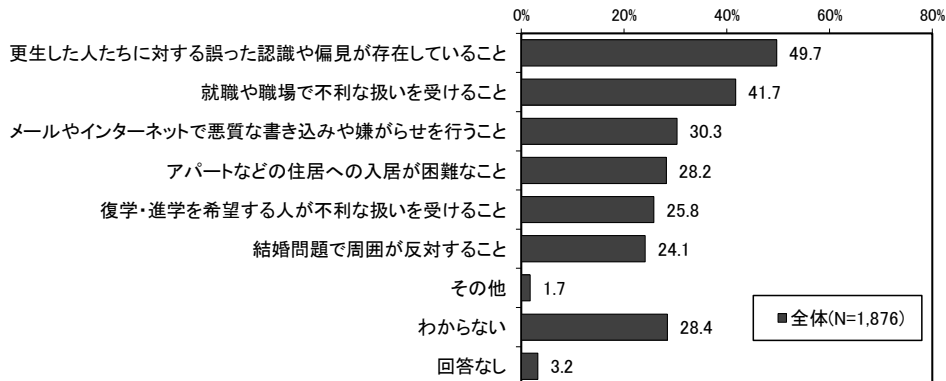
■図 1-26 刑を終えて出所した人に関して現在どのような人権上の問題があると思うか■



■表 1-20 刑を終えて出所した人に関して現在どのような人権上の問題があると思うか■

単位: %	サンプル数	誤った認識や偏見が存在していること	更生した人々に対する誤った認識や偏見が存在していること	就職や職場で不利な扱いを受けること	メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせをされること	アパートなどの住居への入居が困難なこと	復学・進学を希望する人が不利な扱いを受けること	結婚を周囲から反対されること	その他	特にない・わからない	無回答
全体	664	47.6	37.5	25.5	23.0	17.8	17.0	0.5	33.3	4.5	
性・年代別	男性	283	44.9	36.4	23.7	21.2	18.0	13.8	-	36.0	3.2
	30代以下	35	31.4	31.4	25.7	25.7	25.7	17.1	-	48.6	-
	40代	33	48.5	36.4	21.2	21.2	18.2	15.2	-	36.4	-
	50代	43	41.9	39.5	18.6	16.3	16.3	7.0	-	34.9	4.7
	60代	69	50.7	34.8	24.6	20.3	13.0	10.1	-	29.0	2.9
	70代以上	103	45.6	37.9	25.2	22.3	19.4	17.5	-	36.9	4.9
	女性	372	50.0	38.7	26.9	24.5	17.7	19.6	0.8	31.5	4.8
	30代以下	57	50.9	49.1	31.6	29.8	24.6	33.3	-	26.3	1.8
	40代	42	57.1	50.0	35.7	31.0	28.6	28.6	-	23.8	2.4
	50代	78	62.8	46.2	33.3	29.5	24.4	21.8	1.3	24.4	2.6
60代	70	50.0	34.3	17.1	20.0	10.0	15.7	-	30.0	7.1	
70代以上	125	39.2	28.0	23.2	19.2	11.2	11.2	1.6	41.6	7.2	
回答しない	3	66.7	66.7	66.7	33.3	33.3	33.3	-	33.3	-	
無回答	6	16.7	-	-	16.7	-	-	-	16.7	50.0	
職業別	自営業	91	44.0	38.5	25.3	18.7	16.5	14.3	2.2	36.3	3.3
	民間企業・団体(30人未満)	92	57.6	34.8	30.4	16.3	21.7	16.3	-	28.3	3.3
	民間企業・団体(30人以上)	123	53.7	48.8	22.0	30.9	17.9	21.1	0.8	29.3	1.6
	公務員	18	61.1	44.4	27.8	33.3	33.3	33.3	-	16.7	-
	学生	13	46.2	61.5	53.8	30.8	38.5	30.8	-	23.1	-
	家事専業	84	50.0	29.8	23.8	17.9	13.1	13.1	-	35.7	3.6
	無職	187	40.1	35.3	23.5	24.6	16.6	16.0	-	37.4	7.5
	その他	47	46.8	31.9	31.9	23.4	17.0	17.0	-	34.0	4.3
無回答	9	11.1	-	-	11.1	-	-	-	44.4	33.3	

■参考図 16 刑を終えて出所した人の人権について (県の意識調査) ■



(6) 性的少数者に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

問 25 性的少数者に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。(〇はいくつでも)

性的少数者に関して現在どのような人権上の問題があると思うかについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 1-27 及び表 1-21 のとおりである。

全体として、「差別的言動を受けること」が 37.7%で最も多く、次いで「特にない・わからない」(35.8%)、「性的少数者に対する理解が足りないこと」(34.5%) の順となっている。

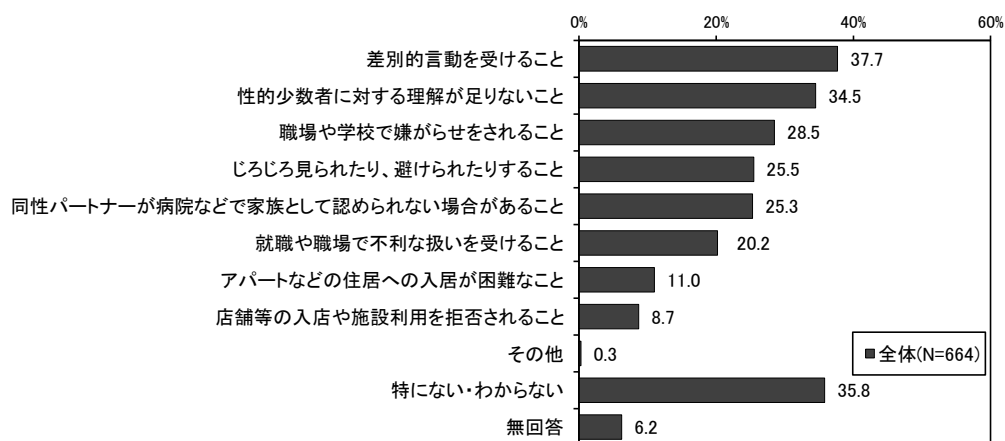
性別にみると、男性は「特にない・わからない」(40.3%) が最も多く、女性は「差別的言動を受けること」(40.1%) が最も多くなっている。「同性パートナーが病院などで家族として認められない場合があること」については、女性(30.6%)が男性(18.4%)を 12.2 ポイント上回っている。

性・年代別にみると、女性 30 代以下は「職場や学校で嫌がらせをされること」と「差別的言動を受けること」と「性的少数者に対する理解が足りないこと」について半数以上となっている。

職業別にみると、「差別的言動を受けること」について、民間の企業や団体に勤務する人と公務員が半数以上となっている。

参考として、県の意識調査から、性的少数者の人権がとくに尊重されていない、または侵害されていると思うことを尋ねた調査結果が参考図 17 である。「差別的言動を受けること」が 43.9%で最も多く、次いで「性的少数者に対する理解が足りないこと」(43.3%) となっている。

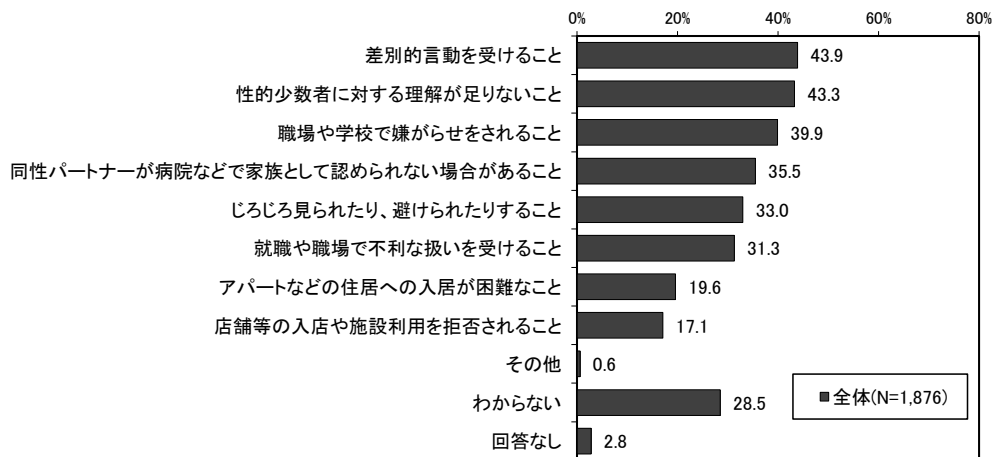
■ 図 1-27 性的少数者に関して現在どのような人権上の問題があると思うか ■



■表 1-21 性的少数者に関して現在どのような人権上の問題があると思うか■

単位: %	サンプル数	差別的言動を受けること	性的少数者に対する理解が足りないこと	職場や学校で嫌がらせをされること	じろじろ見られたり、避けられたりすること	同性パートナーが家族として認められない場合があること	就業や職場で不利な扱いを受けること	アパートなどの住居への入居が困難なこと	店舗等の入店や施設利用を拒否されること	その他	特にない・わからない	無回答	
全体	664	37.7	34.5	28.5	25.5	25.3	20.2	11.0	8.7	0.3	35.8	6.2	
性・年代別	男性	283	35.3	30.4	27.2	24.0	18.4	19.8	12.4	10.2	-	40.3	4.2
	30代以下	35	37.1	31.4	25.7	37.1	22.9	31.4	22.9	25.7	-	37.1	-
	40代	33	57.6	39.4	39.4	36.4	24.2	27.3	15.2	18.2	-	27.3	-
	50代	43	41.9	30.2	37.2	20.9	25.6	20.9	9.3	9.3	-	39.5	2.3
	60代	69	39.1	37.7	24.6	20.3	18.8	18.8	7.2	4.3	-	36.2	4.3
	70代以上	103	22.3	22.3	21.4	19.4	11.7	13.6	12.6	6.8	-	48.5	7.8
	女性	372	40.1	38.2	29.8	26.6	30.6	20.7	9.9	7.5	0.5	32.3	7.3
	30代以下	57	54.4	64.9	50.9	45.6	47.4	38.6	17.5	14.0	1.8	15.8	1.8
	40代	42	54.8	42.9	28.6	33.3	45.2	21.4	9.5	4.8	-	31.0	2.4
	50代	78	44.9	53.8	33.3	29.5	37.2	30.8	12.8	12.8	-	23.1	2.6
	60代	70	45.7	40.0	31.4	21.4	32.9	11.4	7.1	2.9	-	30.0	7.1
	70代以上	125	22.4	13.6	17.6	16.8	12.8	11.2	6.4	4.8	0.8	47.2	14.4
	回答しない	3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	-	66.7	-
	無回答	6	-	-	-	16.7	16.7	-	-	-	-	33.3	33.3
職業別	自営業	91	37.4	35.2	23.1	24.2	25.3	16.5	5.5	4.4	-	37.4	5.5
	民間企業・団体(30人未満)	92	51.1	39.1	39.1	37.0	33.7	21.7	14.1	17.4	1.1	29.3	2.2
	民間企業・団体(30人以上)	123	50.4	51.2	36.6	32.5	37.4	30.9	15.4	11.4	-	24.4	1.6
	公務員	18	61.1	50.0	38.9	38.9	50.0	33.3	16.7	16.7	-	11.1	-
	学生	13	46.2	61.5	46.2	38.5	15.4	38.5	23.1	30.8	-	23.1	-
	家事専業	84	29.8	29.8	23.8	19.0	23.8	16.7	8.3	4.8	-	36.9	9.5
	無職	187	24.1	20.9	20.9	18.7	13.4	15.5	10.7	5.3	0.5	48.1	10.7
	その他	47	42.6	36.2	31.9	19.1	23.4	14.9	6.4	6.4	-	34.0	4.3
無回答	9	-	-	-	11.1	11.1	-	-	-	-	55.6	22.2	

■参考図 17 性的少数者の人権について（県の意識調査）■



(7) 新型コロナウイルス感染症に関することから、人権がとくに尊重されていない、または侵害されていると思うこと

問 26 新型コロナウイルス感染症に関することから、人権がとくに尊重されていない、または侵害されていると思うことはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

新型コロナウイルス感染症に関することから、人権がとくに尊重されていない、または侵害されていると思うことについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 1-28 及び表 1-22 のとおりである。

全体として、「医療従事者やその家族が、差別的な発言や行為を受けること」が 35.4%で最も多く、次いで「非正規労働者やひとり親世帯が解雇や雇い止めにあい、生活に困窮すること」(30.9%)、「特にない・わからない」(29.7%)の順となっている。

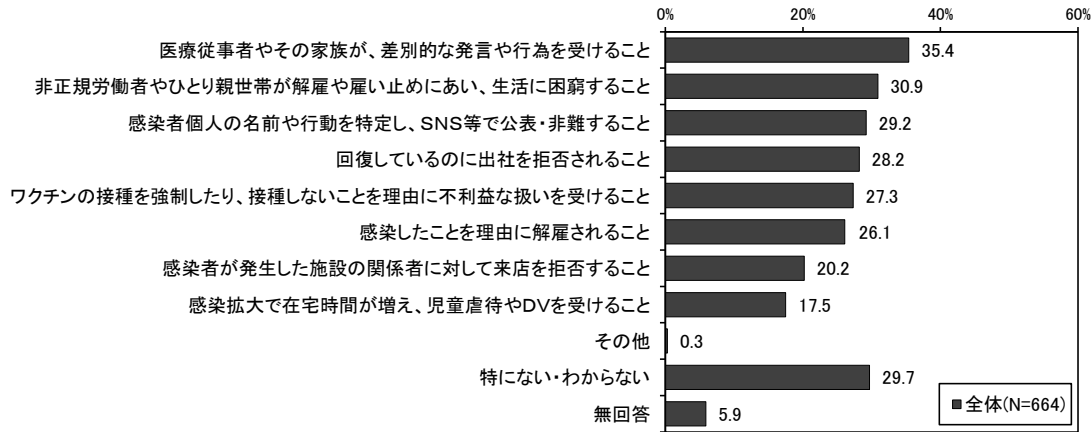
性別にみると、女性は「医療従事者やその家族が、差別的な発言や行為を受けること」(43.5%)が最も多く、男性(25.4%)を 18.1 ポイント上回っている。

性・年代別にみると、女性の 30 代以下と 40 代と 50 代は「医療従事者やその家族が、差別的な発言や行為を受けること」が半数以上となっている。また、「ワクチンの接種を強制したり、接種しないことを理由に不利益な扱いを受けること」については、女性 40 代が唯一半数以上となっている。

職業別にみると、「感染したことを理由に解雇されること」と「ワクチンの接種を強制したり、接種しないことを理由に不利益な扱いを受けること」で学生が唯一半数以上となっている。

参考として、県の意識調査から、新型コロナウイルス感染症に関するさまざまな人権侵害について尋ねた調査結果が参考図 18 である。「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が最も多かったことからは、「感染者個人の名前や行動を特定し、SNS 等で公表・非難すること」(83.3%)となっている。

■図 1-28 新型コロナウイルス感染症に関することから、人権がとくに尊重されていない・侵害されていると思うこと■

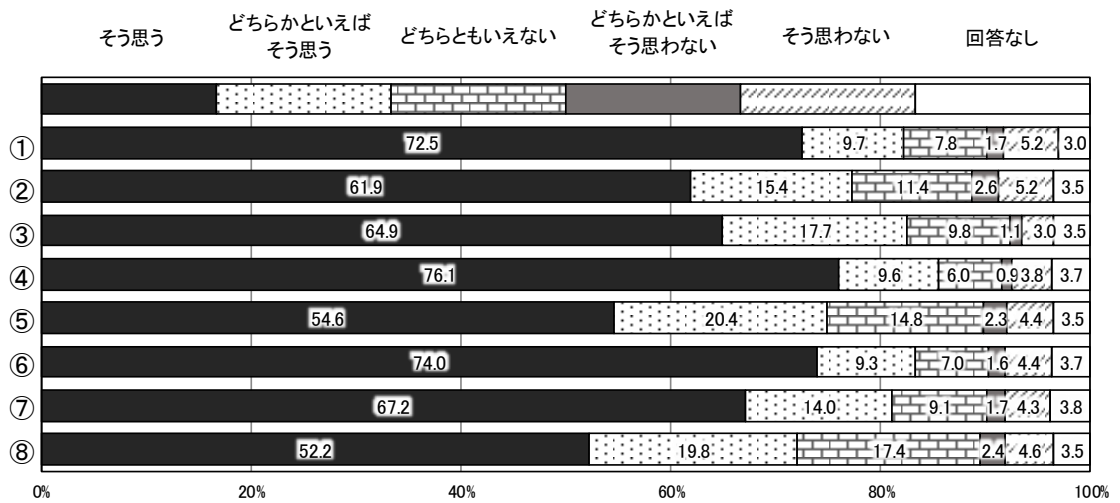


■表 1-22 新型コロナウイルス感染症に関することから、人権がとくに尊重されていない・侵害されていると思うこと■

単位: %	サンプル数	と医療従事者やその家族が、差別的な発言や行為を受けること	活に困窮する者やその家族が、こ	非正規労働者や雇い止めにあい、親世帯	正解すること	感染者個人の名前や行動を公表・非難すること	回復しているのに出社を拒否	不利な扱いを受けること	ワクチンの接種を強制したり、接種しないことを理由に	感染したことを理由に解雇さ	感染者が発生した施設の関係	児童虐待やDVを受けること	感染拡大で在宅時間が増え、	その他	特にない・わからない	無回答
全体	664	35.4	30.9	29.2	28.2	27.3	26.1	20.2	17.5	0.3	29.7	5.9				
性・年代別	男性	283	25.4	29.3	28.6	29.3	24.4	25.4	17.7	14.5	-	36.4	4.6			
	30代以下	35	34.3	31.4	37.1	40.0	34.3	28.6	31.4	28.6	-	37.1	-			
	40代	33	27.3	33.3	39.4	33.3	39.4	36.4	21.2	21.2	-	21.2	3.0			
	50代	43	34.9	30.2	27.9	30.2	18.6	23.3	18.6	9.3	-	32.6	4.7			
	60代	69	20.3	30.4	23.2	23.2	30.4	18.8	11.6	5.8	-	42.0	1.4			
	70代以上	103	21.4	26.2	26.2	28.2	14.6	26.2	15.5	15.5	-	38.8	8.7			
	女性	372	43.5	32.8	29.3	27.4	29.0	26.9	22.3	20.2	0.5	24.5	6.5			
	30代以下	57	61.4	42.1	38.6	35.1	47.4	45.6	36.8	31.6	1.8	15.8	1.8			
	40代	42	50.0	40.5	35.7	26.2	52.4	33.3	31.0	35.7	-	16.7	2.4			
	50代	78	53.8	43.6	42.3	34.6	32.1	33.3	24.4	26.9	-	17.9	2.6			
60代	70	42.9	34.3	18.6	28.6	22.9	21.4	21.4	17.1	1.4	20.0	7.1				
70代以上	125	27.2	18.4	20.8	19.2	14.4	15.2	12.0	7.2	-	37.6	12.0				
回答しない	3	33.3	-	66.7	-	66.7	-	-	-	-	33.3	-				
無回答	6	-	-	33.3	33.3	33.3	16.7	16.7	-	-	33.3	33.3				
職業別	自営業	91	33.0	20.9	26.4	23.1	22.0	17.6	9.9	8.8	-	36.3	6.6			
	民間企業・団体(30人未満)	92	40.2	34.8	40.2	39.1	25.0	38.0	27.2	22.8	1.1	25.0	2.2			
	民間企業・団体(30人以上)	123	42.3	36.6	30.1	30.9	37.4	29.3	26.8	29.3	-	22.8	1.6			
	公務員	18	44.4	44.4	38.9	33.3	33.3	27.8	33.3	22.2	-	22.2	5.6			
	学生	13	46.2	38.5	46.2	38.5	53.8	53.8	46.2	38.5	-	15.4	-			
	家事専業	84	44.0	25.0	27.4	26.2	21.4	27.4	22.6	15.5	-	28.6	3.6			
	無職	187	26.7	30.5	24.6	25.1	21.9	22.5	14.4	11.8	0.5	35.8	10.7			
	その他	47	31.9	38.3	25.5	21.3	38.3	17.0	17.0	14.9	-	25.5	4.3			
無回答	9	-	-	22.2	22.2	22.2	11.1	11.1	-	-	44.4	33.3				

■参考図 18 新型コロナウイルス感染症に関わる問題点（県の意識調査）■

- ①感染したことを理由に解雇されること
- ②回復しているのに出社を拒否されること
- ③非正規労働者やひとり親世帯が解雇や雇い止めにあい、生活に困窮すること
- ④医療従事者やその家族が、差別的な発言や行為を受けること
- ⑤感染者が発生した施設の関係者に対して、来店を拒否すること
- ⑥感染者個人の名前や行動を特定し、SNS等で公表・非難すること
- ⑦感染拡大で在宅時間が増え、児童虐待やDVを受けること
- ⑧ワクチンの接種を強制したり、摂取しないことを理由に不利益な取扱いをすること



9 人権啓発について

(1) 「人権」をテーマとした研修・啓発イベント(講演会等)への参加状況

問 27 「人権」をテーマとした研修・啓発イベント(講演会等)への参加や、人権啓発冊子や新聞等の記事を読んだり、テレビ等で見たりしたことがありますか。(それぞれひとつに○)

1 大川市人権週間講演会(12月)【大川市主催】

大川市人権週間講演会(12月)【大川市主催】への参加状況について、尋ねた結果をまとめると、図 1-29 のとおりである。

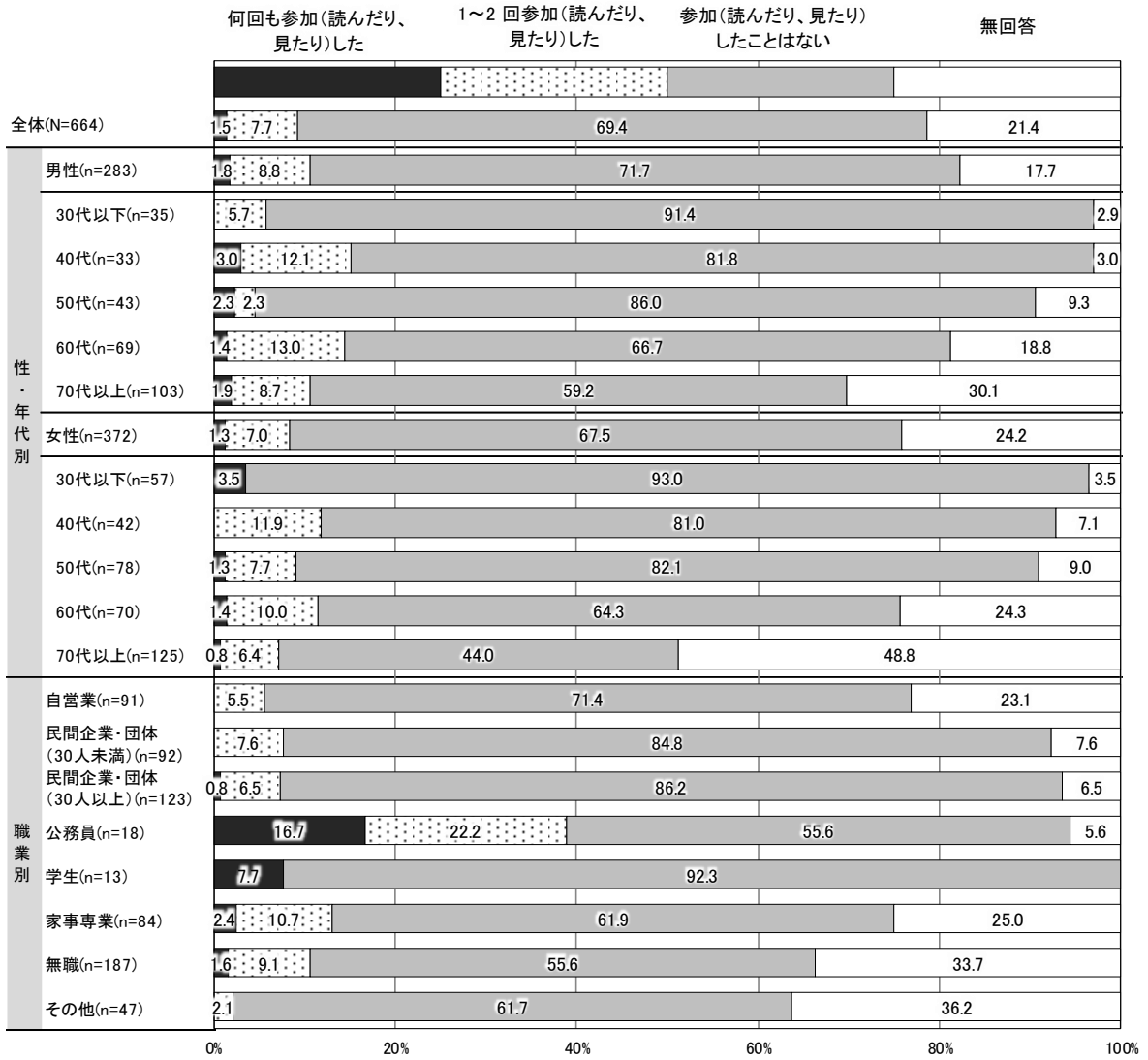
全体として、「参加(読んだり、見たり)したことはない」が 69.4%で最も多く、「1～2回参加(読んだり、見たり)した」(7.7%)と「何回も参加(読んだり、見たり)した」(1.5%)を合わせた『参加(読んだり、見たり)したことがある』としたものは、9.2%となっている。

性別にみると、男女いずれも「参加(読んだり、見たり)したことはない」が 65.0%以上となっている。

性・年代別にみると、男女いずれも 30 代以下と 40 代と 50 代は「参加(読んだり、見たり)したことはない」が 8 割以上となっており、特に 30 代以下は男女いずれにおいても 9 割以上となっている。

職業別にみると、どの職種も「参加(読んだり、見たり)したことはない」が最も多くなっており、学生においては 92.3%と他の職種と比べて最も多くなっている。

■ 図 1-29 大川市人権週間講演会（12月）【大川市主催】 ■



2 コミュニティセンターでの人権講演会【大川市主催】

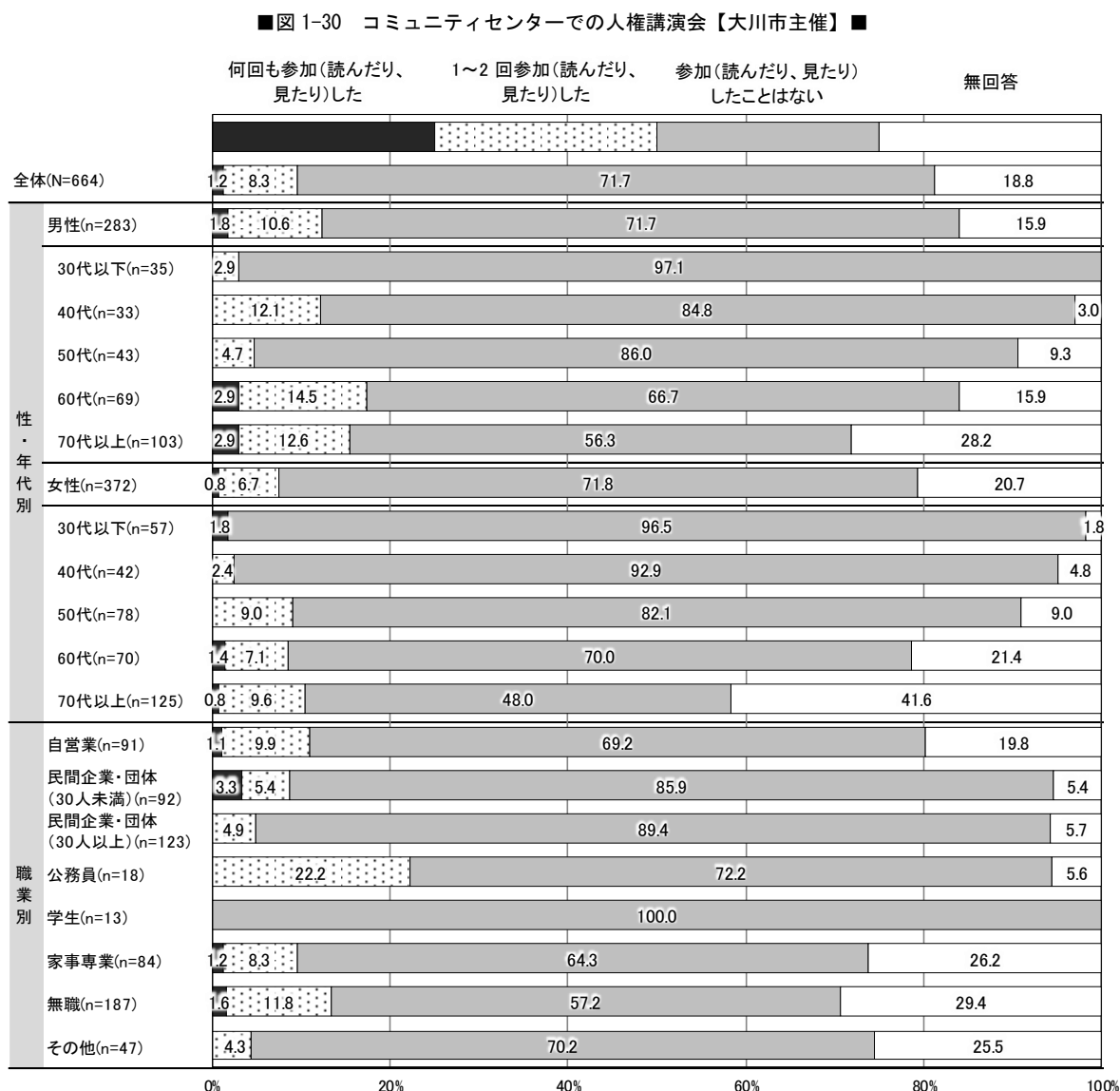
コミュニティセンターでの人権講演会【大川市主催】への参加状況について、尋ねた結果をまとめると、図 1-30 のとおりである。

全体として、「参加（読んだり、見たり）したことはない」が 71.7% で最も多く、「1～2 回参加（読んだり、見たり）した」（8.3%）、「何回も参加（読んだり、見たり）した」（1.2%）を合わせた『参加（読んだり、見たり）したことがある』としたものは 9.5% となっている。

性別にみると、男女いずれも「参加（読んだり、見たり）したことはない」が 7 割以上となっている。

性・年代別にみると、男女いずれも 30 代以下と 40 代と 50 代において「参加（読んだり、見たり）したことはない」が 8 割以上となっている。

職業別にみると、学生は「参加（読んだり、見たり）したことはない」が 100% となっている。



3 人権啓発冊子のちかがやけ【大川市主催】

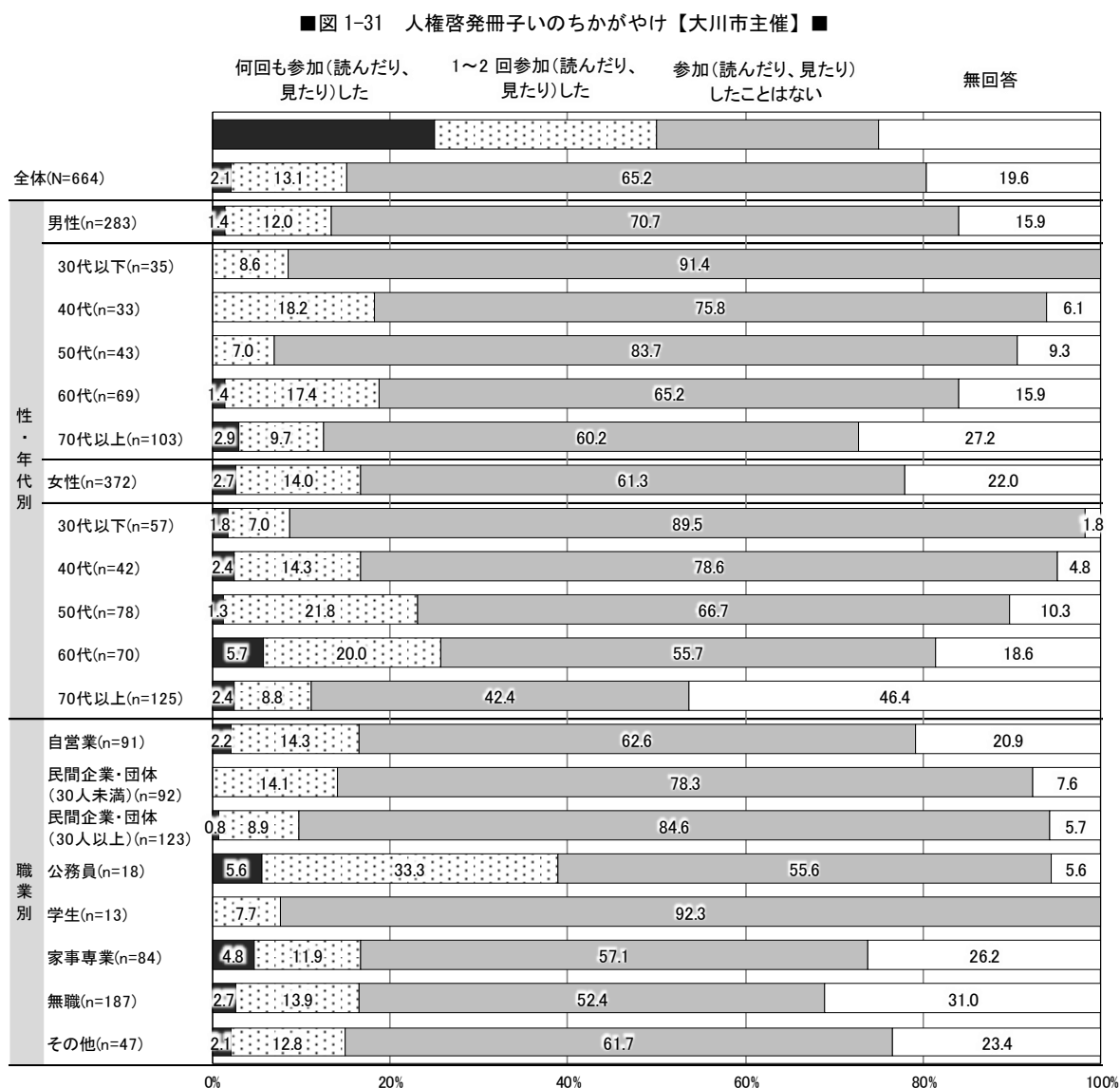
人権啓発冊子のちかがやけ【大川市主催】の認知状況について、尋ねた結果をまとめると、図1-31のとおりである。

全体として、「参加（読んだり、見たり）したことはない」が65.2%で最も多く、「1～2回参加（読んだり、見たり）した」（13.1%）と「何回も参加（読んだり、見たり）した」（2.1%）を合わせた『参加（読んだり、見たり）したことがある』としたものは15.2%となっている。

性別にみると、『参加（読んだり、見たり）したことがある』について、女性（16.7%）が男性（13.4%）を3.3ポイント上回っている。

性・年代別にみると、男女いずれも30代以下は「参加（読んだり、見たり）したことはない」が89.0%以上となっている。一方、『参加（読んだり、見たり）したことがある』については、女性60代が25.7%で最も多くなっている。

職業別にみると、『参加（読んだり、見たり）したことがある』について、公務員が38.9%で最も多くなっている。一方、学生は92.3%が「参加（読んだり、見たり）したことはない」と回答している。



4 同和問題街頭啓発(7月)【大川市主催】

同和問題街頭啓発(7月)【大川市主催】の認知状況について、尋ねた結果をまとめると、図 1-32 のとおりである。

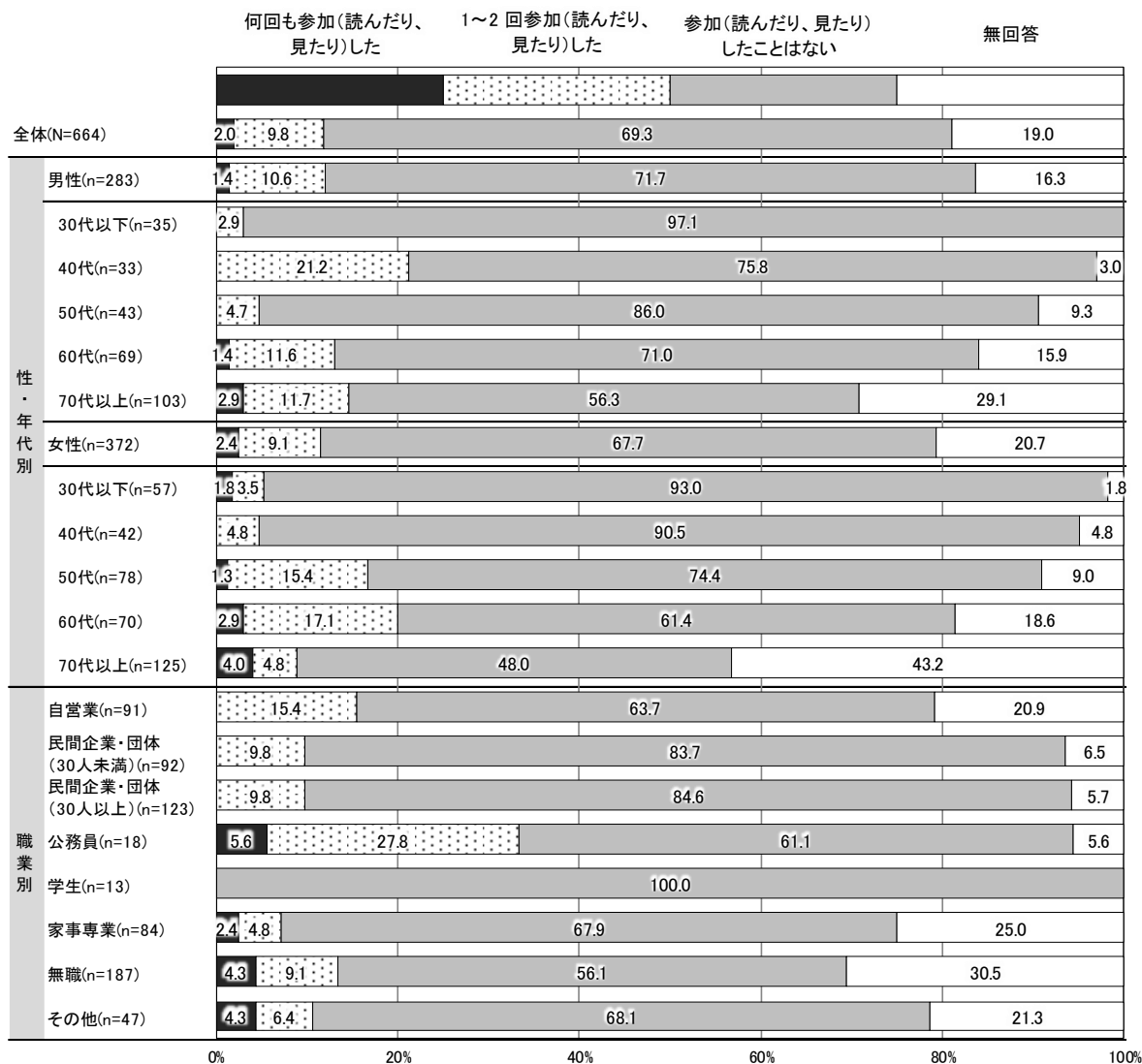
全体として、「参加(読んだり、見たり)したことはない」が69.3%と最も多く、「1~2回参加(読んだり、見たり)した」(9.8%)と「何回も参加(読んだり、見たり)した」(2.0%)を合わせた『参加(読んだり、見たり)したことがある』としたものが11.8%となっている。

性別にみると、『参加(読んだり、見たり)したことがある』は、男性(12.0%)と女性(11.5%)では0.5ポイントの違いとなっている。

性・年代別にみると、男女30代以下と女性40代は9割以上が「参加(読んだり、見たり)したことはない」となっている。

職業別にみると、『参加(読んだり、見たり)したことがある』については公務員(33.4%)が最も多くなっている。一方、「参加(読んだり、見たり)したことはない」については、学生は100%となっている。

■ 図 1-32 同和問題街頭啓発(7月)【大川市主催】 ■



5 北朝鮮人権侵害問題啓発週間パネル展示【大川市主催】

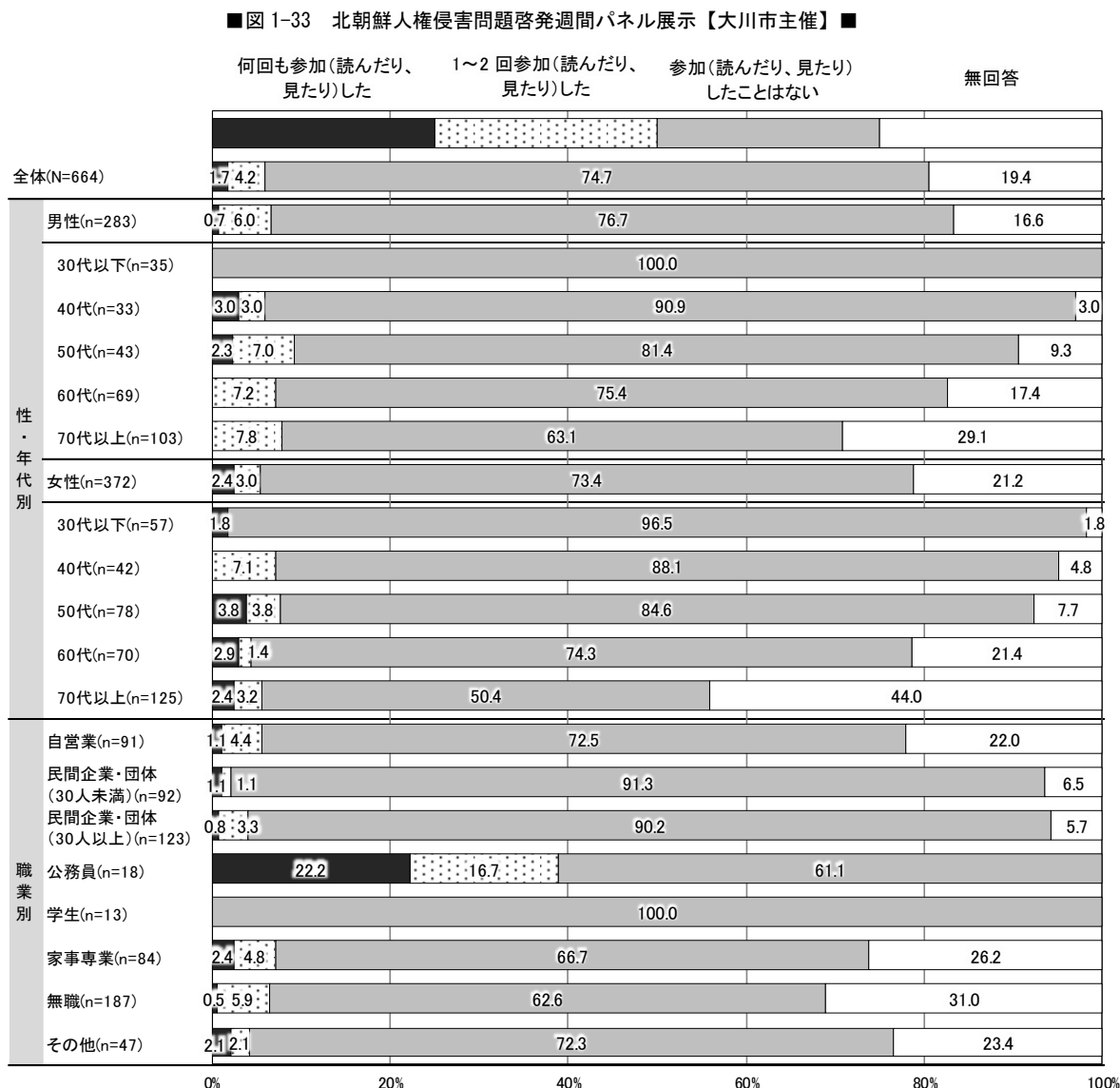
北朝鮮人権侵害問題啓発週間パネル展示【大川市主催】の認知状況について、尋ねた結果をまとめると、図 1-33 のとおりである。

全体として、「参加（読んだり、見たり）したことはない」が 74.7% で最も多く、「1～2 回参加（読んだり、見たり）した」（4.2%）と「何回も参加（読んだり、見たり）した」（1.7%）を合わせた『参加（読んだり、見たり）したことがある』としたものについては、5.9% となっている。

性別にみると、男女いずれも「参加（読んだり、見たり）したことはない」は 7 割以上となっている。

性・年代別にみると、男女いずれも 30 代以下と 40 代と 50 代は「参加（読んだり、見たり）したことはない」が 8 割以上となっており、特に男性 30 代以下は 100% となっている。

職業別にみると、『参加（読んだり、見たり）したことがある』について、公務員は 38.9% となっているのに対し、それ以外の職種は 10% 未満となっている。学生においては、100% が「参加（読んだり、見たり）したことはない」と回答している。



6 人権擁護委員による人権相談【大川市外も含む】

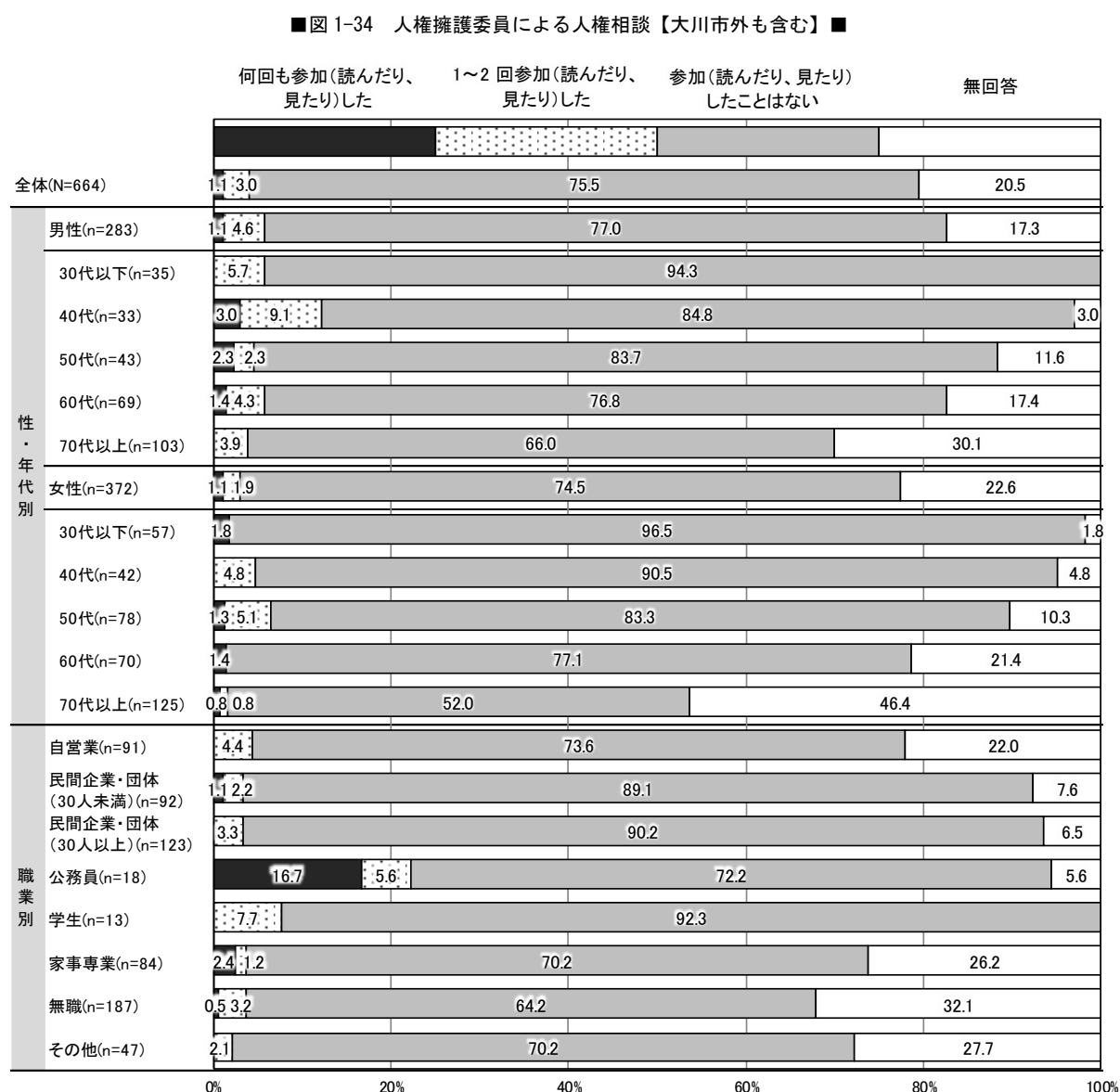
人権擁護委員による人権相談【大川市外も含む】の認知状況について、尋ねた結果をまとめると、図 1-34 のとおりである。

全体として、「参加（読んだり、見たり）したことはない」が 75.5%と最も多く、「1～2回参加（読んだり、見たり）した」（3.0%）と何回も参加（読んだり、見たり）した」（1.1%）を合わせた『参加（読んだり、見たり）したことがある』としたものは 4.1%となっている。

性別にみると、男女いずれも 7 割以上が「参加（読んだり、見たり）したことはない」と回答している。

性・年代別にみると、男女いずれも 30 代以下と 40 代と 50 代は「参加（読んだり、見たり）したことはない」が 8 割以上となっている。特に、男女 30 代以下と女性 40 代は「参加（読んだり、見たり）したことはない」が 90.0%以上となっている。

職業別にみると、『参加（読んだり、見たり）したことがある』について、公務員は 22.3%と最も多くなっている。「参加（読んだり、見たり）したことはない」については、民間の企業や団体に勤務する人と学生が 8 割以上となっている。



7 職場での研修等【大川市外も含む】

職場での研修等【大川市外も含む】への参加状況について、尋ねた結果をまとめると、図 1-35 のとおりである。

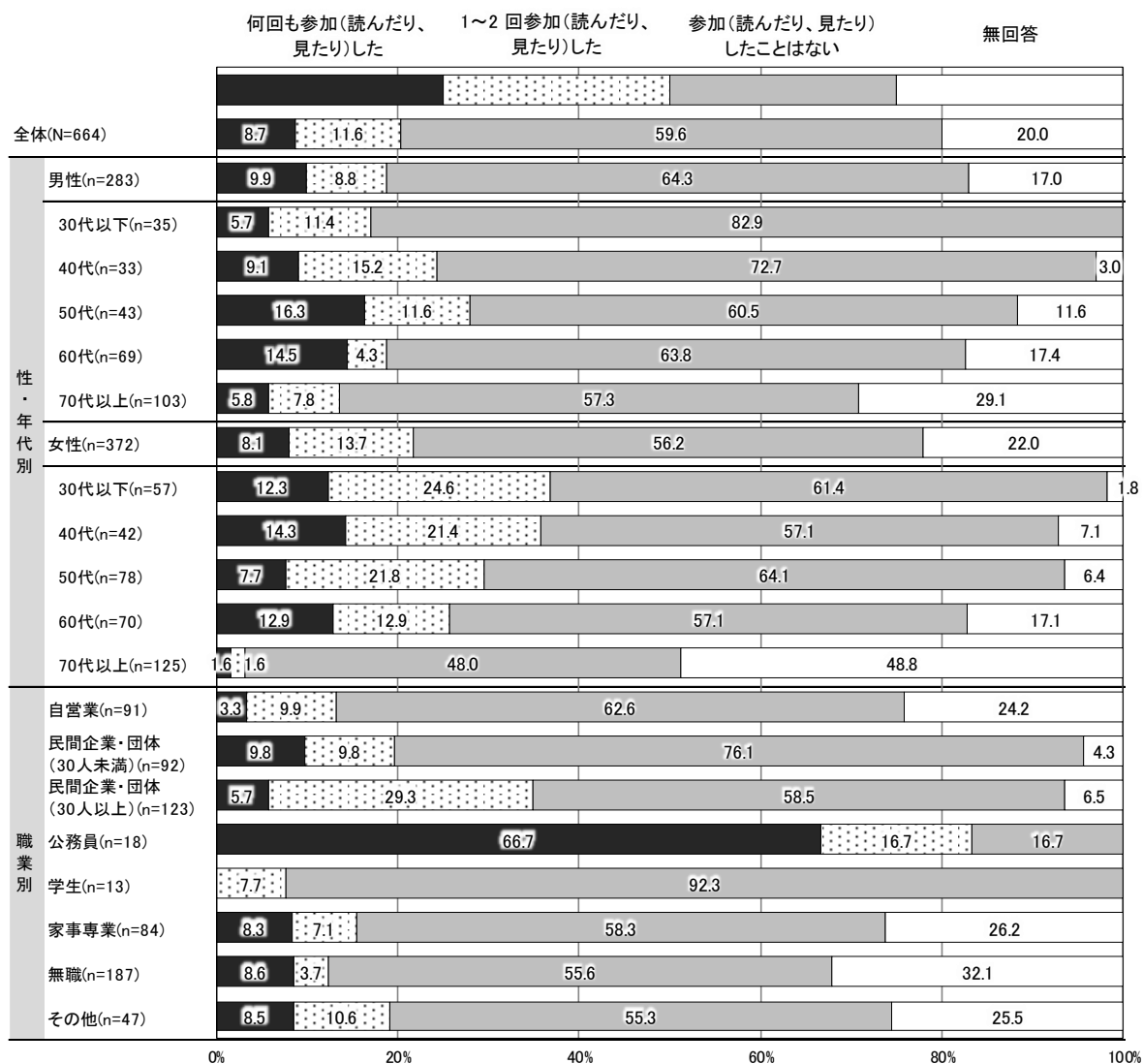
全体として、「参加（読んだり、見たり）したことはない」が 59.6%で最も多く、「1～2回参加（読んだり、見たり）した」（11.6%）と「何回も参加（読んだり、見たり）した」（8.7%）を合わせた『参加（読んだり、見たり）したことがある』としたものは 20.3%となっている。

性別にみると、男女いずれも半数以上が「参加（読んだり、見たり）したことはない」と回答している。

性・年代別にみると、男性 30 代以下は「参加（読んだり、見たり）したことはない」が 8 割以上となっている。

職業別にみると、公務員を除くすべての職種において「参加（読んだり、見たり）したことはない」が半数以上となっている。一方、公務員は 6 割以上が「何回も参加（読んだり、見たり）した」と回答している。

■ 図 1-35 職場での研修等【大川市外も含む】 ■



8 PTAなど学校での研修・講演会【大川市外も含む】

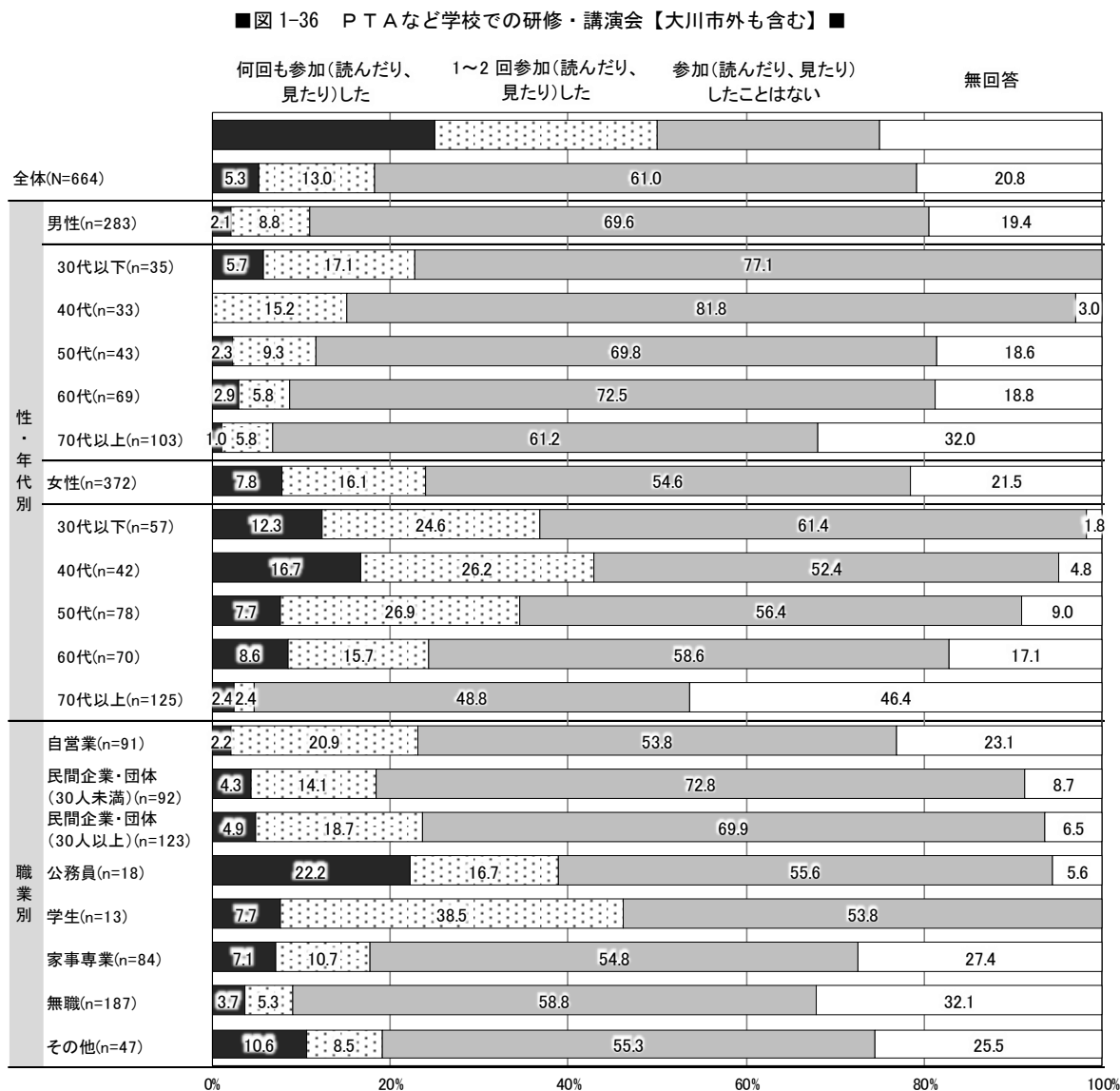
PTAなど学校での研修・講演会【大川市外も含む】への参加状況について、尋ねた結果をまとめると、図1-36のとおりである。

全体として、「参加（読んだり、見たり）したことはない」が61.0%で最も多く、「1～2回参加（読んだり、見たり）した」（13.0%）と「何回も参加（読んだり、見たり）した」（5.3%）を合わせた『参加（読んだり、見たり）したことがある』としたものは18.3%となっている。

性別にみると、「参加（読んだり、見たり）したことはない」について、男性（69.6%）は女性（54.6%）を15.0ポイント上回っている。

性・年代別にみると、『参加（読んだり、見たり）したことがある』については女性40代が42.9%で最も多く、次いで女性30代以下（36.9%）、女性50代（34.6%）の順となっている。

職業別にみると、『参加（読んだり、見たり）したことがある』については学生が46.2%で最も多く、次いで公務員（38.9%）、民間の企業や団体に勤務する人（従業員が30人以上の事業所）（23.6%）、自営業（23.1%）の順となっている。



9 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ【大川市外も含む】

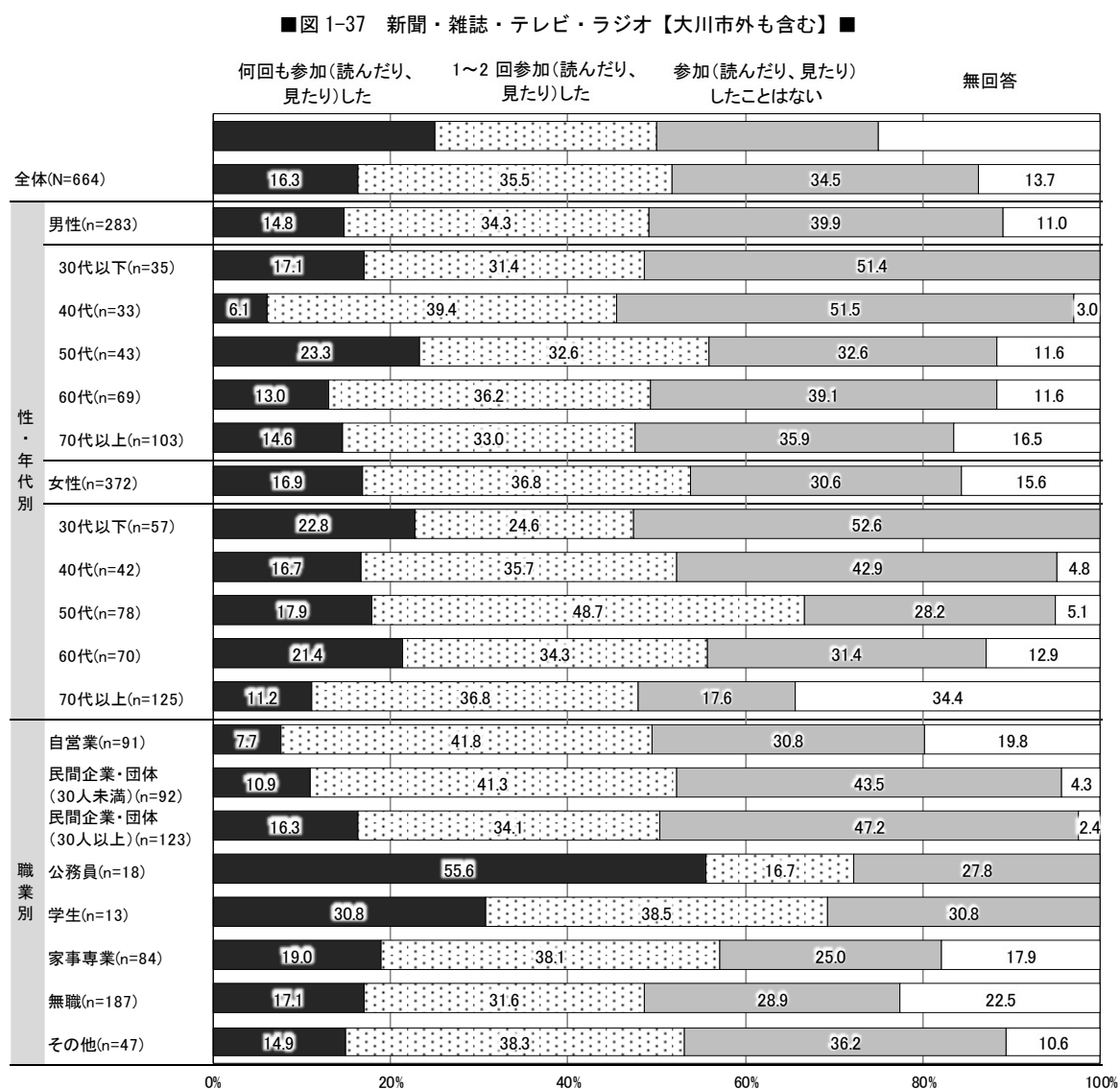
新聞・雑誌・テレビ・ラジオ【大川市外も含む】への接触状況について、尋ねた結果をまとめると、図1-37のとおりである。

全体として、「1～2回参加（読んだり、見たり）した」が35.5%で最も多くなっており、「何回も参加（読んだり、見たり）した」（16.3%）と合わせた『参加（読んだり、見たり）したことがある』としたものが51.8%と半数以上となっている。一方、「参加（読んだり、見たり）したことはない」は34.5%となっている。

性別にみると、女性は『参加（読んだり、見たり）したことがある』が53.7%で、男性（49.1%）よりも4.6ポイント上回っている。

性・年代別にみると、男女30代以下と男性40代は「参加（読んだり、見たり）したことはない」が半数以上となっている。一方、男性50代と女性40代～60代は『参加（読んだり、見たり）したことがある』が半数以上となっている。

職業別にみると、公務員は『参加（読んだり、見たり）したことがある』が72.3%と他の職種に比べて最も多くなっている。他の職種に関しても、自営業と無職以外は半数以上が『参加（読んだり、見たり）したことがある』と回答している。



10 書籍・映画・ビデオ【大川市外も含む】

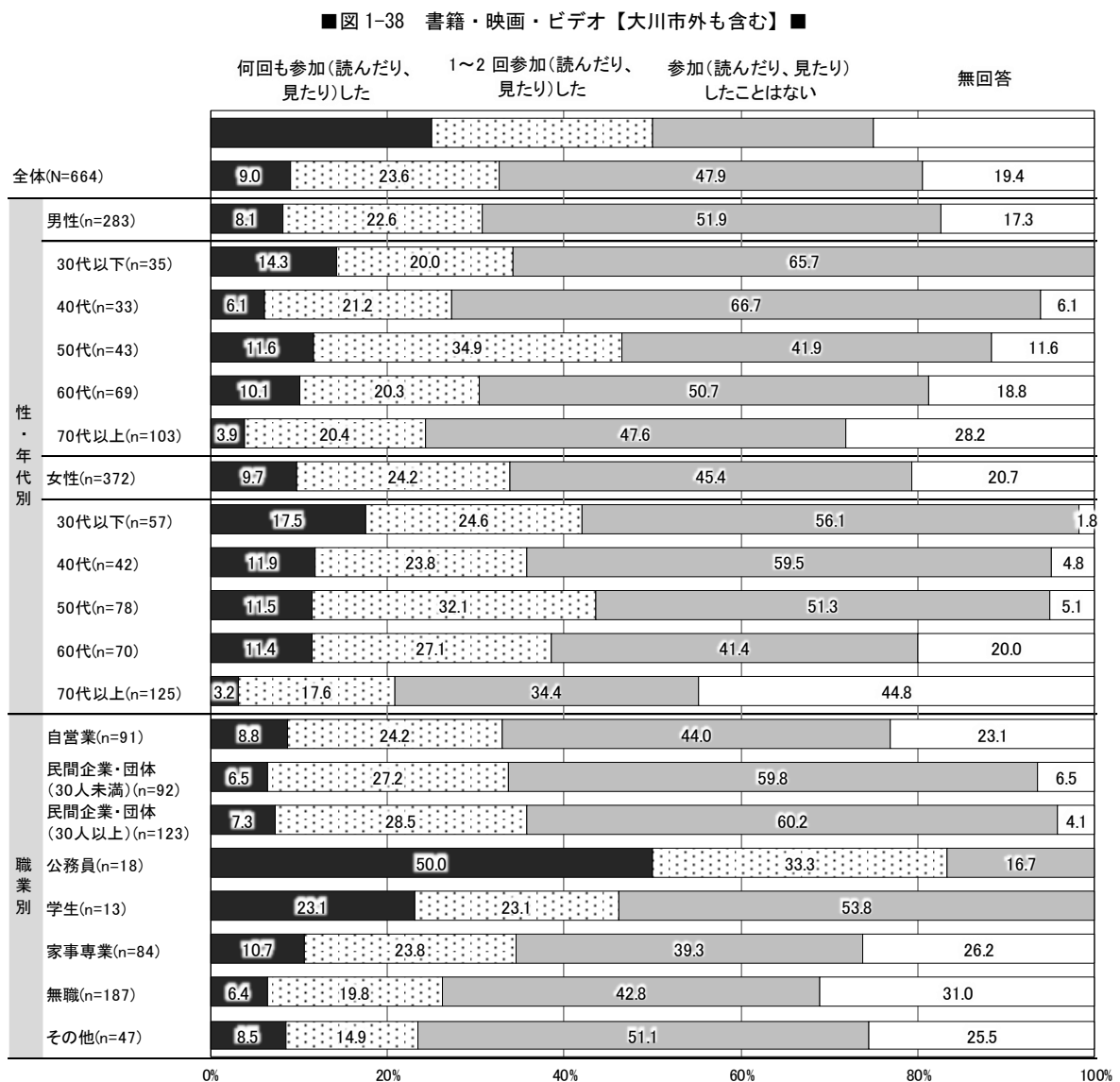
書籍・映画・ビデオ【大川市外も含む】への接触状況について、尋ねた結果をまとめると、図1-38のとおりである。

全体として、「参加（読んだり、見たり）したことはない」が47.9%で最も多く、「1～2回参加（読んだり、見たり）した」（23.6%）と「何回も参加（読んだり、見たり）した」（9.0%）を合わせた『参加（読んだり、見たり）したことがある』としたものは32.6%となっている。

性別にみると、男女いずれも「参加（読んだり、見たり）したことはない」が最も多くなっている。

性・年代別にみると、『参加（読んだり、見たり）したことがある』については、男女50代と、女性30代以下と50代は4割以上となっている。

職業別にみると、公務員は『参加（読んだり、見たり）したことがある』が83.3%と他の職種に比べて最も多くなっている。



(2) 国・県・市町村が実施する啓発活動で効果があると思うもの

問 28 国・県・市町村では、人権問題について講演会や研修会など様々な啓発活動を行っています。特に効果があると思うものはどれですか。(〇はいくつでも)

国・県・市町村が実施する啓発活動で効果があると思うものについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 1-39 及び表 1-23 のとおりである。

全体として、「新聞・テレビ・ラジオでの広報」が 36.7%で最も多く、次いで「学校や保育園、幼稚園での人権教育」(34.2%)、「人権問題に関する相談窓口の設置」(23.2%)の順となっている。「特にない・わからない」は 21.7%となっている。

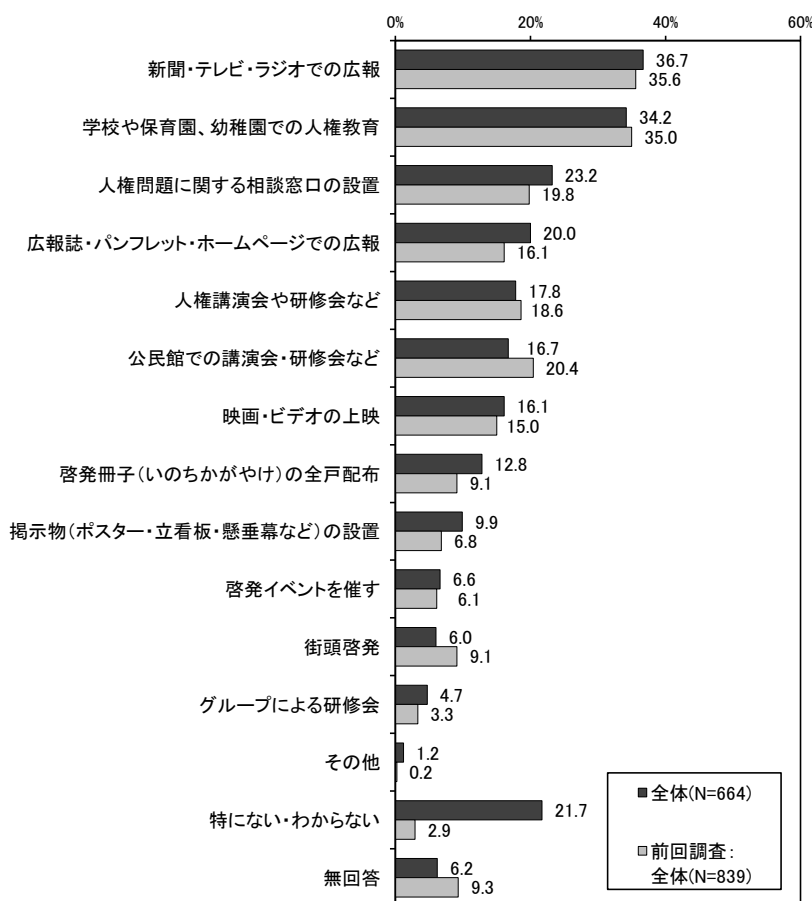
前回調査と今回調査との間で、「特にない・わからない」の選択肢を除き、数値に最も大きな変化がみられたのは「広報誌・パンフレット・ホームページでの広報」で 3.9 ポイント増加となっている。

性別にみると、男女いずれも「新聞・テレビ・ラジオでの広報」が最も多くなっている。「特にない・わからない」については男性(27.9%)が女性(16.9%)を 11.0 ポイント上回っている。

性・年代別にみると、女性 30 代以下と 40 代は「学校や保育園、幼稚園での人権教育」が半数以上となっている。

職業別にみると、自営業と民間の企業や団体に勤務する人と公務員と学生は「学校や保育園、幼稚園での人権教育」が最も多くなっている。「新聞・テレビ・ラジオでの広報」については、家事専業とその他がそれぞれ 42.0%以上で他の職種に比べて多くなっている。

■ 図 1-39 国・県・市町村が実施する啓発活動で効果があると思うもの ■



■表 1-23 国・県・市町村が実施する啓発活動で効果があると思うもの■

単位：%	サンプル数	広報新聞・テレビ・ラジオでの	学校や保育園、幼稚園での人権教育	人権問題に関する相談窓口の設置	広報紙・パンフレット・ホームページでの広報	人権講演会や研修会など	公民館での講演会・研修会など	映画・ビデオの上映	啓発冊子（いのちかがやけ）の全戸配布	掲示物（ポスター・立看板・懸垂幕など）の設置	啓発イベントを催す	街頭啓発	グループによる研修会	その他	特にない・わからない	無回答	
全体	664	36.7	34.2	23.2	20.0	17.8	16.7	16.1	12.8	9.9	6.6	6.0	4.7	1.2	21.7	6.2	
性・年代別	男性	283	31.8	29.0	23.3	19.1	19.4	20.5	15.2	11.7	9.9	6.4	5.7	6.4	1.8	27.9	3.5
	30代以下	35	28.6	42.9	25.7	17.1	20.0	8.6	20.0	14.3	14.3	8.6	2.9	8.6	-	34.3	-
	40代	33	24.2	33.3	30.3	18.2	24.2	21.2	15.2	3.0	12.1	9.1	15.2	15.2	6.1	30.3	3.0
	50代	43	30.2	44.2	23.3	14.0	16.3	4.7	18.6	7.0	9.3	7.0	4.7	4.7	-	20.9	4.7
	60代	69	36.2	27.5	23.2	23.2	18.8	17.4	18.8	11.6	10.1	5.8	5.8	4.3	1.4	29.0	2.9
	70代以上	103	33.0	17.5	20.4	19.4	19.4	33.0	9.7	15.5	7.8	4.9	2.9	4.9	1.9	27.2	4.9
	女性	372	40.9	38.2	23.4	20.7	16.9	13.4	17.2	13.7	10.2	7.0	6.5	3.2	0.8	16.9	8.3
	30代以下	57	36.8	61.4	36.8	14.0	15.8	10.5	28.1	17.5	19.3	14.0	8.8	5.3	-	14.0	-
	40代	42	45.2	59.5	31.0	26.2	16.7	4.8	19.0	16.7	19.0	2.4	11.9	2.4	2.4	14.3	2.4
	50代	78	47.4	44.9	19.2	26.9	28.2	19.2	20.5	14.1	12.8	14.1	10.3	3.8	-	7.7	6.4
	60代	70	45.7	40.0	32.9	18.6	15.7	17.1	17.1	11.4	5.7	5.7	4.3	2.9	2.9	14.3	5.7
	70代以上	125	34.4	15.2	12.0	19.2	11.2	12.0	9.6	12.0	4.0	1.6	2.4	2.4	-	26.4	16.8
	回答しない	3	-	66.7	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-
	無回答	6	33.3	16.7	-	16.7	-	50.0	-	16.7	-	-	-	16.7	-	16.7	-
職業別	自営業	91	31.9	35.2	25.3	15.4	16.5	17.6	15.4	11.0	8.8	7.7	8.8	6.6	1.1	24.2	5.5
	民間企業・団体(30人未満)	92	37.0	39.1	20.7	25.0	12.0	8.7	20.7	13.0	10.9	7.6	7.6	6.5	1.1	23.9	1.1
	民間企業・団体(30人以上)	123	35.8	46.3	29.3	17.9	20.3	16.3	22.0	15.4	11.4	7.3	4.9	4.9	0.8	14.6	1.6
	公務員	18	38.9	66.7	27.8	22.2	55.6	16.7	44.4	5.6	16.7	22.2	11.1	16.7	5.6	5.6	5.6
	学生	13	23.1	46.2	30.8	15.4	23.1	23.1	15.4	7.7	30.8	23.1	7.7	7.7	-	30.8	-
	家事専業	84	42.9	23.8	16.7	22.6	11.9	9.5	9.5	16.7	9.5	2.4	3.6	1.2	-	22.6	10.7
	無職	187	36.9	22.5	20.9	19.8	19.3	24.6	11.8	11.8	7.5	4.3	4.8	2.7	2.1	25.7	9.6
	その他	47	42.6	40.4	27.7	23.4	17.0	8.5	14.9	10.6	10.6	8.5	6.4	4.3	-	19.1	8.5
無回答	9	22.2	33.3	11.1	11.1	-	33.3	-	11.1	-	-	11.1	11.1	-	11.1	11.1	
前回調査：全体	839	35.6	35.0	19.8	16.1	18.6	20.4	15.0	9.1	6.8	6.1	9.1	3.3	0.2	2.9	9.3	

※前回調査では、○は3つ以内としていた。

※前回調査で設けていた選択肢「啓発効果のあるものがない」は削除し、「特にない・わからない」を新たに今回調査で設けている。

(3) 自由記述意見(要旨)

問 29 これまでいろいろお尋ねしましたが、人権問題や人権教育・啓発について、ご意見やご要望などがございましたら、何でもかまいませんのでご自由にお書きください。

最後に、人権全般についての意見、要望〔問 29〕を自由回答方式で尋ねた結果をまとめると、なんらかの具体的な意見や要望などを提示したものは、回答者総数の 16.9%にあたる 112 名であった。

■表 2-22 自由記述意見(要旨)■

意見・要望(要旨)
●人権全般について
・人権問題を盾にしたファシズム思想が幅を利かしている様で、危険だと思う。 ・共産左翼主義とフェミニズムは同じ穴のムジナだという事を理解する様に。
小さい頃からの人権教育はとても大切だと思う。特にコロナ禍で、新しい人権意識がめばえてきているので、これを機に保幼小くらいからわかりやすい人権教育を始めてみるとよいと思う。(家庭・教育機関共に)
話には差別等なくなっていないとよく聞きます。私はあまり感じていません。少しは気にさわる等の事はありますが、よくわかりません。
日本では、いじめられた側が心のケアのためにカウンターが入ったり、転校したりするが、外国ではいじめた側にカウンセラーが入る。成長過程に問題やゆがみがあると考えられるので、そういった視点を変えるのにも必要。差別をなくそうね、という指導や啓発も大切だが、差別をする人は頭のおかしな人だという風潮を作っていく事も必要だと思う。昔、何があって部落差別という言葉が生まれた、等の説明はいらないと思う。その時代のことを知らない世代からすると何も思わないし、関係ない話なので部落などという言葉自体、無いものとしていくべきだと思う。いつまでたっても消えない差別用語である。
小学生ぐらいの時から教育が大事だと思います。
”高齢者”で”障害”をもっている”など、人権侵害に陥りやすい人は、単一の特性ではなく、複数の特性を持ち合わせている場合が多いのではないかと思います。また、人間、問題の最中にいる時は周りが見えず、情報もスルーしがちになるので、例えば”高齢”に関する悩み事で相談に来た際に、併わせて、”障害”についての視点から問題をとらえ直したりするなどの、複合的視点をもって相談に対応することが求められると思います。
競争社会、勝者、敗者等が無意識の中でも作り出されていく現実の中で、私個人に関わることでなくても、社会を構成するすべての人間に何らかの関わりがある事柄は、私一人の人間として無視できるものではありません。生命の尊厳、基本的人権の尊重等の意識が、社会をリードしていく人々、例えば政治家、役所、教育等で一番大切に実現実行されなければいけないと思う。それには、人々が人類の平等や哲学、宗教性を心に、特に小中高生へ教育を施さねばいけない。競争を助長し、そして勝者が、優れているなど短絡的風潮を醸し出す世の中を変えていく事が大切だと思う。
私たち高齢者は人権のことに少しは本だとかその他で読んだり、きいたりしましたが、なかなか日々の暮らしにかまけて通り過ぎて来たように思います。もっと関心を持つべきだと思います。
学校の校則で、今の時代に合わないものがそのまま残っている。「きまりを守る」ということは、社会生活では大切なことではあるが、子ども達がおかしいと感じる校則に関しては、しっかりと考え、必要に応じて変えられるチャンスを与えて欲しい。自分たちの考えをきちんと理由をそえて、伝え、より適した内容に変えていける、という経験が、政治への関心につながり、選挙の投票で自分の意志を表明する、ということにつながっていくと思う。社会をより良い方向へ変えていく練習が必要だと思う。納得のいかないきまりを押し付けるべきではない。
人権問題に限らず、色々な障害や、生活に困っている人などが「助けて欲しい」「手をさしのべて欲しい」と気軽に言える世の中になって欲しいし、その体制や相談場所を早急に作ってほしい。
※この人権について、1人1人が無関心であると思います。
・人間としての人格を尊重して差別は絶対にしてはいけないと思います。 ・人間はすべて平等だという事を自覚して欲しい。
人権人権と人権にも程度があります
いじめは大人の世界でも起きている。子供のいじめをなくすのに、まずは大人の差別意識から変える必要がある。正直、このような問題はずっと続く、解決しようとしてもできるものではないと思う。いかに減らしていくかを考えるべき。普通の人は当事者でもない限り、人権を考えずに過ごしている。なので、ポスターや学校の授業などに取り入れて、頭の片隅に置いておけるように啓発すべきだと思う。
・小さい頃から家庭で話し聞かせる ・嫌な事はNOをはっきり言える様に教える ・自分がされて嫌な事は人にもしないと教え込む

意見・要望(要旨)

学生時代は学校の授業等で人権に関する教育を受ける機会が度々あった。早い段階からまた継続的にこうした教育はなされていく必要があると思う。『こういうことをしたり言ったりしたら差別にあたるのでダメ』という視点からの話ではなく、逆に当事者とされる人の側から『こういう事を望んでいる』というような意見など知りたいと思う。

学校教育の中に、もう少しあったらいいあと子供の頃から思っていました。子供の頃の方が、色んな状況や思いなど受け入れ、視野の広い大人になれると。

日本人らしさを大切に、人格を高め、心を豊かにすることが、人権問題の解決につながるのではないのでしょうか。啓発だけでは、人の心は動かないと思います。

まだ差別や偏見が残っていますが、昭和や平成の時と比べると確実に良い方向へ向かってると思います。

どの立場からその”価値観”を認め尊重と尊厳を大切に「承認」を大切に大川市へ

人権問題に関する答えがわからないだけで、不勉強である事を痛感しました。これからは色々とお知らせすべき事があると思います。勉強致します。テレビや新聞でちょっと耳や目にする位です。今後は関心を持って勉強して行きます。

私は幼少の頃祖母から、あの子(ダウン症の子)とは、遊んだらダメと言われ、なぜだろうと思いついてしまいました。子供として、何の違和感もなく遊んでいたのに、大人の言葉でその子に対する偏見が少しずつ育っていったように感じます。今はそのような偏見はもっていませんが、みんな同じ人間であることを違いがあっても個性と思える環境を作っていくことが大切だと思います。難しい事だと思いますが、これから大人になって行く子供たちに、大人の偏見を押し付けないで下さい。それから、子供達のお手本になるような大人になりたいと思います。

人権問題というと、内容が非常に多岐にわたり、見解を統一することは難しいと感じました。しかし、例えば、小児については、小児虐待、女性についてはセクハラ、などと考えれば、もっと身近で深刻な問題であることがわかるのではないかと思います。子ども、女性、高齢者、障害者など自ら声をあげることが難しい人たちとの人間関係において、常に対等にお互いを尊重していくという姿勢、あり方を、幼少期から、永進、地域、教育の■で浸透させていく必要があると思います。

北欧など諸外国の対応を参考に、市民みんなが健やかに暮らせるようにしてほしい。今は、差別が無くなったのではなく、表面上、見えないようになっただけだと思う。障がい者に関しては、職場で障がい者雇用をしているが、とくに精神的障がいの方は分かりにくい。急にキレたりして、すぐにトラブルを起こし、辞めてしまう。職場における対応をサポートすることも必要だと思う。

人に話しても最終的には自分で解決する他ない。

子供の教育はもちろんですが、親の教育も大切かと思えます。

今の世の中はすぐにでもだれでも当事者になり得ます。教育が大事だと思います 小学校からの小さい時からの正しい教え・学ぶ事で解決する事は多いのでは。

「人権」とひとくりにまとめすぎる。それぞれ厳しい環境にある。一般的なことは個人的に勉強しているが、それでも当事者しかわからないこと、言葉にできないままで苦しんでいる人は多い。

非正規等に端を発した格差問題等により、多くの貧困層も生まれた筈、その数を全国レベルで集結すれば、同和、ハンセン者の数にも匹敵するのは。世界中でも、この格差、差別と云う事象は永遠と続くのでは無い？現に為政者の中にも「老人は早く死ね」とか「弱いからいじめられる」云々、とても政治家の口から発す言葉とも思えない。一方で自分の政治信条を貫く為、人事権を握り、官僚を操り、忖度する人間には便宜さを謀る、ここに既に差別、格差が生まれている。一方で自分の信念に基き仕事をしていたのに、意に反した仕事をさせられ、自殺まで追い込まれた官僚もいる。この腐った土壌では格差と差別は以後、何百年も続くだろう。

学校教育で人権教育の充実をご要望します。

小さい時の経験が大人になっても残るので幼児教育は充実です。3つ子の魂”100”までの通り大切です。

最近では犯罪が多く報道されている様に感じます。学校、研修会等で、優しさ、忍耐、人間同志の会話力等 人間性を子供から大人まで、しっかりと教育していただけることを願います。

人権問題に関しては正直深く考えたことはありません。学校やテレビで何となくふれた程度です。この調査で答えていくうちに、こんなに色々な問題があったのかと考えさせられました。子供達に小さい頃から身近に考え知ってもらう為にももっともっと教育の場を増やしていくべきだと思います。

自分が当事者(障害者)になった自覚もなく、同和問題でも今まで1回も関係者に会ったこともないので、正直、あまり関心がありません。ただ、新聞等のメディアで児童虐待やネットの中傷がかなりひどいらしいのは読んでいました。特に、児童については親しか頼るものがなく、その親が虐待の加害者であるなら児童に最後の助け(セーフティーネット)を用意してあげられればと思います。

頭の中では、差別とかいけな思っておりますが、ちょっとした時などに私自身も差別をしているような気がします。これからもっと気を付けていきたいと思えます。

自分の周りに同和地区の方などはおらず(知らないだけかも)、今まであまり考えたことはなかった。研修会などに出るのはハードルが高いが、YOUTUBEなどで手軽に情報が入るのであれば見てみたいと思う。少しでも差別がなくなりますように！

今でも、昭和の時代の考えの方が多く。学歴・仕事(内容)パート、アルバイト等で差別する人多い。

意見・要望(要旨)

インターネットの普及で、誰もが自分の意見を発することができるようになりましたが、「自分の発言に責任をもって」と教えるのが遅すぎたように思います。産まれた時から、ネットがあたり前の世代になるのかと思うと、不安を感じます。大人が先のことを考えて、保育園、幼稚園で指導すること、またその親にもきちんとした知識をもってもらって、子育てをしてもらえたら良いかと思います。他の人を大切にすることは、自分を大切にすることからできます。大人が子供を大切にすることが重要だと感じています。

人権問題についての様々な活動において啓発していく立場の者が、真に被害を受けている方々の事を理解しているのか、何を望まれているか。同和問題についても学生の頃から現在まで研修、講義等を受けている。当然差別はしない。しかし、今だに何故差別がおきたのか、自分がどうやったらその解消のために尽力できるのか、分からない。こういう人は多いのではなからうか。

街頭啓発や講演会、パンフレットなどは、見たい人しか見ないと思うので学校や職場でそういう教育や研修をして、全員が参加できる形にしないと意味がないと思う。自分が若い頃に受けた人権教育と違い、今はSNSやヘイトスピーチ、性的少数者、ヤングケアラー、子どもの発達障害、貧困などの問題が台頭しているように思うが、なかなか詳しく知る機会がないので、そういうのを知るきっかけが手近なところであればいいと思う。

人権は人が生まれながら持っているものなので大切にしなければいけないというのは当たり前だと思いますが、最近人権という言葉が前に出すぎて人権、人権と言えば何でもまかり通るという風潮が少し怖いと思う事があります。色んな意見があつて当たり前なのに、多様性と言いつつ、違う意見は認めないという感じがします。もちろんマイノリティーの人たちの意見も大切だと思いますが…。とても難しい問題だと思います。人にやさしい社会であってほしいし、私自身も回りの方に助けられての人生でしたので、これから、回りの人に対しても優しくありたいと思います。

せっかく大川家具が有名なので、人権とかけ合わせた家具やおもちゃ道具をつくってアピールすれば大川市も活性化すると思う。例)つえ、車のトランクに乗せれるスロープ、子どものおもちゃを家具の廃材で作って安価で販売。

人権を子供の頃から踏み躪られてきた事が多い人生でした。理不尽な人権侵害は本当に他人事でも辛く感じます。かと言って自分から強く社会活動をする余裕は諸々の事情からありませんが、市民の一人として、少しでも今の差別が無くなるよう、偏見で人を見ないよう心がけて生きていかねばと改めて考えさせられました。ありがとうございました。

人権問題、いじめ、その他差別は無くなることはない。その場に望んだとき、相手の立場に立ちどう考え行動するかが重要、老人を含む大人が次の世代に正しい行動を見せることで、子供は正しく育つのでは？差別の少ない世界を創るには、まず、老人を含む大人の意識改革が一番必要なのでは。

子供の虐待であつたり育児放棄、いじめ問題、高齢者の方々に対する詐欺問題
女性問わず男性に対する職場でのいろんな問題、外国人雇用に対する問題などありますが、いろんな方々が問題解決に向けてご尽力されているとは思いますが、メディアからはいろんな情報が入って来ます。これって非常に悲しいし、寂しい事だと思うので、もう少し分かりあえて、尊重出来る様な社会になれば良いですね。

啓発活動だけではなかなか現状打破は困難、各個人の意識はどうやれば向上するか。子どもの頃からの教育なのか。コミュニケーションを密にして、何事にも本気で取り組む、人間教育でしょうか。

家庭教育が大事だと思う。これから親になる若い世代の啓発や人権教育を学校で学べると良い。

人権問題には様々な問題があり、各個人の意識改革が必要だと感じる。自分も悪いことだとはわかっているし、傷つけているかもしれない。各個人で価値観も違えば、悩みも違うし、事情も違うことを認識する必要があると感じている。しかし、その人を知れるだけの人間関係は軽薄になっているのが、現状。

同和問題をはじめ、あらゆる差別のない社会を目指すべきだと思います。仕事の関係上様々な研修会に参加しています。これからも学び続けていきます。

多岐に渡る人権問題が存在し、今後も更に拡大するであろう中で、行政においては限られた予算・人員の制約の下でも粘り強くかつ継続した取り組みをお願いします。

自分自身が同じ経験しなければ、当事者の気持ちとかわからない。

どの問題に対しても基本は同じだと思います。「他人のイヤがることはしない」思いやりがなくなってきた気がします。考えもなしに、目の前の快楽だけで発せられる言動や、批判する事に一生懸命な世の中。政治家もコメンテーターもネット上も、みんな批判しかしていないように思います。また、啓発も大事だとは思いますが、知らなければ生まれなかった差別もあるのではないのでしょうか。「この方達は差別対象者になってるんですよー」って広めている気もして、矛盾を感じます。
「してはいけない事をしたらペナルティを負う」というシンプルな構造にするのではダメなのでしょうか。そして、「なぜしてはいけないのか」ということを、子供の頃からしっかり教育することが必要だと思います。相手の気持ちを考えられる、想像力豊かな人が増えることを望みます。

いろんな世代の人達が自分のことだと思って、人権問題を考える機会があれば変わるきっかけになるのかもしれない。固すぎる啓発だと自分の近くのものだとは思えないので、そこ工夫が必要かと思っています。

●同和問題について

意見・要望(要旨)

・同和問題に対しては私達も良く知らない人が多くなっている年代です。その下になればなる程知らない分からない人が多いはず。特別に何か大々的にせず「差別」を伝えない方が知らずに済むと思います。
 ・その他のやつは、当人様の希望を良く聞きそれに添う様な社会にしてい事が大事かと思ひます。一般人は理解できない事が多いと思ひ、良かれと思ひていても迷惑だったりする事もあるかと…。
 ・個人的には啓発活動での差別になるんじゃないかと思ひますよ。意識の問題なので、小さい子供のうちに道德の授業が増えることを希望します。

”同和”という言葉自体がこの世からなくなることを切に願ひます。

同和問題については学生時代から話を聞く機会がありましたが、前にも書いた通り周りで話を聞いたりしたことがなく現在もそういう差別が行われているのだろうかと思ひ程です。

何十年も前の話ですが、同和問題の講演会を聞きに行った事があります。実際聞っていた講師の方が、自分の子供の結婚になると反対された…そんな話を聞いたのを思ひ出しました。歴史を知って、1人1人が自覚するより他にないのでは。同和に限らず、人権問題は難しい問題です。

親が子供にあの子は同和だよって教える事が問題だと思ひます。同じ日本に住んでいて日本人なのに差別はおかしいと思ひます。

同和地区の事よく聞きますけど一般の人との違ひがわかりません。

大川市における同和問題について

●様々な人権問題について

◎国の制度をわかりやすく・本当に生活困難であるにもかかわらず、知識不足な為セーフティネットを活用できてないように思える(受給できるにも関わらず申請されていない方がいるのではないかと、プライバシー問題の為、声をあげない方には踏み入れないのではないかと)

子供・女性・高齢者虐待は表に出ているのは一部だと思ひます。見えない所では数多く起こっているのではないのでしょうか

人権は万人に在るべきとは思ひますが、極悪な犯罪を犯した者に対しては如何なものかと思ひます。勿論その家族は守られるべきとは思ひますが…。他者の命を奪う様な犯罪者は対象にはすべきでない。と考へます。

子供の頃は私も障害者の子供があり、あまり良い思ひはしない時もありました。人間はいろいろな場で学びながら教えられる事に気付き、成長していくとすべてを受け止める姿勢、前向きに生きて行く与えられたものにはすべて感謝しながら生きて来ました。今幸せです。障害者の母として大変な事もあったけど、その何倍もの幸せをもらってありがとう。～こんな世の中になつてほしい～。自分の考へ方ひとつで、変らないものですかね。

障害者やその家族に手厚い援助が欲しい。学校周辺への気配りをお願いしたい(そう音等)障害のある長男がいるので、夫の収入が少ないけど働きたくても働けない。最低限の生活しかできないので、家賃も払えないので、親の家に間借りするしかない。

身近にないので、現実味がありません。ごく普通人として生活してきましたが、女性としての立場の弱さには心当りがあります。

親が子供に身体的心理的な虐待を加える事や、子育ての放棄する親への罰則が軽いのではないのでしょうか。

学校でのいじめ問題の防止に力を入れてもらいたい。

性的少数者がもし世界的に広がったら次世代の子供がいなくなつてしまふ…単純に愛しあつて子供誕生がなくなつてしまふと思つてしまふのは私だけでしょうか？

職場において、女性の能力を評価してもらえない。責任ある業務についていても、給料は増えない。雑用はすべて女性の仕事と思つている上司。手伝う事などまったくない。男尊女卑今だに改善されない！！

子供や高齢者等を守るために全力を尽くすのは大切だと思ひます。だけどやりすぎてダメな事もある。インターネットの誹謗中傷等も全部が全部罪と言うのもどうかと思ひ、女性差別云々もやりすぎると逆に男性差別に発展しかねないし、妊娠しているからといって、何もかも自由にやらせてもだめだと思ひます。

障害者の人権大切だとは思ひますが、仕事上で仕方ないが、障害者より不当なことをされる場合もある。充分、障害は、人権尊重されていると思ひます。

私は身体障害者手帳を持っていますが、病院の担当医師が書いてくれた診断書と違う等級でくるのは、担当医師の尊厳を無視した診断としか思へません。理由は色々あると思ひますが、まずは、担当医師の診断書を信頼していただきたいと思ひます。人権問題であります。

夫婦別姓や同性婚認めたら良いと思ひます。民法等は特に法律と現状が合っていないのでもっと短期間で見直すべきだと思ひます。

人権を蔑ろにし犯罪を犯した者に対しても、人権があるのが納得いきません。加害者は支援があり社会復帰に向けて活動していますが、被害者はどうでしょう。被害者にはなんの支援もありません。一生心に傷が残ります。犯罪者は出所して自営で成功する人もいます。そんな人達の人権など考へられませんか。犯罪者の人権、とても難しい問題だと思ひます。

●行政への意見について

意見・要望(要旨)	
	人権問題の映画ビデオは沢山あると思います。コミセンなどを利用して毎月上映してほしい。
	市役所での職員の対応について
	公民館での講演会を多くする。
	大川市は、人権啓発について、消極的だと思います。このアンケートを、機に、大川市民への啓発に力を入れてほしいと思います。
	町内での役員会について
	年を取ると生きづらいと聞きます。(一人暮らしの年寄り)もっと配慮してほしい 生活支援バスの充実
	ゴミ拾い、道路の草取りをするなど、掲示板や市報、ホームページに載せてほしい。
	健康センターに対する意見
	市民税が高すぎ
	行政がどちらの人権を守るのかしっかり対応すべき。
	もっと市の啓発活動をお願いしたい。啓発活動がやらなければならないからやっている的な活動にならない様にもっと自らが動く様な活動をして頂きたい。
	・ワクチン接種の強要はどうかと思います。接種証明書などがあるのは、ワクチン接種の強要で、国民の自由ではないのでしょうか？
	公共機関公共施設のバリアフリーに不備があります。障害者の痛みは障害者しか分かりません。是非是非早急に改善をお願いします。どの分野でも気軽に相談できる窓口が分かる様にあればよいと思います。本当に困った時に相談できる窓口が分かりやすいようになればと思います。どこに相談したらよいか分かりやすい窓口の案内の啓蒙をお願いしたい。
●調査について	
	大川市主催が、これだけあっているとは知りませんでした
	今まで人権問題などの事に感心がなかったんですが今回の解答で年令的に詳しくは理解出来ませんが、良い勉強させて頂きました。これからは年令は問わずに何事にも少しでも勉強になればと感心を持ちました。
	アンケートを見るまでは知らない事がいっぱいありました。
	調査対象選別について
	全体的にお尋ねの問題に対して、知識不足でした。
	人権問題の調査を記入する事で考える機会ができて良かったと思いました。
	返信用の封筒が小さい
	質問が漠然とし過ぎていて、逆に悩みました。全て問題である事なのでしょうが、こういう事を知っていますか？という意図で聞かれているのか？ほとんど主語が変わっているだけで、同じ内容で意味があるのか良くわからない…。
	人権問題について、今まであまり深く考えた事がなかったのですが、今回のアンケート用紙をいただいて、講演会や研修会などの活動が行なわれている事を知りました。
	※設問の様式が人権問題、侵害全部○を付けなければいけない様式が多い為解答の方法の再考が必要ではないか？
	・女性に関する問題が書かれてありますが、男性に関しては有りませんでした。これこそが女性は弱い存在であり、男性は強く、差別が無いと言う考えでしょうか？公的なアンケートであれば、男女平等の質問が考えられて無い事自体が問題とも思えます。
	・同和問題とか同和地域とか言う言葉での教育をいつまで続けるのでしょうか？この言葉自体が差別用語だと思います。この言葉で教育されるから特別な地域だと思ったり、別の人々だと認識してしまうのではないかと思います。勝手に付けた名称でしょうか？差別的に特別視して捉えていると思います。
●その他	
	人は皆平等。人権問題活動、頑張って下さい。
	自分に直接、関係がないので差別の事をあまり知らなく無関心だったと思いました。私自身、人を差別する事無く、人からも差別される事無く暮らしていきたいです。
	日々の生活に追われ考える余裕がない
	今だに学歴の格差が目敏いように思えます。法事保有国家である日本さながらの現象だと思いますが、仕方の無い事なのでしょう。例えば大学卒であれば高卒と比して何かと優遇されている部分も多く見受けられます。優秀であっても経済的な事情で大学進学を断念せざるを得ない人もたくさん存在する中で、比較的裕福な家庭に生まれてきた子が得をする(極論ですが!)というのが、何だか不条理に感じるところです。

意見・要望(要旨)

別にありません。市民が安心して生活される事を望みます。

自分自身必死で生き抜いてきた身ですから、他人事には一切関わりたくない。

私自身もう少し勉強しなくてはと思っています。

昭和 11 年生まれの私は何もわかりません

感心はありますが特に気にしません！！日々倅せに楽しく暮しております。国、政策に感謝です！！

自分自身、障害があるため、理解不能！！

私は人権問題など、身近に起らないので感心が薄いと思いました。

啓発活動とか行っているかもしれませんが、何を言っても分からない人には分からない。

職場での差別について

今より良い社会になればいいと思う

市職員への調査結果

IV. 調査結果(各論分析・市職員)

1 人権全般について

(1) 人権問題にどの程度関心があるか

問2 人権問題にどの程度関心がありますか。(〇はひとつ)

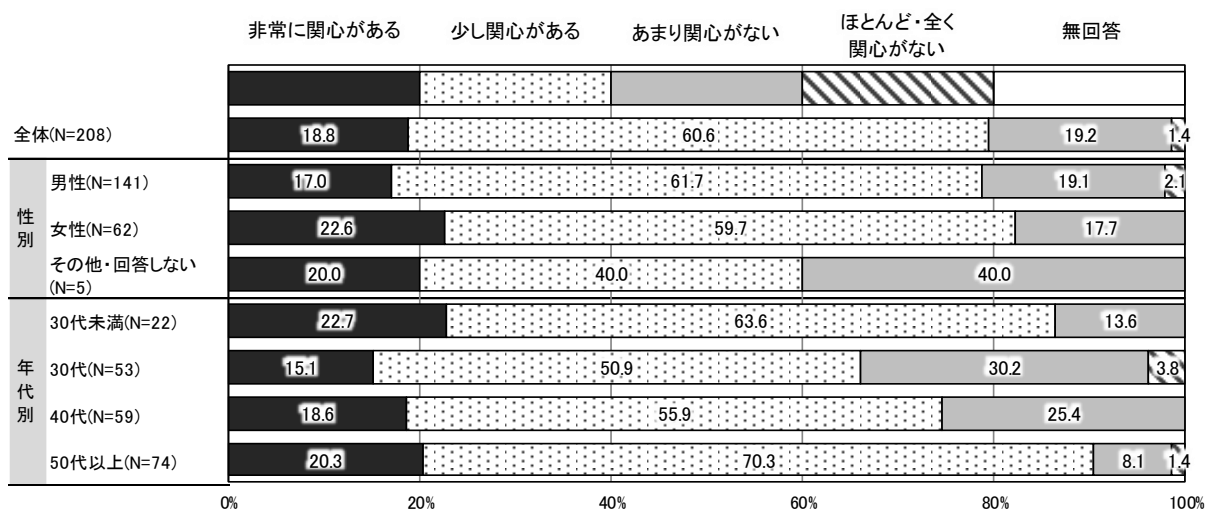
人権問題にどの程度関心があるかについて、尋ねた結果をまとめると、図2-1のとおりである。

全体として、「非常に関心がある」(18.8%)と「少し関心がある」(60.6%)を合わせた『関心がある』としたものは79.4%となっている。一方、「あまり関心がない」(19.2%)と「ほとんど・全く関心がない」(1.4%)を合わせた『関心がない』としたものは20.6%となっている。

性別にみると、男性は『関心がある』が78.7%、女性は82.3%となっており、いずれも7割以上となっている。

年齢別にみると、50代以上は『関心がある』が90.6%と他の年代と比較して最も多く、次いで30代未満(86.3%)、40代(74.5%)、30代(66.0%)の順となっている。いずれの年代も6割以上が『関心がある』と回答している。

■図2-1 人権問題にどの程度関心があるか■



(2) 日本の人権に関する問題で関心があるもの

問3 次にあげる日本の人権に関する問題で、関心があるものは何ですか。(〇はいくつでも)

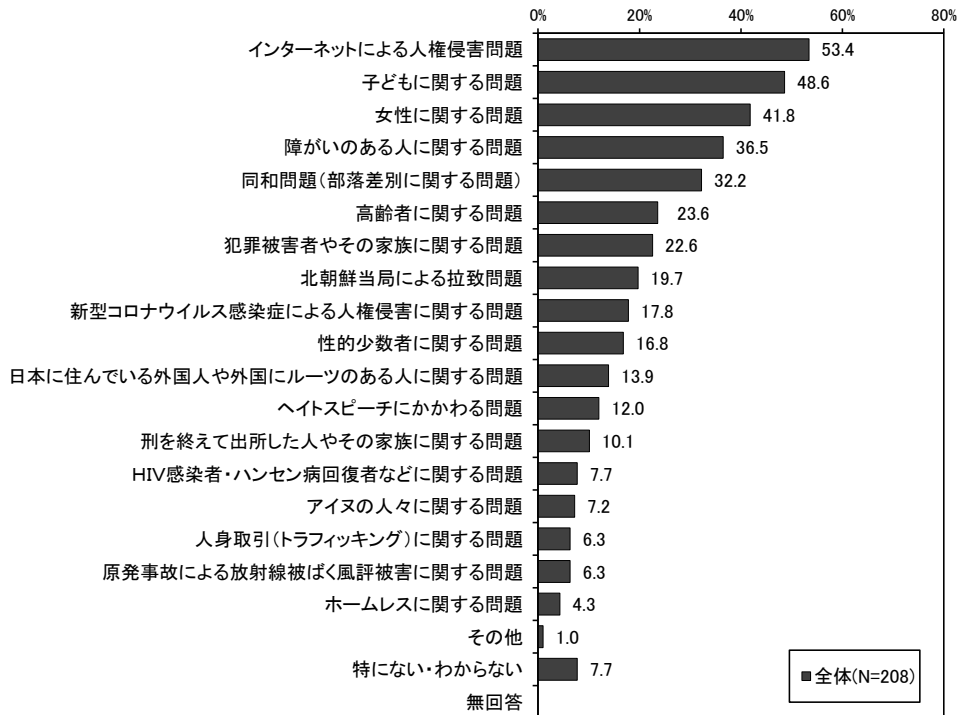
日本の人権に関する問題で関心があるものについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 2-2 及び表 2-1 のとおりである。

全体として、「インターネットによる人権侵害問題」が 53.4%で最も多く、次いで「子どもに関する問題」(48.6%)、「女性に関する問題」(41.8%)、「障がいのある人に関する問題」(36.5%)、「同和問題(部落差別に関する問題)」(32.2%)の順となっている。

性別にみると、男性では「インターネットによる人権侵害問題」が 50.4%で最も多く、次いで「子どもに関する問題」(43.3%)、「障がいのある人に関する問題」(35.5%)の順になっている。女性では、「子どもに関する問題」が 62.9%で最も多く、次いで「女性に関する問題」(61.3%)、「インターネットによる人権侵害問題」(59.7%)の順となっている。「女性に関する問題」は女性(61.3%)が、男性(34.8%)よりも 26.5ポイント上回っている。

年代別にみると、30代未満では「女性に関する問題」(54.5%)、30代では「インターネットによる人権侵害問題」(47.2%)、40代では「子どもに関する問題」(52.5%)、50代以上では「インターネットによる人権侵害問題」(63.5%)が最も多くなっている。

■ 図 2-2 日本の人権に関する問題で関心があるもの ■



■ 表 2-1 日本の人権に関する問題で関心があるもの ■

単位: %	サンプル数	インターネットによる人権侵害問題	子どもに関する問題	女性に関する問題	障がいのある人に関する問題	同和問題(部落差別に関する問題)	高齢者に関する問題	犯罪被害者やその家族に関する問題	北朝鮮当局による拉致問題	新型コロナウイルス感染症による人権侵害に関する問題	性的少数者に関する問題	日本に住んでいる外国人や外国にルーツのある人に関する問題	ヘイトスピーチにかかわる問題	刑を終えて出所した人やその家族に関する問題	HIV感染者・ハンセン病回復者などに関する問題	アイヌの人々に関する問題	人身取引(トラフィッキング)に関する問題	原発事故による放射線被ばく風評被害に関する問題	ホームレスに関する問題	その他	特にない・わからない	
全体	208	53.4	48.6	41.8	36.5	32.2	23.6	22.6	19.7	17.8	16.8	13.9	12.0	10.1	7.7	7.2	6.3	6.3	4.3	1.0	7.7	
性別	男性	141	50.4	43.3	34.8	35.5	33.3	19.1	22.7	19.9	17.0	12.1	13.5	10.6	7.1	5.7	6.4	5.0	3.5	1.4	9.9	
	女性	62	59.7	62.9	61.3	41.9	30.6	33.9	22.6	21.0	19.4	27.4	16.1	9.7	9.7	8.1	11.3	6.5	9.7	6.5	-	1.6
	その他・回答しない	5	60.0	20.0	-	-	20.0	20.0	20.0	-	20.0	20.0	-	-	-	20.0	-	-	-	-	-	20.0
年代別	30代未満	22	40.9	36.4	54.5	27.3	40.9	9.1	9.1	9.1	22.7	18.2	9.1	13.6	-	4.5	4.5	-	-	-	-	9.1
	30代	53	47.2	39.6	24.5	34.0	24.5	18.9	28.3	15.1	20.8	13.2	7.5	17.0	5.7	13.2	5.7	3.8	5.7	-	11.3	
	40代	59	50.8	52.5	37.3	37.3	23.7	16.9	11.9	6.8	16.9	10.2	11.9	8.5	6.8	1.7	-	5.1	3.4	3.4	1.7	8.5
	50代以上	74	63.5	55.4	54.1	40.5	41.9	36.5	31.1	36.5	14.9	18.9	17.6	17.6	10.8	14.9	9.5	9.5	12.2	5.4	1.4	4.1

(3) 人権課題に関連する法律や用語等の認知状況

問4 さまざまな人権課題に関連する法律や用語等について、どのような認識ですか。
(それぞれ〇はひとつ)

1 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律

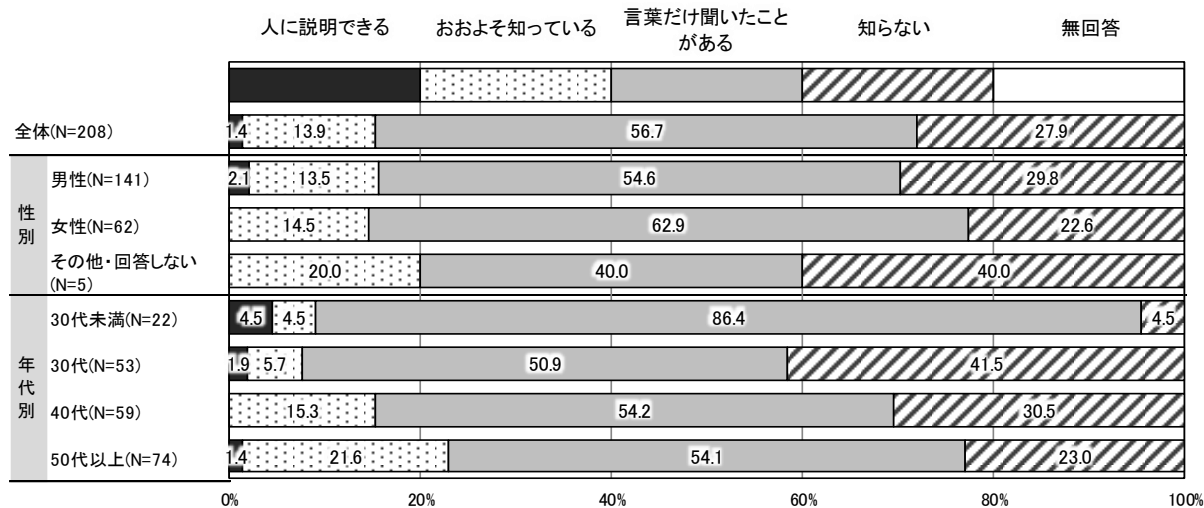
人権教育及び人権啓発の推進に関する法律の認知状況について、尋ねた結果をまとめると、図2-3のとおりである。

全体として、「言葉だけ聞いたことがある」が56.7%で最も多く、「おおよそ知っている」(13.9%)と「人に説明できる」(1.4%)を合わせた『知っている』としたものが15.3%となっている。一方、「知らない」が27.9%となっている。

性別にみると、男女いずれも「言葉だけ聞いたことがある」が最も多く、半数以上を占めている。また、「知らない」が男女ともに2割を超えている。

年代別にみると、いずれの年代においても、「言葉だけ聞いたことがある」が半数以上を占めており、特に30代未満は86.4%と非常に高い割合となっている。『知っている』の割合は、50代(23.0%)が最も多く、次いで40代(15.3%)、30代未満(9.0%)、30代(7.6%)となっており、30代以下よりも40代以上のほうが認識している。

■ 図2-3 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律 ■



2 部落差別の解消の推進に関する法律(部落差別解消推進法)

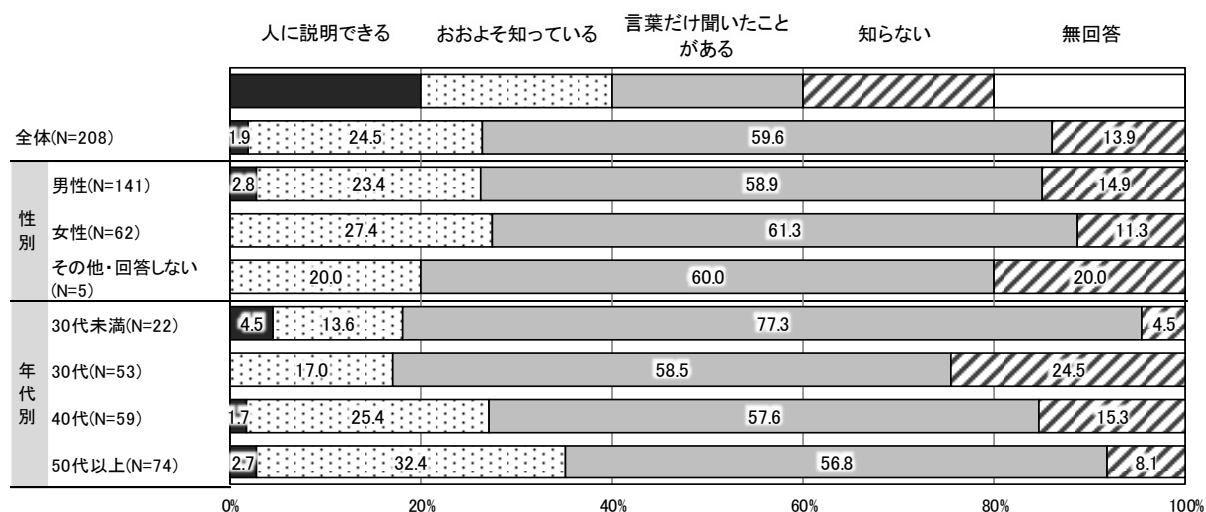
部落差別の解消の推進に関する法律（部落差別解消推進法）の認知状況について、尋ねた結果をまとめると、図 2-4 のとおりである。

全体として、「言葉だけ聞いたことがある」が 59.6%で最も多く、「おおよそ知っている」(24.5%)と「人に説明できる」(1.9%)を合わせた『知っている』としたものが 26.4%となっている。一方、「知らない」が 13.9%となっている。

性別にみると、男女いずれも「言葉だけ聞いたことがある」が最も多く、半数以上を占めている。

年代別にみると、いずれの年代においても、「言葉だけ聞いたことがある」が半数以上を占めており、特に 30 代未満は 77.3%と他の年代に比べて多くなっている。『知っている』の割合は、50 代以上が 35.1%で最も多く、次いで 40 代 (27.1%)、30 代未満 (18.1%)、30 代 (17.0%) の順となっており、30 代以下よりも 40 代以上のほうが認識している。

■ 図 2-4 部落差別の解消の推進に関する法律（部落差別解消推進法） ■



3 児童虐待の防止等に関する法律(児童虐待防止法)

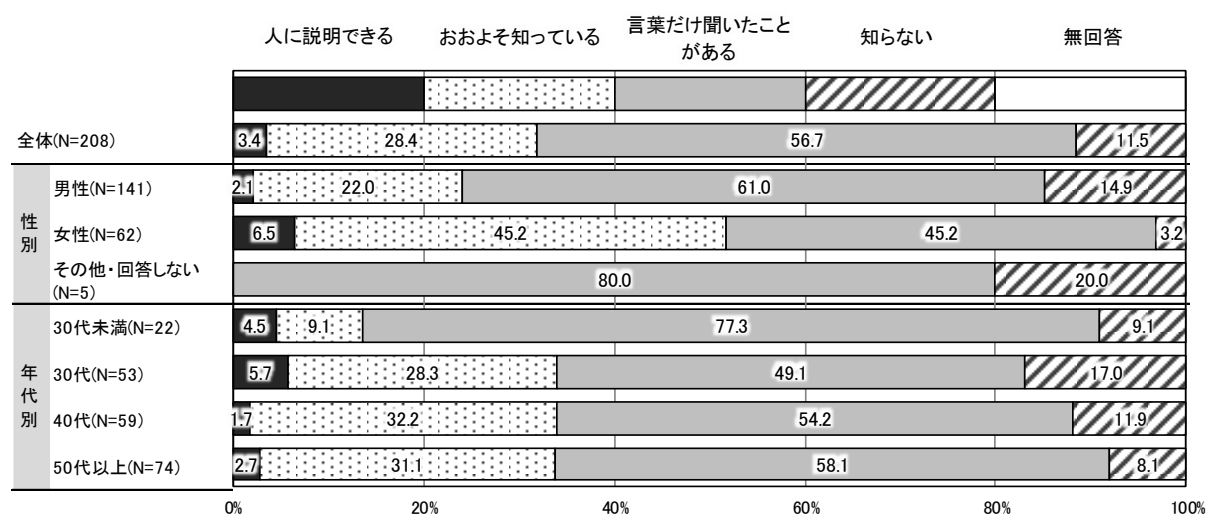
児童虐待の防止等に関する法律（児童虐待防止法）の認知状況について、尋ねた結果をまとめると、図 2-5 のとおりである。

全体として、「言葉だけ聞いたことがある」が 56.7%で最も多く、「おおよそ知っている」(28.4%)と「人に説明できる」(3.4%)を合わせた『知っている』としたものが 31.8%となっている。一方、「知らない」が 11.5%となっている。

性別にみると、男女いずれも「言葉だけ聞いたことがある」が最も多く、男性では 61.0%、女性では 45.2%となっている。

年代別にみると、いずれの年代においても、「言葉だけ聞いたことがある」が最も多くなっており、特に 30 代未満は 77.3%と他の年代に比べて多くなっている。『知っている』の割合は、30 代(34.0%)、40 代(33.9%)、50 代以上(33.8%)がそれぞれ 3 割以上となっている。一方、30 代未満(13.6%)は他の年代に比べると低い割合となっている。

■ 図 2-5 児童虐待の防止等に関する法律（児童虐待防止法） ■



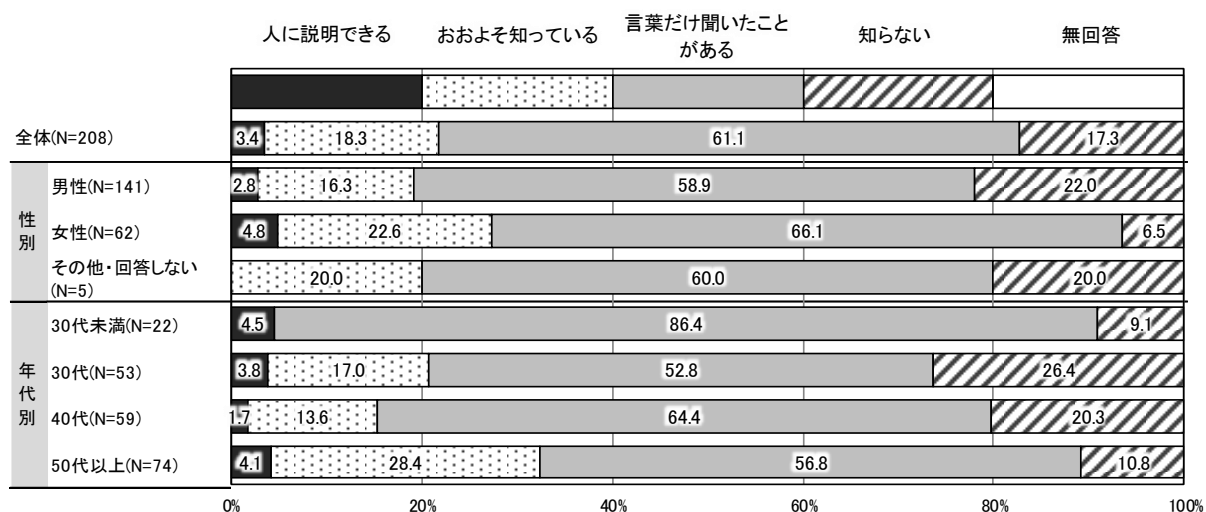
4 いじめ防止対策推進法

いじめ防止対策推進法の認知状況について、尋ねた結果をまとめると、図 2-6 のとおりである。全体として、「言葉だけ聞いたことがある」が 61.1%で最も多く、「おおよそ知っている」(18.3%)と「人に説明できる」(3.4%)を合わせた『知っている』としたものが 21.7%となっている。一方、「知らない」が 17.3%となっている。

性別にみると、男女いずれも「言葉だけ聞いたことがある」が半数以上を占めている。一方、「知らない」の割合については、男性(22.0%)が女性(6.5%)を 15.5 ポイント上回っている。

年代別にみると、いずれの年代においても、「言葉だけ聞いたことがある」が最も多くなっており、特に 30 代未満は 86.4%と他の年代に比べて多くなっている。『知っている』の割合は、50 代以上が 32.5%で最も高く、次いで 30 代(20.8%)、40 代(15.3%)、30 代未満(4.5%)の順となっている。

■ 図 2-6 いじめ防止対策推進法 ■



5 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律(高齢者虐待防止法)

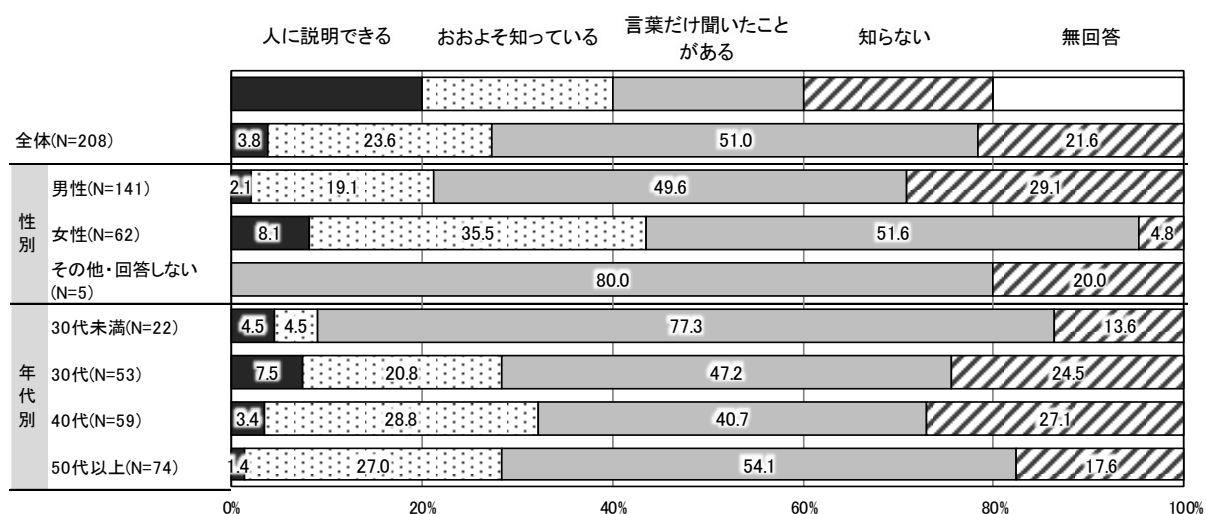
高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律（高齢者虐待防止法）の認知状況について、尋ねた結果をまとめると、図 2-7 のとおりである。

全体として、「言葉だけ聞いたことがある」が 51.0% で最も多く、「おおよそ知っている」(23.6%) と「人に説明できる」(3.8%) を合わせた『知っている』としたものが 27.4% となっている。一方、「知らない」が 21.6% となっている。

性別にみると、男女いずれも「言葉だけ聞いたことがある」が最も多くなっている。男性においては、「知らない」の割合(29.1%)が『知っている』の割合(21.2%)を上回っている。

年代別にみると、いずれの年代においても、「言葉だけ聞いたことがある」が最も多くなっており、特に 30 代未満は 77.3% と他の年代に比べて多くなっている。『知っている』の割合は、40 代が 32.2% で最も高く、次いで 50 代以上(28.4%)、30 代(28.3%)、30 代未満(9.0%)の順となっている。一方で「知らない」の割合については、40 代(27.1%)が最も多く、次いで 30 代(24.5%)、50 代以上(17.6%)、30 代未満(13.6%)の順となっている。

■ 図 2-7 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律（高齢者虐待防止法） ■



6 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)

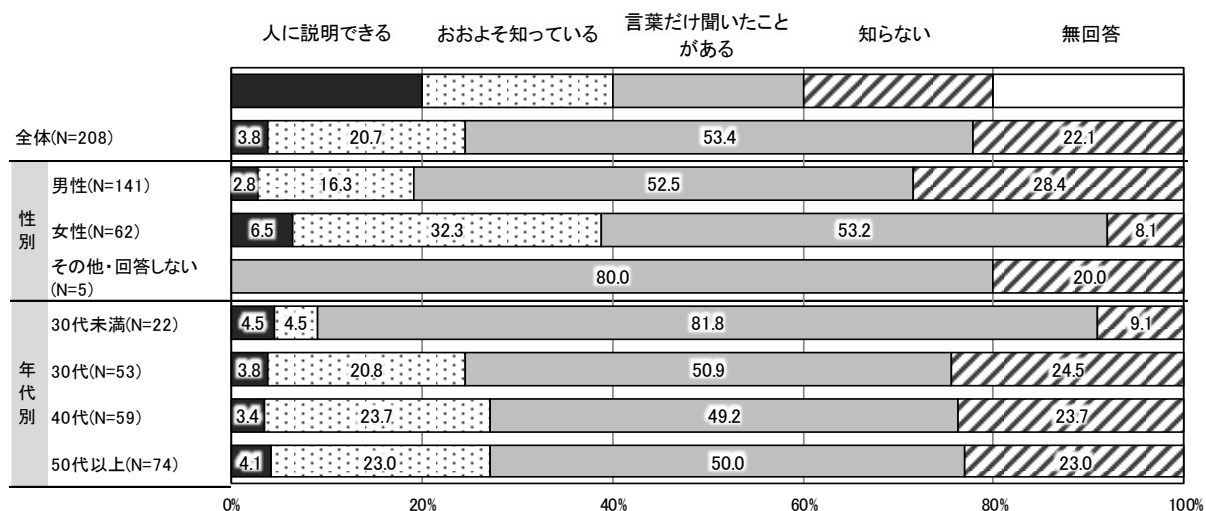
障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)の認知状況について、尋ねた結果をまとめると、図2-8のとおりである。

全体として、「言葉だけ聞いたことがある」が53.4%で最も多く、「おおよそ知っている」(20.7%)と「人に説明できる」(3.8%)を合わせた『知っている』としたものが24.5%となっている。一方、「知らない」が22.1%となっている。

性別にみると、男女いずれも「言葉だけ聞いたことがある」が半数以上を占めている。一方、「知らない」の割合については、男性(28.4%)が女性(8.1%)を20.3ポイント上回っている。

年代別にみると、いずれの年代においても、「言葉だけ聞いたことがある」が最も多くなっており、特に30代未満は81.8%と他の年代に比べて多くなっている。『知っている』の割合は、40代と50代以上がそれぞれ27.1%で最も高く、次いで30代(24.6%)、30代未満(9.0%)の順となっている。一方で「知らない」の割合については、30代(24.5%)が最も多く、次いで40代(23.7%)、50代以上(23.0%)、30代未満(9.1%)の順となっている。

■ 図2-8 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法) ■



7 本邦外出身者に対する不当な差別的発言の解消に向けた取組の推進に関する法律 (ヘイトスピーチ解消法)

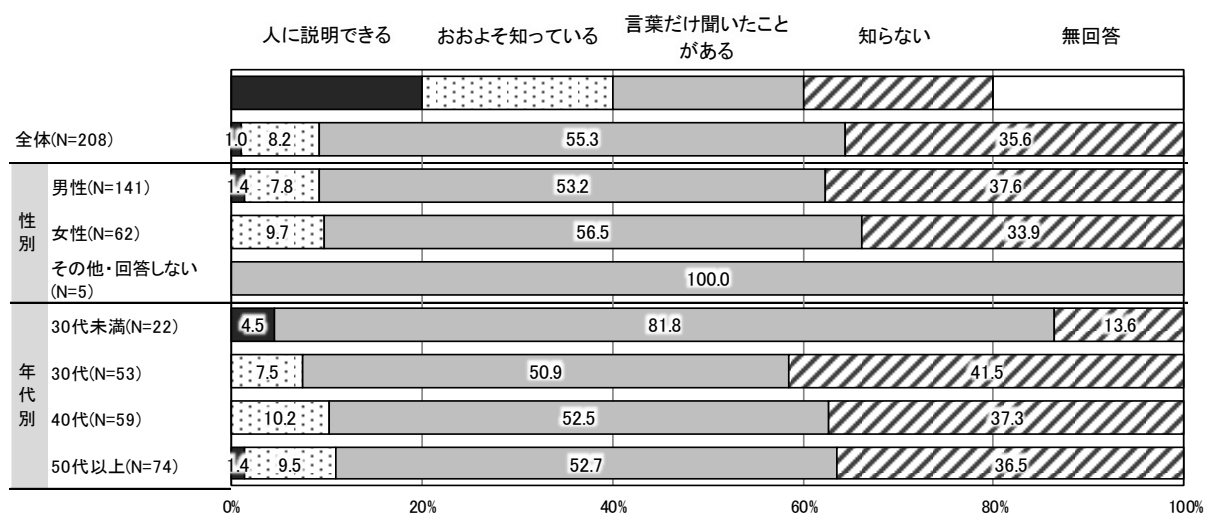
本邦外出身者に対する不当な差別的発言の解消に向けた取組の推進に関する法律（ヘイトスピーチ解消法）の認知状況について、尋ねた結果をまとめると、図 2-9 のとおりである。

全体として、「言葉だけ聞いたことがある」が 55.3%で最も多く、「おおよそ知っている」(8.2%)と「人に説明できる」(1.0%)を合わせた『知っている』としたものが 9.2%となっている。一方、「知らない」が 35.6%となっている。

性別にみると、男女いずれも「言葉だけ聞いたことがある」が半数以上を占めている。

年代別にみると、いずれの年代においても、「言葉だけ聞いたことがある」が最も多くなっており、特に 30 代未満は 81.8%と他の年代に比べて多くなっている。『知っている』の割合は、50 代以上が 10.9%で最も高く、次いで 40 代 (10.2%)、30 代 (7.5%)、30 代未満 (4.5%) の順となっている。一方で「知らない」の割合については、30 代 (41.5%) が最も多く、次いで 40 代 (37.3%)、50 代以上 (36.5%)、30 代未満 (13.6%) の順となっている。

■ 図 2-9 本邦外出身者に対する不当な差別的発言の解消に向けた取組の推進に関する法律（ヘイトスピーチ解消法） ■



8 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(DV防止法)

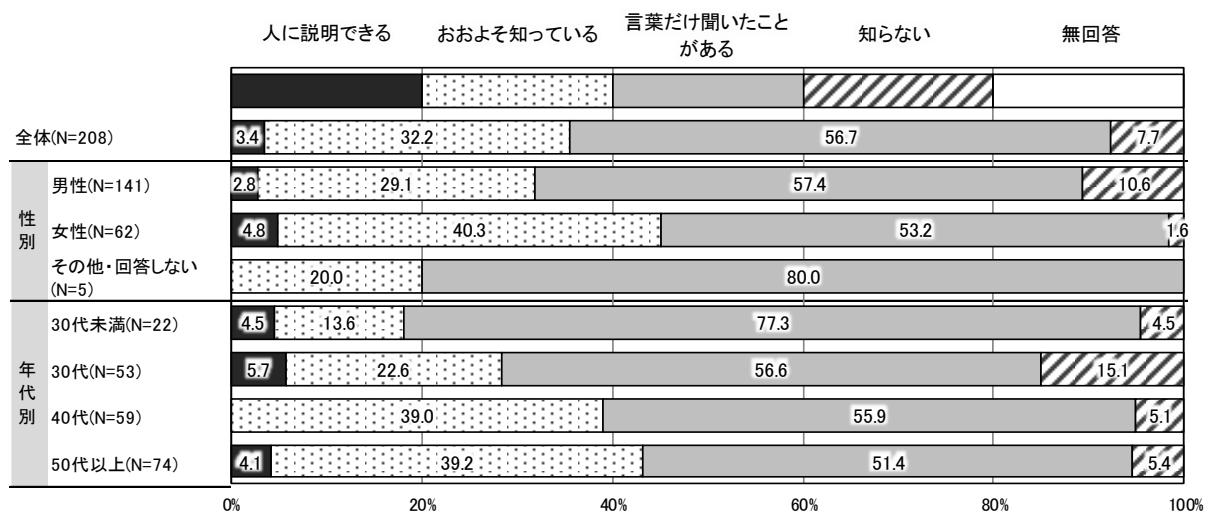
配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）の認知状況について、尋ねた結果をまとめると、図 2-10 のとおりである。

全体として、「言葉だけ聞いたことがある」が 56.7%で最も多く、「おおよそ知っている」(32.2%)と「人に説明できる」(3.4%)を合わせた『知っている』としたものが 35.6%となっている。一方、「知らない」が 7.7%となっている。

性別にみると、男女いずれも「言葉だけ聞いたことがある」が半数以上を占めている。

年代別にみると、いずれの年代においても、「言葉だけ聞いたことがある」が最も多くなっており、特に 30 代未満は 77.3%と他の年代に比べて多くなっている。『知っている』の割合は、50 代以上が 43.3%で最も高く、次いで 40 代 (39.0%)、30 代 (28.3%)、30 代未満 (18.1%) の順となっている。一方で「知らない」の割合については、30 代 (15.1%) が最も多く、次いで 50 代以上 (5.4%)、40 代 (5.1%)、30 代未満 (4.5%) の順となっている。

■ 図 2-10 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法） ■



9 性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律(性同一性障害特例法)

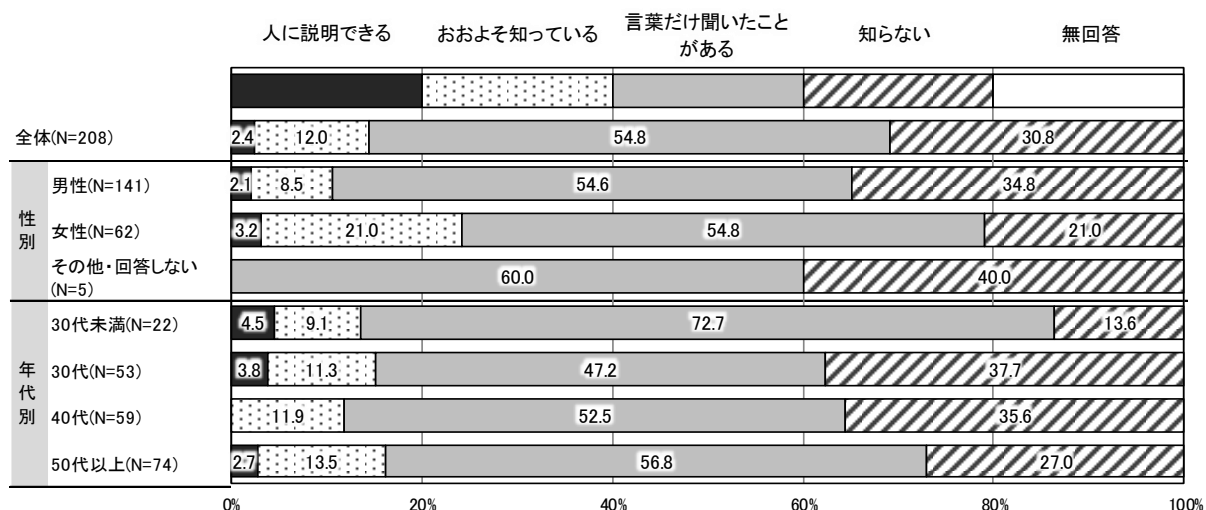
性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律(性同一性障害特例法)の認知状況について、尋ねた結果をまとめると、図 2-11 のとおりである。

全体として、「言葉だけ聞いたことがある」が 54.8%で最も多く、「おおよそ知っている」(12.0%)と「人に説明できる」(2.4%)を合わせた『知っている』としたものが 14.4%となっている。一方、「知らない」が 30.8%となっている。

性別にみると、男女いずれも「言葉だけ聞いたことがある」が半数以上を占めている。

年代別にみると、いずれの年代においても、「言葉だけ聞いたことがある」が最も多くなっている。『知っている』の割合は、50代以上が 16.2%で最も高く、次いで 30代(15.1%)、30代未満(13.6%)、40代(11.9%)の順となっている。一方で「知らない」の割合については、30代(37.7%)が最も多く、次いで 40代(35.6%)、50代以上(27.0%)、30代未満(13.6%)の順となっている。

■ 図 2-11 性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律(性同一性障害特例法) ■



10 事前登録型本人通知制度

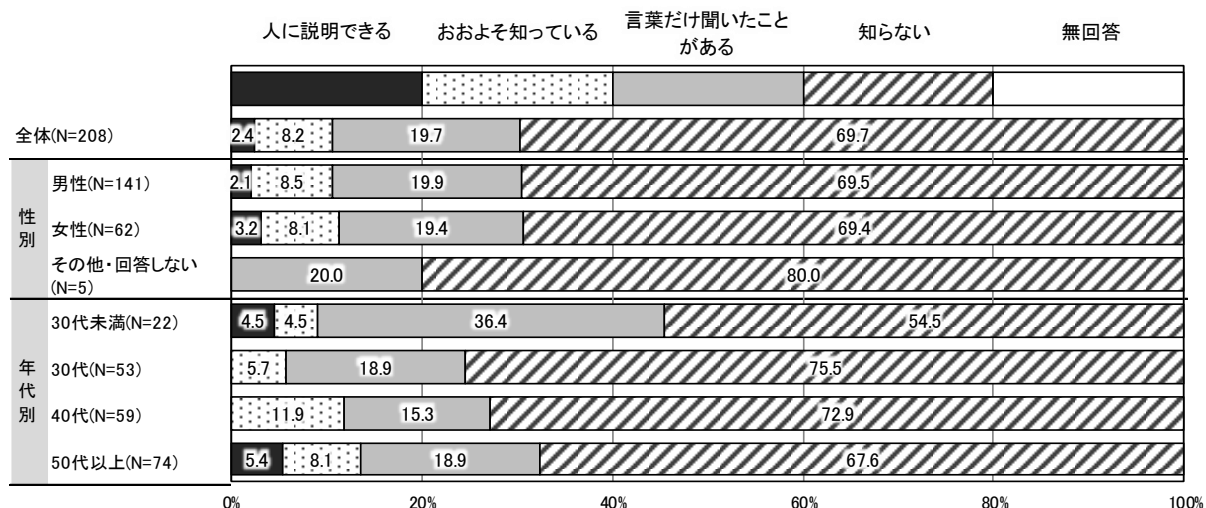
事前登録型本人通知制度の認知状況について、尋ねた結果をまとめると、図 2-12 のとおりである。

全体として、「知らない」が 69.7%で最も多く、「おおよそ知っている」(8.2%)と「人に説明できる」(2.4%)を合わせた『知っている』としたものが 10.6%となっている。「言葉だけ聞いたことがある」は 19.7%となっている。

性別にみると、男女いずれも「知らない」が6割以上を占めている。

年代別にみると、いずれの年代においても「知らない」が最も多くなっている。『知っている』の割合は、50代以上が 13.5%で最も高く、次いで 40代 (11.9%)、30代未満 (9.0%)、30代 (5.7%)の順となっている。一方で「知らない」の割合については、30代 (75.5%)が最も多く、次いで 40代 (72.9%)、50代以上 (67.6%)、30代未満 (54.5%)となっている。

■ 図 2-12 事前登録型本人通知制度 ■



(4)「差別」についての考え

問5 「差別」についてどのようにお考えですか。(それぞれ〇はひとつ)

1 どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理だ

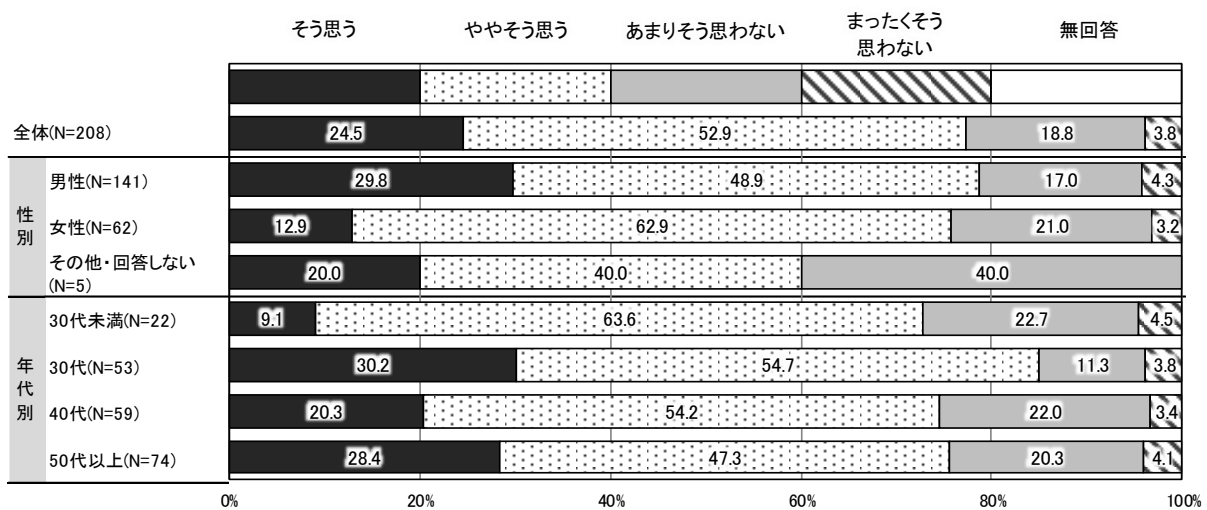
「どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理だ」と思うかについて、尋ねた結果をまとめると、図 2-13 のとおりである。

全体として、「ややそう思う」が 52.9%で最も多く、次いで「そう思う」(24.5%)、「あまりそう思わない」(18.8%)、「まったくそう思わない」(3.8%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「ややそう思う」が最も多くなっている。

年代別にみると、いずれの年代においても「ややそう思う」が最も多くなっている。

■図 2-13 どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理だ■



2 差別の原因には、差別される人の側にも問題があることも多い

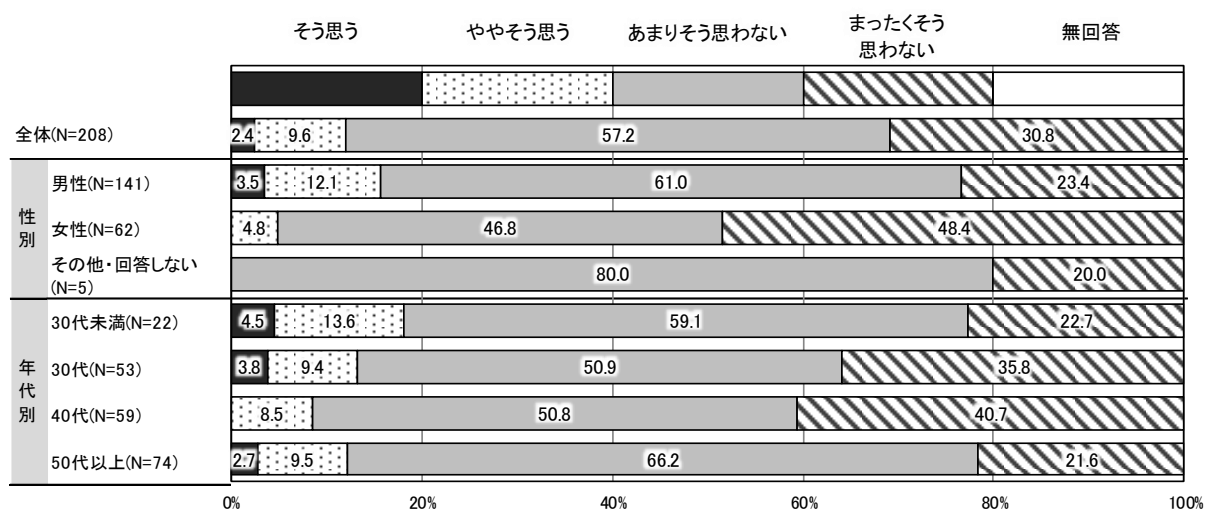
「差別の原因には、差別される人の側にも問題があることも多い」と思うかについて、尋ねた結果をまとめると、図 2-14 のとおりである。

全体として、「あまりそう思わない」が 57.2%と最も多く、次いで「まったくそう思わない」(30.8%)、「ややそう思う」(9.6%)、「そう思う」(2.4%) の順となっている。

性別にみると、男性は「あまりそう思わない」が 61.0%で最も多く、女性は「まったくそう思わない」が 48.4%で最も多くなっている。

年代別にみると、いずれの年代においても「あまりそう思わない」が半数以上を占めており、次いで「まったくそう思わない」、「ややそう思う」、「そう思う」の順となっている。

■ 図 2-14 差別の原因には、差別される人の側にも問題があることも多い ■



3 差別に対して抗議や反対をすることによって、かえって問題が解決しにくくなる

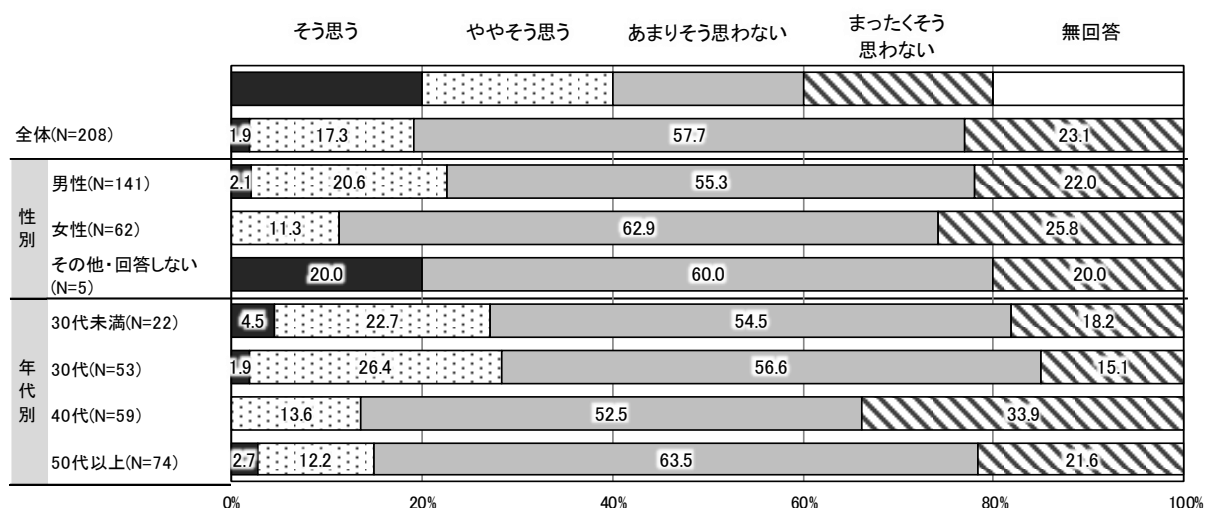
「差別に対して抗議や反対をすることによって、かえって問題が解決しにくくなる」と思うかについて、尋ねた結果をまとめると、図 2-15 のとおりである。

全体として、「あまりそう思わない」が 57.7% で最も多く、次いで「まったくそう思わない」(23.1%)、「ややそう思う」(17.3%)、「そう思う」(1.9%) の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「あまりそう思わない」が半数以上を占めている。

年代別にみると、いずれの年代においても「あまりそう思わない」が最も多くなっている。一方で、それに次いで 2 番目に多い回答を得た選択肢は、30 代未満と 30 代が「ややそう思う」、40 代と 50 代以上が「まったくそう思わない」と年代によって異なっている。

■ 図 2-15 差別に対して抗議や反対をすることによって、かえって問題が解決しにくくなる ■



4 差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である

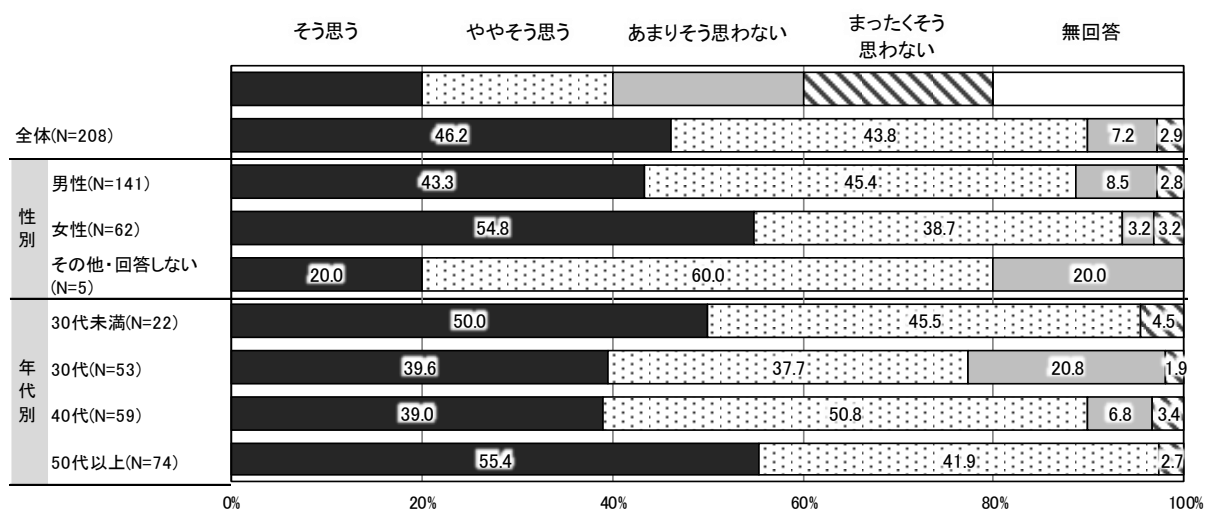
「差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である」と思うかについて、尋ねた結果をまとめると、図 2-16 のとおりである。

全体として、「そう思う」が 46.2%で最も多く、次いで「ややそう思う」(43.8%)、「あまりそう思わない」(7.2%)、「まったくそう思わない」(2.9%) の順となっている。

性別にみると、男性では「ややそう思う」(45.4%) が最も多く、女性では「そう思う」(54.8%) が最も多くなっている。

年代別にみると、30代未満では「そう思う」が 50.0%で最も多く、次いで「ややそう思う」(45.5%)、「まったくそう思わない」(4.5%) の順となっている。30代では「そう思う」が 39.6%で最も多く、次いで「ややそう思う」(37.7%)、「あまりそう思わない」(20.8%)、「まったくそう思わない」(1.9%) の順となっている。40代では「ややそう思う」が 50.8%で最も多く、次いで「そう思う」(39.0%)、「あまりそう思わない」(6.8%)、「まったくそう思わない」(3.4%) の順となっている。50代以上では「そう思う」が 55.4%で最も多く、次いで「ややそう思う」(41.9%)、「まったくそう思わない」(2.7%) の順となっている。

■ 図 2-16 差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である ■



5 差別を受けてきた人に対しては、行政の支援が必要である

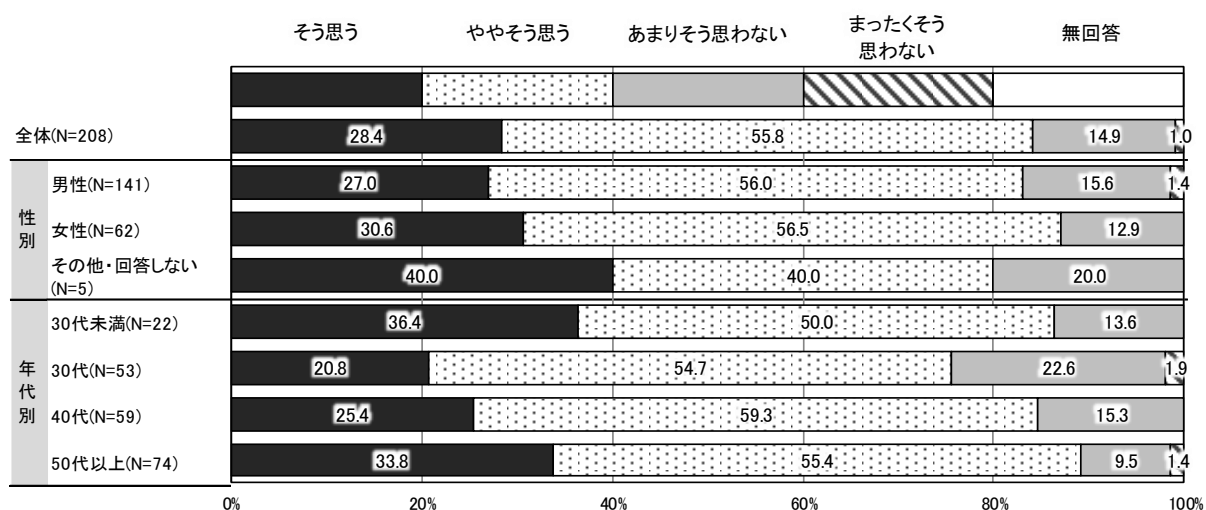
「差別を受けてきた人に対しては、行政の支援が必要である」と思うかについて、尋ねた結果をまとめると、図 2-17 のとおりである。

全体として、「ややそう思う」が 55.8%で最も多く、次いで「そう思う」(28.4%)、「あまりそう思わない」(14.9%)、「まったくそう思わない」(1.0%) の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「ややそう思う」が半数以上を占めている。

年代別にみると、いずれの年代においても「ややそう思う」が半数以上を占めている。30代未満と40代と50代以上においては、2番目に多かった回答は「そう思う」となっているが、30代については、「あまりそう思わない」(22.6%)が2番目に多く、次いで「そう思う」(20.8%)の順となっている。

■ 図 2-17 差別を受けてきた人に対しては、行政の支援が必要である ■



2 同和問題について

(1) 同和問題に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

問6 同和問題に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。(〇はいくつでも)

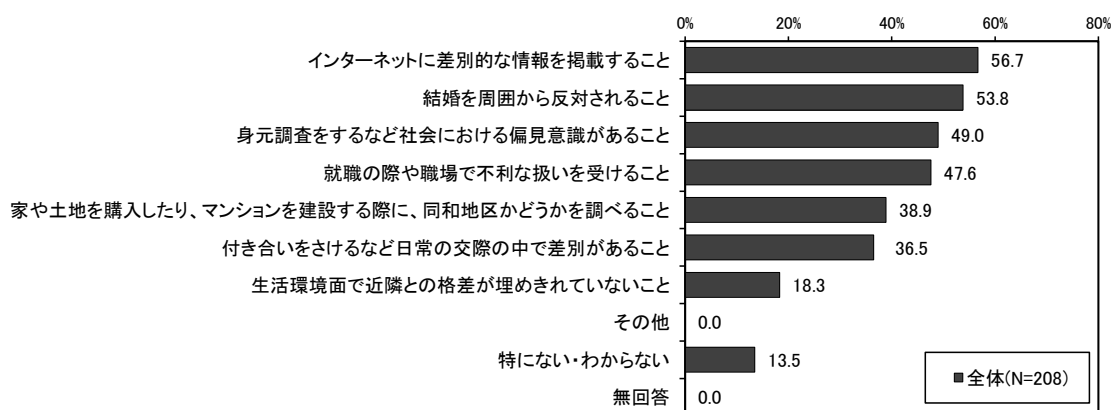
同和問題に関して現在どのような人権上の問題があると思うかについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 2-18 及び表 2-2 のとおりである。

全体として、「インターネットに差別的な情報を掲載すること」が 56.7%で最も多く、次いで「結婚を周囲から反対されること」(53.8%)、「身元調査をするなど社会における偏見意識があること」(49.0%)、「就職の際や職場で不利な扱いを受けること」(47.6%)の順となっている。「特にない・わからない」は 13.5%となっている。

性別にみると、男性では「インターネットに差別的な情報を掲載すること」が 57.4%で最も多く、次いで「結婚を周囲から反対されること」(53.9%)となっている。女性では「身元調査をするなど社会における偏見意識があること」と「就職の際や職場で不利な扱いを受けること」がともに 59.7%と最も多く、次いで「結婚を周囲から反対されること」と「インターネットに差別的な情報を掲載すること」(各 56.5%)となっている。

年代別にみると、すべての年代で「インターネットに差別的な情報を掲載すること」が半数以上となっている。また、「結婚を周囲から反対されること」についても、すべての年代で 49.0%以上となっている。

■ 図 2-18 同和問題に関して現在どのような人権上の問題があると思うか ■



■表 2-2 同和問題に関して現在どのような人権上の問題があると思うか■

単位：%		サンプル数	インターネットに掲載すること	結婚を周囲から反対されること	身元調査をするなど社会における偏見意識があること	就職の際や職場で不利な扱いを受けること	同和地区かどうかを調べる	家や土地を購入したり、マンションを建設する際に、マ	付き合いをさけるなど日常生活環境面で近隣との格差が埋めきれないこと	その他	特にない・わからない
全体		208	56.7	53.8	49.0	47.6	38.9	36.5	18.3	-	13.5
性別	男性	141	57.4	53.9	44.7	42.6	38.3	34.0	14.9	-	15.6
	女性	62	56.5	56.5	59.7	59.7	40.3	43.5	25.8	-	6.5
	その他・回答しない	5	40.0	20.0	40.0	40.0	40.0	20.0	20.0	-	40.0
年代別	30代未満	22	54.5	50.0	27.3	36.4	31.8	31.8	18.2	-	9.1
	30代	53	50.9	49.1	39.6	41.5	37.7	34.0	9.4	-	17.0
	40代	59	61.0	61.0	54.2	57.6	40.7	40.7	27.1	-	10.2
	50代以上	74	58.1	52.7	58.1	47.3	40.5	36.5	17.6	-	14.9

(2) 同和問題の解決をはかるために必要なこと

問7 同和問題の解決をはかるために必要なことは何だと思えますか。(〇はいくつでも)

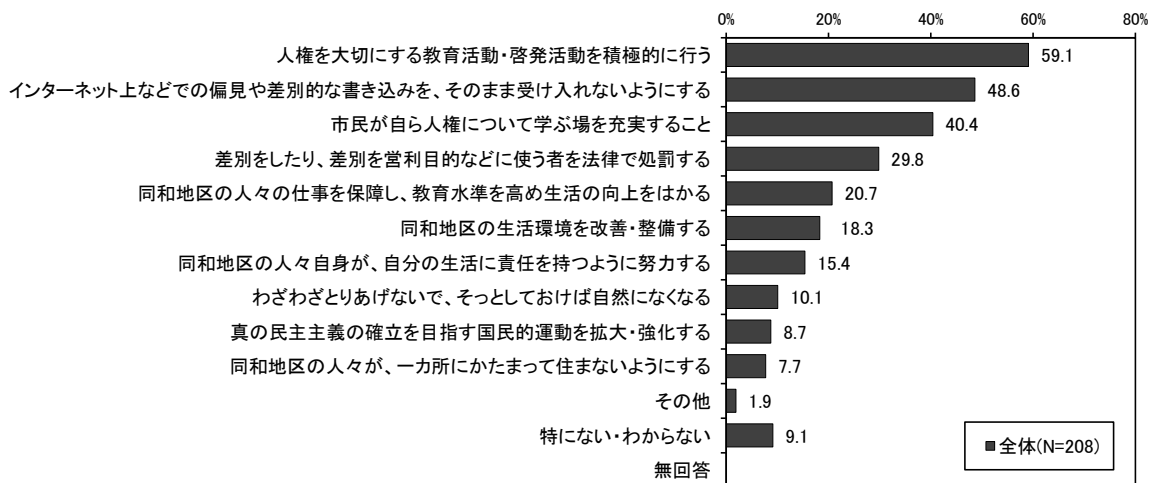
同和問題の解決をはかるために必要なことは何だと思うかについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図2-19及び表2-3のとおりである。

全体として、「人権を大切にせる教育活動・啓発活動を積極的に行う」が59.1%と最も多く、次いで「インターネット上などでの偏見や差別的な書き込みを、そのまま受け入れないようにする」(48.6%)、「市民が自ら人権について学ぶ場を充実すること」(40.4%)の順となっている。「特にない・わからない」は9.1%となっている。

性別にみると、男女いずれも「人権を大切にせる教育活動・啓発活動を積極的に行う」が半数以上で最も多くなっており、特に女性は72.6%となっている。「特にない・わからない」については、男性は11.3%、女性は3.2%となっている。

年代別にみると、30代未満と40代と50代以上では「人権を大切にせる教育活動・啓発活動を積極的に行う」が半数以上となっている。また、30代未満は「インターネット上などでの偏見や差別的な書き込みを、そのまま受け入れないようにする」が59.1%で他の年代に比べて最も多くなっている。

■図2-19 同和問題の解決をはかるために必要なこと■



■表2-3 同和問題の解決をはかるために必要なこと■

単位: %	サンプル数	必要なこと												
		人権を大切にせる教育活動・啓発活動を積極的に行う	インターネット上などでの偏見や差別的な書き込みを、そのまま受け入れないようにする	市民が自ら人権について学ぶ場を充実すること	差別をしたり、差別を営利目的などに使う者を法律で処罰する	同和地区の人々の仕事を保障し、教育水準を高め生活の向上をはかる	同和地区の生活環境を改善・整備する	同和地区の人々自身が、自分の生活に責任を持つように努力する	わざわざとりあげないで、そっとしておけば自然になくなる	真の民主主義の確立を目指す国民的運動を拡大・強化する	同和地区の人々が、一カ所にかたまって住まないようにする	その他	特にない・わからない	
全体	208	59.1	48.6	40.4	29.8	20.7	18.3	15.4	10.1	8.7	7.7	1.9	9.1	
性別	男性	141	54.6	49.6	36.9	29.8	18.4	15.6	15.6	11.3	9.9	9.9	2.1	11.3
	女性	62	72.6	45.2	48.4	30.6	27.4	24.2	14.5	6.5	4.8	1.6	1.6	3.2
	その他・回答しない	5	20.0	60.0	40.0	20.0	-	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	20.0
年代別	30代未満	22	59.1	59.1	40.9	36.4	9.1	18.2	13.6	9.1	9.1	-	-	13.6
	30代	53	41.5	45.3	30.2	26.4	13.2	11.3	9.4	18.9	5.7	9.4	-	15.1
	40代	59	62.7	49.2	35.6	28.8	25.4	18.6	18.6	10.2	13.6	10.2	1.7	6.8
	50代以上	74	68.9	47.3	51.4	31.1	25.7	23.0	17.6	4.1	6.8	6.8	4.1	5.4

3 女性の人権について

(1) 女性に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

問8 女性に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。(〇はいくつでも)

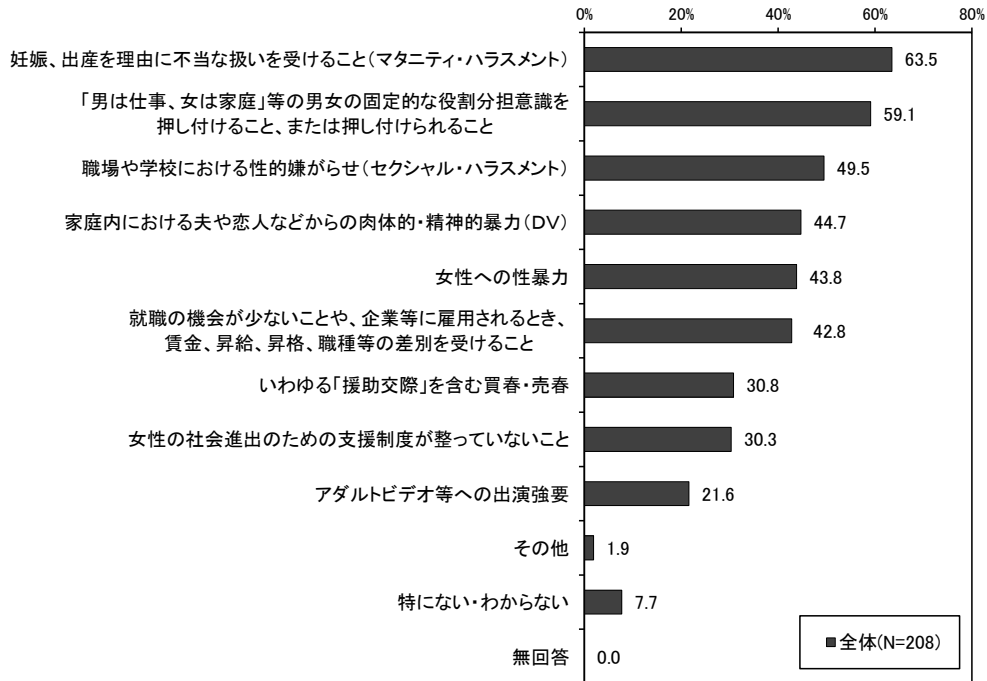
女性に関して現在どのような人権上の問題があると思うかについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図2-20及び表2-4のとおりである。

全体として、「妊娠、出産を理由に不当な扱いを受けること(マタニティ・ハラスメント)」が63.5%と最も多く、次いで「男は仕事、女は家庭」等の男女の固定的な役割分担意識を押し付けること、または押し付けられること(59.1%)、「職場や学校における性的嫌がらせ(セクシュアル・ハラスメント)」(49.5%)の順となっている。「特にない・わからない」は7.7%となっている。

性別にみると、男性では「妊娠、出産を理由に不当な扱いを受けること(マタニティ・ハラスメント)」が62.4%で最も多く、女性では「男は仕事、女は家庭」等の男女の固定的な役割分担意識を押し付けること、または押し付けられること」が67.7%と最も多くなっている。女性については「妊娠、出産を理由に不当な扱いを受けること(マタニティ・ハラスメント)」(66.1%)が次いで多くなっている。

年代別にみると、いずれの年代においても「妊娠、出産を理由に不当な扱いを受けること(マタニティ・ハラスメント)」が最も多く、半数以上を占めている。

■ 図 2-20 女性に関して現在どのような人権上の問題があると思うか ■



■ 表 2-4 女性に関して現在どのような人権上の問題があると思うか ■

	サンプル数	妊娠、出産を理由に不当な扱いを受けること(マタニティ・ハラスメント)	「男は仕事、女は家庭」等の男女の固定的な役割分担意識を押し付けること、または押し付けられること	職場や学校における性的嫌がらせ(セクシャル・ハラスメント)	家庭内における夫や恋人などからの肉体的・精神的暴力(DV)	女性への性暴力	就職の機会が少ないことや、賃金、昇給、昇格、職種等の差別を受けること	いわゆる「援助交際」を含む買春・売春	女性の社会進出のための支援制度が整っていないこと	アダルトビデオ等への出演強要	その他	特にない・わからない
全体	208	63.5	59.1	49.5	44.7	43.8	42.8	30.8	30.3	21.6	1.9	7.7
性別												
男性	141	62.4	55.3	48.9	39.7	40.4	41.1	29.1	26.2	20.6	2.1	9.2
女性	62	66.1	67.7	51.6	56.5	51.6	46.8	30.6	38.7	22.6	1.6	3.2
その他・回答しない	5	60.0	60.0	40.0	40.0	40.0	40.0	80.0	40.0	40.0	-	20.0
年代別												
30代未満	22	59.1	54.5	40.9	27.3	31.8	36.4	27.3	31.8	4.5	4.5	9.1
30代	53	62.3	54.7	54.7	35.8	47.2	30.2	28.3	20.8	24.5	1.9	7.5
40代	59	64.4	62.7	54.2	54.2	39.0	33.9	28.8	28.8	22.0	1.7	10.2
50代以上	74	64.9	60.8	44.6	48.6	48.6	60.8	35.1	37.8	24.3	1.4	5.4

単位: %

(2) 女性の人権を守るために必要なこと

問9 女性の人権を守るために必要なことは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

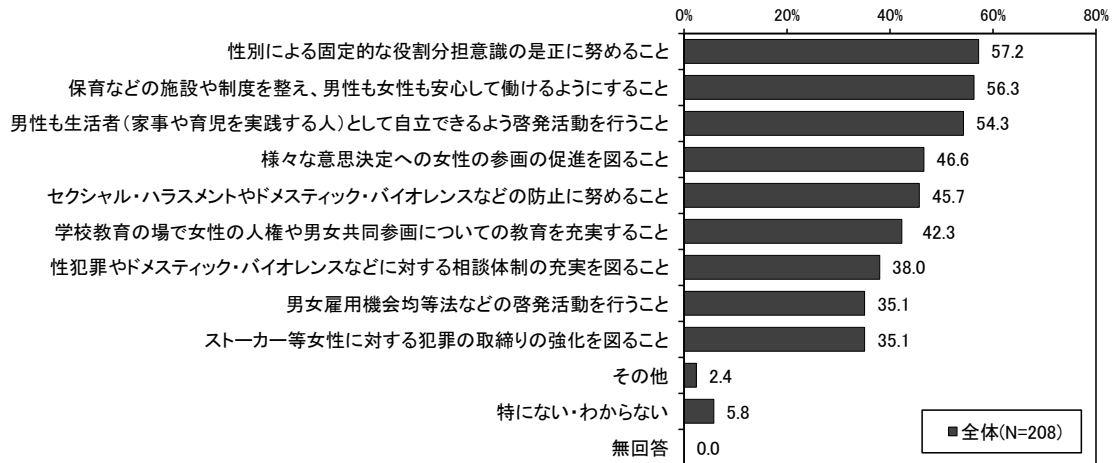
女性の人権を守るために必要なことについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 2-21 及び表 2-5 のとおりである。

全体として、「性別による固定的な役割分担意識の是正に努めること」が 57.2%で最も多く、次いで「保育などの施設や制度を整え、男性も女性も安心して働けるようにすること」(56.3%)、「男性も生活者(家事や育児を実践する人)として自立できるよう啓発活動を行うこと」(54.3%)の順となっている。「特にない・わからない」は 5.8%となっている。

性別にみると、男性では「性別による固定的な役割分担意識の是正に努めること」が 58.2%で最も多く、女性では「男性も生活者(家事や育児を実践する人)として自立できるよう啓発活動を行うこと」が 71.0%で最も多くなっている。

年代別にみると、いずれの年代においても「保育などの施設や制度を整え、男性も女性も安心して働けるようにすること」は半数以上となっている。30代未満は「男女雇用機会均等法などの啓発活動を行うこと」と「保育などの施設や制度を整え、男性も女性も安心して働けるようにすること」がともに 54.5%と最も多く、30代でも最も多くなっている(60.4%)。40代は「男性も生活者(家事や育児を実践する人)として自立できるよう啓発活動を行うこと」が 66.1%で最も多くなっている。50代以上は「性別による固定的な役割分担意識の是正に努めること」が 67.6%で最も多くなっている。

■ 図 2-21 女性の人権を守るために必要なこと ■



■ 表 2-5 女性の人権を守るために必要なこと ■

単位:%	サンプル数	性別による固定的な役割分担意識の是正に努めること	保育などの施設や制度を整え、男性も女性も安心して働けるようにすること	男性も生活者(家事や育児を实践する人)として自立できるような啓発活動を行うこと	様々な意思決定への女性の参画の促進を図ること	セクシャル・ハラスメントやドメスティック・バイオレンスなどの防止に努めること	男女共同参画についての人権教育や啓発活動を行うこと	学校教育の場で女性の人権や男女共同参画についての教育を充実すること	性犯罪やドメスティック・バイオレンスなどに対する相談体制の充実を図ること	男女雇用機会均等法などの啓発活動を行うこと	ストーカー等女性に対する犯罪の取締りの強化を図ること	その他	特にない・わからない
全体	208	57.2	56.3	54.3	46.6	45.7	42.3	38.0	35.1	35.1	2.4	5.8	
性別													
男性	141	58.2	53.9	46.1	46.8	45.4	37.6	38.3	36.2	34.0	3.5	7.1	
女性	62	56.5	61.3	71.0	45.2	48.4	53.2	37.1	33.9	38.7	-	1.6	
その他・回答しない	5	40.0	60.0	80.0	60.0	20.0	40.0	40.0	20.0	20.0	-	20.0	
年代別													
30代未満	22	40.9	54.5	50.0	36.4	40.9	36.4	36.4	54.5	27.3	-	9.1	
30代	53	52.8	60.4	52.8	35.8	43.4	35.8	35.8	26.4	32.1	1.9	5.7	
40代	59	54.2	61.0	66.1	45.8	54.2	49.2	45.8	28.8	37.3	1.7	6.8	
50代以上	74	67.6	50.0	47.3	58.1	41.9	43.2	33.8	40.5	37.8	4.1	4.1	

4 子どもの人権について

(1) 子どもに関して現在どのような人権上の問題があると思うか

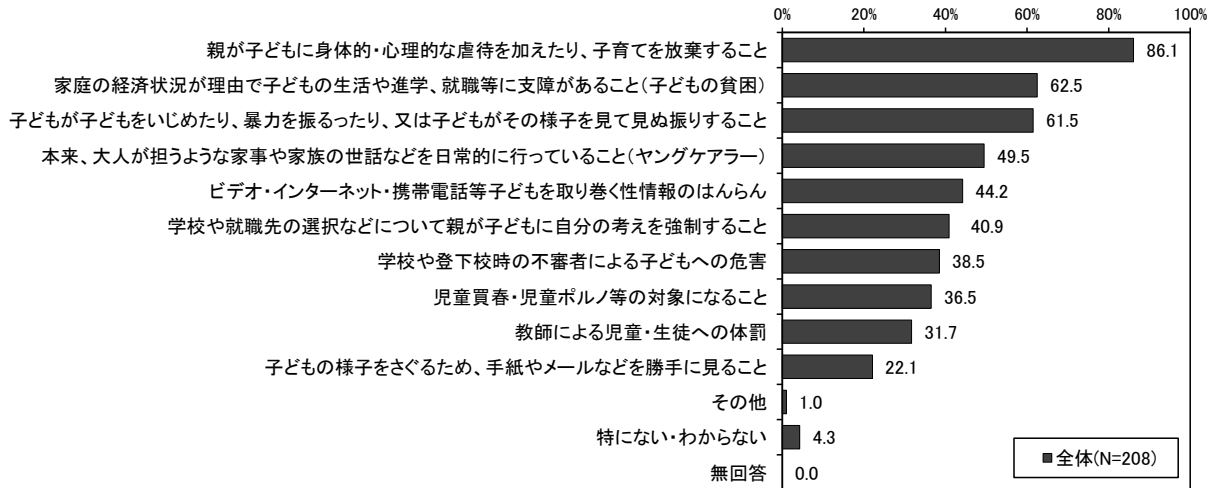
問 10 子どもに関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。(〇はいくつでも)

子どもに関して現在どのような人権上の問題があると思うかについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 2-22 及び表 2-6 のとおりである。

全体として、「親が子どもに身体的・心理的な虐待を加えたり、子育てを放棄すること」が 86.1% で最も多く、次いで「家庭の経済状況が理由で子どもの生活や進学、就職等に支障があること（子どもの貧困）」(62.5%)、「子どもが子どもをいじめたり、暴力を振るったり、又は子どもがその様子を見て見ぬ振りすること」(61.5%) の順となっている。「特にない・わからない」は 4.3% となっている。

性別にみると、男女いずれも「親が子どもに身体的・心理的な虐待を加えたり、子育てを放棄すること」が最も多くなっている。女性は「その他」以外ではすべての選択肢において、男性の回答率を上回っている。特に、女性は「子どもが子どもをいじめたり、暴力を振るったり、又は子どもがその様子を見て見ぬ振りすること」において、男性よりも 20.5 ポイント上回っている。

■図 2-22 子どもに関して現在どのような人権上の問題があると思うか■



■表 2-6 子どもに関して現在どのような人権上の問題があると思うか■

単位:%	サンプル数	問題の種類												
		親が子どもに身体的・心理的な虐待を加えたり、子育てを放棄すること	家庭の経済状況が理由で子どもの生活や進学、就職等に支障があること(子どもの貧困)	子どもが子どもをいじめたり、暴力を振るったり、又は子どもがその様子を見て見ぬ振りすること	本来、大人が担うような家事や家族の世話などを日常的に行っていること(ヤングケアラー)	ビデオ・インターネット・携帯電話等子どもを取り巻く性情報のはんらん	学校や就職先の選択などについて親が子どもに自分の考えを強制すること	学校や登下校時の不審者による子どもへの危害	児童買春・児童ポルノ等の対象になること	教師による児童・生徒への体罰	子どもの様子をさぐるため、手紙やメールなどを勝手に見ること	その他	特にない・わからない	
全体	208	86.1	62.5	61.5	49.5	44.2	40.9	38.5	36.5	31.7	22.1	1.0	4.3	
性別	男性	141	83.7	61.0	55.3	44.7	40.4	39.0	35.5	34.8	28.4	22.0	1.4	3.5
	女性	62	91.9	66.1	75.8	61.3	51.6	45.2	45.2	38.7	38.7	22.6	-	4.8
	その他・回答しない	5	80.0	60.0	60.0	40.0	60.0	40.0	40.0	60.0	40.0	20.0	-	20.0
年代別	30代未満	22	81.8	54.5	63.6	40.9	31.8	27.3	45.5	27.3	27.3	22.7	-	9.1
	30代	53	84.9	52.8	58.5	49.1	43.4	58.5	43.4	32.1	30.2	26.4	1.9	3.8
	40代	59	83.1	66.1	69.5	55.9	44.1	40.7	42.4	44.1	35.6	28.8	1.7	6.8
	50代以上	74	90.5	68.9	56.8	47.3	48.6	32.4	29.7	36.5	31.1	13.5	-	1.4

(2) 子どもの人権を守るために必要なこと

問 11 子どもの人権を守るために必要なことは何だと思えますか。(〇はいくつでも)

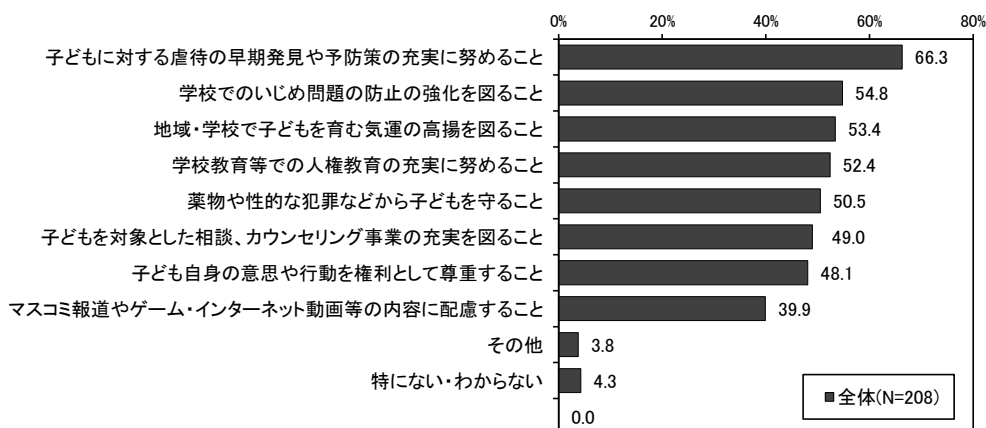
子どもの人権を守るために必要なことは何だと思うかについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 2-23 及び表 2-7 のとおりである。

全体として、「子どもに対する虐待の早期発見や予防策の充実に努めること」が 66.3%で最も多く、次いで「学校でのいじめ問題の防止の強化を図ること」(54.8%)、「地域・学校で子どもを育む気運の高揚を図ること」(53.4%)の順となっている。「特にない・わからない」は 4.3%となっている。

性別にみると、男性は「子どもに対する虐待の早期発見や予防策の充実に努めること」が 66.7%で最も多くなっている。女性は「学校教育等での人権教育の充実に努めること」が 69.4%で最も多くなっている。女性は「マスコミ報道やゲームソフト・インターネット動画等の内容に配慮すること」において、男性よりも 33.1ポイント上回っている。

年代別にみると、いずれの年代においても「子どもに対する虐待の早期発見や予防策の充実に努めること」が最も多くなっている。30代未満では「学校でのいじめ問題の防止の強化を図ること」(63.6%)もともに最も多くなっている。

■ 図 2-23 子どもの人権を守るために必要なこと ■



■ 表 2-7 子どもの人権を守るために必要なこと ■

単位: %	サンプル数	子どもの虐待の早期発見や予防策の充実に努めること	学校でのいじめ問題の防止の強化を図ること	地域・学校で子どもを育む気運の高揚を図ること	学校教育等での人権教育の充実に努めること	薬物や性的な犯罪などから子どもを守ること	子どもを対象とした相談、カウンセリング事業の充実に努めること	子ども自身の意思や行動を権利として尊重すること	マスコミ報道やゲームソフト等の内容に配慮すること	その他	特にない・わからない	
		全体	208	66.3	54.8	53.4	52.4	50.5	49.0	48.1	39.9	3.8
性別	男性	141	66.7	53.9	52.5	45.4	50.4	46.1	44.0	29.8	3.5	4.3
	女性	62	67.7	58.1	54.8	69.4	51.6	56.5	59.7	62.9	1.6	3.2
	その他・回答しない	5	40.0	40.0	60.0	40.0	40.0	40.0	20.0	40.0	40.0	20.0
年代別	30代未満	22	63.6	63.6	40.9	54.5	54.5	59.1	50.0	50.0	-	9.1
	30代	53	64.2	54.7	52.8	43.4	41.5	49.1	52.8	26.4	7.5	5.7
	40代	59	64.4	61.0	55.9	52.5	55.9	52.5	54.2	40.7	5.1	3.4
	50代以上	74	70.3	47.3	55.4	58.1	51.4	43.2	39.2	45.9	1.4	2.7

5 高齢者の人権について

(1) 高齢者に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

問 12 高齢者に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。(〇はいくつでも)

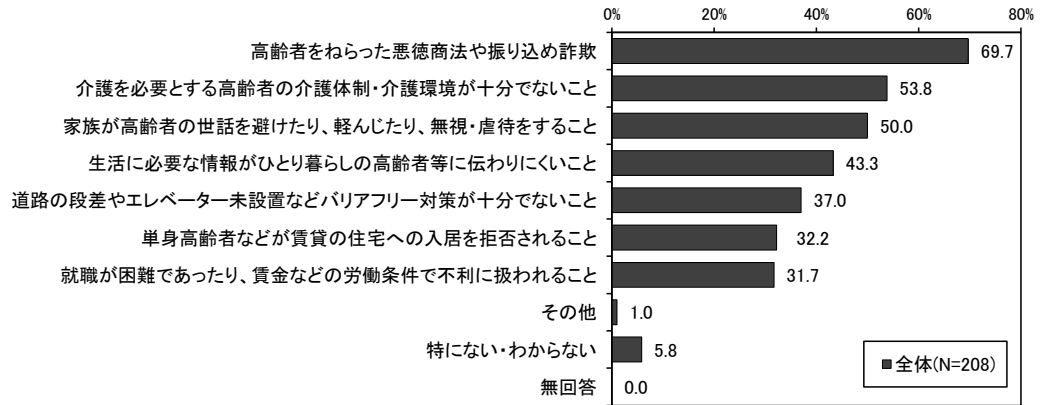
高齢者に関して現在どのような人権上の問題があると思うかについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 2-24 及び表 2-8 のとおりである。

全体として、「高齢者をねらった悪徳商法や振り込め詐欺」が 69.7%で最も多く、次いで「介護を必要とする高齢者の介護体制・介護環境が十分でないこと」(53.8%)、「家族が高齢者の世話を避けたり、軽んじたり、無視・虐待をすること」(50.0%)の順となっている。「特にない・わからない」は 5.8%となっている。

性別にみると、男女いずれも「高齢者をねらった悪徳商法や振り込め詐欺」が最も多くなっている。女性は「家族が高齢者の世話を避けたり、軽んじたり、無視・虐待をすること」において、男性よりも 15.9 ポイント上回っている。

年代別にみると、いずれの年代においても「高齢者をねらった悪徳商法や振り込め詐欺」が6割以上となっている。30代未満では「介護を必要とする高齢者の介護体制・介護環境が十分でないこと」が 72.7%で最も多く、30代・40代・50代以上では「高齢者をねらった悪徳商法や振り込め詐欺」が最も多くなっている。

■ 図 2-24 高齢者に関して現在どのような人権上の問題があると思うか ■



■ 表 2-8 高齢者に関して現在どのような人権上の問題があると思うか ■

単位: %	サンプル数	や高齢者をねらった悪徳商法	介護を必要とする高齢者の介護環境が十分でないこと	虐待をすること・軽んじたり、無視・	家族が高齢者の世話を避けたり、	暮らしに必要情報がひとり	生活に必要でないこと	道路の段差やエレベーター未設置などバリアフリー対策が十分でないこと	宅への入居を拒否されること	単身高齢者などが賃貸の住	扱われること	就職が困難であったり、賃	金などの労働条件で不利に	賃	その他	特にない・わからない
全体	208	69.7	53.8	50.0	43.3	37.0	32.2	31.7	1.0	5.8	0.0					
性別																
男性	141	70.2	50.4	45.4	41.1	35.5	27.7	29.8	0.7	6.4						
女性	62	71.0	62.9	61.3	46.8	41.9	41.9	32.3	1.6	3.2						
その他・回答しない	5	40.0	40.0	40.0	60.0	20.0	40.0	80.0	-	20.0						
年代別																
30代未満	22	68.2	72.7	36.4	40.9	54.5	9.1	36.4	-	9.1						
30代	53	64.2	56.6	43.4	41.5	28.3	28.3	32.1	1.9	5.7						
40代	59	71.2	44.1	57.6	42.4	39.0	39.0	27.1	-	6.8						
50代以上	74	73.0	54.1	52.7	45.9	36.5	36.5	33.8	1.4	4.1						

(2) 高齢者の人権を守るために必要なこと

問 13 高齢者の人権を守るために必要なことは何だと思えますか。(〇はいくつでも)

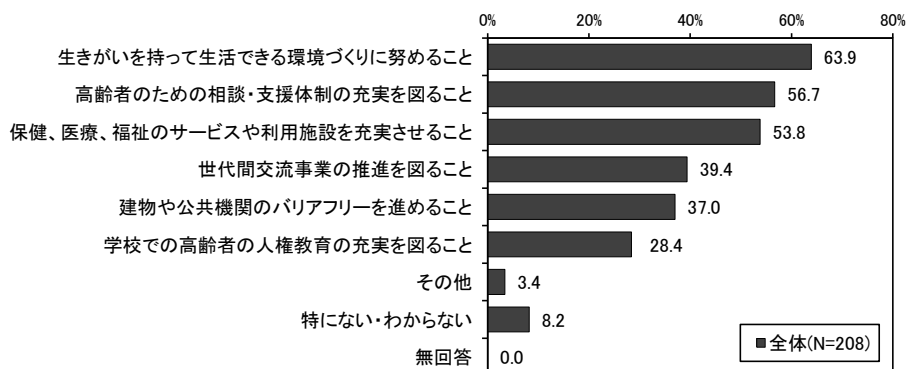
高齢者の人権を守るために必要なことは何だと思うかについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 2-25 及び表 2-9 のとおりである。

全体として、「生きがいを持って生活できる環境づくりに努めること」が 63.9%で最も多く、次いで「高齢者のための相談・支援体制の充実を図ること」(56.7%)、「保健、医療、福祉のサービスや利用施設を充実させること」(53.8%)の順となっている。「特にない・わからない」は 8.2%となっている。

性別にみると、男性は「生きがいを持って生活できる環境づくりに努めること」が 64.5%で最も多く、女性においても 64.5%となっている。女性は「高齢者のための相談・支援体制の充実を図ること」が 67.7%で最も多くなっている。

年代別にみると、30代未満は「保健、医療、福祉のサービスや利用施設を充実させること」が 68.2%で最も多くなっている。30代・40代・50代以上は「生きがいを持って生活できる環境づくりに努めること」が 6割以上となっている。

■ 図 2-25 高齢者の人権を守るために必要なこと ■



■ 表 2-9 高齢者の人権を守るために必要なこと ■

単位:%	サンプル数	生きがいを持って生活できる環境づくりに努めること	高齢者のための相談・支援体制の充実を図ること	保健、医療、福祉のサービスや利用施設を充実させること	世代間交流事業の推進を図ること	建物や公共機関のバリアフリーを進めること	学校での高齢者の人権教育の充実を図ること	その他	特にない・わからない
全体	208	63.9	56.7	53.8	39.4	37.0	28.4	3.4	8.2
性別									
男性	141	64.5	53.2	50.4	37.6	36.2	27.0	4.3	9.2
女性	62	64.5	67.7	64.5	41.9	41.9	29.0	-	4.8
その他・回答しない	5	40.0	20.0	20.0	60.0	-	60.0	20.0	20.0
年代別									
30代未満	22	54.5	63.6	68.2	31.8	59.1	22.7	-	9.1
30代	53	64.2	54.7	43.4	37.7	32.1	22.6	3.8	9.4
40代	59	69.5	59.3	54.2	44.1	37.3	32.2	3.4	10.2
50代以上	74	62.2	54.1	56.8	39.2	33.8	31.1	4.1	5.4

6 障がいのある人の人権について

(1) 障がいのある人に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

問 14 障がいのある人に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

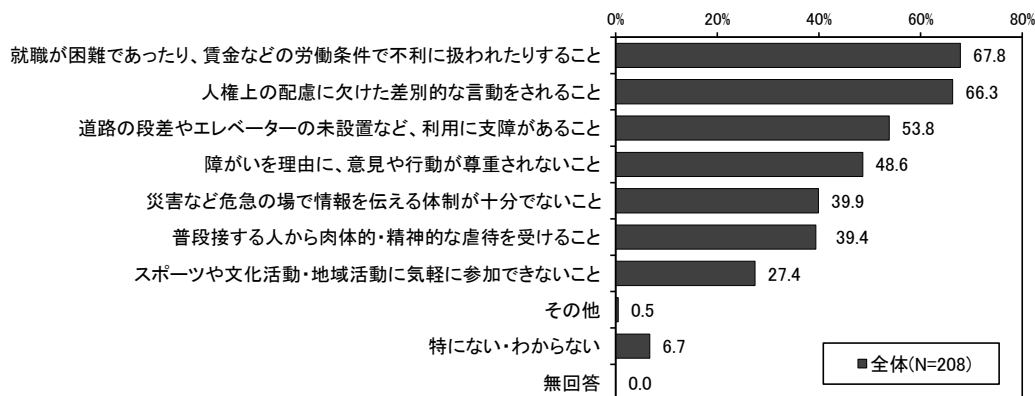
障がいのある人に関して現在どのような人権上の問題があると思うかについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 2-26 及び表 2-10 のとおりである。

全体として、「就職が困難であったり、賃金などの労働条件で不利に扱われたりすること」が 67.8%で最も多く、次いで「人権上の配慮に欠けた差別的な言動をされること」(66.3%)、「道路の段差やエレベーターの未設置など、利用に支障があること」(53.8%)の順となっている。「特にない・わからない」は 6.7%となっている。

性別にみると、「障がいを理由に、意見や行動が尊重されないこと」において、女性が男性よりも 21.1 ポイント上回っている。

年代別にみると、30 代未満と 30 代は「人権上の配慮に欠けた差別的な言動をされること」が最も多く、いずれの年代においても 6 割以上となっている。40 代と 50 代以上は「就職が困難であったり、賃金などの労働条件で不利に扱われたりすること」が最も多くなっている。

■図 2-26 障がいのある人に関して現在どのような人権上の問題があると思うか■



■表 2-10 障がいのある人に関して現在どのような人権上の問題があると思うか■

単位: %	サンプル数	就職が困難であったり、賃金などの労働条件で不利に扱われたりすること	人権上の配慮に欠けた差別的な言動をされること	道路の段差やエレベーターの未設置など、利用に支障があること	障がいを理由に、意見や行動が尊重されないこと	災害など危急の場で情報を伝える体制が十分でないこと	精神的虐待を受けること	生活に気軽に参加できないこと	その他	特にない・わからない
全体	208	67.8	66.3	53.8	48.6	39.9	39.4	27.4	0.5	6.7
性別										
男性	141	62.4	60.3	53.2	41.8	34.8	36.9	28.4	-	7.8
女性	62	82.3	80.6	56.5	62.9	50.0	46.8	25.8	1.6	3.2
その他・回答しない	5	40.0	60.0	40.0	60.0	60.0	20.0	20.0	-	20.0
年代別										
30代未満	22	50.0	77.3	54.5	36.4	31.8	27.3	22.7	-	9.1
30代	53	62.3	66.0	49.1	50.9	41.5	39.6	32.1	1.9	7.5
40代	59	69.5	67.8	54.2	57.6	45.8	44.1	25.4	-	8.5
50代以上	74	75.7	62.2	56.8	43.2	36.5	39.2	27.0	-	4.1

(2) 障がいのある人の人権を守るために必要なこと

問 15 障がいのある人の人権を守るために必要なことは何だと思えますか。(〇はいくつでも)

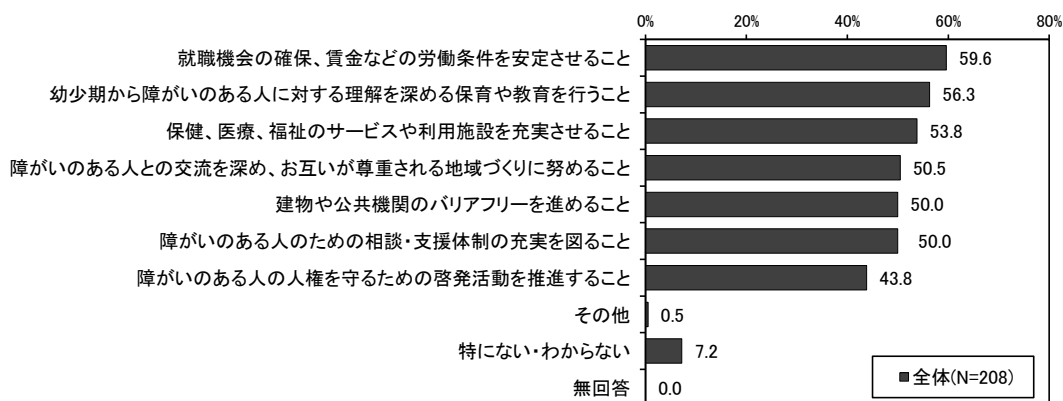
障がいのある人の人権を守るために必要なことは何だと思うかについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 2-27 及び表 2-11 のとおりである。

全体として、「就職機会の確保、賃金などの労働条件を安定させること」が 59.6%で最も多く、次いで「幼少期から障がいのある人に対する理解を深める保育や教育を行うこと」(56.3%)、「保健、医療、福祉のサービスや利用施設を充実させること」(53.8%)の順となっている。「特にない・わからない」は 7.2%となっている。

性別にみると、男性は「就職機会の確保、賃金などの労働条件を安定させること」が 56.7%で最も多く、女性は「保健、医療、福祉のサービスや利用施設を充実させること」が 71.0%で最も多く、男性よりも 23.5 ポイント上回っている。

年代別にみると、30代未満は「保健、医療、福祉のサービスや利用施設を充実させること」(68.2%)が最も多く、30代は「障がいのある人のための相談・支援体制の充実を図ること」(54.7%)が最も多くなっている。これらの選択肢と「幼少期から障がいのある人に対する理解を深める保育や教育を行うこと」については他の年代でも半数以上の割合になっている。40代・50代は「就職機会の確保、賃金などの労働条件を安定させること」が最も多くなっている。

■ 図 2-27 障がいのある人の人権を守るために必要なこと ■



■ 表 2-11 障がいのある人の人権を守るために必要なこと ■

単位: %	サンプル数	就職機会の確保、賃金などの労働条件を安定させること	幼少期から障がいのある人に対する理解を深める保育や教育を行うこと	保健、医療、福祉のサービスや利用施設を充実させること	障がいのある人との交流を深め、お互いが尊重される地域づくりに努めること	建物や公共機関のバリアフリーを進めること	障がいのある人のための相談・支援体制の充実を図ること	障がいのある人の人権を守るための啓発活動を推進すること	その他	特にない・わからない
全体	208	59.6	56.3	53.8	50.5	50.0	50.0	43.8	0.5	7.2
性別										
男性	141	56.7	51.8	47.5	48.2	49.6	48.2	41.1	0.7	8.5
女性	62	69.4	67.7	71.0	54.8	53.2	53.2	51.6	-	3.2
その他・回答しない	5	20.0	40.0	20.0	60.0	20.0	60.0	20.0	-	20.0
年代別										
30代未満	22	36.4	54.5	68.2	45.5	54.5	50.0	45.5	-	9.1
30代	53	50.9	50.9	50.9	43.4	50.9	54.7	43.4	-	9.4
40代	59	72.9	55.9	52.5	59.3	47.5	50.8	44.1	-	8.5
50代以上	74	62.2	60.8	52.7	50.0	50.0	45.9	43.2	1.4	4.1

7 外国人や外国にルーツのある人の人権について

(1) 外国人や外国にルーツのある人に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

問 16 外国人や外国にルーツのある人に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

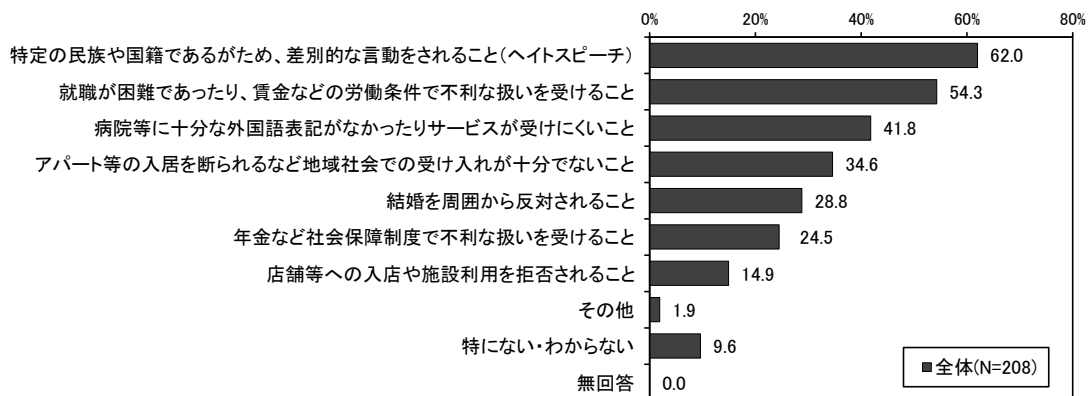
外国人や外国にルーツのある人に関して現在どのような人権上の問題があると思うかについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 2-28 及び表 2-12 のとおりである。

全体として、「特定の民族や国籍であるがため、差別的な言動をされること（ヘイトスピーチ）」が 62.0%で最も多く、次いで「就職が困難であったり、賃金などの労働条件で不利な扱いを受けること」（54.3%）、「病院等に十分な外国語表記がなかったりサービスが受けにくいこと」（41.8%）の順となっている。「特にない・わからない」は 9.6%となっている。

性別にみると、「特定の民族や国籍であるがため、差別的な言動をされること（ヘイトスピーチ）」が男女いずれにおいても 6 割以上となっている。

年代別にみると、いずれの年代においても「特定の民族や国籍であるがため、差別的な言動をされること（ヘイトスピーチ）」が最も多くなっている。

■ 図 2-28 外国人や外国にルーツのある人に関して現在どのような人権上の問題があると思うか ■



■ 表 2-12 外国人や外国にルーツのある人に関して現在どのような人権上の問題があると思うか ■

単位: %	サンプル数	問題の種類									
		特定の民族や国籍であるがため、差別的な言動をされること(ヘイトスピーチ)	就職が困難であったり、賃金などの労働条件で不利な扱いを受けること	病院等に十分な外国語表記がなかったりサービスが受けにくいこと	アパート等の入居を断られるなど地域社会での受け入れが十分でないこと	結婚を周囲から反対されること	年金など社会保障制度で不利な扱いを受けること	店舗等への入店や施設利用を拒否されること	その他	特にない・わからない	無回答
全体	208	62.0	54.3	41.8	34.6	28.8	24.5	14.9	1.9	9.6	0.0
性別											
男性	141	60.3	48.2	39.7	31.2	31.2	23.4	15.6	2.8	11.3	0.0
女性	62	66.1	69.4	50.0	40.3	22.6	25.8	14.5	-	4.8	0.0
その他・回答しない	5	60.0	40.0	-	60.0	40.0	40.0	-	-	20.0	0.0
年代別											
30代未満	22	63.6	54.5	54.5	27.3	36.4	27.3	13.6	-	9.1	0.0
30代	53	60.4	54.7	37.7	32.1	37.7	22.6	15.1	1.9	3.8	0.0
40代	59	62.7	52.5	49.2	40.7	25.4	27.1	15.3	1.7	15.3	0.0
50代以上	74	62.2	55.4	35.1	33.8	23.0	23.0	14.9	2.7	9.5	0.0

(2) 外国人や外国にルーツのある人の人権を守るために必要なこと

問 17 外国人や外国にルーツのある人の人権を守るために必要なことは何だと思いますか。
(〇はいくつでも)

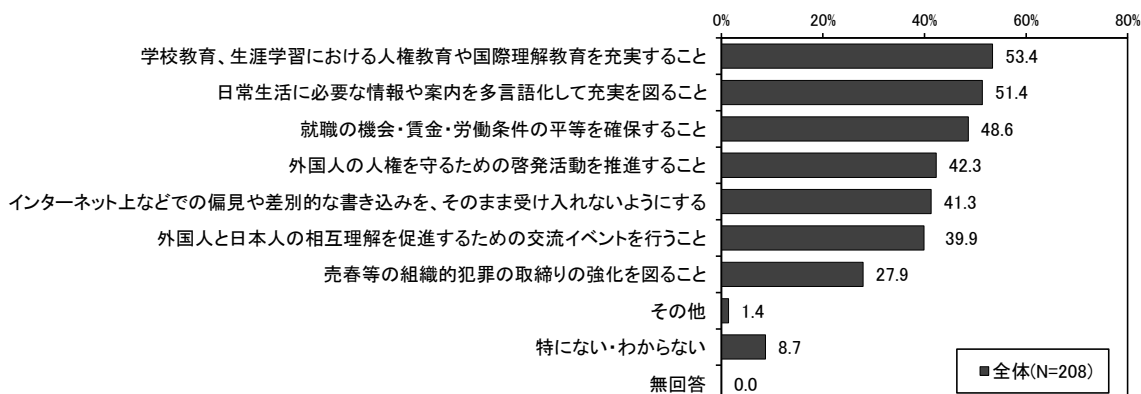
外国人や外国にルーツのある人の人権を守るために必要なことは何だと思うかについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 2-29 及び表 2-13 のとおりである。

全体として、「学校教育、生涯学習における人権教育や国際理解教育を充実すること」が 53.4% で最も多く、次いで「日常生活に必要な情報や案内を多言語化して充実を図ること」(51.4%)、「就職の機会・賃金・労働条件の平等を確保すること」(48.6%) の順となっている。「特にない・わからない」は 8.7% となっている。

性別にみると、男性は「日常生活に必要な情報や案内を多言語化して充実を図ること」が 47.5% で最も多く、女性は「学校教育、生涯学習における人権教育や国際理解教育を充実すること」が 67.7% で最も多くなっている。

年代別にみると、30 代未満は「外国人の人権を守るための啓発活動を推進すること」(63.6%) が最も多く、全体 (42.3%) を 21.3 ポイント上回っている。30 代・40 代・50 代以上では「学校教育、生涯学習における人権教育や国際理解教育を充実すること」が半数以上となっている。

■ 図 2-29 外国人や外国にルーツのある人の人権を守るために必要なこと ■



■ 表 2-13 外国人や外国にルーツのある人の人権を守るために必要なこと ■

	サンプル数	学校教育や国際理解教育を充実すること	日常生活に必要な情報や案内を多言語化して充実を図ること	就職の機会・賃金・労働条件の平等を確保すること	外国人の人権を守るための啓発活動を推進すること	インターネット上の書き込みなどを、その偏見を受け入れないようにする	外国人と日本人の相互理解を促進するための交流イベントを行うこと	売春等の組織的犯罪の取締りの強化を図ること	その他	特にない・わからない
全体	208	53.4	51.4	48.6	42.3	41.3	39.9	27.9	1.4	8.7
性別	男性	46.8	47.5	42.6	42.6	41.8	38.3	24.8	2.1	11.3
	女性	67.7	62.9	62.9	45.2	41.9	41.9	33.9	-	1.6
	その他・回答しない	60.0	20.0	40.0	-	20.0	60.0	40.0	-	20.0
年代別	30代未満	45.5	54.5	45.5	63.6	50.0	36.4	22.7	-	9.1
	30代	52.8	41.5	39.6	28.3	35.8	49.1	32.1	1.9	5.7
	40代	50.8	57.6	52.5	40.7	44.1	39.0	25.4	-	11.9
	50代以上	58.1	52.7	52.7	47.3	40.5	35.1	28.4	2.7	8.1

単位: %

8 様々な人権問題について

(1) HIV感染者、エイズ患者に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

問 18 HIV感染者、エイズ患者に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

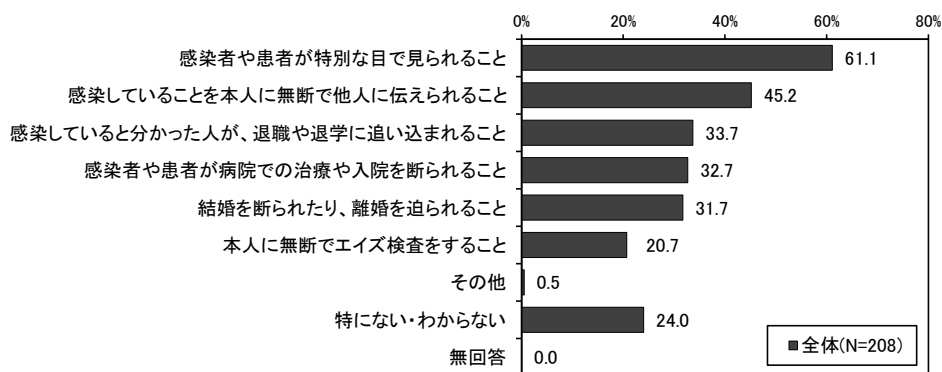
HIV感染者、エイズ患者に関して現在どのような人権上の問題があると思うかについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 2-30 及び表 2-14 のとおりである。

全体として、「感染者や患者が特別な目で見られること」が 61.1%で最も多く、次いで「感染していることを本人に無断で他人に伝えられること」(45.2%)、「感染していると分かった人が、退職や退学に追い込まれること」(33.7%)の順となっている。「特にない・わからない」は 24.0%となっている。

性別にみると、男女いずれも「感染者や患者が特別な目で見られること」が 5割以上と最も多くなっている。

年代別にみると、いずれの年代においても「感染者や患者が特別な目で見られること」が最も多く 5割以上となっている。

■ 図 2-30 HIV感染者、エイズ患者に関して現在どのような人権上の問題があると思うか ■



■ 表 2-14 HIV感染者、エイズ患者に関して現在どのような人権上の問題があると思うか ■

単位: %	サンプル数	見られる感染者や患者が特別な目	と無断で他人に伝えられること	感染していると分かった人が、退職や退学に追い込まれること	感染者や患者が病院での治療や入院を断られること	結婚を断られたり、離婚を迫られること	本人に無断でエイズ検査をすること	その他	特にない・わからない
全体	208	61.1	45.2	33.7	32.7	31.7	20.7	0.5	24.0
性別									
男性	141	57.4	44.0	29.8	27.7	29.8	18.4	0.7	27.0
女性	62	69.4	48.4	43.5	45.2	35.5	25.8	-	16.1
その他・回答しない	5	60.0	40.0	20.0	20.0	40.0	20.0	-	40.0
年代別									
30代未満	22	68.2	40.9	27.3	45.5	50.0	22.7	-	18.2
30代	53	50.9	47.2	32.1	32.1	32.1	22.6	-	26.4
40代	59	69.5	45.8	33.9	30.5	33.9	22.0	1.7	18.6
50代以上	74	59.5	44.6	36.5	31.1	24.3	17.6	-	28.4

(2) ハンセン病患者・元患者や家族等に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

問 19 ハンセン病患者・元患者や家族等に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

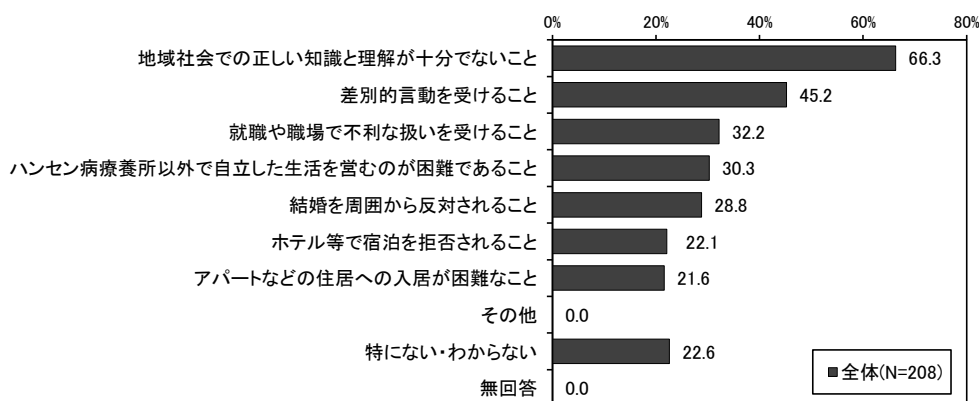
ハンセン病患者・元患者や家族等に関して現在どのような人権上の問題があると思うかについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 2-31 及び表 2-15 のとおりである。

全体として、「地域社会での正しい知識と理解が十分でないこと」が 66.3%で最も多く、次いで「差別的言動を受けること」(45.2%)、「就職や職場で不利な扱いを受けること」(32.2%)の順となっている。「特にない・わからない」は 22.6%となっている。

性別にみると、男女いずれも「地域社会での正しい知識と理解が十分でないこと」が最も多く、6割以上となっている。

年代別にみると、いずれの年代においても「地域社会での正しい知識と理解が十分でないこと」が最も多く、特に 30 代未満は 81.8%と他の年代と比べても高い割合になっている。

■ 図 2-31 ハンセン病患者・元患者や家族等に関して現在どのような人権上の問題があると思うか ■



■ 表 2-15 ハンセン病患者・元患者や家族等に関して現在どのような人権上の問題があると思うか ■

単位: %	サンプル数	地域社会での正しい知識と理解が十分でないこと	差別的言動を受けること	就職や職場で不利な扱いを受けること	自立した生活を営むのが困難なこと	結婚を周囲から反対されること	ホテル等で宿泊を拒否されること	アパートなどの住居への入居が困難なこと	その他	特にない・わからない
		66.3	45.2	32.2	30.3	28.8	22.1	21.6	-	22.6
全体	208	66.3	45.2	32.2	30.3	28.8	22.1	21.6	-	22.6
性別	男性	64.5	42.6	31.9	27.0	31.9	22.0	21.3	-	25.5
	女性	72.6	51.6	32.3	38.7	24.2	24.2	24.2	-	12.9
	その他・回答しない	40.0	40.0	40.0	20.0	-	-	-	-	60.0
年代別	30代未満	81.8	50.0	31.8	40.9	31.8	18.2	18.2	-	13.6
	30代	52.8	45.3	32.1	22.6	28.3	18.9	13.2	-	28.3
	40代	71.2	45.8	32.2	30.5	25.4	23.7	22.0	-	18.6
	50代以上	67.6	43.2	32.4	32.4	31.1	24.3	28.4	-	24.3

(3) 犯罪被害者やその家族に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

問 20 犯罪被害者やその家族に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

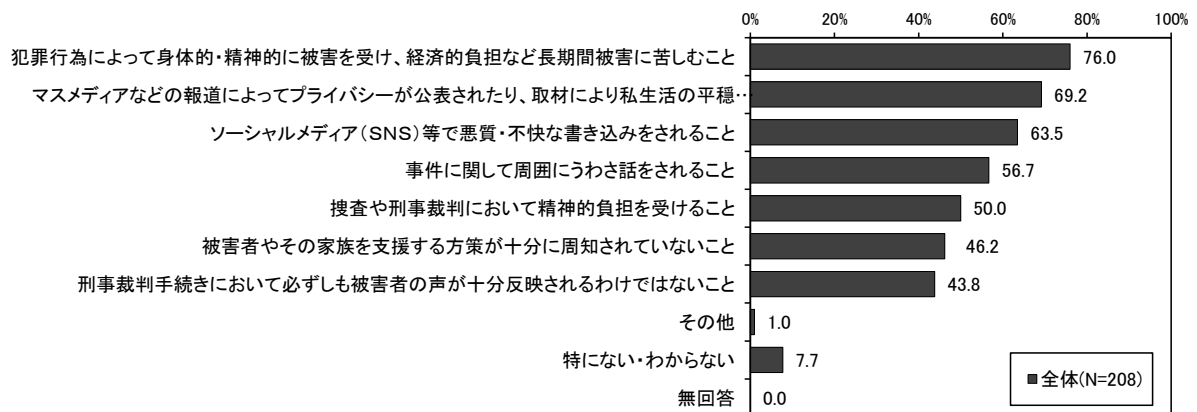
犯罪被害者やその家族に関して現在どのような人権上の問題があると思うかについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 2-32 及び表 2-16 のとおりである。

全体として、「犯罪行為によって身体的・精神的に被害を受け、経済的負担など長期間被害に苦しむこと」が 76.0%で最も多く、次いで「マスメディアなどの報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材により私生活の平穏が保てなくなること」(69.2%)、「ソーシャルメディア(SNS)等で悪質・不快な書き込みをされること」(63.5%)の順となっている。「特にない・わからない」は 7.7%となっている。

性別にみると、男女いずれも「犯罪行為によって身体的・精神的に被害を受け、経済的負担など長期間被害に苦しむこと」が最も多く、特に女性では 80.6%と高い割合となっている。

年代別にみると、いずれの年代においても「犯罪行為によって身体的・精神的に被害を受け、経済的負担など長期間被害に苦しむこと」が 70.0%以上となっており、30代未満・30代・40代は他の選択肢の中では最も多い割合となっている。

■図 2-32 犯罪被害者やその家族に関して現在どのような人権上の問題があると思うか■



■表 2-16 犯罪被害者やその家族に関して現在どのような人権上の問題があると思うか■

単位: %	サンプル数	どの長期被害を受けたに苦しむこと	活の平穏が保てない	マスコミによる取材	等々悪質・不快な書き込み	ソーシャルメディア	事件に関するうわさ話	捜査や刑事裁判における精神的負担	被害者やその家族を支援する方策が十分に周知されていないこと	刑事裁判手続きにおいて必ずしも被害者の声が十分反映されないこと	その他	特にない・わからない
全体	208	76.0	69.2	63.5	56.7	50.0	46.2	43.8	1.0	7.7		
性別												
男性	141	73.8	66.0	63.8	54.6	48.2	44.0	42.6	1.4	8.5		
女性	62	80.6	75.8	62.9	62.9	54.8	53.2	50.0	-	4.8		
その他・回答しない	5	80.0	80.0	60.0	40.0	40.0	20.0	-	-	20.0		
年代別												
30代未満	22	86.4	59.1	54.5	68.2	45.5	36.4	31.8	-	9.1		
30代	53	77.4	69.8	64.2	54.7	50.9	43.4	41.5	-	7.5		
40代	59	74.6	66.1	57.6	52.5	39.0	47.5	42.4	1.7	10.2		
50代以上	74	73.0	74.3	70.3	58.1	59.5	50.0	50.0	1.4	5.4		

(4) インターネットにすることがらで、人権が特に尊重されていない、または侵害されていると思うこと

問 21 インターネットにすることがらで、人権が特に尊重されていない、または侵害されていると思うことはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

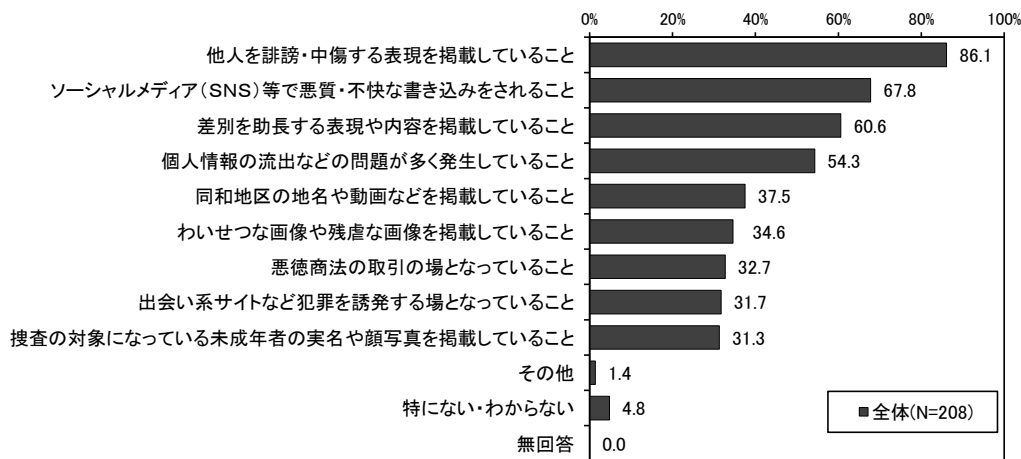
インターネットにすることがらで、人権が特に尊重されていない、または侵害されていると思うことについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 2-33 及び表 2-17 のとおりである。

全体として、「他人を誹謗(ひぼう)・中傷(ちゅうしょう)する表現を掲載していること」が 86.1%で最も多く、次いで「ソーシャルメディア(SNS)等で悪質・不快な書き込みをされること」(67.8%)、「差別を助長する表現や内容を掲載していること」(60.6%)の順となっている。「特にない・わからない」は 4.8%となっている。

性別にみると、「他人を誹謗(ひぼう)・中傷(ちゅうしょう)する表現を掲載していること」が男女いずれも 80.0%以上と最も多くなっており、女性は 93.5%となっている。

年代別にみると、いずれの年代においても「他人を誹謗(ひぼう)・中傷(ちゅうしょう)する表現を掲載していること」が最も多くなっており、50代以上では 94.6%と非常に高い割合になっている。

■図 2-33 インターネットにすることがらで、人権が特に尊重されていない、または侵害されていると思うこと■



■表 2-17 インターネットにすることがらで、人権が特に尊重されていない、または侵害されていると思うこと■

単位: %	サンプル数	他人を誹謗・中傷する表現を掲載していること	ソーシャルメディア(SNS)等で悪質・不快な書き込みをされること	差別を助長する表現や内容を掲載していること	個人情報の流出など問題が多発していること	同和地区の地名や動画などを掲載していること	わいせつな画像や残虐な画像を掲載していること	悪徳商法の取引の場となっていること	出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること	未成年者の実名や顔写真を掲載していること	その他	特にない・わからない	
全体	208	86.1	67.8	60.6	54.3	37.5	34.6	32.7	31.7	31.3	1.4	4.8	
性別	男性	141	83.7	66.0	61.7	51.8	37.6	29.8	31.9	32.6	27.0	1.4	5.0
	女性	62	93.5	72.6	59.7	58.1	35.5	43.5	33.9	27.4	40.3	1.6	3.2
	その他・回答しない	5	60.0	60.0	40.0	80.0	60.0	60.0	40.0	60.0	40.0	-	20.0
年代別	30代未満	22	86.4	77.3	68.2	50.0	36.4	18.2	31.8	31.8	36.4	4.5	9.1
	30代	53	79.2	58.5	58.5	52.8	26.4	43.4	34.0	26.4	35.8	-	3.8
	40代	59	81.4	66.1	62.7	45.8	42.4	35.6	30.5	30.5	32.2	1.7	6.8
	50代以上	74	94.6	73.0	58.1	63.5	41.9	32.4	33.8	36.5	25.7	1.4	2.7

(5) 刑を終えて出所した人に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

問 22 刑を終えて出所した人に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

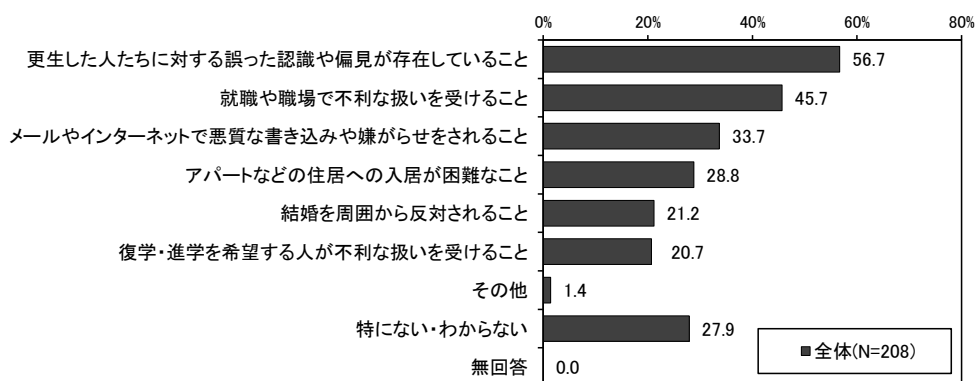
刑を終えて出所した人に関して現在どのような人権上の問題があると思うかについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 2-34 及び表 2-18 のとおりである。

全体として、「更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」が 56.7%で最も多く、次いで「就職や職場で不利な扱いを受けること」(45.7%)、「メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせをされること」(33.7%)の順となっている。「特にない・わからない」は 27.9%となっている。

性別にみると、男女いずれも「更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」が最も多くなっており、女性では 72.6%となっている。

年代別にみると、いずれの年代においても「更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」が 5 割以上で、最も多くなっている。

■図 2-34 刑を終えて出所した人に関して現在どのような人権上の問題があると思うか■



■表 2-18 刑を終えて出所した人に関して現在どのような人権上の問題があると思うか■

単位: %	サンプル数	誤	受	を	メ	居	こ	不	そ	特
		いつたこ	けるこ	さ	メール	ア	と	利	他	にな
全体	208	56.7	45.7	33.7	28.8	21.2	20.7	1.4	27.9	
性別										
男性	141	49.6	39.0	33.3	27.0	23.4	21.3	2.1	33.3	
女性	62	72.6	61.3	33.9	33.9	16.1	16.1	-	14.5	
その他・回答しない	5	60.0	40.0	40.0	20.0	20.0	60.0	-	40.0	
年代別										
30代未満	22	63.6	45.5	27.3	22.7	27.3	27.3	-	22.7	
30代	53	50.9	35.8	35.8	28.3	20.8	24.5	-	32.1	
40代	59	52.5	52.5	32.2	28.8	15.3	20.3	1.7	25.4	
50代以上	74	62.2	47.3	35.1	31.1	24.3	16.2	2.7	28.4	

(6) 性的少数者に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

問 23 性的少数者に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。(〇はいくつでも)

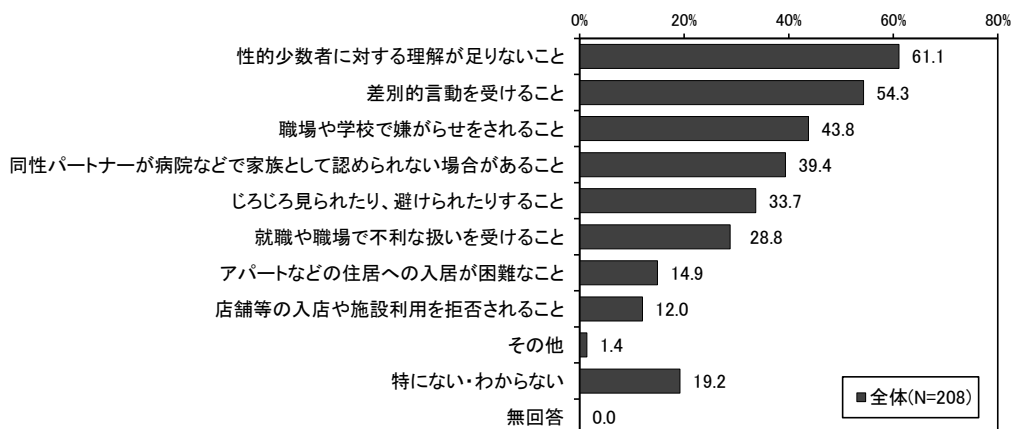
性的少数者に関して現在どのような人権上の問題があると思うかについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 2-35 及び表 2-19 のとおりである。

全体として、「性的少数者に対する理解が足りないこと」が 61.1%で最も多く、次いで「差別的言動を受けること」(54.3%)、「職場や学校で嫌がらせをされること」(43.8%)の順となっている。「特にない・わからない」は 19.2%となっている。

性別にみると、男女いずれも「性的少数者に対する理解が足りないこと」が 5割以上で最も多くなっている。

年代別にみると、「性的少数者に対する理解が足りないこと」がいずれの年代においても 5割以上となっており、30代・40代・50代以上では最も多くなっている。30代未満は「差別的言動を受けること」が 72.7%となっており、全体(54.3%)や他の年代よりも高い割合となっている。

■ 図 2-35 性的少数者に関して現在どのような人権上の問題があると思うか ■



■ 表 2-19 性的少数者に関して現在どのような人権上の問題があると思うか ■

単位: %	サンプル数	性的少数者に対する理解が足りないこと	差別的言動を受けること	職場や学校で嫌がらせをされること	職場や学校で嫌がらせをされること	同性パートナーが病院などで認められないこと	じろじろ見られたり、避けられたりすること	就職や職場で不利な扱いを受けること	居が困難なこと	拒否されること	店舗等の入店や施設利用を拒否されること	その他	特にない・わからない
全体	208	61.1	54.3	43.8	39.4	33.7	28.8	14.9	12.0	1.4	19.2	0.0	
性別													
男性	141	57.4	48.2	39.0	34.0	34.0	27.7	15.6	13.5	2.1	22.0		
女性	62	69.4	67.7	54.8	51.6	35.5	30.6	12.9	9.7	-	11.3		
その他・回答しない	5	60.0	60.0	40.0	40.0	-	40.0	20.0	-	-	40.0		
年代別													
30代未満	22	63.6	72.7	63.6	31.8	45.5	36.4	13.6	22.7	-	13.6		
30代	53	58.5	50.9	41.5	43.4	28.3	20.8	17.0	9.4	-	17.0		
40代	59	69.5	62.7	42.4	42.4	37.3	27.1	11.9	10.2	1.7	16.9		
50代以上	74	55.4	44.6	40.5	36.5	31.1	33.8	16.2	12.2	2.7	24.3		

(7) 新型コロナウイルス感染症に関することから、人権がとくに尊重されていない、または侵害されていると思うこと

問 24 新型コロナウイルス感染症に関することから、人権がとくに尊重されていない、または侵害されていると思うことはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

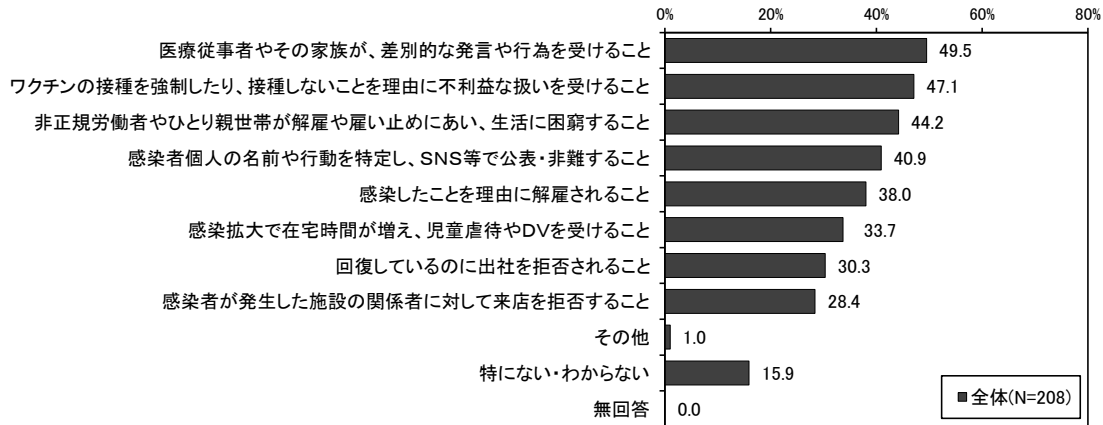
新型コロナウイルス感染症に関することから、人権がとくに尊重されていない・侵害されていると思うことについて、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 2-36 及び表 2-20 のとおりである。

全体として、「医療従事者やその家族が、差別的な発言や行為を受けること」が 49.5%で最も多く、次いで「ワクチンの接種を強制したり、接種しないことを理由に不利益な扱いを受けること」(47.1%)、「非正規労働者やひとり親世帯が解雇や雇い止めにあい、生活に困窮すること」(44.2%)の順となっている。「特にない・わからない」は 15.9%となっている。

性別にみると、男性は「ワクチンの接種を強制したり、接種しないことを理由に不利益な扱いを受けること」が 46.8%で最も多く、女性は「医療従事者やその家族が、差別的な発言や行為を受けること」が 59.7%で最も多くなっている。

年代別にみると、30代未満・40代は「医療従事者やその家族が、差別的な発言や行為を受けること」が最も多く 55.0%以上となっている。30代は「ワクチンの接種を強制したり、接種しないことを理由に不利益な扱いを受けること」が最も多くなっている。50代以上は「医療従事者やその家族が、差別的な発言や行為を受けること」「ワクチンの接種を強制したり、接種しないことを理由に不利益な扱いを受けること」「非正規労働者やひとり親世帯が解雇や雇い止めにあい、生活に困窮すること」がともに 45.9%で最も多くなっている。

■ 図 2-36 新型コロナウイルス感染症に関することから、人権がとくに尊重されていない・侵害されていると思うこと ■



■ 表 2-20 新型コロナウイルス感染症に関することから、人権がとくに尊重されていない・侵害されていると思うこと ■

単位: %	サンプル数	と	医	不	ワ	活	が	非	す	感	感	児	感	回	と	感	そ	特
		別	療	利	ク	に	正	定	染	染	童	さ	者	他	に	者	の	に
全体	208	49.5	47.1	44.2	40.9	38.0	33.7	30.3	28.4	1.0	15.9	0.0						
性別	男性	141	45.4	46.8	40.4	34.8	33.3	29.8	29.8	1.4	19.1							
	女性	62	59.7	46.8	51.6	54.8	50.0	41.9	32.3	27.4	6.5							
	その他・回答しない	5	40.0	60.0	60.0	40.0	20.0	40.0	20.0	20.0	40.0							
年代別	30代未満	22	59.1	54.5	50.0	50.0	40.9	27.3	50.0	40.9	9.1							
	30代	53	43.4	50.9	35.8	39.6	35.8	35.8	26.4	24.5	1.9	22.6						
	40代	59	55.9	42.4	47.5	42.4	40.7	33.9	25.4	23.7	15.3							
	50代以上	74	45.9	45.9	45.9	37.8	36.5	33.8	31.1	31.1	13.5							

9 人権啓発について

(1) 「人権」をテーマとした研修・啓発イベント(講演会等)への参加状況

問 25 「人権」をテーマとした研修・啓発イベント(講演会等)への参加や、人権啓発冊子や新聞等の記事を読んだり、テレビ等で見たことがありますか。(〇はいくつでも)

1 大川市人権週間講演会(12月)【大川市主催】

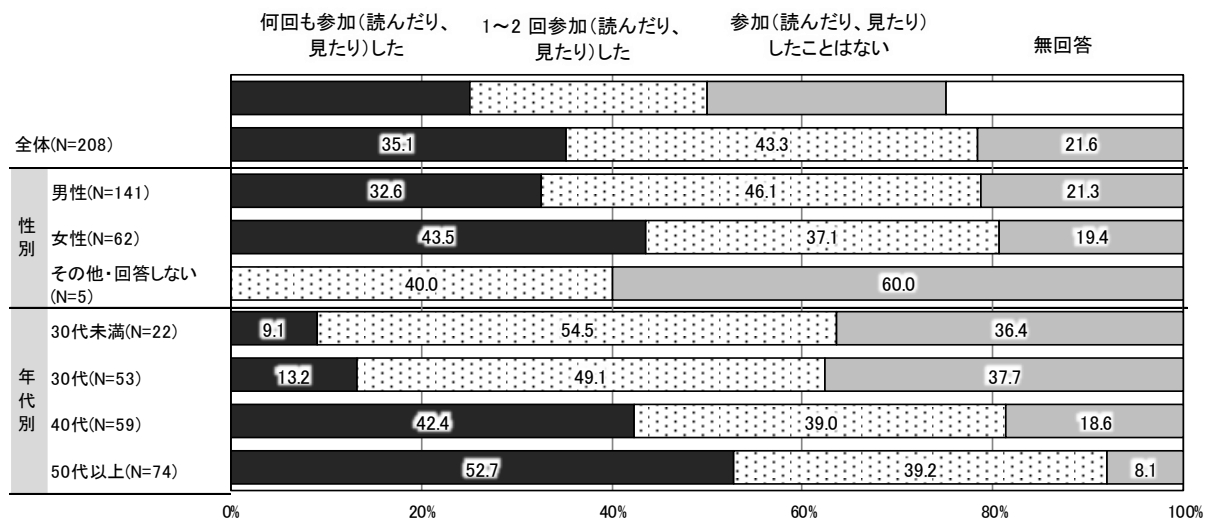
大川市人権週間講演会(12月)【大川市主催】への参加状況について、尋ねた結果をまとめると、図 2-37 のとおりである。

全体として、「1～2回参加(読んだり、見たり)した」が43.3%で最も多く、「何回も参加(読んだり、見たり)した」(35.1%)、「参加(読んだり、見たり)したことはない」(21.6%)の順となっている。「何回も参加(読んだり、見たり)した」と「1～2回参加(読んだり、見たり)した」を合わせた『参加(読んだり、見たり)したことがある』としたものは78.4%となっている。

性別にみると、『参加(読んだり、見たり)したことがある』は、男性は78.7%、女性は80.6%となっている。

年代別にみると、50代以上において、『参加(読んだり、見たり)したことがある』が91.9%と非常に高い割合を占めている。他の年代と比較しても、「何回も参加(読んだり、見たり)した」の割合が唯一半数を超えている。

■図 2-37 大川市人権週間講演会(12月)【大川市主催】■



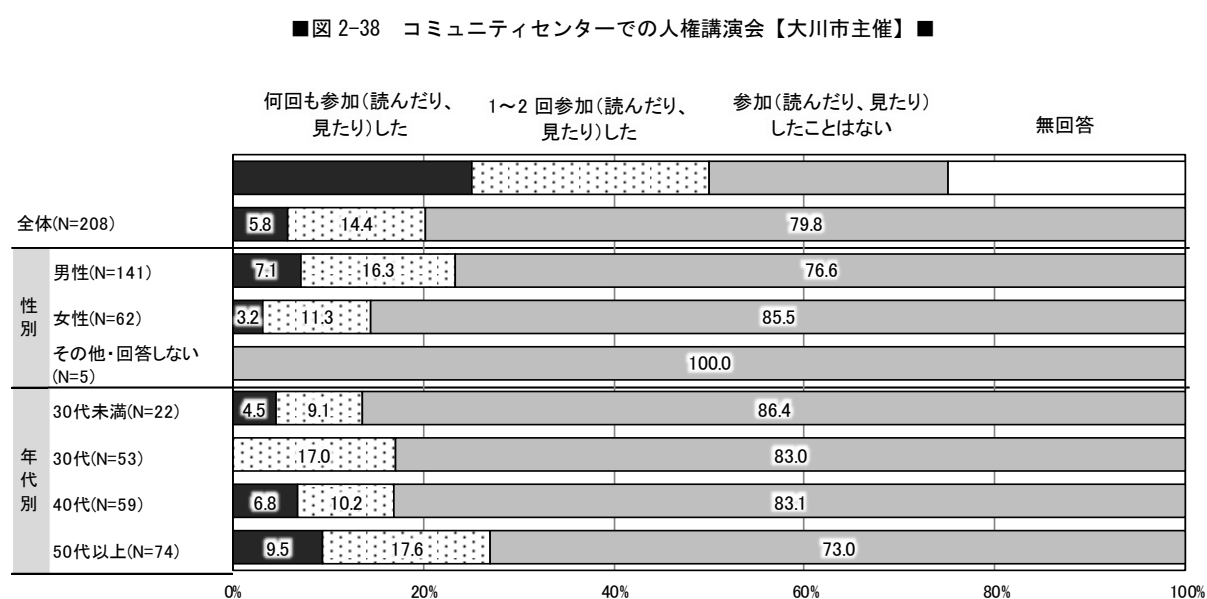
2 コミュニティセンターでの人権講演会【大川市主催】

コミュニティセンターでの人権講演会【大川市主催】への参加状況について、尋ねた結果をまとめると、図 2-38 のとおりである。

全体として、「参加（読んだり、見たり）したことはない」が 79.8% で最も多く、「1～2 回参加（読んだり、見たり）した」（14.4%）と「何回も参加（読んだり、見たり）した」（5.8%）を合わせた『参加（読んだり、見たり）したことがある』としたものは 20.2% となっている。

性別にみると、男女いずれも「参加（読んだり、見たり）したことはない」が男性では 76.6%、女性では 85.5% で最も多くなっている。

年代別にみると、いずれの年代においても「参加（読んだり、見たり）したことはない」が最も多く、30 代未満・30 代・40 代は 8 割以上となっている。



3 人権啓発冊子のちかがやけ【大川市主催】

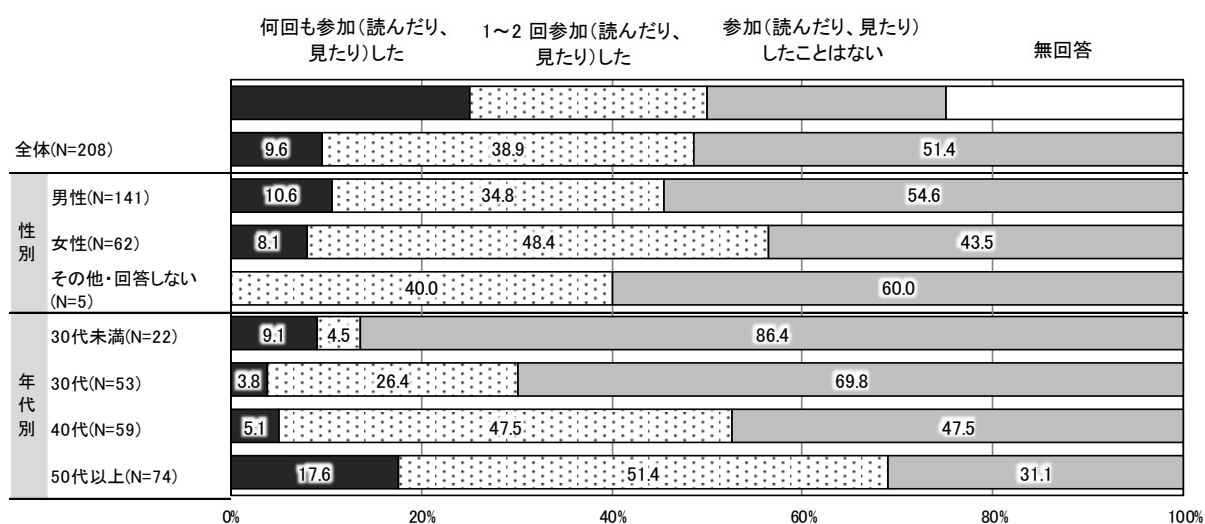
人権啓発冊子のちかがやけ【大川市主催】の認知状況について、尋ねた結果をまとめると、図2-39のとおりである。

全体として、「参加（読んだり、見たり）したことはない」が51.4%で最も多く、次いで「1～2回参加（読んだり、見たり）した」（38.9%）、「何回も参加（読んだり、見たり）した」（9.6%）の順となっている。

性別にみると、「何回も参加（読んだり、見たり）した」と「1～2回参加（読んだり、見たり）した」を合わせた『参加（読んだり、見たり）したことがある』としたものが、男性では45.4%となっており、半数未満となっている。一方女性では、『参加（読んだり、見たり）したことがある』は56.5%と半数以上となっている。

年代別にみると、『参加（読んだり、見たり）したことがある』が半数を超えていたのは40代・50代以上となっている。

■ 図 2-39 人権啓発冊子のちかがやけ【大川市主催】 ■



4 同和問題街頭啓発(7月)【大川市主催】

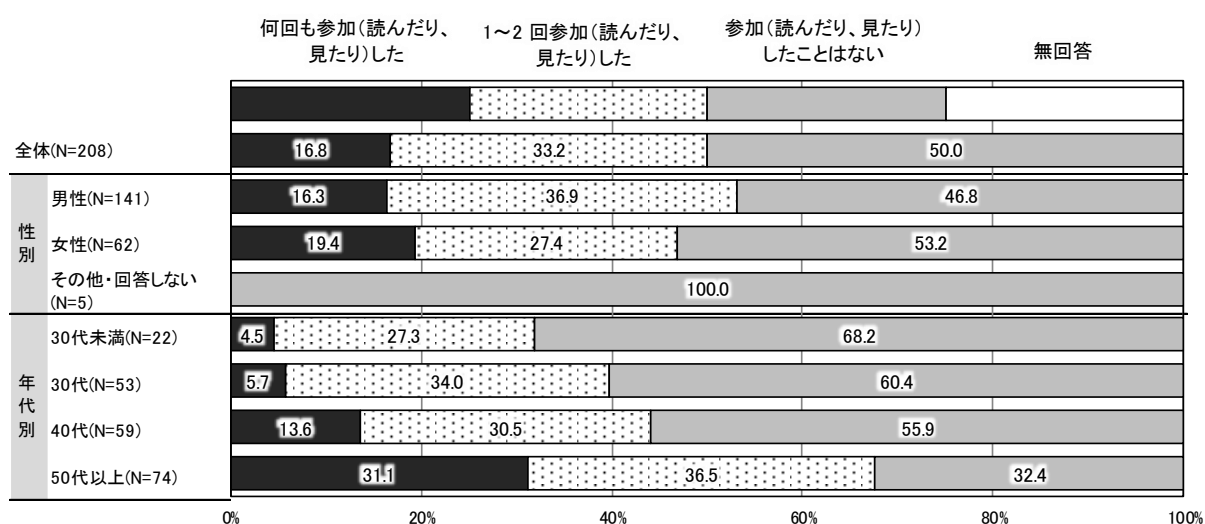
同和問題街頭啓発(7月)【大川市主催】の認知状況について、尋ねた結果をまとめると、図 2-40 のとおりである。

全体として、「参加(読んだり、見たり)したことはない」が50.0%と最も多く、次いで「1～2回参加(読んだり、見たり)した」(33.2%)、「何回も参加(読んだり、見たり)した」(16.8%)の順となっている。

性別にみると、男性では「何回も参加(読んだり、見たり)した」(16.3%)と「1～2回参加(読んだり、見たり)した」(36.9%)を合わせた『参加(読んだり、見たり)したことがある』としたものが53.2%となっており、半数を超えている。一方女性では、「参加(読んだり、見たり)したことはない」(53.2%)のほうが『参加(読んだり、見たり)したことがある』(46.8%)より多くなっている。

年代別にみると、50代以上が唯一、『参加(読んだり、見たり)したことがある』(67.6%)が半数以上を占めている。

■ 図 2-40 同和問題街頭啓発(7月)【大川市主催】 ■



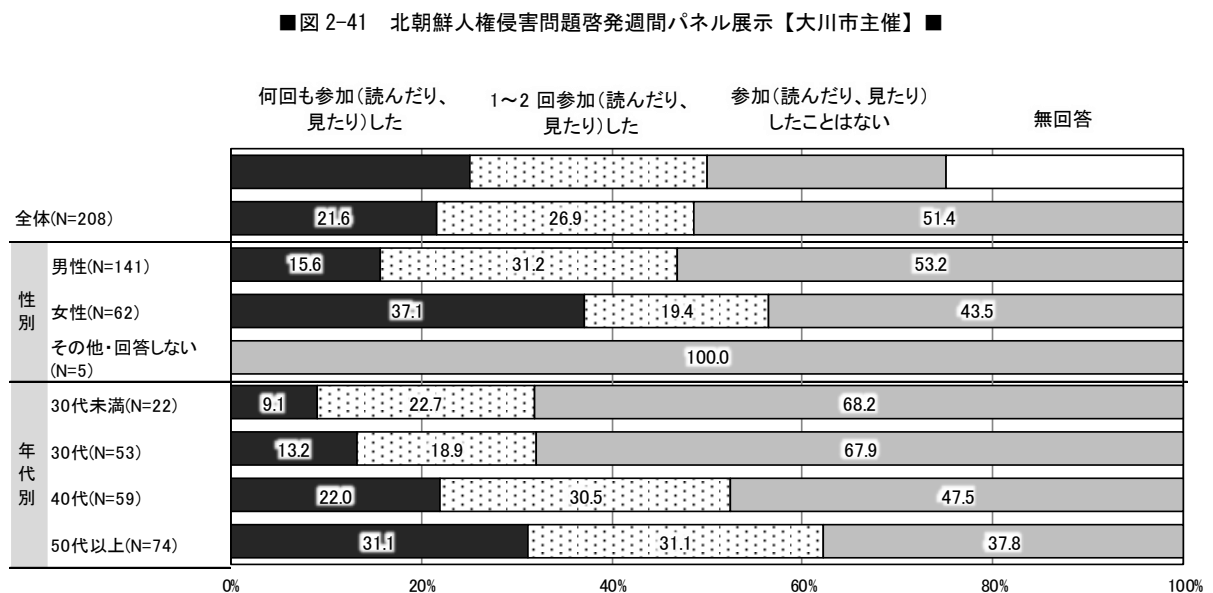
5 北朝鮮人権侵害問題啓発週間パネル展示【大川市主催】

北朝鮮人権侵害問題啓発週間パネル展示【大川市主催】の認知状況について、尋ねた結果をまとめると、図 2-41 のとおりである。

全体として、「参加（読んだり、見たり）したことはない」が51.4%で最も多く、次いで「1～2回参加（読んだり、見たり）した」（26.9%）、「何回も参加（読んだり、見たり）した」（21.6%）の順となっている。

性別にみると、男性では「参加（読んだり、見たり）したことはない」が半数以上を占めている。一方女性では、「何回も参加（読んだり、見たり）した」（37.1%）と「1～2回参加（読んだり、見たり）した」（19.4%）を合わせた『参加（読んだり、見たり）したことがある』としたものが56.5%と半数以上を占めている。

年代別にみると、40代と50代以上において『参加（読んだり、見たり）したことがある』が半数以上を占めている。



6 人権擁護委員による人権相談【大川市外も含む】

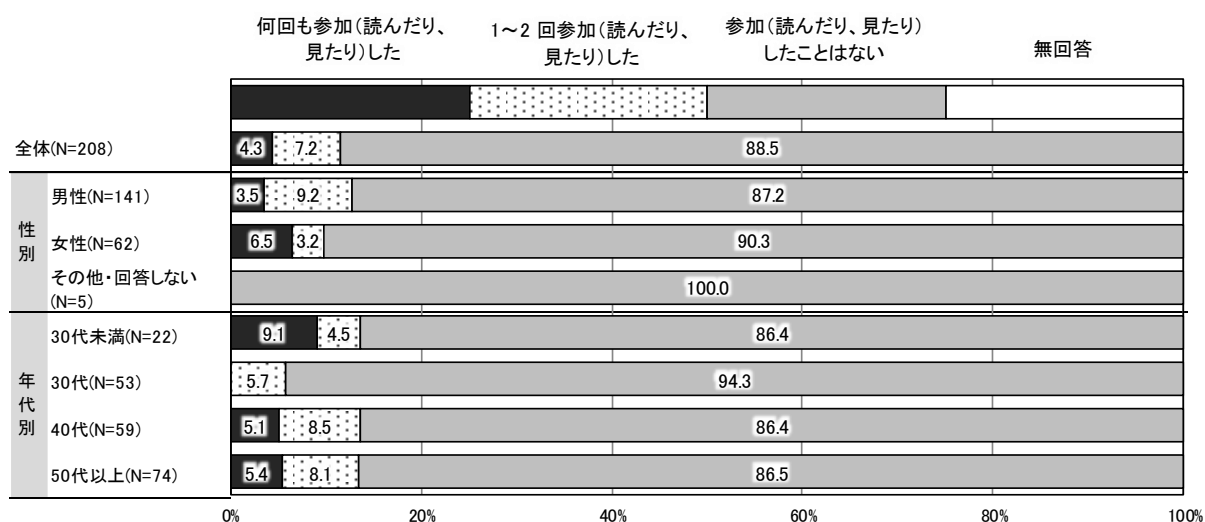
人権擁護委員による人権相談【大川市外も含む】の認知状況について、尋ねた結果をまとめると、図 2-42 のとおりである。

全体として、「参加（読んだり、見たり）したことはない」が 88.5% で最も多く、次いで「1～2 回参加（読んだり、見たり）した」（7.2%）、「何回も参加（読んだり、見たり）した」（4.3%）の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「参加（読んだり、見たり）したことはない」が最も多く、男性では 87.2%、女性では 90.3% となっている。

年代別にみると、いずれの年代においても「参加（読んだり、見たり）したことはない」が 85.0% 以上と最も多く、特に 30 代では 94.3% と高い割合を占めている。

■ 図 2-42 人権擁護委員による人権相談【大川市外も含む】 ■



7 職場での研修等【大川市外も含む】

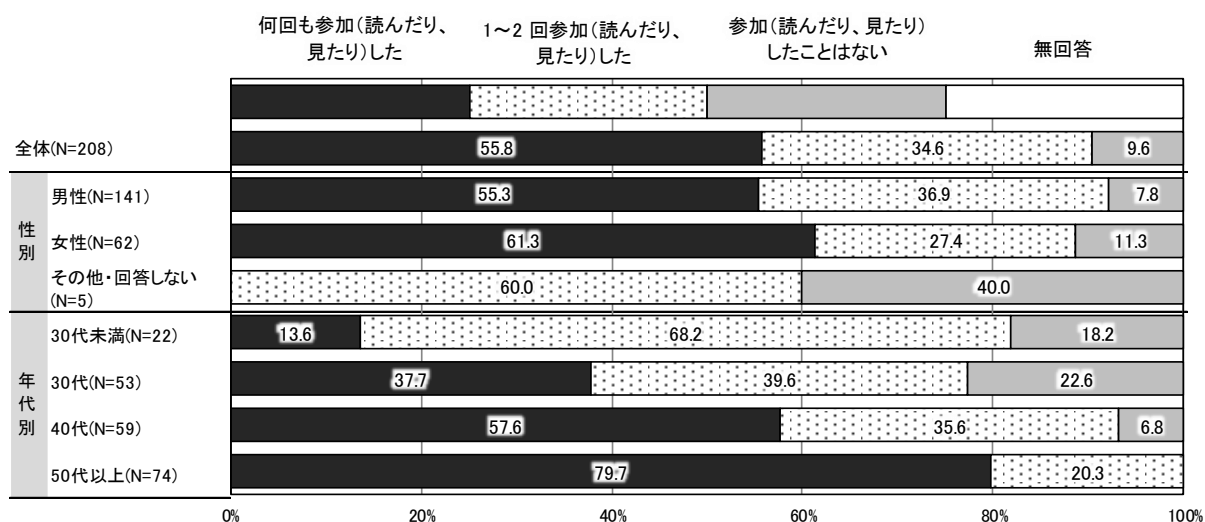
職場での研修等【大川市外も含む】への参加状況について、尋ねた結果をまとめると、図 2-43 のとおりである。

全体として、「何回も参加（読んだり、見たり）した」が 55.8%で最も多く、次いで「1～2回参加（読んだり、見たり）した」（34.6%）、「参加（読んだり、見たり）したことはない」（9.6%）の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「何回も参加（読んだり、見たり）した」が最も多く、半数以上を占めている。

年代別にみると、「何回も参加（読んだり、見たり）した」と「1～2回参加（読んだり、見たり）した」を合わせた『参加（読んだり、見たり）したことがある』がいずれの年代においても7割以上を占めており、特に50代以上においては100.0%となっている。

■ 図 2-43 職場での研修等【大川市外も含む】 ■



8 PTAなど学校での研修・講演会【大川市外も含む】

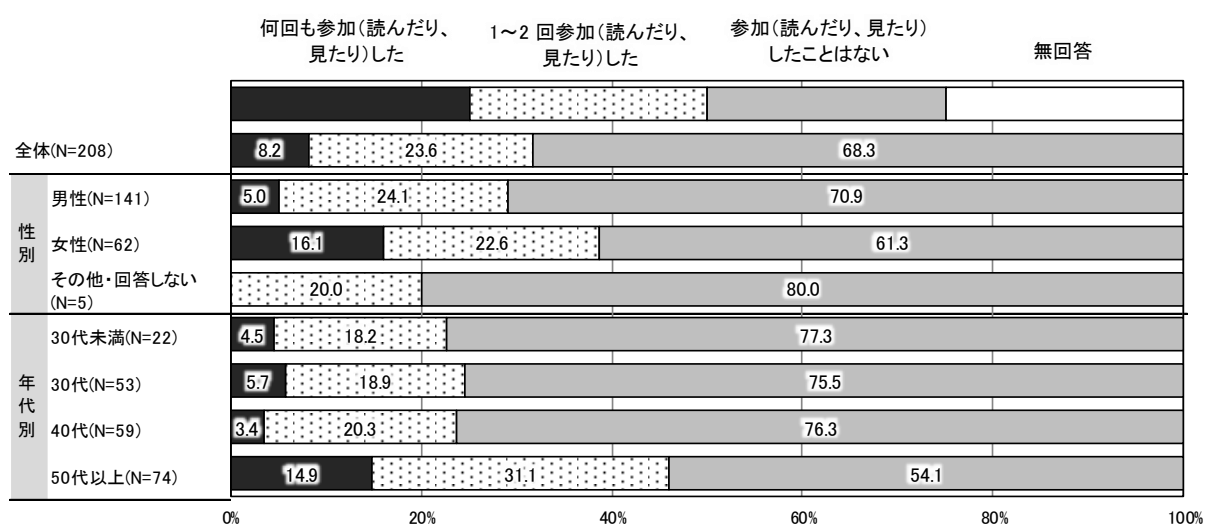
PTAなど学校での研修・講演会【大川市外も含む】への参加状況について、尋ねた結果をまとめると、図2-44のとおりである。

全体として、「参加（読んだり、見たり）したことはない」が68.3%で最も多く、次いで「1～2回参加（読んだり、見たり）した」（23.6%）、「何回も参加（読んだり、見たり）した」（8.2%）の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「参加（読んだり、見たり）したことはない」が最も多く、男性では7割以上、女性では6割以上を占めている。

年代別にみると、いずれの年代においても「参加（読んだり、見たり）したことはない」が最も多く、30代未満・30代・40代は7割以上を占めている。50代以上は、「何回も参加（読んだり、見たり）した」（14.9%）と「1～2回参加（読んだり、見たり）した」（31.1%）を合わせた『参加（読んだり、見たり）したことがある』としたもの（46.0%）が全体（31.8%）よりも14.2ポイント上回っている。

■ 図2-44 PTAなど学校での研修・講演会【大川市外も含む】 ■



9 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ【大川市外も含む】

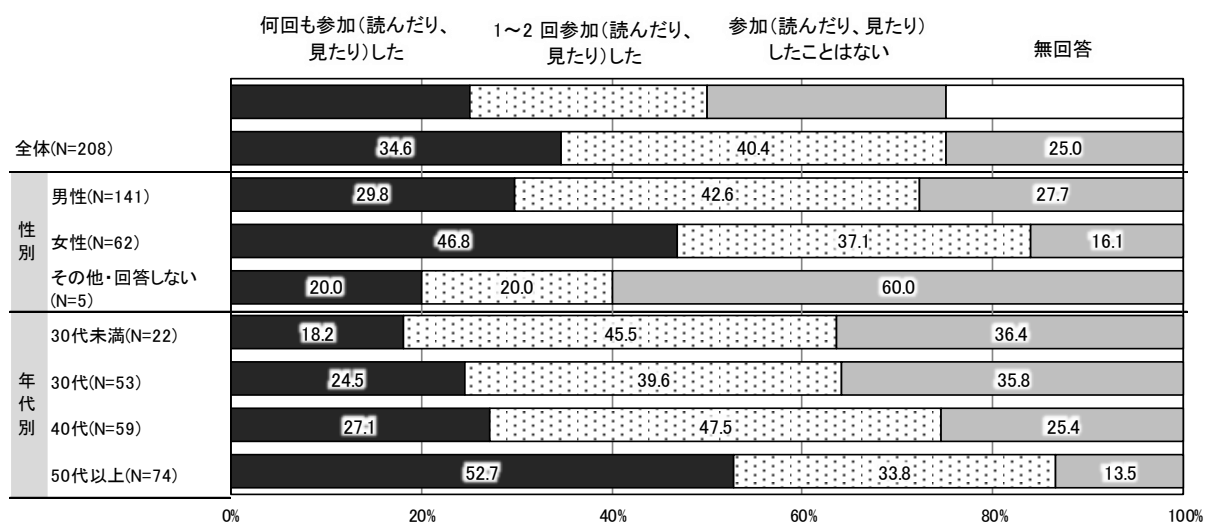
新聞・雑誌・テレビ・ラジオ【大川市外も含む】への接触状況について、尋ねた結果をまとめると、図2-45のとおりである。

全体として、「1～2回参加（読んだり、見たり）した」が40.4%で最も多く、次いで「何回も参加（読んだり、見たり）した」（34.6%）、「参加（読んだり、見たり）したことはない」（25.0%）の順となっている。

性別にみると、「何回も参加（読んだり、見たり）した」と「1～2回参加（読んだり、見たり）した」を合わせた『参加（読んだり、見たり）したことがある』としたものについて、男性は72.4%、女性は83.9%となっている。

年代別にみると、「参加（読んだり、見たり）したことはない」が最も少ない割合になっているのは、50代以上（13.5%）で、全体（25.0%）と比べると11.5ポイント下回っている。

■ 図2-45 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ【大川市外も含む】 ■



10 書籍・映画・ビデオ【大川市外も含む】

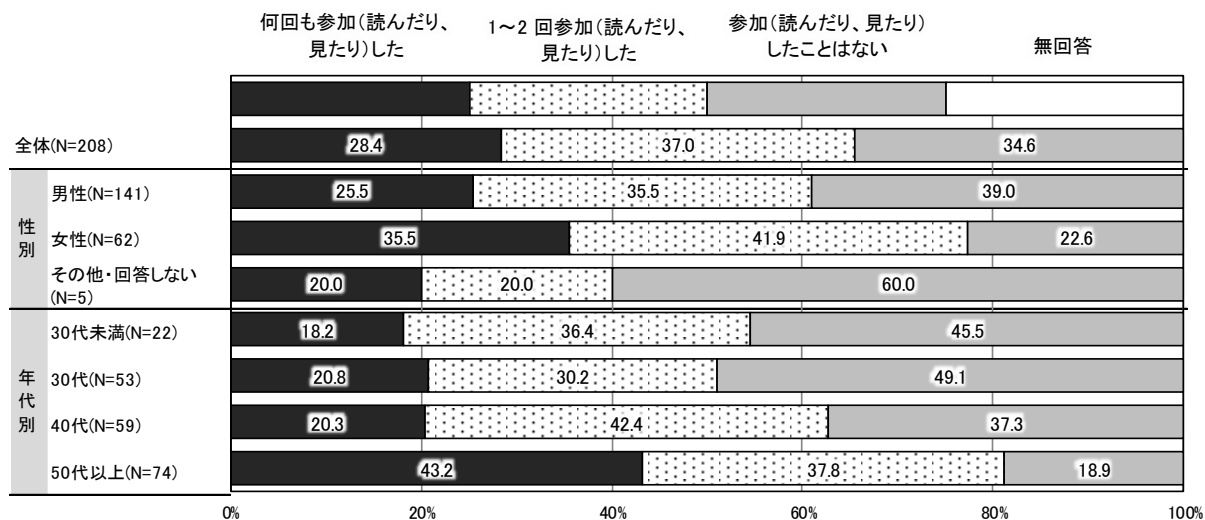
書籍・映画・ビデオ【大川市外も含む】への接触状況について、尋ねた結果をまとめると、図2-46のとおりである。

全体として、「1～2回参加（読んだり、見たり）した」が37.0%で最も多く、「参加（読んだり、見たり）したことはない」（34.6%）、「何回も参加（読んだり、見たり）した」（28.4%）の順となっている。

性別にみると、「何回も参加（読んだり、見たり）した」と「1～2回参加（読んだり、見たり）した」を合わせた『参加（読んだり、見たり）したことがある』としたものについて、男性は61.0%、女性では77.4%となっている。

年代別にみると、「参加（読んだり、見たり）したことはない」が最も少ない割合になっているのは、50代以上（18.9%）で、全体（34.6%）と比べると15.7ポイント下回っている。

■ 図2-46 書籍・映画・ビデオ【大川市外も含む】 ■



(2) 研修等で人権問題を考える(学ぶ)際に、特に重要だと思う知識や情報

問 26 研修等で人権問題を考える(学ぶ)際に、どのような知識や情報が特に重要だと思いますか。
(〇は3つ以内)

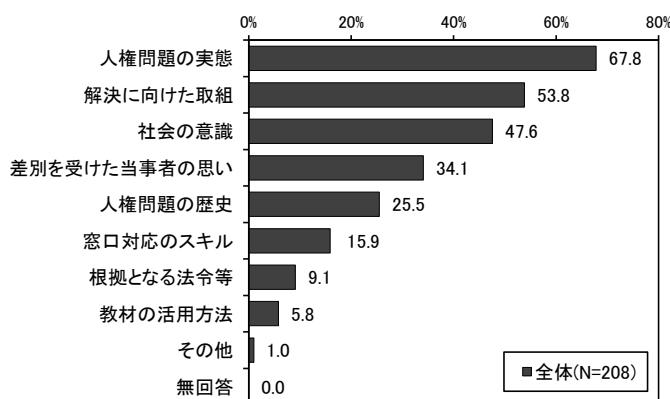
研修等で人権問題を考える(学ぶ)際に、特に重要だと思う知識や情報について、重複回答方式で尋ねた結果をまとめると、図 2-47 及び表 2-21 のとおりである。

全体として、「人権問題の実態」が 67.8% で最も多く、次いで「解決に向けた取組」(53.8%)、「社会の意識」(47.6%) の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「人権問題の実態」が最も多く、女性では 82.3% と高い割合を占めている。

年代別にみると、いずれの年代においても「人権問題の実態」が最も多くなっている。30代未満は「人権問題の実態」(77.3%) に次いで「解決に向けた取り組み」(72.7%) が 7割以上となっている。

■ 図 2-47 研修等で人権問題を考える(学ぶ)際に、特に重要だと思う知識や情報



■ 表 2-21 研修等で人権問題を考える(学ぶ)際に、特に重要だと思う知識や情報

単位:%	サンプル数	人権問題の実態	解決に向けた取組	社会の意識	差別を受けた当事者の思い	人権問題の歴史	窓口対応のスキル	根拠となる法令等	教材の活用方法	その他
全体	208	67.8	53.8	47.6	34.1	25.5	15.9	9.1	5.8	1.0
性別										
男性	141	62.4	51.1	52.5	34.0	29.8	12.1	7.8	2.8	1.4
女性	62	82.3	62.9	38.7	33.9	16.1	24.2	12.9	11.3	-
その他・回答しない	5	40.0	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0	-	20.0	-
年代別										
30代未満	22	77.3	72.7	63.6	-	27.3	22.7	4.5	4.5	-
30代	53	56.6	50.9	47.2	37.7	26.4	18.9	11.3	9.4	-
40代	59	64.4	57.6	47.5	32.2	20.3	15.3	8.5	3.4	-
50代以上	74	75.7	47.3	43.2	43.2	28.4	12.2	9.5	5.4	2.7

(3) 自由記述意見(要旨)

問 27 人権問題や人権教育・啓発について、ご意見やご要望などがございましたら、何でもかまいませんのでご自由にお書きください。

最後に、人権全般についての意見、要望〔問 27〕を自由回答方式で尋ねた結果をまとめると、なんらかの具体的な意見や要望などを提示したものは、回答者総数の 8.7%にあたる 18 名であった。

■表 2-22 自由記述意見(要旨)■

意見・要望(要旨)	
●人権全般について	
様々な案件に対する人権侵害は報道などで見聞きするが、自分や身近なこととして今一つ深く実感したり考えたりするには至らないところがある。	
人間は何のために生まれてきたのか？若い頃の私は社会的な成功や名誉・財産を手に入れることであると信じてきた。全ての人がその生き方をしている成り立っていく社会なのだろうか？それがよりよい社会形成につながっていくのだろうか？年を取ればとるほど違うような気がしてきた。一方で世界や歴史に目を向けると目を覆いたくなるような残虐な戦争や紛争が絶えない。生きることは必要だが、人間らしく生きていく事は、もっと重要だ。いくら世界中の富や名誉をかき集めたところで、人の寿命はせいぜい 120 年しかない。その 120 年だけのために自分の人生を欲望のままに使い切ってしまうのか？それとも『人間を大事にする生き方』を確立して後世にも良い影響を残す生き方をするのか？人間が真の平和と正義と人権の世界を完成させるのに必要な生き方は後者だ。わが市・大川市から世界へ人権重視の流れができあがる事を切望しております。	
私たちは知らないことや解らないことばかりです。だからこそ、他者をリスペクトする(思いやる、大切にする、尊重する)ことから始めれば差別はなくなりません。教育や啓発の基本だと思います。	
インターネットが普及した現代において、匿名での誹謗中傷が後を絶たないので、小さいころからこんなことをするといけないよというような教育を今以上にしていく必要があると思います。	
差別はなくなる、世代間で連鎖する等の意見はありますが、例えば 20 年前の人権感覚と今の感覚では明らかに変化している。これは、各種法令の整備、学校教育、マスコミ等の報道の在り方が変わってきたことなど、各方面の努力の成果だと思う。地道な啓発活動は、必ず次世代につながるのではないのでしょうか。	
常日頃から自分と他人がお互いに尊重し合うよう心がけることができているれば人権問題など発生しない。	
基本的な人権に関しては、憲法第三章の権利と義務のところにと定められています。権利の義務の関係のなかで、基本的な人権もあるし、いろいろな義務もあると、前置きしたうえで、話を進めていくこともできると思います。 時間の都合で、そうはいかないとは思いますが、しかし、ある程度、権利と義務の全体像を説明した上で、人権問題や人権教育・啓発を行った方が、いろいろな事象がにつながるのではと考えました。	
啓発月間だけでなく、通年での啓発活動が必要。	
人権問題の解決には、人権教育が必要不可欠で、その中で被害の実態を知ることにより、自分の問題としてとらえることができる。	
職場等において繰り返しの研修等が必要	
人権問題は法の下での平等の根幹的なものであり、全国民が目を見てはならない問題である。	
教育・啓発では限界があるので強力な法整備が必要	
人に動物等にやさしく接する心の教育や学習が必要。余裕がない社会になっているような感じである。また、年代別で、意識の違いが判る。	
●様々な人権問題について	
インターネット上での風説(あらゆる差別や他の情報についても)の流布が非常に危険だと感じます。市職員向けではありませんが、学校でメディアリテラシーの強化をさらに図らなければならないと思います。	
女性や子供、高齢者、性的少数者の人権問題については、現状不十分なものが多いのは事実であり早急に対処・改善していかなければならないことだと思う。その一方で男性についての人権問題が希薄になっているのではないかと思う面もある。育児休暇が取りにくい現状であったり、セクハラや DV の被害にあっても問題にされにくい社会であるように感じる。性別によりある程度の不向きがあることは考慮しつつも、真の意味でフラットな社会になってほしいと思う。	
SNS 等 人権を侵害した書き込みが多く見られ、たくさんの人が傷ついていることに、とても残念に思う。また、マスコミ等表現の自由といたしながら人権を踏みにじる表現や行動がされていることに対して、そのままにしておいてよいのかと思う。もっと法的に厳しく処罰してもらえないかと思うことがある。	

意見・要望(要旨)

子供や女性など弱者に対する差別・偏見がなくなっていくような社会になってほしい。バリアフリーもまだまだ不十分だと思う。

●行政への意見について

まずは職員の人権教育・啓発が必要。

統計編

【市民】

第1表 人権問題にどの程度関心があるか

上段%、下段：実数

問2	サンプル数	非常に 関心がある	少し 関心がある	あまり 関心がない	ほとんど・全く 関心がない	無 回答	
全体	100.0 664	12.0 80	53.9 358	25.2 167	6.0 40	2.9 19	
性別	男性	100.0 283	12.7 36	50.9 144	26.1 74	8.8 25	1.4 4
	女性	100.0 372	11.6 43	56.7 211	24.7 92	4.0 15	3.0 11
	回答しない	100.0 3	- -	66.7 2	33.3 1	- -	- -
	無回答	100.0 6	16.7 1	16.7 1	- -	- -	66.7 4
年代別	20代以下	100.0 48	8.3 4	56.3 27	29.2 14	6.3 3	- -
	30代	100.0 45	6.7 3	57.8 26	33.3 15	2.2 1	- -
	40代	100.0 75	9.3 7	60.0 45	20.0 15	10.7 8	- -
	50代	100.0 122	16.4 20	59.8 73	21.3 26	1.6 2	0.8 1
	60代	100.0 139	12.9 18	56.1 78	20.9 29	6.5 9	3.6 5
	70代	100.0 152	12.5 19	49.3 75	29.6 45	5.3 8	3.3 5
	80代以上	100.0 77	10.4 8	42.9 33	29.9 23	11.7 9	5.2 4
	無回答	100.0 6	16.7 1	16.7 1	- -	- -	66.7 4
	職業別	自営業	100.0 91	14.3 13	59.3 54	18.7 17	4.4 4
民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人未満の事業所)		100.0 92	12.0 11	55.4 51	26.1 24	6.5 6	- -
民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人以上の事業所)		100.0 123	13.0 16	59.3 73	24.4 30	3.3 4	- -
公務員		100.0 18	33.3 6	50.0 9	11.1 2	5.6 1	- -
学生		100.0 13	15.4 2	53.8 7	30.8 4	- -	- -
家事専業		100.0 84	11.9 10	53.6 45	26.2 22	3.6 3	4.8 4
無職		100.0 187	9.1 17	46.5 87	30.5 57	10.7 20	3.2 6
その他		100.0 47	8.5 4	63.8 30	23.4 11	2.1 1	2.1 1
無回答		100.0 9	11.1 1	22.2 2	- -	11.1 1	55.6 5
性・年代別	男性	100.0 283	12.7 36	50.9 144	26.1 74	8.8 25	1.4 4
	30代以下	100.0 35	5.7 2	42.9 15	40.0 14	11.4 4	- -
	40代	100.0 33	12.1 4	57.6 19	15.2 5	15.2 5	- -
	50代	100.0 43	18.6 8	48.8 21	27.9 12	2.3 1	2.3 1
	60代	100.0 69	13.0 9	47.8 33	26.1 18	10.1 7	2.9 2
	70代以上	100.0 103	12.6 13	54.4 56	24.3 25	7.8 8	1.0 1
	女性	100.0 372	11.6 43	56.7 211	24.7 92	4.0 15	3.0 11
	30代以下	100.0 57	8.8 5	66.7 38	24.6 14	- -	- -
	40代	100.0 42	7.1 3	61.9 26	23.8 10	7.1 3	- -
	50代	100.0 78	15.4 12	65.4 51	17.9 14	1.3 1	- -
	60代	100.0 70	12.9 9	64.3 45	15.7 11	2.9 2	4.3 3
	70代以上	100.0 125	11.2 14	40.8 51	34.4 43	7.2 9	6.4 8
	回答しない	100.0 3	- -	66.7 2	33.3 1	- -	- -
	無回答	100.0 6	16.7 1	16.7 1	- -	- -	66.7 4

【市民】

第2表 日本の人権に関する問題で関心があるもの（※次ページへ続く）

上段：％、下段：実数

問3	サンプル数	同和問題（部落差別に関する問題）	女性に関する問題	子どもに関する問題	高齢者に関する問題	障がいのある人に関する問題	日本に住んでいる外国人や外国にルーツのある人に関する問題	HIV感染者・ハンセン病回復者などに関する問題	北朝鮮当局による拉致問題	犯罪被害者やその家族に関する問題	インターネットによる人権侵害問題	刑を終えて出所した人やその家族に関する問題	ホームレスに関する問題	
全体	1000 664	24.4 162	38.0 252	40.1 266	44.1 293	42.0 279	8.7 58	6.9 46	23.5 156	17.2 114	39.5 262	11.1 74	8.0 53	
性別	男性	100.0 283	26.1 74	23.3 66	30.7 87	40.3 114	38.5 109	9.9 28	6.7 19	23.3 66	16.3 46	36.0 102	11.0 31	7.8 22
	女性	100.0 372	23.7 88	49.2 183	47.3 176	47.6 177	45.2 168	8.1 30	7.3 27	23.7 88	18.3 68	42.2 157	11.6 43	8.3 31
	回答しない	100.0 3	-	66.7 2	33.3 1	33.3 1	66.7 2	-	-	33.3 1	-	100.0 3	-	-
	無回答	100.0 6	-	16.7 1	33.3 2	16.7 1	-	-	-	16.7 1	-	-	-	-
	20代以下	100.0 48	22.9 11	54.2 26	58.3 28	25.0 12	41.7 20	12.5 6	6.3 3	4.2 2	14.6 7	39.6 19	10.4 5	6.3 3
30代	100.0 45	22.2 10	66.7 30	62.2 28	20.0 9	46.7 21	13.3 6	6.7 3	13.3 6	20.0 9	51.1 23	8.9 4	6.7 3	
40代	100.0 75	24.0 18	54.7 41	54.7 41	36.0 27	54.7 41	14.7 11	9.3 7	20.0 15	25.3 19	58.7 44	20.0 15	16.0 12	
50代	100.0 122	27.0 33	43.4 53	42.6 52	41.0 50	42.6 52	11.5 14	8.2 10	19.7 24	22.1 27	61.5 75	10.7 13	5.7 7	
60代	100.0 139	32.4 45	36.7 51	38.1 53	41.0 57	49.6 69	10.1 14	5.8 8	28.8 40	16.5 23	39.6 55	11.5 16	7.2 10	
70代	100.0 152	21.1 32	25.7 39	30.3 46	57.9 88	40.8 62	2.6 4	7.9 12	32.9 50	12.5 19	23.0 35	8.6 13	7.2 11	
80代以上	100.0 77	16.9 13	14.3 11	20.8 16	63.6 49	18.2 14	3.9 3	3.9 3	23.4 18	13.0 10	14.3 11	10.4 8	9.1 7	
無回答	100.0 6	-	16.7 1	33.3 2	16.7 1	-	-	-	16.7 1	-	-	-	-	
職業別	自営業	100.0 91	24.2 22	38.5 35	39.6 36	45.1 41	50.5 46	13.2 12	9.9 9	29.7 27	20.9 19	15.4 14	9.9 9	
	民間の企業や団体に勤務する人（従業員が30人未満の事業所）	100.0 92	26.1 24	45.7 42	42.4 39	38.0 35	48.9 45	13.0 12	6.5 6	18.5 17	18.5 17	53.3 49	14.1 13	8.7 8
	民間の企業や団体に勤務する人（従業員が30人以上の事業所）	100.0 123	26.0 32	49.6 61	53.7 66	31.7 39	43.9 54	11.4 14	7.3 9	19.5 24	18.7 23	42.3 52	11.4 14	6.5 8
	公務員	100.0 18	55.6 10	44.4 8	50.0 9	44.4 8	55.6 10	22.2 4	16.7 3	22.2 4	16.7 3	66.7 12	22.2 4	27.8 5
	学生	100.0 13	15.4 2	38.5 5	38.5 5	23.1 3	53.8 7	23.1 3	15.4 2	7.7 1	30.8 4	53.8 7	15.4 2	7.7 1
	家事専業	100.0 84	27.4 23	45.2 38	41.7 35	50.0 42	42.9 36	7.1 6	7.1 6	27.4 23	17.9 15	40.5 34	6.0 5	8.3 7
	無職	100.0 187	19.8 37	22.5 42	28.9 54	53.5 100	33.2 62	2.7 5	5.3 10	27.3 51	14.4 27	26.2 49	9.6 18	8.0 15
	その他	100.0 47	23.4 11	40.4 19	42.6 20	48.9 23	40.4 19	4.3 2	2.1 1	14.9 7	12.8 6	40.4 19	8.5 4	-
	無回答	100.0 9	11.1 1	22.2 2	22.2 2	22.2 2	-	-	-	22.2 2	-	-	-	-
	性・年代別	男性	100.0 283	26.1 74	23.3 66	30.7 87	40.3 114	38.5 109	9.9 28	6.7 19	23.3 66	16.3 46	36.0 102	11.0 31
30代以下		100.0 35	20.0 7	42.9 15	37.1 13	25.7 9	40.0 14	8.6 3	2.9 1	5.7 2	8.6 3	42.9 15	5.7 2	8.6 3
40代		100.0 33	27.3 9	36.4 12	45.5 15	36.4 12	51.5 17	18.2 6	9.1 3	18.2 6	24.2 8	51.5 17	24.2 8	18.2 6
50代		100.0 43	34.9 15	14.0 6	25.6 11	23.3 10	32.6 14	14.0 6	7.0 3	20.9 9	16.3 7	58.1 25	11.6 5	2.3 1
60代		100.0 69	30.4 21	21.7 15	24.6 17	36.2 25	43.5 30	14.5 10	7.2 5	29.0 20	18.8 13	31.9 22	11.6 8	5.8 4
70代以上		100.0 103	21.4 22	17.5 18	30.1 31	56.3 58	33.0 34	2.9 3	6.8 7	28.2 29	14.6 15	22.3 23	7.8 8	7.8 8
女性		100.0 372	23.7 88	49.2 183	47.3 176	47.6 177	45.2 168	8.1 30	7.3 27	23.7 88	18.3 68	42.2 157	11.6 43	8.3 31
30代以下		100.0 57	24.6 14	70.2 40	73.7 42	19.3 11	45.6 26	15.8 9	8.8 5	10.5 6	22.8 13	45.6 26	12.3 7	5.3 3
40代		100.0 42	21.4 9	69.0 29	61.9 26	35.7 15	57.1 24	11.9 5	9.5 4	21.4 9	26.2 11	64.3 27	16.7 7	14.3 6
50代		100.0 78	23.1 18	59.0 46	52.6 41	51.3 40	47.4 37	10.3 8	9.0 7	19.2 15	25.6 20	62.8 49	10.3 8	7.7 6
60代		100.0 70	34.3 24	51.4 36	51.4 36	45.7 32	55.7 39	5.7 4	4.3 3	28.6 20	14.3 10	47.1 33	11.4 8	8.6 6
70代以上		100.0 125	18.4 23	25.6 32	24.8 31	63.2 79	33.6 42	3.2 4	6.4 8	30.4 38	11.2 14	17.6 22	10.4 13	8.0 10
回答しない		100.0 3	-	66.7 2	33.3 1	33.3 1	66.7 2	-	-	33.3 1	-	100.0 3	-	-
無回答		100.0 6	-	16.7 1	33.3 2	16.7 1	-	-	-	16.7 1	-	-	-	-

【市民】

第2表 日本の人権に関する問題で関心があるもの（※前ページの続き）

上段：％、下段：実数

問3	サンプル数	アイヌの人々に関する問題	性的少数者に関する問題	新型コロナウイルス感染症による人権侵害に関する問題	人身取引（トラフィックン）に関する問題	原発事故による放射線被ばく風評被害に関する問題	ヘイトスピーチにかかわる問題	その他	特にない・わからない	無回答	
全体	100.0 664	3.3 22	11.1 74	26.5 176	9.9 66	12.0 80	8.9 59	0.9 6	9.2 61	1.8 12	
性別	男性	100.0 283	3.5 10	7.8 22	25.1 71	8.8 25	13.4 38	10.2 29	0.4 1	12.7 36	1.1 3
	女性	100.0 372	3.2 12	14.0 52	28.0 104	10.8 40	11.0 41	7.8 29	1.3 5	6.7 25	1.3 5
	回答しない	100.0 3	-	-	-	33.3 1	-	33.3 1	-	-	-
	無回答	100.0 6	-	-	16.7 1	-	16.7 1	-	-	-	66.7 4
年代別	20代以下	100.0 48	2.1 1	25.0 12	20.8 10	4.2 2	4.2 2	6.3 3	-	12.5 6	-
	30代	100.0 45	2.2 1	31.1 14	28.9 13	17.8 8	6.7 3	8.9 4	-	8.9 4	-
	40代	100.0 75	5.3 4	17.3 13	38.7 29	17.3 13	12.0 9	16.0 12	1.3 1	8.0 6	1.3 1
	50代	100.0 122	4.1 5	12.3 15	22.1 27	10.7 13	11.5 14	9.8 12	0.8 1	7.4 9	0.8 1
	60代	100.0 139	3.6 5	7.2 10	25.2 35	10.8 15	11.5 16	10.8 15	2.2 3	10.1 14	-
	70代	100.0 152	2.0 3	4.6 7	26.3 40	6.6 10	15.1 23	7.2 11	0.7 1	8.6 13	1.3 2
	80代以上	100.0 77	3.9 3	3.9 3	27.3 21	6.5 5	15.6 12	2.6 2	-	11.7 9	5.2 4
	無回答	100.0 6	-	-	16.7 1	-	16.7 1	-	-	-	66.7 4
	職業別	自営業	100.0 91	2.2 2	7.7 7	25.3 23	11.0 10	16.5 15	12.1 11	-	5.5 5
民間の企業や団体に勤務する人 （従業員が30人未満の事業所）		100.0 92	4.3 4	19.6 18	25.0 23	12.0 11	7.6 7	10.9 10	2.2 2	8.7 8	-
民間の企業や団体に勤務する人 （従業員が30人以上の事業所）		100.0 123	3.3 4	14.6 18	30.1 37	12.2 15	6.5 8	8.1 10	0.8 1	7.3 9	-
公務員		100.0 18	11.1 2	50.0 9	16.7 3	16.7 3	16.7 3	22.2 4	5.6 1	-	-
学生		100.0 13	7.7 1	15.4 2	15.4 2	7.7 1	15.4 2	15.4 2	-	23.1 3	-
家事専業		100.0 84	2.4 2	11.9 10	25.0 21	11.9 10	9.5 8	2.4 2	1.2 1	8.3 7	1.2 1
無職		100.0 187	3.7 7	4.8 9	27.3 51	8.0 15	16.0 30	9.6 18	0.5 1	12.8 24	2.7 5
その他		100.0 47	-	2.1 1	29.8 14	2.1 1	12.8 6	4.3 2	-	8.5 4	-
無回答		100.0 9	-	-	22.2 2	-	11.1 1	-	-	11.1 1	55.6 5
性・年代別		男性	100.0 283	3.5 10	7.8 22	25.1 71	8.8 25	13.4 38	10.2 29	0.4 1	12.7 36
	30代以下	100.0 35	-	14.3 5	25.7 9	2.9 1	5.7 2	8.6 3	-	22.9 8	-
	40代	100.0 33	3.0 1	12.1 4	42.4 14	18.2 6	9.1 3	18.2 6	-	15.2 5	-
	50代	100.0 43	4.7 2	9.3 4	16.3 7	14.0 6	7.0 3	9.3 4	-	7.0 3	2.3 1
	60代	100.0 69	5.8 4	8.7 6	17.4 12	11.6 8	11.6 8	14.5 10	1.4 1	14.5 10	-
	70代以上	100.0 103	2.9 3	2.9 3	28.2 29	3.9 4	21.4 22	5.8 6	-	9.7 10	1.9 2
	女性	100.0 372	3.2 12	14.0 52	28.0 104	10.8 40	11.0 41	7.8 29	1.3 5	6.7 25	1.3 5
	30代以下	100.0 57	3.5 2	36.8 21	24.6 14	15.8 9	5.3 3	5.3 3	-	3.5 2	-
	40代	100.0 42	7.1 3	21.4 9	35.7 15	16.7 7	14.3 6	14.3 6	2.4 1	2.4 1	2.4 1
	50代	100.0 78	3.8 3	14.1 11	25.6 20	9.0 7	14.1 11	10.3 8	1.3 1	7.7 6	-
	60代	100.0 70	1.4 1	5.7 4	32.9 23	10.0 7	11.4 8	7.1 5	2.9 2	5.7 4	-
	70代以上	100.0 125	2.4 3	5.6 7	25.6 32	8.0 10	10.4 13	5.6 7	0.8 1	9.6 12	3.2 4
	回答しない	100.0 3	-	-	-	33.3 1	-	33.3 1	-	-	-
	無回答	100.0 6	-	-	16.7 1	-	16.7 1	-	-	-	66.7 4

【市民】

第3表 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)の認知状況

上段：％、下段：実数

問4(ア)	サンプル数	知っている	名前は聞いたことがあるが、内容は知らない	知らない	無回答	
全体	100.0 664	13.7 91	35.4 235	48.8 324	2.1 14	
性別	男性	100.0 283	13.8 39	37.1 105	48.4 137	0.7 2
	女性	100.0 372	13.4 50	33.6 125	49.7 185	3.2 12
	回答しない	100.0 3	-	66.7 2	33.3 1	-
	無回答	100.0 6	33.3 2	50.0 3	16.7 1	-
年代別	20代以下	100.0 48	16.7 8	31.3 15	52.1 25	-
	30代	100.0 45	6.7 3	26.7 12	64.4 29	2.2 1
	40代	100.0 75	12.0 9	24.0 18	62.7 47	1.3 1
	50代	100.0 122	16.4 20	38.5 47	44.3 54	0.8 1
	60代	100.0 139	10.8 15	36.0 50	49.6 69	3.6 5
	70代	100.0 152	17.1 26	38.8 59	42.8 65	1.3 2
	80代以上	100.0 77	10.4 8	40.3 31	44.2 34	5.2 4
	無回答	100.0 6	33.3 2	50.0 3	16.7 1	-
	職業別	自営業	100.0 91	12.1 11	40.7 37	45.1 41
民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人未満の事業所)	100.0 92	9.8 9	34.8 32	54.3 50	1.1 1	
民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人以上の事業所)	100.0 123	10.6 13	32.5 40	55.3 68	1.6 2	
公務員	100.0 18	61.1 11	16.7 3	22.2 4	-	
学生	100.0 13	23.1 3	38.5 5	38.5 5	-	
家事専業	100.0 84	11.9 10	39.3 33	45.2 38	3.6 3	
無職	100.0 187	12.8 24	35.3 66	49.7 93	2.1 4	
その他	100.0 47	14.9 7	34.0 16	46.8 22	4.3 2	
無回答	100.0 9	33.3 3	33.3 3	33.3 3	-	

問4(ア)	サンプル数	知っている	名前は聞いたことがあるが、内容は知らない	知らない	無回答	
性別・年代別	男性	100.0 283	13.8 39	37.1 105	48.4 137	0.7 2
	30代以下	100.0 35	8.6 3	22.9 8	68.6 24	-
	40代	100.0 33	12.1 4	30.3 10	57.6 19	-
	50代	100.0 43	18.6 8	34.9 15	46.5 20	-
	60代	100.0 69	13.0 9	39.1 27	46.4 32	1.4 1
	70代以上	100.0 103	14.6 15	43.7 45	40.8 42	1.0 1
	女性	100.0 372	13.4 50	33.6 125	49.7 185	3.2 12
	30代以下	100.0 57	14.0 8	31.6 18	52.6 30	1.8 1
	40代	100.0 42	11.9 5	19.0 8	66.7 28	2.4 1
	50代	100.0 78	15.4 12	39.7 31	43.6 34	1.3 1
	60代	100.0 70	8.6 6	32.9 23	52.9 37	5.7 4
	70代以上	100.0 125	15.2 19	36.0 45	44.8 56	4.0 5
	回答しない	100.0 3	-	66.7 2	33.3 1	-
	無回答	100.0 6	33.3 2	50.0 3	16.7 1	-

【市民】

第4表 本邦外出身者に対する不当な差別的発言の解消に向けた取組の推進に関する法律
(ヘイトスピーチ解消法)の認知状況

上段：％、下段：実数

問4(イ)	サンプル数	知っている	名前や内容は聞いたことがあるが、知らない	知らない	無回答
全体	100.0 664	12.0 80	30.6 203	54.4 361	3.0 20
性別					
男性	100.0 283	14.1 40	32.9 93	52.3 148	0.7 2
女性	100.0 372	10.2 38	28.8 107	56.5 210	4.6 17
回答しない	100.0 3	33.3 1	33.3 1	33.3 1	- -
無回答	100.0 6	16.7 1	33.3 2	33.3 2	16.7 1
年代別					
20代以下	100.0 48	10.4 5	25.0 12	64.6 31	- -
30代	100.0 45	4.4 2	26.7 12	66.7 30	2.2 1
40代	100.0 75	4.0 3	29.3 22	65.3 49	1.3 1
50代	100.0 122	16.4 20	38.5 47	44.3 54	0.8 1
60代	100.0 139	10.8 15	31.7 44	54.0 75	3.6 5
70代	100.0 152	17.8 27	30.3 46	50.0 76	2.0 3
80代以上	100.0 77	9.1 7	23.4 18	57.1 44	10.4 8
無回答	100.0 6	16.7 1	33.3 2	33.3 2	16.7 1
職業別					
自営業	100.0 91	12.1 11	36.3 33	48.4 44	3.3 3
民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人未満の事業所)	100.0 92	8.7 8	41.3 38	48.9 45	1.1 1
民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人以上の事業所)	100.0 123	8.1 10	26.8 33	63.4 78	1.6 2
公務員	100.0 18	33.3 6	38.9 7	27.8 5	- -
学生	100.0 13	15.4 2	38.5 5	46.2 6	- -
家事専業	100.0 84	7.1 6	33.3 28	57.1 48	2.4 2
無職	100.0 187	14.4 27	25.1 47	56.1 105	4.3 8
その他	100.0 47	17.0 8	21.3 10	55.3 26	6.4 3
無回答	100.0 9	22.2 2	22.2 2	44.4 4	11.1 1

問4(イ)	サンプル数	知っている	名前や内容は聞いたことがあるが、知らない	知らない	無回答
性別					
男性	100.0 283	14.1 40	32.9 93	52.3 148	0.7 2
30代以下	100.0 35	8.6 3	31.4 11	60.0 21	- -
40代	100.0 33	9.1 3	27.3 9	63.6 21	- -
50代	100.0 43	16.3 7	34.9 15	48.8 21	- -
60代	100.0 69	11.6 8	39.1 27	47.8 33	1.4 1
70代以上	100.0 103	18.4 19	30.1 31	50.5 52	1.0 1
女性	100.0 372	10.2 38	28.8 107	56.5 210	4.6 17
30代以下	100.0 57	5.3 3	22.8 13	70.2 40	1.8 1
40代	100.0 42	- -	31.0 13	66.7 28	2.4 1
50代	100.0 78	16.7 13	39.7 31	42.3 33	1.3 1
60代	100.0 70	10.0 7	24.3 17	60.0 42	5.7 4
70代以上	100.0 125	12.0 15	26.4 33	53.6 67	8.0 10
回答しない	100.0 3	33.3 1	33.3 1	33.3 1	- -
無回答	100.0 6	16.7 1	33.3 2	33.3 2	16.7 1

【市民】

第5表 部落差別の解消の推進に関する法律(部落差別解消推進法)の認知状況

上段：％、下段：実数

問4(ウ)	サンプル数	知っている	名前は聞いたことがあるが、内容は知らない	知らない	無回答	
全体	100.0 664	20.3 135	34.9 232	42.2 280	2.6 17	
性別	男性	100.0 283	21.2 60	36.0 102	41.0 116	1.8 5
	女性	100.0 372	19.9 74	33.6 125	43.3 161	3.2 12
	回答しない	100.0 3	-	66.7 2	33.3 1	-
	無回答	100.0 6	16.7 1	50.0 3	33.3 2	-
年代別	20代以下	100.0 48	20.8 10	25.0 12	54.2 26	-
	30代	100.0 45	2.2 1	31.1 14	64.4 29	2.2 1
	40代	100.0 75	14.7 11	30.7 23	53.3 40	1.3 1
	50代	100.0 122	26.2 32	38.5 47	34.4 42	0.8 1
	60代	100.0 139	18.0 25	38.8 54	40.3 56	2.9 4
	70代	100.0 152	24.3 37	36.8 56	35.5 54	3.3 5
	80代以上	100.0 77	23.4 18	29.9 23	40.3 31	6.5 5
	無回答	100.0 6	16.7 1	50.0 3	33.3 2	-
	職業別	自営業	100.0 91	23.1 21	34.1 31	38.5 35
民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人未満の事業所)	100.0 92	15.2 14	39.1 36	44.6 41	1.1 1	
民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人以上の事業所)	100.0 123	12.2 15	35.0 43	51.2 63	1.6 2	
公務員	100.0 18	55.6 10	33.3 6	11.1 2	-	
学生	100.0 13	30.8 4	30.8 4	38.5 5	-	
家事専業	100.0 84	20.2 17	35.7 30	41.7 35	2.4 2	
無職	100.0 187	22.5 42	33.7 63	41.2 77	2.7 5	
その他	100.0 47	21.3 10	34.0 16	38.3 18	6.4 3	
無回答	100.0 9	22.2 2	33.3 3	44.4 4	-	

問4(ウ)	サンプル数	知っている	名前は聞いたことがあるが、内容は知らない	知らない	無回答	
性別・年代別	男性	100.0 283	21.2 60	36.0 102	41.0 116	1.8 5
	30代以下	100.0 35	14.3 5	22.9 8	62.9 22	-
	40代	100.0 33	18.2 6	24.2 8	57.6 19	-
	50代	100.0 43	20.9 9	46.5 20	32.6 14	-
	60代	100.0 69	17.4 12	40.6 28	40.6 28	1.4 1
	70代以上	100.0 103	27.2 28	36.9 38	32.0 33	3.9 4
	女性	100.0 372	19.9 74	33.6 125	43.3 161	3.2 12
	30代以下	100.0 57	10.5 6	29.8 17	57.9 33	1.8 1
	40代	100.0 42	11.9 5	35.7 15	50.0 21	2.4 1
	50代	100.0 78	29.5 23	33.3 26	35.9 28	1.3 1
	60代	100.0 70	18.6 13	37.1 26	40.0 28	4.3 3
	70代以上	100.0 125	21.6 27	32.8 41	40.8 51	4.8 6
	回答しない	100.0 3	-	66.7 2	33.3 1	-
	無回答	100.0 6	16.7 1	50.0 3	33.3 2	-

【市民】

第6表 これまでに、自分の人権が侵害されたと思ったことがあるか（※次ページへ続く）

上段：％、下段：実数

問5	サンプル数	根拠のない悪い噂、他人からの悪口、かげ口	仲間はずれ、嫌がらせ	名誉・信用のき損、侮辱	差別的待遇（人種・信条・社会的益の取り扱いをされた）	暴力や虐待	脅迫、強要（本来義務のないことをさせられたり、権利の行使を妨害されたり）	他人に知られたくない個人的事項の侵害（プライバシーの侵害）	公的機関や福祉施設、企業などによる不当な待遇	職務上の地位などを背景にした嫌がらせ（パワーハラスメント）	性的嫌がらせ（セクシュアルハラスメント）	V 配偶者や恋人等からの暴力（DV）	特定の人（ストーカー）	悪臭・騒音等の公害	
全体	1000 664	23.2 154	16.3 108	6.8 45	4.8 32	2.9 19	3.6 24	9.2 61	4.5 30	9.9 66	3.0 20	3.2 21	2.0 13	5.6 37	
性別	男性	100.0 283	19.1 54	12.0 34	10.6 30	4.2 12	2.5 7	4.9 14	8.8 25	4.9 14	11.0 31	0.7 2	1.1 3	1.8 5	5.7 16
	女性	100.0 372	26.6 99	19.9 74	4.0 15	5.4 20	3.2 12	2.7 10	9.4 35	4.3 16	9.4 35	4.8 18	4.8 18	2.2 8	5.4 20
	回答しない	100.0 3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3 1
	無回答	100.0 6	16.7 1	-	-	-	-	-	16.7 1	-	-	-	-	-	-
年代別	20代以下	100.0 48	39.6 19	29.2 14	8.3 4	4.2 2	4.2 2	12.5 6	-	10.4 5	4.2 2	2.1 1	-	2.1 1	
	30代	100.0 45	37.8 17	31.1 14	6.7 3	8.9 4	4.4 2	6.7 3	15.6 7	2.2 1	11.1 5	8.9 4	6.7 3	11.1 5	
	40代	100.0 75	37.3 28	28.0 21	6.7 5	5.3 4	8.0 6	6.7 5	18.7 14	8.0 6	17.3 13	10.7 8	5.3 4	6.7 5	
	50代	100.0 122	21.3 26	19.7 24	9.0 11	6.6 8	4.1 5	6.6 8	7.4 9	7.4 9	17.2 21	4.9 6	4.1 5	2.5 3	5.7 7
	60代	100.0 139	16.5 23	11.5 16	7.2 10	5.8 8	0.7 1	2.2 3	5.0 7	4.3 6	7.9 11	-	2.2 3	1.4 2	4.3 6
	70代	100.0 152	17.8 27	9.2 14	6.6 10	2.6 4	1.3 2	0.7 1	6.6 10	3.3 5	5.9 9	-	2.6 4	0.7 1	5.9 9
	80代以上	100.0 77	16.9 13	6.5 5	2.6 2	2.6 2	1.3 1	2.6 2	9.1 7	3.9 3	2.6 2	-	1.3 1	-	5.2 4
	無回答	100.0 6	16.7 1	-	-	-	-	-	16.7 1	-	-	-	-	-	-
	職業別	自営業	100.0 91	22.0 20	18.7 17	8.8 8	3.3 3	4.4 4	3.3 3	8.8 8	3.3 3	12.1 11	4.4 4	1.1 1	7.7 7
民間の企業や団体に勤務する人 （従業員が30人未満の事業所）		100.0 92	26.1 24	17.4 16	8.7 8	5.4 5	6.5 6	5.4 5	12.0 11	3.3 3	13.0 12	2.2 2	5.4 5	6.5 6	
民間の企業や団体に勤務する人 （従業員が30人以上の事業所）		100.0 123	32.5 40	26.0 32	4.9 6	6.5 8	3.3 4	4.9 6	10.6 13	7.3 9	16.3 20	4.1 5	4.9 6	4.9 6	
公務員		100.0 18	22.2 4	16.7 3	11.1 2	5.6 2	-	5.6 1	16.7 3	5.6 1	5.6 1	11.1 2	-	5.6 1	
学生		100.0 13	38.5 5	30.8 4	15.4 2	-	-	7.7 1	15.4 2	-	-	-	-	-	
家事専業		100.0 84	25.0 21	20.2 17	7.1 6	9.5 8	4.8 4	6.0 5	4.8 4	4.8 4	6.0 5	4.8 4	7.1 6	2.4 2	4.8 4
無職		100.0 187	17.6 33	9.1 17	5.9 11	3.2 6	0.5 1	1.6 3	7.5 14	4.3 8	7.5 14	-	1.6 3	1.1 2	4.8 9
その他		100.0 47	12.8 6	4.3 2	4.3 2	2.1 1	-	-	10.6 5	4.3 2	6.4 3	6.4 3	-	2.1 1	6.4 3
無回答		100.0 9	11.1 1	-	-	-	-	-	11.1 1	-	-	-	-	-	-
性・年代別		男性	100.0 283	19.1 54	12.0 34	10.6 30	4.2 12	2.5 7	4.9 14	8.8 25	4.9 14	11.0 31	0.7 2	1.1 3	1.8 5
	30代以下	100.0 35	28.6 10	14.3 5	14.3 5	2.9 1	2.9 1	8.6 3	8.6 3	-	11.4 4	-	-	-	-
	40代	100.0 33	39.4 13	24.2 8	12.1 4	9.1 3	3.0 1	12.1 4	24.2 8	9.1 3	15.2 5	6.1 2	3.0 1	12.1 4	3.0 1
	50代	100.0 43	11.6 5	11.6 5	11.6 5	7.0 3	2.3 1	7.0 3	4.7 2	7.0 3	14.0 6	-	-	-	7.0 3
	60代	100.0 69	15.9 11	8.7 6	11.6 8	2.9 2	1.4 1	1.4 1	7.2 5	4.3 3	10.1 7	-	-	1.4 1	7.2 5
	70代以上	100.0 103	14.6 15	9.7 10	7.8 8	2.9 3	2.9 3	2.9 3	6.8 7	4.9 5	8.7 9	-	1.9 2	-	6.8 7
	女性	100.0 372	26.6 99	19.9 74	4.0 15	5.4 20	3.2 12	2.7 10	9.4 35	4.3 16	9.4 35	4.8 18	4.8 18	2.2 8	5.4 20
	30代以下	100.0 57	45.6 26	40.4 23	3.5 2	8.8 5	5.3 3	3.5 2	17.5 10	1.8 1	10.5 6	10.5 6	7.0 4	5.3 3	10.5 6
	40代	100.0 42	35.7 15	31.0 13	2.4 1	2.4 1	11.9 5	2.4 1	14.3 6	7.1 3	19.0 8	14.3 6	7.1 3	-	9.5 4
	50代	100.0 78	26.9 21	24.4 19	7.7 6	6.4 5	5.1 4	6.4 5	9.0 7	7.7 6	19.2 15	7.7 6	6.4 5	3.8 3	5.1 4
	60代	100.0 70	17.1 12	14.3 10	2.9 2	8.6 6	-	2.9 2	2.9 2	4.3 2	5.7 4	-	4.3 3	1.4 1	1.4 1
	70代以上	100.0 125	20.0 25	7.2 9	3.2 4	2.4 3	-	-	8.0 10	2.4 3	1.6 2	-	2.4 3	0.8 1	4.0 5
	回答しない	100.0 3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3 1
無回答	100.0 6	16.7 1	-	-	-	-	-	16.7 1	-	-	-	-	-	-	

【市民】

第6表 これまでに、自己的人権が侵害されたと思ったことがあるか（※前ページの続き）

上段：％、下段：実数

問5		サンプル数	その他	答えたくない	特にない・わからない	無回答
全体		100.0 664	1.4 9	2.0 13	49.8 331	5.1 34
性別	男性	100.0 283	1.4 4	1.8 5	52.3 148	4.2 12
	女性	100.0 372	1.3 5	1.9 7	48.1 179	5.4 20
	回答しない	100.0 3	- -	33.3 1	33.3 1	- -
	無回答	100.0 6	- -	- -	50.0 3	33.3 2
年代別	20代以下	100.0 48	- -	4.2 2	37.5 18	- -
	30代	100.0 45	4.4 2	2.2 1	35.6 16	2.2 1
	40代	100.0 75	- -	2.7 2	37.3 28	4.0 3
	50代	100.0 122	2.5 3	0.8 1	45.1 55	2.5 3
	60代	100.0 139	0.7 1	2.2 3	55.4 77	6.5 9
	70代	100.0 152	0.7 1	2.0 3	59.2 90	5.9 9
	80代以上	100.0 77	2.6 2	1.3 1	57.1 44	9.1 7
	無回答	100.0 6	- -	- -	50.0 3	33.3 2
職業別	自営業	100.0 91	1.1 1	2.2 2	44.0 40	8.8 8
	民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人未満の事業所)	100.0 92	- -	- -	50.0 46	1.1 1
	民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人以上の事業所)	100.0 123	0.8 1	2.4 3	38.2 47	1.6 2
	公務員	100.0 18	- -	5.6 1	50.0 9	- -
	学生	100.0 13	- -	7.7 1	38.5 5	- -
	家事専業	100.0 84	2.4 2	- -	57.1 48	4.8 4
	無職	100.0 187	2.7 5	2.7 5	56.7 106	5.9 11
	その他	100.0 47	- -	2.1 1	55.3 26	8.5 4
	無回答	100.0 9	- -	- -	44.4 4	44.4 4
性別・年代別	男性	100.0 283	1.4 4	1.8 5	52.3 148	4.2 12
	30代以下	100.0 35	2.9 1	2.9 1	45.7 16	- -
	40代	100.0 33	- -	- -	42.4 14	3.0 1
	50代	100.0 43	2.3 1	- -	53.5 23	2.3 1
	60代	100.0 69	- -	1.4 1	58.0 40	2.9 2
	70代以上	100.0 103	1.9 2	2.9 3	53.4 55	7.8 8
	女性	100.0 372	1.3 5	1.9 7	48.1 179	5.4 20
	30代以下	100.0 57	1.8 1	1.8 1	31.6 18	1.8 1
	40代	100.0 42	- -	4.8 2	33.3 14	4.8 2
	50代	100.0 78	2.6 2	1.3 1	39.7 31	2.6 2
	60代	100.0 70	1.4 1	2.9 2	52.9 37	10.0 7
	70代以上	100.0 125	0.8 1	0.8 1	63.2 79	6.4 8
	回答しない	100.0 3	- -	33.3 1	33.3 1	- -
	無回答	100.0 6	- -	- -	50.0 3	33.3 2

【市民】

第7表 人権を侵害されたとき、どうしたか

上段%、下段：実数

問6	サンプル数	家族や親類に相談した	友人や先輩に相談した	自治会の役員や民生委員に相談した	人権擁護委員や法務局に相談した	県や市町村など行政に相談した	弁護士に相談した	警察に相談した	NPOなどの民間団体に相談した	職場の相談窓口相談した	相手に直接抗議した	その他	特に何もしなかった	無回答	
全体	100.0 286	31.8 91	31.5 90	3.1 9	0.3 1	3.8 11	2.4 7	5.9 17	-	2.4 7	12.9 37	2.8 8	37.1 106	2.1 6	
性別	男性	100.0 118	22.9 27	26.3 31	5.1 6	-	5.1 6	2.5 3	5.1 6	-	4.2 5	11.9 14	3.4 4	41.5 49	3.4 4
	女性	100.0 166	38.0 63	35.5 59	0.6 1	-	2.4 4	2.4 4	6.0 10	-	1.2 2	13.3 22	2.4 4	34.3 57	1.2 2
	回答しない	100.0 1	-	-	100.0 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	100.0 1	100.0 1	-	100.0 1	100.0 1	100.0 1	-	100.0 1	-	-	100.0 1	-	-	-
年代別	20代以下	100.0 28	35.7 10	39.3 11	-	-	3.6 1	-	-	-	3.6 1	14.3 4	-	32.1 9	3.6 1
	30代	100.0 27	55.6 15	51.9 14	-	-	-	3.7 1	-	-	-	11.1 3	7.4 2	25.9 7	3.7 1
	40代	100.0 42	33.3 14	38.1 16	2.4 1	-	4.8 2	7.1 3	4.8 2	-	2.4 1	14.3 6	2.4 1	38.1 16	-
	50代	100.0 63	31.7 20	36.5 23	3.2 2	-	1.6 1	3.2 2	7.9 5	-	6.3 4	9.5 6	3.2 2	28.6 18	1.6 1
	60代	100.0 50	24.0 12	24.0 12	-	-	4.0 2	-	2.0 1	-	-	14.0 7	2.0 1	46.0 23	2.0 1
	70代	100.0 50	28.0 14	22.0 11	4.0 2	-	6.0 3	4.0 2	8.0 4	-	-	12.0 6	2.0 1	38.0 19	2.0 1
	80代以上	100.0 25	20.0 5	12.0 3	12.0 3	-	4.0 1	-	12.0 3	-	4.0 1	16.0 4	4.0 1	56.0 14	4.0 1
	無回答	100.0 1	100.0 1	-	100.0 1	100.0 1	100.0 1	-	100.0 1	-	-	100.0 1	-	-	-
	職業別	自営業	100.0 41	31.7 13	26.8 11	-	-	7.3 3	4.9 2	2.4 1	-	-	9.8 4	7.3 3	34.1 14
民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人未満の事業所)		100.0 45	35.6 16	42.2 19	2.2 1	-	-	-	8.9 4	-	4.4 2	15.6 7	-	28.9 13	2.2 1
民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人以上の事業所)		100.0 71	28.2 20	35.2 25	1.4 1	-	-	1.4 1	4.2 3	-	4.2 3	16.9 12	2.8 2	32.4 23	4.2 3
公務員		100.0 8	37.5 3	12.5 1	12.5 1	-	-	12.5 1	-	-	12.5 1	-	12.5 1	50.0 4	-
学生		100.0 7	42.9 3	57.1 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	42.9 3	-
家事専業		100.0 32	37.5 12	31.3 10	3.1 1	-	6.3 2	6.3 2	6.3 2	-	-	15.6 5	-	34.4 11	-
無職		100.0 65	26.2 17	23.1 15	6.2 4	-	4.6 3	-	9.2 6	-	1.5 1	12.3 8	1.5 1	47.7 31	1.5 1
その他		100.0 16	37.5 6	31.3 5	-	-	12.5 2	6.3 1	-	-	-	-	6.3 1	43.8 7	-
無回答		100.0 1	100.0 1	-	100.0 1	100.0 1	100.0 1	-	100.0 1	-	-	100.0 1	-	-	-
性・年代別	男性	100.0 118	22.9 27	26.3 31	5.1 6	-	5.1 6	2.5 3	5.1 6	-	4.2 5	11.9 14	3.4 4	41.5 49	3.4 4
	30代以下	100.0 18	33.3 6	44.4 8	-	-	5.6 1	-	-	-	5.6 1	-	-	38.9 7	11.1 2
	40代	100.0 18	38.9 7	44.4 8	5.6 1	-	5.6 1	5.6 1	5.6 1	-	5.6 1	22.2 4	5.6 1	33.3 6	-
	50代	100.0 19	10.5 2	26.3 5	5.3 1	-	5.3 1	5.3 1	5.3 1	-	10.5 2	5.3 1	-	42.1 8	-
	60代	100.0 26	11.5 3	15.4 4	-	-	7.7 2	-	-	-	-	19.2 5	3.8 1	53.8 14	-
	70代以上	100.0 37	24.3 9	16.2 6	10.8 4	-	2.7 1	2.7 1	10.8 4	-	2.7 1	10.8 4	5.4 2	37.8 14	5.4 2
	女性	100.0 166	38.0 63	35.5 59	0.6 1	-	2.4 4	2.4 4	6.0 10	-	1.2 2	13.3 22	2.4 4	34.3 57	1.2 2
	30代以下	100.0 37	51.4 19	45.9 17	-	-	-	-	2.7 1	-	-	18.9 7	5.4 2	24.3 9	-
	40代	100.0 24	29.2 7	33.3 8	-	-	4.2 1	8.3 2	4.2 1	-	-	8.3 2	-	41.7 10	-
	50代	100.0 44	40.9 18	40.9 18	2.3 1	-	-	2.3 1	9.1 4	-	4.5 2	11.4 5	4.5 2	22.7 10	2.3 1
	60代	100.0 24	37.5 9	33.3 8	-	-	-	-	4.2 1	-	-	8.3 2	-	37.5 9	4.2 1
	70代以上	100.0 37	27.0 10	21.6 8	-	-	8.1 3	2.7 1	8.1 3	-	-	16.2 6	-	51.4 19	-
	回答しない	100.0 1	-	-	100.0 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	100.0 1	100.0 1	-	100.0 1	100.0 1	100.0 1	-	100.0 1	-	-	100.0 1	-	-	-

【市民】

第8表 同和問題は自分に関係のある問題だと思うか

上段：％、下段：実数

問7(ア)	サンプル数	思 自 分 に 関 係 の あ る 問 題 だ と	思 自 分 に 関 係 の あ る 問 題 だ と	無 回 答		
全体	100.0 664	25.0 166	66.7 443	8.3 55		
性別	男性	100.0 283	24.0 68	71.4 202	4.6 13	
	女性	100.0 372	25.8 96	62.9 234	11.3 42	
	回答しない	100.0 3	33.3 1	66.7 2	- -	
	無回答	100.0 6	16.7 1	83.3 5	- -	
年代別	20代以下	100.0 48	43.8 21	54.2 26	2.1 1	
	30代	100.0 45	22.2 10	73.3 33	4.4 2	
	40代	100.0 75	40.0 30	57.3 43	2.7 2	
	50代	100.0 122	32.0 39	59.8 73	8.2 10	
	60代	100.0 139	23.0 32	67.6 94	9.4 13	
	70代	100.0 152	15.1 23	74.3 113	10.5 16	
	80代以上	100.0 77	13.0 10	72.7 56	14.3 11	
	無回答	100.0 6	16.7 1	83.3 5	- -	
	職業別	自営業	100.0 91	26.4 24	62.6 57	11.0 10
		民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人未満の事業所)	100.0 92	28.3 26	67.4 62	4.3 4
民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人以上の事業所)		100.0 123	30.1 37	65.0 80	4.9 6	
公務員		100.0 18	66.7 12	33.3 6	- -	
学生		100.0 13	38.5 5	61.5 8	- -	
家事専業		100.0 84	21.4 18	70.2 59	8.3 7	
無職		100.0 187	18.2 34	70.6 132	11.2 21	
その他		100.0 47	17.0 8	72.3 34	10.6 5	
無回答		100.0 9	22.2 2	55.6 5	22.2 2	

問7(ア)	サンプル数	思 自 分 に 関 係 の あ る 問 題 だ と	思 自 分 に 関 係 の あ る 問 題 だ と	無 回 答	
性別・年代別	男性	100.0 283	24.0 68	71.4 202	4.6 13
	30代以下	100.0 35	25.7 9	71.4 25	2.9 1
	40代	100.0 33	45.5 15	54.5 18	- -
	50代	100.0 43	25.6 11	60.5 26	14.0 6
	60代	100.0 69	26.1 18	69.6 48	4.3 3
	70代以上	100.0 103	14.6 15	82.5 85	2.9 3
	女性	100.0 372	25.8 96	62.9 234	11.3 42
	30代以下	100.0 57	36.8 21	59.6 34	3.5 2
	40代	100.0 42	35.7 15	59.5 25	4.8 2
	50代	100.0 78	35.9 28	59.0 46	5.1 4
60代	100.0 70	20.0 14	65.7 46	14.3 10	
70代以上	100.0 125	14.4 18	66.4 83	19.2 24	
回答しない	100.0 3	33.3 1	66.7 2	- -	
無回答	100.0 6	16.7 1	83.3 5	- -	

【市民】

第9表 同和問題の解消に向けた考え

上段：％、下段：実数

問7イ	サンプル数	問題解決のため自分の努力をした	決に努力するべきだと思う	自分一人ではどうしようもないので、なりゆきにかまかせる	同和地区の人々の問題であるので、自分には直接関係ない	よく考えていない	その他	わからない	同和問題のことは知らない	無回答
全体	100.0 664	7.2 48	29.2 194	14.8 98	3.3 22	18.4 122	2.3 15	20.8 138	4.1 27	
性別	男性	100.0 283	4.9 14	29.7 84	13.4 38	4.2 12	20.1 57	3.2 9	23.3 66	1.1 3
	女性	100.0 372	8.6 32	29.3 109	15.6 58	2.7 10	17.2 64	1.6 6	18.5 69	6.5 24
	回答しない	100.0 3	33.3 1	-	33.3 1	-	-	-	33.3 1	-
	無回答	100.0 6	16.7 1	16.7 1	16.7 1	-	16.7 1	-	33.3 2	-
年齢別	20代以下	100.0 48	14.6 7	37.5 18	14.6 7	-	22.9 11	2.1 1	8.3 4	-
	30代	100.0 45	6.7 3	26.7 12	22.2 10	-	26.7 12	-	15.6 7	2.2 1
	40代	100.0 75	6.7 5	37.3 28	13.3 10	2.7 2	22.7 17	1.3 1	13.3 10	2.7 2
	50代	100.0 122	8.2 10	41.8 51	18.0 22	3.3 4	11.5 14	2.5 3	12.3 15	2.5 3
	60代	100.0 139	7.2 10	28.1 39	15.1 21	5.0 7	18.7 26	5.8 8	16.5 23	3.6 5
	70代	100.0 152	4.6 7	23.0 35	11.2 17	4.6 7	19.1 29	0.7 1	30.9 47	5.9 9
	80代以上	100.0 77	6.5 5	13.0 10	13.0 10	2.6 2	15.6 12	1.3 1	39.0 30	9.1 7
	無回答	100.0 6	16.7 1	16.7 1	16.7 1	-	16.7 1	-	33.3 2	-
職業別	自営業	100.0 91	9.9 9	30.8 28	11.0 10	5.5 5	18.7 17	2.2 2	18.7 17	3.3 3
	民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人未満の事業所)	100.0 92	4.3 4	32.6 30	16.3 15	4.3 4	20.7 19	3.3 3	17.4 16	1.1 1
	民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人以上の事業所)	100.0 123	6.5 8	37.4 46	16.3 20	2.4 3	21.1 26	2.4 3	12.2 15	1.6 2
	公務員	100.0 18	27.8 5	38.9 7	22.2 4	5.6 1	5.6 1	-	-	-
	学生	100.0 13	23.1 3	46.2 6	7.7 1	-	23.1 3	-	-	-
	家事専業	100.0 84	8.3 7	31.0 26	16.7 14	2.4 2	15.5 13	-	22.6 19	3.6 3
	無職	100.0 187	4.8 9	20.3 38	13.9 26	2.7 5	17.6 33	2.1 4	32.1 60	6.4 12
	その他	100.0 47	2.1 1	25.5 12	14.9 7	4.3 2	19.1 9	6.4 3	19.1 9	8.5 4
	無回答	100.0 9	22.2 2	11.1 1	11.1 1	-	11.1 1	-	22.2 2	22.2 2
	性別・年齢別	男性	100.0 283	4.9 14	29.7 84	13.4 38	4.2 12	20.1 57	3.2 9	23.3 66
30代以下		100.0 35	5.7 2	34.3 12	17.1 6	-	25.7 9	2.9 1	14.3 5	-
40代		100.0 33	9.1 3	36.4 12	6.1 2	3.0 1	21.2 7	3.0 1	21.2 7	-
50代		100.0 43	2.3 1	41.9 18	14.0 6	2.3 1	16.3 7	2.3 1	18.6 8	2.3 1
60代		100.0 69	5.8 4	27.5 19	15.9 11	7.2 5	20.3 14	5.8 4	17.4 12	-
70代以上		100.0 103	3.9 4	22.3 23	12.6 13	4.9 5	19.4 20	1.9 2	33.0 34	1.9 2
女性		100.0 372	8.6 32	29.3 109	15.6 58	2.7 10	17.2 64	1.6 6	18.5 69	6.5 24
30代以下		100.0 57	12.3 7	31.6 18	19.3 11	-	24.6 14	-	10.5 6	1.8 1
40代		100.0 42	4.8 2	38.1 16	19.0 8	2.4 1	23.8 10	-	7.1 3	4.8 2
50代		100.0 78	11.5 9	42.3 33	19.2 15	3.8 3	9.0 7	2.6 2	9.0 7	2.6 2
60代		100.0 70	8.6 6	28.6 20	14.3 10	2.9 2	17.1 12	5.7 4	15.7 11	7.1 5
70代以上		100.0 125	6.4 8	17.6 22	11.2 14	3.2 4	16.8 21	-	33.6 42	11.2 14
回答しない		100.0 3	33.3 1	-	33.3 1	-	-	-	33.3 1	-
無回答		100.0 6	16.7 1	16.7 1	16.7 1	-	16.7 1	-	33.3 2	-

【市民】

第 10 表 同和問題に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

上段：％、下段：実数

問8	サンプル数	結婚を周囲から反対されること	就職の際や職場で不利な扱いを受けること	際の中で差別があること	付き合いをさけるなど日常の交	めきれていないこと	生活環境面で近隣との格差が埋	る身元調査をするなど社会におけ	る偏見意識があること	を掲載すること	インターネットに差別的な情報	区や土地を建設する際に、同和地	家や土地を購入したり、マン	ションを建設する際に、同和地	その他	特にない・わからない	無回答
全体	100.0 664	33.9 225	27.1 180	20.0 133	14.5 96	23.9 159	15.2 101	15.7 104	-	-	-	41.7 277	5.0 33				
性別	男性	100.0 283	29.7 84	24.0 68	18.0 51	14.8 42	20.8 59	13.1 37	14.5 41	-	-	45.6 129	4.6 13				
	女性	100.0 372	37.6 140	29.8 111	21.8 81	14.5 54	26.9 100	17.2 64	16.4 61	-	-	38.7 144	4.8 18				
	回答しない	100.0 3	-	33.3 1	-	-	-	-	-	-	-	66.7 2	-				
	無回答	100.0 6	16.7 1	-	16.7 1	-	-	-	-	33.3 2	-	33.3 2	33.3 2				
年代別	20代以下	100.0 48	33.3 16	47.9 23	29.2 14	14.6 7	22.9 11	31.3 15	20.8 10	-	-	33.3 16	-				
	30代	100.0 45	35.6 16	35.6 16	20.0 9	11.1 5	24.4 11	8.9 4	13.3 6	-	-	46.7 21	-				
	40代	100.0 75	40.0 30	37.3 28	30.7 23	18.7 14	24.0 18	29.3 22	21.3 16	-	-	32.0 24	4.0 3				
	50代	100.0 122	49.2 60	35.2 43	26.2 32	17.2 21	33.6 41	18.9 23	16.4 20	-	-	29.5 36	2.5 3				
	60代	100.0 139	39.6 55	25.2 35	22.3 31	17.3 24	29.5 41	13.7 19	18.0 25	-	-	37.4 52	3.6 5				
	70代	100.0 152	27.0 41	18.4 28	11.8 18	9.9 15	19.1 29	10.5 16	13.2 20	-	-	53.3 81	6.6 10				
	80代以上	100.0 77	7.8 6	9.1 7	6.5 5	13.0 10	10.4 8	2.6 2	6.5 5	-	-	58.4 45	13.0 10				
	無回答	100.0 6	16.7 1	-	16.7 1	-	-	-	33.3 2	-	-	33.3 2	33.3 2				
職業別	自営業	100.0 91	38.5 35	25.3 23	18.7 17	18.7 16	17.6 12	13.2 17	18.7 17	-	-	38.5 35	6.6 6				
	民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人未満の事業所)	100.0 92	34.8 32	33.7 31	25.0 23	12.0 11	21.7 20	13.0 12	18.5 17	-	-	41.3 38	2.2 2				
	民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人以上の事業所)	100.0 123	47.2 58	36.6 45	30.1 37	19.5 24	36.6 45	20.3 25	17.1 21	-	-	30.1 37	1.6 2				
	公務員	100.0 18	50.0 9	44.4 8	27.8 5	11.1 2	50.0 9	50.0 9	44.4 8	-	-	22.2 4	-				
	学生	100.0 13	30.8 4	69.2 9	38.5 5	23.1 3	30.8 4	38.5 5	23.1 3	-	-	23.1 3	-				
	家事専業	100.0 84	35.7 30	19.0 16	14.3 12	11.9 10	16.7 14	11.9 10	11.9 10	-	-	47.6 40	1.2 1				
	無職	100.0 187	20.3 38	18.2 34	11.8 22	11.2 21	18.2 34	10.7 20	10.7 20	-	-	55.1 103	9.1 17				
	その他	100.0 47	38.3 18	29.8 14	23.4 11	14.9 7	36.2 17	17.0 8	12.8 6	-	-	29.8 14	4.3 2				
	無回答	100.0 9	11.1 1	-	11.1 1	11.1 1	-	-	22.2 2	-	-	33.3 3	33.3 3				
性・年代別	男性	100.0 283	29.7 84	24.0 68	18.0 51	14.8 42	20.8 59	13.1 37	14.5 41	-	-	45.6 129	4.6 13				
	30代以下	100.0 35	34.3 12	34.3 12	22.9 8	14.3 5	20.0 7	25.7 9	14.3 5	-	-	48.6 17	-				
	40代	100.0 33	30.3 10	36.4 12	27.3 9	21.2 7	12.1 4	21.2 7	15.2 5	-	-	33.3 11	3.0 1				
	50代	100.0 43	46.5 20	30.2 13	18.6 8	11.6 5	23.3 10	11.6 5	9.3 4	-	-	30.2 13	4.7 2				
	60代	100.0 69	31.9 22	18.8 13	18.8 13	13.0 9	27.5 19	7.2 5	15.9 11	-	-	44.9 31	4.3 3				
	70代以上	100.0 103	19.4 20	17.5 18	12.6 13	15.5 16	18.4 19	10.7 11	15.5 16	-	-	55.3 57	6.8 7				
	女性	100.0 372	37.6 140	29.8 111	21.8 81	14.5 54	26.9 100	17.2 64	16.4 61	-	-	38.7 144	4.8 18				
	30代以下	100.0 57	35.1 20	45.6 26	26.3 15	12.3 7	26.3 15	17.5 10	19.3 11	-	-	35.1 20	-				
	40代	100.0 42	47.6 20	38.1 16	33.3 14	16.7 7	33.3 14	35.7 15	26.2 11	-	-	31.0 13	4.8 2				
	50代	100.0 78	51.3 40	38.5 30	30.8 24	20.5 16	39.7 31	23.1 18	20.5 16	-	-	28.2 22	1.3 1				
	60代	100.0 70	47.1 33	31.4 22	25.7 18	21.4 15	31.4 22	20.0 14	20.0 14	-	-	30.0 21	2.9 2				
	70代以上	100.0 125	21.6 27	13.6 17	8.0 10	7.2 9	14.4 18	5.6 7	7.2 9	-	-	54.4 68	10.4 13				
	回答しない	100.0 3	-	33.3 1	-	-	-	-	-	-	-	66.7 2	-				
無回答	100.0 6	16.7 1	-	16.7 1	-	-	-	33.3 2	-	-	33.3 2	33.3 2					

【市民】

第 11 表 同和問題の解決をはかるために必要なこと

上段：％、下段：実数

問9	サンプル数	同和問題の解決をはかるために必要なこと											無回答			
		同和地区の生活環境を改善・整える	同和地区の人々の仕事を保障し、教育水準を高め生活の向上をはかる	同和地区の人々自身が、自分の生活に責任を持つように努力する	同和地区の人々が、一力所にかたまって住まないようにする	真の民主主義の確立を目指す国民的運動を拡大・強化する	差別をしたり、差別を営利目的などに使う者を法律で処罰する	市民が自ら人権について学ぶ場を充実すること	インターネット上などでの偏見や差別的な書き込みを、そのまま受け入れないようにする	わざわざとりあげないで、そつとしておけば自然になくなる	その他	特にない・わからない				
全体	100.0 664	18.5 123	16.1 107	13.0 86	25.8 171	10.5 70	5.3 35	18.2 121	19.1 127	19.0 126	16.6 110	1.5 10	29.2 194	3.5 23		
性別	男性	100.0 283	14.8 42	11.7 33	12.4 35	24.0 68	7.1 20	7.8 22	19.8 56	16.3 46	14.1 40	16.6 47	2.5 7	32.2 91	2.5 7	
	女性	100.0 372	21.2 79	19.6 73	13.4 50	27.2 101	12.9 48	3.5 13	17.5 65	21.5 80	22.6 84	15.9 59	0.8 3	27.2 101	4.0 15	
	回答しない	100.0 3	-	-	-	33.3 1	-	-	-	33.3 1	-	-	-	66.7 2	-	
	無回答	100.0 6	33.3 2	16.7 1	16.7 1	16.7 1	33.3 2	-	-	-	33.3 2	66.7 4	-	-	16.7 1	
年代別	20代以下	100.0 48	37.5 18	31.3 15	16.7 8	29.2 14	8.3 4	8.3 4	27.1 13	37.5 18	31.3 15	4.2 2	2.1 1	25.0 12	-	
	30代	100.0 45	20.0 9	8.9 4	11.1 5	24.4 11	17.8 8	-	17.8 8	15.6 7	22.2 10	11.1 5	2.2 1	40.0 18	-	
	40代	100.0 75	30.7 23	24.0 18	13.3 10	32.0 24	9.3 7	5.3 4	26.7 20	20.0 15	28.0 21	13.3 10	2.7 2	25.3 19	1.3 1	
	50代	100.0 122	23.0 28	23.8 29	9.8 12	36.1 44	11.5 14	0.8 1	24.6 30	13.1 16	20.5 25	10.7 13	2.5 3	23.8 29	2.5 3	
	60代	100.0 139	11.5 16	16.5 23	10.8 15	29.5 41	12.2 17	7.2 10	19.4 27	28.8 40	13.7 19	18.0 25	2.2 3	25.2 35	2.9 4	
	70代	100.0 152	13.2 20	9.2 14	17.1 26	16.4 25	8.6 13	5.9 9	10.5 16	14.5 22	17.1 26	21.7 33	-	34.2 52	4.6 7	
	80代以上	100.0 77	9.1 7	3.9 3	11.7 9	14.3 11	6.5 5	9.1 7	9.1 7	11.7 9	10.4 8	23.4 18	-	37.7 29	9.1 7	
	無回答	100.0 6	33.3 2	16.7 1	16.7 1	16.7 1	33.3 2	-	-	-	33.3 2	66.7 4	-	-	16.7 1	
	職業別	自営業	100.0 91	19.8 18	15.4 14	16.5 15	22.0 20	13.2 12	4.4 4	19.8 18	20.9 19	14.3 13	25.3 23	1.1 1	19.8 18	3.3 3
民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人未満の事業所)		100.0 92	16.3 15	13.0 12	9.8 9	26.1 24	7.6 7	3.3 3	16.3 15	17.4 16	19.6 18	12.0 11	3.3 3	33.7 31	2.2 2	
民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人以上の事業所)		100.0 123	28.5 35	24.4 30	16.3 20	30.1 37	11.4 14	2.4 3	22.8 28	18.7 23	18.7 23	8.9 11	3.3 4	29.3 36	1.6 2	
公務員		100.0 18	33.3 6	22.2 4	11.1 2	66.7 12	16.7 3	5.6 1	38.9 7	38.9 7	50.0 9	5.6 1	-	5.6 1	-	
学生		100.0 13	38.5 5	30.8 4	15.4 2	53.8 7	15.4 2	15.4 2	38.5 5	61.5 8	46.2 6	-	-	23.1 3	-	
家事専業		100.0 84	15.5 13	15.5 13	7.1 6	22.6 19	9.5 8	3.6 3	9.5 8	20.2 17	19.0 16	10.7 9	2.4 2	34.5 29	1.2 1	
無職		100.0 187	10.7 20	11.2 21	12.8 24	22.5 42	5.9 11	8.0 15	15.5 29	16.0 30	16.0 30	20.3 38	-	63 11	5.9 11	
その他		100.0 47	19.1 9	17.0 8	14.9 7	17.0 8	23.4 11	8.5 4	23.4 11	12.8 6	12.8 6	19.1 13	27.7 13	-	25.5 12	4.3 2
無回答		100.0 9	22.2 2	11.1 1	11.1 1	22.2 2	22.2 2	-	-	11.1 1	22.2 2	44.4 4	-	11.1 1	22.2 2	
性・年代別	男性	100.0 283	14.8 42	11.7 33	12.4 35	24.0 68	7.1 20	7.8 22	19.8 56	16.3 46	14.1 40	16.6 47	2.5 7	32.2 91	2.5 7	
	30代以下	100.0 35	22.9 8	11.4 4	8.6 3	22.9 8	11.4 4	5.7 2	25.7 9	20.0 7	25.7 9	5.7 2	2.9 1	42.9 15	-	
	40代	100.0 33	30.3 10	24.2 8	15.2 5	33.3 11	6.1 2	6.1 2	24.2 8	21.2 7	18.2 6	15.2 5	6.1 2	18.2 6	-	
	50代	100.0 43	14.0 6	16.3 7	4.7 2	32.6 14	7.0 3	-	25.6 11	7.0 3	9.3 4	11.6 5	4.7 2	25.6 11	4.7 2	
	60代	100.0 69	8.7 6	10.1 7	11.6 8	23.2 16	8.7 6	8.7 6	23.2 16	20.3 14	10.1 7	15.9 11	2.9 2	29.0 20	2.9 2	
	70代以上	100.0 103	11.7 12	6.8 7	16.5 17	18.4 19	4.9 5	11.7 12	11.7 12	14.6 15	13.6 14	23.3 24	-	37.9 39	2.9 3	
	女性	100.0 372	21.2 79	19.6 73	13.4 50	27.2 101	12.9 48	3.5 13	17.5 65	21.5 80	22.6 84	15.9 59	0.8 3	27.2 101	4.0 15	
	30代以下	100.0 57	33.3 19	26.3 15	17.5 10	28.1 16	14.0 8	3.5 2	21.1 12	29.8 17	28.1 16	8.8 5	1.8 1	26.3 15	-	
	40代	100.0 42	31.0 13	23.8 10	11.9 5	31.0 13	11.9 5	4.8 2	28.6 12	19.0 8	35.7 15	11.9 5	-	31.0 13	2.4 1	
	50代	100.0 78	28.2 22	28.2 22	12.8 10	38.5 30	14.1 11	1.3 1	24.4 19	16.7 13	26.9 21	10.3 8	1.3 1	21.8 17	1.3 1	
	60代	100.0 70	14.3 10	22.9 16	10.0 7	35.7 25	15.7 11	5.7 4	15.7 11	37.1 26	17.1 12	20.0 14	1.4 1	21.4 15	2.9 2	
	70代以上	100.0 125	12.0 15	8.0 10	14.4 18	13.6 17	10.4 13	3.2 4	8.8 11	12.8 16	16.0 20	21.6 27	-	32.8 41	8.8 11	
	回答しない	100.0 3	-	-	-	33.3 1	-	-	-	33.3 1	-	-	-	66.7 2	-	
	無回答	100.0 6	33.3 2	16.7 1	16.7 1	16.7 1	33.3 2	-	-	-	33.3 2	66.7 4	-	-	16.7 1	

【市民】

第12表 女性に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

上段：％、下段：実数

問10	サンプル数	「男は仕事、女は家庭」等の固定的な役割分担意識を押し付けられること、または押し付けられること	格差、職種等の差別を受けること	雇用されるとき、賃金、昇給、昇格、職種等の差別を受けること	就業機会が少ないことや、企業等に就く機会が少ないこと	妊娠、出産を理由に不当な扱いを受けること（マタニティ・ハラースメント）	女性の社会進出のための支援制度が整っていないこと	職場や学校における性的嫌がらせ（セクシュアル・ハラースメント）	肉体的・精神的暴力（DV）	家庭内における夫や恋人などからの暴力	いわゆる「援助交際」を含む買春・売春	女性への性暴力	アダルトビデオ等への出演強要	その他	特にない・わからない	無回答	
全体	100.0 664	40.2 267	37.5 249	36.4 242	32.2 214	22.4 149	19.1 127	13.7 91	22.3 148	8.6 57	1.1 7	22.9 152	4.4 29				
性別	男性	100.0 283	33.9 96	35.7 101	32.9 93	26.5 75	20.8 59	15.2 43	13.1 37	18.0 51	9.9 28	1.1 3	25.4 72	3.5 10			
	女性	100.0 372	45.7 170	38.7 144	39.2 146	36.8 137	23.4 87	22.0 82	14.0 52	25.3 94	7.3 27	1.1 4	21.0 78	4.6 17			
	回答しない	100.0 3	33.3 1	100.0 3	100.0 3	66.7 2	66.7 2	66.7 2	66.7 2	66.7 2	66.7 2	66.7 2	66.7 2	66.7 2	66.7 2	66.7 2	66.7 2
	無回答	100.0 6	- -	16.7 1	- -	- -	16.7 1	- -	- -	16.7 1	- -	- -	- -	33.3 2	33.3 2		
年代別	20代以下	100.0 48	64.6 31	45.8 22	58.3 28	43.8 21	39.6 19	31.3 15	22.9 11	33.3 16	16.7 8	- -	4.2 2	- -			
	30代	100.0 45	62.2 28	48.9 22	60.0 27	33.3 15	37.8 17	37.8 17	24.4 11	42.2 19	15.6 7	- -	17.8 8	- -			
	40代	100.0 75	50.7 38	48.0 36	53.3 40	38.7 29	36.0 27	30.7 23	24.0 18	33.3 25	18.7 14	1.3 1	12.0 9	1.3 1			
	50代	100.0 122	41.0 50	39.3 48	47.5 58	32.0 39	27.0 33	27.9 34	18.0 22	32.8 40	10.7 13	3.3 4	15.6 19	2.5 3			
	60代	100.0 139	40.3 56	38.1 53	33.1 46	41.0 57	18.0 25	13.7 19	7.9 11	18.0 25	3.6 5	0.7 1	19.4 27	4.3 6			
	70代	100.0 152	32.9 50	31.6 48	21.7 33	25.7 39	11.8 18	8.6 13	9.2 14	9.9 15	4.6 7	0.7 1	33.6 51	5.9 9			
	80代以上	100.0 77	18.2 14	24.7 19	13.0 10	18.2 14	11.7 9	7.8 6	5.2 4	9.1 7	3.9 3	- -	44.2 34	10.4 8			
	無回答	100.0 6	- -	16.7 1	- -	- -	16.7 1	- -	- -	16.7 1	- -	- -	33.3 2	33.3 2			
	職業別	自営業	100.0 91	36.3 33	30.8 28	36.3 33	27.5 25	19.8 18	17.6 16	17.6 16	19.8 18	6.6 6	- -	27.5 25	1.1 1		
民間の企業や団体に勤務する人 （従業員が30人未満の事業所）		100.0 92	44.6 41	41.3 38	52.2 48	31.5 29	31.5 29	21.7 20	18.5 17	26.1 24	14.1 13	- -	14.1 13	1.1 1			
民間の企業や団体に勤務する人 （従業員が30人以上の事業所）		100.0 123	56.1 69	43.9 54	39.0 48	47.2 58	28.5 35	26.8 33	18.7 23	33.3 41	12.2 15	2.4 3	10.6 13	1.6 2			
公務員		100.0 18	61.1 11	50.0 9	61.1 11	38.9 7	33.3 6	50.0 9	22.2 4	33.3 6	11.1 2	- -	11.1 2	- -			
学生		100.0 13	53.8 7	46.2 6	61.5 8	46.2 6	38.5 5	30.8 4	15.4 2	30.8 4	23.1 3	- -	7.7 1	- -			
家事専業		100.0 84	36.9 31	36.9 31	38.1 32	29.8 25	20.2 17	19.0 16	10.7 9	22.6 19	4.8 4	2.4 2	25.0 21	1.2 1			
無職		100.0 187	29.9 56	35.3 66	24.6 46	25.1 47	16.0 30	11.8 22	6.4 12	14.4 27	5.3 10	0.5 1	35.8 67	8.6 16			
その他		100.0 47	40.4 19	34.0 16	34.0 16	34.0 16	17.0 8	14.9 7	17.0 8	17.0 8	8.5 4	2.1 1	14.9 7	10.6 5			
無回答		100.0 9	- -	11.1 1	- -	11.1 1	11.1 1	- -	- -	11.1 1	- -	- -	33.3 3	33.3 3			
性・年代別		男性	100.0 283	33.9 96	35.7 101	32.9 93	26.5 75	20.8 59	15.2 43	13.1 37	18.0 51	9.9 28	1.1 3	25.4 72	3.5 10		
	30代以下	100.0 35	54.3 19	51.4 18	48.6 17	28.6 10	42.9 15	31.4 11	28.6 10	31.4 11	28.6 10	- -	14.3 5	- -			
	40代	100.0 33	36.4 12	39.4 13	45.5 15	30.3 10	33.3 11	27.3 9	18.2 6	24.2 8	12.1 4	- -	18.2 6	- -			
	50代	100.0 43	25.6 11	27.9 12	46.5 20	14.0 6	20.9 9	9.3 4	9.3 4	20.9 9	7.0 3	4.7 2	20.9 9	4.7 2			
	60代	100.0 69	36.2 25	29.0 20	24.6 17	34.8 24	15.9 11	13.0 9	7.2 5	15.9 11	5.8 4	- -	24.6 17	5.8 4			
	70代以上	100.0 103	28.2 29	36.9 38	23.3 24	24.3 25	12.6 13	9.7 10	11.7 12	11.7 12	6.8 7	1.0 1	34.0 35	3.9 4			
	女性	100.0 372	45.7 170	38.7 144	39.2 146	36.8 137	23.4 87	22.0 82	14.0 52	25.3 94	7.3 27	1.1 4	21.0 78	4.6 17			
	30代以下	100.0 57	70.2 40	43.9 25	64.9 37	43.9 25	36.8 21	36.8 21	21.1 12	42.1 24	8.8 5	- -	8.8 5	- -			
	40代	100.0 42	61.9 26	54.8 23	59.5 25	45.2 19	38.1 16	33.3 14	28.6 12	40.5 17	23.8 10	2.4 1	7.1 3	2.4 1			
	50代	100.0 78	48.7 38	44.9 35	47.4 37	41.0 32	29.5 23	37.2 29	21.8 17	38.5 30	11.5 9	2.6 2	12.8 10	1.3 1			
	60代	100.0 70	44.3 31	47.1 33	41.4 29	47.1 33	20.0 14	14.3 10	8.6 6	20.0 14	1.4 1	1.4 1	14.3 10	2.9 2			
	70代以上	100.0 125	28.0 35	22.4 28	14.4 18	22.4 28	10.4 13	6.4 8	4.0 5	7.2 9	1.6 2	- -	40.0 50	10.4 13			
	回答しない	100.0 3	33.3 1	100.0 3	100.0 3	66.7 2	66.7 2	66.7 2	66.7 2	66.7 2	66.7 2	66.7 2	66.7 2	66.7 2	66.7 2	66.7 2	66.7 2
	無回答	100.0 6	- -	16.7 1	- -	- -	16.7 1	- -	- -	16.7 1	- -	- -	- -	33.3 2	33.3 2		

【市民】

第13表 女性の人権を守るために必要なこと

上段：％、下段：実数

問11	サンプル数	男女雇用機会均等法などの啓発活動を行うこと	性別による固定的な役割分担意識の是正に努めること	様々な意思決定への女性の参画の促進を図ること	男性も女性も安心して働けるようすること	保育などの施設や制度を整え、実すること	学校教育の場での女性の教育や男女共同参画の場での教育を充実にすること	セクシャル・ハラスメントやドメスティック・バイオレンスなどの防止に努めること	オレックスなどに対する相談体制の充実を図ること	性犯罪やドメスティック・バイオレンスなどに対する相談体制の取組みの強化を図ること	ストーカー等女性に対する犯罪の取組みの強化を図ること	男性も生活者（家事や育児を實踐する人）として自立で生きるよう啓発活動を行うこと	その他	特になし・わからない	無回答
全体	100.0 664	33.3 221	33.7 224	27.6 183	53.3 354	28.0 186	24.1 160	21.2 141	22.6 150	39.0 259	1.1 7	15.8 105	4.4 29		
性別	男性	100.0 283	36.7 104	32.2 91	27.9 79	46.6 132	27.9 79	21.9 62	18.7 53	22.6 64	29.7 84	0.7 2	17.3 49	3.2 9	
	女性	100.0 372	31.2 116	35.5 132	27.4 102	59.1 220	28.8 107	26.1 97	23.7 88	22.8 85	46.2 172	1.3 5	14.5 54	4.8 18	
	回答しない	100.0 3	-	-	-	33.3 1	-	-	-	-	-	-	-	66.7 2	-
	無回答	100.0 6	16.7 1	16.7 1	33.3 2	16.7 1	-	16.7 1	-	-	16.7 1	50.0 3	-	-	33.3 2
年代別	20代以下	100.0 48	35.4 17	47.9 23	35.4 17	62.5 30	35.4 17	37.5 18	39.6 19	29.2 14	52.1 25	-	6.3 3	-	
	30代	100.0 45	35.6 16	37.8 17	33.3 15	64.4 29	31.1 14	31.1 14	35.6 16	35.6 16	44.4 20	2.2 1	15.6 7	-	
	40代	100.0 75	33.3 25	40.0 30	30.7 23	57.3 43	30.7 23	38.7 29	41.3 31	33.3 25	49.3 37	1.3 1	9.3 7	1.3 1	
	50代	100.0 122	36.1 44	41.8 51	26.2 32	58.2 71	32.0 39	31.1 38	31.1 29	23.8 29	28.7 35	0.8 1	11.5 14	2.5 3	
	60代	100.0 139	32.4 45	41.0 57	31.7 44	54.7 76	32.4 45	21.6 30	16.5 23	20.1 28	46.0 64	0.7 1	13.7 19	2.9 4	
	70代	100.0 152	35.5 54	23.0 35	22.4 34	44.7 68	23.0 35	13.2 20	9.9 15	17.1 26	32.2 49	1.3 2	20.4 31	7.9 12	
	80代以上	100.0 77	24.7 19	13.0 10	20.8 16	46.8 36	16.9 13	13.0 10	10.4 8	6.5 5	27.3 21	1.3 1	31.2 24	9.1 7	
	無回答	100.0 6	16.7 1	16.7 1	33.3 2	16.7 1	-	16.7 1	-	16.7 1	50.0 3	-	-	33.3 2	
	職業別	自営業	100.0 91	26.4 24	28.6 26	22.0 20	50.5 46	31.9 29	19.8 18	22.0 20	23.1 21	31.9 29	2.2 1	15.4 14	2.2 2
民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人未満の事業所)		100.0 92	39.1 36	30.4 28	28.3 26	55.4 51	28.3 26	29.3 27	23.9 22	19.6 18	37.0 34	1.1 1	10.9 10	2.2 2	
民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人以上の事業所)		100.0 123	37.4 46	45.5 56	27.6 34	59.3 73	26.8 33	27.6 34	25.2 31	29.3 36	43.1 53	0.8 1	8.9 11	1.6 2	
公務員		100.0 18	55.6 10	66.7 12	44.4 8	72.2 13	44.4 8	44.4 8	50.0 9	38.9 7	72.2 13	-	5.6 1	-	
学生		100.0 13	30.8 4	38.5 5	38.5 5	61.5 8	38.5 5	53.8 7	53.8 7	23.1 3	38.5 5	-	7.7 1	-	
家事専業		100.0 84	26.2 22	34.5 29	22.6 19	52.4 44	23.8 20	22.6 19	21.4 18	23.8 20	44.0 37	1.2 1	19.0 16	3.6 3	
無職		100.0 187	35.3 66	27.8 52	26.7 50	49.2 92	26.7 50	16.0 30	13.9 26	17.1 32	32.6 61	1.1 2	24.6 46	7.0 13	
その他		100.0 47	25.5 12	31.9 15	38.3 18	53.2 25	29.8 14	34.0 16	17.0 8	25.5 12	51.1 24	-	10.6 5	8.5 4	
無回答		100.0 9	11.1 1	11.1 1	33.3 3	22.2 2	11.1 1	11.1 1	-	11.1 1	33.3 3	-	11.1 1	33.3 3	
性・年代別		男性	100.0 283	36.7 104	32.2 91	27.9 79	46.6 132	27.9 79	21.9 62	18.7 53	22.6 64	29.7 84	0.7 2	17.3 49	3.2 9
	30代以下	100.0 35	34.3 12	42.9 15	34.3 12	54.3 19	31.4 11	40.0 14	40.0 14	31.4 11	34.3 12	-	17.1 6	-	
	40代	100.0 33	39.4 13	33.3 11	24.2 8	45.5 15	36.4 12	27.3 9	30.3 10	33.3 11	33.3 11	-	12.1 4	-	
	50代	100.0 43	32.6 14	32.6 14	20.9 9	48.8 21	18.6 8	25.6 11	16.3 7	14.0 6	20.9 9	-	16.3 7	4.7 2	
	60代	100.0 69	36.2 25	40.6 28	31.9 22	40.6 28	29.0 20	17.4 12	13.0 9	18.8 13	34.8 24	-	15.9 11	2.9 2	
	70代以上	100.0 103	38.8 40	22.3 23	27.2 28	47.6 49	27.2 28	15.5 16	12.6 13	22.3 23	27.2 28	1.9 2	20.4 21	4.9 5	
	女性	100.0 372	31.2 116	35.5 132	27.4 102	59.1 220	28.8 107	26.1 97	23.7 88	22.8 85	46.2 172	1.3 5	14.5 54	4.8 18	
	30代以下	100.0 57	36.8 21	43.9 25	35.1 20	68.4 39	35.1 20	31.6 18	36.8 21	33.3 19	57.9 33	1.8 1	7.0 4	-	
	40代	100.0 42	28.6 12	45.2 19	35.7 15	66.7 28	26.2 11	47.6 20	50.0 21	33.3 14	61.9 26	2.4 1	7.1 3	2.4 1	
	50代	100.0 78	38.5 30	47.4 37	29.5 23	64.1 50	39.7 31	34.6 27	28.2 22	37.2 29	39.7 31	1.3 1	7.7 6	1.3 1	
	60代	100.0 70	28.6 20	41.4 29	31.4 22	68.6 48	35.7 25	25.7 18	20.0 14	21.4 15	57.1 40	1.4 1	11.4 8	2.9 2	
	70代以上	100.0 125	26.4 33	17.6 22	17.6 22	44.0 55	16.0 20	11.2 14	8.0 10	6.4 8	33.6 42	0.8 1	26.4 33	11.2 14	
	回答しない	100.0 3	-	-	-	33.3 1	-	-	-	-	-	-	-	66.7 2	-
	無回答	100.0 6	16.7 1	16.7 1	33.3 2	16.7 1	-	16.7 1	-	16.7 1	50.0 3	-	-	33.3 2	

【市民】

第14表 子どもに関して現在どのような人権上の問題があると思うか

上段：％、下段：実数

問12	サンプル数	待を加えたり、子育てを放棄すること	親が子どもに身体的・心理的な虐待を加えたり、子育てを放棄すること	子どもが子どもをいじめたり、暴力を振ったり、又は子どもがその様子をみて見ぬふりすること	子どもが子どもの選択などについて親が子どもに自分の考えを強制すること	学校や就職先の選択などについて親が子どもに自分の考えを強制すること	子どもの様子をさぐるため、手紙やメールなどを勝手に見る	子どもがインターネット・携帯電話・パソコンなどを取り巻く性情報は	ビデオ・インターネット・携帯電話・パソコンなどを取り巻く性情報は	子どもへの危害	学校や登下校時の不審者による子どもへの危害	教師による児童・生徒への体罰	児童買春・児童ポルノ等の対象になること	生活や進学、就職等に支障があること(子どもの貧困)	家庭の経済状況が理由で子どもの生活や進学、就職等に支障があること(ヤングケアラー)	本来自体が担うような家事や家族の世話を日常的に行っていること(ヤングケアラー)	その他	特にない・わからない	無回答
全体	100.0 664	71.1 472	52.7 350	30.1 200	15.5 103	33.3 221	29.5 196	23.3 155	23.9 159	46.1 306	32.8 218	0.8 5	11.1 74	2.7 18					
性別	男性	100.0 283	65.4 185	45.6 129	25.8 73	12.4 35	29.3 83	23.7 67	19.8 56	23.0 65	40.3 114	23.3 66	0.7 2	14.5 41	1.8 5				
	女性	100.0 372	75.3 280	57.8 215	33.6 125	18.0 67	36.3 135	34.1 127	26.1 97	24.7 92	50.8 189	39.8 148	0.8 3	8.9 33	3.2 12				
	回答しない	100.0 3	100.0 3	100.0 3	33.3 1	33.3 1	66.7 2	66.7 2	66.7 2	66.7 2	66.7 2	66.7 2	-	-	-				
	無回答	100.0 6	66.7 4	50.0 3	16.7 1	-	16.7 1	-	-	-	16.7 1	33.3 2	-	-	16.7 1				
年代別	20代以下	100.0 48	85.4 41	62.5 30	54.2 26	22.9 11	27.1 13	39.6 19	41.7 20	39.6 19	41.7 20	39.6 19	-	-	-				
	30代	100.0 45	84.4 38	64.4 29	35.6 16	31.1 14	42.2 19	46.7 21	35.6 16	44.4 20	51.1 23	42.2 19	-	6.7 3	-				
	40代	100.0 75	74.7 56	61.3 46	38.7 29	22.7 17	49.3 37	38.7 29	29.3 22	42.7 32	56.0 42	44.0 33	2.7 2	5.3 4	-				
	50代	100.0 122	79.5 97	60.7 74	32.8 40	17.2 21	38.5 47	27.0 33	27.0 33	23.8 29	51.6 63	41.0 50	0.8 1	8.2 10	1.6 2				
	60代	100.0 139	72.7 101	51.8 72	27.3 38	9.4 13	38.1 53	25.2 35	18.0 25	19.4 27	50.4 70	33.8 47	-	10.8 15	3.6 5				
	70代	100.0 152	61.8 94	43.4 66	21.7 33	11.2 17	25.0 38	24.3 37	18.4 28	14.5 22	38.8 59	22.4 34	0.7 1	18.4 28	3.9 6				
	80代以上	100.0 77	53.2 41	39.0 30	22.1 17	13.0 10	16.9 13	28.6 22	14.3 11	13.0 10	36.4 28	18.2 14	1.3 1	18.2 14	5.2 4				
	無回答	100.0 6	66.7 4	50.0 3	16.7 1	-	16.7 1	-	-	-	16.7 1	33.3 2	-	-	16.7 1				
職業別	自営業	100.0 91	71.4 65	52.7 48	31.9 29	14.3 13	31.9 29	25.3 23	18.7 17	22.0 20	48.4 44	28.6 26	-	11.0 10	1.1 1				
	民間の企業や団体に勤務する人(従業員が30人未満の事業所)	100.0 92	76.1 70	50.0 46	27.2 25	18.5 17	37.0 34	33.7 31	20.7 19	31.5 29	45.7 42	29.3 27	1.1 1	6.5 6	2.2 2				
	民間の企業や団体に勤務する人(従業員が30人以上の事業所)	100.0 123	84.6 104	62.6 77	39.8 49	24.4 30	37.4 46	38.2 47	30.9 38	33.3 41	48.0 59	38.2 47	1.6 2	4.1 5	0.8 1				
	公務員	100.0 18	77.8 14	55.6 10	27.8 5	22.2 4	55.6 10	27.8 5	27.8 5	38.9 7	66.7 12	61.1 11	-	5.6 1	-				
	学生	100.0 13	92.3 12	76.9 10	61.5 8	15.4 2	30.8 4	38.5 5	38.5 5	38.5 5	38.5 5	53.8 7	-	-	-				
	家事専業	100.0 84	71.4 60	53.6 45	23.8 20	11.9 10	34.5 29	27.4 23	25.0 21	19.0 16	52.4 44	36.9 31	-	7.1 6	6.0 5				
	無職	100.0 187	58.3 109	44.4 83	26.2 49	11.2 21	27.3 51	26.2 49	17.6 33	17.1 32	41.2 77	26.7 50	1.1 2	20.9 39	3.2 6				
	その他	100.0 47	70.2 33	57.4 27	27.7 13	12.8 6	36.2 17	27.7 13	36.2 17	19.1 9	44.7 21	36.2 17	-	12.8 6	4.3 2				
無回答	100.0 9	55.6 5	44.4 4	22.2 2	-	11.1 1	-	-	-	22.2 2	22.2 2	-	11.1 1	11.1 1					
性・年代別	男性	100.0 283	65.4 185	45.6 129	25.8 73	12.4 35	29.3 83	23.7 67	19.8 56	23.0 65	40.3 114	23.3 66	0.7 2	14.5 41	1.8 5				
	30代以下	100.0 35	74.3 26	60.0 21	37.1 13	20.0 7	25.7 9	28.6 10	28.6 10	45.7 16	37.1 13	40.0 14	-	5.7 2	-				
	40代	100.0 33	63.6 21	51.5 17	30.3 10	12.1 4	39.4 13	30.3 10	30.3 10	36.4 12	45.5 15	24.2 8	3.0 1	9.1 3	-				
	50代	100.0 43	74.4 32	46.5 20	25.6 11	14.0 6	18.6 8	9.3 4	20.9 9	9.3 4	32.6 14	20.9 9	-	9.3 4	4.7 2				
	60代	100.0 69	68.1 47	46.4 32	20.3 14	7.2 5	36.2 25	18.8 13	15.9 11	20.3 14	43.5 30	21.7 15	-	14.5 10	2.9 2				
	70代以上	100.0 103	57.3 59	37.9 39	24.3 25	12.6 13	27.2 28	29.1 30	15.5 16	18.4 19	40.8 42	19.4 20	1.0 1	21.4 22	1.0 1				
	女性	100.0 372	75.3 280	57.8 215	33.6 125	18.0 67	36.3 135	34.1 127	26.1 97	24.7 92	50.8 189	39.8 148	0.8 3	8.9 33	3.2 12				
	30代以下	100.0 57	91.2 52	64.9 37	50.9 29	31.6 18	40.4 23	52.6 30	45.6 26	40.4 23	52.6 30	42.1 24	-	1.8 1	-				
	40代	100.0 42	83.3 35	69.0 29	45.2 19	31.0 13	57.1 24	45.2 19	28.6 12	47.6 20	64.3 27	59.5 25	2.4 1	2.4 1	-				
	50代	100.0 78	82.1 64	67.9 53	35.9 28	17.9 14	48.7 38	35.9 28	29.5 23	30.8 24	61.5 48	51.3 40	1.3 1	7.7 6	-				
	60代	100.0 70	77.1 54	57.1 40	34.3 24	11.4 8	40.0 28	31.4 22	20.0 14	18.6 13	57.1 40	45.7 32	-	7.1 5	4.3 3				
	70代以上	100.0 125	60.0 75	44.8 56	20.0 25	11.2 14	17.6 22	22.4 28	17.6 22	9.6 12	35.2 44	21.6 27	0.8 1	16.0 20	7.2 9				
	回答しない	100.0 3	100.0 3	100.0 3	33.3 1	33.3 1	66.7 2	66.7 2	66.7 2	66.7 2	66.7 2	66.7 2	-	-	-				
無回答	100.0 6	66.7 4	50.0 3	16.7 1	-	16.7 1	-	-	-	16.7 1	33.3 2	-	-	16.7 1					

【市民】

第 15 表 子どもの人権を守るために必要なこと

上段：％、下段：実数

問13	サンプル数	気運の高揚を図ること	地域・学校で子どもを育む	子どもを対象とした相談、カウンセリング事業の充実を図ること	学校教育等での人権教育の充実に努めること	学校でのいじめ問題の防止の強化を図ること	学校の内容に配慮すること	マスコミ報道やゲームソフト・インターネット動画等の内容に配慮すること	子どもを性的な犯罪などから守ること	薬物や性的な犯罪などから子どもを守ることに努めること	子どもに対する虐待の早期発見や予防策の充実に努めること	子ども自身の意思や行動を権利として尊重すること	その他	特にない・わからない	無回答	
全体	100.0 664	45.0 299	35.4 235	37.0 246	55.6 369	31.2 207	39.9 265	58.6 389	36.4 242	1.8 12	9.3 62	2.3 15				
性別	男性	100.0 283	45.2 128	29.3 83	32.5 92	51.9 147	25.8 73	33.6 95	53.4 151	30.4 86	2.1 6	9.9 28	2.1 6			
	女性	100.0 372	45.2 168	40.3 150	40.6 151	58.3 217	35.5 132	44.9 167	62.6 233	41.1 153	1.6 6	8.9 33	2.2 8			
	回答しない	100.0 3	33.3 1	66.7 2	33.3 1	33.3 1	33.3 1	33.3 1	33.3 1	33.3 1	-	33.3 1	-			
	無回答	100.0 6	33.3 2	-	33.3 2	66.7 4	16.7 1	33.3 2	66.7 4	33.3 2	-	-	16.7 1			
	年代別	20代以下	100.0 48	35.4 17	60.4 29	50.0 24	56.3 27	31.3 15	47.9 23	66.7 32	60.4 29	2.1 1	2.1 1	-		
30代	100.0 45	53.3 24	48.9 22	40.0 18	64.4 29	44.4 20	60.0 27	68.9 31	62.2 28	4.4 2	8.9 4	-				
40代	100.0 75	50.7 38	41.3 31	34.7 26	57.3 43	52.0 39	52.0 39	64.0 48	45.3 34	2.7 2	2.7 2	-				
50代	100.0 122	49.2 60	41.0 50	42.6 52	58.2 71	28.7 35	41.0 50	68.0 83	37.7 46	-	9.0 11	1.6 2				
60代	100.0 139	48.9 68	28.8 40	36.7 51	51.8 72	36.7 51	33.1 46	60.4 84	27.3 38	2.2 3	9.4 13	2.9 4				
70代	100.0 152	43.4 66	29.6 45	36.2 55	57.9 88	24.3 37	33.6 51	51.3 78	26.3 40	2.0 3	11.2 17	2.6 4				
80代以上	100.0 77	31.2 24	23.4 18	23.4 18	45.5 35	11.7 9	35.1 27	37.7 29	32.5 25	1.3 1	18.2 14	5.2 4				
無回答	100.0 6	33.3 2	-	33.3 2	66.7 4	16.7 1	33.3 2	66.7 4	33.3 2	-	-	16.7 1				
職業別	自営業	100.0 91	51.6 47	31.9 29	36.3 33	52.7 48	29.7 27	36.3 33	51.6 47	37.4 34	1.1 1	7.7 7	1.1 1			
	民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人未満の事業所)	100.0 92	48.9 45	30.4 28	34.8 32	55.4 51	34.8 32	38.0 35	66.3 61	35.9 33	1.1 1	5.4 5	2.2 2			
	民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人以上の事業所)	100.0 123	49.6 61	48.8 60	39.8 49	63.4 78	39.8 49	43.1 53	69.9 86	42.3 52	4.1 5	2.4 3	0.8 1			
	公務員	100.0 18	50.0 9	44.4 8	38.9 7	50.0 9	50.0 9	61.1 11	72.2 13	61.1 11	-	5.6 1	-			
	学生	100.0 13	46.2 6	69.2 9	53.8 7	46.2 6	38.5 5	53.8 7	53.8 7	61.5 8	-	7.7 1	-			
	家事専業	100.0 84	42.9 36	33.3 28	35.7 30	57.1 48	33.3 28	44.0 37	60.7 51	34.5 29	1.2 1	8.3 7	2.4 2			
	無職	100.0 187	39.0 73	31.0 58	35.8 67	53.5 100	22.5 42	36.9 69	48.7 91	29.9 56	2.1 4	16.6 31	3.2 6			
	その他	100.0 47	38.3 18	29.8 14	38.3 18	48.9 23	29.8 14	36.2 17	59.6 28	36.2 17	-	12.8 6	4.3 2			
	無回答	100.0 9	44.4 4	11.1 1	33.3 3	66.7 6	11.1 1	33.3 3	55.6 5	22.2 2	-	11.1 1	11.1 1			
	性・年代別	男性	100.0 283	45.2 128	29.3 83	32.5 92	51.9 147	25.8 73	33.6 95	53.4 151	30.4 86	2.1 6	9.9 28	2.1 6		
30代以下		100.0 35	34.3 12	48.6 17	40.0 14	57.1 20	28.6 10	48.6 17	57.1 20	48.6 17	2.9 1	8.6 3	-			
40代		100.0 33	48.5 16	33.3 11	30.3 10	48.5 16	39.4 13	39.4 13	48.5 16	36.4 12	6.1 2	3.0 1	-			
50代		100.0 43	53.5 23	27.9 12	30.2 13	46.5 20	20.9 9	25.6 11	60.5 26	30.2 13	-	9.3 4	4.7 2			
60代		100.0 69	44.9 31	24.6 17	30.4 21	46.4 32	30.4 21	23.2 16	58.0 40	20.3 14	2.9 2	11.6 8	2.9 2			
70代以上		100.0 103	44.7 46	25.2 26	33.0 34	57.3 59	19.4 20	36.9 38	47.6 49	29.1 30	1.0 1	11.7 12	1.9 2			
女性		100.0 372	45.2 168	40.3 150	40.6 151	58.3 217	35.5 132	44.9 167	62.6 233	41.1 153	1.6 6	8.9 33	2.2 8			
30代以下		100.0 57	50.9 29	57.9 33	49.1 28	63.2 36	43.9 25	57.9 33	75.4 43	70.2 40	3.5 2	3.5 2	-			
40代		100.0 42	52.4 22	47.6 20	38.1 16	64.3 27	61.9 26	61.9 26	76.2 32	52.4 22	-	2.4 1	-			
50代		100.0 78	47.4 37	48.7 38	50.0 39	65.4 51	33.3 26	50.0 39	73.1 57	42.3 33	-	7.7 6	-			
60代		100.0 70	52.9 37	32.9 23	42.9 30	57.1 40	42.9 30	42.9 30	62.9 44	34.3 24	1.4 1	7.1 5	2.9 2			
70代以上		100.0 125	34.4 43	28.8 36	30.4 38	50.4 63	20.0 25	31.2 39	45.6 57	27.2 34	2.4 3	15.2 19	4.8 6			
回答しない		100.0 3	33.3 1	66.7 2	33.3 1	33.3 1	33.3 1	33.3 1	33.3 1	33.3 1	-	33.3 1	-			
無回答		100.0 6	33.3 2	-	33.3 2	66.7 4	16.7 1	33.3 2	66.7 4	33.3 2	-	-	16.7 1			

【市民】

第 17 表 高齢者の人権を守るために必要なこと

上段：％、下段：実数

問15	サンプル数	生きがいを持つて生活できる環境づくりに努めること	保健、医療、福祉のサービスや利用施設を充実させること	建物や公共機関のバリアフリーを進めること	高齢者のための相談・支援体制の充実を図ること	学校での高齢者の人権教育の充実を図ること	世代間交流事業の推進を図ること	その他	特にない・わからない	無回答	
全体	100.0 664	61.3 407	57.1 379	26.2 174	45.6 303	17.8 118	25.8 171	1.8 12	10.2 68	1.8 12	
性別	男性	100.0 283	56.9 161	53.0 150	23.7 67	43.1 122	16.6 47	26.9 76	2.1 6	12.7 36	1.4 4
	女性	100.0 372	64.8 241	60.8 226	28.5 106	47.8 178	19.1 71	25.5 95	1.6 6	8.3 31	2.2 8
	回答しない	100.0 3	33.3 1	33.3 1	-	-	-	-	-	33.3 1	-
	無回答	100.0 6	66.7 4	33.3 2	16.7 1	50.0 3	-	-	-	-	-
年代別	20代以下	100.0 48	60.4 29	60.4 29	56.3 27	54.2 26	37.5 18	43.8 21	2.1 1	8.3 4	-
	30代	100.0 45	57.8 26	55.6 25	35.6 16	42.2 19	31.1 14	35.6 16	-	22.2 10	-
	40代	100.0 75	62.7 47	52.0 39	26.7 20	52.0 39	24.0 18	32.0 24	-	12.0 9	-
	50代	100.0 122	65.6 80	54.9 67	27.9 34	52.5 64	15.6 19	25.4 31	1.6 2	9.0 11	1.6 2
	60代	100.0 139	55.4 77	57.6 80	20.1 28	48.9 68	12.9 18	26.6 37	2.2 3	10.1 14	2.9 4
	70代	100.0 152	65.8 100	61.2 93	25.0 38	38.2 58	15.1 23	18.4 28	2.6 4	7.2 11	2.0 3
	80代以上	100.0 77	57.1 44	57.1 44	13.0 10	33.8 26	10.4 8	18.2 14	2.6 2	11.7 9	3.9 3
	無回答	100.0 6	66.7 4	33.3 2	16.7 1	50.0 3	-	-	-	-	-
	職業別	自営業	100.0 91	69.2 63	52.7 48	17.6 16	47.3 43	14.3 13	30.8 28	-	11.0 10
民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人未満の事業所)		100.0 92	58.7 54	53.3 49	29.3 27	39.1 36	22.8 21	27.2 25	3.3 3	9.8 9	3.3 3
民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人以上の事業所)		100.0 123	61.8 76	59.3 73	35.0 43	52.8 65	21.1 26	30.1 37	1.6 2	10.6 13	0.8 1
公務員		100.0 18	66.7 12	50.0 9	44.4 8	55.6 10	33.3 6	38.9 7	-	5.6 1	-
学生		100.0 13	61.5 8	69.2 9	46.2 6	61.5 8	38.5 5	46.2 6	-	-	-
家事専業		100.0 84	67.9 57	58.3 49	22.6 19	42.9 36	16.7 14	20.2 17	-	6.0 5	2.4 2
無職		100.0 187	55.6 104	58.8 110	23.0 43	41.2 77	15.0 28	20.3 38	3.2 6	13.9 26	2.7 5
その他		100.0 47	57.4 27	61.7 29	23.4 11	51.1 24	8.5 4	25.5 12	2.1 1	6.4 3	2.1 1
無回答		100.0 9	66.7 6	33.3 3	11.1 1	44.4 4	11.1 1	11.1 1	-	11.1 1	-
性・年代別		男性	100.0 283	56.9 161	53.0 150	23.7 67	43.1 122	16.6 47	26.9 76	2.1 6	12.7 36
	30代以下	100.0 35	48.6 17	42.9 15	40.0 14	48.6 17	28.6 10	37.1 13	-	22.9 8	-
	40代	100.0 33	63.6 21	45.5 15	33.3 11	39.4 13	21.2 7	39.4 13	-	12.1 4	-
	50代	100.0 43	53.5 23	46.5 20	18.6 8	41.9 18	9.3 4	20.9 9	2.3 1	11.6 5	4.7 2
	60代	100.0 69	47.8 33	58.0 40	15.9 11	44.9 31	10.1 7	20.3 14	2.9 2	14.5 10	1.4 1
	70代以上	100.0 103	65.0 67	58.3 60	22.3 23	41.7 43	18.4 19	26.2 27	2.9 3	8.7 9	1.0 1
	女性	100.0 372	64.8 241	60.8 226	28.5 106	47.8 178	19.1 71	25.5 95	1.6 6	8.3 31	2.2 8
	30代以下	100.0 57	64.9 37	68.4 39	50.9 29	49.1 28	38.6 22	42.1 24	1.8 1	10.5 6	-
	40代	100.0 42	61.9 26	57.1 24	21.4 9	61.9 26	26.2 11	26.2 11	-	11.9 5	-
	50代	100.0 78	73.1 57	60.3 47	33.3 26	59.0 46	19.2 15	28.2 22	1.3 1	6.4 5	-
	60代	100.0 70	62.9 44	57.1 40	24.3 17	52.9 37	15.7 11	32.9 23	1.4 1	5.7 4	4.3 3
	70代以上	100.0 125	61.6 77	60.8 76	20.0 25	32.8 41	9.6 12	12.0 15	2.4 3	8.8 11	4.0 5
	回答しない	100.0 3	33.3 1	33.3 1	-	-	-	-	-	33.3 1	-
	無回答	100.0 6	66.7 4	33.3 2	16.7 1	50.0 3	-	-	-	-	-

【市民】

第 18 表 障がいのある人に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

上段：％、下段：実数

問16	サンプル数	人権上の配慮をされること	金などの労働条件で不利に扱われたりすること	就職が困難であったり、賃金などの労働条件で不利に扱われたりすること	道の段差やエレベーターの未設置など、利用に支障があること	精神的な虐待を受けること	普通接する人から肉体的・精神的な虐待を受けること	障がいや理由に、意見や行動が尊重されないこと	伝える体制が十分でないこと	災害など危急の場で情報提供が困難なこと	スポーツや文化活動・地域活動に参加できないこと	その他	特にない・わからない	無回答
全体	100.0 664	50.9 338	46.5 309	36.7 244	28.0 186	32.8 218	26.2 174	19.6 130	0.3 2	19.4 129	3.2 21			
性別	男性	100.0 283	46.6 132	40.6 115	30.7 87	26.5 75	29.3 83	21.6 61	17.7 50	0.4 1	22.3 63	2.5 7		
	女性	100.0 372	54.6 203	51.3 191	40.9 152	29.3 109	36.0 134	30.1 112	21.2 79	0.3 1	17.7 66	3.2 12		
	回答しない	100.0 3	33.3 1	66.7 2	66.7 2	66.7 2	33.3 1	33.3 1	33.3 1	-	-	-	-	-
	無回答	100.0 6	33.3 2	16.7 1	50.0 3	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3 2
	年代別	20代以下	100.0 48	72.9 35	68.8 33	54.2 26	41.7 20	54.2 26	33.3 16	25.0 12	-	8.3 4	-	-
30代	100.0 45	57.8 26	55.6 25	40.0 18	40.0 18	48.9 22	28.9 13	28.9 13	2.2 1	17.8 8	2.2 1			
40代	100.0 75	64.0 48	56.0 42	41.3 31	38.7 29	45.3 34	30.7 23	22.7 17	-	10.7 8	-	-		
50代	100.0 122	56.6 69	50.8 62	35.2 43	31.1 38	35.2 43	27.0 33	15.6 19	0.8 1	18.9 23	0.8 1			
60代	100.0 139	50.4 70	48.2 67	33.1 46	27.3 38	25.9 36	25.2 35	24.5 34	-	18.7 26	3.6 5			
70代	100.0 152	41.4 63	36.8 56	34.9 53	21.1 32	24.3 37	25.7 39	17.1 26	-	24.3 37	4.6 7			
80代以上	100.0 77	32.5 25	29.9 23	31.2 24	14.3 11	26.0 20	19.5 15	11.7 9	-	29.9 23	6.5 5			
無回答	100.0 6	33.3 2	16.7 1	50.0 3	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3 2	
職業別	自営業	100.0 91	48.4 44	46.2 42	28.6 26	25.3 23	31.9 29	24.2 22	18.7 17	1.1 1	24.2 22	2.2 2		
	民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人未満の事業所)	100.0 92	55.4 51	47.8 44	33.7 31	35.9 33	42.4 39	21.7 20	26.1 24	-	15.2 14	1.1 1		
	民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人以上の事業所)	100.0 123	61.0 75	55.3 68	43.9 54	32.5 40	36.6 45	28.5 35	21.1 26	-	13.8 17	1.6 2		
	公務員	100.0 18	72.2 13	72.2 13	50.0 9	38.9 7	50.0 9	44.4 8	33.3 6	-	5.6 1	-	-	
	学生	100.0 13	69.2 9	69.2 9	53.8 7	46.2 6	53.8 7	38.5 5	23.1 3	-	-	-	-	
	家事専業	100.0 84	47.6 40	46.4 39	31.0 26	29.8 25	31.0 26	28.6 24	13.1 11	1.2 1	22.6 19	4.8 4		
	無職	100.0 187	43.3 81	36.4 68	36.4 68	22.5 42	25.7 48	26.2 49	17.6 33	-	24.6 46	3.7 7		
	その他	100.0 47	46.8 22	51.1 24	42.6 20	21.3 10	29.8 14	21.3 10	21.3 10	-	19.1 9	4.3 2		
	無回答	100.0 9	33.3 3	22.2 2	33.3 3	-	11.1 1	11.1 1	-	-	11.1 1	33.3 3		
	性別・年代別	男性	100.0 283	46.6 132	40.6 115	30.7 87	26.5 75	29.3 83	21.6 61	17.7 50	0.4 1	22.3 63	2.5 7	
30代以下		100.0 35	54.3 19	54.3 19	42.9 15	34.3 12	48.6 17	37.1 13	31.4 11	2.9 1	20.0 7	-	-	
40代		100.0 33	63.6 21	54.5 18	21.2 7	42.4 14	36.4 12	21.2 7	15.2 5	-	12.1 4	-	-	
50代		100.0 43	48.8 21	39.5 17	16.3 7	30.2 13	27.9 12	7.0 3	7.0 3	-	27.9 12	2.3 1		
60代		100.0 69	44.9 31	34.8 24	27.5 19	18.8 13	21.7 15	18.8 13	18.8 13	-	23.2 16	2.9 2		
70代以上		100.0 103	38.8 40	35.9 37	37.9 39	22.3 23	26.2 27	24.3 25	17.5 18	-	23.3 24	3.9 4		
女性		100.0 372	54.6 203	51.3 191	40.9 152	29.3 109	36.0 134	30.1 112	21.2 79	0.3 1	17.7 66	3.2 12		
30代以下		100.0 57	73.7 42	66.7 38	49.1 28	45.6 26	54.4 31	28.1 16	24.6 14	-	8.8 5	1.8 1		
40代		100.0 42	64.3 27	57.1 24	57.1 24	35.7 15	52.4 22	38.1 16	28.6 12	-	9.5 4	-	-	
50代		100.0 78	60.3 47	56.4 44	44.9 35	30.8 24	38.5 30	37.2 29	19.2 15	1.3 1	14.1 11	-	-	
60代		100.0 70	55.7 39	61.4 43	38.6 27	35.7 25	30.0 21	31.4 22	30.0 21	-	14.3 10	4.3 3		
70代以上		100.0 125	38.4 48	33.6 42	30.4 38	15.2 19	24.0 30	23.2 29	13.6 17	-	28.8 36	6.4 8		
回答しない		100.0 3	33.3 1	66.7 2	66.7 2	66.7 2	33.3 1	33.3 1	33.3 1	-	-	-	-	-
無回答		100.0 6	33.3 2	16.7 1	50.0 3	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3 2

【市民】

第 19 表 障がいのある人の人権を守るために必要なこと

上段：％、下段：実数

問17	サンプル数	保健、医療、福祉のサービスや利用施設を充実させること	就職機会の確保、賃金などの労働条件を安定させること	地域づくりにお互いが尊重されること	障がいのある人との交流を深め、お互いが尊重されること	建物や公共機関のバリアフリーを進めること	障がいのある人の人権を守るための啓発活動を推進すること	障がいのある人への理解を深める保育や教育を行うこと	幼少期から障がいのある人と・支援体制の充実を図ること	障がいのある人のための相談	その他	特にない・わからない	無回答
全体	100.0 664	50.6 336	43.2 287	36.0 239	32.1 213	22.9 152	45.9 305	41.1 273	0.8 5	14.5 96	2.6 17		
性別	男性	100.0 283	48.8 138	39.6 112	32.5 92	27.6 78	23.7 67	41.0 116	0.7 2	17.3 49	1.4 4		
	女性	100.0 372	52.7 196	46.0 171	39.2 146	35.5 132	22.6 84	50.5 188	0.8 3	11.8 44	3.2 12		
	回答しない	100.0 3	33.3 1	33.3 1	- -	33.3 1	- -	- -	- -	- -	66.7 2	- -	- -
	無回答	100.0 6	16.7 1	50.0 3	16.7 1	33.3 2	16.7 1	16.7 1	66.7 4	- -	16.7 1	16.7 1	
	無回答	100.0 48	16.7 29	50.0 27	16.7 26	33.3 25	16.7 17	16.7 22	66.7 21	- -	16.7 5	16.7 -	
年代別	20代以下	100.0 48	60.4 29	56.3 27	54.2 26	52.1 25	35.4 17	45.8 22	43.8 21	- -	10.4 5	- -	
	30代	100.0 45	46.7 21	42.2 19	35.6 16	31.1 14	24.4 11	46.7 21	33.3 15	2.2 1	22.2 10	2.2 1	
	40代	100.0 75	52.0 39	57.3 43	38.7 29	38.7 29	30.7 23	56.0 42	52.0 39	- -	8.0 6	1.3 1	
	50代	100.0 122	44.3 54	47.5 58	38.5 47	34.4 42	20.5 25	45.1 55	38.5 47	- -	12.3 15	1.6 2	
	60代	100.0 139	50.4 70	46.0 64	30.9 43	27.3 38	17.3 24	53.2 74	40.3 56	1.4 2	11.5 16	3.6 5	
	70代	100.0 152	55.9 85	32.2 49	32.9 50	30.9 47	21.7 33	39.5 60	42.1 64	1.3 2	18.4 28	2.0 3	
	80代以上	100.0 77	48.1 37	31.2 24	35.1 27	20.8 16	23.4 18	39.0 30	35.1 27	- -	19.5 15	5.2 4	
	無回答	100.0 6	16.7 1	50.0 3	16.7 1	33.3 2	16.7 1	16.7 1	66.7 4	- -	16.7 1	16.7 1	
	無回答	100.0 91	16.7 48	50.0 41	16.7 28	33.3 18	16.7 17	16.7 45	66.7 43	- 2	16.7 14	16.7 1	
職業別	自営業	100.0 91	52.7 48	45.1 41	30.8 28	19.8 18	18.7 17	49.5 45	47.3 43	2.2 2	15.4 14	1.1 1	
	民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人未満の事業所)	100.0 92	44.6 41	42.4 39	41.3 38	32.6 30	25.0 23	47.8 44	37.0 34	- -	16.3 15	2.2 2	
	民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人以上の事業所)	100.0 123	52.0 64	49.6 61	39.8 49	36.6 45	23.6 29	47.2 58	44.7 55	- -	9.8 12	1.6 2	
	公務員	100.0 18	50.0 9	55.6 10	50.0 9	50.0 9	27.8 5	33.3 6	27.8 5	- -	11.1 2	5.6 1	
	学生	100.0 13	69.2 9	61.5 8	53.8 7	53.8 7	46.2 7	38.5 5	46.2 6	- -	7.7 1	- -	
	家事専業	100.0 84	47.6 40	42.9 36	40.5 34	31.0 26	22.6 19	52.4 44	34.5 29	- -	8.3 7	2.4 2	
	無職	100.0 187	51.9 97	35.3 66	32.6 61	31.0 58	24.6 46	42.8 80	39.6 74	1.6 3	19.8 37	3.2 6	
	その他	100.0 47	55.3 26	46.8 22	23.4 11	38.3 18	12.8 6	44.7 21	46.8 22	- -	10.6 5	4.3 2	
	無回答	100.0 9	22.2 2	44.4 4	22.2 2	22.2 2	11.1 1	22.2 2	55.6 5	- -	33.3 3	11.1 1	
	無回答	100.0 283	22.2 138	44.4 112	22.2 92	22.2 78	11.1 67	22.2 116	55.6 116	- 2	33.3 49	11.1 4	
性・年代別	男性	100.0 283	48.8 138	39.6 112	32.5 92	27.6 78	23.7 67	41.0 116	0.7 2	17.3 49	1.4 4		
	30代以下	100.0 35	45.7 16	37.1 13	40.0 14	40.0 14	25.7 9	40.0 14	34.3 12	- -	22.9 8	- -	
	40代	100.0 33	36.4 12	60.6 20	42.4 14	33.3 11	24.2 8	48.5 16	48.5 16	- -	9.1 3	- -	
	50代	100.0 43	34.9 15	37.2 16	32.6 14	23.3 10	20.9 9	39.5 17	32.6 14	- -	18.6 8	2.3 1	
	60代	100.0 69	47.8 33	40.6 28	21.7 15	21.7 15	20.3 14	37.7 26	34.8 24	- -	18.8 13	2.9 2	
	70代以上	100.0 103	60.2 62	34.0 35	34.0 35	27.2 28	26.2 27	41.7 43	48.5 50	1.9 2	16.5 17	1.0 1	
	女性	100.0 372	52.7 196	46.0 171	39.2 146	35.5 132	22.6 84	50.5 188	41.1 153	0.8 3	11.8 44	3.2 12	
	30代以下	100.0 57	57.9 33	56.1 32	49.1 28	42.1 24	33.3 19	50.9 29	42.1 24	1.8 1	12.3 7	1.8 1	
	40代	100.0 42	64.3 27	54.8 23	35.7 15	42.9 18	35.7 15	61.9 26	54.8 23	- -	7.1 3	2.4 1	
	50代	100.0 78	50.0 39	53.8 42	42.3 33	41.0 32	20.5 16	48.7 38	42.3 33	- -	7.7 6	1.3 1	
	60代	100.0 70	52.9 37	51.4 36	40.0 28	32.9 23	14.3 10	68.6 48	45.7 32	2.9 2	4.3 3	4.3 3	
	70代以上	100.0 125	48.0 60	30.4 38	33.6 42	28.0 35	19.2 24	37.6 47	32.8 41	- -	20.0 25	4.8 6	
	回答しない	100.0 3	33.3 1	33.3 1	- -	33.3 1	- -	- -	- -	- -	66.7 2	- -	
	無回答	100.0 6	16.7 1	50.0 3	16.7 1	33.3 2	16.7 1	16.7 1	66.7 4	- -	16.7 1	16.7 1	

【市民】

第 20 表 外国人や外国にルーツのある人に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

上段：％、下段：実数

問18	サンプル数	特定の民族や国籍であるが、差別的な言動をされること（ヘイトスピーチ）	金などの労働条件で不利な扱いを受けること	就職が困難であったり、賃金などの労働条件で不利な扱いを受けること	結婚を周囲から反対されること	年金など社会保障制度で不利な扱いを受けること	けなかつたりサービスが受けられないこと	病院等に十分な外国語表記がないこと	アパート等の入居を断られるなど地域社会での受け入れが十分でないこと	店舗等への入店や施設利用を拒否されること	その他	特にない・わからない	無回答
全体	100.0 664	37.7 250	39.5 262	14.8 98	20.6 137	30.7 204	21.5 143	9.0 60	0.9 6	34.9 232	4.8 32		
性別	男性	100.0 283	34.6 98	37.1 105	15.5 44	21.6 61	26.1 74	16.6 47	8.8 25	0.7 2	38.5 109	3.9 11	
	女性	100.0 372	40.3 150	41.7 155	14.0 52	20.2 75	34.1 127	25.3 94	9.1 34	1.1 4	32.3 120	5.1 19	
	回答しない	100.0 3	33.3 1	33.3 1	66.7 2	33.3 1	66.7 2	33.3 1	33.3 1	-	-	-	-
	無回答	100.0 6	16.7 1	16.7 1	-	-	16.7 1	16.7 1	-	-	50.0 3	33.3 2	
	年代別	20代以下	100.0 48	64.6 31	56.3 27	39.6 19	35.4 17	52.1 25	31.3 15	22.9 11	-	12.5 6	-
30代	100.0 45	48.9 22	46.7 21	28.9 13	28.9 13	37.8 17	26.7 12	13.3 6	-	33.3 15	2.2 1		
40代	100.0 75	50.7 38	45.3 34	20.0 15	20.0 15	36.0 27	30.7 23	12.0 9	-	28.0 21	1.3 1		
50代	100.0 122	50.0 61	41.8 51	15.6 19	24.6 30	33.6 41	25.4 31	13.1 16	1.6 2	27.0 33	3.3 4		
60代	100.0 139	36.7 51	46.0 64	12.9 18	18.0 25	33.8 47	27.3 38	7.2 10	1.4 2	28.1 39	4.3 6		
70代	100.0 152	22.4 34	30.3 46	6.6 10	17.8 27	21.1 32	9.2 14	3.3 5	0.7 1	48.7 74	7.2 11		
80代以上	100.0 77	15.6 12	23.4 18	5.2 4	13.0 10	18.2 14	11.7 9	3.9 3	1.3 1	53.2 41	9.1 7		
無回答	100.0 6	16.7 1	16.7 1	-	-	16.7 1	16.7 1	-	-	50.0 3	33.3 2		
職業別	自営業	100.0 91	28.6 26	37.4 34	11.0 10	13.2 12	25.3 23	16.5 15	11.0 10	-	41.8 38	5.5 5	
	民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人未満の事業所)	100.0 92	48.9 45	39.1 36	25.0 23	25.0 23	34.8 32	26.1 24	14.1 13	-	31.5 29	3.3 3	
	民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人以上の事業所)	100.0 123	48.8 60	50.4 62	21.1 26	24.4 30	36.6 45	31.7 39	10.6 13	0.8 1	24.4 30	2.4 3	
	公務員	100.0 18	55.6 10	44.4 8	22.2 4	27.8 5	50.0 9	38.9 7	16.7 3	-	16.7 3	5.6 1	
	学生	100.0 13	61.5 8	53.8 7	46.2 6	38.5 5	46.2 6	38.5 5	23.1 3	-	15.4 2	-	
	家事専業	100.0 84	35.7 30	42.9 36	7.1 6	15.5 13	29.8 25	21.4 18	6.0 5	1.2 1	39.3 33	3.6 3	
	無職	100.0 187	25.1 47	28.9 54	9.1 17	20.9 39	26.2 49	13.4 25	5.9 11	2.1 4	43.3 81	7.0 13	
	その他	100.0 47	46.8 22	48.9 23	12.8 6	19.1 9	29.8 14	17.0 8	4.3 2	-	23.4 11	4.3 2	
	無回答	100.0 9	22.2 2	22.2 2	-	11.1 1	11.1 1	22.2 2	-	-	55.6 5	22.2 2	
	性・年代別	男性	100.0 283	34.6 98	37.1 105	15.5 44	21.6 61	26.1 74	16.6 47	8.8 25	0.7 2	38.5 109	3.9 11
30代以下		100.0 35	54.3 19	45.7 16	28.6 10	31.4 11	40.0 14	20.0 7	20.0 7	-	37.1 13	-	
40代		100.0 33	48.5 16	39.4 13	24.2 8	21.2 7	27.3 9	24.2 8	9.1 3	-	30.3 10	-	
50代		100.0 43	39.5 17	34.9 15	14.0 6	18.6 8	11.6 5	14.0 6	4.7 2	2.3 1	30.2 13	7.0 3	
60代		100.0 69	31.9 22	34.8 24	15.9 11	17.4 12	29.0 20	17.4 12	10.1 7	-	36.2 25	4.3 3	
70代以上		100.0 103	23.3 24	35.9 37	8.7 9	22.3 23	25.2 26	13.6 14	5.8 6	1.0 1	46.6 48	4.9 5	
女性		100.0 372	40.3 150	41.7 155	14.0 52	20.2 75	34.1 127	25.3 94	9.1 34	1.1 4	32.3 120	5.1 19	
30代以下		100.0 57	59.6 34	56.1 32	38.6 22	33.3 19	47.4 27	35.1 20	17.5 10	-	14.0 8	1.8 1	
40代		100.0 42	52.4 22	50.0 21	16.7 7	19.0 8	42.9 18	35.7 15	14.3 6	-	26.2 11	2.4 1	
50代		100.0 78	55.1 43	44.9 35	15.4 12	26.9 21	44.9 35	30.8 24	16.7 13	1.3 1	25.6 20	1.3 1	
60代		100.0 70	41.4 29	57.1 40	10.0 7	18.6 13	38.6 27	37.1 26	4.3 3	2.9 2	20.0 14	4.3 3	
70代以上		100.0 125	17.6 22	21.6 27	3.2 4	11.2 14	16.0 20	7.2 9	1.6 2	0.8 1	53.6 67	10.4 13	
回答しない		100.0 3	33.3 1	33.3 1	66.7 2	33.3 1	66.7 2	33.3 1	33.3 1	-	-	-	-
無回答		100.0 6	16.7 1	16.7 1	-	-	16.7 1	16.7 1	-	-	50.0 3	33.3 2	

【市民】

第 21 表 外国人や外国にルーツのある人の人権を守るために必要なことは何だと思うか

上段：％、下段：実数

問19	サンプル数	外国人の人権を守るための啓発活動を推進すること	平等な機会・賃金・労働条件の確保を確保すること	就職の機会・賃金・労働条件の確保を確保すること	外国人と日本人の相互理解を促進するための交流イベントを行うこと	強化を図ること	売春等の組織的犯罪の取締りの強化を図ること	日常生活に必要な情報や案内を多言語化して充実を図ること	学校教育や国際理解教育を充実すること	インターネット上などでの偏見や差別的な書き込みなどを、そのまま受け入れないようにする	その他	特にない・わからない	無回答	
全体	100.0 664	25.3 168	37.3 248	27.4 182	14.6 97	33.4 222	27.1 180	20.8 138	0.5 3	31.6 210	5.4 36			
性別	男性	100.0 283	25.8 73	35.3 100	26.1 74	13.4 38	28.6 81	27.6 78	15.2 43	0.7 2	35.7 101	4.9 14		
	女性	100.0 372	25.3 94	39.0 145	28.8 107	15.9 59	37.6 140	26.9 100	24.7 92	0.3 1	28.8 107	5.6 21		
	回答しない	100.0 3	- -	33.3 1	- -	- -	- -	66.7 2	- -	- -	- -	33.3 1	- -	
	無回答	100.0 6	16.7 1	33.3 2	16.7 1	- -	16.7 1	- -	50.0 3	- -	- -	16.7 1	16.7 1	
年代別	20代以下	100.0 48	47.9 23	60.4 29	39.6 19	27.1 13	52.1 25	39.6 19	35.4 17	- -	14.6 7	- -		
	30代	100.0 45	26.7 12	35.6 16	35.6 16	22.2 10	40.0 18	42.2 19	33.3 15	- -	28.9 13	2.2 1		
	40代	100.0 75	33.3 25	46.7 35	38.7 29	14.7 11	37.3 28	28.0 21	28.0 21	- -	26.7 20	1.3 1		
	50代	100.0 122	27.0 33	43.4 53	27.0 33	16.4 20	42.6 52	37.7 46	23.8 29	0.8 1	23.8 29	3.3 4		
	60代	100.0 139	21.6 30	36.0 50	27.3 38	15.1 21	38.8 54	30.2 42	16.5 23	- -	27.3 38	5.8 8		
	70代	100.0 152	21.1 32	30.3 46	20.4 31	11.8 18	21.1 32	16.4 25	12.5 19	0.7 1	43.4 66	6.6 10		
	80代以上	100.0 77	15.6 12	22.1 17	19.5 15	5.2 4	15.6 12	10.4 8	14.3 11	1.3 1	46.8 36	14.3 11		
	無回答	100.0 6	16.7 1	33.3 2	16.7 1	- -	16.7 1	- -	50.0 3	- -	- -	16.7 1	16.7 1	
	職業別	自営業	100.0 91	16.5 15	31.9 29	22.0 20	9.9 9	28.6 26	30.8 28	13.2 12	- -	33.0 30	6.6 6	
民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人未満の事業所)		100.0 92	29.3 27	46.7 43	29.3 27	15.2 14	37.0 34	28.3 26	25.0 23	- -	31.5 29	3.3 3		
民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人以上の事業所)		100.0 123	31.7 39	43.1 53	35.0 43	19.5 24	45.5 56	33.3 41	22.0 27	- -	23.6 29	2.4 3		
公務員		100.0 18	50.0 9	38.9 7	33.3 6	27.8 5	55.6 10	44.4 8	27.8 5	- -	16.7 3	5.6 1		
学生		100.0 13	53.8 7	69.2 9	46.2 6	30.8 4	46.2 6	46.2 6	38.5 5	- -	15.4 2	- -		
家事専業		100.0 84	20.2 17	36.9 31	25.0 21	13.1 11	35.7 30	21.4 18	26.2 22	1.2 1	31.0 26	3.6 3		
無職		100.0 187	23.5 44	28.3 53	22.5 42	12.3 23	23.5 44	20.9 39	17.1 32	1.1 2	40.1 75	9.1 17		
その他		100.0 47	17.0 8	42.6 20	31.9 15	14.9 7	31.9 15	29.8 14	19.1 9	- -	27.7 13	4.3 2		
無回答		100.0 9	22.2 2	33.3 3	22.2 2	- -	11.1 1	- -	33.3 3	- -	- -	33.3 3	11.1 1	
性・年代別		男性	100.0 283	25.8 73	35.3 100	26.1 74	13.4 38	28.6 81	27.6 78	15.2 43	0.7 2	35.7 101	4.9 14	
	30代以下	100.0 35	34.3 12	48.6 17	37.1 13	20.0 7	34.3 12	37.1 13	31.4 11	- -	34.3 12	- -		
	40代	100.0 33	36.4 12	42.4 14	39.4 13	18.2 6	36.4 12	24.2 8	24.2 8	- -	30.3 10	- -		
	50代	100.0 43	25.6 11	37.2 16	14.0 6	9.3 4	32.6 14	37.2 16	11.6 5	2.3 1	25.6 11	7.0 3		
	60代	100.0 69	21.7 15	27.5 19	26.1 18	14.5 10	30.4 21	31.9 22	11.6 8	- -	31.9 22	5.8 4		
	70代以上	100.0 103	22.3 23	33.0 34	23.3 24	10.7 11	21.4 22	18.4 19	10.7 11	1.0 1	44.7 46	6.8 7		
	女性	100.0 372	25.3 94	39.0 145	28.8 107	15.9 59	37.6 140	26.9 100	24.7 92	0.3 1	28.8 107	5.6 21		
	30代以下	100.0 57	40.4 23	47.4 27	38.6 22	28.1 16	54.4 31	42.1 24	36.8 21	- -	14.0 8	1.8 1		
	40代	100.0 42	31.0 13	50.0 21	38.1 16	11.9 5	38.1 16	31.0 13	31.0 13	- -	23.8 10	2.4 1		
	50代	100.0 78	28.2 22	47.4 37	34.6 27	20.5 16	48.7 38	38.5 30	30.8 24	- -	21.8 17	1.3 1		
	60代	100.0 70	21.4 15	44.3 31	28.6 20	15.7 11	47.1 33	28.6 20	21.4 15	- -	22.9 16	5.7 4		
	70代以上	100.0 125	16.8 21	23.2 29	17.6 22	8.8 11	17.6 22	10.4 13	15.2 19	0.8 1	44.8 56	11.2 14		
	回答しない	100.0 3	- -	33.3 1	- -	- -	- -	66.7 2	- -	- -	- -	33.3 1	- -	
	無回答	100.0 6	16.7 1	33.3 2	16.7 1	- -	16.7 1	- -	50.0 3	- -	- -	16.7 1	16.7 1	

【市民】

第 22 表 HIV感染者、エイズ患者に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

上段：％、下段：実数

問20	サンプル数	感染者や患者が病院での治療や入院を断られること	感染者や患者が断られること	結婚を断られたり、離婚を断られること	無断で他人に伝えられること	本人に無断でエイズ検査をすること	感染していることを本人に伝えること	感染していることが、退職や退学に追い込まれること	感染していることが、見られること	感染者や患者が特別な目で見られること	その他	特にない・わからない	無回答
全体	100.0 664	27.9 185	20.8 138	31.6 210	12.2 81	27.4 182	35.7 237	0.2 1	41.7 277	4.7 31			
性別	男性	100.0 283	26.9 76	17.0 48	27.6 78	11.0 31	25.4 72	30.7 87	-	44.5 126	4.2 12		
	女性	100.0 372	29.0 108	23.7 88	34.7 129	13.2 49	29.0 108	39.8 148	0.3 1	39.5 147	4.8 18		
	回答しない	100.0 3	33.3 1	66.7 2	100.0 3	33.3 1	33.3 1	66.7 2	-	-	-	-	-
	無回答	100.0 6	-	-	-	-	16.7 1	-	-	66.7 4	16.7 1		
	年代別	20代以下	100.0 48	39.6 19	45.8 22	52.1 25	20.8 10	54.2 26	47.9 23	2.1 1	25.0 12	-	-
30代	100.0 45	33.3 15	35.6 16	48.9 22	17.8 8	35.6 16	53.3 24	-	33.3 15	2.2 1			
40代	100.0 75	28.0 21	37.3 28	34.7 26	14.7 11	37.3 28	45.3 34	-	33.3 25	-			
50代	100.0 122	32.8 40	26.2 32	30.3 37	17.2 21	28.7 35	43.4 53	-	36.1 44	4.1 5			
60代	100.0 139	24.5 34	7.9 11	29.5 41	9.4 13	25.2 35	31.7 44	-	45.3 63	5.0 7			
70代	100.0 152	23.7 36	14.5 22	27.6 42	7.2 11	17.8 27	26.3 40	-	52.0 79	4.6 7			
80代以上	100.0 77	26.0 20	9.1 7	22.1 17	9.1 7	18.2 14	24.7 19	-	45.5 35	13.0 10			
無回答	100.0 6	-	-	-	-	16.7 1	-	-	66.7 4	16.7 1			
職業別	自営業	100.0 91	19.8 18	18.7 17	25.3 23	7.7 7	23.1 21	30.8 28	-	47.3 43	8.8 8		
	民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人未満の事業所)	100.0 92	37.0 34	29.3 27	37.0 34	15.2 14	32.6 30	44.6 41	1.1 1	35.9 33	2.2 2		
	民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人以上の事業所)	100.0 123	30.9 38	29.3 36	37.4 46	13.8 17	35.0 43	42.3 52	-	31.7 39	1.6 2		
	公務員	100.0 18	44.4 8	33.3 6	38.9 7	38.9 7	22.2 4	50.0 9	-	16.7 3	5.6 1		
	学生	100.0 13	30.8 4	46.2 6	46.2 6	7.7 1	46.2 6	53.8 7	-	38.5 5	-		
	家事専業	100.0 84	26.2 22	19.0 16	33.3 28	14.3 12	28.6 24	31.0 26	-	46.4 39	2.4 2		
	無職	100.0 187	25.1 47	11.2 21	27.3 51	9.6 18	21.9 41	28.9 54	-	50.3 94	7.0 13		
	その他	100.0 47	29.8 14	19.1 9	31.9 15	10.6 5	25.5 12	42.6 20	-	29.8 14	4.3 2		
	無回答	100.0 9	-	-	-	-	11.1 1	-	-	77.8 7	11.1 1		
	性・年代別	男性	100.0 283	26.9 76	17.0 48	27.6 78	11.0 31	25.4 72	30.7 87	-	44.5 126	4.2 12	
30代以下		100.0 35	28.6 10	28.6 10	42.9 15	17.1 6	34.3 12	28.6 10	-	48.6 17	-		
40代		100.0 33	27.3 9	27.3 9	27.3 9	9.1 3	39.4 13	36.4 12	-	33.3 11	-		
50代		100.0 43	20.9 9	25.6 11	23.3 10	9.3 4	20.9 9	32.6 14	-	39.5 17	9.3 4		
60代		100.0 69	18.8 13	5.8 4	27.5 19	13.0 9	24.6 17	27.5 19	-	47.8 33	5.8 4		
70代以上		100.0 103	34.0 35	13.6 14	24.3 25	8.7 9	20.4 21	31.1 32	-	46.6 48	3.9 4		
女性		100.0 372	29.0 108	23.7 88	34.7 129	13.2 49	29.0 108	39.8 148	0.3 1	39.5 147	4.8 18		
30代以下		100.0 57	42.1 24	47.4 27	54.4 31	21.1 12	52.6 30	63.2 36	1.8 1	17.5 10	1.8 1		
40代		100.0 42	28.6 12	45.2 19	40.5 17	19.0 8	35.7 15	52.4 22	-	33.3 14	-		
50代		100.0 78	38.5 30	25.6 20	33.3 26	20.5 16	32.1 25	48.7 38	-	34.6 27	1.3 1		
60代		100.0 70	30.0 21	10.0 7	31.4 22	5.7 4	25.7 18	35.7 25	-	42.9 30	4.3 3		
70代以上		100.0 125	16.8 21	12.0 15	26.4 33	7.2 9	16.0 20	21.6 27	-	52.8 66	10.4 13		
回答しない		100.0 3	33.3 1	66.7 2	100.0 3	33.3 1	33.3 1	66.7 2	-	-	-	-	-
無回答		100.0 6	-	-	-	-	16.7 1	-	-	66.7 4	16.7 1		

【市民】

第 23 表 ハンセン病患者・元患者や家族等に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

上段：％、下段：実数

問21	サンプル数	理解が十分でないこと	地域社会での正しい知識と	ハンセン病療養所以外で自立した生活を営むのが困難であること	居が困難なこと	アパートなどの住居への入	差別的言動を受けること	ホテル等で宿泊を拒否されること	就職や職場で不利な扱いを受けること	結婚を周囲から反対されること	その他	特にない・わからない	無回答
全体	100.0 664	43.1 286	22.4 149	14.0 93	26.8 178	16.4 109	22.3 148	18.4 122	0.3 2	42.6 283	4.5 30		
性別	男性	100.0 283	39.6 112	20.1 57	12.4 35	24.4 69	17.0 48	19.8 56	17.7 50	0.4 1	44.5 126	3.2 9	
	女性	100.0 372	46.0 171	24.7 92	15.6 58	28.8 107	16.4 61	24.7 92	19.1 71	0.3 1	41.1 153	5.4 20	
	回答しない	100.0 3	100.0 3	-	-	33.3 1	-	-	33.3 1	-	-	-	-
	無回答	100.0 6	-	-	-	16.7 1	-	-	-	-	66.7 4	16.7 1	
年代別	20代以下	100.0 48	45.8 22	29.2 14	16.7 8	43.8 21	31.3 15	37.5 18	27.1 13	2.1 1	35.4 17	-	-
	30代	100.0 45	51.1 23	31.1 14	28.9 13	31.1 14	24.4 11	31.1 14	24.4 11	-	37.8 17	2.2 1	
	40代	100.0 75	46.7 35	29.3 22	20.0 15	29.3 22	22.7 17	32.0 24	25.3 19	-	41.3 31	-	-
	50代	100.0 122	50.8 62	22.1 27	18.9 23	27.0 33	17.2 21	26.2 32	21.3 26	-	38.5 47	3.3 4	
	60代	100.0 139	45.3 63	23.0 32	9.4 13	27.3 38	12.9 18	19.4 27	12.9 18	-	43.2 60	4.3 6	
	70代	100.0 152	38.8 59	19.1 29	10.5 16	25.7 39	12.5 19	16.4 25	15.8 24	-	46.1 70	5.3 8	
	80代以上	100.0 77	28.6 22	14.3 11	6.5 5	13.0 10	10.4 8	10.4 8	14.3 11	1.3 1	48.1 37	13.0 10	
	無回答	100.0 6	-	-	-	16.7 1	-	-	-	-	66.7 4	16.7 1	
職業別	自営業	100.0 91	44.0 40	18.7 17	12.1 11	23.1 21	11.0 10	19.8 18	14.3 13	-	40.7 37	5.5 5	
	民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人未満の事業所)	100.0 92	52.2 48	21.7 20	17.4 16	30.4 28	22.8 21	28.3 26	28.3 26	1.1 1	39.1 36	2.2 2	
	民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人以上の事業所)	100.0 123	48.0 59	30.9 38	22.0 27	30.1 37	23.6 29	28.5 35	17.9 22	-	39.8 49	1.6 2	
	公務員	100.0 18	50.0 9	27.8 5	22.2 4	38.9 7	27.8 5	38.9 7	27.8 5	-	27.8 5	5.6 1	
	学生	100.0 13	53.8 7	23.1 3	7.7 1	38.5 5	23.1 3	46.2 6	30.8 4	-	30.8 4	-	-
	家事専業	100.0 84	41.7 35	17.9 15	15.5 13	28.6 24	9.5 8	20.2 17	15.5 13	-	45.2 38	2.4 2	
	無職	100.0 187	34.8 65	19.3 36	9.1 17	21.9 41	15.0 28	16.0 30	16.6 31	0.5 1	47.6 89	8.0 15	
	その他	100.0 47	48.9 23	31.9 15	8.5 4	29.8 14	10.6 5	19.1 9	17.0 8	-	38.3 18	4.3 2	
無回答	100.0 9	-	-	-	11.1 1	-	-	-	-	77.8 7	11.1 1		
性・年代別	男性	100.0 283	39.6 112	20.1 57	12.4 35	24.4 69	17.0 48	19.8 56	17.7 50	0.4 1	44.5 126	3.2 9	
	30代以下	100.0 35	34.3 12	20.0 7	14.3 5	34.3 12	22.9 8	28.6 10	22.9 8	-	48.6 17	-	-
	40代	100.0 33	39.4 13	30.3 10	18.2 6	30.3 10	27.3 9	33.3 11	21.2 7	-	39.4 13	-	-
	50代	100.0 43	39.5 17	9.3 4	14.0 6	16.3 7	11.6 5	20.9 9	16.3 7	-	41.9 18	7.0 3	
	60代	100.0 69	43.5 30	18.8 13	10.1 7	23.2 16	14.5 10	14.5 10	13.0 9	-	46.4 32	4.3 3	
	70代以上	100.0 103	38.8 40	22.3 23	10.7 11	23.3 24	15.5 16	15.5 16	18.4 19	1.0 1	44.7 46	2.9 3	
	女性	100.0 372	46.0 171	24.7 92	15.6 58	28.8 107	16.4 61	24.7 92	19.1 71	0.3 1	41.1 153	5.4 20	
	30代以下	100.0 57	56.1 32	36.8 21	28.1 16	40.4 23	31.6 18	38.6 22	28.1 16	1.8 1	29.8 17	1.8 1	
	40代	100.0 42	52.4 22	28.6 12	21.4 9	28.6 12	19.0 8	31.0 13	28.6 12	-	42.9 18	-	-
	50代	100.0 78	56.4 44	29.5 23	21.8 17	33.3 26	20.5 16	29.5 23	24.4 19	-	37.2 29	1.3 1	
	60代	100.0 70	47.1 33	27.1 19	8.6 6	31.4 22	11.4 8	24.3 17	12.9 9	-	40.0 28	4.3 3	
	70代以上	100.0 125	32.0 40	13.6 17	8.0 10	19.2 24	8.8 11	13.6 17	12.0 15	-	48.8 61	12.0 15	
	回答しない	100.0 3	100.0 3	-	-	33.3 1	-	-	33.3 1	-	-	-	-
無回答	100.0 6	-	-	-	16.7 1	-	-	-	-	66.7 4	16.7 1		

【市民】

第 24 表 犯罪被害者やその家族に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

上段：％、下段：実数

問22	サンプル数	犯罪行為によって身体的・精神的に被害を受け、経済的負担など長期間に被害を苦しむこと	捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること	刑事裁判手続きにおいて必ずしも被害者の声が十分反映されるわけではないこと	事件に関して周囲にうわさ話をされること	被害者やその家族を支援する方策が十分に周知されていないこと	マスメディアなどの報道によってプライバシーが公表されたり、取材により私生活の平穏が保てなくなる	ソーシャルメディア（SNS）等で悪質・不快な書き込みをされること	その他	特にない・わからない	無回答	
全体	1000 664	54.1 359	35.2 234	30.1 200	39.2 260	31.0 206	47.4 315	39.3 261	-	23.3 155	3.6 24	
性別	男性	100.0 283	50.2 142	32.9 93	29.0 82	33.2 94	26.9 76	42.4 120	32.9 93	-	26.9 76	2.1 6
	女性	100.0 372	57.3 213	37.1 138	31.2 116	43.5 162	34.1 127	51.6 192	44.1 164	-	20.7 77	4.8 18
	回答しない	100.0 3	66.7 2	66.7 2	66.7 2	100.0 3	100.0 3	66.7 2	100.0 3	-	-	-
	無回答	100.0 6	33.3 2	16.7 1	-	16.7 1	-	16.7 1	16.7 1	-	33.3 2	-
年代別	20代以下	100.0 48	70.8 34	50.0 24	41.7 20	50.0 24	43.8 21	56.3 27	58.3 28	-	12.5 6	-
	30代	100.0 45	57.8 26	51.1 23	53.3 24	51.1 23	44.4 20	57.8 26	60.0 27	-	17.8 8	2.2 1
	40代	100.0 75	65.3 49	48.0 36	30.7 23	48.0 36	36.0 27	62.7 47	58.7 44	-	17.3 13	-
	50代	100.0 122	68.0 83	43.4 53	36.9 45	46.7 57	36.9 45	56.6 69	49.2 60	-	15.6 19	2.5 3
	60代	100.0 139	52.5 73	30.9 43	31.7 44	36.7 51	30.2 42	48.9 68	39.6 55	-	25.2 35	4.3 6
	70代	100.0 152	44.1 67	23.0 35	23.0 35	31.6 48	25.0 38	34.9 53	21.7 33	-	29.6 45	4.6 7
	80代以上	100.0 77	32.5 25	24.7 19	11.7 9	26.0 20	16.9 13	31.2 24	16.9 13	-	35.1 27	9.1 7
	無回答	100.0 6	33.3 2	16.7 1	-	16.7 1	-	16.7 1	16.7 1	-	33.3 2	-
職業別	自営業	100.0 91	51.6 47	36.3 33	29.7 27	36.3 33	29.7 27	47.3 43	33.0 30	-	26.4 24	1.1 1
	民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人未満の事業所)	100.0 92	60.9 56	41.3 38	38.0 35	44.6 41	30.4 28	48.9 45	44.6 41	-	21.7 20	2.2 2
	民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人以上の事業所)	100.0 123	67.5 83	50.4 62	39.0 48	51.2 63	39.8 49	62.6 77	55.3 68	-	11.4 14	1.6 2
	公務員	100.0 18	55.6 10	38.9 7	55.6 10	38.9 7	44.4 8	50.0 9	44.4 8	-	22.2 4	5.6 1
	学生	100.0 13	53.8 7	46.2 6	23.1 3	38.5 5	53.8 7	30.8 4	53.8 7	-	23.1 3	-
	家事専業	100.0 84	54.8 46	28.6 24	25.0 21	33.3 28	28.6 24	48.8 41	34.5 29	-	23.8 20	3.6 3
	無職	100.0 187	43.9 82	24.1 45	21.4 40	33.2 62	25.7 48	36.4 68	28.9 54	-	28.3 53	7.0 13
	その他	100.0 47	55.3 26	38.3 18	34.0 16	42.6 20	31.9 15	57.4 27	48.9 23	-	25.5 12	4.3 2
	無回答	100.0 9	22.2 2	11.1 1	-	11.1 1	-	11.1 1	11.1 1	-	55.6 5	-
	性・年代別	男性	100.0 283	50.2 142	32.9 93	29.0 82	33.2 94	26.9 76	42.4 120	32.9 93	-	26.9 76
30代以下		100.0 35	57.1 20	45.7 16	45.7 16	40.0 14	37.1 13	51.4 18	54.3 19	-	20.0 7	-
40代		100.0 33	54.5 18	42.4 14	24.2 8	36.4 12	33.3 11	42.4 14	51.5 17	-	21.2 7	-
50代		100.0 43	67.4 29	39.5 17	34.9 15	34.9 15	30.2 13	55.8 24	37.2 16	-	20.9 9	4.7 2
60代		100.0 69	44.9 31	23.2 16	29.0 20	27.5 19	26.1 18	34.8 24	30.4 21	-	33.3 23	2.9 2
70代以上		100.0 103	42.7 44	29.1 30	22.3 23	33.0 34	20.4 21	38.8 40	19.4 20	-	29.1 30	1.9 2
女性		100.0 372	57.3 213	37.1 138	31.2 116	43.5 162	34.1 127	51.6 192	44.1 164	-	20.7 77	4.8 18
30代以下		100.0 57	70.2 40	54.4 31	49.1 28	56.1 32	47.4 27	61.4 35	61.4 35	-	12.3 7	1.8 1
40代		100.0 42	73.8 31	52.4 22	35.7 15	57.1 24	38.1 16	78.6 33	64.3 27	-	14.3 6	-
50代		100.0 78	67.9 53	44.9 35	37.2 29	52.6 41	39.7 31	56.4 44	55.1 43	-	12.8 10	1.3 1
60代		100.0 70	60.0 42	38.6 27	34.3 24	45.7 32	34.3 24	62.9 44	48.6 34	-	17.1 12	5.7 4
70代以上		100.0 125	37.6 47	18.4 23	16.0 20	26.4 33	23.2 29	28.8 36	20.0 25	-	33.6 42	9.6 12
回答しない		100.0 3	66.7 2	66.7 2	66.7 2	100.0 3	100.0 3	66.7 2	100.0 3	-	-	-
無回答		100.0 6	33.3 2	16.7 1	-	16.7 1	-	16.7 1	16.7 1	-	33.3 2	-

【市民】

第 25 表 インターネットに關することからで、人権が特に尊重されていない、または侵害されていると思うこと

上段：％、下段：実数

問23	サンプル数	他人を誹謗・中傷する表現を掲載していること	差別を助長する表現や内容を掲載していること	同和地区の地名や動画などを掲載していること	ソーシャルメディア（SNS）等で悪質・不快な書き込みをされること	出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること	成年者の実名や顔写真を掲載していること	捜査の対象になっていること	画像や動画を掲載していること	個人情報の流出などの問題が多く発生していること	悪徳商法の取引の場となっていること	その他	特にない・わからない	無回答
全体	100.0 664	65.5 435	35.1 233	18.4 122	45.9 305	34.0 226	20.0 133	27.0 179	42.0 279	30.4 202	0.5 3	19.4 129	4.7 31	
性別	男性	100.0 283	62.9 178	33.6 95	19.1 54	44.2 125	32.2 91	15.9 45	24.7 70	37.5 106	31.1 88	0.4 1	22.6 64	3.5 10
	女性	100.0 372	67.7 252	36.0 134	18.0 67	47.3 176	35.5 132	23.4 87	29.0 108	45.7 170	29.8 111	0.5 2	17.5 65	5.1 19
	回答しない	100.0 3	66.7 2	100.0 3	33.3 1	100.0 3	66.7 2	33.3 1	33.3 1	66.7 2	66.7 2	-	-	-
	無回答	100.0 6	50.0 3	16.7 1	-	16.7 1	16.7 1	-	-	16.7 1	16.7 1	-	-	33.3 2
年代別	20代以下	100.0 48	75.0 36	45.8 22	27.1 13	70.8 34	27.1 13	22.9 11	31.3 15	58.3 28	31.3 15	-	10.4 5	2.1 1
	30代	100.0 45	71.1 32	42.2 19	17.8 8	60.0 27	42.2 19	40.0 18	42.2 19	48.9 22	44.4 20	-	20.0 9	-
	40代	100.0 75	84.0 63	50.7 38	25.3 19	57.3 43	48.0 36	28.0 21	42.7 32	54.7 41	30.7 23	-	8.0 6	1.3 1
	50代	100.0 122	82.8 101	46.7 57	24.6 30	58.2 71	36.1 44	21.3 26	32.0 39	49.2 60	34.4 42	0.8 1	9.8 12	3.3 4
	60代	100.0 139	64.7 90	38.1 53	16.5 23	47.5 66	36.7 51	22.3 31	25.2 35	43.9 61	31.7 44	1.4 2	16.5 23	4.3 6
	70代	100.0 152	55.3 84	22.4 34	16.4 25	32.2 49	30.9 47	12.5 19	21.1 32	32.9 50	27.6 42	-	28.9 44	5.9 9
	80代以上	100.0 77	33.8 26	11.7 9	5.2 4	18.2 14	19.5 15	9.1 7	9.1 7	20.8 16	19.5 15	-	39.0 30	10.4 8
	無回答	100.0 6	50.0 3	16.7 1	-	16.7 1	16.7 1	-	-	16.7 1	16.7 1	-	-	33.3 2
職業別	自営業	100.0 91	62.6 57	26.4 24	17.6 16	41.8 38	31.9 29	17.6 16	26.4 24	44.0 40	34.1 31	-	23.1 21	3.3 3
	民間の企業や団体に勤務する人 （従業員が30人未満の事業所）	100.0 92	76.1 70	39.1 36	20.7 19	55.4 51	38.0 35	22.8 21	28.3 26	53.3 49	27.2 25	1.1 1	13.0 12	2.2 2
	民間の企業や団体に勤務する人 （従業員が30人以上の事業所）	100.0 123	82.1 101	51.2 63	20.3 25	58.5 72	39.8 49	26.0 32	37.4 46	48.8 60	34.1 42	0.8 1	8.1 10	1.6 2
	公務員	100.0 18	88.9 16	55.6 10	44.4 8	66.7 12	38.9 7	44.4 8	38.9 7	38.9 7	33.3 6	-	-	-
	学生	100.0 13	76.9 10	53.8 7	30.8 4	76.9 10	23.1 3	23.1 3	30.8 4	61.5 8	23.1 3	-	7.7 1	-
	家事専業	100.0 84	59.5 50	23.8 20	16.7 14	38.1 32	28.6 24	20.2 17	25.0 21	38.1 32	31.0 26	-	23.8 20	6.0 5
	無職	100.0 187	50.3 94	28.9 54	16.6 31	33.7 63	31.0 58	14.4 27	21.4 40	31.0 58	28.9 54	0.5 1	29.4 55	8.0 15
	その他	100.0 47	70.2 33	38.3 18	10.6 5	53.2 25	40.4 19	17.0 8	23.4 11	51.1 24	29.8 14	-	17.0 8	4.3 2
	無回答	100.0 9	44.4 4	11.1 1	-	22.2 2	22.2 2	11.1 1	-	11.1 1	11.1 1	-	22.2 2	22.2 2
	性・年代別	男性	100.0 283	62.9 178	33.6 95	19.1 54	44.2 125	32.2 91	15.9 45	24.7 70	37.5 106	31.1 88	0.4 1	22.6 64
30代以下		100.0 35	71.4 25	40.0 14	31.4 11	60.0 21	25.7 9	31.4 11	34.3 12	57.1 20	34.3 12	-	20.0 7	-
40代		100.0 33	78.8 26	39.4 13	18.2 6	54.5 18	48.5 16	12.1 4	36.4 12	51.5 17	33.3 11	-	12.1 4	-
50代		100.0 43	72.1 31	41.9 18	20.9 9	48.8 21	25.6 11	9.3 4	14.0 6	27.9 12	25.6 11	-	16.3 7	4.7 2
60代		100.0 69	55.1 38	39.1 27	15.9 11	44.9 31	31.9 22	14.5 10	21.7 15	37.7 26	33.3 23	1.4 1	24.6 17	2.9 2
70代以上		100.0 103	56.3 58	22.3 23	16.5 17	33.0 34	32.0 33	15.5 16	24.3 25	30.1 31	30.1 31	-	28.2 29	5.8 6
女性		100.0 372	67.7 252	36.0 134	18.0 67	47.3 176	35.5 132	23.4 87	29.0 108	45.7 170	29.8 111	0.5 2	17.5 65	5.1 19
30代以下		100.0 57	75.4 43	45.6 26	17.5 10	68.4 39	40.4 23	31.6 18	38.6 22	52.6 30	40.4 23	-	12.3 7	1.8 1
40代		100.0 42	88.1 37	59.5 25	31.0 13	59.5 25	47.6 20	40.5 17	47.6 20	57.1 24	28.6 12	-	4.8 2	2.4 1
50代		100.0 78	88.5 69	48.7 38	26.9 21	62.8 49	41.0 32	28.2 22	42.3 33	60.3 47	38.5 30	1.3 1	6.4 5	2.6 2
60代		100.0 70	74.3 52	37.1 26	17.1 12	50.0 35	41.4 29	30.0 21	28.6 20	50.0 35	30.0 21	1.4 1	8.6 6	5.7 4
70代以上		100.0 125	40.8 51	15.2 19	8.8 11	22.4 28	22.4 28	7.2 9	10.4 13	27.2 34	20.0 25	-	36.0 45	8.8 11
回答しない		100.0 3	66.7 2	100.0 3	33.3 1	100.0 3	66.7 2	33.3 1	33.3 1	66.7 2	66.7 2	-	-	-
無回答		100.0 6	50.0 3	16.7 1	-	16.7 1	16.7 1	-	-	16.7 1	16.7 1	-	-	33.3 2

【市民】

第 26 表 刑を終えて出所した人に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

上段：％、下段：実数

問24	サンプル数	更生した人たちに 対する認識や偏見が 存在していること	就職や職場で不利な 扱いを受けること	アパートなどの住居 への入居が困難なこと	結婚を周囲から反対 されること	メールやインターネット で悪質な書き込みや嫌 がらせをされること	不利な扱いを受ける 人が復学・進学を希望 する人が	その他	特にない・わからない	無回答	
全体	100.0 664	47.6 316	37.5 249	23.0 153	17.0 113	25.5 169	17.8 118	0.5 3	33.3 221	4.5 30	
性別	男性	100.0 283	44.9 127	36.4 103	21.2 60	13.8 39	23.7 67	18.0 51	- 102	36.0 9	
	女性	100.0 372	50.0 186	38.7 144	24.5 91	19.6 73	26.9 100	17.7 66	0.8 3	31.5 117	4.8 18
	回答しない	100.0 3	66.7 2	66.7 2	33.3 1	33.3 1	66.7 2	33.3 1	- 1	33.3 1	- -
	無回答	100.0 6	16.7 1	- -	16.7 1	- -	- -	- -	- -	16.7 1	50.0 3
年代別	20代以下	100.0 48	50.0 24	50.0 24	25.0 12	29.2 14	33.3 16	25.0 12	- -	25.0 12	2.1 1
	30代	100.0 45	37.8 17	35.6 16	31.1 14	24.4 11	26.7 12	24.4 11	- -	44.4 20	- -
	40代	100.0 75	53.3 40	44.0 33	26.7 20	22.7 17	29.3 22	24.0 18	- -	29.3 22	1.3 1
	50代	100.0 122	55.7 68	44.3 54	25.4 31	17.2 21	28.7 35	22.1 27	0.8 1	27.9 34	3.3 4
	60代	100.0 139	50.4 70	34.5 48	20.1 28	12.9 18	20.9 29	11.5 16	- -	29.5 41	5.0 7
	70代	100.0 152	44.7 68	32.9 50	21.7 33	13.8 21	25.7 39	17.8 27	0.7 1	40.8 62	3.3 5
	80代以上	100.0 77	36.4 28	31.2 24	18.2 14	14.3 11	20.8 16	9.1 7	1.3 1	37.7 29	11.7 9
	無回答	100.0 6	16.7 1	- -	16.7 1	- -	- -	- -	- -	16.7 1	50.0 3
	職業別	自営業	100.0 91	44.0 40	38.5 35	18.7 17	14.3 13	25.3 23	16.5 15	2.2 2	36.3 33
民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人未満の事業所)		100.0 92	57.6 53	34.8 32	16.3 15	16.3 15	30.4 28	21.7 20	- -	28.3 26	3.3 3
民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人以上の事業所)		100.0 123	53.7 66	48.8 60	30.9 38	21.1 26	22.0 27	17.9 22	0.8 1	29.3 36	1.6 2
公務員		100.0 18	61.1 11	44.4 8	33.3 6	33.3 6	27.8 5	33.3 6	- -	16.7 3	- -
学生		100.0 13	46.2 6	61.5 8	30.8 4	30.8 4	53.8 7	38.5 5	- -	23.1 3	- -
家事専業		100.0 84	50.0 42	29.8 25	17.9 15	13.1 11	23.8 20	13.1 11	- -	35.7 30	3.6 3
無職		100.0 187	40.1 75	35.3 66	24.6 46	16.0 30	23.5 44	16.6 31	- -	37.4 70	7.5 14
その他		100.0 47	46.8 22	31.9 15	23.4 11	17.0 8	31.9 15	17.0 8	- -	34.0 16	4.3 2
無回答		100.0 9	11.1 1	- -	11.1 1	- -	- -	- -	- -	44.4 4	33.3 3
性・年代別		男性	100.0 283	44.9 127	36.4 103	21.2 60	13.8 39	23.7 67	18.0 51	- -	36.0 102
	30代以下	100.0 35	31.4 11	31.4 11	25.7 9	17.1 6	25.7 9	25.7 9	- -	48.6 17	- -
	40代	100.0 33	48.5 16	36.4 12	21.2 7	15.2 5	21.2 7	18.2 6	- -	36.4 12	- -
	50代	100.0 43	41.9 18	39.5 17	16.3 7	7.0 3	18.6 8	16.3 7	- -	34.9 15	4.7 2
	60代	100.0 69	50.7 35	34.8 24	20.3 14	10.1 7	24.6 17	13.0 9	- -	29.0 20	2.9 2
	70代以上	100.0 103	45.6 47	37.9 39	22.3 23	17.5 18	25.2 26	19.4 20	- -	36.9 38	4.9 5
	女性	100.0 372	50.0 186	38.7 144	24.5 91	19.6 73	26.9 100	17.7 66	0.8 3	31.5 117	4.8 18
	30代以下	100.0 57	50.9 29	49.1 28	29.8 17	33.3 19	31.6 18	24.6 14	- -	26.3 15	1.8 1
	40代	100.0 42	57.1 24	50.0 21	31.0 13	28.6 12	35.7 15	28.6 12	- -	23.8 10	2.4 1
	50代	100.0 78	62.8 49	46.2 36	29.5 23	21.8 17	33.3 26	24.4 19	1.3 1	24.4 19	2.6 2
	60代	100.0 70	50.0 35	34.3 24	20.0 14	15.7 11	17.1 12	10.0 7	- -	30.0 21	7.1 5
	70代以上	100.0 125	39.2 49	28.0 35	19.2 24	11.2 14	23.2 29	11.2 14	1.6 2	41.6 52	7.2 9
	回答しない	100.0 3	66.7 2	66.7 2	33.3 1	33.3 1	66.7 2	33.3 1	- -	33.3 1	- -
	無回答	100.0 6	16.7 1	- -	16.7 1	- -	- -	- -	- -	16.7 1	50.0 3

【市民】

第 27 表 性的少数者に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

上段：％、下段：実数

問25	サンプル数	職場や学校で嫌がらせをされること	差別的言動を受けること	就職や職場で不利な扱いを受けること	アパートなどの住居への入居が困難なこと	店舗等の入店や施設利用を拒否されること	じろじろ見られたり、避けられたりすること	性的少数者に対する理解が足りないこと	同性パートナーが病院などで家族として認められない場合があること	その他	特にない・わからない	無回答	
全体	100.0 664	28.5 189	37.7 250	20.2 134	11.0 73	8.7 58	25.5 169	34.5 229	25.3 168	0.3 2	35.8 238	6.2 41	
性別	男性	100.0 283	27.2 77	35.3 100	19.8 56	12.4 35	10.2 29	24.0 68	18.4 52	-	40.3 114	4.2 12	
	女性	100.0 372	29.8 111	40.1 149	20.7 77	9.9 37	7.5 28	26.6 99	30.6 114	0.5 2	32.3 120	7.3 27	
	回答しない	100.0 3	33.3 1	33.3 1	33.3 1	33.3 1	33.3 1	33.3 1	33.3 1	-	66.7 2	-	
	無回答	100.0 6	-	-	-	-	-	16.7 1	-	16.7 1	-	33.3 2	33.3 2
	20代以下	100.0 48	45.8 22	52.1 25	39.6 19	20.8 10	20.8 10	50.0 24	56.3 27	31.3 15	2.1 1	18.8 9	2.1 1
年代別	30代	100.0 45	35.6 16	42.2 19	31.1 14	17.8 8	15.6 7	33.3 21	46.7 20	-	31.1 14	-	
	40代	100.0 75	33.3 25	56.0 42	24.0 18	12.0 9	10.7 8	34.7 26	41.3 31	-	29.3 22	1.3 1	
	50代	100.0 122	35.2 43	44.3 54	27.9 34	12.3 15	12.3 15	27.0 33	45.9 56	-	28.7 35	2.5 3	
	60代	100.0 139	28.1 39	42.4 59	15.1 21	7.2 10	3.6 5	20.9 29	38.8 54	-	33.1 46	5.8 8	
	70代	100.0 152	19.1 29	23.0 35	12.5 19	8.6 13	5.9 9	18.4 28	18.4 28	13.2 20	0.7 1	50.0 76	8.6 13
	80代以上	100.0 77	19.5 15	20.8 16	11.7 9	10.4 8	5.2 4	16.9 13	15.6 12	10.4 8	-	44.2 34	16.9 13
	無回答	100.0 6	-	-	-	-	-	16.7 1	-	16.7 1	-	33.3 2	33.3 2
	職業別	自営業	100.0 91	23.1 21	37.4 34	16.5 15	5.5 5	4.4 4	24.2 22	35.2 32	25.3 23	-	37.4 34
民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人未満の事業所)		100.0 92	39.1 36	51.1 47	21.7 20	14.1 13	17.4 16	37.0 34	39.1 36	33.7 31	1.1 1	29.3 27	2.2 2
民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人以上の事業所)		100.0 123	36.6 45	50.4 62	30.9 38	15.4 19	11.4 14	32.5 40	51.2 63	37.4 46	-	24.4 30	1.6 2
公務員		100.0 18	38.9 7	61.1 11	33.3 6	16.7 3	16.7 3	38.9 7	50.0 9	50.0 9	-	11.1 2	-
学生		100.0 13	46.2 6	46.2 6	38.5 5	23.1 3	30.8 4	38.5 5	61.5 8	15.4 2	-	23.1 3	-
家事専業		100.0 84	23.8 20	29.8 25	16.7 14	8.3 7	4.8 4	19.0 16	29.8 25	23.8 20	-	36.9 31	9.5 8
無職		100.0 187	20.9 39	24.1 45	15.5 29	10.7 20	5.3 10	18.7 35	20.9 39	13.4 25	0.5 1	48.1 90	10.7 20
その他		100.0 47	31.9 15	42.6 20	14.9 7	6.4 3	6.4 3	19.1 9	36.2 17	23.4 11	-	34.0 16	4.3 2
無回答		100.0 9	-	-	-	-	-	11.1 1	-	11.1 1	-	55.6 5	22.2 2
性・年代別		男性	100.0 283	27.2 77	35.3 100	19.8 56	12.4 35	10.2 29	24.0 68	18.4 52	-	40.3 114	4.2 12
	30代以下	100.0 35	25.7 9	37.1 13	31.4 11	22.9 8	25.7 9	37.1 13	31.4 11	22.9 8	-	37.1 13	-
	40代	100.0 33	39.4 13	57.6 19	27.3 9	15.2 5	18.2 6	36.4 12	39.4 13	24.2 8	-	27.3 9	-
	50代	100.0 43	37.2 16	41.9 18	20.9 9	9.3 4	9.3 4	20.9 9	30.2 11	25.6 11	-	39.5 17	2.3 1
	60代	100.0 69	24.6 17	39.1 27	18.8 13	7.2 5	4.3 3	20.3 14	37.7 26	18.8 13	-	36.2 25	4.3 3
	70代以上	100.0 103	21.4 22	22.3 23	13.6 14	12.6 13	6.8 7	19.4 20	22.3 23	11.7 12	-	48.5 50	7.8 8
	女性	100.0 372	29.8 111	40.1 149	20.7 77	9.9 37	7.5 28	26.6 99	38.2 142	30.6 114	0.5 2	32.3 120	7.3 27
	30代以下	100.0 57	50.9 29	54.4 31	38.6 22	17.5 10	14.0 8	45.6 26	64.9 37	47.4 27	1.8 1	15.8 9	1.8 1
	40代	100.0 42	28.6 12	54.8 23	21.4 9	9.5 4	4.8 2	33.3 14	42.9 18	45.2 19	-	31.0 13	2.4 1
	50代	100.0 78	33.3 26	44.9 35	30.8 24	12.8 10	12.8 10	29.5 23	53.8 42	37.2 29	-	23.1 18	2.6 2
	60代	100.0 70	31.4 22	45.7 32	11.4 8	7.1 5	2.9 2	21.4 15	40.0 28	32.9 23	-	30.0 21	7.1 5
	70代以上	100.0 125	17.6 22	22.4 28	11.2 14	6.4 8	4.8 6	16.8 21	13.6 17	12.8 16	0.8 1	47.2 59	14.4 18
	回答しない	100.0 3	33.3 1	33.3 1	33.3 1	33.3 1	33.3 1	33.3 1	33.3 1	33.3 1	-	66.7 2	-
	無回答	100.0 6	-	-	-	-	-	16.7 1	-	16.7 1	-	33.3 2	33.3 2

【市民】

第 28 表 新型コロナウイルス感染症に関することから、人権がとくに尊重されていない、または侵害されていると思うこと

上段：％、下段：実数

問26	サンプル数	感染したことを理由に解雇されること	回復しているのに出社を拒否されること	困窮するにやむを得ない、生活に支障をきたすこと	非正規労働者やひとり親世帯に不利な発言や行為を受けること	医療従事者やその家族が、差別的な発言や行為を受けること	感染者が発生した施設の関係者に対して来店を拒否すること	感染者個人の名前や行動を特定し、SNS等で公表・非難すること	虐待やDVを受けること	感染拡大で在宅時間が増え、児童虐待やDVを受けること	ワクチンの接種を強制したり、接種しないことを理由に不利益な扱いを受けること	その他	特になし・わからない	無回答
全体	1000 664	26.1 17.3	28.2 18.7	30.9 20.5	35.4 23.5	20.2 13.4	29.2 19.4	17.5 11.6	27.3 18.1	0.3 2	29.7 19.7	5.9 3.9		
性別	男性	1000 283	25.4 72	29.3 83	29.3 83	25.4 72	17.7 50	28.6 81	14.5 41	24.4 69	-	36.4 103	4.6 13	
	女性	1000 372	26.9 100	27.4 102	32.8 122	43.5 162	22.3 83	29.3 109	20.2 75	29.0 108	0.5 2	24.5 91	6.5 24	
	回答しない	1000 3	-	-	-	33.3 1	-	66.7 2	-	66.7 2	-	33.3 1	-	
	無回答	1000 6	16.7 1	33.3 2	-	-	16.7 1	33.3 2	-	33.3 2	-	33.3 2	33.3 2	
年代別	20代以下	1000 48	43.8 21	37.5 18	37.5 18	50.0 24	33.3 16	41.7 20	27.1 13	45.8 22	2.1 1	16.7 8	2.1 1	
	30代	1000 45	33.3 15	35.6 16	37.8 17	51.1 23	35.6 16	33.3 16	33.3 15	40.0 18	-	31.1 14	-	
	40代	1000 75	34.7 26	29.3 22	37.3 28	40.0 30	26.7 20	37.3 28	29.3 22	46.7 35	-	18.7 14	2.7 2	
	50代	1000 122	29.5 36	32.8 40	38.5 47	47.5 58	22.1 27	37.7 46	20.5 25	27.9 34	-	23.0 28	3.3 4	
	60代	1000 139	20.1 28	25.9 36	32.4 45	31.7 44	16.5 23	20.9 29	11.5 16	26.6 37	0.7 1	30.9 43	4.3 6	
	70代	1000 152	21.1 32	26.3 40	22.4 34	28.3 43	15.1 23	22.4 34	11.8 18	13.8 21	-	38.8 59	6.6 10	
	80代以上	1000 77	18.2 14	16.9 13	20.8 16	16.9 13	10.4 8	24.7 19	9.1 7	15.6 12	-	37.7 29	18.2 14	
	無回答	1000 6	16.7 1	33.3 2	-	-	16.7 1	33.3 2	-	33.3 2	-	33.3 2	33.3 2	
職業別	自営業	1000 91	17.6 16	23.1 21	20.9 19	33.0 30	9.9 9	26.4 24	8.8 8	22.0 20	-	36.3 33	6.6 6	
	民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人未満の事業所)	1000 92	38.0 35	39.1 36	34.8 32	40.2 37	27.2 25	40.2 37	22.8 21	25.0 23	1.1 1	25.0 23	2.2 2	
	民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人以上の事業所)	1000 123	29.3 36	30.9 38	36.6 45	42.3 52	26.8 33	30.1 37	29.3 36	37.4 46	-	22.8 28	1.6 2	
	公務員	1000 18	27.8 5	33.3 6	44.4 8	44.4 8	33.3 6	38.9 7	22.2 4	33.3 6	-	22.2 4	5.6 1	
	学生	1000 13	53.8 7	38.5 5	38.5 5	46.2 6	46.2 6	46.2 6	38.5 5	53.8 7	-	15.4 2	-	
	家事専業	1000 84	27.4 23	26.2 22	25.0 21	44.0 37	22.6 19	27.4 23	15.5 13	21.4 18	-	28.6 24	3.6 3	
	無職	1000 187	22.5 42	25.1 47	30.5 57	26.7 50	14.4 27	24.6 46	11.8 22	21.9 41	0.5 1	35.8 67	10.7 20	
	その他	1000 47	17.0 8	21.3 10	38.3 18	31.9 15	17.0 8	25.5 12	14.9 7	38.3 18	-	25.5 12	4.3 2	
	無回答	1000 9	11.1 1	22.2 2	-	-	11.1 1	22.2 2	-	22.2 2	-	44.4 4	33.3 3	
性・年代別	男性	1000 283	25.4 72	29.3 83	29.3 83	25.4 72	17.7 50	28.6 81	14.5 41	24.4 69	-	36.4 103	4.6 13	
	30代以下	1000 35	28.6 10	40.0 14	31.4 11	34.3 12	31.4 11	37.1 13	28.6 10	34.3 12	-	37.1 13	-	
	40代	1000 33	36.4 12	33.3 11	33.3 11	27.3 9	21.2 7	39.4 13	21.2 7	39.4 13	-	21.2 7	3.0 1	
	50代	1000 43	23.3 10	30.2 13	30.2 13	34.9 15	18.6 8	27.9 12	9.3 4	18.6 8	-	32.6 14	4.7 2	
	60代	1000 69	18.8 13	23.2 16	30.4 21	20.3 14	11.6 8	23.2 16	5.8 4	30.4 21	-	42.0 29	1.4 1	
	70代以上	1000 103	26.2 27	28.2 29	26.2 27	21.4 22	15.5 16	26.2 27	15.5 16	14.6 15	-	38.8 40	8.7 9	
	女性	1000 372	26.9 100	27.4 102	32.8 122	43.5 162	22.3 83	29.3 109	20.2 75	29.0 108	0.5 2	24.5 91	6.5 24	
	30代以下	1000 57	45.6 26	35.1 20	42.1 24	61.4 35	36.8 21	38.6 22	31.6 18	47.4 27	1.8 1	15.8 9	1.8 1	
	40代	1000 42	33.3 14	26.2 11	40.5 17	50.0 21	31.0 13	35.7 15	35.7 15	52.4 22	-	16.7 7	2.4 1	
	50代	1000 78	33.3 26	34.6 27	43.6 34	53.8 42	24.4 19	42.3 33	26.9 21	32.1 25	-	17.9 14	2.6 2	
	60代	1000 70	21.4 15	28.6 20	34.3 24	42.9 30	21.4 15	18.6 13	17.1 12	22.9 16	1.4 1	20.0 14	7.1 5	
	70代以上	1000 125	15.2 19	19.2 24	18.4 23	27.2 34	12.0 15	20.8 26	7.2 9	14.4 18	-	37.6 47	12.0 15	
	回答しない	1000 3	-	-	-	33.3 1	-	66.7 2	-	66.7 2	-	33.3 1	-	
無回答	1000 6	16.7 1	33.3 2	-	-	16.7 1	33.3 2	-	33.3 2	-	33.3 2	33.3 2		

【市民】

第 29 表 大川市人権週間講演会(12月)【大川市主催】への参加状況

上段：％、下段：実数

問27(1)	サンプル数	何回も参加（読み、見たり）した	1〜2回参加（読み、見たり）した	参加（読み、見たり）したことはない	無回答		
全体	100.0 664	1.5 10	7.7 51	69.4 461	21.4 142		
性別	男性	100.0 283	1.8 5	8.8 25	71.7 203	17.7 50	
	女性	100.0 372	1.3 5	7.0 26	67.5 251	24.2 90	
	回答しない	100.0 3	-	-	100.0 3	-	
	無回答	100.0 6	-	-	66.7 4	33.3 2	
年代別	20代以下	100.0 48	4.2 2	2.1 1	91.7 44	2.1 1	
	30代	100.0 45	-	2.2 1	93.3 42	4.4 2	
	40代	100.0 75	1.3 1	12.0 9	81.3 61	5.3 4	
	50代	100.0 122	1.6 2	5.7 7	83.6 102	9.0 11	
	60代	100.0 139	1.4 2	11.5 16	65.5 91	21.6 30	
	70代	100.0 152	1.3 2	8.6 13	55.3 84	34.9 53	
	80代以上	100.0 77	1.3 1	5.2 4	42.9 33	50.6 39	
	無回答	100.0 6	-	-	66.7 4	33.3 2	
	職業別	自営業	100.0 91	-	5.5 5	71.4 65	23.1 21
		民間の企業や団体に勤務する人（従業員が30人未満の事業所）	100.0 92	-	7.6 7	84.8 78	7.6 7
民間の企業や団体に勤務する人（従業員が30人以上の事業所）		100.0 123	0.8 1	6.5 8	86.2 106	6.5 8	
公務員		100.0 18	16.7 3	22.2 4	55.6 10	5.6 1	
学生		100.0 13	7.7 1	-	92.3 12	-	
家事専業		100.0 84	2.4 2	10.7 9	61.9 52	25.0 21	
無職		100.0 187	1.6 3	9.1 17	55.6 104	33.7 63	
その他		100.0 47	-	2.1 1	61.7 29	36.2 17	
無回答		100.0 9	-	-	55.6 5	44.4 4	

問27(1)	サンプル数	何回も参加（読み、見たり）した	1〜2回参加（読み、見たり）した	参加（読み、見たり）したことはない	無回答
男性	100.0 283	1.8 5	8.8 25	71.7 203	17.7 50
30代以下	100.0 35	-	5.7 2	91.4 32	2.9 1
40代	100.0 33	3.0 1	12.1 4	81.8 27	3.0 1
50代	100.0 43	2.3 1	2.3 1	86.0 37	9.3 4
60代	100.0 69	1.4 1	13.0 9	66.7 46	18.8 13
70代以上	100.0 103	1.9 2	8.7 9	59.2 61	30.1 31
女性	100.0 372	1.3 5	7.0 26	67.5 251	24.2 90
30代以下	100.0 57	3.5 2	-	93.0 53	3.5 2
40代	100.0 42	-	11.9 5	81.0 34	7.1 3
50代	100.0 78	1.3 1	7.7 6	82.1 64	9.0 7
60代	100.0 70	1.4 1	10.0 7	64.3 45	24.3 17
70代以上	100.0 125	0.8 1	6.4 8	44.0 55	48.8 61
回答しない	100.0 3	-	-	100.0 3	-
無回答	100.0 6	-	-	66.7 4	33.3 2

【市民】

第 30 表 コミュニティセンターでの人権講演会【大川市主催】への参加状況

上段：％、下段：実数

問27(2)	サンプル数	何回も参加（読み、見たり）した	1～2回参加（読み、見たり）した	参加（読み、見たり）したことはない	無回答	
全体	100.0 664	1.2 8	8.3 55	71.7 476	18.8 125	
性別	男性	100.0 283	1.8 5	10.6 30	71.7 203	15.9 45
	女性	100.0 372	0.8 3	6.7 25	71.8 267	20.7 77
	回答しない	100.0 3	-	-	100.0 3	-
	無回答	100.0 6	-	-	50.0 3	50.0 3
	20代以下	100.0 48	2.1 1	2.1 1	95.8 46	-
年代別	30代	100.0 45	-	-	97.8 44	2.2 1
	40代	100.0 75	-	6.7 5	89.3 67	4.0 3
	50代	100.0 122	-	7.4 9	83.6 102	9.0 11
	60代	100.0 139	2.2 3	10.8 15	68.3 95	18.7 26
	70代	100.0 152	2.6 4	11.2 17	54.6 83	31.6 48
	80代以上	100.0 77	-	10.4 8	46.8 36	42.9 33
	無回答	100.0 6	-	-	50.0 3	50.0 3
	自営業	100.0 91	1.1 1	9.9 9	69.2 63	19.8 18
	職業別	民間の企業や団体に勤務する人（従業員が30人未満の事業所）	100.0 92	3.3 3	5.4 5	85.9 79
民間の企業や団体に勤務する人（従業員が30人以上の事業所）		100.0 123	-	4.9 6	89.4 110	5.7 7
公務員		100.0 18	-	22.2 4	72.2 13	5.6 1
学生		100.0 13	-	-	100.0 13	-
家事専業		100.0 84	1.2 1	8.3 7	64.3 54	26.2 22
無職		100.0 187	1.6 3	11.8 22	57.2 107	29.4 55
その他		100.0 47	-	4.3 2	70.2 33	25.5 12
無回答		100.0 9	-	-	44.4 4	55.6 5

問27(2)	サンプル数	何回も参加（読み、見たり）した	1～2回参加（読み、見たり）した	参加（読み、見たり）したことはない	無回答
男性	100.0 283	1.8 5	10.6 30	71.7 203	15.9 45
30代以下	100.0 35	-	2.9 1	97.1 34	-
	40代	100.0 33	-	12.1 4	84.8 28
50代	100.0 43	-	4.7 2	86.0 37	9.3 4
	60代	100.0 69	2.9 2	14.5 10	66.7 46
70代以上	100.0 103	2.9 3	12.6 13	56.3 58	28.2 29
	女性	100.0 372	0.8 3	6.7 25	71.8 267
30代以下	100.0 57	1.8 1	-	96.5 55	1.8 1
	40代	100.0 42	-	2.4 1	92.9 39
50代	100.0 78	-	9.0 7	82.1 64	9.0 7
	60代	100.0 70	1.4 1	7.1 5	70.0 49
70代以上	100.0 125	0.8 1	9.6 12	48.0 60	41.6 52
	回答しない	100.0 3	-	-	100.0 3
無回答	100.0 6	-	-	50.0 3	50.0 3

【市民】

第 31 表 人権啓発冊子のちかがやけ【大川市主催】への参加状況

上段：％、下段：実数

問27(3)	サンプル数	何回も参加（読み、見たり）した	1〜2回参加（読み、見たり）した	参加（読み、見たり）したことはない	無回答	
全体	100.0 664	2.1 14	13.1 87	65.2 433	19.6 130	
性別	男性	100.0 283	1.4 4	12.0 34	70.7 200	15.9 45
	女性	100.0 372	2.7 10	14.0 52	61.3 228	22.0 82
	回答しない	100.0 3	-	-	100.0 3	-
	無回答	100.0 6	-	16.7 1	33.3 2	50.0 3
年代別	20代以下	100.0 48	2.1 1	8.3 4	89.6 43	-
	30代	100.0 45	-	6.7 3	91.1 41	2.2 1
	40代	100.0 75	1.3 1	16.0 12	77.3 58	5.3 4
	50代	100.0 122	0.8 1	16.4 20	73.0 89	9.8 12
	60代	100.0 139	3.6 5	18.7 26	60.4 84	17.3 24
	70代	100.0 152	3.9 6	9.9 15	52.6 80	33.6 51
	80代以上	100.0 77	-	7.8 6	46.8 36	45.5 35
	無回答	100.0 6	-	16.7 1	33.3 2	50.0 3
	職業別	100.0 91	2.2 2	14.3 13	62.6 57	20.9 19
民間の企業や団体に勤務する人（従業員が30人未満の事業所）	100.0 92	-	14.1 13	78.3 72	7.6 7	
民間の企業や団体に勤務する人（従業員が30人以上の事業所）	100.0 123	0.8 1	8.9 11	84.6 104	5.7 7	
公務員	100.0 18	5.6 1	33.3 6	55.6 10	5.6 1	
学生	100.0 13	-	7.7 1	92.3 12	-	
家事専業	100.0 84	4.8 4	11.9 10	57.1 48	26.2 22	
無職	100.0 187	2.7 5	13.9 26	52.4 98	31.0 58	
その他	100.0 47	2.1 1	12.8 6	61.7 29	23.4 11	
無回答	100.0 9	-	11.1 1	33.3 3	55.6 5	

問27(3)	サンプル数	何回も参加（読み、見たり）した	1〜2回参加（読み、見たり）した	参加（読み、見たり）したことはない	無回答
男性	100.0 283	1.4 4	12.0 34	70.7 200	15.9 45
30代以下	100.0 35	-	8.6 3	91.4 32	-
40代	100.0 33	-	18.2 6	75.8 25	6.1 2
50代	100.0 43	-	7.0 3	83.7 36	9.3 4
60代	100.0 69	1.4 1	17.4 12	65.2 45	15.9 11
70代以上	100.0 103	2.9 3	9.7 10	60.2 62	27.2 28
女性	100.0 372	2.7 10	14.0 52	61.3 228	22.0 82
30代以下	100.0 57	1.8 1	7.0 4	89.5 51	1.8 1
40代	100.0 42	2.4 1	14.3 6	78.6 33	4.8 2
50代	100.0 78	1.3 1	21.8 17	66.7 52	10.3 8
60代	100.0 70	5.7 4	20.0 14	55.7 39	18.6 13
70代以上	100.0 125	2.4 3	8.8 11	42.4 53	46.4 58
回答しない	100.0 3	-	-	100.0 3	-
無回答	100.0 6	-	16.7 1	33.3 2	50.0 3

【市民】

第 32 表 同和問題街頭啓発(7月)(大川市主催)への参加状況

上段：％、下段：実数

問27(4)	サンプル数	何回も参加（読んだり、見たり）した	1〜2回参加（読んだり、見たり）した	参加（読んだり、見たり）したことはない	無回答	
全体	100.0 664	2.0 13	9.8 65	69.3 460	19.0 126	
性別	男性	100.0 283	1.4 4	10.6 30	71.7 203	16.3 46
	女性	100.0 372	2.4 9	9.1 34	67.7 252	20.7 77
	回答しない	100.0 3	-	-	100.0 3	-
	無回答	100.0 6	-	16.7 1	33.3 2	50.0 3
	20代以下	100.0 48	2.1 1	2.1 1	95.8 46	-
年代別	30代	100.0 45	-	4.4 2	93.3 42	2.2 1
	40代	100.0 75	-	12.0 9	84.0 63	4.0 3
	50代	100.0 122	0.8 1	11.5 14	78.7 96	9.0 11
	60代	100.0 139	2.2 3	14.4 20	66.2 92	17.3 24
	70代	100.0 152	4.6 7	8.6 13	53.3 81	33.6 51
	80代以上	100.0 77	1.3 1	6.5 5	49.4 38	42.9 33
	無回答	100.0 6	-	16.7 1	33.3 2	50.0 3
	自営業	100.0 91	-	15.4 14	63.7 58	20.9 19
	民間の企業や団体に勤務する人（従業員が30人未満の事業所）	100.0 92	-	9.8 9	83.7 77	6.5 6
民間の企業や団体に勤務する人（従業員が30人以上の事業所）	100.0 123	-	9.8 12	84.6 104	5.7 7	
職業別	公務員	100.0 18	5.6 1	27.8 5	61.1 11	5.6 1
	学生	100.0 13	-	-	100.0 13	-
	家事専業	100.0 84	2.4 2	4.8 4	67.9 57	25.0 21
	無職	100.0 187	4.3 8	9.1 17	56.1 105	30.5 57
	その他	100.0 47	4.3 2	6.4 3	68.1 32	21.3 10
	無回答	100.0 9	-	11.1 1	33.3 3	55.6 5

問27(4)	サンプル数	何回も参加（読んだり、見たり）した	1〜2回参加（読んだり、見たり）した	参加（読んだり、見たり）したことはない	無回答
男性	100.0 283	1.4 4	10.6 30	71.7 203	16.3 46
30代以下	100.0 35	-	2.9 1	97.1 34	-
	40代	100.0 33	-	21.2 7	75.8 25
50代	100.0 43	-	4.7 2	86.0 37	9.3 4
	60代	100.0 69	1.4 1	11.6 8	71.0 49
70代以上	100.0 103	2.9 3	11.7 12	56.3 58	29.1 30
	女性	100.0 372	2.4 9	9.1 34	67.7 252
30代以下	100.0 57	1.8 1	3.5 2	93.0 53	1.8 1
	40代	100.0 42	-	4.8 2	90.5 38
50代	100.0 78	1.3 1	15.4 12	74.4 58	9.0 7
	60代	100.0 70	2.9 2	17.1 12	61.4 43
70代以上	100.0 125	4.0 5	4.8 6	48.0 60	43.2 54
	回答しない	100.0 3	-	-	100.0 3
無回答	100.0 6	-	16.7 1	33.3 2	50.0 3

【市民】

第 33 表 北朝鮮人権侵害問題啓発週間パネル展示[大川市主催]への参加状況

上段：％、下段：実数

問27(5)	サンプル数	何回も参加（読み、見たり）した	1〜2回参加（読み、見たり）した	参加へ読み、見たり、したことはない	無回答		
全体	100.0 664	1.7 11	4.2 28	74.7 496	19.4 129		
性別	男性	100.0 283	0.7 2	6.0 17	76.7 217	16.6 47	
	女性	100.0 372	2.4 9	3.0 11	73.4 273	21.2 79	
	回答しない	100.0 3	-	-	100.0 3	-	
	無回答	100.0 6	-	-	50.0 3	50.0 3	
年代別	20代以下	100.0 48	2.1 1	-	97.9 47	-	
	30代	100.0 45	-	-	97.8 44	2.2 1	
	40代	100.0 75	1.3 1	5.3 4	89.3 67	4.0 3	
	50代	100.0 122	3.3 4	4.9 6	83.6 102	8.2 10	
	60代	100.0 139	1.4 2	4.3 6	74.8 104	19.4 27	
	70代	100.0 152	2.0 3	5.9 9	59.2 90	32.9 50	
	80代以上	100.0 77	-	3.9 3	50.6 39	45.5 35	
	無回答	100.0 6	-	-	50.0 3	50.0 3	
	職業別	自営業	100.0 91	1.1 1	4.4 4	72.5 66	22.0 20
		民間の企業や団体に勤務する人（従業員が30人未満の事業所）	100.0 92	1.1 1	1.1 1	91.3 84	6.5 6
民間の企業や団体に勤務する人（従業員が30人以上の事業所）		100.0 123	0.8 1	3.3 4	90.2 111	5.7 7	
公務員		100.0 18	22.2 4	16.7 3	61.1 11	-	
学生		100.0 13	-	-	100.0 13	-	
家事専業		100.0 84	2.4 2	4.8 4	66.7 56	26.2 22	
無職		100.0 187	0.5 1	5.9 11	62.6 117	31.0 58	
その他		100.0 47	2.1 1	2.1 1	72.3 34	23.4 11	
無回答		100.0 9	-	-	44.4 4	55.6 5	

問27(5)	サンプル数	何回も参加（読み、見たり）した	1〜2回参加（読み、見たり）した	参加へ読み、見たり、したことはない	無回答
男性	100.0 283	0.7 2	6.0 17	76.7 217	16.6 47
30代以下	100.0 35	-	-	100.0 35	-
40代	100.0 33	3.0 1	3.0 1	90.9 30	3.0 1
50代	100.0 43	2.3 1	7.0 3	81.4 35	9.3 4
60代	100.0 69	-	7.2 5	75.4 52	17.4 12
70代以上	100.0 103	-	7.8 8	63.1 65	29.1 30
女性	100.0 372	2.4 9	3.0 11	73.4 273	21.2 79
30代以下	100.0 57	1.8 1	-	96.5 55	1.8 1
40代	100.0 42	-	7.1 3	88.1 37	4.8 2
50代	100.0 78	3.8 3	3.8 3	84.6 66	7.7 6
60代	100.0 70	2.9 2	1.4 1	74.3 52	21.4 15
70代以上	100.0 125	2.4 3	3.2 4	50.4 63	44.0 55
回答しない	100.0 3	-	-	100.0 3	-
無回答	100.0 6	-	-	50.0 3	50.0 3

【市民】

第 34 表 人権擁護委員による人権相談【大川市外も含む】への参加状況

上段：％、下段：実数

問27(6)	サンプル数	何回も参加（読み、見たり）した	1～2回参加（読み、見たり）した	参加（読み、見たり）したことはない	無回答	
全体	100.0 664	1.1 7	3.0 20	75.5 501	20.5 136	
性別	男性	100.0 283	1.1 3	4.6 13	77.0 218	17.3 49
	女性	100.0 372	1.1 4	1.9 7	74.5 277	22.6 84
	回答しない	100.0 3	-	-	100.0 3	-
	無回答	100.0 6	-	-	50.0 3	50.0 3
	20代以下	100.0 48	2.1 1	4.2 2	93.8 45	-
年代別	30代	100.0 45	-	-	97.8 44	2.2 1
	40代	100.0 75	1.3 1	6.7 5	88.0 66	4.0 3
	50代	100.0 122	1.6 2	4.1 5	83.6 102	10.7 13
	60代	100.0 139	1.4 2	2.2 3	77.0 107	19.4 27
	70代	100.0 152	0.7 1	1.3 2	62.5 95	35.5 54
	80代以上	100.0 77	-	3.9 3	50.6 39	45.5 35
	無回答	100.0 6	-	-	50.0 3	50.0 3
	自営業	100.0 91	-	4.4 4	73.6 67	22.0 20
	民間の企業や団体に勤務する人（従業員が30人未満の事業所）	100.0 92	1.1 1	2.2 2	89.1 82	7.6 7
	民間の企業や団体に勤務する人（従業員が30人以上の事業所）	100.0 123	-	3.3 4	90.2 111	6.5 8
職業別	公務員	100.0 18	16.7 3	5.6 1	72.2 13	5.6 1
	学生	100.0 13	-	7.7 1	92.3 12	-
	家事専業	100.0 84	2.4 2	1.2 1	70.2 59	26.2 22
	無職	100.0 187	0.5 1	3.2 6	64.2 120	32.1 60
	その他	100.0 47	-	2.1 1	70.2 33	27.7 13
	無回答	100.0 9	-	-	44.4 4	55.6 5

問27(6)	サンプル数	何回も参加（読み、見たり）した	1～2回参加（読み、見たり）した	参加（読み、見たり）したことはない	無回答
男性	100.0 283	1.1 3	4.6 13	77.0 218	17.3 49
30代以下	100.0 35	-	5.7 2	94.3 33	-
	40代	100.0 33	3.0 1	9.1 3	84.8 28
50代	100.0 43	2.3 1	2.3 1	83.7 36	11.6 5
	60代	100.0 69	1.4 1	4.3 3	76.8 53
70代以上	100.0 103	-	3.9 4	66.0 68	30.1 31
	女性	100.0 372	1.1 4	1.9 7	74.5 277
30代以下	100.0 57	1.8 1	-	96.5 55	1.8 1
	40代	100.0 42	-	4.8 2	90.5 38
50代	100.0 78	1.3 1	5.1 4	83.3 65	10.3 8
	60代	100.0 70	1.4 1	-	77.1 54
70代以上	100.0 125	0.8 1	0.8 1	52.0 65	46.4 58
	回答しない	100.0 3	-	-	100.0 3
無回答	100.0 6	-	-	50.0 3	50.0 3

【市民】

第 35 表 職場での研修等【大川市外も含む】への参加状況

上段：％、下段：実数

問27(7)	サンプル数	何回も参加（読んだり、見たり）した	1～2回参加（読んだり、見たり）した	参加へ読んだり、見たりしたことはない	無回答		
全体	100.0 664	8.7 58	11.6 77	59.6 396	20.0 133		
性別	男性	100.0 283	9.9 28	8.8 25	64.3 182	17.0 48	
	女性	100.0 372	8.1 30	13.7 51	56.2 209	22.0 82	
	回答しない	100.0 3	-	-	100.0 3	-	
	無回答	100.0 6	-	16.7 1	33.3 2	50.0 3	
年代別	20代以下	100.0 48	8.3 4	16.7 8	75.0 36	-	
	30代	100.0 45	11.1 5	22.2 10	64.4 29	2.2 1	
	40代	100.0 75	12.0 9	18.7 14	64.0 48	5.3 4	
	50代	100.0 122	10.7 13	18.0 22	63.1 77	8.2 10	
	60代	100.0 139	13.7 19	8.6 12	60.4 84	17.3 24	
	70代	100.0 152	4.6 7	5.3 8	54.6 83	35.5 54	
	80代以上	100.0 77	1.3 1	2.6 2	48.1 37	48.1 37	
	無回答	100.0 6	-	16.7 1	33.3 2	50.0 3	
	職業別	自営業	100.0 91	3.3 3	9.9 9	62.6 57	24.2 22
		民間の企業や団体に勤務する人（従業員が30人未満の事業所）	100.0 92	9.8 9	9.8 9	76.1 70	4.3 4
民間の企業や団体に勤務する人（従業員が30人以上の事業所）		100.0 123	5.7 7	29.3 36	58.5 72	6.5 8	
公務員		100.0 18	66.7 12	16.7 3	16.7 3	-	
学生		100.0 13	-	7.7 1	92.3 12	-	
家事専業		100.0 84	8.3 7	7.1 6	58.3 49	26.2 22	
無職		100.0 187	8.6 16	3.7 7	55.6 104	32.1 60	
その他		100.0 47	8.5 4	10.6 5	55.3 26	25.5 12	
無回答		100.0 9	-	11.1 1	33.3 3	55.6 5	

問27(7)	サンプル数	何回も参加（読んだり、見たり）した	1～2回参加（読んだり、見たり）した	参加へ読んだり、見たりしたことはない	無回答
男性	100.0 283	9.9 28	8.8 25	64.3 182	17.0 48
30代以下	100.0 35	5.7 2	11.4 4	82.9 29	-
40代	100.0 33	9.1 3	15.2 5	72.7 24	3.0 1
50代	100.0 43	16.3 7	11.6 5	60.5 26	11.6 5
60代	100.0 69	14.5 10	4.3 3	63.8 44	17.4 12
70代以上	100.0 103	5.8 6	7.8 8	57.3 59	29.1 30
女性	100.0 372	8.1 30	13.7 51	56.2 209	22.0 82
30代以下	100.0 57	12.3 7	24.6 14	61.4 35	1.8 1
40代	100.0 42	14.3 6	21.4 9	57.1 24	7.1 3
50代	100.0 78	7.7 6	21.8 17	64.1 50	6.4 5
60代	100.0 70	12.9 9	12.9 9	57.1 40	17.1 12
70代以上	100.0 125	1.6 2	1.6 2	48.0 60	48.8 61
回答しない	100.0 3	-	-	100.0 3	-
無回答	100.0 6	-	16.7 1	33.3 2	50.0 3

【市民】

第 36 表 PTAなど学校での研修・講演会【大川市外も含む】への参加状況

上段：％、下段：実数

問27(8)	サンプル数	何回も参加（読み、見たり）した	1～2回参加（読み、見たり）した	参加（読み、見たり）したことはない	無回答		
全体	100.0 664	5.3 35	13.0 86	61.0 405	20.8 138		
性別	男性	100.0 283	2.1 6	8.8 25	69.6 197	19.4 55	
	女性	100.0 372	7.8 29	16.1 60	54.6 203	21.5 80	
	回答しない	100.0 3	- -	33.3 1	66.7 2	- -	
	無回答	100.0 6	- -	- -	50.0 3	50.0 3	
年代別	20代以下	100.0 48	18.8 9	22.9 11	58.3 28	- -	
	30代	100.0 45	- -	22.2 10	75.6 34	2.2 1	
	40代	100.0 75	9.3 7	21.3 16	65.3 49	4.0 3	
	50代	100.0 122	5.7 7	20.5 25	61.5 75	12.3 15	
	60代	100.0 139	5.8 8	10.8 15	65.5 91	18.0 25	
	70代	100.0 152	2.6 4	3.3 5	57.9 88	36.2 55	
	80代以上	100.0 77	- -	5.2 4	48.1 37	46.8 36	
	無回答	100.0 6	- -	- -	50.0 3	50.0 3	
	職業別	自営業	100.0 91	2.2 2	20.9 19	53.8 49	23.1 21
		民間の企業や団体に勤務する人（従業員が30人未満の事業所）	100.0 92	4.3 4	14.1 13	72.8 67	8.7 8
民間の企業や団体に勤務する人（従業員が30人以上の事業所）		100.0 123	4.9 6	18.7 23	69.9 86	6.5 8	
公務員		100.0 18	22.2 4	16.7 3	55.6 10	5.6 1	
学生		100.0 13	7.7 1	38.5 5	53.8 7	- -	
家事専業		100.0 84	7.1 6	10.7 9	54.8 46	27.4 23	
無職		100.0 187	3.7 7	5.3 10	58.8 110	32.1 60	
その他		100.0 47	10.6 5	8.5 4	55.3 26	25.5 12	
無回答		100.0 9	- -	- -	44.4 4	55.6 5	

問27(8)	サンプル数	何回も参加（読み、見たり）した	1～2回参加（読み、見たり）した	参加（読み、見たり）したことはない	無回答
男性	100.0 283	2.1 6	8.8 25	69.6 197	19.4 55
30代以下	100.0 35	5.7 2	17.1 6	77.1 27	- -
	40代	100.0 33	- -	15.2 5	81.8 27
50代	100.0 43	2.3 1	9.3 4	69.8 30	18.6 8
60代	100.0 69	2.9 2	5.8 4	72.5 50	18.8 13
70代以上	100.0 103	1.0 1	5.8 6	61.2 63	32.0 33
女性	100.0 372	7.8 29	16.1 60	54.6 203	21.5 80
30代以下	100.0 57	12.3 7	24.6 14	61.4 35	1.8 1
40代	100.0 42	16.7 7	26.2 11	52.4 22	4.8 2
50代	100.0 78	7.7 6	26.9 21	56.4 44	9.0 7
60代	100.0 70	8.6 6	15.7 11	58.6 41	17.1 12
70代以上	100.0 125	2.4 3	2.4 3	48.8 61	46.4 58
回答しない	100.0 3	- -	33.3 1	66.7 2	- -
無回答	100.0 6	- -	- -	50.0 3	50.0 3

【市民】

第 37 表 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ【大川市外も含む】への参加状況

上段：％、下段：実数

問27(9)	サンプル数	何回も参加（読み、見たり）した	1〜2回参加（読み、見たり）した	参加（読み、見たり）したことはない	無回答		
全体	100.0 664	16.3 108	35.5 236	34.5 229	13.7 91		
性別	男性	100.0 283	14.8 42	34.3 97	39.9 113	11.0 31	
	女性	100.0 372	16.9 63	36.8 137	30.6 114	15.6 58	
	回答しない	100.0 3	33.3 1	33.3 1	33.3 1	- -	
	無回答	100.0 6	33.3 2	16.7 1	16.7 1	33.3 2	
年代別	20代以下	100.0 48	22.9 11	25.0 12	52.1 25	- -	
	30代	100.0 45	20.0 9	28.9 13	51.1 23	- -	
	40代	100.0 75	12.0 9	37.3 28	46.7 35	4.0 3	
	50代	100.0 122	19.7 24	43.4 53	29.5 36	7.4 9	
	60代	100.0 139	17.3 24	35.3 49	35.3 49	12.2 17	
	70代	100.0 152	13.8 21	32.9 50	29.6 45	23.7 36	
	80代以上	100.0 77	10.4 8	39.0 30	19.5 15	31.2 24	
	無回答	100.0 6	33.3 2	16.7 1	16.7 1	33.3 2	
	職業別	自営業	100.0 91	7.7 7	41.8 38	30.8 28	19.8 18
		民間の企業や団体に勤務する人（従業員が30人未満の事業所）	100.0 92	10.9 10	41.3 38	43.5 40	4.3 4
民間の企業や団体に勤務する人（従業員が30人以上の事業所）		100.0 123	16.3 20	34.1 42	47.2 58	2.4 3	
公務員		100.0 18	55.6 10	16.7 3	27.8 5	- -	
学生		100.0 13	30.8 4	38.5 5	30.8 4	- -	
家事専業		100.0 84	19.0 16	38.1 32	25.0 21	17.9 15	
無職		100.0 187	17.1 32	31.6 59	28.9 54	22.5 42	
その他		100.0 47	14.9 7	38.3 18	36.2 17	10.6 5	
無回答		100.0 9	22.2 2	11.1 1	22.2 2	44.4 4	

問27(9)	サンプル数	何回も参加（読み、見たり）した	1〜2回参加（読み、見たり）した	参加（読み、見たり）したことはない	無回答
男性	100.0 283	14.8 42	34.3 97	39.9 113	11.0 31
30代以下	100.0 35	17.1 6	31.4 11	51.4 18	- -
	40代	100.0 33	6.1 2	39.4 13	51.5 17
50代	100.0 43	23.3 10	32.6 14	32.6 14	11.6 5
60代	100.0 69	13.0 9	36.2 25	39.1 27	11.6 8
70代以上	100.0 103	14.6 15	33.0 34	35.9 37	16.5 17
女性	100.0 372	16.9 63	36.8 137	30.6 114	15.6 58
30代以下	100.0 57	22.8 13	24.6 14	52.6 30	- -
	40代	100.0 42	16.7 7	35.7 15	42.9 18
50代	100.0 78	17.9 14	48.7 38	28.2 22	5.1 4
60代	100.0 70	21.4 15	34.3 24	31.4 22	12.9 9
70代以上	100.0 125	11.2 14	36.8 46	17.6 22	34.4 43
回答しない	100.0 3	33.3 1	33.3 1	33.3 1	- -
無回答	100.0 6	33.3 2	16.7 1	16.7 1	33.3 2

【市民】

第 38 表書籍・映画・ビデオ[大川市外も含む]への参加状況

上段：％、下段：実数

問27(10)	サンプル数	何回も参加（読み、見たり）した	1〜2回参加（読み、見たり）した	参加（読み、見たり）したことはない	無回答	
全体	100.0 664	9.0 60	23.6 157	47.9 318	19.4 129	
性別	男性	100.0 283	8.1 23	22.6 64	51.9 147	17.3 49
	女性	100.0 372	9.7 36	24.2 90	45.4 169	20.7 77
	回答しない	100.0 3	33.3 1	33.3 1	33.3 1	- -
	無回答	100.0 6	- -	33.3 2	16.7 1	50.0 3
	20代以下	100.0 48	18.8 9	14.6 7	66.7 32	- -
年代別	30代	100.0 45	15.6 7	31.1 14	51.1 23	2.2 1
	40代	100.0 75	9.3 7	22.7 17	62.7 47	5.3 4
	50代	100.0 122	11.5 14	33.6 41	47.5 58	7.4 9
	60代	100.0 139	10.8 15	23.7 33	46.0 64	19.4 27
	70代	100.0 152	4.6 7	19.7 30	42.1 64	33.6 51
	80代以上	100.0 77	1.3 1	16.9 13	37.7 29	44.2 34
	無回答	100.0 6	- -	33.3 2	16.7 1	50.0 3
	自営業	100.0 91	8.8 8	24.2 22	44.0 40	23.1 21
	民間の企業や団体に勤務する人（従業員が30人未満の事業所）	100.0 92	6.5 6	27.2 25	59.8 55	6.5 6
	民間の企業や団体に勤務する人（従業員が30人以上の事業所）	100.0 123	7.3 9	28.5 35	60.2 74	4.1 5
職業別	公務員	100.0 18	50.0 9	33.3 6	16.7 3	- -
	学生	100.0 13	23.1 3	23.1 3	53.8 7	- -
	家事専業	100.0 84	10.7 9	23.8 20	39.3 33	26.2 22
	無職	100.0 187	6.4 12	19.8 37	42.8 80	31.0 58
	その他	100.0 47	8.5 4	14.9 7	51.1 24	25.5 12
	無回答	100.0 9	- -	22.2 2	22.2 2	55.6 5

問27(10)	サンプル数	何回も参加（読み、見たり）した	1〜2回参加（読み、見たり）した	参加（読み、見たり）したことはない	無回答	
男性	100.0 283	8.1 23	22.6 64	51.9 147	17.3 49	
性別・年代別	30代以下	100.0 35	14.3 5	20.0 7	65.7 23	- -
	40代	100.0 33	6.1 2	21.2 7	66.7 22	6.1 2
	50代	100.0 43	11.6 5	34.9 15	41.9 18	11.6 5
	60代	100.0 69	10.1 7	20.3 14	50.7 35	18.8 13
	70代以上	100.0 103	3.9 4	20.4 21	47.6 49	28.2 29
	女性	100.0 372	9.7 36	24.2 90	45.4 169	20.7 77
	30代以下	100.0 57	17.5 10	24.6 14	56.1 32	1.8 1
	40代	100.0 42	11.9 5	23.8 10	59.5 25	4.8 2
	50代	100.0 78	11.5 9	32.1 25	51.3 40	5.1 4
	60代	100.0 70	11.4 8	27.1 19	41.4 29	20.0 14
70代以上	100.0 125	3.2 4	17.6 22	34.4 43	44.8 56	
回答しない	100.0 3	33.3 1	33.3 1	33.3 1	- -	
無回答	100.0 6	- -	33.3 2	16.7 1	50.0 3	

【市民】

第 39 表 国・県・市町村が実施する啓発活動で効果があると思うもの

上段：％、下段：実数

問28	サンプル数	街頭啓発	人権講演会や研修会など	公民館での講演会・研修会など	グループによる研修会	広報誌・パンフレット・ホームページでの広報	啓発冊子（いのちかがやけ）の全戸配布	新聞・テレビ・ラジオでの広報	学校や保育園、幼稚園での人権教育	啓発イベントを催す	映画・ビデオの上映	掲示板（ポスター・立看板・懸垂幕など）の設置	人権問題に関する相談窓口の設置	その他	特になし・わからない	無回答		
全体	100.0 664	6.0 40	17.8 118	16.7 111	4.7 31	20.0 133	12.8 85	36.7 244	34.2 227	6.6 44	16.1 107	9.9 66	23.2 154	1.2 8	21.7 144	6.2 41		
性別	男性	100.0 283	5.7 16	19.4 55	20.5 58	6.4 18	19.1 54	11.7 33	31.8 90	29.0 82	6.4 18	15.2 43	9.9 28	23.3 66	1.8 5	27.9 79	3.5 10	
	女性	100.0 372	6.5 24	16.9 63	13.4 50	3.2 12	20.7 77	13.7 51	40.9 152	38.2 142	7.0 26	17.2 64	10.2 38	23.4 87	0.8 3	16.9 63	8.3 31	
	回答しない	100.0 3	-	-	-	-	33.3 1	-	-	66.7 2	-	-	-	33.3 1	-	33.3 1	-	
	無回答	100.0 6	-	-	50.0 3	16.7 1	16.7 1	16.7 1	33.3 2	16.7 1	-	-	-	-	-	16.7 1	-	
	20代以下	100.0 48	4.2 2	22.9 11	12.5 6	8.3 4	12.5 6	6.3 3	33.3 16	50.0 24	12.5 6	25.0 12	16.7 8	31.3 15	-	22.9 11	-	
年代別	30代	100.0 45	8.9 4	11.1 5	6.7 3	4.4 2	17.8 8	26.7 12	33.3 15	57.8 26	11.1 5	24.4 11	17.8 8	33.3 15	-	22.2 10	-	
	40代	100.0 75	13.3 10	20.0 15	12.0 9	8.0 6	22.7 17	10.7 8	36.0 27	48.0 36	5.3 4	17.3 13	16.0 12	30.7 23	4.0 3	21.3 16	2.7 2	
	50代	100.0 122	9.0 11	23.8 29	13.9 17	4.1 5	23.0 28	11.5 14	41.0 50	45.1 55	11.5 14	19.7 24	11.5 14	21.3 26	-	12.3 15	5.7 7	
	60代	100.0 139	5.0 7	17.3 24	17.3 24	3.6 5	20.9 29	11.5 16	41.0 57	33.8 47	5.8 8	18.0 25	7.9 11	28.1 39	2.2 3	21.6 30	4.3 6	
	70代	100.0 152	3.3 5	15.1 23	17.1 26	4.6 7	21.7 33	13.8 21	33.6 51	20.4 31	3.3 5	9.9 15	6.6 10	18.4 28	-	28.9 44	8.6 13	
	80代以上	100.0 77	1.3 1	14.3 11	29.9 23	1.3 1	14.3 11	13.0 10	33.8 26	9.1 7	2.6 2	9.1 7	3.9 3	10.4 8	2.6 2	22.1 17	16.9 13	
	無回答	100.0 6	-	-	50.0 3	16.7 1	16.7 1	16.7 1	33.3 2	16.7 1	-	-	-	-	-	16.7 1	-	
	職業別	自営業	100.0 91	8.8 8	16.5 15	17.6 16	6.6 6	15.4 14	11.0 10	31.9 29	35.2 32	7.7 7	15.4 14	8.8 8	25.3 23	1.1 1	24.2 22	5.5 5
		民間の企業や団体に勤務する人（従業員が30人未満の事業所）	100.0 92	7.6 7	12.0 11	8.7 8	6.5 6	25.0 23	13.0 12	37.0 34	39.1 36	7.6 7	20.7 19	10.9 10	20.7 19	1.1 1	23.9 22	1.1 1
民間の企業や団体に勤務する人（従業員が30人以上の事業所）		100.0 123	4.9 6	20.3 25	16.3 20	4.9 6	17.9 22	15.4 19	35.8 44	46.3 57	7.3 9	22.0 27	11.4 14	29.3 36	0.8 1	14.6 18	1.6 2	
公務員		100.0 18	11.1 2	55.6 10	16.7 3	16.7 3	22.2 4	5.6 1	38.9 7	66.7 12	22.2 4	44.4 8	16.7 3	27.8 5	5.6 1	5.6 1	5.6 1	
学生		100.0 13	7.7 1	23.1 3	23.1 3	7.7 1	15.4 2	7.7 1	23.1 3	46.2 6	23.1 3	15.4 2	30.8 4	30.8 4	-	30.8 4	-	
家事専業		100.0 84	3.6 3	11.9 10	9.5 8	1.2 1	22.6 19	16.7 14	42.9 36	23.8 20	2.4 2	9.5 8	9.5 8	16.7 14	-	22.6 19	10.7 9	
無職		100.0 187	4.8 9	19.3 36	24.6 46	2.7 5	19.8 37	11.8 22	36.9 69	22.5 42	4.3 8	11.8 22	7.5 14	20.9 39	2.1 4	25.7 48	9.6 18	
その他		100.0 47	6.4 3	17.0 8	8.5 4	4.3 2	23.4 11	10.6 5	42.6 20	40.4 19	8.5 4	14.9 7	10.6 5	27.7 13	-	19.1 9	8.5 4	
無回答		100.0 9	11.1 1	-	33.3 3	11.1 1	11.1 1	11.1 1	22.2 2	33.3 3	-	-	-	11.1 1	-	11.1 1	11.1 1	
性・年代別		男性	100.0 283	5.7 16	19.4 55	20.5 58	6.4 18	19.1 54	11.7 33	31.8 90	29.0 82	6.4 18	15.2 43	9.9 28	23.3 66	1.8 5	27.9 79	3.5 10
	30代以下	100.0 35	2.9 1	20.0 7	8.6 3	8.6 3	17.1 6	14.3 5	28.6 10	42.9 15	8.6 3	20.0 7	14.3 5	25.7 9	-	34.3 12	-	
	40代	100.0 33	15.2 5	24.2 8	21.2 7	15.2 5	18.2 6	3.0 1	24.2 8	33.3 11	9.1 3	15.2 5	12.1 4	30.3 10	6.1 2	30.3 10	3.0 1	
	50代	100.0 43	7.0 3	16.3 7	4.7 2	4.7 2	14.0 6	7.0 3	30.2 13	44.2 19	7.0 3	18.6 8	9.3 4	23.3 10	-	20.9 9	4.7 2	
	60代	100.0 69	5.8 4	18.8 13	17.4 12	4.3 3	23.2 16	11.6 8	36.2 25	27.5 19	5.8 4	18.8 13	10.1 7	23.2 16	1.4 1	29.0 20	2.9 2	
	70代以上	100.0 103	2.9 3	19.4 20	33.0 34	4.9 5	19.4 20	15.5 16	33.0 34	17.5 18	4.9 5	9.7 10	7.8 8	20.4 21	1.9 2	27.2 28	4.9 5	
	女性	100.0 372	6.5 24	16.9 63	13.4 50	3.2 12	20.7 77	13.7 51	40.9 152	38.2 142	7.0 26	17.2 64	10.2 38	23.4 87	0.8 3	16.9 63	8.3 31	
	30代以下	100.0 57	8.8 5	15.8 9	10.5 6	5.3 3	14.0 8	17.5 10	36.8 21	61.4 35	14.0 8	28.1 16	19.3 11	36.8 21	-	14.0 8	-	
	40代	100.0 42	11.9 5	16.7 7	4.8 2	2.4 1	26.2 11	16.7 7	45.2 19	59.5 25	2.4 1	19.0 8	19.0 8	31.0 13	2.4 1	14.3 6	2.4 1	
	50代	100.0 78	10.3 8	28.2 22	19.2 15	3.8 3	26.9 21	14.1 11	47.4 37	44.9 35	14.1 11	20.5 16	12.8 10	19.2 15	-	7.7 6	6.4 5	
	60代	100.0 70	4.3 3	15.7 11	17.1 12	2.9 2	18.6 13	11.4 8	45.7 32	40.0 28	5.7 4	17.1 12	5.7 4	32.9 23	2.9 2	14.3 10	5.7 4	
	70代以上	100.0 125	2.4 3	11.2 14	12.0 15	2.4 3	19.2 24	12.0 15	34.4 43	15.2 19	1.6 2	9.6 12	4.0 5	12.0 15	-	26.4 33	16.8 21	
	回答しない	100.0 3	-	-	-	-	33.3 1	-	-	66.7 2	-	-	-	33.3 1	-	33.3 1	-	
	無回答	100.0 6	-	-	50.0 3	16.7 1	16.7 1	16.7 1	33.3 2	16.7 1	-	-	-	-	-	16.7 1	-	

【市職員】

第1表 人権問題にどの程度関心があるか

上段%、下段：実数

問2	サンプル数	非常に 関心がある	少し 関心がある	あまり 関心がない	ほとんど・全く 関心がない	
全体	100.0 208	18.8 39	60.6 126	19.2 40	1.4 3	
性別	男性	100.0 141	17.0 24	61.7 87	19.1 27	2.1 3
	女性	100.0 62	22.6 14	59.7 37	17.7 11	- -
	その他・回答しない	100.0 5	20.0 1	40.0 2	40.0 2	- -
年代別	30代未満	100.0 22	22.7 5	63.6 14	13.6 3	- -
	30代	100.0 53	15.1 8	50.9 27	30.2 16	3.8 2
	40代	100.0 59	18.6 11	55.9 33	25.4 15	- -
	50代以上	100.0 74	20.3 15	70.3 52	8.1 6	1.4 1
性・年代別	男性	100.0 141	17.0 24	61.7 87	19.1 27	2.1 3
	30代未満	100.0 14	35.7 5	42.9 6	21.4 3	- -
	30代	100.0 35	11.4 4	60.0 21	22.9 8	5.7 2
	40代	100.0 37	10.8 4	54.1 20	35.1 13	- -
	50代以上	100.0 55	20.0 11	72.7 40	5.5 3	1.8 1
	女性	100.0 62	22.6 14	59.7 37	17.7 11	- -
	30代未満	100.0 8	- -	100.0 8	- -	- -
	30代	100.0 16	18.8 3	37.5 6	43.8 7	- -
	40代	100.0 20	35.0 7	60.0 12	5.0 1	- -
	50代以上	100.0 18	22.2 4	61.1 11	16.7 3	- -
	その他・回答しない	100.0 5	20.0 1	40.0 2	40.0 2	- -

【市職員】

第2表 日本の人権に関する問題で関心があるもの（※次ページへ続く）

上段%、下段：実数

問3	サンプル数	同和問題（部落差別に関する問題）	女性に関する問題	子どもに関する問題	高齢者に関する問題	障がいのある人に関する問題	日本に住んでいる外国人や外国にルーツのある人に関する問題	H1V感染者・ハンセン病回復者などに関する問題	北朝鮮当局による拉致問題	犯罪被害者やその家族に関する問題	インターネットによる人権侵害問題	刑を終えて出所した人やその家族に関する問題	ホームレスに関する問題	
全体	100.0 208	32.2 67	41.8 87	48.6 101	23.6 49	36.5 76	13.9 29	7.7 16	19.7 41	22.6 47	53.4 111	10.1 21	4.3 9	
性別	男性	100.0 141	33.3 47	34.8 49	43.3 61	19.1 27	35.5 50	13.5 19	7.1 10	19.9 28	22.7 32	50.4 71	10.6 15	3.5 5
	女性	100.0 62	30.6 19	61.3 38	62.9 39	33.9 21	41.9 26	16.1 10	8.1 5	21.0 13	22.6 14	59.7 37	9.7 6	6.5 4
	その他・回答しない	100.0 5	20.0 1	-	20.0 1	20.0 1	-	-	20.0 1	-	20.0 1	60.0 3	-	-
年代別	30代未満	100.0 22	40.9 9	54.5 12	36.4 8	9.1 2	27.3 6	9.1 2	4.5 1	9.1 2	9.1 2	40.9 9	-	-
	30代	100.0 53	24.5 13	24.5 13	39.6 21	18.9 10	34.0 18	13.2 7	5.7 3	15.1 8	28.3 15	47.2 25	17.0 9	5.7 3
	40代	100.0 59	23.7 14	37.3 22	52.5 31	16.9 10	37.3 22	11.9 7	1.7 1	6.8 4	11.9 7	50.8 30	6.8 4	3.4 2
	50代以上	100.0 74	41.9 31	54.1 40	55.4 41	36.5 27	40.5 30	17.6 13	14.9 11	36.5 27	31.1 23	63.5 47	10.8 8	5.4 4
性・年代別	男性	100.0 141	33.3 47	34.8 49	43.3 61	19.1 27	35.5 50	13.5 19	7.1 10	19.9 28	22.7 32	50.4 71	10.6 15	3.5 5
	30代未満	100.0 14	50.0 7	42.9 6	21.4 3	-	28.6 4	14.3 2	7.1 1	7.1 1	7.1 1	28.6 4	-	-
	30代	100.0 35	25.7 9	17.1 6	37.1 13	17.1 6	34.3 12	14.3 5	2.9 1	20.0 7	28.6 10	42.9 15	20.0 7	2.9 1
	40代	100.0 37	24.3 9	24.3 9	48.6 18	13.5 5	32.4 12	13.5 5	2.7 1	8.1 3	10.8 4	48.6 18	5.4 2	5.4 2
	50代以上	100.0 55	40.0 22	50.9 28	49.1 27	29.1 16	40.0 22	12.7 7	12.7 7	30.9 17	30.9 17	61.8 34	10.9 6	3.6 2
	女性	100.0 62	30.6 19	61.3 38	62.9 39	33.9 21	41.9 26	16.1 10	8.1 5	21.0 13	22.6 14	59.7 37	9.7 6	6.5 4
	30代未満	100.0 8	25.0 2	75.0 6	62.5 5	25.0 2	25.0 2	-	-	12.5 1	12.5 1	62.5 5	-	-
	30代	100.0 16	18.8 3	43.8 7	43.8 7	25.0 4	37.5 6	12.5 2	6.3 1	6.3 1	25.0 4	56.3 9	12.5 2	12.5 2
	40代	100.0 20	25.0 5	65.0 13	65.0 13	20.0 4	50.0 10	10.0 2	-	5.0 1	15.0 3	55.0 11	10.0 2	-
	50代以上	100.0 18	50.0 9	66.7 12	77.8 14	61.1 11	44.4 8	33.3 6	22.2 4	55.6 10	33.3 6	66.7 12	11.1 2	11.1 2
その他・回答しない	100.0 5	20.0 1	-	20.0 1	20.0 1	-	-	20.0 1	-	20.0 1	60.0 3	-	-	

【市職員】

第2表 日本の人権に関する問題で関心があるもの（※前ページの続き）

上段%、下段：実数

問3	サンプル数	アイヌの人々に関する問題	性的少数者に関する問題	新型コロナウイルス感染症による人権侵害に関する問題	人身取引（トラフィッキング）に関する問題	原発事故による放射線被ばく風評被害に関する問題	ヘイトスピーチにかかわる問題	その他	特になし・わからない	
全体	100.0 208	7.2 15	16.8 35	17.8 37	6.3 13	6.3 13	12.0 25	1.0 2	7.7 16	
性別	男性	100.0 141	5.7 8	12.1 17	17.0 24	6.4 9	5.0 7	13.5 19	1.4 2	9.9 14
	女性	100.0 62	11.3 7	27.4 17	19.4 12	6.5 4	9.7 6	9.7 6	- -	1.6 1
	その他・回答しない	100.0 5	- -	20.0 1	20.0 1	- -	- -	- -	- -	20.0 1
年代別	30代未満	100.0 22	4.5 1	18.2 4	22.7 5	- -	- -	13.6 3	- -	9.1 2
	30代	100.0 53	13.2 7	20.8 11	20.8 11	5.7 3	3.8 2	7.5 4	- -	11.3 6
	40代	100.0 59	- -	10.2 6	16.9 10	5.1 3	3.4 2	8.5 5	1.7 1	8.5 5
	50代以上	100.0 74	9.5 7	18.9 14	14.9 11	9.5 7	12.2 9	17.6 13	1.4 1	4.1 3
性・年代別	男性	100.0 141	5.7 8	12.1 17	17.0 24	6.4 9	5.0 7	13.5 19	1.4 2	9.9 14
	30代未満	100.0 14	7.1 1	7.1 1	28.6 4	- -	- -	21.4 3	- -	14.3 2
	30代	100.0 35	8.6 3	14.3 5	17.1 6	5.7 2	- -	5.7 2	- -	14.3 5
	40代	100.0 37	- -	5.4 2	16.2 6	5.4 2	2.7 1	10.8 4	2.7 1	10.8 4
	50代以上	100.0 55	7.3 4	16.4 9	14.5 8	9.1 5	10.9 6	18.2 10	1.8 1	5.5 3
	女性	100.0 62	11.3 7	27.4 17	19.4 12	6.5 4	9.7 6	9.7 6	- -	1.6 1
	30代未満	100.0 8	- -	37.5 3	12.5 1	- -	- -	- -	- -	- -
	30代	100.0 16	25.0 4	31.3 5	25.0 4	6.3 1	12.5 2	12.5 2	- -	6.3 1
	40代	100.0 20	- -	20.0 4	20.0 4	5.0 1	5.0 1	5.0 1	- -	- -
	50代以上	100.0 18	16.7 3	27.8 5	16.7 3	11.1 2	16.7 3	16.7 3	- -	- -
	その他・回答しない	100.0 5	- -	20.0 1	20.0 1	- -	- -	- -	- -	20.0 1

【市職員】

第3表 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律の認知状況

上段%、下段：実数

問4.1	サンプル数	人に説明できる	おおよそ知っている	言葉だけ聞いたことがある	知らない	
全体	100.0 208	1.4 3	13.9 29	56.7 118	27.9 58	
性別	男性	100.0 141	2.1 3	13.5 19	54.6 77	29.8 42
	女性	100.0 62	- -	14.5 9	62.9 39	22.6 14
	その他・回答しない	100.0 5	- -	20.0 1	40.0 2	40.0 2
年代別	30代未満	100.0 22	4.5 1	4.5 1	86.4 19	4.5 1
	30代	100.0 53	1.9 1	5.7 3	50.9 27	41.5 22
	40代	100.0 59	- -	15.3 9	54.2 32	30.5 18
	50代以上	100.0 74	1.4 1	21.6 16	54.1 40	23.0 17
性・年代別	男性	100.0 141	2.1 3	13.5 19	54.6 77	29.8 42
	30代未満	100.0 14	7.1 1	7.1 1	78.6 11	7.1 1
	30代	100.0 35	2.9 1	- -	54.3 19	42.9 15
	40代	100.0 37	- -	13.5 5	59.5 22	27.0 10
	50代以上	100.0 55	1.8 1	23.6 13	45.5 25	29.1 16
	女性	100.0 62	- -	14.5 9	62.9 39	22.6 14
	30代未満	100.0 8	- -	- -	100.0 8	- -
	30代	100.0 16	- -	12.5 2	50.0 8	37.5 6
	40代	100.0 20	- -	20.0 4	45.0 9	35.0 7
	50代以上	100.0 18	- -	16.7 3	77.8 14	5.6 1
その他・回答しない	100.0 5	- -	20.0 1	40.0 2	40.0 2	

【市職員】

第4表 部落差別の解消の推進に関する法律（部落差別解消推進法）の認知状況

上段%、下段：実数

問4.2	サンプル数	人に説明できる	おおよそ知っている	言葉だけ聞いたことがある	知らない	
全体	100.0 208	1.9 4	24.5 51	59.6 124	13.9 29	
性別	男性	100.0 141	2.8 4	23.4 33	58.9 83	14.9 21
	女性	100.0 62	- -	27.4 17	61.3 38	11.3 7
	その他・回答しない	100.0 5	- -	20.0 1	60.0 3	20.0 1
年代別	30代未満	100.0 22	4.5 1	13.6 3	77.3 17	4.5 1
	30代	100.0 53	- -	17.0 9	58.5 31	24.5 13
	40代	100.0 59	1.7 1	25.4 15	57.6 34	15.3 9
	50代以上	100.0 74	2.7 2	32.4 24	56.8 42	8.1 6
性・年代別	男性	100.0 141	2.8 4	23.4 33	58.9 83	14.9 21
	30代未満	100.0 14	7.1 1	14.3 2	71.4 10	7.1 1
	30代	100.0 35	- -	8.6 3	65.7 23	25.7 9
	40代	100.0 37	2.7 1	21.6 8	62.2 23	13.5 5
	50代以上	100.0 55	3.6 2	36.4 20	49.1 27	10.9 6
	女性	100.0 62	- -	27.4 17	61.3 38	11.3 7
	30代未満	100.0 8	- -	12.5 1	87.5 7	- -
	30代	100.0 16	- -	37.5 6	37.5 6	25.0 4
	40代	100.0 20	- -	35.0 7	50.0 10	15.0 3
	50代以上	100.0 18	- -	16.7 3	83.3 15	- -
	その他・回答しない	100.0 5	- -	20.0 1	60.0 3	20.0 1

【市職員】

第5表 児童虐待の防止等に関する法律（児童虐待防止法）の認知状況

上段%、下段：実数

問4.3	サンプル数	人に説明できる	おおよそ知っている	言葉だけ聞いたことがある	知らない	
全体	100.0 208	3.4 7	28.4 59	56.7 118	11.5 24	
性別	男性	100.0 141	2.1 3	22.0 31	61.0 86	14.9 21
	女性	100.0 62	6.5 4	45.2 28	45.2 28	3.2 2
	その他・回答しない	100.0 5	- -	- -	80.0 4	20.0 1
年代別	30代未満	100.0 22	4.5 1	9.1 2	77.3 17	9.1 2
	30代	100.0 53	5.7 3	28.3 15	49.1 26	17.0 9
	40代	100.0 59	1.7 1	32.2 19	54.2 32	11.9 7
	50代以上	100.0 74	2.7 2	31.1 23	58.1 43	8.1 6
性・年代別	男性	100.0 141	2.1 3	22.0 31	61.0 86	14.9 21
	30代未満	100.0 14	7.1 1	- -	78.6 11	14.3 2
	30代	100.0 35	- -	17.1 6	60.0 21	22.9 8
	40代	100.0 37	- -	27.0 10	59.5 22	13.5 5
	50代以上	100.0 55	3.6 2	27.3 15	58.2 32	10.9 6
	女性	100.0 62	6.5 4	45.2 28	45.2 28	3.2 2
	30代未満	100.0 8	- -	25.0 2	75.0 6	- -
	30代	100.0 16	18.8 3	56.3 9	18.8 3	6.3 1
	40代	100.0 20	5.0 1	45.0 9	45.0 9	5.0 1
	50代以上	100.0 18	- -	44.4 8	55.6 10	- -
	その他・回答しない	100.0 5	- -	- -	80.0 4	20.0 1

【市職員】

第6表 いじめ防止対策推進法の認知状況

上段%、下段：実数

問4.4	サンプル数	人に説明できる	おおよそ知っている	言葉だけ聞いたことがある	知らない	
全体	100.0 208	3.4 7	18.3 38	61.1 127	17.3 36	
性別	男性	100.0 141	2.8 4	16.3 23	58.9 83	22.0 31
	女性	100.0 62	4.8 3	22.6 14	66.1 41	6.5 4
	その他・回答しない	100.0 5	- -	20.0 1	60.0 3	20.0 1
年代別	30代未満	100.0 22	4.5 1	- -	86.4 19	9.1 2
	30代	100.0 53	3.8 2	17.0 9	52.8 28	26.4 14
	40代	100.0 59	1.7 1	13.6 8	64.4 38	20.3 12
	50代以上	100.0 74	4.1 3	28.4 21	56.8 42	10.8 8
性・年代別	男性	100.0 141	2.8 4	16.3 23	58.9 83	22.0 31
	30代未満	100.0 14	7.1 1	- -	78.6 11	14.3 2
	30代	100.0 35	- -	11.4 4	51.4 18	37.1 13
	40代	100.0 37	- -	16.2 6	62.2 23	21.6 8
	50代以上	100.0 55	5.5 3	23.6 13	56.4 31	14.5 8
	女性	100.0 62	4.8 3	22.6 14	66.1 41	6.5 4
	30代未満	100.0 8	- -	- -	100.0 8	- -
	30代	100.0 16	12.5 2	31.3 5	50.0 8	6.3 1
	40代	100.0 20	5.0 1	10.0 2	70.0 14	15.0 3
	50代以上	100.0 18	- -	38.9 7	61.1 11	- -
その他・回答しない	100.0 5	- -	20.0 1	60.0 3	20.0 1	

【市職員】

第7表 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律（高齢者虐待防止法）の
認知状況

上段%、下段：実数

問4.5	サンプル数	人に説明できる	おおよそ知っている	言葉だけ聞いたことがある	知らない	
全体	100.0 208	3.8 8	23.6 49	51.0 106	21.6 45	
性別	男性	100.0 141	2.1 3	19.1 27	49.6 70	29.1 41
	女性	100.0 62	8.1 5	35.5 22	51.6 32	4.8 3
	その他・回答しない	100.0 5	- -	- -	80.0 4	20.0 1
年代別	30代未満	100.0 22	4.5 1	4.5 1	77.3 17	13.6 3
	30代	100.0 53	7.5 4	20.8 11	47.2 25	24.5 13
	40代	100.0 59	3.4 2	28.8 17	40.7 24	27.1 16
	50代以上	100.0 74	1.4 1	27.0 20	54.1 40	17.6 13
性・年代別	男性	100.0 141	2.1 3	19.1 27	49.6 70	29.1 41
	30代未満	100.0 14	7.1 1	- -	78.6 11	14.3 2
	30代	100.0 35	- -	17.1 6	48.6 17	34.3 12
	40代	100.0 37	2.7 1	21.6 8	37.8 14	37.8 14
	50代以上	100.0 55	1.8 1	23.6 13	50.9 28	23.6 13
	女性	100.0 62	8.1 5	35.5 22	51.6 32	4.8 3
	30代未満	100.0 8	- -	12.5 1	75.0 6	12.5 1
	30代	100.0 16	25.0 4	31.3 5	37.5 6	6.3 1
	40代	100.0 20	5.0 1	45.0 9	45.0 9	5.0 1
	50代以上	100.0 18	- -	38.9 7	61.1 11	- -
	その他・回答しない	100.0 5	- -	- -	80.0 4	20.0 1

【市職員】

第8表 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）の認知状況

上段%、下段：実数

問4.6	サンプル数	人に説明できる	おおよそ知っている	言葉だけ聞いたことがある	知らない	
全体	100.0 208	3.8 8	20.7 43	53.4 111	22.1 46	
性別	男性	100.0 141	2.8 4	16.3 23	52.5 74	28.4 40
	女性	100.0 62	6.5 4	32.3 20	53.2 33	8.1 5
	その他・回答しない	100.0 5	- -	- -	80.0 4	20.0 1
年代別	30代未満	100.0 22	4.5 1	4.5 1	81.8 18	9.1 2
	30代	100.0 53	3.8 2	20.8 11	50.9 27	24.5 13
	40代	100.0 59	3.4 2	23.7 14	49.2 29	23.7 14
	50代以上	100.0 74	4.1 3	23.0 17	50.0 37	23.0 17
性・年代別	男性	100.0 141	2.8 4	16.3 23	52.5 74	28.4 40
	30代未満	100.0 14	7.1 1	7.1 1	71.4 10	14.3 2
	30代	100.0 35	- -	14.3 5	54.3 19	31.4 11
	40代	100.0 37	- -	16.2 6	56.8 21	27.0 10
	50代以上	100.0 55	5.5 3	20.0 11	43.6 24	30.9 17
	女性	100.0 62	6.5 4	32.3 20	53.2 33	8.1 5
	30代未満	100.0 8	- -	- -	100.0 8	- -
	30代	100.0 16	12.5 2	37.5 6	37.5 6	12.5 2
	40代	100.0 20	10.0 2	40.0 8	35.0 7	15.0 3
	50代以上	100.0 18	- -	33.3 6	66.7 12	- -
その他・回答しない	100.0 5	- -	- -	80.0 4	20.0 1	

【市職員】

第9表 本邦外出身者に対する不当な差別的発言の解消に向けた取組の推進に関する法律
(ヘイトスピーチ解消法)の認知状況

上段%、下段：実数

問4.7	サンプル数	人に説明できる	おおよそ知っている	言葉だけ聞いたことがある	知らない	
全体	100.0 208	1.0 2	8.2 17	55.3 115	35.6 74	
性別	男性	100.0 141	1.4 2	7.8 11	53.2 75	37.6 53
	女性	100.0 62	- -	9.7 6	56.5 35	33.9 21
	その他・回答しない	100.0 5	- -	- -	100.0 5	- -
年代別	30代未満	100.0 22	4.5 1	- -	81.8 18	13.6 3
	30代	100.0 53	- -	7.5 4	50.9 27	41.5 22
	40代	100.0 59	- -	10.2 6	52.5 31	37.3 22
	50代以上	100.0 74	1.4 1	9.5 7	52.7 39	36.5 27
性・年代別	男性	100.0 141	1.4 2	7.8 11	53.2 75	37.6 53
	30代未満	100.0 14	7.1 1	- -	78.6 11	14.3 2
	30代	100.0 35	- -	5.7 2	51.4 18	42.9 15
	40代	100.0 37	- -	10.8 4	51.4 19	37.8 14
	50代以上	100.0 55	1.8 1	9.1 5	49.1 27	40.0 22
	女性	100.0 62	- -	9.7 6	56.5 35	33.9 21
	30代未満	100.0 8	- -	- -	87.5 7	12.5 1
	30代	100.0 16	- -	12.5 2	43.8 7	43.8 7
	40代	100.0 20	- -	10.0 2	50.0 10	40.0 8
	50代以上	100.0 18	- -	11.1 2	61.1 11	27.8 5
	その他・回答しない	100.0 5	- -	- -	100.0 5	- -

【市職員】

第 10 表 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）の認知状況

上段%、下段：実数

問4.8	サンプル数	人に説明できる	おおよそ知っている	言葉だけ聞いたことがある	知らない	
全体	100.0 208	3.4 7	32.2 67	56.7 118	7.7 16	
性別	男性	100.0 141	2.8 4	29.1 41	57.4 81	10.6 15
	女性	100.0 62	4.8 3	40.3 25	53.2 33	1.6 1
	その他・回答しない	100.0 5	- -	20.0 1	80.0 4	- -
年代別	30代未満	100.0 22	4.5 1	13.6 3	77.3 17	4.5 1
	30代	100.0 53	5.7 3	22.6 12	56.6 30	15.1 8
	40代	100.0 59	- -	39.0 23	55.9 33	5.1 3
	50代以上	100.0 74	4.1 3	39.2 29	51.4 38	5.4 4
性・年代別	男性	100.0 141	2.8 4	29.1 41	57.4 81	10.6 15
	30代未満	100.0 14	7.1 1	7.1 1	78.6 11	7.1 1
	30代	100.0 35	2.9 1	17.1 6	60.0 21	20.0 7
	40代	100.0 37	- -	35.1 13	56.8 21	8.1 3
	50代以上	100.0 55	3.6 2	38.2 21	50.9 28	7.3 4
	女性	100.0 62	4.8 3	40.3 25	53.2 33	1.6 1
	30代未満	100.0 8	- -	25.0 2	75.0 6	- -
	30代	100.0 16	12.5 2	37.5 6	43.8 7	6.3 1
	40代	100.0 20	- -	50.0 10	50.0 10	- -
	50代以上	100.0 18	5.6 1	38.9 7	55.6 10	- -
	その他・回答しない	100.0 5	- -	20.0 1	80.0 4	- -

【市職員】

第 11 表 性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律（性同一性障害特例法）の認知状況

上段%、下段：実数

問4.9	サンプル数	人に説明できる	おおよそ知っている	言葉だけ聞いたことがある	知らない	
全体	100.0 208	2.4 5	12.0 25	54.8 114	30.8 64	
性別	男性	100.0 141	2.1 3	8.5 12	54.6 77	34.8 49
	女性	100.0 62	3.2 2	21.0 13	54.8 34	21.0 13
	その他・回答しない	100.0 5	- -	- -	60.0 3	40.0 2
年代別	30代未満	100.0 22	4.5 1	9.1 2	72.7 16	13.6 3
	30代	100.0 53	3.8 2	11.3 6	47.2 25	37.7 20
	40代	100.0 59	- -	11.9 7	52.5 31	35.6 21
	50代以上	100.0 74	2.7 2	13.5 10	56.8 42	27.0 20
性・年代別	男性	100.0 141	2.1 3	8.5 12	54.6 77	34.8 49
	30代未満	100.0 14	7.1 1	- -	71.4 10	21.4 3
	30代	100.0 35	- -	8.6 3	42.9 15	48.6 17
	40代	100.0 37	- -	10.8 4	51.4 19	37.8 14
	50代以上	100.0 55	3.6 2	9.1 5	60.0 33	27.3 15
	女性	100.0 62	3.2 2	21.0 13	54.8 34	21.0 13
	30代未満	100.0 8	- -	25.0 2	75.0 6	- -
	30代	100.0 16	12.5 2	18.8 3	56.3 9	12.5 2
	40代	100.0 20	- -	15.0 3	55.0 11	30.0 6
	50代以上	100.0 18	- -	27.8 5	44.4 8	27.8 5
その他・回答しない	100.0 5	- -	- -	60.0 3	40.0 2	

【市職員】

第 12 表 事前登録型本人通知制度の認知状況

上段%、下段：実数

問4.10	サンプル数	人に説明できる	おおよそ知っている	言葉だけ聞いたことがある	知らない	
全体	100.0 208	2.4 5	8.2 17	19.7 41	69.7 145	
性別	男性	100.0 141	2.1 3	8.5 12	19.9 28	69.5 98
	女性	100.0 62	3.2 2	8.1 5	19.4 12	69.4 43
	その他・回答しない	100.0 5	- -	- -	20.0 1	80.0 4
年代別	30代未満	100.0 22	4.5 1	4.5 1	36.4 8	54.5 12
	30代	100.0 53	- -	5.7 3	18.9 10	75.5 40
	40代	100.0 59	- -	11.9 7	15.3 9	72.9 43
	50代以上	100.0 74	5.4 4	8.1 6	18.9 14	67.6 50
性・年代別	男性	100.0 141	2.1 3	8.5 12	19.9 28	69.5 98
	30代未満	100.0 14	7.1 1	7.1 1	35.7 5	50.0 7
	30代	100.0 35	- -	5.7 2	20.0 7	74.3 26
	40代	100.0 37	- -	16.2 6	13.5 5	70.3 26
	50代以上	100.0 55	3.6 2	5.5 3	20.0 11	70.9 39
	女性	100.0 62	3.2 2	8.1 5	19.4 12	69.4 43
	30代未満	100.0 8	- -	- -	37.5 3	62.5 5
	30代	100.0 16	- -	6.3 1	18.8 3	75.0 12
	40代	100.0 20	- -	5.0 1	20.0 4	75.0 15
	50代以上	100.0 18	11.1 2	16.7 3	11.1 2	61.1 11
	その他・回答しない	100.0 5	- -	- -	20.0 1	80.0 4

【市職員】

第 13 表 「差別」についての考え

(1) どのような手段を講じて、差別を完全になくすことは無理だ

上段%、下段：実数

問5.1	サンプル数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	
全体	100.0 208	24.5 51	52.9 110	18.8 39	3.8 8	
性別	男性	100.0 141	29.8 42	48.9 69	17.0 24	4.3 6
	女性	100.0 62	12.9 8	62.9 39	21.0 13	3.2 2
	その他・回答しない	100.0 5	20.0 1	40.0 2	40.0 2	- -
年代別	30代未満	100.0 22	9.1 2	63.6 14	22.7 5	4.5 1
	30代	100.0 53	30.2 16	54.7 29	11.3 6	3.8 2
	40代	100.0 59	20.3 12	54.2 32	22.0 13	3.4 2
	50代以上	100.0 74	28.4 21	47.3 35	20.3 15	4.1 3
性・年代別	男性	100.0 141	29.8 42	48.9 69	17.0 24	4.3 6
	30代未満	100.0 14	7.1 1	64.3 9	21.4 3	7.1 1
	30代	100.0 35	37.1 13	51.4 18	8.6 3	2.9 1
	40代	100.0 37	24.3 9	51.4 19	21.6 8	2.7 1
	50代以上	100.0 55	34.5 19	41.8 23	18.2 10	5.5 3
	女性	100.0 62	12.9 8	62.9 39	21.0 13	3.2 2
	30代未満	100.0 8	12.5 1	62.5 5	25.0 2	- -
	30代	100.0 16	18.8 3	62.5 10	12.5 2	6.3 1
	40代	100.0 20	10.0 2	60.0 12	25.0 5	5.0 1
	50代以上	100.0 18	11.1 2	66.7 12	22.2 4	- -
	その他・回答しない	100.0 5	20.0 1	40.0 2	40.0 2	- -

【市職員】

第 14 表 「差別」についての考え

(2) 差別の原因には、差別される人の側に問題があることも多い

上段%、下段：実数

問5.2		サンプル数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない
全体		100.0 208	2.4 5	9.6 20	57.2 119	30.8 64
性別	男性	100.0 141	3.5 5	12.1 17	61.0 86	23.4 33
	女性	100.0 62	- -	4.8 3	46.8 29	48.4 30
	その他・回答しない	100.0 5	- -	- -	80.0 4	20.0 1
年代別	30代未満	100.0 22	4.5 1	13.6 3	59.1 13	22.7 5
	30代	100.0 53	3.8 2	9.4 5	50.9 27	35.8 19
	40代	100.0 59	- -	8.5 5	50.8 30	40.7 24
	50代以上	100.0 74	2.7 2	9.5 7	66.2 49	21.6 16
性・年代別	男性	100.0 141	3.5 5	12.1 17	61.0 86	23.4 33
	30代未満	100.0 14	7.1 1	14.3 2	71.4 10	7.1 1
	30代	100.0 35	5.7 2	14.3 5	57.1 20	22.9 8
	40代	100.0 37	- -	10.8 4	56.8 21	32.4 12
	50代以上	100.0 55	3.6 2	10.9 6	63.6 35	21.8 12
	女性	100.0 62	- -	4.8 3	46.8 29	48.4 30
	30代未満	100.0 8	- -	12.5 1	37.5 3	50.0 4
	30代	100.0 16	- -	- -	37.5 6	62.5 10
	40代	100.0 20	- -	5.0 1	35.0 7	60.0 12
	50代以上	100.0 18	- -	5.6 1	72.2 13	22.2 4
	その他・回答しない	100.0 5	- -	- -	80.0 4	20.0 1

【市職員】

第 15 表 「差別」についての考え

(3) 差別に対して抗議や反対をすることによって、かえって問題が解決しにくくなる

上段%、下段：実数

問5.3		サンプル数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない
全体		100.0 208	1.9 4	17.3 36	57.7 120	23.1 48
性別	男性	100.0 141	2.1 3	20.6 29	55.3 78	22.0 31
	女性	100.0 62	- -	11.3 7	62.9 39	25.8 16
	その他・回答しない	100.0 5	20.0 1	- -	60.0 3	20.0 1
年代別	30代未満	100.0 22	4.5 1	22.7 5	54.5 12	18.2 4
	30代	100.0 53	1.9 1	26.4 14	56.6 30	15.1 8
	40代	100.0 59	- -	13.6 8	52.5 31	33.9 20
	50代以上	100.0 74	2.7 2	12.2 9	63.5 47	21.6 16
性・年代別	男性	100.0 141	2.1 3	20.6 29	55.3 78	22.0 31
	30代未満	100.0 14	7.1 1	28.6 4	50.0 7	14.3 2
	30代	100.0 35	- -	37.1 13	45.7 16	17.1 6
	40代	100.0 37	- -	18.9 7	51.4 19	29.7 11
	50代以上	100.0 55	3.6 2	9.1 5	65.5 36	21.8 12
	女性	100.0 62	- -	11.3 7	62.9 39	25.8 16
	30代未満	100.0 8	- -	12.5 1	62.5 5	25.0 2
	30代	100.0 16	- -	6.3 1	87.5 14	6.3 1
	40代	100.0 20	- -	5.0 1	50.0 10	45.0 9
	50代以上	100.0 18	- -	22.2 4	55.6 10	22.2 4
	その他・回答しない	100.0 5	20.0 1	- -	60.0 3	20.0 1

【市職員】

第 16 表 「差別」についての考え

(4) 差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である

上段%、下段：実数

問5.4	サンプル数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	
全体	100.0 208	46.2 96	43.8 91	7.2 15	2.9 6	
性別	男性	100.0 141	43.3 61	45.4 64	8.5 12	2.8 4
	女性	100.0 62	54.8 34	38.7 24	3.2 2	3.2 2
	その他・回答しない	100.0 5	20.0 1	60.0 3	20.0 1	- -
年代別	30代未満	100.0 22	50.0 11	45.5 10	- -	4.5 1
	30代	100.0 53	39.6 21	37.7 20	20.8 11	1.9 1
	40代	100.0 59	39.0 23	50.8 30	6.8 4	3.4 2
	50代以上	100.0 74	55.4 41	41.9 31	- -	2.7 2
性・年代別	男性	100.0 141	43.3 61	45.4 64	8.5 12	2.8 4
	30代未満	100.0 14	50.0 7	42.9 6	- -	7.1 1
	30代	100.0 35	31.4 11	42.9 15	22.9 8	2.9 1
	40代	100.0 37	32.4 12	54.1 20	10.8 4	2.7 1
	50代以上	100.0 55	56.4 31	41.8 23	- -	1.8 1
	女性	100.0 62	54.8 34	38.7 24	3.2 2	3.2 2
	30代未満	100.0 8	50.0 4	50.0 4	- -	- -
	30代	100.0 16	56.3 9	31.3 5	12.5 2	- -
	40代	100.0 20	55.0 11	40.0 8	- -	5.0 1
	50代以上	100.0 18	55.6 10	38.9 7	- -	5.6 1
	その他・回答しない	100.0 5	20.0 1	60.0 3	20.0 1	- -

【市職員】

第 17 表 「差別」についての考え

(5) 差別を受けてきた人に対しては、行政の支援が必要である

上段%、下段：実数

問5.5		サンプル数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない
全体		100.0 208	28.4 59	55.8 116	14.9 31	1.0 2
性別	男性	100.0 141	27.0 38	56.0 79	15.6 22	1.4 2
	女性	100.0 62	30.6 19	56.5 35	12.9 8	- -
	その他・回答しない	100.0 5	40.0 2	40.0 2	20.0 1	- -
年代別	30代未満	100.0 22	36.4 8	50.0 11	13.6 3	- -
	30代	100.0 53	20.8 11	54.7 29	22.6 12	1.9 1
	40代	100.0 59	25.4 15	59.3 35	15.3 9	- -
	50代以上	100.0 74	33.8 25	55.4 41	9.5 7	1.4 1
性・年代別	男性	100.0 141	27.0 38	56.0 79	15.6 22	1.4 2
	30代未満	100.0 14	35.7 5	57.1 8	7.1 1	- -
	30代	100.0 35	22.9 8	48.6 17	25.7 9	2.9 1
	40代	100.0 37	27.0 10	56.8 21	16.2 6	- -
	50代以上	100.0 55	27.3 15	60.0 33	10.9 6	1.8 1
	女性	100.0 62	30.6 19	56.5 35	12.9 8	- -
	30代未満	100.0 8	37.5 3	37.5 3	25.0 2	- -
	30代	100.0 16	12.5 2	68.8 11	18.8 3	- -
	40代	100.0 20	20.0 4	70.0 14	10.0 2	- -
	50代以上	100.0 18	55.6 10	38.9 7	5.6 1	- -
	その他・回答しない	100.0 5	40.0 2	40.0 2	20.0 1	- -

【市職員】

第 18 表 同和問題に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

上段%、下段：実数

問6	サンプル数	結婚を周囲から反対されること	就職の際や職場で不利な扱いを受けること	付き合いをさけるなど日常の交際の中で差別があること	生活環境面で近隣との格差が埋めきれれていないこと	身元調査をするなど社会における偏見意識があること	インターネットに差別的な情報を掲載すること	区や土地を購入したり、マンションを建設する際に、同和地かどうかを調べることを	その他	特にない・わからない	
全体	100.0 208	53.8 112	47.6 99	36.5 76	18.3 38	49.0 102	56.7 118	38.9 81	-	13.5 28	
性別	男性	100.0 141	53.9 76	42.6 60	34.0 48	14.9 21	44.7 63	57.4 81	38.3 54	-	15.6 22
	女性	100.0 62	56.5 35	59.7 37	43.5 27	25.8 16	59.7 37	56.5 35	40.3 25	-	6.5 4
	その他・回答しない	100.0 5	20.0 1	40.0 2	20.0 1	20.0 1	40.0 2	40.0 2	40.0 2	-	40.0 2
年代別	30代未満	100.0 22	50.0 11	36.4 8	31.8 7	18.2 4	27.3 6	54.5 12	31.8 7	-	9.1 2
	30代	100.0 53	49.1 26	41.5 22	34.0 18	9.4 5	39.6 21	50.9 27	37.7 20	-	17.0 9
	40代	100.0 59	61.0 36	57.6 34	40.7 24	27.1 16	54.2 32	61.0 36	40.7 24	-	10.2 6
	50代以上	100.0 74	52.7 39	47.3 35	36.5 27	17.6 13	58.1 43	58.1 43	40.5 30	-	14.9 11
性・年代別	男性	100.0 141	53.9 76	42.6 60	34.0 48	14.9 21	44.7 63	57.4 81	38.3 54	-	15.6 22
	30代未満	100.0 14	42.9 6	21.4 3	28.6 4	7.1 1	28.6 4	50.0 7	35.7 5	-	14.3 2
	30代	100.0 35	45.7 16	37.1 13	25.7 9	5.7 2	31.4 11	48.6 17	37.1 13	-	20.0 7
	40代	100.0 37	62.2 23	56.8 21	43.2 16	24.3 9	51.4 19	64.9 24	37.8 14	-	10.8 4
	50代以上	100.0 55	56.4 31	41.8 23	34.5 19	16.4 9	52.7 29	60.0 33	40.0 22	-	16.4 9
	女性	100.0 62	56.5 35	59.7 37	43.5 27	25.8 16	59.7 37	56.5 35	40.3 25	-	6.5 4
	30代未満	100.0 8	62.5 5	62.5 5	37.5 3	37.5 3	25.0 2	62.5 5	25.0 2	-	-
	30代	100.0 16	56.3 9	50.0 8	50.0 8	12.5 2	56.3 9	56.3 9	37.5 6	-	6.3 1
	40代	100.0 20	65.0 13	60.0 12	40.0 8	35.0 7	65.0 13	55.0 11	45.0 9	-	5.0 1
	50代以上	100.0 18	44.4 8	66.7 12	44.4 8	22.2 4	72.2 13	55.6 10	44.4 8	-	11.1 2
	その他・回答しない	100.0 5	20.0 1	40.0 2	20.0 1	20.0 1	40.0 2	40.0 2	40.0 2	-	40.0 2

【市職員】

第 19 表 同和問題の解決をはかるために必要なこと

上段%、下段：実数

問7	サンプル数	同和地区の生活環境を改善・整備する	同和地区の人々の生活の向上をはかる	同和地区の人々自身が、自分の生活に責任を持つように努力する	同和地区の人々が、一力所にかたまつて住まないようにする	人権を積極的に行う	同和地区の人々が、一力所にかたまつて住まないようにする	真の民主主義の確立を目指す国民的運動を拡大・強化する	差別をしたり、差別を営利目的などに使う者を法律で処罰する	市民が自ら人権について学ぶ場を充実すること	差別的な書き込みを、そのまま受け入れないようにする	インターネット上などでの偏見や差別的な書き込みを、そのまま受け入れないようにする	その他	特にない・わからない
全体	100.0 208	18.3 38	20.7 43	15.4 32	59.1 123	7.7 16	8.7 18	29.8 62	40.4 84	48.6 101	10.1 21	1.9 4	9.1 19	
性別	男性	100.0 141	15.6 22	18.4 26	15.6 22	54.6 77	9.9 14	9.9 14	29.8 42	36.9 52	49.6 70	11.3 16	2.1 3	11.3 16
	女性	100.0 62	24.2 15	27.4 17	14.5 9	72.6 45	1.6 1	4.8 3	30.6 19	48.4 30	45.2 28	6.5 4	1.6 1	3.2 2
	その他・回答しない	100.0 5	20.0 1	-	20.0 1	20.0 1	20.0 1	20.0 1	20.0 1	40.0 2	60.0 3	20.0 1	-	20.0 1
年代別	30代未満	100.0 22	18.2 4	9.1 2	13.6 3	59.1 13	-	9.1 2	36.4 8	40.9 9	59.1 13	9.1 2	-	13.6 3
	30代	100.0 53	11.3 6	13.2 7	9.4 5	41.5 22	9.4 5	5.7 3	26.4 14	30.2 16	45.3 24	18.9 10	-	15.1 8
	40代	100.0 59	18.6 11	25.4 15	18.6 11	62.7 37	10.2 6	13.6 8	28.8 17	35.6 21	49.2 29	10.2 6	1.7 1	6.8 4
	50代以上	100.0 74	23.0 17	25.7 19	17.6 13	68.9 51	6.8 5	6.8 5	31.1 23	51.4 38	47.3 35	4.1 3	4.1 3	5.4 4
性・年代別	男性	100.0 141	15.6 22	18.4 26	15.6 22	54.6 77	9.9 14	9.9 14	29.8 42	36.9 52	49.6 70	11.3 16	2.1 3	11.3 16
	30代未満	100.0 14	14.3 2	7.1 1	7.1 1	57.1 8	-	7.1 1	35.7 5	28.6 4	64.3 9	7.1 1	-	21.4 3
	30代	100.0 35	8.6 3	8.6 3	8.6 3	34.3 12	11.4 4	2.9 1	25.7 9	22.9 8	45.7 16	22.9 8	-	17.1 6
	40代	100.0 37	18.9 7	24.3 9	24.3 9	59.5 22	13.5 5	21.6 8	29.7 11	35.1 13	48.6 18	13.5 5	-	8.1 3
	50代以上	100.0 55	18.2 10	23.6 13	16.4 9	63.6 35	9.1 5	7.3 4	30.9 17	49.1 27	49.1 27	3.6 2	5.5 3	7.3 4
	女性	100.0 62	24.2 15	27.4 17	14.5 9	72.6 45	1.6 1	4.8 3	30.6 19	48.4 30	45.2 28	6.5 4	1.6 1	3.2 2
	30代未満	100.0 8	25.0 2	12.5 1	25.0 2	62.5 5	-	12.5 1	37.5 3	62.5 5	50.0 4	12.5 1	-	-
	30代	100.0 16	12.5 2	25.0 4	6.3 1	56.3 9	-	6.3 1	25.0 4	43.8 7	43.8 7	6.3 1	-	12.5 2
	40代	100.0 20	20.0 4	30.0 6	10.0 2	75.0 15	5.0 1	-	30.0 6	40.0 8	50.0 10	5.0 1	5.0 1	-
	50代以上	100.0 18	38.9 7	33.3 6	22.2 4	88.9 16	-	5.6 1	33.3 6	55.6 10	38.9 7	5.6 1	-	-
その他・回答しない	100.0 5	20.0 1	-	20.0 1	20.0 1	20.0 1	20.0 1	20.0 1	40.0 2	60.0 3	20.0 1	-	20.0 1	

【市職員】

第 20 表 女性に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

上段%、下段：実数

5	問8	サンプル数	女性に関して現在どのような人権上の問題があると思うか										
			「男は仕事、女は家庭」等の男女の固定的な役割分担意識を押し付けること、または押し付けられること	格、職種等の差別を受けること	就職の機会が少ないことや、企業等に雇用されるとき、賃金、昇給、昇格、職種の差を受けられること	妊娠、出産を理由に不当な扱いを受けること（マタニティ・ハラースメント）	女性の社会進出のための支援制度が整っていないこと	職場や学校における性的嫌がらせ（セクシュアル・ハラースメント）	肉体的・精神的暴力（DV）	家庭内における夫や恋人などからの暴力	いわゆる「援助交際」を含む買春・売春	女性への性暴力	アダルトビデオ等への出演強要
	全体	100.0 208	59.1 123	42.8 89	63.5 132	30.3 63	49.5 103	44.7 93	30.8 64	43.8 91	21.6 45	1.9 4	7.7 16
性別	男性	100.0 141	55.3 78	41.1 58	62.4 88	26.2 37	48.9 69	39.7 56	29.1 41	40.4 57	20.6 29	2.1 3	9.2 13
	女性	100.0 62	67.7 42	46.8 29	66.1 41	38.7 24	51.6 32	56.5 35	30.6 19	51.6 32	22.6 14	1.6 1	3.2 2
	その他・回答しない	100.0 5	60.0 3	40.0 2	60.0 3	40.0 2	40.0 2	40.0 2	80.0 4	40.0 2	40.0 2	-	20.0 1
年代別	30代未満	100.0 22	54.5 12	36.4 8	59.1 13	31.8 7	40.9 9	27.3 6	27.3 6	31.8 7	4.5 1	4.5 1	9.1 2
	30代	100.0 53	54.7 29	30.2 16	62.3 33	20.8 11	54.7 29	35.8 19	28.3 15	47.2 25	24.5 13	1.9 1	7.5 4
	40代	100.0 59	62.7 37	33.9 20	64.4 38	28.8 17	54.2 32	54.2 32	28.8 17	39.0 23	22.0 13	1.7 1	10.2 6
	50代以上	100.0 74	60.8 45	60.8 45	64.9 48	37.8 28	44.6 33	48.6 36	35.1 26	48.6 36	24.3 18	1.4 1	5.4 4
性・年代別	男性	100.0 141	55.3 78	41.1 58	62.4 88	26.2 37	48.9 69	39.7 56	29.1 41	40.4 57	20.6 29	2.1 3	9.2 13
	30代未満	100.0 14	50.0 7	35.7 5	50.0 7	28.6 4	50.0 7	28.6 4	28.6 4	28.6 4	7.1 1	-	14.3 2
	30代	100.0 35	48.6 17	25.7 9	57.1 20	14.3 5	54.3 19	31.4 11	25.7 9	48.6 17	20.0 7	2.9 1	8.6 3
	40代	100.0 37	56.8 21	32.4 12	64.9 24	29.7 11	48.6 18	45.9 17	29.7 11	32.4 12	24.3 9	2.7 1	10.8 4
	50代以上	100.0 55	60.0 33	58.2 32	67.3 37	30.9 17	45.5 25	43.6 24	30.9 17	43.6 24	21.8 12	1.8 1	7.3 4
	女性	100.0 62	67.7 42	46.8 29	66.1 41	38.7 24	51.6 32	56.5 35	30.6 19	51.6 32	22.6 14	1.6 1	3.2 2
	30代未満	100.0 8	62.5 5	37.5 3	75.0 6	37.5 3	25.0 2	25.0 2	25.0 2	37.5 3	-	12.5 1	-
	30代	100.0 16	68.8 11	37.5 6	68.8 11	31.3 5	56.3 9	43.8 7	25.0 4	43.8 7	31.3 5	-	6.3 1
	40代	100.0 20	75.0 15	35.0 7	65.0 13	30.0 6	65.0 13	70.0 14	25.0 5	50.0 10	15.0 3	-	5.0 1
	50代以上	100.0 18	61.1 11	72.2 13	61.1 11	55.6 10	44.4 8	66.7 12	44.4 8	66.7 12	33.3 6	-	-
	その他・回答しない	100.0 5	60.0 3	40.0 2	60.0 3	40.0 2	40.0 2	40.0 2	80.0 4	40.0 2	40.0 2	-	20.0 1

【市職員】

第 21 表 女性の人権を守るために必要なこと

上段%、下段：実数

問9	サンプル数	男女雇用機会均等法などの啓発活動を行うこと	性別による固定的な役割分担意識の是正に努めること	様々な意思決定への女性の参画の促進を図ること	保育などの施設や制度を整え、男性も女性も安心して働けるようにすること	学校教育の場で女性の人権や男女共同参画についての教育を充実すること	セクシャル・ハラスメントやドメスティック・バイオレンスなどの防止に努めること	オレックスなどに対する相談体制の充実を図ること	性犯罪やドメスティック・バイオレンスなどに対する相談体制の取組みの強化を図ること	ストーカー等女性に対する犯罪の取組みの強化を図ること	男性も生活者（家事や育児を實踐する人）として自立できるよう啓発活動を行うこと	その他	特にない・わからない
全体	100.0 208	35.1 73	57.2 119	46.6 97	56.3 117	42.3 88	45.7 95	38.0 79	35.1 73	54.3 113	2.4 5	5.8 12	
性別	男性	100.0 141	36.2 51	58.2 82	46.8 66	53.9 76	37.6 53	45.4 64	38.3 54	34.0 48	46.1 65	3.5 5	7.1 10
	女性	100.0 62	33.9 21	56.5 35	45.2 28	61.3 38	53.2 33	48.4 30	37.1 23	38.7 24	71.0 44	-	1.6 1
	その他・回答しない	100.0 5	20.0 1	40.0 2	60.0 3	60.0 3	40.0 2	20.0 1	40.0 2	20.0 1	80.0 4	-	20.0 1
年代別	30代未満	100.0 22	54.5 12	40.9 9	36.4 8	54.5 12	36.4 8	40.9 9	36.4 8	27.3 6	50.0 11	-	9.1 2
	30代	100.0 53	26.4 14	52.8 28	35.8 19	60.4 32	35.8 19	43.4 23	35.8 19	32.1 17	52.8 28	1.9 1	5.7 3
	40代	100.0 59	28.8 17	54.2 32	45.8 27	61.0 36	49.2 29	54.2 32	45.8 27	37.3 22	66.1 39	1.7 1	6.8 4
	50代以上	100.0 74	40.5 30	67.6 50	58.1 43	50.0 37	43.2 32	41.9 31	33.8 25	37.8 28	47.3 35	4.1 3	4.1 3
性別・年代別	男性	100.0 141	36.2 51	58.2 82	46.8 66	53.9 76	37.6 53	45.4 64	38.3 54	34.0 48	46.1 65	3.5 5	7.1 10
	30代未満	100.0 14	50.0 7	35.7 5	35.7 5	57.1 8	35.7 5	42.9 6	42.9 6	28.6 4	42.9 6	-	14.3 2
	30代	100.0 35	22.9 8	51.4 18	31.4 11	51.4 18	31.4 11	45.7 16	37.1 13	31.4 11	40.0 14	2.9 1	5.7 2
	40代	100.0 37	37.8 14	54.1 20	40.5 15	64.9 24	45.9 17	51.4 19	45.9 17	35.1 13	59.5 22	2.7 1	8.1 3
	50代以上	100.0 55	40.0 22	70.9 39	63.6 35	47.3 26	36.4 20	41.8 23	32.7 18	36.4 20	41.8 23	5.5 3	5.5 3
	女性	100.0 62	33.9 21	56.5 35	45.2 28	61.3 38	53.2 33	48.4 30	37.1 23	38.7 24	71.0 44	-	1.6 1
	30代未満	100.0 8	62.5 5	50.0 4	37.5 3	50.0 4	37.5 3	37.5 3	25.0 2	25.0 2	62.5 5	-	-
	30代	100.0 16	31.3 5	56.3 9	37.5 6	81.3 13	37.5 6	37.5 6	31.3 5	31.3 5	75.0 12	-	6.3 1
	40代	100.0 20	15.0 3	60.0 12	55.0 11	55.0 11	60.0 12	65.0 13	45.0 9	45.0 9	80.0 16	-	-
	50代以上	100.0 18	44.4 8	55.6 10	44.4 8	55.6 10	66.7 12	44.4 8	38.9 7	44.4 8	61.1 11	-	-
	その他・回答しない	100.0 5	20.0 1	40.0 2	60.0 3	60.0 3	40.0 2	20.0 1	40.0 2	20.0 1	80.0 4	-	20.0 1

【市職員】

第 22 表 子どもに関して現在どのような人権上の問題があると思うか

上段%、下段：実数

問10	サンプル数	親が子どもに身体的・心理的な虐待を加えたり、子育てを放棄すること	子どもが子どもをいじめたり、暴力を振るったり、又は子どもがその様子を見過ごすこと	子どもが職業の選択などについて親が学校や就職先の考えを強制すること	子どもの様子をさぐるため、手紙やメールなどを勝手に見ること	ビデオ・インターネット・携帯電話等子どもを取り巻く情報のはんらん	学校や登下校時の不審者による子どもへの危害	教師による児童・生徒への体罰	児童買春・児童ポルノ等の対象になること	家庭の経済状況が理由で子どもの生活や進学、就職等に支障があること（子どもの貧困）	（ヤングケアラー）	世話を日常的に行っていること	本来、大人が担うような家事や家族の世話を日常的に行っていること	その他	特にない・わからない
全体	100.0 208	86.1 179	61.5 128	40.9 85	22.1 46	44.2 92	38.5 80	31.7 66	36.5 76	62.5 130	49.5 103	1.0 2	4.3 9		
性別	男性	100.0 141	83.7 118	55.3 78	39.0 55	22.0 31	40.4 57	35.5 50	28.4 40	34.8 49	61.0 86	44.7 63	1.4 2	3.5 5	
	女性	100.0 62	91.9 57	75.8 47	45.2 28	22.6 14	51.6 32	45.2 28	38.7 24	38.7 24	66.1 41	61.3 38	-	4.8 3	
	その他・回答しない	100.0 5	80.0 4	60.0 3	40.0 2	20.0 1	60.0 3	40.0 2	40.0 2	60.0 3	60.0 3	40.0 2	-	20.0 1	
年代別	30代未満	100.0 22	81.8 18	63.6 14	27.3 6	22.7 5	31.8 7	45.5 10	27.3 6	27.3 6	54.5 12	40.9 9	-	9.1 2	
	30代	100.0 53	84.9 45	58.5 31	58.5 31	26.4 14	43.4 23	43.4 23	30.2 16	32.1 17	52.8 28	49.1 26	1.9 1	3.8 2	
	40代	100.0 59	83.1 49	69.5 41	40.7 24	28.8 17	44.1 26	42.4 25	35.6 21	44.1 26	66.1 39	55.9 33	1.7 1	6.8 4	
	50代以上	100.0 74	90.5 67	56.8 42	32.4 24	13.5 10	48.6 36	29.7 22	31.1 23	36.5 27	68.9 51	47.3 35	-	1.4 1	
性・年代別	男性	100.0 141	83.7 118	55.3 78	39.0 55	22.0 31	40.4 57	35.5 50	28.4 40	34.8 49	61.0 86	44.7 63	1.4 2	3.5 5	
	30代未満	100.0 14	78.6 11	57.1 8	28.6 4	28.6 4	28.6 4	42.9 6	21.4 3	28.6 4	64.3 9	35.7 5	-	14.3 2	
	30代	100.0 35	82.9 29	51.4 18	54.3 19	22.9 8	34.3 12	42.9 15	22.9 8	25.7 9	48.6 17	42.9 15	2.9 1	2.9 1	
	40代	100.0 37	81.1 30	64.9 24	43.2 16	32.4 12	43.2 16	40.5 15	35.1 13	45.9 17	62.2 23	45.9 17	2.7 1	2.7 1	
	50代以上	100.0 55	87.3 48	50.9 28	29.1 16	12.7 7	45.5 25	25.5 14	29.1 16	34.5 19	67.3 37	47.3 26	-	1.8 1	
	女性	100.0 62	91.9 57	75.8 47	45.2 28	22.6 14	51.6 32	45.2 28	38.7 24	38.7 24	66.1 41	61.3 38	-	4.8 3	
	30代未満	100.0 8	87.5 7	75.0 6	25.0 2	12.5 1	37.5 3	50.0 4	37.5 3	25.0 2	37.5 3	50.0 4	-	-	
	30代	100.0 16	87.5 14	68.8 11	68.8 11	37.5 6	62.5 10	43.8 7	43.8 7	43.8 7	62.5 10	62.5 10	-	6.3 1	
	40代	100.0 20	90.0 18	80.0 16	35.0 7	20.0 4	45.0 9	45.0 9	35.0 7	40.0 8	75.0 15	75.0 15	-	10.0 2	
	50代以上	100.0 18	100.0 18	77.8 14	44.4 8	16.7 3	55.6 10	44.4 8	38.9 7	38.9 7	72.2 13	50.0 9	-	-	
その他・回答しない	100.0 5	80.0 4	60.0 3	40.0 2	20.0 1	60.0 3	40.0 2	40.0 2	60.0 3	60.0 3	40.0 2	-	20.0 1		

【市職員】

第 23 表 子どもの人権を守るために必要なこと

上段%、下段：実数

問11	サンプル数	地域・学校の高揚を図ること	子どもを対象とした相談、カウンセリング事業の充実	学校教育等での人権教育の充実に努めること	学校でのいじめ問題の防止の強化を図ること	マスコミ報道やゲームソフト・インターネット動画等の内容に配慮すること	薬物や性的な犯罪などから子どもを守ること	子どもに対する虐待の早期発見や予防策の充実に努めること	子ども自身の意思や行動を権利として尊重すること	その他	特にない・わからない	
全体	100.0 208	53.4 111	49.0 102	52.4 109	54.8 114	39.9 83	50.5 105	66.3 138	48.1 100	3.8 8	4.3 9	
性別	男性	100.0 141	52.5 74	46.1 65	45.4 64	53.9 76	29.8 42	50.4 71	66.7 94	44.0 62	3.5 5	4.3 6
	女性	100.0 62	54.8 34	56.5 35	69.4 43	58.1 36	62.9 39	51.6 32	67.7 42	59.7 37	1.6 1	3.2 2
	その他・回答しない	100.0 5	60.0 3	40.0 2	40.0 2	40.0 2	40.0 2	40.0 2	40.0 2	20.0 1	40.0 2	20.0 1
年代別	30代未満	100.0 22	40.9 9	59.1 13	54.5 12	63.6 14	50.0 11	54.5 12	63.6 14	50.0 11	- -	9.1 2
	30代	100.0 53	52.8 28	49.1 26	43.4 23	54.7 29	26.4 14	41.5 22	64.2 34	52.8 28	7.5 4	5.7 3
	40代	100.0 59	55.9 33	52.5 31	52.5 31	61.0 36	40.7 24	55.9 33	64.4 38	54.2 32	5.1 3	3.4 2
	50代以上	100.0 74	55.4 41	43.2 32	58.1 43	47.3 35	45.9 34	51.4 38	70.3 52	39.2 29	1.4 1	2.7 2
性・年代別	男性	100.0 141	52.5 74	46.1 65	45.4 64	53.9 76	29.8 42	50.4 71	66.7 94	44.0 62	3.5 5	4.3 6
	30代未満	100.0 14	42.9 6	42.9 6	50.0 7	64.3 9	35.7 5	57.1 8	64.3 9	42.9 6	- -	14.3 2
	30代	100.0 35	42.9 15	42.9 15	34.3 12	51.4 18	14.3 5	42.9 15	62.9 22	45.7 16	5.7 2	5.7 2
	40代	100.0 37	64.9 24	56.8 21	43.2 16	62.2 23	32.4 12	54.1 20	67.6 25	51.4 19	5.4 2	- -
	50代以上	100.0 55	52.7 29	41.8 23	52.7 29	47.3 26	36.4 20	50.9 28	69.1 38	38.2 21	1.8 1	3.6 2
	女性	100.0 62	54.8 34	56.5 35	69.4 43	58.1 36	62.9 39	51.6 32	67.7 42	59.7 37	1.6 1	3.2 2
	30代未満	100.0 8	37.5 3	87.5 7	62.5 5	62.5 5	75.0 6	50.0 4	62.5 5	62.5 5	- -	- -
	30代	100.0 16	68.8 11	62.5 10	62.5 10	56.3 9	50.0 8	37.5 6	68.8 11	68.8 11	6.3 1	6.3 1
	40代	100.0 20	45.0 9	45.0 9	75.0 15	65.0 13	60.0 12	65.0 13	65.0 13	65.0 13	- -	5.0 1
	50代以上	100.0 18	61.1 11	50.0 9	72.2 13	50.0 9	72.2 13	50.0 9	72.2 13	44.4 8	- -	- -
	その他・回答しない	100.0 5	60.0 3	40.0 2	40.0 2	40.0 2	40.0 2	40.0 2	40.0 2	20.0 1	40.0 2	20.0 1

【市職員】

第 24 表 高齢者に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

上段%、下段：実数

問12	サンプル数	介護を必要とする高齢者の割合が十分でないこと	介護を必要とする高齢者の割合が十分でないこと	介護を必要とする高齢者の割合が十分でないこと	介護を必要とする高齢者の割合が十分でないこと	介護を必要とする高齢者の割合が十分でないこと	介護を必要とする高齢者の割合が十分でないこと	介護を必要とする高齢者の割合が十分でないこと	介護を必要とする高齢者の割合が十分でないこと	介護を必要とする高齢者の割合が十分でないこと	介護を必要とする高齢者の割合が十分でないこと
全体	100.0 208	53.8 112	31.7 66	69.7 145	37.0 77	32.2 67	50.0 104	43.3 90	1.0 2	5.8 12	
性別	男性	100.0 141	50.4 71	29.8 42	70.2 99	35.5 50	27.7 39	45.4 64	41.1 58	0.7 1	6.4 9
	女性	100.0 62	62.9 39	32.3 20	71.0 44	41.9 26	41.9 26	61.3 38	46.8 29	1.6 1	3.2 2
	その他・回答しない	100.0 5	40.0 2	80.0 4	40.0 2	20.0 1	40.0 2	40.0 2	60.0 3	-	20.0 1
年代別	30代未満	100.0 22	72.7 16	36.4 8	68.2 15	54.5 12	9.1 2	36.4 8	40.9 9	-	9.1 2
	30代	100.0 53	56.6 30	32.1 17	64.2 34	28.3 15	28.3 15	43.4 23	41.5 22	1.9 1	5.7 3
	40代	100.0 59	44.1 26	27.1 16	71.2 42	39.0 23	39.0 23	57.6 34	42.4 25	-	6.8 4
	50代以上	100.0 74	54.1 40	33.8 25	73.0 54	36.5 27	36.5 27	52.7 39	45.9 34	1.4 1	4.1 3
性・年代別	男性	100.0 141	50.4 71	29.8 42	70.2 99	35.5 50	27.7 39	45.4 64	41.1 58	0.7 1	6.4 9
	30代未満	100.0 14	78.6 11	21.4 3	71.4 10	57.1 8	14.3 2	50.0 7	35.7 5	-	14.3 2
	30代	100.0 35	51.4 18	25.7 9	60.0 21	28.6 10	22.9 8	37.1 13	37.1 13	-	5.7 2
	40代	100.0 37	45.9 17	32.4 12	70.3 26	40.5 15	35.1 13	48.6 18	43.2 16	-	5.4 2
	50代以上	100.0 55	45.5 25	32.7 18	76.4 42	30.9 17	29.1 16	47.3 26	43.6 24	1.8 1	5.5 3
	女性	100.0 62	62.9 39	32.3 20	71.0 44	41.9 26	41.9 26	61.3 38	46.8 29	1.6 1	3.2 2
	30代未満	100.0 8	62.5 5	62.5 5	62.5 5	50.0 4	-	12.5 1	50.0 4	-	-
	30代	100.0 16	75.0 12	37.5 6	75.0 12	31.3 5	43.8 7	56.3 9	50.0 8	6.3 1	6.3 1
	40代	100.0 20	40.0 8	15.0 3	75.0 15	35.0 7	45.0 9	75.0 15	40.0 8	-	5.0 1
	50代以上	100.0 18	77.8 14	33.3 6	66.7 12	55.6 10	55.6 10	72.2 13	50.0 9	-	-
その他・回答しない	100.0 5	40.0 2	80.0 4	40.0 2	20.0 1	40.0 2	40.0 2	60.0 3	-	20.0 1	

【市職員】

第 25 表 高齢者の人権を守るために必要なこと

上段%、下段：実数

問13	サンプル数	生きがいを持つて生活できる環境づくりを努めること	保健、医療、福祉のサービスや利用施設を充実させること	建物や公共機関のバリアフリーを進めること	高齢者のための相談・支援体制の充実を図ること	学校での高齢者の人権教育の充実を図ること	世代間交流事業の推進を図ること	その他	特にない・わからない	
全体	100.0 208	63.9 133	53.8 112	37.0 77	56.7 118	28.4 59	39.4 82	3.4 7	8.2 17	
性別	男性	100.0 141	64.5 91	50.4 71	36.2 51	53.2 75	27.0 38	37.6 53	4.3 6	9.2 13
	女性	100.0 62	64.5 40	64.5 40	41.9 26	67.7 42	29.0 18	41.9 26	-	4.8 3
	その他・回答しない	100.0 5	40.0 2	20.0 1	-	20.0 1	60.0 3	60.0 3	20.0 1	20.0 1
年代別	30代未満	100.0 22	54.5 12	68.2 15	59.1 13	63.6 14	22.7 5	31.8 7	-	9.1 2
	30代	100.0 53	64.2 34	43.4 23	32.1 17	54.7 29	22.6 12	37.7 20	3.8 2	9.4 5
	40代	100.0 59	69.5 41	54.2 32	37.3 22	59.3 35	32.2 19	44.1 26	3.4 2	10.2 6
	50代以上	100.0 74	62.2 46	56.8 42	33.8 25	54.1 40	31.1 23	39.2 29	4.1 3	5.4 4
性・年代別	男性	100.0 141	64.5 91	50.4 71	36.2 51	53.2 75	27.0 38	37.6 53	4.3 6	9.2 13
	30代未満	100.0 14	50.0 7	64.3 9	57.1 8	64.3 9	28.6 4	50.0 7	-	14.3 2
	30代	100.0 35	62.9 22	40.0 14	34.3 12	42.9 15	17.1 6	25.7 9	5.7 2	11.4 4
	40代	100.0 37	70.3 26	56.8 21	37.8 14	62.2 23	32.4 12	48.6 18	2.7 1	8.1 3
	50代以上	100.0 55	65.5 36	49.1 27	30.9 17	50.9 28	29.1 16	34.5 19	5.5 3	7.3 4
	女性	100.0 62	64.5 40	64.5 40	41.9 26	67.7 42	29.0 18	41.9 26	-	4.8 3
	30代未満	100.0 8	62.5 5	75.0 6	62.5 5	62.5 5	12.5 1	-	-	-
	30代	100.0 16	68.8 11	56.3 9	31.3 5	81.3 13	25.0 4	56.3 9	-	6.3 1
	40代	100.0 20	70.0 14	55.0 11	40.0 8	60.0 12	35.0 7	35.0 7	-	10.0 2
	50代以上	100.0 18	55.6 10	77.8 14	44.4 8	66.7 12	33.3 6	55.6 10	-	-
	その他・回答しない	100.0 5	40.0 2	20.0 1	-	20.0 1	60.0 3	60.0 3	20.0 1	20.0 1

【市職員】

第 26 表 障がいのある人に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

上段%、下段：実数

問14	サンプル数	人権上の配慮に欠けた差別的な言動をされること	金などの労働条件で不利に扱われたりすること	就職が困難であったり、賃金などの労働条件で不利に扱われたりすること	道路の段差やエレベーターの未設置など、利用に支障があること	精神的な虐待を受けること	障がいや理由に、意見や行動が尊重されないこと	災害など危急の場で情報を伝える体制が十分でないこと	スポーツや文化活動・地域活動に気軽に参加できないこと	その他	特にない・わからない
全体	100.0 208	66.3 138	67.8 141	53.8 112	39.4 82	48.6 101	39.9 83	27.4 57	0.5 1	6.7 14	
性別	男性	100.0 141	60.3 85	62.4 88	53.2 75	36.9 52	41.8 59	34.8 49	28.4 40	-	7.8 11
	女性	100.0 62	80.6 50	82.3 51	56.5 35	46.8 29	62.9 39	50.0 31	25.8 16	1.6 1	3.2 2
	その他・回答しない	100.0 5	60.0 3	40.0 2	40.0 2	20.0 1	60.0 3	60.0 3	20.0 1	-	20.0 1
年代別	30代未満	100.0 22	77.3 17	50.0 11	54.5 12	27.3 6	36.4 8	31.8 7	22.7 5	-	9.1 2
	30代	100.0 53	66.0 35	62.3 33	49.1 26	39.6 21	50.9 27	41.5 22	32.1 17	1.9 1	7.5 4
	40代	100.0 59	67.8 40	69.5 41	54.2 32	44.1 26	57.6 34	45.8 27	25.4 15	-	8.5 5
	50代以上	100.0 74	62.2 46	75.7 56	56.8 42	39.2 29	43.2 32	36.5 27	27.0 20	-	4.1 3
性・年代別	男性	100.0 141	60.3 85	62.4 88	53.2 75	36.9 52	41.8 59	34.8 49	28.4 40	-	7.8 11
	30代未満	100.0 14	78.6 11	50.0 7	57.1 8	35.7 5	50.0 7	35.7 5	28.6 4	-	14.3 2
	30代	100.0 35	57.1 20	57.1 20	45.7 16	37.1 13	42.9 15	31.4 11	31.4 11	-	8.6 3
	40代	100.0 37	59.5 22	64.9 24	56.8 21	43.2 16	56.8 21	40.5 15	29.7 11	-	8.1 3
	50代以上	100.0 55	58.2 32	67.3 37	54.5 30	32.7 18	29.1 16	32.7 18	25.5 14	-	5.5 3
	女性	100.0 62	80.6 50	82.3 51	56.5 35	46.8 29	62.9 39	50.0 31	25.8 16	1.6 1	3.2 2
	30代未満	100.0 8	75.0 6	50.0 4	50.0 4	12.5 1	12.5 1	25.0 2	12.5 1	-	-
	30代	100.0 16	81.3 13	81.3 13	62.5 10	43.8 7	62.5 10	56.3 9	31.3 5	6.3 1	6.3 1
	40代	100.0 20	85.0 17	80.0 16	50.0 10	50.0 10	60.0 12	55.0 11	20.0 4	-	5.0 1
	50代以上	100.0 18	77.8 14	100.0 18	61.1 11	61.1 11	88.9 16	50.0 9	33.3 6	-	-
	その他・回答しない	100.0 5	60.0 3	40.0 2	40.0 2	20.0 1	60.0 3	60.0 3	20.0 1	-	20.0 1

【市職員】

第 27 表 障がいのある人の人権を守るために必要なこと

上段%、下段：実数

問15	サンプル数	こ と	保 健、 医 療、 福 祉 の サ ー ビ ス と 充 実 さ せ る	と の 確 保、 賃 金 な ど の 安 定 さ せ る	就 業 機 会 の 確 保、 賃 金 な ど の 安 定 さ せ る	地 域 づ く り に 努 め る こ と	深 め、 お 互 い が 尊 重 さ れ る こ と	障 が い の あ る 人 と の 交 流 を 進 め る こ と	建 物 や 公 共 機 関 の バ リ ア フ リ を 進 め る こ と	障 が い の あ る 人 の 人 権 を 守 る た め の 啓 発 活 動 を 推 進 す る こ と	や に 対 し て 理 解 を 深 め る こ と	幼 少 期 か ら 障 が い の あ る 人 に 対 し て 理 解 を 深 め る こ と	こ と の 充 実 を 図 る	障 が い の あ る 人 の た め の 相 談 ・ 支 援 体 制 の 充 実 を 図 る	そ の 他	特 に な い ・ わ か ら な い
全体	100.0 208	53.8 112	59.6 124	50.5 105	50.0 104	43.8 91	56.3 117	50.0 104	0.5 1	7.2 15						
性別	男性	100.0 141	47.5 67	56.7 80	48.2 68	49.6 70	41.1 58	51.8 73	48.2 68	0.7 1	8.5 12					
	女性	100.0 62	71.0 44	69.4 43	54.8 34	53.2 33	51.6 32	67.7 42	53.2 33	-	3.2 2					
	その他・回答しない	100.0 5	20.0 1	20.0 1	60.0 3	20.0 1	20.0 1	40.0 2	60.0 3	-	20.0 1					
年代別	30代未満	100.0 22	68.2 15	36.4 8	45.5 10	54.5 12	45.5 10	54.5 12	50.0 11	-	9.1 2					
	30代	100.0 53	50.9 27	50.9 27	43.4 23	50.9 27	43.4 23	50.9 27	54.7 29	-	9.4 5					
	40代	100.0 59	52.5 31	72.9 43	59.3 35	47.5 28	44.1 26	55.9 33	50.8 30	-	8.5 5					
	50代以上	100.0 74	52.7 39	62.2 46	50.0 37	50.0 37	43.2 32	60.8 45	45.9 34	1.4 1	4.1 3					
性・年代別	男性	100.0 141	47.5 67	56.7 80	48.2 68	49.6 70	41.1 58	51.8 73	48.2 68	0.7 1	8.5 12					
	30代未満	100.0 14	50.0 7	35.7 5	57.1 8	57.1 8	42.9 6	64.3 9	57.1 8	-	14.3 2					
	30代	100.0 35	42.9 15	48.6 17	31.4 11	48.6 17	31.4 11	42.9 15	48.6 17	-	11.4 4					
	40代	100.0 37	54.1 20	67.6 25	62.2 23	51.4 19	45.9 17	45.9 17	54.1 20	-	8.1 3					
	50代以上	100.0 55	45.5 25	60.0 33	47.3 26	47.3 26	43.6 24	58.2 32	41.8 23	1.8 1	5.5 3					
	女性	100.0 62	71.0 44	69.4 43	54.8 34	53.2 33	51.6 32	67.7 42	53.2 33	-	3.2 2					
	30代未満	100.0 8	100.0 8	37.5 3	25.0 2	50.0 4	50.0 4	37.5 3	37.5 3	-	-					
	30代	100.0 16	68.8 11	62.5 10	68.8 11	62.5 10	68.8 11	68.8 11	62.5 10	-	6.3 1					
	40代	100.0 20	55.0 11	85.0 17	55.0 11	40.0 8	45.0 9	80.0 16	45.0 9	-	5.0 1					
	50代以上	100.0 18	77.8 14	72.2 13	55.6 10	61.1 11	44.4 8	66.7 12	61.1 11	-	-					
	その他・回答しない	100.0 5	20.0 1	20.0 1	60.0 3	20.0 1	20.0 1	40.0 2	60.0 3	-	20.0 1					

【市職員】

第 28 表 外国人や外国にルーツのある人に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

上段%、下段：実数

問16	サンプル数	た め、 差 別 的 な 言 動 を さ れ る こ と (ヘ イ ト ス ピ ー チ)	特 定 の 民 族 や 国 籍 で あ る が	扱 い を 受 け る こ と	就 職 が 困 難 で あ つ た り、 賃 金 な ど の 労 働 条 件 で 不 利 な	こ と を 周 圍 か ら 反 対 さ れ る	結 婚 を 周 圍 か ら 反 対 さ れ る	年 金 な ど 社 会 保 障 制 度 で 不 利 な 扱 い を 受 け る こ と	け な か つ た り サ ー ビ ス が 受 け 取 れ な い こ と	病 院 等 に 十 分 な 外 国 語 表 記	ア パ ー ト 等 の 入 居 を 断 ら れ る こ と	店 舗 等 へ の 入 店 や 施 設 利 用 を 拒 否 さ れ る こ と	そ の 他	特 に な い ・ わ か ら な い
全体	100.0 208	62.0 129	54.3 113	28.8 60	24.5 51	41.8 87	34.6 72	14.9 31	1.9 4	9.6 20				
性別	男性	100.0 141	60.3 85	48.2 68	31.2 44	23.4 33	39.7 56	31.2 44	15.6 22	2.8 4	11.3 16			
	女性	100.0 62	66.1 41	69.4 43	22.6 14	25.8 16	50.0 31	40.3 25	14.5 9	- -	4.8 3			
	その他・回答しない	100.0 5	60.0 3	40.0 2	40.0 2	40.0 2	- -	60.0 3	- -	- -	20.0 1			
年代別	30代未満	100.0 22	63.6 14	54.5 12	36.4 8	27.3 6	54.5 12	27.3 6	13.6 3	- -	9.1 2			
	30代	100.0 53	60.4 32	54.7 29	37.7 20	22.6 12	37.7 20	32.1 17	15.1 8	1.9 1	3.8 2			
	40代	100.0 59	62.7 37	52.5 31	25.4 15	27.1 16	49.2 29	40.7 24	15.3 9	1.7 1	15.3 9			
	50代以上	100.0 74	62.2 46	55.4 41	23.0 17	23.0 17	35.1 26	33.8 25	14.9 11	2.7 2	9.5 7			
性・年代別	男性	100.0 141	60.3 85	48.2 68	31.2 44	23.4 33	39.7 56	31.2 44	15.6 22	2.8 4	11.3 16			
	30代未満	100.0 14	71.4 10	57.1 8	50.0 7	35.7 5	57.1 8	35.7 5	21.4 3	- -	14.3 2			
	30代	100.0 35	54.3 19	40.0 14	34.3 12	17.1 6	34.3 12	25.7 9	14.3 5	2.9 1	2.9 1			
	40代	100.0 37	56.8 21	54.1 20	29.7 11	29.7 11	48.6 18	37.8 14	21.6 8	2.7 1	16.2 6			
	50代以上	100.0 55	63.6 35	47.3 26	25.5 14	20.0 11	32.7 18	29.1 16	10.9 6	3.6 2	12.7 7			
	女性	100.0 62	66.1 41	69.4 43	22.6 14	25.8 16	50.0 31	40.3 25	14.5 9	- -	4.8 3			
	30代未満	100.0 8	50.0 4	50.0 4	12.5 1	12.5 1	50.0 4	12.5 1	- -	- -	- -			
	30代	100.0 16	75.0 12	87.5 14	43.8 7	31.3 5	50.0 8	37.5 6	18.8 3	- -	6.3 1			
	40代	100.0 20	75.0 15	50.0 10	15.0 3	20.0 4	55.0 11	45.0 9	5.0 1	- -	10.0 2			
	50代以上	100.0 18	55.6 10	83.3 15	16.7 3	33.3 6	44.4 8	50.0 9	27.8 5	- -	- -			
その他・回答しない	100.0 5	60.0 3	40.0 2	40.0 2	40.0 2	- -	60.0 3	- -	- -	20.0 1				

【市職員】

第 29 表 外国人や外国にルーツのある人の人権を守るために必要なこと

上段%、下段：実数

問17	サンプル数	外国人の人権を守るための啓発活動を推進すること	就職の機会・賃金・労働条件の平等を確保すること	外国人と日本人の相互理解を促進するための交流イベントを行うこと	外国人の組織的犯罪の取締りの強化を図ること	日常生活に必要な情報や案内を多言語化して充実を図ること	学校教育、生涯学習における人権教育や国際理解教育を充実すること	インターネット上などでの偏見や差別的な書き込みをする、そのまますけ入れないようにする	その他	特にない・わからない	
全体	100.0 208	42.3 88	48.6 101	39.9 83	27.9 58	51.4 107	53.4 111	41.3 86	1.4 3	8.7 18	
性別	男性	100.0 141	42.6 60	42.6 60	38.3 54	24.8 35	47.5 67	46.8 66	41.8 59	2.1 3	11.3 16
	女性	100.0 62	45.2 28	62.9 39	41.9 26	33.9 21	62.9 39	67.7 42	41.9 26	-	1.6 1
	その他・回答しない	100.0 5	-	40.0 2	60.0 3	40.0 2	20.0 1	60.0 3	20.0 1	-	20.0 1
年代別	30代未満	100.0 22	63.6 14	45.5 10	36.4 8	22.7 5	54.5 12	45.5 10	50.0 11	-	9.1 2
	30代	100.0 53	28.3 15	39.6 21	49.1 26	32.1 17	41.5 22	52.8 28	35.8 19	1.9 1	5.7 3
	40代	100.0 59	40.7 24	52.5 31	39.0 23	25.4 15	57.6 34	50.8 30	44.1 26	-	11.9 7
	50代以上	100.0 74	47.3 35	52.7 39	35.1 26	28.4 21	52.7 39	58.1 43	40.5 30	2.7 2	8.1 6
性・年代別	男性	100.0 141	42.6 60	42.6 60	38.3 54	24.8 35	47.5 67	46.8 66	41.8 59	2.1 3	11.3 16
	30代未満	100.0 14	57.1 8	50.0 7	50.0 7	28.6 4	57.1 8	50.0 7	57.1 8	-	14.3 2
	30代	100.0 35	14.3 5	31.4 11	42.9 15	31.4 11	34.3 12	48.6 17	37.1 13	2.9 1	5.7 2
	40代	100.0 37	45.9 17	48.6 18	45.9 17	21.6 8	56.8 21	37.8 14	43.2 16	-	16.2 6
	50代以上	100.0 55	54.5 30	43.6 24	27.3 15	21.8 12	47.3 26	50.9 28	40.0 22	3.6 2	10.9 6
	女性	100.0 62	45.2 28	62.9 39	41.9 26	33.9 21	62.9 39	67.7 42	41.9 26	-	1.6 1
	30代未満	100.0 8	75.0 6	37.5 3	12.5 1	12.5 1	50.0 4	37.5 3	37.5 3	-	-
	30代	100.0 16	62.5 10	56.3 9	56.3 9	31.3 5	56.3 9	56.3 9	37.5 6	-	6.3 1
	40代	100.0 20	35.0 7	60.0 12	30.0 6	35.0 7	65.0 13	80.0 16	45.0 9	-	-
	50代以上	100.0 18	27.8 5	83.3 15	55.6 10	44.4 8	72.2 13	77.8 14	44.4 8	-	-
	その他・回答しない	100.0 5	-	40.0 2	60.0 3	40.0 2	20.0 1	60.0 3	20.0 1	-	20.0 1

【市職員】

第 30 表 HIV感染者、エイズ患者に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

上段%、下段：実数

問18	サンプル数	感染者や患者が病院での治療や入院を断られること	結婚を断られたり、離婚を迫られること	無断で他人に伝えられること	感染していることを本人に伝えること	本人に無断でエイズ検査をすること	感染していると分かっただけで、退職や退学に追い込まれること	感染者や患者が特別な目で見られること	その他	特にない・わからない
全体	100.0 208	32.7 68	31.7 66	45.2 94	20.7 43	33.7 70	61.1 127	0.5 1	24.0 50	
性別	男性	100.0 141	27.7 39	29.8 42	44.0 62	18.4 26	29.8 42	57.4 81	0.7 1	27.0 38
	女性	100.0 62	45.2 28	35.5 22	48.4 30	25.8 16	43.5 27	69.4 43	- -	16.1 10
	その他・回答しない	100.0 5	20.0 1	40.0 2	40.0 2	20.0 1	20.0 1	60.0 3	- -	40.0 2
年代別	30代未満	100.0 22	45.5 10	50.0 11	40.9 9	22.7 5	27.3 6	68.2 15	- -	18.2 4
	30代	100.0 53	32.1 17	32.1 17	47.2 25	22.6 12	32.1 17	50.9 27	- -	26.4 14
	40代	100.0 59	30.5 18	33.9 20	45.8 27	22.0 13	33.9 20	69.5 41	1.7 1	18.6 11
	50代以上	100.0 74	31.1 23	24.3 18	44.6 33	17.6 13	36.5 27	59.5 44	- -	28.4 21
性・年代別	男性	100.0 141	27.7 39	29.8 42	44.0 62	18.4 26	29.8 42	57.4 81	0.7 1	27.0 38
	30代未満	100.0 14	50.0 7	42.9 6	42.9 6	21.4 3	42.9 6	78.6 11	- -	14.3 2
	30代	100.0 35	22.9 8	25.7 9	40.0 14	14.3 5	22.9 8	42.9 15	- -	28.6 10
	40代	100.0 37	29.7 11	37.8 14	48.6 18	27.0 10	32.4 12	64.9 24	2.7 1	18.9 7
	50代以上	100.0 55	23.6 13	23.6 13	43.6 24	14.5 8	29.1 16	56.4 31	- -	34.5 19
	女性	100.0 62	45.2 28	35.5 22	48.4 30	25.8 16	43.5 27	69.4 43	- -	16.1 10
	30代未満	100.0 8	37.5 3	62.5 5	37.5 3	25.0 2	- -	50.0 4	- -	25.0 2
	30代	100.0 16	56.3 9	43.8 7	62.5 10	43.8 7	56.3 9	68.8 11	- -	18.8 3
	40代	100.0 20	30.0 6	25.0 5	40.0 8	10.0 2	35.0 7	80.0 16	- -	15.0 3
	50代以上	100.0 18	55.6 10	27.8 5	50.0 9	27.8 5	61.1 11	66.7 12	- -	11.1 2
	その他・回答しない	100.0 5	20.0 1	40.0 2	40.0 2	20.0 1	20.0 1	60.0 3	- -	40.0 2

【市職員】

第 31 表 ハンセン病患者・元患者や家族等に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

上段%、下段：実数

問19	サンプル数	地域社会での正しい知識と理解が十分でないこと	立身した生活の営むのが困難	ハンセン病療養所以外で自己居が困難なこと	アパートなどの住居への入居が困難なこと	差別的言動を受けること	ホテル等で宿泊を拒否されること	就職や職場で不利な扱いを受けること	結婚を周囲から反対されること	その他	特にない・わからない
全体	100.0 208	66.3 138	30.3 63	21.6 45	45.2 94	22.1 46	32.2 67	28.8 60	-	22.6 47	
性別	男性	100.0 141	64.5 91	27.0 38	21.3 30	42.6 60	22.0 31	31.9 45	31.9 45	-	25.5 36
	女性	100.0 62	72.6 45	38.7 24	24.2 15	51.6 32	24.2 15	32.3 20	24.2 15	-	12.9 8
	その他・回答しない	100.0 5	40.0 2	20.0 1	-	40.0 2	-	40.0 2	-	-	60.0 3
年代別	30代未満	100.0 22	81.8 18	40.9 9	18.2 4	50.0 11	18.2 4	31.8 7	31.8 7	-	13.6 3
	30代	100.0 53	52.8 28	22.6 12	13.2 7	45.3 24	18.9 10	32.1 17	28.3 15	-	28.3 15
	40代	100.0 59	71.2 42	30.5 18	22.0 13	45.8 27	23.7 14	32.2 19	25.4 15	-	18.6 11
	50代以上	100.0 74	67.6 50	32.4 24	28.4 21	43.2 32	24.3 18	32.4 24	31.1 23	-	24.3 18
性・年代別	男性	100.0 141	64.5 91	27.0 38	21.3 30	42.6 60	22.0 31	31.9 45	31.9 45	-	25.5 36
	30代未満	100.0 14	85.7 12	35.7 5	21.4 3	57.1 8	28.6 4	42.9 6	42.9 6	-	14.3 2
	30代	100.0 35	51.4 18	17.1 6	11.4 4	37.1 13	17.1 6	25.7 9	22.9 8	-	31.4 11
	40代	100.0 37	73.0 27	32.4 12	29.7 11	48.6 18	24.3 9	37.8 14	35.1 13	-	21.6 8
	50代以上	100.0 55	61.8 34	27.3 15	21.8 12	38.2 21	21.8 12	29.1 16	32.7 18	-	27.3 15
	女性	100.0 62	72.6 45	38.7 24	24.2 15	51.6 32	24.2 15	32.3 20	24.2 15	-	12.9 8
	30代未満	100.0 8	75.0 6	50.0 4	12.5 1	37.5 3	-	12.5 1	12.5 1	-	12.5 1
	30代	100.0 16	56.3 9	37.5 6	18.8 3	62.5 10	25.0 4	43.8 7	43.8 7	-	18.8 3
	40代	100.0 20	70.0 14	25.0 5	10.0 2	40.0 8	25.0 5	20.0 4	10.0 2	-	10.0 2
	50代以上	100.0 18	88.9 16	50.0 9	50.0 9	61.1 11	33.3 6	44.4 8	27.8 5	-	11.1 2
	その他・回答しない	100.0 5	40.0 2	20.0 1	-	40.0 2	-	40.0 2	-	-	60.0 3

【市職員】

第 32 表 犯罪被害者やその家族に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

上段％、下段：実数

問20	サンプル数	受け、経済的負担など長期・精神的に被害を	犯罪行為によって身体的・精神的に被害を受けること	捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること	刑事裁判手続きにおいて必ずしも被害者の声が十分反映されるわけではないこと	事件に関して周囲にうわさ話をされること	被害者やその家族を支援する方が十分に周知されていないこと	より私生活の平穩が保てなくなることで取材に	マスメディアなどの報道によつてプライバシーに関することが公表されたり、取材に	不快な書き込みをされること	ソーシャルメディア（SNS）等で悪質・	その他	特にない・わからない
全体	100.0 208	76.0 158	50.0 104	43.8 91	56.7 118	46.2 96	69.2 144	63.5 132	1.0 2	7.7 16			
性別	男性	100.0 141	73.8 104	48.2 68	42.6 60	54.6 77	44.0 62	66.0 93	63.8 90	1.4 2	8.5 12		
	女性	100.0 62	80.6 50	54.8 34	50.0 31	62.9 39	53.2 33	75.8 47	62.9 39	- -	4.8 3		
	その他・回答しない	100.0 5	80.0 4	40.0 2	- -	40.0 2	20.0 1	80.0 4	60.0 3	- -	20.0 1		
年代別	30代未満	100.0 22	86.4 19	45.5 10	31.8 7	68.2 15	36.4 8	59.1 13	54.5 12	- -	9.1 2		
	30代	100.0 53	77.4 41	50.9 27	41.5 22	54.7 29	43.4 23	69.8 37	64.2 34	- -	7.5 4		
	40代	100.0 59	74.6 44	39.0 23	42.4 25	52.5 31	47.5 28	66.1 39	57.6 34	1.7 1	10.2 6		
	50代以上	100.0 74	73.0 54	59.5 44	50.0 37	58.1 43	50.0 37	74.3 55	70.3 52	1.4 1	5.4 4		
性・年代別	男性	100.0 141	73.8 104	48.2 68	42.6 60	54.6 77	44.0 62	66.0 93	63.8 90	1.4 2	8.5 12		
	30代未満	100.0 14	78.6 11	35.7 5	21.4 3	57.1 8	35.7 5	64.3 9	57.1 8	- -	14.3 2		
	30代	100.0 35	71.4 25	42.9 15	37.1 13	45.7 16	42.9 15	62.9 22	62.9 22	- -	8.6 3		
	40代	100.0 37	75.7 28	40.5 15	45.9 17	54.1 20	40.5 15	62.2 23	54.1 20	2.7 1	10.8 4		
	50代以上	100.0 55	72.7 40	60.0 33	49.1 27	60.0 33	49.1 27	70.9 39	72.7 40	1.8 1	5.5 3		
	女性	100.0 62	80.6 50	54.8 34	50.0 31	62.9 39	53.2 33	75.8 47	62.9 39	- -	4.8 3		
	30代未満	100.0 8	100.0 8	62.5 5	50.0 4	87.5 7	37.5 3	50.0 4	50.0 4	- -	- -		
	30代	100.0 16	87.5 14	68.8 11	56.3 9	68.8 11	50.0 8	81.3 13	68.8 11	- -	6.3 1		
	40代	100.0 20	75.0 15	40.0 8	40.0 8	55.0 11	60.0 12	75.0 15	65.0 13	- -	5.0 1		
	50代以上	100.0 18	72.2 13	55.6 10	55.6 10	55.6 10	55.6 10	83.3 15	61.1 11	- -	5.6 1		
	その他・回答しない	100.0 5	80.0 4	40.0 2	- -	40.0 2	20.0 1	80.0 4	60.0 3	- -	20.0 1		

【市職員】

第 33 表 インターネットに關することからで、人権が特に尊重されていない、または侵害されていると思うこと

上段%、下段：実数

問21	サンプル数	他人を誹謗・中傷する表現を掲載していること	差別を助長する表現や内容を掲載していること	同和地区の地名や動画などを掲載していること	ソーシャルメディア（ＳＮＳ）等で悪質・不快な書き込みをされること	出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること	捜査の対象になっている未成年者の実名や顔写真を掲載していること	わいせつな画像や残虐な画像を掲載していること	個人情報流出などの問題が多く発生していること	悪徳商法の取引の場となっていること	その他	特にない・わからない		
全体	100.0 208	86.1 179	60.6 126	37.5 78	67.8 141	31.7 66	31.3 65	34.6 72	54.3 113	32.7 68	1.4 3	4.8 10		
性別	男性	100.0 141	83.7 118	61.7 87	37.6 53	66.0 93	32.6 46	27.0 38	29.8 42	51.8 73	31.9 45	1.4 2	5.0 7	
	女性	100.0 62	93.5 58	59.7 37	35.5 22	72.6 45	27.4 17	40.3 25	43.5 27	58.1 36	33.9 21	1.6 1	3.2 2	
	その他・回答しない	100.0 5	60.0 3	40.0 2	60.0 3	60.0 3	60.0 3	40.0 2	60.0 3	80.0 4	40.0 2	-	20.0 1	
年代別	30代未満	100.0 22	86.4 19	68.2 15	36.4 8	77.3 17	31.8 7	36.4 8	18.2 4	50.0 11	31.8 7	4.5 1	9.1 2	
	30代	100.0 53	79.2 42	58.5 31	26.4 14	58.5 31	26.4 14	35.8 19	43.4 23	52.8 28	34.0 18	-	3.8 2	
	40代	100.0 59	81.4 48	62.7 37	42.4 25	66.1 39	30.5 18	32.2 19	35.6 21	45.8 27	30.5 18	1.7 1	6.8 4	
	50代以上	100.0 74	94.6 70	58.1 43	41.9 31	73.0 54	36.5 27	25.7 19	32.4 24	63.5 47	33.8 25	1.4 1	2.7 2	
性・年代別	男性	100.0 141	83.7 118	61.7 87	37.6 53	66.0 93	32.6 46	27.0 38	29.8 42	51.8 73	31.9 45	1.4 2	5.0 7	
	30代未満	100.0 14	85.7 12	57.1 8	42.9 6	78.6 11	35.7 5	35.7 5	21.4 3	50.0 7	28.6 4	-	14.3 2	
	30代	100.0 35	74.3 26	62.9 22	22.9 8	54.3 19	25.7 9	25.7 9	31.4 11	42.9 15	34.3 12	-	2.9 1	
	40代	100.0 37	75.7 28	62.2 23	43.2 16	64.9 24	32.4 12	29.7 11	35.1 13	43.2 16	29.7 11	2.7 1	8.1 3	
	50代以上	100.0 55	94.5 52	61.8 34	41.8 23	70.9 39	36.4 20	23.6 13	27.3 15	63.6 35	32.7 18	1.8 1	1.8 1	
	女性	100.0 62	93.5 58	59.7 37	35.5 22	72.6 45	27.4 17	40.3 25	43.5 27	58.1 36	33.9 21	1.6 1	3.2 2	
	30代未満	100.0 8	87.5 7	87.5 7	25.0 2	75.0 6	25.0 2	37.5 3	12.5 1	50.0 4	37.5 3	12.5 1	-	-
	30代	100.0 16	93.8 15	50.0 8	31.3 5	68.8 11	25.0 4	56.3 9	68.8 11	68.8 11	31.3 5	-	6.3 1	
	40代	100.0 20	95.0 19	65.0 13	40.0 8	70.0 14	25.0 5	35.0 7	35.0 7	50.0 10	30.0 6	-	-	
	50代以上	100.0 18	94.4 17	50.0 9	38.9 7	77.8 14	33.3 6	33.3 6	44.4 8	61.1 11	38.9 7	-	5.6 1	
その他・回答しない	100.0 5	60.0 3	40.0 2	60.0 3	60.0 3	60.0 3	40.0 2	60.0 3	80.0 4	40.0 2	-	20.0 1		

【市職員】

第 34 表 刑を終えて出所した人に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

上段%、下段：実数

問22	サンプル数	誤った認識や偏見が存在していること	更生した人たちに對するし	就職や職場で不利な扱いを受けること	アパートなどの住居への入	居が困難なこと	結婚を周囲から反対されること	悪質な書き込みや嫌がらせをされること	メールやインターネットで	復学・進学を希望する人が不利な扱いを受けること	その他	特にない・わからない
全体	100.0 208	56.7 118	45.7 95	28.8 60	21.2 44	33.7 70	20.7 43	1.4 3	27.9 58			
性別	男性	100.0 141	49.6 70	39.0 55	27.0 38	23.4 33	33.3 47	21.3 30	2.1 3	33.3 47		
	女性	100.0 62	72.6 45	61.3 38	33.9 21	16.1 10	33.9 21	16.1 10	- -	14.5 9		
	その他・回答しない	100.0 5	60.0 3	40.0 2	20.0 1	20.0 1	40.0 2	60.0 3	- -	40.0 2		
年代別	30代未満	100.0 22	63.6 14	45.5 10	22.7 5	27.3 6	27.3 6	27.3 6	- -	22.7 5		
	30代	100.0 53	50.9 27	35.8 19	28.3 15	20.8 11	35.8 19	24.5 13	- -	32.1 17		
	40代	100.0 59	52.5 31	52.5 31	28.8 17	15.3 9	32.2 19	20.3 12	1.7 1	25.4 15		
	50代以上	100.0 74	62.2 46	47.3 35	31.1 23	24.3 18	35.1 26	16.2 12	2.7 2	28.4 21		
性・年代別	男性	100.0 141	49.6 70	39.0 55	27.0 38	23.4 33	33.3 47	21.3 30	2.1 3	33.3 47		
	30代未満	100.0 14	57.1 8	42.9 6	28.6 4	35.7 5	42.9 6	42.9 6	- -	21.4 3		
	30代	100.0 35	40.0 14	25.7 9	17.1 6	20.0 7	25.7 9	20.0 7	- -	42.9 15		
	40代	100.0 37	40.5 15	45.9 17	29.7 11	18.9 7	35.1 13	24.3 9	2.7 1	32.4 12		
	50代以上	100.0 55	60.0 33	41.8 23	30.9 17	25.5 14	34.5 19	14.5 8	3.6 2	30.9 17		
	女性	100.0 62	72.6 45	61.3 38	33.9 21	16.1 10	33.9 21	16.1 10	- -	14.5 9		
	30代未満	100.0 8	75.0 6	50.0 4	12.5 1	12.5 1	- -	- -	- -	25.0 2		
	30代	100.0 16	68.8 11	56.3 9	50.0 8	18.8 3	56.3 9	25.0 4	- -	12.5 2		
	40代	100.0 20	75.0 15	65.0 13	30.0 6	10.0 2	25.0 5	10.0 2	- -	10.0 2		
	50代以上	100.0 18	72.2 13	66.7 12	33.3 6	22.2 4	38.9 7	22.2 4	- -	16.7 3		
その他・回答しない	100.0 5	60.0 3	40.0 2	20.0 1	20.0 1	40.0 2	60.0 3	- -	40.0 2			

【市職員】

第 35 表 性的少数者に関して現在どのような人権上の問題があると思うか

上段%、下段：実数

問23	サンプル数	職場や学校で嫌がらせをされること	差別的言動を受けること	就職や職場で不利な扱いを受けること	アパートなどの住居への入居が困難なこと	店舗等の入店や施設利用を拒否されること	じろじろ見られたり、避けられたりすること	性的少数者に対する理解が足りないこと	同性パートナーが病院などで家族として認められない場合があること	その他	特にない・わからない	
全体	100.0 208	43.8 91	54.3 113	28.8 60	14.9 31	12.0 25	33.7 70	61.1 127	39.4 82	1.4 3	19.2 40	
性別	男性	100.0 141	39.0 55	48.2 68	27.7 39	15.6 22	13.5 19	34.0 48	57.4 81	34.0 48	2.1 3	22.0 31
	女性	100.0 62	54.8 34	67.7 42	30.6 19	12.9 8	9.7 6	35.5 22	69.4 43	51.6 32	-	11.3 7
	その他・回答しない	100.0 5	40.0 2	60.0 3	40.0 2	20.0 1	-	-	60.0 3	40.0 2	-	40.0 2
年代別	30代未満	100.0 22	63.6 14	72.7 16	36.4 8	13.6 3	22.7 5	45.5 10	63.6 14	31.8 7	-	13.6 3
	30代	100.0 53	41.5 22	50.9 27	20.8 11	17.0 9	9.4 5	28.3 15	58.5 31	43.4 23	-	17.0 9
	40代	100.0 59	42.4 25	62.7 37	27.1 16	11.9 7	10.2 6	37.3 22	69.5 41	42.4 25	1.7 1	16.9 10
	50代以上	100.0 74	40.5 30	44.6 33	33.8 25	16.2 12	12.2 9	31.1 23	55.4 41	36.5 27	2.7 2	24.3 18
性・年代別	男性	100.0 141	39.0 55	48.2 68	27.7 39	15.6 22	13.5 19	34.0 48	57.4 81	34.0 48	2.1 3	22.0 31
	30代未満	100.0 14	57.1 8	64.3 9	35.7 5	21.4 3	35.7 5	57.1 8	71.4 10	35.7 5	-	14.3 2
	30代	100.0 35	31.4 11	40.0 14	20.0 7	20.0 7	11.4 4	25.7 9	54.3 19	34.3 12	-	20.0 7
	40代	100.0 37	45.9 17	59.5 22	29.7 11	16.2 6	16.2 6	40.5 15	62.2 23	35.1 13	2.7 1	18.9 7
	50代以上	100.0 55	34.5 19	41.8 23	29.1 16	10.9 6	7.3 4	29.1 16	52.7 29	32.7 18	3.6 2	27.3 15
	女性	100.0 62	54.8 34	67.7 42	30.6 19	12.9 8	9.7 6	35.5 22	69.4 43	51.6 32	-	11.3 7
	30代未満	100.0 8	75.0 6	87.5 7	37.5 3	-	-	25.0 2	50.0 4	25.0 2	-	12.5 1
	30代	100.0 16	62.5 10	68.8 11	18.8 3	6.3 1	6.3 1	37.5 6	62.5 10	62.5 10	-	12.5 2
	40代	100.0 20	35.0 7	70.0 14	20.0 4	5.0 1	-	35.0 7	85.0 17	55.0 11	-	10.0 2
	50代以上	100.0 18	61.1 11	55.6 10	50.0 9	33.3 6	27.8 5	38.9 7	66.7 12	50.0 9	-	11.1 2
	その他・回答しない	100.0 5	40.0 2	60.0 3	40.0 2	20.0 1	-	-	60.0 3	40.0 2	-	40.0 2

【市職員】

第 36 表 新型コロナウイルス感染症に関することから、人権がとくに尊重されていない、または侵害されていると思うこと

上段%、下段：実数

問24	サンプル数	感染したことを理由に解雇されること	回復しているのに出社を拒否されること	困窮するや雇用止めにあい、生活に非正規労働者やひとり親世帯が解雇や雇用止めにあい、生活に困難な発言や行為を受けること	医療従事者やその家族が、差別的な発言や行為を受けること	感染者が発生した施設の関係者に対して来店を拒否すること	感染が個人の名前や行動を特定し、SNS等で公表・非難すること	感染拡大で在宅時間が増え、児童虐待やDVを受けること	感染拡大で在宅時間が増え、児童虐待やDVを受けること	接種しないことを理由に不利益な扱いを受けること	ワクチンの接種を強制したり、接種しないことを理由に不利益な扱いを受けること	その他	特にない・わからない
全体	100.0 208	38.0 79	30.3 63	44.2 92	49.5 103	28.4 59	40.9 85	33.7 70	47.1 98	1.0 2	15.9 33		
性別	男性	100.0 141	33.3 47	29.8 42	40.4 57	45.4 64	29.1 41	34.8 49	29.8 42	46.8 66	1.4 2	19.1 27	
	女性	100.0 62	50.0 31	32.3 20	51.6 32	59.7 37	27.4 17	54.8 34	41.9 26	46.8 29	-	6.5 4	
	その他・回答しない	100.0 5	20.0 1	20.0 1	60.0 3	40.0 2	20.0 1	40.0 2	40.0 2	60.0 3	-	40.0 2	
年代別	30代未満	100.0 22	40.9 9	50.0 11	50.0 11	59.1 13	40.9 9	50.0 11	27.3 6	54.5 12	-	9.1 2	
	30代	100.0 53	35.8 19	26.4 14	35.8 19	43.4 23	24.5 13	39.6 21	35.8 19	50.9 27	1.9 1	22.6 12	
	40代	100.0 59	40.7 24	25.4 15	47.5 28	55.9 33	23.7 14	42.4 25	33.9 20	42.4 25	-	15.3 9	
	50代以上	100.0 74	36.5 27	31.1 23	45.9 34	45.9 34	31.1 23	37.8 28	33.8 25	45.9 34	1.4 1	13.5 10	
性・年代別	男性	100.0 141	33.3 47	29.8 42	40.4 57	45.4 64	29.1 41	34.8 49	29.8 42	46.8 66	1.4 2	19.1 27	
	30代未満	100.0 14	28.6 4	42.9 6	50.0 7	57.1 8	50.0 7	42.9 6	28.6 4	64.3 9	-	14.3 2	
	30代	100.0 35	37.1 13	25.7 9	31.4 11	37.1 13	25.7 9	31.4 11	28.6 10	42.9 15	2.9 1	22.9 8	
	40代	100.0 37	40.5 15	29.7 11	48.6 18	48.6 18	24.3 9	37.8 14	27.0 10	45.9 17	-	21.6 8	
	50代以上	100.0 55	27.3 15	29.1 16	38.2 21	45.5 25	29.1 16	32.7 18	32.7 18	45.5 25	1.8 1	16.4 9	
	女性	100.0 62	50.0 31	32.3 20	51.6 32	59.7 37	27.4 17	54.8 34	41.9 26	46.8 29	-	6.5 4	
	30代未満	100.0 8	62.5 5	62.5 5	50.0 4	62.5 5	25.0 2	62.5 5	25.0 2	37.5 3	-	-	
	30代	100.0 16	37.5 6	31.3 5	43.8 7	56.3 9	25.0 4	56.3 9	50.0 8	68.8 11	-	18.8 3	
	40代	100.0 20	40.0 8	15.0 3	45.0 9	70.0 14	20.0 4	50.0 10	45.0 9	35.0 7	-	-	
	50代以上	100.0 18	66.7 12	38.9 7	66.7 12	50.0 9	38.9 7	55.6 10	38.9 7	44.4 8	-	5.6 1	
	その他・回答しない	100.0 5	20.0 1	20.0 1	60.0 3	40.0 2	20.0 1	40.0 2	40.0 2	60.0 3	-	40.0 2	

【市職員】

第 37 表 大川市人権週間講演会(12月)【大川市主催】への参加状況

上段%、下段：実数

問25(1)	サンプル数	何回も参加(読んだり、見たり)した	1回参加(読んだり、見たり)した	2回参加(読んだり、見たり)した	参加(読んだり、見たり)したことはない
全体	100.0 208	35.1 73	43.3 90	21.6 45	
性別	男性	100.0 141	32.6 46	46.1 65	21.3 30
	女性	100.0 62	43.5 27	37.1 23	19.4 12
	その他・回答しない	100.0 5	-	40.0 2	60.0 3
年代別	30代未満	100.0 22	9.1 2	54.5 12	36.4 8
	30代	100.0 53	13.2 7	49.1 26	37.7 20
	40代	100.0 59	42.4 25	39.0 23	18.6 11
	50代以上	100.0 74	52.7 39	39.2 29	8.1 6
性・年代別	男性	100.0 141	32.6 46	46.1 65	21.3 30
	30代未満	100.0 14	7.1 1	64.3 9	28.6 4
	30代	100.0 35	11.4 4	57.1 20	31.4 11
	40代	100.0 37	37.8 14	37.8 14	24.3 9
	50代以上	100.0 55	49.1 27	40.0 22	10.9 6
	女性	100.0 62	43.5 27	37.1 23	19.4 12
	30代未満	100.0 8	12.5 1	37.5 3	50.0 4
	30代	100.0 16	18.8 3	31.3 5	50.0 8
	40代	100.0 20	55.0 11	45.0 9	-
	50代以上	100.0 18	66.7 12	33.3 6	-
	その他・回答しない	100.0 5	-	40.0 2	60.0 3

【市職員】

第 38 表 コミュニティセンターでの人権講演会【大川市主催】への参加状況

上段%、下段：実数

問25(2)	サンプル数	何回も参加（読んだり、見たり）した	1回参加（読んだり、見たり）した	2回参加（読んだり、見たり）した	参加（読んだり、見たり）したことはない
全体	100.0 208	5.8 12	14.4 30	79.8 166	
性別	男性	100.0 141	7.1 10	16.3 23	76.6 108
	女性	100.0 62	3.2 2	11.3 7	85.5 53
	その他・回答しない	100.0 5	- -	- -	100.0 5
年代別	30代未満	100.0 22	4.5 1	9.1 2	86.4 19
	30代	100.0 53	- -	17.0 9	83.0 44
	40代	100.0 59	6.8 4	10.2 6	83.1 49
	50代以上	100.0 74	9.5 7	17.6 13	73.0 54
性・年代別	男性	100.0 141	7.1 10	16.3 23	76.6 108
	30代未満	100.0 14	7.1 1	14.3 2	78.6 11
	30代	100.0 35	- -	20.0 7	80.0 28
	40代	100.0 37	10.8 4	13.5 5	75.7 28
	50代以上	100.0 55	9.1 5	16.4 9	74.5 41
	女性	100.0 62	3.2 2	11.3 7	85.5 53
	30代未満	100.0 8	- -	- -	100.0 8
	30代	100.0 16	- -	12.5 2	87.5 14
	40代	100.0 20	- -	5.0 1	95.0 19
	50代以上	100.0 18	11.1 2	22.2 4	66.7 12
	その他・回答しない	100.0 5	- -	- -	100.0 5

【市職員】

第 39 表 人権啓発冊子のちかがやけ【大川市主催】への参加状況

上段%、下段：実数

問25(3)	サンプル数	何回も参加（読んだり、見たり）した	1〜2回参加（読んだり、見たり）した	参加（読んだり、見たり）したことはない	
全体	100.0 208	9.6 20	38.9 81	51.4 107	
性別	男性	100.0 141	10.6 15	34.8 49	54.6 77
	女性	100.0 62	8.1 5	48.4 30	43.5 27
	その他・回答しない	100.0 5	-	40.0 2	60.0 3
年代別	30代未満	100.0 22	9.1 2	4.5 1	86.4 19
	30代	100.0 53	3.8 2	26.4 14	69.8 37
	40代	100.0 59	5.1 3	47.5 28	47.5 28
	50代以上	100.0 74	17.6 13	51.4 38	31.1 23
性・年代別	男性	100.0 141	10.6 15	34.8 49	54.6 77
	30代未満	100.0 14	14.3 2	7.1 1	78.6 11
	30代	100.0 35	2.9 1	25.7 9	71.4 25
	40代	100.0 37	8.1 3	40.5 15	51.4 19
	50代以上	100.0 55	16.4 9	43.6 24	40.0 22
	女性	100.0 62	8.1 5	48.4 30	43.5 27
	30代未満	100.0 8	-	-	100.0 8
	30代	100.0 16	6.3 1	31.3 5	62.5 10
	40代	100.0 20	-	60.0 12	40.0 8
	50代以上	100.0 18	22.2 4	72.2 13	5.6 1
	その他・回答しない	100.0 5	-	40.0 2	60.0 3

【市職員】

第 40 表 同和問題街頭啓発(7月)(大川市主催)への参加状況

上段%、下段：実数

問25(4)	サンプル数	何回も参加(読んだり、見たり)した	1〜2回参加(読んだり、見たり)した	参加(読んだり、見たり)したことはない	
全体	100.0 208	16.8 35	33.2 69	50.0 104	
性別	男性	100.0 141	16.3 23	36.9 52	46.8 66
	女性	100.0 62	19.4 12	27.4 17	53.2 33
	その他・回答しない	100.0 5	- -	- -	100.0 5
年代別	30代未満	100.0 22	4.5 1	27.3 6	68.2 15
	30代	100.0 53	5.7 3	34.0 18	60.4 32
	40代	100.0 59	13.6 8	30.5 18	55.9 33
	50代以上	100.0 74	31.1 23	36.5 27	32.4 24
性・年代別	男性	100.0 141	16.3 23	36.9 52	46.8 66
	30代未満	100.0 14	7.1 1	21.4 3	71.4 10
	30代	100.0 35	2.9 1	45.7 16	51.4 18
	40代	100.0 37	13.5 5	32.4 12	54.1 20
	50代以上	100.0 55	29.1 16	38.2 21	32.7 18
	女性	100.0 62	19.4 12	27.4 17	53.2 33
	30代未満	100.0 8	- -	37.5 3	62.5 5
	30代	100.0 16	12.5 2	12.5 2	75.0 12
	40代	100.0 20	15.0 3	30.0 6	55.0 11
	50代以上	100.0 18	38.9 7	33.3 6	27.8 5
	その他・回答しない	100.0 5	- -	- -	100.0 5

【市職員】

第 41 表 北朝鮮人権侵害問題啓発週間パネル展示[大川市主催]への参加状況

上段%、下段：実数

問25(5)	サンプル数	何回も参加（読んだり、見たり）した	1〜2回参加（読んだり、見たり）した	参加（読んだり、見たり）したことはない	
全体	100.0 208	21.6 45	26.9 56	51.4 107	
性別	男性	100.0 141	15.6 22	31.2 44	53.2 75
	女性	100.0 62	37.1 23	19.4 12	43.5 27
	その他・回答しない	100.0 5	-	-	100.0 5
年代別	30代未満	100.0 22	9.1 2	22.7 5	68.2 15
	30代	100.0 53	13.2 7	18.9 10	67.9 36
	40代	100.0 59	22.0 13	30.5 18	47.5 28
	50代以上	100.0 74	31.1 23	31.1 23	37.8 28
性・年代別	男性	100.0 141	15.6 22	31.2 44	53.2 75
	30代未満	100.0 14	7.1 1	21.4 3	71.4 10
	30代	100.0 35	11.4 4	22.9 8	65.7 23
	40代	100.0 37	13.5 5	32.4 12	54.1 20
	50代以上	100.0 55	21.8 12	38.2 21	40.0 22
	女性	100.0 62	37.1 23	19.4 12	43.5 27
	30代未満	100.0 8	12.5 1	25.0 2	62.5 5
	30代	100.0 16	18.8 3	12.5 2	68.8 11
	40代	100.0 20	40.0 8	30.0 6	30.0 6
	50代以上	100.0 18	61.1 11	11.1 2	27.8 5
	その他・回答しない	100.0 5	-	-	100.0 5

【市職員】

第 42 表 人権擁護委員による人権相談[大川市外も含む]への参加状況

上段%、下段：実数

問25(6)	サンプル数	何回も参加（読んだり、見たり）した	1〜2回参加（読んだり、見たり）した	参加（読んだり、見たり）したことはない	
全体	100.0 208	4.3 9	7.2 15	88.5 184	
性別	男性	100.0 141	3.5 5	9.2 13	87.2 123
	女性	100.0 62	6.5 4	3.2 2	90.3 56
	その他・回答しない	100.0 5	- -	- -	100.0 5
年代別	30代未満	100.0 22	9.1 2	4.5 1	86.4 19
	30代	100.0 53	- -	5.7 3	94.3 50
	40代	100.0 59	5.1 3	8.5 5	86.4 51
	50代以上	100.0 74	5.4 4	8.1 6	86.5 64
性・年代別	男性	100.0 141	3.5 5	9.2 13	87.2 123
	30代未満	100.0 14	14.3 2	7.1 1	78.6 11
	30代	100.0 35	- -	8.6 3	91.4 32
	40代	100.0 37	2.7 1	10.8 4	86.5 32
	50代以上	100.0 55	3.6 2	9.1 5	87.3 48
	女性	100.0 62	6.5 4	3.2 2	90.3 56
	30代未満	100.0 8	- -	- -	100.0 8
	30代	100.0 16	- -	- -	100.0 16
	40代	100.0 20	10.0 2	5.0 1	85.0 17
	50代以上	100.0 18	11.1 2	5.6 1	83.3 15
	その他・回答しない	100.0 5	- -	- -	100.0 5

【市職員】

第 43 表 職場での研修等【大川市外も含む】への参加状況

上段%、下段：実数

問25(7)	サンプル数	何回も参加（読んだり、見たり）した	1〜2回参加（読んだり、見たり）した	参加（読んだり、見たり）したことはない	
全体	100.0 208	55.8 116	34.6 72	9.6 20	
性別	男性	100.0 141	55.3 78	36.9 52	7.8 11
	女性	100.0 62	61.3 38	27.4 17	11.3 7
	その他・回答しない	100.0 5	-	60.0 3	40.0 2
年代別	30代未満	100.0 22	13.6 3	68.2 15	18.2 4
	30代	100.0 53	37.7 20	39.6 21	22.6 12
	40代	100.0 59	57.6 34	35.6 21	6.8 4
	50代以上	100.0 74	79.7 59	20.3 15	-
性・年代別	男性	100.0 141	55.3 78	36.9 52	7.8 11
	30代未満	100.0 14	21.4 3	57.1 8	21.4 3
	30代	100.0 35	40.0 14	42.9 15	17.1 6
	40代	100.0 37	48.6 18	45.9 17	5.4 2
	50代以上	100.0 55	78.2 43	21.8 12	-
	女性	100.0 62	61.3 38	27.4 17	11.3 7
	30代未満	100.0 8	-	87.5 7	12.5 1
	30代	100.0 16	37.5 6	25.0 4	37.5 6
	40代	100.0 20	80.0 16	20.0 4	-
	50代以上	100.0 18	88.9 16	11.1 2	-
	その他・回答しない	100.0 5	-	60.0 3	40.0 2

【市職員】

第 44 表 PTAなど学校での研修・講演会【大川市外も含む】への参加状況

上段%、下段：実数

問25(8)	サンプル数	何回も参加（読んだり、見たり）した	1〜2回参加（読んだり、見たり）した	参加（読んだり、見たり）したことはない	
全体	100.0 208	8.2 17	23.6 49	68.3 142	
性別	男性	100.0 141	5.0 7	24.1 34	70.9 100
	女性	100.0 62	16.1 10	22.6 14	61.3 38
	その他・回答しない	100.0 5	-	20.0 1	80.0 4
年代別	30代未満	100.0 22	4.5 1	18.2 4	77.3 17
	30代	100.0 53	5.7 3	18.9 10	75.5 40
	40代	100.0 59	3.4 2	20.3 12	76.3 45
	50代以上	100.0 74	14.9 11	31.1 23	54.1 40
性・年代別	男性	100.0 141	5.0 7	24.1 34	70.9 100
	30代未満	100.0 14	7.1 1	21.4 3	71.4 10
	30代	100.0 35	2.9 1	17.1 6	80.0 28
	40代	100.0 37	-	21.6 8	78.4 29
	50代以上	100.0 55	9.1 5	30.9 17	60.0 33
	女性	100.0 62	16.1 10	22.6 14	61.3 38
	30代未満	100.0 8	-	12.5 1	87.5 7
	30代	100.0 16	12.5 2	18.8 3	68.8 11
	40代	100.0 20	10.0 2	20.0 4	70.0 14
	50代以上	100.0 18	33.3 6	33.3 6	33.3 6
	その他・回答しない	100.0 5	-	20.0 1	80.0 4

【市職員】

第 45 表 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ【大川市外も含む】への参加状況

上段%、下段：実数

問25(9)	サンプル数	何回も参加（読んだり、見たり）した	1〜2回参加（読んだり、見たり）した	参加（読んだり、見たり）したことはない	
全体	100.0 208	34.6 72	40.4 84	25.0 52	
性別	男性	100.0 141	29.8 42	42.6 60	27.7 39
	女性	100.0 62	46.8 29	37.1 23	16.1 10
	その他・回答しない	100.0 5	20.0 1	20.0 1	60.0 3
年代別	30代未満	100.0 22	18.2 4	45.5 10	36.4 8
	30代	100.0 53	24.5 13	39.6 21	35.8 19
	40代	100.0 59	27.1 16	47.5 28	25.4 15
	50代以上	100.0 74	52.7 39	33.8 25	13.5 10
性・年代別	男性	100.0 141	29.8 42	42.6 60	27.7 39
	30代未満	100.0 14	21.4 3	35.7 5	42.9 6
	30代	100.0 35	17.1 6	45.7 16	37.1 13
	40代	100.0 37	16.2 6	56.8 21	27.0 10
	50代以上	100.0 55	49.1 27	32.7 18	18.2 10
	女性	100.0 62	46.8 29	37.1 23	16.1 10
	30代未満	100.0 8	12.5 1	62.5 5	25.0 2
	30代	100.0 16	37.5 6	31.3 5	31.3 5
	40代	100.0 20	50.0 10	35.0 7	15.0 3
	50代以上	100.0 18	66.7 12	33.3 6	- -
	その他・回答しない	100.0 5	20.0 1	20.0 1	60.0 3

【市職員】

第 46 表 書籍・映画・ビデオ【大川市外も含む】への参加状況

上段%、下段：実数

問25(10)	サンプル数	何回も参加（読んだり、見たり）した	1〜2回参加（読んだり、見たり）した	参加（読んだり、見たり）したことはない	
全体	100.0 208	28.4 59	37.0 77	34.6 72	
性別	男性	100.0 141	25.5 36	35.5 50	39.0 55
	女性	100.0 62	35.5 22	41.9 26	22.6 14
	その他・回答しない	100.0 5	20.0 1	20.0 1	60.0 3
年代別	30代未満	100.0 22	18.2 4	36.4 8	45.5 10
	30代	100.0 53	20.8 11	30.2 16	49.1 26
	40代	100.0 59	20.3 12	42.4 25	37.3 22
	50代以上	100.0 74	43.2 32	37.8 28	18.9 14
性・年代別	男性	100.0 141	25.5 36	35.5 50	39.0 55
	30代未満	100.0 14	21.4 3	28.6 4	50.0 7
	30代	100.0 35	17.1 6	31.4 11	51.4 18
	40代	100.0 37	13.5 5	40.5 15	45.9 17
	50代以上	100.0 55	40.0 22	36.4 20	23.6 13
	女性	100.0 62	35.5 22	41.9 26	22.6 14
	30代未満	100.0 8	12.5 1	50.0 4	37.5 3
	30代	100.0 16	25.0 4	25.0 4	50.0 8
	40代	100.0 20	35.0 7	50.0 10	15.0 3
	50代以上	100.0 18	55.6 10	44.4 8	- -
	その他・回答しない	100.0 5	20.0 1	20.0 1	60.0 3

【市職員】

第 47 表 研修等で人権問題を考える(学ぶ)際に、特に重要だと思う知識や情報

上段%、下段：実数

問26	サンプル数	人権問題の歴史	人権問題の実態	社会の意識	根拠となる法令等	解決に向けた取組	教材の活用方法	差別を受けた当事者の思い	窓口対応のスキル	その他	
全体	100.0 208	25.5 53	67.8 141	47.6 99	9.1 19	53.8 112	5.8 12	34.1 71	15.9 33	1.0 2	
性別	男性	100.0 141	29.8 42	62.4 88	52.5 74	7.8 11	51.1 72	2.8 4	34.0 48	12.1 17	1.4 2
	女性	100.0 62	16.1 10	82.3 51	38.7 24	12.9 8	62.9 39	11.3 7	33.9 21	24.2 15	- -
	その他・回答しない	100.0 5	20.0 1	40.0 2	20.0 1	- -	20.0 1	20.0 1	40.0 2	20.0 1	- -
年代別	30代未満	100.0 22	27.3 6	77.3 17	63.6 14	4.5 1	72.7 16	4.5 1	- -	22.7 5	- -
	30代	100.0 53	26.4 14	56.6 30	47.2 25	11.3 6	50.9 27	9.4 5	37.7 20	18.9 10	- -
	40代	100.0 59	20.3 12	64.4 38	47.5 28	8.5 5	57.6 34	3.4 2	32.2 19	15.3 9	- -
	50代以上	100.0 74	28.4 21	75.7 56	43.2 32	9.5 7	47.3 35	5.4 4	43.2 32	12.2 9	2.7 2
性・年代別	男性	100.0 141	29.8 42	62.4 88	52.5 74	7.8 11	51.1 72	2.8 4	34.0 48	12.1 17	1.4 2
	30代未満	100.0 14	28.6 4	78.6 11	64.3 9	7.1 1	71.4 10	- -	- -	14.3 2	- -
	30代	100.0 35	37.1 13	54.3 19	51.4 18	11.4 4	45.7 16	2.9 1	37.1 13	17.1 6	- -
	40代	100.0 37	27.0 10	51.4 19	54.1 20	2.7 1	56.8 21	2.7 1	32.4 12	8.1 3	- -
	50代以上	100.0 55	27.3 15	70.9 39	49.1 27	9.1 5	45.5 25	3.6 2	41.8 23	10.9 6	3.6 2
	女性	100.0 62	16.1 10	82.3 51	38.7 24	12.9 8	62.9 39	11.3 7	33.9 21	24.2 15	- -
	30代未満	100.0 8	25.0 2	75.0 6	62.5 5	- -	75.0 6	12.5 1	- -	37.5 3	- -
	30代	100.0 16	6.3 1	62.5 10	43.8 7	12.5 2	62.5 10	18.8 3	37.5 6	25.0 4	- -
	40代	100.0 20	10.0 2	90.0 18	35.0 7	20.0 4	65.0 13	5.0 1	35.0 7	30.0 6	- -
	50代以上	100.0 18	27.8 5	94.4 17	27.8 5	11.1 2	55.6 10	11.1 2	44.4 8	11.1 2	- -
	その他・回答しない	100.0 5	20.0 1	40.0 2	20.0 1	- -	20.0 1	20.0 1	40.0 2	20.0 1	- -

資料編

市民意識調査 調査票

人権問題に関する市民意識調査

～ご協力のお願い～

市民の皆さまにおかれましては、日頃より本市の福祉行政に対し、ご支援・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

本市では、人権が確立した社会の実現を目指し、「大川市人権教育・啓発基本計画」に基づき、人権教育・啓発の取組を推進してきました。本年は計画の改定を予定していることから、多くの市民の皆さまにご意見をうかがい、その結果を「大川市人権教育・啓発基本計画（改定）」の策定に反映させたいと考えております。

なお、調査にあたり、大川市にお住まいの18歳以上の方から無作為に2,000人を選ばせていただきました。ご回答いただいた内容は、統計的に処理した上で利用させていただきます。あなたの意見が外部に漏れたり、他の目的に使用されたりすることは決してありませんので、安心してご記入ください。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和4年7月

大川市長 倉重良一

【記入上のお願い】

- 1 この調査は、個人を対象とするアンケートですので、わかる範囲で封筒のあて名のご本人が、お答えください。
- 2 回答は、あてはまる番号に○印をつけてください。選択する○印の数は「○はひとつ」「○はいくつでも」などの断り書きに従ってお答えください。
- 3 質問で「その他」を選択した場合は、（ ）内に具体的な内容もご記入ください。
- 4 ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて7月29日（金）までにポストに投函してください。（切手はいりません。）
- 5 この調査は、インターネットから回答することができます。
下記 URL か右の QR コードから、アンケート専用ウェブサイトアクセスし、ご回答ください。なお、インターネットで回答いただいた場合、調査票のご返送は不要です。

【URL】 <https://logoform.jp/f/tdwoq>



【お問合せ先と返送先】

大川市役所 福祉事務所 福祉係

831-8601 大川市大字酒見256-1

TEL：85-5532（直通） FAX：86-8483

あなた自身についてお尋ねします

問1 最初にあなた自身についてお伺いします。

ア) あなたの性別は。(〇はひとつ)

1. 男性
2. 女性
3. その他
4. 回答しない

イ) あなたの満年齢は。(令和4年7月1日現在)(〇はひとつ)

1. 18～19才
2. 20～29才
3. 30～39才
4. 40～49才
5. 50～59才
6. 60～69才
7. 70～79才
8. 80才以上

ウ) あなたの職業は。(〇はひとつ)

1. 自営業
2. 民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人未満の事業所)
3. 民間の企業や団体に勤務する人 (従業員が30人以上の事業所)
4. 公務員
5. 学生
6. 家事専業
7. 無職
8. その他 ()

人権全般についてお尋ねします

問2 人権問題にどの程度関心がありますか。(○はひとつ)

1. 非常に関心がある
2. 少し関心がある
3. あまり関心がない
4. ほとんど・全く関心がない

問3 次にあげる日本の人権に関する問題で、関心があるものは何ですか。
(○はいくつでも)

1. 同和問題 (部落差別に関する問題)
2. 女性に関する問題
3. 子どもに関する問題
4. 高齢者に関する問題
5. 障がいのある人に関する問題
6. 日本に住んでいる外国人や外国にルーツのある人に関する問題
7. HIV感染者・ハンセン病回復者などに関する問題
8. 北朝鮮当局による拉致問題
9. 犯罪被害者やその家族に関する問題
10. インターネットによる人権侵害問題
11. 刑を終えて出所した人やその家族に関する問題
12. ホームレスに関する問題
13. アイヌの人々に関する問題
14. 性的少数者に関する問題
15. 新型コロナウイルス感染症による人権侵害に関する問題
16. 人身取引 (トラフィッキング) に関する問題
17. 原発事故による放射線被ばく風評被害に関する問題
18. ヘイトスピーチにかかわる問題
19. その他 (具体的に: _____)
20. 特にない・わからない

※HIV…エイズ (後天性免疫不全症候群) の原因となるウイルスのこと。

※ハンセン病…らい菌に感染することで起こる病気で、現代においては感染することも発病することもほぼありません。

※性的少数者…恋愛や性愛の対象、こころの性等が性的多数派とは異なるとされる人々。

※人身取引 (トラフィッキング) …臓器提供のために子どもを拉致したり、強制労働や性的搾取のために暴力や脅迫等の手段を用いて人を移送する行為。

問4 平成28年(2016年)に人権に関する法律が施行されましたが、次の法律を知っていますか。

ア)障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)(○はひとつ)

1. 知っている
2. 名前は聞いたことがあるが、内容は知らない
3. 知らない

イ)本邦外出身者に対する不当な差別的発言の解消に向けた取組の推進に関する法律(ヘイトスピーチ解消法)(○はひとつ)

1. 知っている
2. 名前は聞いたことがあるが、内容は知らない
3. 知らない

ウ)部落差別の解消の推進に関する法律(部落差別解消推進法)(○はひとつ)

1. 知っている
2. 名前は聞いたことがあるが、内容は知らない
3. 知らない

問5 これまでに、自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。
(○はいくつでも)

1. 根拠のない悪い噂、他人からの悪口、かげ口
2. 仲間はずれ、嫌がらせ
3. 名誉・信用のき損、侮辱
4. 差別待遇(人種・信条・社会的身分等により、不平等又は不利益な取り扱いをされた)
5. 暴力や虐待
6. 脅迫、強要(本来義務のないことをさせられたり、権利の行使を妨害されたりした)
7. 他人に知られたくない個人的事項を知られること(プライバシーの侵害)
8. 公的機関や福祉施設、企業などによる不当な待遇
9. 職務上の地位などを背景にした嫌がらせ(パワーハラスメント)
10. 性的嫌がらせ(セクシュアルハラスメント)
11. 配偶者や恋人等からの暴力(DV)
12. 特定の人にしつこくつきまといられること(ストーカー)
13. 悪臭・騒音等の公害
14. その他(具体的に:)
15. 答えたくない
16. 特にない・わからない

問6 **問5で1～14とお答えの方**にうかがいます。

人権を侵害されたとき、どうしましたか。(〇はいくつでも)

1. 家族や親類に相談した
2. 友人や先輩に相談した
3. 自治会の役員や民生委員に相談した
4. 人権擁護委員や法務局に相談した
5. 県や市町村など行政に相談した
6. 弁護士に相談した
7. 警察に相談した
8. NPOなどの民間団体に相談した
9. 職場の相談窓口相談した
10. 相手に直接抗議した
11. その他(具体的に: _____)
12. 特に何もなかった

同和問題についてお尋ねします

問7 同和問題についてどのようにお考えですか。

ア) 同和問題は、あなたに関係のある問題だと思いますか。(〇はひとつ)

1. 自分に関係のある問題だと思っている
2. 自分に関係のない問題だと思っている

イ) 同和問題の解消に向けたあなたの考えに最も近いものは次のどれですか。
(〇はひとつ)

1. 問題解決のため自分のできる限りの努力をしたい
2. 自分も国民の一人として問題の解決に努力すべきだと思う
3. 自分一人ではどうしようもないので、なりゆきにまかせる
4. 同和地区の人々の問題であるので、自分には直接関係ない
5. よく考えていない
6. その他(具体的に: _____)
7. 同和問題のことは知らないので、わからない

問8 同和問題に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。

(○はいくつでも)

1. 結婚を周囲から反対されること
2. 就職の際や職場で不利な扱いを受けること
3. 付き合いをさけるなど日常の交際の中で差別があること
4. 生活環境面で近隣との格差が埋めきれていないこと
5. 身元調査をするなど社会における偏見意識があること
6. インターネットに差別的な情報を掲載すること
7. 家や土地を購入したり、マンションを建設する際に、同和地区かどうかを調べること
8. その他（具体的に：)
9. 特にない・わからない

問9 同和問題の解決をはかるために必要なことは何だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 同和地区の生活環境を改善・整備する
2. 同和地区の人々の仕事を保障し、教育水準を高め生活の向上をはかる
3. 同和地区の人々自身が、自分の生活に責任を持つように努力する
4. 人権を大切にす教育活動・啓発活動を積極的に行う
5. 同和地区の人々が、一カ所にかたまって住まないようにする
6. 真の民主主義の確立を目指す国民的運動を拡大・強化する
7. 差別をしたり、差別を営利目的などに使う者を法律で処罰する
8. 市民が自ら人権について学ぶ場を充実すること
9. インターネット上などでの偏見や差別的な書き込みを、そのまま受け入れないようにする
10. わざわざとりあげないで、そっとしておけば自然になくなる
11. その他（具体的に：)
12. 特にない・わからない

女性の人権についてお尋ねします

問10 女性に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

1. 「男は仕事、女は家庭」等の男女の固定的な役割分担意識を押し付けること、または押し付けられること
2. 就職の機会が少ないことや、企業等に雇用されるとき、賃金、昇給、昇格、職種等の差別を受けること
3. 妊娠、出産を理由に不当な扱いを受けること (マタニティ・ハラスメント)
4. 女性の社会進出のための支援制度が整っていないこと
5. 職場や学校における性的嫌がらせ (セクシャル・ハラスメント)
6. 家庭内における夫や恋人などからの肉体的・精神的暴力 (DV)
7. いわゆる「援助交際」を含む買春・売春
8. 女性への性暴力
9. アダルトビデオ等への出演強要
10. その他 (具体的に: _____)
11. 特にない・わからない

問11 女性の人権を守るために必要なことは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 男女雇用機会均等法などの啓発活動を行うこと
2. 性別による固定的な役割分担意識の是正に努めること
3. 様々な意思決定への女性の参画の促進を図ること
4. 保育などの施設や制度を整え、男性も女性も安心して働けるようにすること
5. 学校教育の場で女性の人権や男女共同参画についての教育を充実すること
6. セクシャル・ハラスメントやドメスティック・バイオレンスなどの防止に努めること
7. 性犯罪やドメスティック・バイオレンスなどに対する相談体制の充実を図ること
8. ストーカー等女性に対する犯罪の取締りの強化を図ること
9. 男性も生活者 (家事や育児を実践する人) として自立できるよう啓発活動を行うこと
10. その他 (具体的に: _____)
11. 特にない・わからない

子どもの人権についてお尋ねします

問12 子どもに関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

1. 親が子どもに身体的・心理的な虐待を加えたり、子育てを放棄すること
2. 子どもが子どもをいじめたり、暴力を振るったり、又は子どもがその様子を見て見ぬ振りすること
3. 学校や就職先の選択などについて親が子どもに自分の考えを強制すること
4. 子どもの様子をさぐるため、手紙やメールなどを勝手に見ること
5. ビデオ・インターネット・携帯電話等子どもを取り巻く性情報のはんらん
6. 学校や登下校時の不審者による子どもへの危害
7. 教師による児童・生徒への体罰
8. 児童買春・児童ポルノ等の対象になること
9. 家庭の経済状況が理由で子どもの生活や進学、就職等に支障があること
(子どもの貧困)
10. 本来、大人が担うような家事や家族の世話などを日常的に行っていること
(ヤングケアラー)
11. その他(具体的に: _____)
12. 特にない・わからない

問13 子どもの人権を守るために必要なことは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 地域・学校で子どもを育む気運の高揚を図ること
2. 子どもを対象とした相談、カウンセリング事業の充実を図ること
3. 学校教育等での人権教育の充実に努めること
4. 学校でのいじめ問題の防止の強化を図ること
5. マスコミ報道やゲームソフト・インターネット動画等の内容に配慮すること
6. 薬物や性的な犯罪などから子どもを守ること
7. 子どもに対する虐待の早期発見や予防策の充実に努めること
8. 子ども自身の意思や行動を権利として尊重すること
9. その他(具体的に: _____)
10. 特にない・わからない

高齢者の人権についてお尋ねします

問14 高齢者に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

1. 介護を必要とする高齢者の介護体制・介護環境が十分でないこと
2. 就職が困難であったり、賃金などの労働条件で不利に扱われること
3. 高齢者をねらった悪徳商法や振り込め詐欺
4. 道路の段差やエレベーター未設置などバリアフリー対策が十分でないこと
5. 単身高齢者などが賃貸の住宅への入居を拒否されること
6. 家族が高齢者の世話を避けたり、軽んじたり、無視・虐待をすること
7. 生活に必要な情報がひとり暮らしの高齢者等に伝わりにくいこと
8. その他（具体的に： _____)
9. 特にない・わからない

問15 高齢者の人権を守るために必要なことは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 生きがいを持って生活できる環境づくりに努めること
2. 保健、医療、福祉のサービスや利用施設を充実させること
3. 建物や公共機関のバリアフリーを進めること
4. 高齢者のための相談・支援体制の充実を図ること
5. 学校での高齢者の人権教育の充実を図ること
6. 世代間交流事業の推進を図ること
7. その他（具体的に： _____)
8. 特にない・わからない

障がいのある人の人権についてお尋ねします

問16 障がいのある人に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

1. 人権上の配慮に欠けた差別的な言動をされること
2. 就職が困難であったり、賃金などの労働条件で不利に扱われたりすること
3. 道路の段差やエレベーターの未設置など、利用に支障があること
4. 普段接する人から肉体的・精神的な虐待を受けること
5. 障がいを理由に、意見や行動が尊重されないこと
6. 災害など危急の場で情報を伝える体制が十分でないこと
7. スポーツや文化活動・地域活動に気軽に参加できないこと
8. その他（具体的に： _____)
9. 特にない・わからない

様々な人権問題についてお尋ねします

問20 HIV感染者、エイズ患者に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。(〇はいくつでも)

1. 感染者や患者が病院での治療や入院を断られること
2. 結婚を断られたり、離婚を迫られること
3. 感染していることを本人に無断で他人に伝えられること
4. 本人に無断でエイズ検査をすること
5. 感染していると分かった人が、退職や退学に追い込まれること
6. 感染者や患者が特別な目で見られること
7. その他(具体的に: _____)
8. 特にない・わからない

問21 ハンセン病患者・元患者や家族等に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。(〇はいくつでも)

1. 地域社会での正しい知識と理解が十分でないこと
2. ハンセン病療養所以外で自立した生活を営むのが困難であること
3. アパートなどの住居への入居が困難なこと
4. 差別的言動を受けること
5. ホテル等で宿泊を拒否されること
6. 就職や職場で不利な扱いを受けること
7. 結婚を周囲から反対されること
8. その他(具体的に: _____)
9. 特にない・わからない

問22 犯罪被害者やその家族に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。(〇はいくつでも)

1. 犯罪行為によって身体的・精神的に被害を受け、経済的負担など長期間被害に苦しむこと
2. 捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること
3. 刑事裁判手続きにおいて必ずしも被害者の声が十分反映されるわけではないこと
4. 事件に関して周囲にうわさ話をされること
5. 被害者やその家族を支援する方策が十分に周知されていないこと
6. マスメディアなどの報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材により私生活の平穏が保てなくなること
7. ソーシャルメディア(SNS)等で悪質・不快な書き込みをされること
8. その他(具体的に: _____)
9. 特にない・わからない

問23 インターネットに関することからで、人権が特に尊重されていない、または侵害されていると思うことはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

1. 他人を誹謗（ひぼう）中傷（ちゅうしょう）する表現を掲載していること
2. 差別を助長する表現や内容を掲載していること
3. 同和地区の地名や動画などを掲載していること
4. ソーシャルメディア（SNS）等で悪質・不快な書き込みをされること
5. 出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること
6. 捜査の対象になっている未成年者の実名や顔写真を掲載していること
7. わいせつな画像や残虐な画像を掲載していること
8. 個人情報流出などの問題が多く発生していること
9. 悪徳商法の取引の場となっていること
10. その他（具体的に： _____）
11. 特にない・わからない

問24 刑を終えて出所した人に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。(〇はいくつでも)

1. 更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること
2. 就職や職場で不利な扱いを受けること
3. アパートなどの住居への入居が困難なこと
4. 結婚を周囲から反対されること
5. メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせをされること
6. 復学・進学を希望する人が不利な扱いを受けること
7. その他（具体的に： _____）
8. 特にない・わからない

問25 性的少数者に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。(〇はいくつでも)

1. 職場や学校で嫌がらせをされること
2. 差別的言動を受けること
3. 就職や職場で不利な扱いを受けること
4. アパートなどの住居への入居が困難なこと
5. 店舗等の入店や施設利用を拒否されること
6. じろじろ見られたり、避けられたりすること
7. 性的少数者に対する理解が足りないこと
8. 同性パートナーが病院などで家族として認められない場合があること
9. その他（具体的に： _____）
10. 特にない・わからない

問26 新型コロナウイルス感染症に関することから、人権がとくに尊重されていない、または侵害されていると思うことはどのようなことですか。

(〇はいくつでも)

1. 感染したことを理由に解雇されること
2. 回復しているのに出社を拒否されること
3. 非正規労働者やひとり親世帯が解雇や雇い止めにあい、生活に困窮すること
4. 医療従事者やその家族が、差別的な発言や行為を受けること
5. 感染者が発生した施設の関係者に対して来店を拒否すること
6. 感染者個人の名前や行動を特定し、SNS等で公表・非難すること
7. 感染拡大で在宅時間が増え、児童虐待やDVを受けること
8. ワクチンの接種を強制したり、接種しないことを理由に不利益な扱いを受けること
9. その他（具体的に： _____)
10. 特にない・わからない

→ 次のページへお進みください。

人権啓発についてお尋ねします

問27 「人権」をテーマとした研修・啓発イベント（講演会等）への参加や、人権啓発冊子や新聞等の記事を読んだり、テレビ等で見たりしたことがありますか。
（それぞれひとつに○）

事項		何回も参加（読んだり、見たり）した	1～2回参加（読んだり、見たり）した	参加（読んだり、見たり）したことはない	
(例)	大川市の広報誌	①	2	3	
(1)	大川市主催	大川市人権週間講演会（12月）	1	2	3
(2)		コミュニティセンターでの人権講演会	1	2	3
(3)		人権啓発冊子いのちかがやけ	1	2	3
(4)		同和問題街頭啓発（7月）	1	2	3
(5)		北朝鮮人権侵害問題啓発週間パネル展示	1	2	3
(6)	大川市外も含む	人権擁護委員による人権相談	1	2	3
(7)		職場での研修等	1	2	3
(8)		P T Aなど学校での研修・講演会	1	2	3
(9)		新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	1	2	3
(10)		書籍・映画・ビデオ	1	2	3

問28 国・県・市町村では、人権問題について講演会や研修会など様々な啓発活動を行っています。特に効果があると思うものはどれですか。(〇はいくつでも)

1. 街頭啓発
2. 人権講演会や研修会など
3. 公民館での講演会・研修会など
4. グループによる研修会
5. 広報誌・パンフレット・ホームページでの広報
6. 啓発冊子(いのちかがやけ)の全戸配布
7. 新聞・テレビ・ラジオでの広報
8. 学校や保育園、幼稚園での人権教育
9. 啓発イベントを催す
10. 映画・ビデオの上映
11. 掲示物(ポスター・立看板・懸垂幕など)の設置
12. 人権問題に関する相談窓口の設置
13. その他(具体的に: _____)
14. 特にない・わからない

問29 これまでいろいろお尋ねしましたが、人権問題や人権教育・啓発について、ご意見やご要望などがございましたら、何でもかまいませんのでご自由にお書きください。

これですべての質問が終わりました。ご多忙の折、多数の質問にお答えいただきありがとうございました。もう一度、記入もれがないかご確認の上、同封の返信用封筒(切手はいりません)で7月29日(金)までにご返送ください。

大川市職員意識調査 調査票

問1 ア) あなたの性別は。(〇はひとつ)

1. 男性
2. 女性
3. その他
4. 回答しない

イ) あなたの満年齢は。(令和4年7月1日現在)(〇はひとつ)

1. 18～29才
2. 30～39才
3. 40～49才
4. 50才以上

問2 人権問題にどの程度関心がありますか。(〇はひとつ)

1. 非常に関心がある
2. 少し関心がある
3. あまり関心がない
4. ほとんど・全く関心がない

問3 次にあげる日本の人権に関する問題で、関心があるものは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 同和問題(部落差別に関する問題)
2. 女性に関する問題
3. 子どもに関する問題
4. 高齢者に関する問題
5. 障がいのある人に関する問題
6. 日本に住んでいる外国人や外国にルーツのある人に関する問題
7. HIV感染者・ハンセン病回復者などに関する問題
8. 北朝鮮当局による拉致問題
9. 犯罪被害者やその家族に関する問題
10. インターネットによる人権侵害問題
11. 刑を終えて出所した人やその家族に関する問題
12. ホームレスに関する問題
13. アイヌの人々に関する問題
14. 性的少数者に関する問題
15. 新型コロナウイルス感染症による人権侵害に関する問題
16. 人身取引(トラフィッキング)に関する問題
17. 原発事故による放射線被ばく風評被害に関する問題
18. ヘイトスピーチにかかわる問題
19. その他(具体的に:)
20. 特にない・わからない

問4 さまざまな人権課題に関連する法律や用語等について、どのような認識ですか。

(それぞれ〇はひとつ)

	人に説明できる	おおよそ知っている	言葉だけ聞いたことがある	知らない
人権教育及び人権啓発の推進に関する法律	1	2	3	4
部落差別の解消の推進に関する法律（部落差別解消推進法）	1	2	3	4
児童虐待の防止等に関する法律（児童虐待防止法）	1	2	3	4
いじめ防止対策推進法	1	2	3	4
高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律（高齢者虐待防止法）	1	2	3	4
障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）	1	2	3	4
本邦外出身者に対する不当な差別的発言の解消に向けた取組の推進に関する法律（ヘイトスピーチ解消法）	1	2	3	4
配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）	1	2	3	4
性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律（性同一性障害特例法）	1	2	3	4
事前登録型本人通知制度	1	2	3	4

問5 「差別」についてどのようにお考えですか。（それぞれ〇はひとつ）

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない
どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理だ	1	2	3	4
差別の原因には、差別される人の側に問題があることも多い	1	2	3	4
差別に対して抗議や反対をすることによって、かえって問題が解決しにくくなる	1	2	3	4
差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である	1	2	3	4
差別を受けてきた人に対しては、行政の支援が必要である	1	2	3	4

問6 同和問題に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

1. 結婚を周囲から反対されること
2. 就職の際や職場で不利な扱いを受けること
3. 付き合いをさけるなど日常の交際の中で差別があること
4. 生活環境面で近隣との格差が埋めきれていないこと
5. 身元調査をするなど社会における偏見意識があること
6. インターネットに差別的な情報を掲載すること
7. 家や土地を購入したり、マンションを建設する際に、同和地区かどうかを調べること
8. その他（具体的に： _____)
9. 特にない・わからない

問7 同和問題の解決をはかるために必要なことは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 同和地区の生活環境を改善・整備する
2. 同和地区の人々の仕事を保障し、教育水準を高め生活の向上をはかる
3. 同和地区の人々自身が、自分の生活に責任を持つように努力する
4. 人権を大切にする教育活動・啓発活動を積極的に行う
5. 同和地区の人々が、一カ所にかたまって住まないようにする
6. 真の民主主義の確立を目指す国民的運動を拡大・強化する
7. 差別をしたり、差別を営利目的などに使う者を法律で処罰する
8. 市民が自ら人権について学ぶ場を充実すること
9. インターネット上などでの偏見や差別的な書き込みを、そのまま受け入れないようにする
10. わざわざとりあげないで、そっとしておけば自然になくなる
11. その他（具体的に： _____)
12. 特にない・わからない

問8 女性に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。

(〇はいくつでも)

1. 「男は仕事、女は家庭」等の男女の固定的な役割分担意識を押し付けること、または押し付けられること
2. 就職の機会が少ないことや、企業等に雇用されるとき、賃金、昇給、昇格、職種等の差別を受けること
3. 妊娠、出産を理由に不当な扱いを受けること (マタニティ・ハラスメント)
4. 女性の社会進出のための支援制度が整っていないこと
5. 職場や学校における性的嫌がらせ (セクシャル・ハラスメント)
6. 家庭内における夫や恋人などからの肉体的・精神的暴力 (DV)
7. いわゆる「援助交際」を含む買春・売春
8. 女性への性暴力
9. アダルトビデオ等への出演強要
10. その他 (具体的に: _____)
11. 特にない・わからない

問9 女性の人権を守るために必要なことは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 男女雇用機会均等法などの啓発活動を行うこと
2. 性別による固定的な役割分担意識の是正に努めること
3. 様々な意思決定への女性の参画の促進を図ること
4. 保育などの施設や制度を整え、男性も女性も安心して働けるようにすること
5. 学校教育の場で女性の人権や男女共同参画についての教育を充実すること
6. セクシャル・ハラスメントやドメスティック・バイオレンスなどの防止に努めること
7. 性犯罪やドメスティック・バイオレンスなどに対する相談体制の充実を図ること
8. ストーカー等女性に対する犯罪の取締りの強化を図ること
9. 男性も生活者 (家事や育児を実践する人) として自立できるよう啓発活動を行うこと
10. その他 (具体的に: _____)
11. 特にない・わからない

問10 子どもに関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。

(〇はいくつでも)

1. 親が子どもに身体的・心理的な虐待を加えたり、子育てを放棄すること
2. 子どもが子どもをいじめたり、暴力を振るったり、又は子どもがその様子を見て見ぬ振りすること
3. 学校や就職先の選択などについて親が子どもに自分の考えを強制すること
4. 子どもの様子をさぐるため、手紙やメールなどを勝手に見ること
5. ビデオ・インターネット・携帯電話等子どもを取り巻く性情報のはんらん
6. 学校や登下校時の不審者による子どもへの危害
7. 教師による児童・生徒への体罰
8. 児童買春・児童ポルノ等の対象になること
9. 家庭の経済状況が理由で子どもの生活や進学、就職等に支障があること
(子どもの貧困)
10. 本来、大人が担うような家事や家族の世話などを日常的に行っていること
(ヤングケアラー)
11. その他 (具体的に: _____)
12. 特にない・わからない

問11 子どもの人権を守るために必要なことは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 地域・学校で子どもを育む気運の高揚を図ること
2. 子どもを対象とした相談、カウンセリング事業の充実を図ること
3. 学校教育等での人権教育の充実に努めること
4. 学校でのいじめ問題の防止の強化を図ること
5. マスコミ報道やゲームソフト・インターネット動画等の内容に配慮すること
6. 薬物や性的な犯罪などから子どもを守ること
7. 子どもに対する虐待の早期発見や予防策の充実に努めること
8. 子ども自身の意思や行動を権利として尊重すること
9. その他 (具体的に: _____)
10. 特にない・わからない

問12 高齢者に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。

(〇はいくつでも)

1. 介護を必要とする高齢者の介護体制・介護環境が十分でないこと
2. 就職が困難であったり、賃金などの労働条件で不利に扱われること
3. 高齢者をねらった悪徳商法や振り込め詐欺
4. 道路の段差やエレベーター未設置などバリアフリー対策が十分でないこと
5. 単身高齢者などが賃貸の住宅への入居を拒否されること
6. 家族が高齢者の世話を避けたり、軽んじたり、無視・虐待をすること
7. 生活に必要な情報がひとり暮らしの高齢者等に伝わりにくいこと
8. その他（具体的に： _____)
9. 特にない・わからない

問13 高齢者の人権を守るために必要なことは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 生きがいを持って生活できる環境づくりに努めること
2. 保健、医療、福祉のサービスや利用施設を充実させること
3. 建物や公共機関のバリアフリーを進めること
4. 高齢者のための相談・支援体制の充実を図ること
5. 学校での高齢者の人権教育の充実を図ること
6. 世代間交流事業の推進を図ること
7. その他（具体的に： _____)
8. 特にない・わからない

問14 障がいのある人に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。

(〇はいくつでも)

1. 人権上の配慮に欠けた差別的な言動をされること
2. 就職が困難であったり、賃金などの労働条件で不利に扱われたりすること
3. 道路の段差やエレベーターの未設置など、利用に支障があること
4. 普段接する人から肉体的・精神的な虐待を受けること
5. 障がいを理由に、意見や行動が尊重されないこと
6. 災害など危急の場で情報を伝える体制が十分でないこと
7. スポーツや文化活動・地域活動に気軽に参加できないこと
8. その他（具体的に： _____)
9. 特にない・わからない

問15 障がいのある人の人権を守るために必要なことは何だと思いますか。

(〇はいくつでも)

1. 保健、医療、福祉のサービスや利用施設を充実させること
2. 就職機会の確保、賃金などの労働条件を安定させること
3. 障がいのある人との交流を深め、お互いが尊重される地域づくりに努めること
4. 建物や公共機関のバリアフリーを進めること
5. 障がいのある人の人権を守るための啓発活動を推進すること
6. 幼少期から障がいのある人に対する理解を深める保育や教育を行うこと
7. 障がいのある人のための相談・支援体制の充実を図ること
8. その他（具体的に： _____)
9. 特にない・わからない

問16 外国人や外国にルーツのある人に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。(〇はいくつでも)

1. 特定の民族や国籍であるがため、差別的な言動をされること（ヘイトスピーチ）
2. 就職が困難であったり、賃金などの労働条件で不利な扱いを受けること
3. 結婚を周囲から反対されること
4. 年金など社会保障制度で不利な扱いを受けること
5. 病院等に十分な外国語表記がなかったりサービスが受けにくいこと
6. アパート等の入居を断られるなど地域社会での受け入れが十分でないこと
7. 店舗等への入店や施設利用を拒否されること
8. その他（具体的に： _____)
9. 特にない・わからない

問17 外国人や外国にルーツのある人の人権を守るために必要なことは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 外国人の人権を守るための啓発活動を推進すること
2. 就職の機会・賃金・労働条件の平等を確保すること
3. 外国人と日本人の相互理解を促進するための交流イベントを行うこと
4. 売春等の組織的犯罪の取締りの強化を図ること
5. 日常生活に必要な情報や案内を多言語化して充実を図ること
6. 学校教育、生涯学習における人権教育や国際理解教育を充実すること
7. インターネット上などでの偏見や差別的な書き込みを、そのまま受け入れないようにする
8. その他（具体的に： _____)
9. 特にない・わからない

問18 HIV感染者、エイズ患者に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。(〇はいくつでも)

1. 感染者や患者が病院での治療や入院を断られること
2. 結婚を断られたり、離婚を迫られること
3. 感染していることを本人に無断で他人に伝えられること
4. 本人に無断でエイズ検査をすること
5. 感染していると分かった人が、退職や退学に追い込まれること
6. 感染者や患者が特別な目で見られること
7. その他(具体的に: _____)
8. 特にない・わからない

問19 ハンセン病患者・元患者や家族等に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。(〇はいくつでも)

1. 地域社会での正しい知識と理解が十分でないこと
2. ハンセン病療養所以外で自立した生活を営むのが困難であること
3. アパートなどの住居への入居が困難なこと
4. 差別的言動を受けること
5. ホテル等で宿泊を拒否されること
6. 就職や職場で不利な扱いを受けること
7. 結婚を周囲から反対されること
8. その他(具体的に: _____)
9. 特にない・わからない

問20 犯罪被害者やその家族に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。(〇はいくつでも)

1. 犯罪行為によって身体的・精神的に被害を受け、経済的負担など長期間被害に苦しむこと
2. 捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること
3. 刑事裁判手続きにおいて必ずしも被害者の声が十分反映されるわけではないこと
4. 事件に関して周囲にうわさ話をされること
5. 被害者やその家族を支援する方策が十分に周知されていないこと
6. マスメディアなどの報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材により私生活の平穏が保てなくなること
7. ソーシャルメディア(SNS)等で悪質・不快な書き込みをされること
8. その他(具体的に: _____)
9. 特にない・わからない

問21 インターネットに関することから、人権が特に尊重されていない、または侵害されていると思うことはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

1. 他人を誹謗(ひぼう)中傷(ちゅうしょう)する表現を掲載していること
2. 差別を助長する表現や内容を掲載していること
3. 同和地区の地名や動画などを掲載していること
4. ソーシャルメディア(SNS)等で悪質・不快な書き込みをされること
5. 出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること
6. 捜査の対象になっている未成年者の実名や顔写真を掲載していること
7. わいせつな画像や残虐な画像を掲載していること
8. 個人情報の流出などの問題が多く発生していること
9. 悪徳商法の取引の場となっていること
10. その他(具体的に:)
11. 特にない・わからない

問22 刑を終えて出所した人に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。(〇はいくつでも)

1. 更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること
2. 就職や職場で不利な扱いを受けること
3. アパートなどの住居への入居が困難なこと
4. 結婚を周囲から反対されること
5. メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせをされること
6. 復学・進学を希望する人が不利な扱いを受けること
7. その他(具体的に:)
8. 特にない・わからない

問23 性的少数者に関して現在どのような人権上の問題があると思いますか。(〇はいくつでも)

1. 職場や学校で嫌がらせをされること
2. 差別的言動を受けること
3. 就職や職場で不利な扱いを受けること
4. アパートなどの住居への入居が困難なこと
5. 店舗等の入店や施設利用を拒否されること
6. じろじろ見られたり、避けられたりすること
7. 性的少数者に対する理解が足りないこと
8. 同性パートナーが病院などで家族として認められない場合があること
9. その他(具体的に:)
10. 特にない・わからない

問24 新型コロナウイルス感染症に関することから、人権がとくに尊重されていない、または侵害されていると思うことはどのようなことですか。

(〇はいくつでも)

1. 感染したことを理由に解雇されること
2. 回復しているのに出社を拒否されること
3. 非正規労働者やひとり親世帯が解雇や雇い止めにあい、生活に困窮すること
4. 医療従事者やその家族が、差別的な発言や行為を受けること
5. 感染者が発生した施設の関係者に対して来店を拒否すること
6. 感染者個人の名前や行動を特定し、SNS等で公表・非難すること
7. 感染拡大で在宅時間が増え、児童虐待やDVを受けること
8. ワクチンの接種を強制したり、接種しないことを理由に不利益な扱いを受けること
9. その他（具体的に： _____）
10. 特にない・わからない

問25 「人権」をテーマとした研修・啓発イベント（講演会等）への参加や、人権啓発冊子や新聞等の記事を読んだり、テレビ等で見たりしたことがありますか。

(それぞれひとつに〇)

事項		何回も参加（読んだり、見たり）した	1～2回参加（読んだり、見たり）した	参加（読んだり、見たり）したことはない	
(例)	大川市の広報誌	1	2	3	
(1)	大川市主催	大川市人権週間講演会（12月）	1	2	3
(2)		コミュニティセンターでの人権講演会	1	2	3
(3)		人権啓発冊子のちかがやけ	1	2	3
(4)		同和問題街頭啓発（7月）	1	2	3
(5)		北朝鮮人権侵害問題啓発週間パネル展示	1	2	3
(6)	大川市外も含む	人権擁護委員による人権相談	1	2	3
(7)		職場での研修等	1	2	3
(8)		P T Aなど学校での研修・講演会	1	2	3
(9)		新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	1	2	3
(10)		書籍・映画・ビデオ	1	2	3

問26 研修等で人権問題を考える(学ぶ)際に、どのような知識や情報が特に重要だと思いますか。
(〇は3つ以内)

1. 人権問題の歴史
2. 人権問題の実態
3. 社会の意識
4. 根拠となる法令等
5. 解決に向けた取組
6. 教材の活用方法
7. 差別を受けた当事者の思い
8. 窓口対応のスキル
9. その他(具体的に: _____)

問27 人権問題や人権教育・啓発について、ご意見やご要望などがございましたら、何でもかまいませんのでご自由にお書きください。